

はじめに

国立大学は法人化以降、自主的かつ柔軟な運営を進める一方、少子化や国の財政状況の悪化などの影響により、その経営環境は厳しさを増している。また、激変するグローバル社会の中では、様々な地球規模課題の解決が求められており、国立大学は「知の拠点」として、大きな期待と同時に厳しい視線を社会から注がれている。このような状況にあって、国立大学は不断に改革を進めて行かなければならない。経営の効率化を推進し、優れた教育・研究・社会貢献の成果を創出して社会の負託に応えていくことが、私たちに課せられた重要な責務である。

また、国立大学は、法人評価や認証評価などの外部評価によって、活動の成果をこれまで以上に厳しく問われており、これに的確に応えるためには、絶えず自らの活動を点検・評価し、更なる改善に結び付けていく自律的な評価・改善プロセスの確立が不可欠である。

筑波大学は、この自己点検・自己評価を開学以来一貫して実施し、その集大成として毎年度この年次報告書をまとめており、これまでに作成した報告書は、本学の歩みを記す貴重な財産となっている。

平成 27 年度は文部科学省が大学改革加速期間と位置付けている最後の年であり、平成 28 年度から始まる第 3 期中期目標期間では、まさに大きな変革が迫られることとなる。このため平成 27 年度は、改めて近未来の本学の姿を「未来の視点」、「グローバルの視点」、「学生の視点」から考え、それを実現するための大学マネジメントを「全体最適化」という観点からフィードバックし、研究・教育から業務運営に亘る各分野において、教育研究の質の向上及び業務運営の改善・効率化に係る施策を実施した。

「新構想大学」から「未来構想大学」へ。筑波大学は、地球規模課題の解決に貢献できるグローバル人材の育成を目指すため、幅広い教育研究を展開する総合大学の強みを活かしつつ、トランスボーダー大学の先駆者として国境や機関、制度といった様々な「壁」を越えた連携により、教育・研究を一層充実しているところである。これを加速するためには、本学の置かれている状況や自らの活動成果を常に的確かつ客観的に把握しておくことが必要不可欠である。本年次報告書が、その基礎資料として本学の改革・改善のために大いに活用されることを期待したい。

平成 28 年 12 月

筑波大学長 永 田 恭 介

I 総論

1. 本学の自己点検・評価

平成5年3月、大学設置基準の大綱化に伴う筑波大学自己点検・評価規則が制定されて以来、本学における教育研究活動の状況について、各組織は、本学の理念、目的、年次計画等を基準として、当該組織の設置目的等に即した自己点検・評価細目を設定し、自己点検・評価を実施してきた。

平成16年度からは、これまでの年次計画に代わるものとして、各組織が中期計画、年度計画を踏まえた「基本方針、重点施策、改善目標等」を提出し、年度終了後、組織ごとに自己点検・評価を実施して当該年度の活動状況を詳細に記述するとともに、その点検・評価の結果と次年度以降の課題をまとめることとした。

第2期中期目標期間の最終年度である平成27年度からは、第3期中期目標期間の開始にあたって自己点検・評価のより一層の実質化を図るため、これまでの自己点検・評価プロセスを見直し、全学の「重点施策」を精選化するとともに、教育研究組織の自己点検・評価を主として定量的評価指標に基づくものに転換することとし、試行的に実施を開始した。

本年次報告は、本学が教育研究と業務運営の質的向上のために推進した諸施策の実施状況と今後の課題についてまとめたものであり、次年度以降の国立大学法人筑波大学の発展と改革の礎となるものである。

2. 中期計画の全体的な実施状況

本学は、前身校の歴史と伝統の上に「新構想大学」として設立され、国内的にも国際的にも開かれた大学であることを理念に、これまで我が国の大学の在り方を先導してきた。

第2期にあっては、そこから更に発展し、未来に向けて革新的な挑戦を不断に続ける「未来構想大学」という新しい筑波大学像の確立を目指し、世界的研究・教育拠点の形成を含む5つの基本目標を掲げた。

平成27年度は、第3期に向けた改革加速期間の最終年度として、改めて近未来の本学の姿を「未来の視点」、「グローバルの視点」、「学生の視点」から考え、それを実現するための大学マネジメントを「全体最適化」という観点からフィードバックし、研究・教育から業務運営に亘る各分野において、教育研究の質の向上及び業務運営の改善・効率化に係る施策を実施した。

I. 教育研究等の質の向上の状況

1. トランスボーダー大学の構築

スーパーグローバル大学創成事業における大きな柱であるCiCについては、平成35年度までに13の海外大学と協定を結ぶこととしており、平成27年9月にボルドー大学（フランス）及び国立台湾大学（台湾）との間でCiC協定を締結した。

また、両大学及び既にCiC協定に合意しているカリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）の本学におけるオフィスを開設し、学生・教職員のモビリティを高めるための基盤を整備した。さらに、学生のモビリティを高めるための施策として、科目ジュークボックスの開発を進め、運用を開始したほか、新たに3つの海外教育研究ユニットを招致し、教育研究のトランスボーダー化を推進した。

2. 人材育成機能の強化

2-1. トランスボーダー連携によるグローバルな人材育成の推進

- 企業・研究機関や海外大学と連携したライフサイエンス分野の学位プログラムとして、協働大学院方式による「ライフイノベーション学位プログラム」を開設し、平成27年10月から学生受入を開始した。また、海外大学との共同学位プログラムとして構想している「グローバルイノベーション学位プログラム」（仮称）について、平成29年度の開設に向けて、本学、ボルドー大学、国立台湾大学の3大学間で具体的協議を進めた。大学間チューニングについては、欧米の大学の質保証システムを調査・研究し、今後の具体的取組について検討・提案を行っ

た。

- ・ 数理解物質科学研究科とグルノーブル大学、生命環境科学研究科とボルドー大学など、海外大学とのダブル・ディグリー・プログラムを、平成27年度から新たに4プログラム開始した。
- ・ 鹿屋体育大学と体育・スポーツ分野における次の2つの共同学位プログラムを平成27年4月に開設した。
 - ・ スポーツ国際開発学共同学位プログラム
 - ・ 高度大学体育指導者養成共同学位プログラム

上記学位プログラムを先行的に実施しながら、共同専攻の設置に向けた検討を進め、平成28年度に共同専攻を設置することが決定し、入学試験を実施した。これらの取組は、国立大学改革強化推進補助金の支援を受けて実施しており、平成27年7月に実施された同補助金の中間評価においては、「計画以上に事業が進捗しており、当初の目的以上の成果を達成することが可能と判断される」との最も高い評価結果を得た。

2-2. 学士課程及び大学院課程における教育の実質化

<教育プログラム構造の整備>

- ・ 第3期中期目標期間における学位プログラム制への全面的移行を見据えて、「学群スタンダード」及び「大学院スタンダード」に基づき、学位の国際的通用性と教育課程の体系性の点検を行った。
- ・ 「教養教育スタンダード」について、平成27年度入学者から、3～4年次で1単位を必修として開設する総合科目Ⅲの開設を始め、各共通科目の見直しを反映させた、「教養教育スタンダード」改訂版を公表した。
- ・ 学修成果の達成に向けた学生の主体的・能動的学修を促進するための取組（TA・TFを効果的に活用したアクティブ・ラーニング等の取組を支援する学内公募型プログラム、eラーニングシステムの整備・充実及び活用促進）を継続して実施した。

<成績判定基準の厳格化>

- ・ GPA制度について、導入後のデータ分析や国内外の大学の事例調査等に基づき検証を行い、国際的な互換性をより高める観点から評価点を改定した。また、教育課程の順次性・体系性を担保する科目ナンバリング制の全学的枠組みを決定した。

<大学院教育関連>

- ・ 「大学院共通科目」について、第2期中期目標期間を通じて改善・充実に取り組み、平成22年度の6科目群・55科目から、平成27年度には7科目群・82科目に拡充した。
- ・ 「博士後期課程早期修了プログラム」を継続して実施し、第2期中期目標期間において、174人の学生を受け入れ、152人の修了者（うち133人は1年で修了）を輩出した。

<入学者選抜の改革>

- ・ グローバル入試について、各実施教育組織において課題を抽出し、全学学群入試改革検討委員会において国際バカロレア特別入試の実施時期や入学時期などについて検討を行った。
- ・ アドミッションセンターの入試改革企画機能を強化するため、特命教授（入試改革担当）の配置、全学学群入試改革検討委員会設置要項への役割規定及び全学学群入試での役割の明確化を行い、外部英語検定試験導入やスーパーグローバルハイスクールなどの卒業者を対象とした新たな推薦要件を設定した推薦入試を導入した。
- ・ 大学院学生募集要項のWeb化を引き続き推進し、新たに実施する入試においても同じく、日本語版・英語版ともWeb化した。また、Web出願システムについては、生命環境科学研究科及び人間総合科学研究科（体芸・学際系）において新たに導入され、さらに、先行開発したWeb出願システムを検証・パッケージ化を行い、今後の新たなシステム導入の加速化と経費削減を図った。これにより、情報一元化・即時対応が可能になるなどの業務効率化が実現でき、入試業務負担を軽減させた。

2-3. 総合的な教育企画・実施機能の充実

- ・ 教育イニシアティブ機構において、第2期中期目標期間を通じて、全学的視点に立った教育改革の取組を戦略的に推進・支援した。「革新的な教育プロジェクト支援事業」では平成22年度から27年度の6年間で160件／158,540千円の支援、「TA・TFを活用した主体的学修を促す教育推進事業」では平成25年度から27年度の3年間で22件／32,926千円の支援を行った。
- ・ グローバル教育院において、平成27年度から新たにライフイノベーション学位プログラムの運営を開始した。同教育院では、現在、3つの学位プログラムを運営している。
- ・ 平成27年4月にグローバル教師力開発推進室を設置し、グローバル化に対応した人材育成を担う教員を養成するため、教職課程の検討事項の整理等を行った。

2-4. 教育の質保証に資する学修環境の整備

- ・ 新たな学期制におけるCモジュール（各学期の最後のモジュール）を有効に活用して学群学生の英語力や国際性の向上を図る2つのプログラムを開始した。
- ・ eラーニングシステム（学習管理システム、遠隔講義・自動収録システム等）の整備・充実と活用促進を進め、各教育組織の特性等に応じて活用した。

2-5. 教育に関する全国共同利用拠点の取り組み状況

(1) 『日本語・日本事情遠隔教育拠点』（グローバルコミュニケーション教育センター（GEGLOC））

eラーニング教材である「J-CAT」と「TTBJ」、本学で開発した教科書に対応したビデオ教材、大規模なウェブコース、学習項目チェックシステムを提供し、日本語教育全体に資する取り組みを行った。平成27年度の利用実績は、eラーニング登録者が約5,150人、Webテスト受験者が約16,500人である。

(2) 『ナチュラルヒストリーに根ざした森と草原の生物多様性教育拠点』（菅高原実験センター）

生物多様性の実体を理解・活用・保全する人材の育成と教育プログラムの開発・普及を行うため、フィールドと研究施設を最大限に活用して、7つの公開実習を実施し（うち一つは今年度新たに開講）、29の実習やセミナー等を受入れ、かつ、学内外の学生の研究指導を行った。その結果、学内からは278名、学外からは769名の利用があった。また、教育関係共同利用拠点到認定されてから3年目になるため、自主的に外部評価を受審したところ、全体としてA評価（非常に優れている）と判定された。

3. 研究力強化の推進

3-1. 国際的に卓越した研究の推進及び体制整備

- ・ 研究戦略イニシアティブ推進機構の支援の下で、国際統合睡眠医科学研究機構、藻類バイオマス・エネルギーシステム研究拠点、2の重点研究センター、3の学術センター、1のプレ戦略イニシアティブ研究拠点、3のプレ戦略イニシアティブ（プロジェクト提案型）等で世界的研究拠点形成を目指して重点的に研究を実施した。また、海外の優れた研究機関と連携した拠点形成を目指し、海外教育研究機関のユニット招致を新たに2件（研究重点型計4件）開始した。

<重点研究センター等による国際的に卓越した研究の推進>

① 国際統合睡眠医科学研究機構

新規睡眠覚醒制御遺伝子の機能解析及び検証に着実な進展があり、論文発表の目途をつけることができた。また、創薬研究を推進するための機構内連携体制をさらに強化し、グローバル製薬会社との大型共同研究（1億2,000万円／2年間）の開始に成功した。

平成27年度の外部競争資金獲得額は平成26年度の約2倍となり、長期的な運営基盤を強化することができた。

② サイバニクス研究センター

- ・ 附属病院及び未来医工融合研究センターとの連携により、臨床支援ロボット研究を一層推進した。
- ・ 健康医療等の社会課題解決の社会実装を目指すサイバニクス研究センターの強化のための基盤的経費の措置を確保し、附属病院との組織的連携強化の基盤を整備した。加えて、JST戦略的創造研究推進事業CRESTによる人の社会的行動の計測技術の研究開発、ImPACT（革新的研究開発推進プログラム）での「革新的サイバニックシステム」の研究開発を推進した。
- ・ 日本初のロボット治療機器「HAL医療用下肢タイプ」（以下、「HAL医療用」）について、平成28年1月にはHAL医療用を用いた治療への公的保険適用が承認された。

③ 藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター

藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センターとして整備し、藻類研究グループの能力と今後の産業化・社会還元の可能性の向上とさらなる発展を図った。

産総研材料・化学領域触媒化学融合研究センターとの連携による研究開発を相乗的に促進するため、双方で常勤職員として研究等を実施する人材を、クロスアポイントメント制度を活用して、共同公募選考により採用した。

④ 生命領域学際研究センター（TARA）

平成27年4月より新たな研究プロジェクトを開始した。国際テニユアトラック制による教員3名がアメリカ合衆国において継続的に国際共同研究を行うと共に、国際シンポジウムを主催するなど、国際化の推進を図った。

その他、新たに外部資金（ERATO）による期限付きプロジェクトのセンター内設置が決定された。

3-2. 研究企画機能及び研究支援体制の充実

- ・ センター評価部会が定めた「センター評価実施要領」により、各センターが提出した「平成27年度研究センター及び研究支援センター将来計画等調書」に基づき、研究センター及び研究支援センターに係る書面評価及びヒアリングによるセンター評価を実施した。
- ・ 研究センター再編構想作成に向け、国内の先行事例について現地調査を行うとともに、「研究センター組織再編構想」検討タスクフォースを設置し、センター評価部会に提示された定量的数値指標に基づく分析などを行い、研究センターを「先端研究センター」、「社会還元センター」及び「研究・教育支援センター」の3つの機能別に分類し、再編成する「研究センター組織再編構想」の基本方針を策定した。
- ・ 研究活動における不正行為防止に向けた取組みとして、タスクフォースにおいて検討を重ね、5月に「国立大学法人筑波大学研究公正規則」を一部改正し、規則に基づき各部局に研究倫理教育責任者を置くなど体制を整備した。

3-3. 研究に関する全国共同利用拠点の取り組み状況

(1) 『先端学際計算科学共同研究拠点』(計算科学研究センター)

① 共同利用・共同研究拠点としての取組と成果

共同利用・共同研究拠点として、学際共同利用プログラムにより51課題のプロジェクトを採択し共同研究を実施した。重点課題についても、学際共同利用プログラムのプロジェクトとして実施した。これらの共同研究により、学術論文174件を発表した。10月には、第7回「学際計算科学による新たな知の発見・統合・創出」シンポジウム-多分野に広がる計算科学の発展と将来像-を開催し、計算科学の発展を包括的に議論した。

② センターの独自の取組と成果

東京大学情報基盤センターと共同設置した「最先端共同HPC基盤施設」において、導入計算機の仕様策定を行い公告した。5月には、米国のローレンスバークレイ国立研究所にて、協定に基づく合同ワークショップを開催し、計算科学の協働を進めた。2月には、韓国KISTIと合同で、HPC Winter Schoolを計算科学研究センターにて開催した。また、ポスト「京」の重点課題⑨「宇宙の基本法則と進化の解明」を進めた。

(2) 『海洋生物学研究共同推進拠点 (JAMBIO)』(下田臨海実験センター)

① ネットワーク型拠点全体としての取組と成果

共同利用・共同研究受では87件の公募研究を採択し、77件を実施した。利用者は国立大学をはじめ公私立大学、大学共同利用機関、独立行政法人、民間の他、海外からも利用があった。ネットワーク全体で42報の論文発表を行った。ネットワーク連携事業であるJAMBIO沿岸生物調査を3回（下田沖1回、城ヶ島沖2回）行った他、第5回JAMBIOフォーラムを実施し、2回のJAMBIOニューズレターを発行した。

② (ネットワークにおける) センター個別の取組と成果

中核拠点として、共同利用・共同研究の受け入れ業務や広報、社会貢献事業を行うとともに、対応する施設整備を行った。また、ネットワーク事業の企画、推進の他、国際マリンステーション会議に運営委員として参加し、企画、運営に携わった。研究においては、細胞生物学から生態学まで幅広い共同利用研究を実施し、Science誌を含む30報（ネットワーク全体では42報）の論文発表を行った。

③ センターの独自の取組と成果

海洋酸性化研究のための式根島ステーションの設立準備を行った。また、国際拠点化を図るために、プリマス大学Hall-Spencer教授をはじめとする海外教育研究ユニットの招致を行った。研究面で特記に値する業績としては、生殖生物学、系統進化学、生態学において、①精子運動の海産生物解析系を応用して、マウス雄性不妊因子を同定し、男性避妊薬の可能性を示した (Science, 2015)、②式根島に温帯域としては世界初となるCO₂シーブを発見し、基礎データを示したとともに、海洋酸性化研究の拠点としての可能性を示した (Regional Studies in Marine Science, 2015年)、③多くの大学、研究機関の専門家が参加した沿岸合同調査により、新種50種を含む250種類以上の海産生物を同定した (Regional Studies in Marine Science, 2015年)。この他の活動としては、施設や研究内容の一般公開、伊豆新聞紙への海洋生物記事の連載、元フランスパリ大学教授・ビルフランシェ実験所長のクリスチャン・サルゲ博士との共同事業の実施、地元NPO法人とのサンゴ礁保全活動の実施、市民講座の実施があげられる。また、中野裕昭准教授が日本動物学会奨励賞を、柴小菊助教が守谷科学研究奨励賞を受賞し、公開シンポジウム「海の生物多様性と地球環境の変化」では、センターの大学院生が「ポスター賞」を受賞した。

(3) 『形質転換植物デザイン研究拠点』(遺伝子実験センター)

① 共同利用・共同研究拠点としての取組と成果

当期拠点認定機関の最終年度に際し、今年度上期に研究振興局学術機関課によって実施された期末評価の結果、国内トップクラスの規模の研究施設・設備を活用した研究実績やトマトのバイオリソース研究等による学会・産業界コミュニティへの貢献、支援体制の整備が好評価され、総合評価Aとの判定を受けた。この評価により、次年度から6カ年の認定継続が認められた。

平成27年度も形質転換先端技術を活用した植物重要形質発現に関わる遺伝子群の機能理解に関する共同研究及び国内トップクラスの規模の研究施設・設備を活用した実用化候補作物作出に繋がる共同研究(30件)を公募・実施した。また、形質転換デザイン研究拠点平成27年度成果報告会(12月18,19日開催)や新規の花型改変組換えシクラメンの第一種使用(屋外栽培試験)申請を受けた一般説明会(9月27日開催)の開催をはじめ、国内外のシンポジウムや研究セミナー、技術セミナー等を開催(全12回)した。

② センターの独自の取組と成果

研究の一環として、文部科学省大学発グリーンイノベーション創出事業「植物CO₂資源化研究拠点ネットワーク(NC-CARP)」では、バイオマス植物の分子育種の基盤となる遺伝子組換え技術の開発に取り組み、資源植物であるユウカリ、ソルガム、エリアンサスについて、アグロバクテリウムを用いた遺伝子組換え植物の作成に成功し、ユウカリについては他大学と連携して当該事業で見出されたバイオマス改変遺伝子を導入した。また、耐冷性LMOユウカリの第一種使用規定隔離ほ場栽培試験を継続実施し、過去二期のデータと併せて総合的に形質を評価した。CREST事業では植物による二酸化炭素資源化への貢献を目指し、植物のシンク力とソース力を強化したイモ類の開発と評価を実施している。また、プロジェクトとしてジャガイモ葉緑体形質転換体の作出に成功しており、平成27年度の間評価を経て、次年度以降も継続することとなった。

本学の特別共同研究事業として、株式会社インプラントイノベーションズとの植物バイオ共同研究事業が開発された。これは、産学連携の強化施策の1つであり、企業等からの資金提供によって設置されるものであり、植物の持つ機能をバイオ技術を用いて高めることで社会貢献を図る。

学内共同利用施設として330名の登録者があった。センター教員は、教育組織との兼務も負いながら、原著論文54件、著書9件を発表し、外部資金を33件獲得した。これらの活発な活動は13件の受賞にも現れている。

4. 学生のニーズを踏まえたきめ細やかな支援体制の構築

4-1. 生活支援体制の拡充

- ・ 学生支援組織連絡会において留学生相談教員及び留学生担当者をメンバーに加え、グローバル化に対応するための検討を行った。
- ・ 平成27年度のT-ACTアクション・プランは、申請件数51件に対し承認件数は44件であった。ボランティアにおいては、申請件数54件に対し承認件数40件で、活動の承認件数は昨年度の37件から微増であるが、学生の参加人数は昨年度の66名から今年度93名と、ボランティア事業開始から4年が経過し、着実に増加している。地域ボランティア団体等との連携や地域住民への活動紹介等を行い、また、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨災害時には、関係部局と連携して、災害ボランティア活動のために必要な情報提供・活動支援等を行った。

4-2. 適切かつ多様な経済支援

- ・ スーパーグローバル大学事業の推進に対応したつくばスカラシップの見直し及び授業料免除の改善等、学生のニーズを踏まえた新たなプランを策定した。また、東日本大震災により被災した学生(新入生を含む)58名に対して、入学料免除または授業料免除を実施した。さらに、平成27年9月に発生した台風18号等の大雨(関東・東北豪雨)において、被災世帯の学生13名に対して授業料免除等による緊急経済支援を実施した。

4-3. 安全で質の高いキャンパスライフの提供

- ・ グローバルレジデンス整備事業については、6月に基本協定、8月に事業契約を締結した。整備事業計画に基づき、新棟建築及び既存棟改修工事等における諸準備作業を順調に実施した。
- ・ 放置自転車削減のために、卒業生・修了生向けに廃棄自転車の提供を促し、平成28年度から、リサイクルにより新年度の学生宿舍入居時に、新入生向けに安価で販売を行うことを決定した。

4-4. キャリア支援体制の充実

- ・平成26年度実施のキャリア・就職支援に対するアンケートの検証・評価を基に試験的に比較文化学類を対象とした各教育組織に合わせた新たなキャリア・就職支援プログラムの検討・策定を行った。
- ・グローバルリーダーキャリア開発ネットワーク（GLCnet）と連携し、統合後の支援プログラム開発に活用できるよう大学院生のキャリア形成支援に関する調査を実施した。
- ・社会人メンターネットワークによるキャリアリソースの量的拡大を図った（26年度：84名→27年度：108名）。大学3年生、修士1年生を主対象とする「キャリア・インタビュー」において、社会人メンターの自主活動を行う組織が構築されパネルディスカッションを導入した結果、自由参加の最終ターム参加者が大きく増加し、学生の環境探索を積極的に行う態度形成に効果を上げた。
- ・平成27年10月に旧キャリア支援室、旧障害学生支援室、旧ダイバーシティ推進室を発展的に統合し、「ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター」を設立した。同センターは、平成28年4月にグローバルリーダーキャリア開発ネットワークを統合して完成とする。

5. 戦略的な国際交流・連携の強化

5-1. 国際化推進に向けた基盤の整備

- ・今後の教育・研究支援の指針として研究・教育に関する国際化戦略を網羅した「国際戦略基本方針2016」を策定した。特に「国際地域戦略」については限られた資源の最適化をはかり、将来的な拠点の統合に配慮しつつ、地域の特性等を反映して各地域に固有の戦略を策定した。
- ・日本・アフリカ大学連携ネットワーク（JAAN）を通じた、現地拠点等アフリカ諸国との学術交流資源を持つ他大学との連携を進めた。
- ・戦略的な海外大学・研究機関との連携推進の一環として、海外拠点の1つであるボンオフィスの機能を活用して、ドイツ学術交流会（DAAD）とのマッチングファンドによる「筑波大学・ドイツ学術交流会（DAAD）パートナーシッププログラム」を実施した。
- ・9月につくばグローバルサイエンスウィーク（TGSW）を実施し、世界25か国、90機関から200名近い発表者と、1,200名を超える来場者があり、学術交流・人材交流を行った。

5-2. 海外拠点の戦略的な整備

- ・本学の重点協定校であるボルドー大学、国立台湾大学、カリフォルニア大学アーバイン校及びサンパウロ大学のCiC相互オフィスとして、オーバーシーズ・コモンズを設置しCiC実現に向けた支援環境を整備した。
- ・本学の海外拠点を起点として、現地の同窓会組織と連携を図り、新たにモスクワ、ウズベキスタン、インドネシア、台湾で本学の同窓会が設立された。9月のつくばグローバルサイエンスウィーク（TGSW）では、第1回目となる海外同窓生ネットワーク年次総会2015を開催し、世界9地域から同窓生組織の代表を招聘、本学の同窓生ネットワーク強化に関する情報共有・意見交換を行った。また、10月にTsukuba Alumni Network（T-Net）を開設し、本学と海外の同窓生や同窓会組織とのネットワーク強化を図った。平成28年3月現在、647名の登録がある。
- ・海外大学等との協定数
平成28年3月末現在61カ国・地域、322機関（大学間126、部局間196）

5-3. 優秀な留学生受け入れ／学生の海外派遣の推進

<留学生受け入れ拡大に向けた取組み>

- ・留学生の受入について、本学独自の「つくばスカラシップ」奨学金制度の活用をはじめ、国内他機関や各国政府等による留学生派遣プログラムでの受け入れ支援、私費外国人研究生の受け入れの増加により、留学生数は2,242名（平成27年3月1日現在）から2,436名（平成28年3月1日現在）に増加した。チューターによる渡日後間もない留学生への定着支援以外に、日本人学生がサポーターとなって身近な情報提供を常時行う「Ask Us Desk」を設けて留学生対応の充実を図った。また、FD研修会の開催、学内への在籍管理に関する注意喚起及び留学生の在籍管理を徹底するため在籍状況調査を行い、教職員による留学生への指導と支援体制の強化を図った。

<学生の海外留学促進に向けた取組み>

- ・多様な支援の実施により、学生の海外派遣者数は平成26年度663名から平成27年度768名と大幅に増加した。また、部局経費による支援を含めると学生の海外渡航者数は1,354名から1,747名に増加した
- ・平成27年度から海外留学支援事業「はばたけ！筑大生」を開始し、海外学会等参加支援、交換留学支援、海外武

者修行支援の3種類のプログラムによる学生の派遣支援の多様化を図った。

- ・ 本学学生の海外留学を飛躍的に増加させるための新たな支援策として、学内で行っている海外派遣プログラム及び協定校一覧等をまとめた海外留学ガイドブック (Go Abroad) 及び海外留学プログラムへの申請スケジュール表を作成し教育組織へ周知した。
- ・ 新たな海外派遣プログラムとして、国連ボランティア計画 (UNV) と関西学院大学との国連ユースボランティア派遣に関する協力協定に基づき、平成28年度からの派遣に向け選考を開始した。また、併せて、国際総合学類の海外研修科目として単位 (8単位) 化を実現した。
- ・ 平成27年11月からeラーニング教材manabaを活用した海外渡航届の提出及び海外危機管理サービス (OSSMA) への登録による集約システムで渡航情報を一体化することにより学生の海外派遣情報を即座に把握することが可能となった。加えて、緊急連絡カードの携帯を推進して派遣学生の海外危機意識を啓発した。共同通信社のリアルタイム配信サービスの利用を開始し、海外での災害やテロ、感染症発生などの情報を、速やかに入手し、迅速な対応を可能とした。

6. 社会との連携・貢献の推進

6-1. 産学官連携を通じた知的成果の社会還元

- ・ ナノテク2016展において、4社から具体的シーズを入手した。また、バイोजパン2015で10の技術シーズ紹介、17社と個別面談を実施した。また、筑波研究学園都市の先端的技術シーズをイノベーションにつなげる能動的な活動としてプロモーションイベントを企画・実施し(2回)、VC、投資家等に対して、具体的な事業構想・計画を持って価値提案をするという新たな試みを行った。
- ・ 産総研との合わせ技ファンドについて、産総研以外の筑波研究学園都市内の研究機関に拡大し、つくば産学連携強化事業として展開 (応募35件、採択12件、支援額15,000千円)、3月には産総研・筑波大学合わせ技ファンドピッチ会を開催した。
- ・ 卒業生の協力による起業家養成講座「学群自由科目 (筑波クリエイティブ・キャンプ)」を実施した (参加学生延べ357名)、今後はアントレプレナー教育の一部として実施していくこととなった。

6-2. 筑波研究学園都市における研究面での地域連携

- ・ 事業化候補のデータベース化、技術シーズ集の作成、プロモーションイベント (文部科学省主催) 等において、発掘したシーズを提案し、中小企業とのマッチングを行い、つくばイノベーションエコシステム構築のベースとなる技術シーズの掘り起こし、目利き、ビジネス (事業化) の新たな手法の開発を図った。また、中小企業の事業化ニーズを呼び込む仕組みとして、つくばテクニカルコンシェルジュ (TTC) という技術相談のワンストップ窓口を開設し、新しいマッチング方式を模索した。
- ・ 平成28年1月に第9回「つくば3Eフォーラム会議」を開催した。「これからの「交通まちづくり」を考える」をテーマとして、市民、研究者、行政関係者合わせて、120名を超える参加者があった。

6-3. 知的成果の幅広い社会還元

- ・ 履修証明プログラムについては、新たに「多職種連携メディカルスタッフ教育プログラム」(医療科学類) を開設し、履修者29名に対して24件の履修証明書を交付した。なお、同プログラムは、文部科学省「職業実践力育成プログラム (BP)」に申請し、認定を受けた。
- ・ 教員免許状更新講習では、平成26年度より7講習増やして更なる充実を図るとともに、受講生による評価 (事後アンケート) の検証・フィードバックを通じて講習の改善に繋げた。
- ・ 公開講座は全64講座 (受講率は90%超) 実施し、このうち、一般公開講座・現職教育講座 (26講座)、重点公開講座 (3講座) で東京キャンパスを利活用した。受講者アンケートでは満足が80%、やや満足が16%の結果を得た。

<東日本大震災からの復興>

- ・ 「震災復興に係る連携協定」に基づき、受託研究事業として、神栖市4件、いわき市1件を実施した。
- ・ 「巨大地震プロジェクト震災復興シンポジウム」を開催し、被災地としての経験を活かし、研究成果の発信と茨城県への提言を行った。自治体から約90名、全体で約250名の参加があった。
- ・ 地域貢献、地方創生を目的とした「社会貢献プロジェクト」では、平成22年度~27年度の6年間で、延べ251課

題の取り組みを実施した。

7. 附属病院機能の強化

7-1. 質の高い医療人育成及び臨床研究の推進

- ・ 本学及び筑波研究学園都市を中心とする研究機関の英知を結集し、医療技術に関する研究成果（シーズ）の育成と臨床開発等実用化に向けた支援、及び臨床上有用な知見を得るために行う臨床試験実施等の支援のため平成27年度につくば臨床医学研究開発機構（T-CReDO）を設置した。
- ・ 国立大学で唯一、体育系と医学医療系の専門家集団を有する点を活かし、両組織が連携してシームレスに総合的なスポーツ医学をプロデュースする「つくばスポーツ医学・健康科学センター」を整備した。

7-2. 質の高い医療の提供及び開発

- ・ 医師不足等を要因とした地域医療の崩壊という喫緊の課題に対応すべく、医師不足地域における地域医療体制の整備及び質的向上などへの寄与を目的として、神栖地域医療教育センターを設置した。
- ・ BNCT治療装置一式の開発が完了し、放射線発生の許可も取得し、同装置を使って中性子ビームの発生に成功した。
- ・ 世界標準の医療の質と安全を担保することを目指すため、JCI（Joint Commission International）の認証取得に向けて、JCIコアメンバーを中心に準備を進め、平成28年3月に予備審査（モックサーベイ）を受審した。
- ・ 平成27年9月に発生した常総市を中心とした集中豪雨による水害に対して、茨城県災害拠点病院として、被災発生時よりDMATチーム派遣による被災者救護、被災地からの重症患者等の受入れを行った。各避難所への巡回医療支援チームの派遣による医療支援、災害派遣精神医療チームによる住民等への精神的なケアの支援を行い、チーム活動終了後の平成27年度末現在においても災害精神支援学、精神神経科が支援活動を継続している。

7-3. 継続的・安定的な病院運営

- ・ 診療指標（対前年度）としては、7対1看護体制は維持しつつ、手術人数の増加（7,992人→8,251人）、初診患者の増加（外来：21,847人→22,881人、入院：16,540人→17,838人）、病床稼働率（89.3%→88.7%）、在院日数の短縮（15.3日→13.8日）を達成した。
- ・ 経営指標（対前年度）としては、臨床指標の向上による診療単価の上昇（外来：18,413円→19,332円、入院：79,273円→82,770円）に伴い、病院収入金額は前年度実績を約17.1億円上回る約292.8億円を達成した。
- ・ 収入増に伴う医薬品等診療材料費の増加、人事院勧告を準用した給与引上等の特殊要因により支出も増加したが、委託業務内容の見直し▲1.0億円、医薬品等診療材料の購入価格見直し▲2.0億円、後発医薬品への切替拡大▲約0.9億円、人件費▲2.1億円、光熱水料費を含む管理的経費▲2.6億円、医療機器の購入抑制等▲2.0億円により▲10.6億円のコスト削減に取り組み、292.5億円（前年度実績15.4億円増）の支出となり3期ぶりの黒字化を達成した。

8. 附属学校教育の充実

8-1. 教育課題の解決に向けた研究の推進

- ・ 平成27年度文部科学省委託事業「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」の一環として「共生社会を目指す講演とシンポジウム」を開催し、本学山海嘉之教授の講演と附属校生徒4名によるシンポジウムを実施した。
- ・ 平成27年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント調査研究事業」（スポーツ庁委託）では、宮城県、京都府及び福岡県で開催した教育セミナー、市民フォーラム、ワークショップに附属学校教員が協力を行い、附属学校群での取り組み等を広く発信した。
- ・ 8月に「オリンピック・パラリンピック教育研修会～2020に向けてのオリンピック・パラリンピック教育を考える～」を開催し、教育関係者約100名が参加した。

8-2. 大学及び附属学校間の連携強化

- ・ 朝永振一郎記念「科学の芽」賞10周年シンポジウム「科学の芽を育てるために」が、本学東京キャンパス文京校舎において開催し、会場には約80名の来場があった。

- つくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) において、附属3校 (坂戸高校、視覚特別支援、桐が丘特別支援) と茨城県内2高等学校 (土浦第一、茗溪学園) の各校1名にブラジルからの学生2名を交えて、「オリンピック・パラリンピックへの参加」についてのシンポジウムを開催した。

8-3. 附属学校の体制・機能の見直し

- 平成27年10月に「附属学校将来構想検討委員会報告書」をまとめ、これまでの上記3拠点構想の取り組みを基盤として、「グローバル人材の育成」と「インクルーシブ教育システムの構築」の両輪を实践し、ダイバーシティ社会の実現をめざす教育へと発展させ、その成果を社会に発信していくことを念頭に、今後のアクションプランと展望を公表した。

II. 業務運営・財務内容等に関する取り組み状況

1. 教育研究の活性化に資する組織・体制の構築

- 鹿屋体育大学との共同専攻設置に向けた取組
鹿屋体育大学との連携により、平成27年度から両大学による共同学位プログラムを先行実施するとともに、共同専攻の設置準備を進め、平成28年度に次の共同専攻を設置することが決定した。(I『2-1. トランスボーダー連携によるグローバルな人材育成の推進』に詳述)
- ライフイノベーション学位プログラムの開設
企業・研究機関や海外大学と連携したライフサイエンス分野の学位プログラムとして、「ライフイノベーション学位プログラム」(M, D)を開設し、平成27年10月から学生受入を開始した。本プログラムの開設にあたっては、筑波研究学園都市に位置する本学の強みを最大限に発揮できる仕組みとして、国立研究開発法人や民間企業等との協議体を母体とする「協働大学院」方式を開発・導入した。(I『2-1. トランスボーダー連携によるグローバルな人材育成の推進』に詳述)
- 人文社会科学研究科における「ミッションの再定義」を踏まえた組織の見直し
人文社会科学研究科において、「ミッションの再定義」を踏まえて社会科学分野の専攻の改組再編を行った。(IV『4. ミッションの再定義を踏まえた専門分野の振興』に詳述)

2. 優れた人材を育成・処遇する制度の整備

- 全学年俸制教員評価実施委員会 (7月、10月、11月、3月の計4回開催) において、平成27年度の年俸制教員の評価を行い、年俸制教員業績給 (区分Ⅰを1人、区分Ⅱを16人、区分Ⅲを15人) 及び年俸制教員特別手当 (区分Ⅰを3人、区分Ⅱを15人) を支給する者を選考した。
- 年俸制の効果的な活用により、優れた教員、若手・女性・外国人教員の採用を推進し、平成27年度末時点で年俸制を適用している教員は474名、外国人教員130名、女性教員351名、若手教員 (満39歳以下) 451名となっている。また、平成27年度末時点でテニュアトラック制適用の教員は、291名となっている。
- サバティカル制度は、本格導入後の3年間においてすべての組織 (系) で実施され、平成27年度の利用は8組織・19名となっている。

3. ダイバーシティ・男女共同参画に関する施策の推進

- ゆりのき保育所及びそよかぜ保育所を統合した保育所を平成27年4月に開所し、両保育所の入所定員数合計数を維持しつつ全教職員対象及び通年開所とすることにより、利用者の利便性の向上を図った。
- 本学の女性教員の割合は第2期において2.6%増の17.8%、事務系・技術系の女性職員の割合は3.7%増の42.1%となった。

4. 事務組織の編成見直し及び業務の改善・効率化

- グローバル・コモンズ機構の国際交流支援部門の事務組織を学生部に移管し学生交流課を設置することにより、スーパーグローバル大学創成支援事業推進によるキャンパスの国際化等を踏まえ、日本人学生及び留学生への対応・支援機能を一元化した。また、9つのエリア支援室にエリア・コモンズ要員を配置し、エリア支援室のグローバル化対応業務の高度化を図った。

5. 外部資金等自己収入増加に向けた施策の推進

- 平成26年度に産業技術総合研究所と開始した「合わせ技ファンド」について、平成27年度は産総研以外の筑波研究学園都市内の研究機関（理研バイオリソースセンター、医療基盤・健康・栄養研究所、長類医科学研究センター、NIMS）に拡大し、つくば産学連携強化事業として展開した結果、社会実装を目指すテーマ35件の応募があり、12件を採択した。本学は15,000千円の資金を提供した。3月には、産総研・筑波大学合わせ技ファンドピッチ会を開催した（17件の研究成果の発表）。
- 筑波研究学園都市の先端的技術シーズをイノベーションにつなげる能動的な活動としてプロモーションイベントを企画し、積極的に技術シーズの売り込みをするイベントを2回実施した。本イベントでは、ベンチャーキャピタル、投資家、金融機関及び事業会社に対して、具体的な事業構想・計画を持って価値提案をするという新たな試みを行った。
- 外部資金等を事業運営費として開発研究組織を創設し、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官による協働研究体制を構築した。
- 産学がアンダーワンルーフで共同研究を進め、超高齢日本社会の安全・安心を保証する革新的医療を確立し、産業と雇用を創出することを目的として、平成25年3月に国際科学イノベーション拠点推進事業に慶應義塾大学と共同申請した「高細精医療イノベーション拠点」が採択され、平成27年度に高細精医療イノベーション研究コアが新設された。同年7月には、本研究コアの活動拠点となる高細精医療イノベーション棟が竣工した。
- グローバルな製薬メーカーとの海外大型共同研究を強化した結果、平成27年度外国企業との共同研究受入額が前年度に比べ7倍となった。

6. 資産の効果的・効率的な運用管理

- 老朽化した大型車庫2棟を取り壊した跡地に共用スペース（本部アネックス棟）を整備し、大学の機能強化を図った。平成26年度に策定したつくば地区職員宿舍用途廃止計画及び職員宿舍再開発整備計画に基づき、平成28年度以降の職員宿舍敷地の活用・譲渡等に向けて、竹園3丁目宿舍（竹園3丁目36番を除く）の新規の入居を停止、並木3丁目職員宿舍及び松代5丁目外国人教師等宿泊施設入居者の退去が完了し用途廃止した。売却予定の並木3丁目職員宿舍敷地については、本年2月に国会に提出された「国立大学法人法の一部を改正する法律案」を踏まえ、有効活用の方策について再検討を行った。

7. 自己点検・評価の改善・充実

- 「年度重点施策方式」に基づき、自己点検・評価を着実に実施した。一方で、第3期を迎えるにあたり、現状の年度重点施策方式について検証を行った結果、より評価を実質化し業務の削減を図る観点から、自己点検・評価と中期計画の進捗管理を切り離すことを基本とした新たな策定方針を定め、各組織の負担を軽減しつつもPDCAサイクルが確保されるよう、新方式に移行することとした。

8. 最先端の知識情報基盤としての附属図書館機能の充実

- 中央図書館のラーニング・コモンズの点検・評価については、平成27年1月に実施したアンケートの分析に基づき、「グループ学習スペースの拡張」、「ライティング支援の強化」を重点課題として抽出した。グループ学習スペースについては、既存の書架・資料の移動によりエリアの拡張を図った。ライティング支援に関しては、類似の取組を行っているグローバル・コモンズ等と協力体制を構築し、TAの研修体制等について検討を行ったほか、全学のライティング支援の取組を集約した「筑波大学ライティング支援ポータル」を図書館サイト内に開設した（CSI-9の成果）。また、学習支援サービスの定常化・体系化のために従来の業務内容の点検を行い、学習・教育支援の体系図を策定し、今後の実施計画の拠り所と位置づけた。学習支援については、専門図書館においても、各分野に応じた講習会・セミナー等を開催するとともに、教員と連携した資料展示を年間を通じて企画するなど活発に展開した。さらに、利用者から強い要望が寄せられていた筑波地区内の図書取り寄せサービスの試行を開始した。
- ラーニング・コモンズにおける学習用コンテンツの充実を図るために26年度に改訂した取書方針により、パソコンスキル、プレゼンテーション技術、レポート作成技術の向上のためのアカデミックスキルズ図書、英語多読本や語学試験対策本、就職対策や各種資格試験対策となる就職関連図書の充実を図った。
- 英語多読本の利用を促進するため、多読を研究対象とする学内の教員と協力して、大学院生を講師とした「多読入門セミナー」を3回開催し、合計142名の参加者を得た。

- ・ 開館時間については、3年間の試行を通じて、中央図書館の利用実績が大きく向上し、利用者の高い評価と併せて、学習時間の確保・増加の促進に開館時間の延長が有効であることが示されたため、平成27年度から通年での正式運用を実施した。
- ・ 筑波地区専門図書館の開館時間を30分早め、中央図書館と同様の8時30分開館とした。さらに、医学図書館では医学類の授業実施期間に合わせ、休業期間中でも開館時間の延長を行ったほか、大塚図書館においても年末年始の時間外開館を実施し、利用者サービスの拡充を行った。

9. 大学情報の戦略的な発信及び体制の充実

- ・ 独創的・先端的な研究成果をはじめとする本学の特色・魅力を発信するため公式英語ウェブサイトの全面リニューアルを実施した。具体的には、本学への留学希望者や海外の研究者等が必要とする情報に容易にアクセスできるようにサイト構成の見直しを行い、グローバルな研究大学として世界にアピールすべく英語コンテンツの充実を図った。公開後は積極的なアクセス解析に努め、それを基に、さらにユーザビリティを高めるべく改善を進めることとした。

10. 教育研究活動の高度化を支える施設マネジメント

- ・ 平成27年8月にグローバルレジデンス整備事業の契約を締結し、留学生・日本人学生のシェアルーム型で高機能な学生宿舎（500人規模）を整備中である。短期留学生の宿泊施設として、一の矢学生宿舎3棟を整備した。当整備事業により、グローバル人材育成及び国際性の日常化を推進する。その他、平成26年度補正予算により人文社会学系棟(Ⅲ期)改修工事など施設整備を実施し、また、PFI事業として生命科学動物資源センターと附属病院再開発事業を着実に実施した。さらに、第2サッカー場人工芝敷設工事を現物寄附受により着手した。
- ・ 講義室の使用状況調査を実施し、実態を把握した。また施設使用状況調査業務の簡素化とタイムリーな情報が得られる施設管理システムを導入した。平成28年度のスペースチャージ制度の実施に向けて「スペースチャージ運用ガイドライン」を制定した。

11. 安全管理及び危機管理の充実

- ・ 教職員一人一人が健康で生き生きと働くことのできる職場環境作りに向けて、主に管理監督者を対象としたメンタルヘルス講演会を開催し、本学産業医から、仕事に対する時間的裁量権や達成感の付与などの労務管理のポイントについて説明を行った（参加者129名）。さらに、平成28年度からスタートするストレスチェック制度について、平成27年6月、ワーキンググループを設置して本学に適した実施方法の検討を重ね、平成28年3月、ストレス調査票の作成や集団分析を請け負う委託機関との契約を締結した。
- ・ リスクマネジメントポリシーのもと、学内外において発生したリスク事案の情報を、全学リスク管理室に集約させ、総務担当副学長の指揮により、速やかに学長はじめ執行部への報告、関係の事務担当へ連絡・連携を行う体制で運用できた。また、学生部と連携したセーフティプロジェクトの活動として、学生の安全意識の啓発を目的とした安全キャンペーン週間において、朝夕の交通安全指導を実施した。
- ・ 部局ISIRTの設置及び情報セキュリティ専門委員会の設置による体制強化及び情報セキュリティに関する、平時、有事の体制構築のため、「インシデント対応手順」及び対応フローの見直しを図った。
- ・ 情報セキュリティリスク管理室については、民間のIT関連会社より専門家を登用し、情報セキュリティリスクマネジメント体制の構築及び、部局ISIRTを対象としたセキュリティ監査及び各組織へのセキュリティアンケート調査実施による、情報セキュリティの強化を行った。
- ・ eラーニングの情報セキュリティ教育については、特に教職員の受講促進を強化し、28年3月31日時点において、教員83%、事務・技術等職員92%の受講率となり、25年度以降の教職員実施開始からそれぞれ30%以上の受講率が上がるなど、教職員の意識向上が図られた。

12. 法令遵守意識の向上及び内部牽制体制の整備

- ・ コンプライアンスの概要や遵守事項について解説したコンプライアンスマニュアルについて改訂を行い、さらに内容を充実させるとともに、教職員個人及び役職員別に、コンプライアンス事案ごとに対応すべき事項をまとめた「大学教職員コンプライアンスチェックリスト」を作成し、教職員全員に対して通知し、一層の注意喚起・啓発活動を推進した。
- ・ 新任職員を対象にコンプライアンス研修を行うとともに、階層別（主任、係長、副課長級）研修参加者の全体講習時に、外部講師による日常起こりやすい事例紹介等をテーマとしたコンプライアンス研修(平成

27年9月7日実施。出席者118名)を実施した。

- ・ 上位の法令や規則等との整合性や用語の統一性等を確認し、改正事項の洗出しを行う学内規則の総点検・見直しを実施した。また、「国立大学法人筑波大学における組織としての利益相反ポリシー」の制定をし、関係規則等の整備をするとともに、利益相反に関わる問題に対する学内外からの相談(45件)に利益相反アドバイザー等が対応した。

Ⅲ. 戦略的・意欲的な計画の取組状況

<該当する計画>

「国際的通用性のある教育システムの構築を目指し、欧米における大学間チューニング(専門分野別に学位の互換性を認め合うための調整)の調査・研究を行うとともに、企業・研究機関やボルドー大学(フランス)等の海外大学と連携した、ライフサイエンス分野における学位プログラムの平成29年度までの導入に向けて制度設計・構築を行う。」

- ・ 欧米における大学間チューニングの調査研究として、ボルドー大学、カリフォルニア大学アーバイン校及びバークレー校の訪問調査等を行った。これまでの調査研究により、欧州の大学と米国の大学でそれぞれ異なる質保証の仕組みの特徴を踏まえた上で、国際的互換性を備えた教育システムとしての学位プログラム制の確立に向けた検討を進め、全学の教育会議で提案を行った。また、調査結果等を踏まえて、科目ナンバリング制の設計、GPA制度の検証・見直しを行った。
- ・ 「ライフイノベーション学位プログラム」を開設し、平成27年10月から学生受入を開始した。開設にあたっては、筑波研究学園都市に位置する本学の強みを最大限に発揮できる仕組みとして、国立研究開発法人や民間企業等との協議体を母体とする新たな「協働大学院」方式を開発・導入するとともに、オックスフォード大学やモンペリエ大学など海外の有力大学とも連携して17名の外国人教員がプログラムに参画するなど、国際的に魅力ある教育内容・教育システムを構築した。
- ・ 「グローバルイノベーション学位プログラム」(仮称)については、本学、ボルドー大学及び国立台湾大学の3大学間でジョイント・ディグリー・プログラムの開設に向けて取り組む旨の確認書を取り交わし、平成29年度開設に向けて具体的協議を進めた。また、本プログラムの開設に先行して、本学生命環境科学研究科とボルドー大学、及び同研究科と国立台湾大学との間で、それぞれ平成27年度からダブル・ディグリー・プログラムを開始した。

Ⅳ. 「今後の国立大学の機能強化に向けての考え方」を踏まえた取組状況

1. 国際水準の教育研究の展開及び留学生支援

- ・ スーパーグローバル大学創成事業における大きな柱であるCiCについては、平成35年度までに13の海外大学と協定を結ぶこととしており、平成27年9月にボルドー大学(フランス)及び国立台湾大学(台湾)との間でCiC協定を締結した。また、両大学及び既にCiC協定に合意しているカリフォルニア大学アーバイン校(アメリカ)の本学におけるオフィスを開設し、学生・教職員のモビリティを高めるための基盤を整備した。さらに、学生のモビリティを高めるための施策として、科目ジュークボックスの開発を進め、運用を開始したほか、新たに3つ(研究重点型2件、教育重点型1件)の教育研究ユニットを招致し、研究のトランスボーダー化を推進した。
- ・ 企業・研究機関や海外大学と連携したライフサイエンス分野の学位プログラムとして、協働大学院方式による「ライフイノベーション学位プログラム」を開設し、平成27年10月から学生受入を開始した。また、海外大学との共同学位プログラムとして構想している「グローバルイノベーション学位プログラム」(仮称)について、平成29年度の開設に向けて、本学、ボルドー大学、国立台湾大学の3大学間で具体的協議を進めた。大学間チューニングについては、欧米の大学の質保証システムを調査・研究し、今後の具体的取組について検討・提案を行った。

- ・ 日本人学生・留学生支援のワンストップサービス実現に向け、グローバル・コモンズ機構国際交流支援部門と学生部を合同改組するとともに、チューターによる渡日後間もない留学生への定着支援以外に、日本人学生がサポーターとなって身近な情報提供を常時行う「Ask Us Desk」を設けて留学生対応の充実を図った。
- ・ 各エリア支援室にエリア・コモンズ担当を配置し、エリア支援室のグローバル化対応業務を支援し、部局における国際交流に係る活動支援体制の拡充及び教育研究現場と本部との情報共有を図った。
- ・ 日本に興味・関心を有する留学生を対象に、高度な日本語能力と日本の文化・社会を理解させ、農業、ヘルスケア、日本芸術、日本語教育の4分野いずれかの専門的能力を身につけさせるJapan-Expert（学士）プログラムの開設準備を平成27年4月から開始してカリキュラム編成を行い、コーディネータ教員を採用のうえ平成28年3月に学生募集を開始した。
- ・ IB教育システムの開発に着手し、学位プログラム設計や附属学校のIB候補校認定を行った。
- ・ 世界レベルの研究を推進するため、海外の優れた研究機関と連携した拠点形成を目指し、海外教育研究機関のユニット招致を新たに2件（研究重点型計4件）開始した。また、平成27年度においてURA20名を雇用し、研究企画、研究戦略、産学連携、外部資金調達等の業務に取り組んだ。本部と部局を有機的に連携する機能を充実させ、さらなる研究支援体制の強化を図った。平成28年度に「URA研究戦略推進室」を設置する方針を決定し、全学的な観点からの、さらに機動的かつ効果的なURAの活用が期待される。

2. 人事・給与システムの弾力化

- ・ 年俸制の効果的な活用により、優れた教員、若手・女性・外国人教員の採用を推進し、平成27年度末時点で年俸制を適用している教員は474名、外国人教員130名、女性教員351名、若手教員（満39歳以下）451名となっている。また、平成27年10月に混合給与に係る学長決定の見直しにより「ジョイント・アポイントメントシステム」を「クロスアポイントメントシステム」に変更し、平成27年度末時点での混合給与の実施状況は「ハイブリッドサラリーシステム」1件、「クロスアポイントメントシステム」7件となった。

3. ガバナンス機能の強化

- ・ 大学戦略室の設置を決定
およそ10年後、我が国の国立大学が直面すると想定される困難な状況にあっても、本学が研究大学としてのアクティビティを維持し、国際的な大学間競争を戦っていくことを可能とするための戦略モデルを複数提示し、国立大学法人としての方針選択、戦略決定に資するため、学長直轄となる大学戦略室の設置を決定した。
- ・ 筑波大学基本構想概要2015を策定
中期目標・中期計画とは別に、今後10年間の構想をまとめ、学内会議において役職教員に対し示した。

4. ミッションの再定義を踏まえた専門分野の振興

- ・ 人文社会科学研究科において、「ミッションの再定義」を踏まえて次のとおり社会科学分野の専攻の改組再編を学位プログラムとして行った。（平成27年度設置）
 - ・ 国際地域研究専攻(M) 入学定員45人→36人（▲9人）
 - ・ 国際日本研究専攻(M) 新設 入学定員25人
（経済学専攻(M) 廃止 入学定員▲9人）
（法学専攻(M) 廃止 入学定員▲7人）
 - ・ 国際日本研究専攻(D) 入学定員9人→19人（10人増）
（経済学専攻(D) 廃止 入学定員▲5人）
（法学専攻(D) 廃止 入学定員▲5人）
- ・ 本学と鹿屋体育大学との連携により、平成27年度から両大学による共同学位プログラムを先行実施するとともに、共同専攻の設置準備を進め、平成28年度に次の共同専攻を設置することが決定した。
 - ・ スポーツ国際開発学共同専攻(M) 入学定員5人
（体育学専攻(M) 入学定員▲5人）
 - ・ 大学体育スポーツ高度化共同専攻(D) 入学定員3人
（スポーツ医学専攻(D) 入学定員▲2人）
（コーチング学専攻(D) 入学定員▲1人）

本事業は、国立大学改革強化推進補助金の支援を受けて実施しており、平成27年7月に実施された同補助金の中間評価においては、「計画以上に事業が進捗しており、当初の目的以上の成果を達成することが可能と判断され

る」との最も高い評価結果を得た。

- 最先端の生命・認知脳科学を導入した次世代健康スポーツ科学や先端スポーツテクノロジーにより身心の活力低下問題の解決を図るスポーツ立国戦略を先導する拠点として、部局附属教育研究施設となるヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センターを体育系に設置した。

II 本学の重点施策と自己評価

教育

1. 平成 27 年度重点施策並びに改善目標に記載されている事項についての達成状況等

〔平成 27 年度の実施方針〕

教育推進部では、平成 27 年度施策のポイントを『第 2 期中期目標・中期計画の最終年度及び第 3 期中期目標・中期計画のための加速期間』としてとらえ、入試改革を含めたグローバル人材の育成の検討、学位プログラム制への移行に向けたプロセスの整理、グローバル人材育成に向けた教育システム開発の検討を行い、国際的に質保証された教育システムへの改善・改革に向けて取り組む。

〔重点施策の達成状況〕

第 2 期中期目標・中期計画の最終年度としてこれまでに実施した施策を点検検証し、さらに第 3 期中期目標・中期計画に向けて加速させることを意識して、次の施策に取り組んだ。

- 第 3 期中期目標期間における学位プログラム制への全面的移行を見据えて、学位の国際的通用性と教育課程の体系性の点検を行うとともに、科目ナンバリング制の導入に向けた全学的な枠組の決定や GPA 制度の見直しなど、教育システムの整備を行った。
- 分野横断型の学位プログラム等の整備・支援、新たな協働大学院制度の導入、教師力開発推進室の設置、デュアルディグリープログラムの拡充、鹿屋体育大学と本学との共同専攻の設置準備、IB 教員養成学位プログラムの開設準備など、本学の強み・特色を生かした取組を推進した。
- 大学における入試改革を先導する IB 特別入試を含むグローバル入試を推進・実施するとともに大括り入試の導入に向けた検討を行った。

(1) 学群スタンダードの検証を基に、専門的能力を踏まえた学士課程全体の教育の実践を継続する。

学群スタンダードに基づく教育実践を継続して行った。また、第 3 期中期目標期間における学位プログラム制への全面的移行を見据えて、各学群・学類における学位の国際的通用性と教育課程の体系性の点検を行った。

(2) 「筑波スタンダード（学士課程全学版）」の公表（Web 及び冊子）を引き続き行っていく。

平成 27 年度版への更新作業を行った上で、web 及び冊子により、新入生への配付・説明や社会への公表を行った。

(3) 学群スタンダードにおける教育課程編成・実施の方針の検証を踏まえて体系化・構造化された教育課程の編成と実践を継続する。また、科目ナンバリング制については、策定した具体案をもとに導入の準備を行うとともに、アクティブ・ラーニングについては、取り組みの推進を継続する。

教育課程の順次性・体系性を担保する「科目ナンバリング制」の全学的枠組みを決定した。これに基づき、平成 28 年度にナンバリングコードを付与することとしており、その準備として本部及び部局の教務関係職員を中心としたスタッフ・ディベロップメント（SD）を実施した。

(4) TWINS 等を活用した教育情報分析システムの実践や抽出した課題等をカリキュラムの改善等に活用し、効果を検証する。

総合科目等の共通科目において、授業科目の開設情報を抽出・分析し、開設カテゴリー別の科目数、単位数の適正化及び選択する区分における対象科目数や分野が偏らないように努めた。また、共通科目の国語、情報、教職科目においては、TWINS による授業アンケートを実施し、授業の改善を図っている。

(5) 「教養教育スタンダード」の公表を継続する。

平成 23 年 3 月に公表した「教養教育スタンダード」について、高年次教養教育の検討を行い、社会で活躍するために必要な広い視野と学際的なものの見方、国際性及び社会適合性を涵養する事を目的とし、平成 27 年度入学者から、3～4 年次で 1 単位を必修として開設する総合科目Ⅲの開設を始め、各共通科目の見直しを反映させた、「教養教育スタンダード」改訂版を平成 27 年 3 月に公表した。

(6) 学生の満足度調査を踏まえ、教養教育機構評価委員会により教養教育改革の実施について検証する。

教養教育各担当では、学生のアンケート等を基に随時検証を行っており、事例として総合科目では学

生の満足度が低い科目について学類に分析・検討を促して状況を改善させるなどの成果を上げている。第2期中期計画の総括として、平成27年度に教養教育機構会議に「企画評価委員会」を設置し、教養教育改革の実施について検証した。

(7) 「筑波スタンダード（大学院全学版）」の実施状況を検証する。

第3期中期目標期間における学位プログラム制への全面的移行を見据えて、各研究科・専攻における学位の国際的通用性と教育課程の体系的点検を行った。

(8) 大学院共通科目の検証を踏まえ、実施を継続する。

先導的な大学院共通科目実施の実績を踏まえ、大学院教育の更なる発展・充実の礎とするため、FD研修会を開催した。また、大学院共通科目委員会において、開設時からの実施状況について検証し、今後の科目開設について検討を行った。

(9) 分野を横断する学位プログラム等の整備を推進・支援する。

企業・研究機関や海外大学と連携したライフサイエンス分野の学位プログラムとして、「ライフイノベーション学位プログラム」を開設し、平成27年10月から学生受入を開始した。(国立大学の機能強化「国際的通用性のある教育システムの構築」事業)本プログラムの開設にあたっては、筑波研究学園都市に位置する本学の強みを最大限に発揮できる仕組みとして、国立研究開発法人や民間企業等との協議体を母体とする新たな「協働大学院」方式を開発・導入した。

(10) デュアルディグリー制度を社会の要請に応じて随時見直していく。

また、海外の大学院とのデュアルディグリープログラム等を継続して推進していく。

①研究科間デュアル・ディグリー・プログラム：平成27年度から、新たに3つのプログラムを開始した。

②海外の大学とのダブル・ディグリー・プログラム：平成27年度から、新たに4つのプログラムを開始した。

③海外の大学とのジョイント・ディグリー・プログラム：2つのプログラムの開設に向けてパートナー大学と協議を行っている。

(11) 鹿屋体育大学との連携による体育・スポーツにおける共同専攻の設置に向けて、共同教育プログラムの実施、共同専攻設置申請を行い、入学試験を実施する。

鹿屋体育大学と体育・スポーツ分野における次の2つの共同学位プログラムを開設し、平成27年4月から学生受入を開始した。

・スポーツ国際開発学共同学位プログラム（修士課程）

・高度大学体育指導者養成共同学位プログラム（3年制博士課程）

上記学位プログラムを先行的に実施しながら共同専攻の設置に向けた検討を進め、大学設置・学校法人審議会を経て平成28年度に共同専攻を設置することが決定し、入学試験を実施した。

これらの取組は、国立大学改革強化推進補助金の支援を受けて実施しており、平成27年7月に実施された同補助金の中間評価においては、「計画以上に事業が進捗しており、当初の目的以上の成果を達成することが可能と判断される」との最も高い評価結果を得た。

(12) 「国際的通用性のある教育システムの構築」を目指し、筑波スタンダードの実証及び検証を行い、共同パイロット授業を開発・実施し、共同教育プログラムを構築する。

①【9の再掲】企業・研究機関や海外大学と連携したライフサイエンス分野の学位プログラムとして、「ライフイノベーション学位プログラム」を開設し、平成27年10月から学生受入を開始した。(国立大学の機能強化「国際的通用性のある教育システムの構築」事業)本プログラムの開設にあたっては、筑波研究学園都市に位置する本学の強みを最大限に発揮できる仕組みとして、国立研究開発法人や民間企業等との協議体を母体とする新たな「協働大学院」方式を開発・導入した。

②「グローバルイノベーション学位プログラム」(仮称)の具体化に向けて、本学、ボルドー大学、国立台湾大学の3大学間でジョイント・ディグリー・プログラムの開設に向けて取り組む旨の確認書を取り交わし、協議を進めた。

また、ジョイント・ディグリー・プログラムの開設に先行して、本学生命環境科学研究科とボルドー大学、及び同研究科と国立台湾大学との間で、それぞれ平成27年度からダブル・ディグリー・プログラムを開始した。

③欧米における大学間チューニングの調査研究として、ボルドー大学、カリフォルニア大学アーバイン校及びパークレー校の訪問調査等を行った。これまでの調査研究により、欧州の大学と米国の大学でそれぞれ異なる質保証の仕組みの特徴を踏まえた上で、国際的互換性を備えた教育システムとしての

学位プログラム制の確立に向けた検討を進め、今後の具体的取組として全学の教育会議で提案を行った。

- (13) 「国際バカロレア教育研究システムの開発」を目指し、全学的な検討体制を整備するとともに、IB 教員養成学位プログラム及び IB 教育を導入するためのカリキュラムの調査研究等を行う。

①教育研究科において平成 29 年度に IB 学位プログラムの学生受入れを目指して教育課程の編成、学生受入れの方針等を作成した。また、平成 28 年 3 月には開講科目等の認定を受けるために、国際バカロレア教員資格認定チーム (IBEC) の訪問を受けた。

②附属学校においては、平成 29 年度からの IB 認定校 (DP) としての生徒受入れに向けて取り組み、第一段階として平成 27 年 9 月 1 日から IB プログラム候補校として認定を受けた。更に、IB 教員としての認定を受けるためのワークショップの参加、認定校として求められる施設設備に対応した。

- (14) グローバル化を踏まえて再設定した学士課程における特別入試の枠組みに基づき、国際バカロレア特別入試を含むグローバル入試を検証する。

グローバル入試について、各実施教育組織において、アドミッションポリシー、入試実施方法・体制、実施結果、入学後の状況等の観点から検証が行われ、その結果抽出されたグローバル入試の課題について、全学学群入試改革検討委員会において国際バカロレア特別入試の実施時期や入学時期などについて検討を行った。

- (15) 大学院スタンダードに基づく各教育組織の教育の実情を検証する。

【7 の再掲】第 3 期中期目標期間における学位プログラム制への全面的移行を見据えて、各研究科・専攻における学位の国際的通用性と教育課程の体系性の点検を行った。

- (16) 大学院（特に博士課程）における社会人受入れ推進のフレーム化の検討を行う。

社会人受入れの充実等に向けた方策として、博士後期課程早期修了プログラムを推進するとともに、長期履修制度の実施研究科を拡大（人文社会科学研究科、平成 27 年度～）した。

- (17) 大学院学生募集要項の Web 化を推進するとともに、入学願書の Web 出願システムの推進及び先行のシステムを検証する。

大学院学生募集要項はすべての研究科において Web 化され、紙媒体の募集要項はなくなり、新たに実施する入試においても同じく Web 化された。

また、Web 出願システムは生命環境科学研究科及び人間総合科学研究科（体芸・学際系）において新たに導入され、推進化が図られた。

さらに、先行開発した Web 出願システムを検証し、パッケージ化を行い、今後の新たなシステム導入の加速化と経費削減を図った。

- (18) 入試戦略（入試結果解析・広報）に関する機能を検証する。

大学院学生募集要項の Web 化を完成・継続し、さらに進化させた Web 出願システムの導入を引き続き推進した。Web 出願システムにより、情報一元化・即時対応が可能になるなどの業務効率化が実現でき、入試業務負担を軽減させた。

- (19) 履修状況に関する評価方法に基づく追跡調査により、成績評価の質の向上を実証する。

「シラバス作成のガイドライン」を基に各科目の成績評価基準の明確化を指示するとともに、国際的互換性を備えたシラバスへの発展を目指し、ガイドライン見直しに向けて検討を行っている。

- (20) GPA 等の経年変化調査により教育の質を検証する。

GPA 制度導入後（平成 25 年度以降）も教育組織別 GPA 分布や成績評価の割合等について調査・分析を行い、国内外大学の状況調査も踏まえ、教育企画室会議にて検証を実施した。その結果、平成 28 年 4 月 1 日より GPA 評価点の改定を行う事になった。

合格評価点の最低点を 1 点から 2 点に変更し、米国平均値から明らかに低い状況であった本学の GPA を引き上げ、学生の留学や単位互換を円滑に進められる事が期待できる。また、A+の評価点を 4.3 とすることで「極めて優秀」な成績評価を GPA に反映し、学生の学習意欲へのインセンティブ及びより厳格な成績評価を適切に行う事への指針とする。

- (21) 大学院における達成度評価システムの基本的事項について検証する。

「大学院スタンダード」において学位ごとに定めている「達成度評価」及び「学位授与の体制」について、各研究科・専攻において検証の上、平成 28 年度に向けて必要な改訂を行った。

- (22) 学位の質保証システムについて内部検証を行う。

昨年度に博士の学位論文審査体制、学位審査基準等に基づく厳格な学位審査を実施するため「博士の

学位審査等に関する全学的な指針」及び「博士論文研究基礎力審査に関する全学的な指針」を踏まえた学位の質保証システムを全学の教育会議において策定したことをふまえ、本年度においては各研究科において質保証システムとの比較検証等を実施した。

- (23) 教育企画室を中心に教育の質保証の企画立案・推進支援を行うとともに、グローバル教育院において分野を横断する学位プログラムの実施・運営を行う。また、新たに教師力開発の推進・支援を行う体制の整備及び方策を策定する。

①教育企画室において、学位プログラム制への移行を中心に国際的互換性のある教育の質保証システムについての検討を行った。

②グローバル教育院において、平成 27 年度から新たにライフイノベーション学位プログラムの運営を開始した。同教育院では、現在、3つの学位プログラムを運営している。

③平成 27 年 4 月にグローバル教師力開発推進室を設置し、グローバル化に対応した人材育成を担う教員を養成するため、教職課程の検討事項の整理等を行った。

- (24) 教育 PDCA サイクルについて全学共通の教育についての実践を継続する。

学士課程と大学院課程の双方について、教育の質の向上と保証に向けた不断の取組として「筑波大学ファカルティ・ディベロップメント」の在り方を明確化し、「学群スタンダード」及び「大学院スタンダード」で公表しており、これに基づき教育の PDCA サイクルを継続して実践した。

- (25) 教育の実質化に向けた学士課程及び大学院課程のフレームワークを踏まえて、施策を実践する。

フレームワークを踏まえて、GPA 制度の検証・見直しや科目ナンバリング制の枠組みの決定など、各種施策を実施した。

- (26) 教育支援の効果を検証する。

「革新的な教育プロジェクト支援事業」「TA・TF を活用した主体的学修を促す教育推進事業」等を実施して各教育組織における意欲的な取組を支援し、その効果の検証を行った。

- (27) 各教育組織における FD 活動報告書を毎年度作成し、公表する。

全学及び各教育組織における FD 活動状況の調査を行い、「筑波大学ファカルティ・ディベロップメント活動報告書」としてとりまとめ、web 及び冊子により公表した。

- (28) TA・TF 制度を活用する教育プロジェクト等の推進支援を継続する。

「TA・TF を活用した主体的学修を促す教育推進事業」を実施し、新規 9 件、継続 6 件の支援を行った。

- (29) e-Learning 推進のフレームワークに基づき、システムの活用を推進する。

e ラーニングシステム（学修管理システム、遠隔講義・自動収録システム、OCW）の整備と利用促進を進め、各教育組織の特性等に応じて活用した。

- (30) 新たな CALL システムによる自学自習環境機能の高度化を図る。

CALL システムを更新するとともに、自学自習の充実を図る目的から、オンライン教材として ALC ネットアカデミー、スーパー英語 Academic Express 2 を整備し、予習の充実、自学自習の推進など授業外での活用充実を図った。また、大学院学生及び教職員も利用できるよう機能を強化した。

- (31) 2 学期制の課題を抽出し、改善を図りながら継続して実施する。

教育企画室を中心に部局等との意見交換を行いながら、新たな学期制における C モジュール（各学期の最後のモジュール）を有効に活用して学群学生の英語力や国際性の向上を図る 2 つのプログラムを計画し、平成 27 年度から開始した。一つは専門分野別に内容をオーダーメイドした短期海外留学プログラムであり、平成 27 年度に生命環境学群で先行実施し、次年度以降他学群に拡大することとしている。もう一つは集中英語学習プログラムであり、全学対象として実施している。

- (32) 教員免許状更新講習の実施結果の検証を行い、現行法制度の下での講習を充実させるとともに、平成 28 年度からの法制度の改正に伴う準備を行う。

また、新たな履修証明プログラムの開発促進を行う。

①総合大学の特色を活かし、教科指導、生徒指導に関する講習（選択講習 B）及び教育の充実に関する講習（選択講習 C）を昨年度より 7 講習増やし、受講者のニーズに合った講習が選択できるようにするとともに、講習の充実を図った。また、受講者評価書（事後アンケート）の結果を検証して、講習担当講師へ速やかにフィードバックし、次の講習の際に講習方法や資料、試験問題の設定などの改善を行った。

②文部科学省「免許更新制高度化のための調査研究事業」に採択され、「教員免許更新制及び免許状更新講習の需要把握及び効果検証に関する調査研究事業」を実施した。本事業 3 年目となる本年度は、必

修講習の場を活用したアンケート調査等を行い、受講者や担当講師からニーズや現行の課題等に関する詳細な情報を収集し、平成 28 年度から導入される「必修領域」と「選択必修領域」に求められる内容について提案した。

③履修証明プログラムについては、平成 27 年 4 月から新たに「多職種連携メディカルスタッフ教育プログラム」(医療科学類)を開始し、全 4 プログラムを実施している。なお、「多職種連携メディカルスタッフ教育プログラム」は、平成 27 年度職業実能力育成プログラム (BP)に申請し、認定を受けた。

(33) 東京キャンパスの昼間利用のための実施プログラムの検証を踏まえた効果的なプログラムの開発を行う。
東京キャンパスを利活用したプログラムとして、一般公開講座・現職教育講座 (26 講座)、重点公開講座 (3 講座) 及び教員免許状更新講習 (必修領域 2 講習、選択領域 21 講習) を実施した。

(34) 公開講座の充実を図るとともに、高大連携等を推進する。
また、実施プログラムを検証し、効果的なプログラムを開発する。

①公開講座は、全 72 講座 (受講率は 85%超) を実施した。また、受講者アンケートにおいて満足が 80%、やや満足が 16%の結果を得た。

②高大連携では、Web による出前講義申込み 184 件 (前年比 30 件増) について、ほぼ対応できた。また、茨城県・近隣高校・附属学校・被災地に位置する高校との高大連携に努めた。

③平成 26 年度 JST の「グローバルサイエンスキャンパス」事業に採択された GFEST (未来を創る科学技術人材育成プログラム) は、継続してトップ層の高校生を中心にグローバルな視野を持った科学技術人材育成を目指した質の高いプログラムを提供した。

(35) 連携大学院制度の改善を促進するとともに、研究学園都市における連携を継続して推進、支援する。

筑波研究学園都市に位置する本学の強みを最大限に発揮できる仕組みとして、国立研究開発法人や民間企業等との協議体を母体とする新たな「協働大学院」方式を開発し、これを導入したライフイノベーション学位プログラムを平成 27 年度に開設した。

(36) 科目ジュークボックスの構築に係る設計・開発、設備導入及び科目の蓄積を行う。

①科目の蓄積：各教育組織に対応して、科目 JB に提供可能な科目を照会し、平成 27 年 5 月、提供された約 150 科目を大学 HP で公開した。

②設備導入：システム管理を行うサーバを導入し、システム設計・開発の準備を整えた。

③設計・開発：システム設計・開発のために、担当教員及び補助を行う職員を採用し、科目 JB のシステム設計・開発を進め平成 28 年 3 月 15 日公開に至った。

(37) 新たな学士課程学位プログラムの開設に向け、検討組織の設置、コーディネータ教員の配置及びカリキュラムの編成を行う。

日本に興味・関心を有する留学生を対象に、高度な日本語能力と日本の文化・社会を理解させ、農業、ヘルスケア、日本芸術、日本語教育の 4 分野いずれかの専門的能力を身につけさせる Japan-Expert (学士) プログラムの開設準備を平成 27 年 4 月から開始してカリキュラム編成を行い、コーディネータ教員を採用のうえ平成 28 年 3 月に学生募集を開始した。

(38) 志願状況や定員充足状況、社会的な要請等の観点から入学定員の見直しを順次実施する。

○鹿屋体育大学との共同専攻設置に向けた取組

鹿屋体育大学との連携により、平成 27 年度から両大学による共同学位プログラムを先行実施するとともに、共同専攻の設置準備を進め、平成 28 年度に次の共同専攻を設置することが決定した。

・スポーツ国際開発学共同専攻 (M) 入学定員 5 人

(体育学専攻 (M) 入学定員▲5 人)

・大学体育スポーツ高度化共同専攻 (D) 入学定員 3 人

(スポーツ医学専攻 (D) 入学定員▲2 人)

(コーチング学専攻 (D) 入学定員▲1 人)

○ライフイノベーション学位プログラムの開設

企業・研究機関や海外大学と連携したライフサイエンス分野の学位プログラムとして、「ライフイノベーション学位プログラム」(M, D) を開設し、平成 27 年 10 月から学生受入を開始した。本プログラムの開設にあたっては、筑波研究学園都市に位置する本学の強みを最大限に発揮できる仕組みとして、国立研究開発法人や民間企業等との協議体を母体とする「協働大学院」方式を開発・導入した。

○人文社会科学研究科における「ミッションの再定義」を踏まえた組織の見直し

人文社会科学研究科において、「ミッションの再定義」を踏まえて次のとおり社会科学分野の専攻の改

組再編を行った。(平成 27 年度設置)

- ・国際地域研究専攻(M) 入学定員 45 人→36 人 (▲9 人)
- ・国際日本研究専攻(M) 新設 入学定員 25 人
(経済学専攻(M) 廃止 入学定員▲9 人)
(法学専攻(M) 廃止 入学定員▲7 人)
- ・国際日本研究専攻(D) 入学定員 9 人→19 人 (10 人増)
(経済学専攻(D) 廃止 入学定員▲5 人)
(法学専攻(D) 廃止 入学定員▲5 人)

○医学群医学類の入学定員増

地域の医師確保等の必要性に対応して、医学群医学類の入学定員(1年次)を6人増員(臨時)した。

(39) 学内における分野を横断する教育組織や学位プログラム編成の基本的事項の検討・策定を行う。

策定した「学位プログラム(横断型)開設要領」に則って、人間総合科学研究科において社会のニーズを踏まえて「スポーツウェルネス学位プログラム」の検討・開設準備を進め、平成 28 年度から学生受入を行うことが決定した。

〔改善目標の達成状況〕

(1) 多様かつ優秀な学生の受入を実現するため、アドミッションセンターの機能強化に向けた取り組みを推進する。

アドミッションセンターの入試改革企画機能を強化するため、特命教授(入試改革担当)の配置及び全学学群入試改革検討委員会設置要項への同センターの役割規定を行い、英語検定試験導入やスーパーグローバルハイスクールなどの卒業者を対象とした新たな推薦要件を設定した推薦入試を導入した。また、各入試実施体制への同センター長の組込み配置し、全学の学群入試実施における同センターの役割について明確化を行った。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

国際バカロレア(IB)教育研究システムの開発に着手し、IB教員養成に対応した学位プログラム(修士課程)の設計や、附属学校におけるIB(DP)プログラム候補校としての認定を受けるなど、取組が進展した。

2. 自己評価と課題

- (1) 重点施策に関しては計画どおり実施することができた。
- (2) 全学的に学位プログラム制に移行し、国際的互換性と協働性を持った教育システムを構築することは第3期中期目標期間における中心的施策であり、平成 27 年度においてもそれを見据えて戦略的に取組を進めることができた。
- (3) 国際的通用性のある教育システムの構築に向けた戦略的・意欲的な計画を定めて積極的に取り組んだ結果、企業・研究機関や海外大学と連携した「ライフイノベーション学位プログラム」を計画よりも早期に開設することができた。また、同プログラムの開設にあたっては筑波研究学園都市に位置する本学の強み・特色を最大限に発揮できる新たな仕組みとして「協働大学院」方式を開発・導入した。
- (4) 体育・スポーツ学分野における鹿屋体育大学との共同専攻の設置に向けて、先行的に共同学位プログラムを実施しながら準備を進めた結果、平成 28 年度に 2 つの共同専攻を設置することが決定し、平成 27 年度に入学試験を実施し入学者が決定した。なお、この取組は国立大学改革強化推進補助金の支援を受けて実施しており、平成 27 年 7 月に実施された同補助金の中間評価では「計画以上に事業が進捗しており、当初の目的以上の成果を達成することが可能と判断される」との最も高い評価を得ることができた。
- (5) 大学の入試改革の先駆となる大括り入試の導入と入学者の Specialty Finding Term(高大接続システムへの改革)については、平成 28 年度運営費交付金機能強化経費(入学者選抜改革分)として予算措置されたが、計画どおり着実に遂行されるよう学内のコンセンサスや課題解決に向けた取り組みが必要である。

研究

1. 平成 27 年度重点施策並びに改善目標に記載されている事項についての達成状況等

〔平成 27 年度の実施方針〕

研究担当では、平成 27 年度施策のポイントを『研究力強化』と『社会連携』及び『外部資金獲得』に置く。重点的な取組として、『研究力強化』では URA を活用した研究支援システムの推進、世界トップレベルの研究拠点を目指すべく重点研究センター等の支援を継続し、国際的な拠点形成を推進する。『社会連携』では産学連携のさらなる底辺拡大に向けた支援等の実施、研究成果を活用した研究の推進を図る。『外部資金獲得』では URA の部局配置等の支援体制を定着させ、競争的資金等外部資金の獲得のための支援を推進するとともに技術移転マネージャーの増員を行い、支援体制を確立する。

〔重点施策の達成状況〕

【研究力強化】

- (1) 中期的な展望に立った URA を活用した研究支援システムを推進する。また、筑波研究学園都市の諸機関等との連携により、既存の学問分野を超えた共同研究を推進する。
 - ・平成 27 年度において URA20 名を雇用し、研究企画、研究戦略、産学連携、外部資金調達等の業務に取り組んだ。また、人文社会系に本部 URA を 1 名派遣するとともに、部局専従 URA を従来の生命環境系、医学医療系、数理物質系に加えてシステム情報系、計算科学研究センター及び国際統合睡眠医科学研究機構にも各 1 名を配置し、本部と部局を有機的に連携する機能を充実させ、さらなる研究支援体制の強化を図った。平成 28 年度からは URA を全学的な観点からさらに機動的、効果的に活用するため「URA 研究戦略推進室」を設置することとなった。また、URA については、JST のプログラムマネージャー研修等を活用し研究戦略、研究経営等の資質向上を図った。
 - ・環境研究を行う国立、国立研究開発法人及び筑波大学の 13 研究機関から構成される環境研究機関連絡会を主催し、「2050 年の地球と暮らし～環境技術と地球規模課題～」をテーマとして第 13 回環境研究シンポジウムを開催した（平成 27 年 11 月）。
- (2) 学長のリーダーシップの下、研究戦略イニシアティブを軸とする研究推進機能を活用し、重点研究センター及び重点学術センター等を重点的に支援し、国際的拠点形成を積極的に推進する。

研究戦略イニシアティブ推進機構の支援の下で、国際統合睡眠医科学研究機構、藻類バイオマス・エネルギーシステム研究拠点、2 の重点研究センター、3 の学術センター、3 のプレ戦略イニシアティブ（研究拠点提案型）、1 のプレ戦略イニシアティブ（研究プロジェクト提案型）等で世界的研究拠点形成を目指して重点的に研究を実施した。また、海外の優れた研究機関と連携した拠点形成を目指し、海外教育研究機関のユニット招致を新たに 2 件（研究重点型計 4 件）開始した。
- (3) サイバニクス研究センターについて、関係機関等との連携による臨床試験の実施及び基礎研究へのフィードバックを推進する。

関係機関等との連携による臨床試験の実施及び基礎研究へのフィードバック等、医工融合研究を強力に推進している。
- (4) 研究水準・成果を国際的な水準の観点から検証するためのシステムの活用を図り、更に研究者・研究組織へフィードバックを推進する。
 - ・URA 研究支援室において Web of Science や Scopus などの学術データベースから論文情報等を抽出し、研究者の採用、招へい、派遣等の選考に際して分析データを活用し、研究力強化のための事業を推進した。また、研究者の科研費獲得と論文業績との分析結果を研究推進会議等を通じて報告を行うなど研究者・研究組織へのフィードバックを実施した。
 - ・研究者情報システム（旧 TRIOS）と研究業績登録支援システム（ARES）を統合した新たな研究者情報システム（新 TRIOS）を構築し、研究成果の可視化を推進した。また、研究推進会議において認定されたリサーチユニットの研究成果紹介記事を URA 研究支援室で作成し、大学 HP に公開するとともに EurekAlert! 日本ポータル等のメディアを活用し国際的広報発信を図るため、英文化の検討・準備を進めた。
- (5) 充実強化した研究に関わる企画・運営組織により、研究グループの形成を支援・促進する。
 - ・研究推進会議において、外部資金に係る状況、リサーチユニットの認定審査、研究大学強化促進事業、研究基盤支援プログラム、研究活動における不正行為の対応、第 3 期中期目標・中期計画、若手研究

者研究奨励事業の審議及び報告を行い、本部と部局間の情報共有を緊密に行っている。

- ・系への部局専従 URA の配置及び本部 URA の部局配置を通じて本部と部局間の研究支援体制の連携を強化する体制を構築した。また、研究推進会議は本部と部局間の意見交換や情報共有の場として有効に活用されている。

(6) 最適化した研究支援システムを着実に推進する。

- ・教育研究基盤経費の予算総額の減少に伴い、基盤的部分の比率を高め、小規模の系における減少額が最小限になるように配慮した配分方法とした。

(7) 研究センターについて、将来計画を踏まえた学際的で国際的な研究活動を展開する。センター評価を実施する。

センター評価部会が定めた「センター評価実施要領」により、各センターが提出した「平成 27 年度研究センター及び研究支援センター将来計画等調査」に基づき、研究センター及び研究支援センターに係る書面評価及びヒアリングによるセンター評価を実施した。

(8) センターの機能別再編成のための調査・分析を基に、再編計画を策定する。

研究センター再編構想作成に向け、国内の先行事例について現地調査を行うとともに、「研究センター組織再編構想」検討タスクフォースを設置し、センター評価部会に提示された定量的数値指標に基づく分析などを行い、研究センターを「先端研究センター」、「社会還元センター」及び「研究・教育支援センター」の 3 つの機能別に再編成する「研究センター組織再編構想」を策定した。

(9) 設備整備に関するマスタープランに基づく研究設備の整備を行うとともに研究設備の学内共同利用化と学外への共用を推進する。

機器共用運営組織と運用ルールを整備し、機器情報公開、利用予約、学内外利用、費用共助分担、国際化対応（英語版・留学生の輸出貿易管理上の審査）などの複数機能を集約した共用 Web 管理システムを構築。学内に分散する装置、ならびにセンターの分析装置と工作機械を含めて平成 28 年 3 月時点で 150 台を運用している。機器利用効率化向上に加えて技術スタッフ共通化を試行することで人的な効率化も推進し、総合的な運営効率化と研究・教育支援力強化の両立を推進した。また、近隣の企業、大学等にも開放し、学外利用者の増加を図った。

(10) 研究支援センターの将来計画に基づく研究支援を実施する。センター評価を実施する。

研究支援センターについて、将来計画に基づく研究支援機能の高度化を推進するとともに、センター評価を実施した。

(11) 中間評価を踏まえた共同利用・共同研究拠点形成強化事業及び双方向型共同研究事業により、国際的な研究体制を強化し、国際水準の研究を実施する。

平成 27 年度は、共同利用・共同研究拠点認定が満了となる計算科学研究センター、遺伝子実験センター、下田臨海実験センターの 3 センターを継続申請するとともに、アイソトープ環境動態研究センター、ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センターの 2 センターを新規に申請し、計算科学研究センター、遺伝子実験センターが共同利用・共同研究拠点として認定された。

また、プラズマ研究センターでは、核融合科学研究所の双方向型共同研究において国内の拠点大学間の連携研究を積極的に推進するとともに、九州大学、京都大学、東北大学との連携研究を推進した。

【社会連携】

(1) 新たな連携の検討・構築と包括協定先でのシーズ・ニーズ情報交換会及び科学技術相談の実施を継続する。

- ・技術移転マネージャーが、ナノテク展において、大手企業 8 社と面談し、4 社から具体的シーズを入手した。また、バイोजパンで 10 の技術シーズ紹介、17 社と個別面談を実施するなど、各種イベント等において企業とのマッチングを図った。
- ・平成 26 年度から実施している産総研との合わせ技ファンドについて、平成 27 年度は、産総研以外の筑波研究学園都市内の研究機関（理研バイオリソースセンター、医療基盤・健康・栄養研究所長類医科学研究センター、NIMS）に拡大し、つくば産学連携強化事業として展開した。平成 27 年度は、社会実装を目指すテーマ 35 件の応募があり、12 件を採択した。筑波大学は 15,000 千円の資金を支援した。3 月には、産総研・筑波大学合わせ技ファンドピッチ会を開催した（17 件の研究成果の発表、会場：筑波大学東京キャンパス）。
- ・筑波研究学園都市の先端的技術シーズをイノベーションにつなげる能動的な活動としてプロモーションイベントを企画し、積極的に技術シーズの売り込みをするイベントを 2 回実施した。本イベントでは、VC、投資家、金融機関および事業会社に対して、具体的な事業構想・計画を持って価値提案をす

るという新たな試みを行った。

(2) **本学の産学連携の更なる底辺拡大に向けた支援策を実施する。**

- ・グローバルな製薬企業との大型の共同研究の推進等により、外国企業との共同研究額が前年度に比べ5倍程度増加した。
- ・藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センターと産総研材料・化学領域触媒化学融合研究センターは、連携による研究開発を相乗的に促進するため、双方にて常勤職員の身分で研究等業務を実施する人材を、クロスアポイントメント制度を活用して、共同公募選考により採用した。

【国際】

(1) **海外の教育研究ユニット（3ユニット）を招致し、共同研究等を実施する。**

平成27年度中に新たに数理物質系、下田臨海実験センターにおいてユニットを招致し、共同研究等を実施する体制を整備した。

【外部資金獲得】

(1) **URA 研究支援室等の支援により競争的資金の獲得を推進する。**

平成27年度においてURA20名を雇用し、研究企画、研究戦略、産学連携、外部資金調達等の業務に取り組んだ。また、人文社会系に本部URAを1名派遣するとともに、部局専従URAを従来の生命環境系、医学医療系、数理物質系に加えてシステム情報系、計算科学研究センター及び国際統合睡眠医科学研究機構にも各1名を配置し、本部と部局を有機的に連携する機能を充実させ、さらなる研究支援体制の強化を図った。URA研究支援室においては上記の活動に加え、若手研究者向けの科研費計画調書閲読支援(34件)を実施した。(若手応募率13%増、採択率：若手A9%増、若手B7%増)また、科研費の研究計画調書を執筆する上で参考となるテクニックを数年間に及ぶ教員への調査と経験からまとめた手引きを公開した。

また、平成28年度に「URA研究戦略推進室」を設置する方針を決定した。全学的な観点からの、さらに機動的かつ効果的なURAの活用が期待される。

さらに、URAについては、JSTのプログラムマネージャー研修等を活用し研究戦略、研究経営等の資質向上を図った。

(2) **研究シーズ収集・登録システムの普及、コーディネートのための体制整備を図る。**

能動的な活動を行う技術移転マネージャーの体制強化等、国際産学連携本部と産学連携部の役割及び責務関係の明確化を図る見直しを行い、技術シーズの企業への売り込みと企業ニーズの的確な把握と研究へ適宜反映(バックキャスト)を推進した。

技術移転マネージャー及び産学連携URAは、技術シーズの掘り起こし、技術シーズの見える化、発信をミッションとして、大学の有望なシーズを持つ研究者へインタビューを証券会社やベンチャーキャピタルとのコラボレーションにより実施した。インタビュー件数は120件であり、今後、これらの中から、従来技術との比較や、新技術の特徴、想定される用途、企業への提案など、事業化を見据えた提案の技術シーズ集を発行する。これらについて、同時に研究シーズ・登録システムに掲載する。(平成27年度アクセス件数：409,233件/参考：平成26年度アクセス件数：307,822件)

技術移転マネージャーが、ナノテク展において、大手企業8社と面談し、4社から具体的シーズを入手した。また、バイोजパンで10の技術シーズ紹介、17社と個別面談を実施するなど、各種イベント等において企業とのマッチングを図った。

〔改善目標の達成状況〕

(1) **法人評価の「その他業務運営に関する重要目標」に基づく、研究不正の再発防止に向けた組織的な取り組みを行うため、文部科学省の「研究活動における不正行為への対応に関するガイドライン」に沿った本学における適切な仕組みを整えることを目的として、学内にタスクフォースを設置し、検討を開始した。また、その一環として、論文剽窃チェックツールの導入、研究倫理教育としてCITI JAPANへの登録等を開始した。今後は説明会等を継続して行い、利用者の拡大を図る。**

タスクフォースにおいて検討を重ね、平成27年5月に「国立大学法人筑波大学研究公正規則」を整備し、規則に基づき各部局に研究倫理教育責任者を置くなど体制を整備した。また、論文剽窃チェックツール及び研究倫理教育教材CITI JAPANを導入し、利用を促進するとともに、研究者が論文を投稿し掲載受理された場合に登録を義務付ける「論文受理報告書登録システム」を作成し、環境を整備しているところである。また、学内の科研費説明会において、研究者倫理に関する啓発を行った。

2. 自己評価と課題

【研究】

〔全体状況〕

- ・平成 27 年度においては、URA20 名を雇用し、研究企画、研究戦略、産学連携、外部資金調達等の業務に取り組むとともに、本部と部局を有機的に連携する機能を充実させ、さらなる研究支援体制の強化を図った。
- ・URA 研究支援室において Web of Science や Scopus などの学術データベースから論文情報等を抽出し、研究者の採用、招へい、派遣等の選考に際して分析データを活用し、研究力強化のための事業を推進した。また、研究者の科研費獲得及び論文業績等の分析結果を研究推進会議で報告する等、研究者・研究組織へフィードバックを実施した。
- ・研究戦略イニシアティブ推進機構の支援の下で、重点研究センター及び学術センター等において世界的研究拠点形成を目指して重点的に研究を実施した。また、海外の優れた研究機関と連携し、海外教育研究機関のユニット招致し拠点形成を図った。
- ・新たな研究者情報システム（新 TRIOS）を構築し、研究成果の可視化を推進した。また、リサーチユニットの研究成果紹介記事を大学 HP に公開した。
- ・研究推進会議において、情報提供及び意見聴取等を積極的に行い、本部と部局間の意見交換や情報共有の場として有効に活用した。
- ・教育研究基盤経費の予算総額の減少に伴い、基盤的部分の比率を高め、小規模の系における減少額が最小限になるように配慮した配分方法とした。
- ・「平成 27 年度研究センター及び研究支援センター将来計画等調書」に基づき、研究センター及び研究支援センターに係る書面評価及びヒアリングによるセンター評価を実施した。また、研究センター再編構想の実現に向け、国内の先行事例について現地調査を行うとともに、「研究センター組織再編構想」検討タスクフォースを設置し、センター評価部会に提示された定量的数値指標に基づく分析などを行い、研究センターを「先端研究センター」、「社会還元センター」及び「研究・教育支援センター」の 3 つの機能別に再編成する「研究センター組織再編構想」を策定した。
- ・平成 27 年度に共同利用・共同研究拠点認定が満了となる計算科学研究センター、遺伝子実験センター、下田臨海実験センターの 3 センターを継続申請するとともに、アイソトープ環境動態研究センター、ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センターの 2 センターを新規に申請し、計算科学研究センター、遺伝子実験センターが共同利用・共同研究拠点として認定された。また、プラズマ研究センターでは、核融合科学研究所の双方向型共同研究において国内の拠点大学間の連携研究を積極的に推進するとともに、九州大学、京都大学、東北大学との連携研究を推進した。
- ・平成 27 年 5 月に「国立大学法人筑波大学研究公正規則」を整備し、規則に基づき各部局に研究倫理教育責任者を置くなど体制を整備した。また、論文剽窃チェックツール及び研究倫理教育教材 CITI JAPAN を導入し、利用を促進するとともに、研究者が論文を投稿し掲載受理された場合に登録を義務付ける「論文受理報告書登録システム」を作成し、環境を整備した。
- ・サイバニクス研究センターにおいて、関係機関等との連携による臨床試験の実施及び基礎研究へのフィードバック等を推進した。

〔自己評価〕

- ・当初目標に向かって順調に進んでいる。

〔課題等〕

- ・センター評価部会における評価結果等により、センターの統合、再編の指標を設定する。
- ・研究力をさらに強化するに当たっては、URA の活用、人、モノ、金の集約を戦略的に行う。
- ・不正行為に対する事前防止に向けた啓蒙、施策の実施

【産学連携】

〔全体状況〕

- ・平成 26 年度から実施している産総研との合わせ技ファンドについて、平成 27 年度は、産総研以外の筑波研究学園都市内の研究機関（理研バイオリソースセンター、医療基盤・健康・栄養研究所壺長類医科学研究センター、NIMS）に拡大し、つくば産学連携強化事業として展開した。
- ・研究成果の社会実装を目指して産業界と大学がアンダーワンループで共同研究を実施する新たな制度であ

る特別共同研究事業制度を活用し、4件の企業等との事業が開始された。

- ・グローバルな製薬企業との大型の共同研究の推進等により、外国企業との共同研究額が前年度に比べ5倍程度増加した。

〔自己評価〕

- ・当初目標に向かって順調に進んでいる。

〔課題等〕

特になし

学生

1. 平成 27 年度重点施策並びに改善目標に記載されている事項についての達成状況等

〔平成 27 年度の実施方針〕

平成 27 年度の学生関係の重点施策については、「筑波大学ダイバーシティ・キャリアセンター」の設置準備、留学生対応の一体的取組みの強化を行うとともに、平成 26 年度と同様に今期中期目標・中期計画が順調に進んでいることから、年度別実行計画に基づき、平成 26 年度に実施した各施策の検証・評価を踏まえた新たなアクションプランの策定を中心に取り組む。特に、総合相談窓口や学生支援組織における連携の在り方、国際的な視野に立てる学生の育成への T-ACT の役割や広報活動の在り方、グローバル化に対応したきめ細やかな経済支援、新たなキャリア・就職支援プログラム等について、第 3 期中期計画に向けた新たなプランの策定を図る。

また、連携・渉外関係の重点施策については、卒業生等とのネットワークの一層の発展及び活性化に向け、校友会の組織化に向けた検討を進める。

〔重点施策の達成状況〕

【学生関係】

(1) 「筑波大学ダイバーシティ・キャリアセンター」の設置に向けた準備を進める。

平成 27 年 10 月に旧キャリア支援室、旧障害学生支援室、旧ダイバーシティ推進室を発展的に統合し、「ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター」を設立した。同センターは、平成 28 年 4 月にグローバルリーダーキャリア開発ネットワークを統合して完成とする。

(2) 学生こころの健康委員会の活動方針に基づき、学生のメンタルヘルス問題への対策活動を継続して展開する。特に、一次予防対策に関しては、前年度に引き続き重点的に取り組む。さらに、総合相談窓口の相談体制及び「学生支援対応チーム」や「学生支援組織連絡会」などのメンタルヘルス問題に特化した学生支援組織の連携の在り方における検証を基に、第 3 期中期計画に向けた新たなプランの策定を図る。

また、留学生対応の一体的取組みを強化し総合的な学生支援を実施する。

学生こころの健康委員会の活動方針に基づき、これまで実施してきた活動（特に一次予防対策に重点を置いた）について、以下のとおり継続して対策を進めた。

① 学生支援対応チーム（各教育組織）における対応

個々の相談や案件をチームで取り組むことにより、対応を共有することができ、また、教育組織によっては、クラス担任等対応者への組織内の支援体制の構築等を行うことができた。また、事例が起こってしまった場合の周囲の学生のポストベンションとして、必要に応じて学生支援組織（学生相談室等）と連携しカウンセリングを行い、2 次的被害を未然に防いでいる。

② 学生ゲートキーパーの養成

課外活動団体リーダー研修会において、今年度は「助け合い」をテーマに実施し、リーダーシップの向上とともに自己診断や信頼関係の構築、日常的な場面で友人同士が見守り合う事の重要性の理解を深めることができた。また、総合科目を開設し、学生生活の中で出会う様々な問題について対処するための知識とスキルを学習させた。さらに、学生相談室においては、7 月下旬に 1 泊でエンカウンター合宿セミナーを企画し、学類・研究科の所属を超えた人とのつながりについて、心理的な理論を背景に発展させたワークショップを開催し、参加学生各々に自己分析や心のふれあいを深めさせることができた。

③ うつ健診スクリーニングの実施

学生のメンタルヘルス問題を調査するため、学生健康診断において、うつ健診スクリーニングの実施と分析を行うとともに、うつ病が危惧される学生については、呼び出しをして個別のカウンセリングを実施した結果、メンタル面での不安定な学生を早期に発見し、対応することが可能となった。また、学生こころの健康委員会の下に設置している学内の相談機能を持つ組織（保健管理センター等）による学生支援組織連絡会を開催し、メンタルヘルス等の事案に係る個々の情報を共有し、相互連携を強化するとともに学生相談の多様化に即した対応を図った。

④ 学生支援に係る FD の開催

各組織長、学生支援対応チーム、エリア支援室等を対象として FD を開催し、顧問弁護士による学生・保護者対応に係る事例紹介等の講演、及び悩みを抱える学生等に対する早期発見・対応について事例を交えてディスカッションを行うとともに、関係組織との連携や学生支援チームの必要性等、学生支援の

あり方について共有を図った。

⑤ 留学生対応に係る学生支援

学生支援組織連絡会では、留学生相談教員及び留学生担当者もメンバーに加え、留学生の事案についても情報共有や対応の検討を行った。

- (3) 障害学生支援室機能の検証・評価結果を踏まえた新たなアクションプランの策定を行う。特に、平成 28 年度からの合理的配慮提供の法令遵守化に向け、合理的配慮の合意形成過程を明確化し、事例を蓄積する。また、外部資源（障害者支援に関わる団体等）の活用や外部機関連携体制の確立を行う。さらに、障害学生支援に関する専門性を有した職員の人的配置について検討する。併せて、発達障害学生に対する各支援組織ならびに各教育組織との連携による支援内容の拡充を図り、高等教育における発達障害学生に対する支援モデルを構築する。

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターへの統合に際し、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター設置準備委員会において障害学生支援室の機能の検証を行い、その評価を踏まえ平成 27 年 10 月のダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターへの統合により、アクセシビリティ部門として、障害学生支援をダイバーシティの観点でとらえ、またキャリアパスを見据えた機能を持った組織として取り組む体制を構築した。

平成 28 年 4 月に施行される「障害者差別解消法」の対応として、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」を制定し、その概要について、アクセシビリティ部門が主催する障害学生支援懇談会及び教職員 FD において、合理的配慮の合意形成プロセスを含め、参加した教職員に周知した。

科学研究費補助金 基盤研究 A (26245086)「障害のある学生の修学支援における合理的配慮のあり方に関する学際的研究」、文部科学省特別プロジェクト「意欲と能力のある発達障害学生に対する合理的配慮の提供と高等教育における支援モデルの構築」などの外部資金を活用し、研究・事業機能の活性化を図った。また、日本学生支援機構と研修活動、調査活動などにおいて密に連携を行った。

具体的な支援としては、東京キャンパスでの視覚障害学生に外部ボランティアを活用した支援を提供した。また、発達障害学生には、つくば市就業・生活支援センターや発達障害者支援センターと連携して支援を行う等、外部機関との連携体制を構築した。

障害学生の在籍数は増加傾向にあり、特に見えない障害といわれる、発達障害学生に対する支援の充実には筑波大学を含め国内の大学共通の喫緊の課題となっている。そこで、アクセシビリティ部門は、平成 27 年度から特別プロジェクト「意欲と能力のある発達障害学生に対する合理的配慮の提供と高等教育における支援モデルの構築」を実施し、先導的な支援モデルの構築と全国の大学に向けた情報発信等の活動を行っている。

今年度は、5 つのシンポジウムの開催に関連し、4 つが主催、4 つが国際シンポジウムであった。また、信州大学、京都大学、京都教育大学、九州大学、名古屋大学、筑波技術大学、東京大学、宮城教育大学等多数の大学との連携体制を築いている。

- (4) つくばアクションプロジェクト (T-ACT) は、学生・教職員の活用拡大やボランティア活動等の社会貢献活動を促進するための環境整備を行ってきたが、これまでの活動成果の検証・評価結果を踏まえ、T-ACT に参加する学生等の地域活動による成長を助長するための事前・事後の在り方、国際的な視野に立てる学生の育成への T-ACT の役割や広報活動の在り方等について、第 3 期に向け検討する。

T-ACT の事業実績の分析、支援体制の問題点の見直しを行うとともに、T-ACT の役割や広報活動の在り方等について検討を行った。これらの検討結果を踏まえ、学生の地域に目を向けた活動や国際的な視野に立った活動の促進のための方策など、T-ACT が学生が必要とする支援組織となるよう整備を進めている。

① 学生等の地域活動に対する事前・事後支援の在り方の検討

学生のニーズに合った支援策にするため、T-ACT サポーター（学生サポーター）を中心とした学生主体の取り組みとなるよう、支援の在り方について WG で検討した。引き続き、活動における「安全性の確保」や活動を活発化させるための「経済支援策」などについて検討を行っていく。

② 国際的視野に立った活動支援の検討

国際的視野に立った企画立ち上げへの導入方法や留学生に向けた情報提供の方法（リーフレット及び HP の英語化）、現在進行形の企画に対する連携の提案など、積極的に T-ACT を活用し、第 3 期に向けた充実した企画運営につなげるための具体的な方策について WG で検討を行った。

③ T-ACT の広報活動の在り方の検討

T-ACT の活用拡大に向けて、HP のリニューアルを行った。リニューアルにおいては、近年、劇的な発

展を続ける SNS を有効に活用するために、機能をシンプルなものにし、HP を基点に学生同士が連携、協力して企画を運営できるようにした。電子掲示板の活用状況や学生のニーズなど、近年の動向を調査分析し、第 3 期に向けた広報活動の在り方や T-ACT の活動の活性化のための方策について検討した。

④ 公開シンポジウムの開催

「繋がる力 広がる絆」をテーマとして公開シンポジウムを開催した。今回は、新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム事業としての取組み以降も、多様化する学生に対して支援を継続している 3 大学（東京工業大学、法政大学、明治大学）を招いて、各大学の事業紹介や企画の事例報告等を行った。

⑤ 活動報告会の開催及び表彰

活動報告会を上半期と下半期の年 2 回開催した。今年度は、T-ACT の活動に対して表彰する賞の種類を充実させるとともに、表彰の評価基準を見直し、活動報告会の参加者による投票方式とした。

⑥ 地域ボランティア団体等との連携及び災害時ボランティア活動支援体制の構築

平成 27 年度においても、引き続き、地域ボランティア団体等との連携を図るとともに、つくば市社会福祉協議会「ボランティアフェスタ in つくば 2016」等への参加により、地域住民への活動紹介等を行った。また、平成 27 年 9 月に発生した関東・東北豪雨災害時には、学内の関係部局と連携して、災害ボランティア活動のために必要な情報提供等を行った。

⑦ アクション・プラン及びボランティアの件数

平成 27 年度のアクション・プランは、申請件数 51 件に対し承認件数は 44 件であった（3/14 現在）。ボランティアにおいては、申請件数 54 件に対し承認件数 40 件で、活動の承認件数は昨年度の 37 件から微増であるが、学生の参加人数は昨年度の 66 名から今年度 93 名と、ボランティア事業開始から 4 年が経過し、着実に増加している（3/7 現在）。

- (5) **経済支援制度の検証・評価結果を踏まえ、グローバル化に対応したきめ細やかな経済支援を実施するための新たなプランを策定する。また、東日本大震災等で被災した世帯の学生に対し、引き続き経済支援を実施する。**

グローバル化に対応して、つくばスカラシップの見直し、及び授業料免除の改善等の新たなプランを策定した。また、平成 27 年度も東日本大震災により被災した学生（新入生を含む）58 名に対して、入学料免除または授業料免除を実施した。さらに、平成 28 年の台風 18 号等の大雨により被災した世帯の学生 12 名に対して緊急経済支援を実施した。

- (6) **本学の特徴を活かした安全で質の高いキャンパスライフの提供**

- ① **学生宿舍の改善については、新たに策定されたグローバルレジデンス整備事業計画に基づき、新棟建築及び既存棟改修工事等における諸準備作業を継続して実施する。**

グローバルレジデンス整備事業については、6 月に基本協定、8 月に事業契約を締結した。インターナショナルハウス及びコミュニティプラザの建設に向け、要求水準書に基づき、建物の設備や生活環境面について確認作業を行った。短期・ショートステイハウスについては、長期借入金による第 1 期改修工事を行い、平成 28 年度からの運用開始に向け、委託業者と管理運営体制の詳細について確認作業を行った。

- ② **福利厚生施設の改善については、新たな福利厚生事業の管理・運営体制に基づき、平成 28 年度からの運用開始を目指した作業を実施する。**

福利厚生委員会において、新たな福利厚生事業のあり方について検討し、平成 28 年度からは、利用者からのアンケート等による評価に基づく契約更新制度を構築した。

- ③ **研修施設の改善については、平成 26 年度研修施設の在り方検討 WG の答申を踏まえ、学生の利便性を損なわないことを前提に、数値目標を定めた、利用者拡大のための具体的な対策や大学負担の経費削減を実施するとともに、その効果について検証を行い、今後の運用方針を検討する。**

運用改善（対前年度比 利用者数 3%増、経費 3%減）に向け、広報による積極的な受入れ等を行った結果、対前年度比は、山中研修所が利用者数 11%増、館山研修所が利用者数 5%増となった（3/25 現在）。経費削減については、節電や新聞の一部解約等の経費削減を行った結果、3%を達成できる見込みである。また、他大学で保有する本学と同規模の研修施設の運用について、調査を行った。

- (7) **安全キャンペーンをはじめとする、これまでの学生の安心・安全に関する活動について、より充実した周知啓発・指導等の展開を図る。また、自転車・バイク登録制度をより定着させ駐輪指導を行うとともに、学内への放置車両を有効利用するために体制化を図る。**

① 安全教育の実施

全学類・専門学群において、新入生向けガイダンスやフレッシュマン・セミナーに学生生活課職員を派遣し、「学生生活を安全に過ごすために」と題した講演を実施し、過去の事件・事故の分析を含めた安全教育を実施した。また、フレッシュマン・セミナーにおいては、つくば市消費生活センターの協力を得て消費生活に係る啓発活動も併せて行い、学生の安心・安全を推進している。

② 安全キャンペーンの実施

秋学期及び留学生の入学時期に合わせて安全キャンペーン週間を10月初旬に設け、朝の駐輪指導、夜間の交通安全指導、自転車交通安全講習会、セーフティパトロールなど、例年の啓発活動を継続して実施した。また、安全キャンペーン週間以外でも、新年度4月朝の登校時間帯の駐輪指導やつくば中央警察署及びつくば市の協力を得て、夕方の帰宅時間帯に交通安全指導を行った。「セーフティライフ講習会」では、事件・事故、飲酒に係る注意喚起及び課外活動団体に対してリーダーの役割、ゲートキーパーについての講演を行い、啓発を行った。

③ 自転車・バイク登録制度の導入

平成25年10月から、全国で初めてICタグを利用した自転車・バイクの登録制度を導入し、構内の巡回により、駐輪指導や各エリアで撤去作業を行った。また、放置自転車削減のために、卒業生・修了生向けに廃棄自転車の提供を促し、リサイクルにより新年度の学生宿舍入居時に、新入生向けに安価で販売を行うこととしている。

- (8) **社会人メンターネットワークを更に充実させるとともに、社会人メンターネットワークの活用拡大を図る。各教育組織及びキャリア・就職支援担当教員とのネットワークの更なる充実を目指し、新たなネットワーク構築のためのワーキンググループを設置することにより、進路進捗状況の把握や未内定学生の就職支援の充実を図る。**

社会人メンターネットワークによる「先輩」というキャリアリソースの拡充は、学生が早期から自らのキャリアデザインを考える良いロールモデルを提供することを可能とし、就職率の向上のみならず、納得のいく就活支援、ミスマッチによる早期離職防止の観点でも非常に重要であるため、引き続きリソースの量的拡大を図った(84名→108名に拡大)。大学3年生、修士1年生を主対象とする「キャリア・インタビュー2nd」において、社会人メンターの自主活動を行う組織が構築されパネルディスカッションを導入した結果、自由参加の最終ターム参加者が大きく増加し、学生の環境探索を積極的に行う態度形成に効果を上げた。

また、筑波大学附属高校及びお茶の水女子大学附属高校からの高大連携キャリア・ディベロップメント・プログラム(CDP)への協力要請を受け、メンター代表者とともに具体的な連携方法についての検討を開始した。

進路進捗状況の把握に関しては、キャリア支援室長と就職課長が年度当初に出向き、各教育組織長との懇談を行うとともに、各月開催のキャリア支援室会議において充実策について検討を重ねた。具体的には、各教育組織に対し未内定者へのセンター利用促進を行うとともに、特設対応TELを設置し、未内定者のメンタルにも配慮した面談を実施した。

- (9) **昨年度設置した新たなキャリア支援のためのワーキンググループを引き続き推進し、実施のアンケートに基づく検証、評価、課題整理を更に進め、新たなキャリア・就職支援プログラム「専門教育と融合した全学生へのキャリア・就職支援」の検討、策定を行う。また、大学院後期課程学生及びポストクのためのキャリア・就職支援のためグローバルリーダーキャリア開発ネットワークの平成28年度完全統合を目指し、現行プログラムの更なる実質化を図る。**

今年度からキャリア支援室員を少数精鋭化するとともに、キャリア支援室員全員で昨年度実施のアンケートの検証・評価等を進め、今年度は試験的に比較文化学類を対象とした、新たな各教育組織に合わせたキャリア・就職支援プログラムの検討・策定を行った。

グローバルリーダーキャリア開発ネットワーク(GLCnet)と連携し、統合後の支援プログラム開発に活用できるよう大学院生のキャリア形成支援に関する調査を実施した。また、平成28年4月1日付で「ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター」に統合を図るためこれまでの実績と課題を取りまとめた。

- (10) **各組織における留学生受け入れ拡充を支援し、受入対応体制を強化する。また、留学生の学修・生活支援の充実を図るとともに留学生の在籍管理を徹底する。**

留学生の受入について、本学独自の「つくばスカラシップ」奨学金制度の活用、(独)日本学生支援機

構の「海外留学支援制度」、「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」による留学生受入れ、各国政府等による留学生派遣プログラム（「ブラジル政府派遣「国境なき科学計画」事業」、JICA による「ABE イニシアティブ（アフリカ）」及び「PEACE プロジェクト（アフガニスタン）」の受入れ支援、私費外国人研究生の受入れの増加により、留学生数は2,242名（平成27年3月1日現在）から2,436名（平成28年3月1日現在）に増加した。

チューターによる渡日後間もない留学生への定着支援以外に、日本人学生がサポーターとなって身近な情報提供を常時行う「Ask Us Desk」を設けて留学生に対応の充実を図った。

留学生への指導と支援を強化することを目的とし、FD 研修会の開催、学内への在籍管理に関する注意喚起及び留学生の在籍管理を徹底するために在籍状況調査を行った。

- (11) 学生の海外派遣を推進するための新たな支援制度の創設等により財政支援を充実して派遣者数の増を図る。また、派遣学生への海外安全情報の提供、海外での安全管理に関する啓発活動を促進して、海外での安全確保を図る。

つくばスカラシップ「交換留学支援奨学金」及び「短期海外研修支援奨学金」、(独)日本学生支援機構の「留学生交流支援制度」、文部科学省の「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN」日本代表プログラム～、筑波大学基金「開学 40+101 周年記念募金」海外留学支援事業に加えて、新たに筑波大学海外留学支援事業「はばたけ！筑大生」による支援を実施したことにより、学生の海外派遣者数は平成26年度663名から平成27年度768名と大幅に増加した。また、部局経費による支援を含めると平成27年度の学生の海外派遣数は1,747名であった。

学生及び教職員の海外渡航について、外務省が発出する海外安全情報（危険情報及び感染症危険情報）に基づき渡航の是非を判断すること等を「海外での危機発生時における学生及び教職員の渡航に関する指針」として定め、学内に周知した。

海外で頻発している災害やテロ、感染症発生などの危機発生時に、当該地域への学生の渡航状況をリアルタイムで把握し、安否確認を迅速に行うことを目的とし、本学学習管理システム（manaba）を利用した海外渡航届 web 入力システムを開発し、11月から稼働させた。この海外渡航届の提出及び海外危機管理サービス OSSMA への登録による集約システムで渡航情報を一体化することにより学生の海外派遣情報を即座に把握することが可能となった。

併せて、学生が海外で危機に直面した場面に備え、現地での緊急連絡先等を記載する「緊急連絡カード」を作成し、海外渡航の際には、学生自身で必要事項を記載し携行すること及び外務省海外旅行登録「たびレジ」又は在留届の登録について学内周知した。

さらに、共同通信社のニュース情報リアルタイム配信サービスの利用を開始し、海外での災害、事故、犯罪やテロ、感染症発生などの情報を、速やかに入手し、迅速な対応を可能とした。

海外危機管理窓口（グローバル・コモンズ機構他）のメールアドレスを作成し、学内教職員、海外滞在者、海外オフィス、海外危機管理会社等からの情報を一元的に集約するとともに、海外危機管理窓口から全学リスク管理室への報告体制を明確にした。

以上のことにより派遣学生の海外危機意識の啓発を促進できた。

【連携・渉外関係】

- (12) 現状、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の運用を中心としたバーチャルなネットワークである「校友会」について、学内外の関係者により組織化に向けた検討を進めるとともに、組織横断的な同期会等を支援するなど、本学関係者による多様な交流促進を図る。

本学関係者のネットワーク構築のため、卒業生を含めた校友会組織検討委員会を3回開催し、在学生・卒業生・課外活動団体・同窓会等の連携強化のためのネットワーク構築を検討している。

- (13) 卒業生の協力による起業家養成講座「学群自由科目（筑波クリエイティブ・キャンプ）」を実施し、卒業生のキャリア等を活用するとともに、世代を超えた交流促進、ネットワーク構築を推進する。

筑波クリエイティブ・キャンプでは、筑波みらいの会（筑波大学出身経営者の会）を中心に卒業生等21名の経営者が、延べ357名の学生を指導した。最終日の授業は、起業プラン発表会として開催し、受講者の内13組が一般公開による最終プレゼンテーションを行い4組が表彰を受けた。これらにより、学生は起業について理解を深め、受講生同士や卒業生等とのネットワークが構成され、世代を超えた交流が深まった。

- (14) 卒業生等に向けたイベントについて、前年度に引き続き、参加対象者のニーズを踏まえつつ、内容の改善・充実に努め、参加者の本学への帰属意識の向上を図る。

平成 27 年度も引き続き、ホームカミングデーを学園祭と同時期に開催し、約 300 名の出席あり、盛大に行われた。また、茗溪・筑波グランドフェスティバルなどのイベントも開催し、「筑波大学人」同士の交流促進を図るとともに、基金への理解と協力を呼びかけた。

〔改善目標の達成状況〕

- (1) 学生宿舎におけるグローバルレジデンス整備事業の実施にあたり、日々の管理運営や危機管理等においてどのような問題が生じ、いかなる調整が必要となるか等について、十分なケーススタディが必要となる。そのため、既存棟運営業務委託業者（筑波学都資金財団）、グローバルレジデンス整備事業選定事業者及び本学の三者間で、運営上の諸課題等に関する調整を目的とする「三者間連絡会（仮称）」を設置し検討を進める。

7月に本学、既存棟運営業務委託業者（筑波学都資金財団）及びPFI事業者（グローバルアカデミックサービス株式会社）からなる「筑波大学学生宿舎三者連絡会」を設置し、学生宿舎運営に関する連携体制及び危機管理体制等について、事例を基に確認作業を行った。

- (2) 福利厚生事業の管理・運営体制の検討において、平成 28 年 4 月から新たな福利厚生事業を開始することを目標に、デベロッパーの導入等、利用者により質の高いサービスをより廉価に提供するため、教職員・学生の意見を集約することが出来るような体制を構築し、検討を進める。

デベロッパーの導入については、経費負担面において本学の要求に対応できるデベロッパー業者を得ることができず、構想を断念せざるを得なかったが、福利厚生委員会において、新たな福利厚生事業のあり方について検討し、平成 28 年度からは、利用者からのアンケート等による評価に基づく契約更新制度を構築した。

- (3) きめ細やかな経済支援の実現に向けて、これまで特別免除の導入や制度の改善を図ってきたが、それらに合わせた制度変更等に柔軟に対応できるシステムの導入の検討を進める。併せて、これらの経済支援に係る業務についての判定ミス防止のため、業務改善によるチェック体制の見直し等、学生生活課と各エリア支援室が情報を共有でき、一丸となって取り組みが出来るような連絡・協力体制を強化する。また、本学独自の経済支援制度であるつくばスカラシップの予算が現状維持の状態であることから、留学生の増加に対する経済支援のための予算確保等の取り組みを進める。

特別免除の導入や制度変更等に柔軟に対応できるシステムを導入する方向で検討している。免除等の判定ミス防止のため、業務改善によるチェック体制の見直しを図り、学生生活課と各エリア支援室が情報を共有できるような体制を構築した。

- (4) 自転車・バイク登録制度（ICycle）の運営にあたり、学生の同制度への登録は堅調な登録率となっているが、一方では違反駐輪等も後を絶たず取締りも含めた指導が必要不可欠である。これらの指導のために、学内予算により派遣職員の人件費が措置されていたが、平成 26 年度途中で打ち切られたことを受け、今後は登録料収入のみでの運営となることから、登録料の値上げを含めて経費確保のための方策を検討する必要がある。また、廃棄自転車を有効利用するためのリサイクル制度を確立させるため、Icycle センター設置の検討を進める。

自転車・バイク登録制度（ICycle）の登録料金変更については、8月に学生等に対して説明会を開催して理解を得るとともに、関係して構内自転車等駐輪実施要項の改正を行った。また、廃棄自転車を有効利用するためのリサイクルについては、シルバー人材センターの協力を得て、年度末に卒業生・修了生等から廃棄する自転車を回収し、新年度の新入生に対して安価な価格で販売・提供している。リサイクル制度確立のための ICycle センターについては、学生宿舎 PFI 事業とも連携し、次年度に検討を行うこととしている。

- (5) 「つくばキャリアポートフォリオ」（CARIO）の利活用促進のため、抜本的な見直しを行い、学生が利用しやすい CARIO を模索する。

キャリア支援室会議において検討した結果、教育推進部等他部局との関係、特に TWINS の更新との連携を踏まえ、また、その更新も第 3 期中期計画期間に実施されることを鑑み、TWINS の検討状況を見て、見直しを進めることとし、本年度は、これまで推進してきたフレッシュマン・セミナーでの活用をより充実することとした。

また、今年度はフレッシュマン・セミナーFDにおいて、クラス担任に対して 10 コマ分の CARIO ワークシートを活用した授業案を提示し、教育ツールとしての CARIO の一層の浸透を図るとともに、9 学類で出張授業を実施し学生に対して CARIO の有用性の理解と利活用の促進を図った。

- (6) 主に海外就職希望者支援として、グローバルcommons機構及び国際室と連携し、海外インターンシップを含めた海外就職情報の収集及び提供を行う。

昨年度の合同企業説明会参加企業約700社を対象に、「海外におけるインターンシップに係る企業アンケート」を実施し、現況を調査した。

海外オフィスとの連携のための具体的な方策について、海外オフィス担当者との検討を開始した（海外就職情報の収集、留学生の企業との連絡等について）。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

（チャレンジプランの取組状況）

グローバルレジデンス整備事業については、平成28年度から運用を開始する短期・ショートステイハウスの管理運営体制を検討するとともに、平成29年度から運用開始予定のインターナショナルハウス及びコミュニティプラザの建設に向け、施設・設備等の検討を行った。

2. 自己評価と課題

学生担当においては、平成27年度の年度計画や重点施策は、上記のとおりほぼ計画どおり達成できた。全ての学生に対する多様なニーズに応える総合的な学生支援を目指して今年度においてもさまざまな取組みを行い、特に「筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター」の設置、留学生対応の一体的取組みを最重点課題として、年度別実行計画に基づいた第3期に向けた新たなプランの策定を図った。また、連携・渉外関係では、卒業生等とのネットワークの一層の発展及び活性化に向け、校友会の組織化に向けた検討を進めた。学生担当の今年度の「自己評価及び課題等」は次のとおりである。

- (1) ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターについては、当初平成28年4月設置予定であったものを、「障害者差別解消法」施行に伴う「対応要領」制定のため、予定を6月前倒しし、平成27年10月に旧キャリア支援室、旧障害学生支援室、旧ダイバーシティ推進室を発展的に統合し、センターを設立することができた。なお、平成28年4月にグローバルリーダーキャリア開発ネットワークを統合して完成とする。
- (2) 学生のメンタルヘルス問題への対応については、学生こころの健康委員会の方針に基づき、継続的に種々の取組みを行い、不安定な学生の支援や関係組織の連携強化、FDを通じて教職員の意識向上を図っている。今年度の学生支援FDでは、東京キャンパスとTV会議で接続し、顧問弁護士の講演として、身近に起こり得る学生・保護者対応に係る具体的なトラブル事例と対策について講演をしてもらったことにより、約130名の参加があり、参加者から好評を得た。更には、第3期中期目標に向け、既遂事例の分析や早期発見・対応に繋がる取組みを目指すこととしている。また、留学生対応については、今後も一体的取組みを強化し総合的な学生支援を継続して実施する必要がある。
- (3) 障害学生支援については、障害学生支援室機能の検証及び評価を行い、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター アクセシビリティ部門として新たな体制を構築したことにより、ダイバーシティ部門、キャリアサポート部門との有機的連携が図られ、障害学生支援の一層の充実が図られた。障害学生の在籍数は増加傾向にあり、特に発達障害学生に対する支援の充実が喫緊の課題であり今後とも充実させていく必要がある。
- (4) つくばアクションプロジェクトについては、平成27年度のアクション・プランの承認件数は昨年に比べて減ったものの充実した企画が多く、T-ACTの認知度の向上により学生が有効にT-ACTのシステムを利用するようになったことが伺える。国際的な視野に立った企画や留学生の企画も毎年提案されているが、一定数に留まっており、企画数を増加させるための方策の検討と支援体制の見直しが必要である。T-ACT ボランティアにおいては、活動の承認件数は昨年度から微増ではあるが、学生の参加人数は着実に増加しているため、今後は、活動に参加したいと思う学生のニーズに応えられるよう、周知と参加の促進を更に図っていく必要がある。
- (5) 経済支援については、グローバル化に対応して、つくばスカラシップ及び授業料免除の制度の見直しを図り、多様なニーズに対応した経済支援を実施することができた。それらを拡充するには、より一層の財源の確保が必要であるが、つくばスカラシップの予算額は近年現状維持の状態であるため、今後は連携・渉外室とも連携を取りながら財源確保に努める必要がある。
- (6) 本学の特徴を活かした安全で質の高いキャンパスライフの提供

- ①学生宿舎の改善については、インターナショナルハウス及びコミュニティプラザの建設準備、短期・ショートステイハウスの第1期改修工事等、ハード面については順調に進捗している。一方、ソフト面(管理運営体制等)については、平成28年度から2業者体制で運営することとなる一の矢地区における連携体制等について、検証していく必要がある。
 - ②福利厚生施設の改善については、福利厚生業務委託業者の新たな契約更新制度の構築に伴い、次年度以降は利用者の声をより反映できるモニタリング制度を検討する必要がある。
 - ③研修施設の改善については、引き続き利用者拡大や経費削減の方策を実施し、他大学の運用方法の検証等を行い、用途廃止も含めた今後の運用方針を決定する必要がある。
- (7)安全キャンペーンをはじめとする、これまでの学生の安心・安全に関する活動については、今年度も全学的な取組みとして種々の安全教育や啓発活動等を行い、地域の警察やつくば市との連携・協力も図りながら実施している。これらの取組みは、今後も本学の環境を踏まえ、継続実施することが必要である。また、自転車・バイク登録制度(ICycleシステム)については、登録料金の変更を行ったが、「ICycleセンター(リサイクル制度)」設置は今後も検討していく。
 - (8)キャリア・就職支援に関する施策においては、就職活動時期が後ろ倒しになったことに伴い、学生のニーズにあったきめ細やかな支援を行うとともに、相談特設ダイヤルの設置、就活リフレクションセミナーの実施等、追加支援プログラムを企画し学生の就職活動支援に供した。今後は留学生等海外就職希望者のニーズに対応するため、海外インターンシップを含む海外就職情報の収集・整備を行うこととした。
 - (9)学生の海外派遣については、これまでの学内外の海外派遣支援制度に加え、平成27年度から新たに筑波大学海外留学支援事業「はばたけ!筑大生」による旅費支援を実施し、学生の海外派遣の拡大を図った。平成28年度からは、同事業のプログラムの追加、海外語学研修等の実施により海外留学の機会を増大することで、海外派遣のさらなる拡大が期待できる。平成27年11月からmanabaでの海外渡航届提出の徹底及び海外危機管理サービスOSSMAの登録による渡航情報を一体化するシステムにより学生の海外渡航情報を即座に把握することが可能となった。また、外務省の海外旅行登録「たびレジ」「在留届」への登録及び渡航時の緊急連絡カードの携帯を推進するなど海外危機管理体制整備を行うとともに、派遣学生の海外危機意識の啓発を促進できた。
 - (10)連携・渉外関係では、今年度は校友会の組織化に向けた検討を行い、本学関係者によるネットワーク構築の上で核となる組織形成に向けた取り組みが前進した。今後は、校友会設立準備委員会(仮称)で校友会の設立に対する検討を開始する。また、今年度行った起業家養成講座「学群自由科目(筑波クリエイティブ・キャンプ)」は内容等が充実していたこともあり、今後は、アントレプレナー教育の一部として実施していくこととなった。

国際

1. 平成 27 年度重点施策並びに改善目標に記載されている事項についての達成状況等

〔平成 27 年度の実施方針〕

国際戦略の基本方針に基づき海外の大学・研究機関との戦略的交流・連携を強化・拡充する。

また、スーパーグローバル大学等事業にかかるキャンパス・イン・キャンパスの推進および海外拠点活動の活性化を図る。

〔重点施策の達成状況〕

【国際】

- (1) **スーパーグローバル大学事業にかかるキャンパス・イン・キャンパス (CiC) 構想実現のため、海外パートナー3 大学との連携強化及び環境整備を行う。**

ボルドー大学および国立台湾大学との間で CiC 協定書に調印し (カリフォルニア大学アーバイン校については、MOU 更新に合わせて CiC の内容を盛り込む)、併せて本学に 3 大学の CiC オフィスを開設した。また、CiC に係る科目ジュークボックスの仮運用を開始し、新たな 3 つの海外教育研究ユニットを招致するなどの環境整備を図った。
- (2) **海外大学・機関との国際交流の基本戦略を点検し、必要に応じ改定するとともに主要協定校との連携を強化する。**

第 3 期中期計画・目標の開始に合わせ、「国際戦略基本方針 2016」を策定した。特に「国際地域戦略」については限られた資源の最適化をはかるとともに将来的な拠点の統合に配慮するとともに、地域の特性並びに過去の経緯を反映した各地域に固有の戦略を策定した。
- (3) **海外拠点を活用したスーパーグローバル大学構想を含めた事業計画を実施する。**

本学の重点協定校であるボルドー大学、国立台湾大学、カリフォルニア大学アーバイン校及びサンパウロ大学に Campus in Campus (CiC) 相互オフィスを設置し、本学が取り組む「スーパーグローバル大学創成支援事業」の中核的構想である Campus-in-Campus 実現に向けた支援環境を整備した。
- (4) **海外共同利用事務所の再編後の組織強化・新事業の効果について検証・分析を行い、より実効的な事業展開を策定し実施する。**

海外共同利用事務所活動を維持発展するために、帰国留学生およびアフリカで活動する他大学とのネットワーク強化を行った。具体的には海外の卒業生ネットワークポータルである T-Net を通じた情報収集・発信、日本・アフリカ大学連携ネットワーク (JAAN) を通じた北海道大学、九州大学との連携による留学生リクルーティング活動の共有を行った。
- (5) **協定校からの留学生受入れ戦略に基づいた交流実績の把握及び戦略の見直しを行う。**

学生・教職員の協定校を含む海外派遣の即時的モニタリングシステムを整備し、TIINNS による交流実績のモニタリング体制を強化した。英語による授業のみで学位が取得できる G30 学士課程プログラムへの海外リクルートを念頭に、今年度あらたに「海外リクルート戦略」及び「リクルートツールキット」を作成し、地域差を意識しつつ、海外拠点担当者、部局教職員、UIA、国際室、グローバル・コモンズ機構がチーム制で海外の優秀な学生の獲得を行うシステム確立に向けて歩を進めた。
- (6) **海外拠点との連携のもと、T-Net を利用した留学生の出身国における国際交流・同窓会組織の整備を推進する。**

本学の海外拠点を起点として、現地の同窓会組織と連携を図り、新たにモスクワ、ウズベキスタン、インドネシア、台湾で本学の同窓会が設立された。9 月のつくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) では、第 1 回目となる、海外同窓生ネットワーク年次総会 2015 を開催し、世界 9 地域から同窓生組織の代表を招聘、本学の同窓生ネットワーク強化に関する情報共有・意見交換を行った。また、本学と海外の同窓生や同窓会組織とのネットワークを強化する目的で、10 月には Tsukuba Alumni Network (T-Net) が開設され、2016 年 3 月現在、647 名の登録がある。
- (7) **国際学術フォーラム開催等による学術交流・人材交流のネットワーク強化に関する支援策を一層強化する。**

9 月につくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) を実施し、世界 25 か国、90 機関から 200 名近い発表者と、1200 名を超える来場者があり、学術交流・人材交流をおこなった。

また、戦略的な海外大学・研究機関との連携推進の一環として、海外拠点の 1 つであるボンオフィスの機能を活用して、ドイツ学術交流会 (DAAD) とのマッチングファンドによる「筑波大学・ドイツ学術

交流会（DAAD）パートナーシッププログラム」を実施した。当該プログラムに基づく学生・研究者の相互交流を促進し、ドイツの高等教育機関と本学との長期的協力関係の構築に寄与した。

(8) 国際戦略に沿った教育・研究交流推進策を立案する。

研究・教育に関する国際化戦略を網羅した「国際戦略基本方針 2016」を策定、今後の教育・研究支援の指針としてゆく。また、本学の海外教育・研究ネットワークの強化・促進を目的のひとつとするつくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) の事務局として、国際的な研究・教育交流推進を支援した。

〔改善目標の達成状況〕

(1) 定期的な連絡会議を通して、グローバル・コモンズ機構との連携を強化し、本学のグローバル化を推進する。

国際連絡会を定期的（毎月）に開催し、国際室とグローバル・コモンズ機構との連携を強化した。また、海外渡航届システムの共同開発など、国際室とグローバル・コモンズ機構との協働を推進した。

(2) 定期的な刊行物の発行を行うなど、本学の国際戦略を全構成員が具体的なイメージとして共有できる形で提示できるよう努める。

「国際戦略基本方針 2016」及び「平成 27 年度海外リクルート戦略」をまとめると同時に、学内外における「大学の国際化」に関する議論に広く資することを目的として、「筑波大学国際室ワーキングペーパー・シリーズ」を創刊した。今年度は、『大学にとって国際戦略とは何か～経営戦略論からの示唆～』ならびに『国際交流協定を活用した大学の国際化～パートナー評価のための参考指標の提言～』の 2 冊を発行した。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

日越大学の公共政策分野及びマレーシア・日本国際工科院 (MJIT) の防災分野での幹事校として、海外の大学院修士課程プログラムの立上げを支援した。また、日本・アフリカ大学連携ネットワーク (JAAN) や Japan Academic Northern Europe Network (JANET) を本学が中心となり立上げ、海外の高等教育機関、研究機関等との学術交流のためのネットワークを構築した。

2. 自己評価と課題

「国際戦略基本方針 2016」の策定、ボルドー大学および国立台湾大学とのキャンパス・イン・キャンパス (CiC) 協定書の調印、ボルドー大学、国立台湾大学、カリフォルニア大学アーバイン校及びサンパウロ大学のキャンパス・イン・キャンパス (CiC) 相互オフィスの設置、つくばグローバルサイエンスウィーク (TGSW) 2015 の開催、海外拠点を中心とした海外同窓生ネットワーク年次総会 2015 の開催、Tsukuba Alumni Network (T-Net) の開設など、海外の大学・研究機関との戦略的交流・連携を強化しながら国際的研究・教育交流を推進するとともに、海外拠点活動の活性化を支援できた。

財務・施設

1. 平成 27 年度重点施策並びに改善目標に記載されている事項についての達成状況等

〔平成 27 年度の実施方針〕

財務・施設担当では、平成 27 年度施策のポイントを『経費削減の推進』、『筑波大学基金の充実』、『グローバル化に対応した施設整備の実施』に置く。重点的な取組みとして、財務関係では、インターネットを活用した新しい調達システムの運用状況を検証し改善を行う。また、連携・渉外関係では、安定的かつ恒常的な募金体制の確立を推進する。施設関係では、国際水準に対応した学生宿舎の整備及び教育研究活動を支えるスペースの確保を推進する。

〔重点施策の達成状況〕

【財務】

- (1) インターネットを活用した新しい調達システムについて、運用上の課題等を検証し、システムの改善を行う。また、スケールメリットを活かした調達方法による購買について、運用を継続し、新たに共同調達に加わった教員研修センターを含めた共同調達案件の拡大を検討する。
 - 試薬・理化学用品を対象に平成 26 年 1 月に運用を開始したインターネットを活用した購買システム (TUPS) について、利用状況が低迷していることから利用率の向上を図るため登録者への通知、運営会議及び教員会議で周知を行い、購買実績が 4,115 件・82,285 千円と前年度に対し件数で 9.1 倍、利用金額で 11 倍の伸びを示した。
 - 調達事務の合理化及びスケールメリットによる経費削減を図るため、平成 23 年度に設置した本学を含む県内の国立大学法人等 4 機関で構成する「共同調達連絡協議会」に、平成 26 年度までに 3 機関 (独立行政法人) が加わり 7 機関に拡大した。平成 27 年においては、PPC 用紙について 7 機関 (3 機関増)、蛍光管については 4 機関 (1 機関増) に拡大して共同調達するとともに、施設管理関係ではエレベータ設備の保守について災害時の対応状況を検分するため試行的に共同調達を行い、特に問題はなかったことから平成 28 年度においても継続することとした。また、新たに平成 28 年 10 月より一般廃棄物処理、平成 29 年 4 月より情報入出力支援サービスを共同調達として実施することとしている。
- (2) 業務プロセスチェック制度による対象業務について、職員課と連携し、経費削減や業務改善の効果が期待されている対策の本格的な運用を実現する。
 - 業務プロセスチェック制度の対象業務として職員課と連携して取り組んだ「非常勤職員の勤務時間集計業務」について、集計業務のシステム化のために「非常勤職員勤務管理システム (WORKS)」を構築し、平成 26 年 4 月から利用環境が整った組織から試行運用を開始し、平成 27 年 2 月まで順次試行運用を拡大した。(対象者は約 1200 名)
 - ◆本格稼働前の試算では、
 - ①利用者約 800 名、②業務時間の削減効果 約 2400 時間
(人件費換算で約 580 万円) と見込んでいた。
 - ◆平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月までの本格稼働の実績では
 - ①利用者延べ人数 835 名、
 - ②業務時間の削減効果 約 2500 時間
(人件費換算で約 607 万円) となり
 - ◆試算と比べて
 - ①利用者数 34 名、
 - ②業務時間の削減効果 約 100 時間
(人件費換算で 25 万円) と、試算を超える削減効果を得た。
 - 「授業料免除の業務」の改善については、平成 25 年度、平成 26 年度、平成 27 年度と、現状の詳細な分析や抽出された改善の機会に対する具体的対応策などについて、外部の業者からの支援により検討を行った。これにより得られた客観的な分析結果等に基づいて学内関係部局間で検討を重ね、業務フローの改善等を行い、①受付時期等のスケジュールの早期化、②提出書類の簡素化を図ることとし、平成 27 年度第 2 期の免除申請から実施した。平成 27 年度は移行期間であり、平成 28 年度から業務が平準化されることで、平準化した際の業務全体における時間の削減効果を約 1400 時間 (人件費換算で約 340 万円) と見込んでいる。また平成 28 年 2 月の「平成 28 年度 第 1 期授業料免除申請 (継続申

請) から、申請書類は大学 HP からダウンロードすることとし、印刷経費の削減を図った。

【連携・渉外】

- (1) 平成 27 年度から開始する「筑波大学校友会カード (クレジット機能付大学カード)」事業の普及・促進に努めるとともに、新たな募金システムの構築を行い、安定的かつ恒常的な募金体制の確立に向けた基盤を整備する。

校友会カード事業を開始し、平成 28 年 3 月現在 930 名の申込みがあり、5 年で 4,000 枚に向けて順調に推移している。また、安定的かつ恒常的な募金体制の確立に向け、ふるさと納税大学版の「筑波フューチャーシッププレミアム」制度を開始するとともに、ボルドー大学との連携により、ワインの輸入販売を開始し、売上の一部 (約 1,000 千円予定) を基金として受け入れる予定である。

【省エネルギー・環境保全】

- (1) つくばエコシティ推進グループの諸活動を推進し、学内及び地域における環境教育の充実・環境意識の向上を図るとともに、温室効果ガス削減計画に基づき、省エネ活動の取り組み及び省エネ機器の導入を継続的に推進し省エネルギー化を図る。

・「エコステーション事業 (資源ゴミのリサイクル活動)」は、第二期初年度である平成 22 年度から開始し、平成 27 年度には 9 つの課外活動学生団体による事業活動を実施した。

・新入生必修の「フレッシュマンセミナー」では、講義とエコステーションでの実習を行い、平成 27 年度は 12 学類 920 名余りの学生が受講した。また、平成 26 年度に引き続き、学群 1,2 年生を対象とした学内外の専門家による総合科目「筑波大学から診る環境問題」の講義を実施した。

- (2) 省エネルギー化を推進するため、省エネ機器を計画的に更新するとともに、学内予算及びその他の多様な財源により太陽光発電設備の整備計画に基づき実施する。

人文社会学系棟、自然系学系 B 棟、中央図書館に太陽光発電設備 60KW を設置した。

人文社会学系棟、自然系学系 B 棟の耐震改修により、照明を LED 化、空調を個別方式にした。

また、大学会館会議室等の空調を個別方式にするとともに、中央図書館の照明を LED 化した。

その他、既設外灯を一部 LED 外灯に改修した。

【施設】

- (1) つくば地区の土地について活用計画に基づき施設の整備を実施する。職員宿舎等についても活用処分計画に基づき用途廃止した職員宿舎等の有効活用を実施する。

老朽化した大型車庫 2 棟を取り壊した跡地に大学の機能強化を図るため、共用スペース (本部アネックス棟) を整備した。平成 26 年度に策定した筑波地区職員宿舎用途廃止計画及び職員宿舎再開発整備計画に基づき、平成 28 年度以降の職員宿舎の活用・譲渡等に向けて、竹園 3 丁目の職員宿舎の新規の入居を停止、並木 3 丁目職員宿舎及び松代 5 丁目外国人教師等宿泊施設入居者の退去が完了し用途廃止した。また、並木 3 丁目職員宿舎敷地について、有効活用、譲渡 (売却) の検討を行った。

- (2) 国際化に対応する留学生・外国人研究者等の支援施設整備計画に基づき留学生等支援施設を充実する。

平成 27 年 8 月にグローバルレジデンス整備事業の契約を締結し、留学生・日本人学生のシェアルーム型で高機能な学生宿舎 (500 人規模) を整備中である。短期留学生の宿泊施設として、一の矢学生宿舎 3 棟を改修整備した。

- (3) 最先端研究・国際化・情報化に対応するため、施設マスタープランに基づき学内予算及びその他の多様な財源により施設の整備に着手する。

平成 26 年度補正予算により人文社会学系棟、自然系学系 B 棟、医学系学系棟の耐震改修を実施した。

自然系学系 B 棟渡り廊下改修、医学系学系棟改修については、設計変更による工期延長のため平成 28 年度完成となる。

また、第 2 サッカー場人工芝敷設工事を現物寄附受により着手した。

- (4) PFI 事業として生命科学動物資源センター整備事業と附属病院再開発事業を着実に実施する。

PFI 事業として生命科学動物資源センターと附属病院再開発事業を着実に実施している。

- (5) 研究室・実験室等の施設の利用率を向上させるため、実施計画に基づき全学共用スペースの拡充を実施する。

施設使用状況調査業務の簡素化とタイムリーな情報が得られる施設管理システムを導入した。平成 28 年度のスペースチャージ制度の実施に向けて「スペースチャージ運用ガイドライン」を制定した。

- (6) 講義室の有効活用及び利用率の改善を進めるため、実施計画に基づき共用講義室の利用率の向上を図る。

講義室の使用状況調査を実施し、実態を把握した。

- (7) 戦略的な施設有効活用方法を実施するため、柔軟な施設配分が可能となる実施計画に基づき施設配分を実施する。

新たに公募スペース約 900 m²を確保し、柔軟な施設配分として耐震改修工事の一時的移転スペースに約 2,100 m²を配分した。

- (8) 十分な学習環境を確保するため、福利厚生施設等の改善・整備計画に基づきインフラ整備を実施する。

茨城県補助金により医学専門学群の地域枠定数増に係る教育環境整備として 4A 棟等を改修した。

学内予算により 3C・D 棟南トイレ改修、平砂学生宿舎テニスコート部分改修、中央図書館照明設備改修を実施した。

施設費交付金により附属学校体育館等の照明設備及びバスケットゴール耐震改修を実施した。

- (9) グローバルレジデンス整備事業計画に基づき整備を実施する。

平成 27 年 8 月に PFI による事業契約を締結し、留学生・日本人学生のシェアルーム型で高機能な学生宿舎（500 人）を整備中である。また、短期留学生の宿泊施設として、一の矢学生宿舎を利用し平成 27 年度に 3 棟（206 戸）を長期借入金により改修整備した。

【社会連携】

- (1) これまでの復興・再生支援活動において構築された関係自治体との連携関係を維持しつつ、ニーズに応じた事業を実施する。また、社会貢献プロジェクト事業を中心に、自治体との連携を推進する。

・平成 23 年度に締結した「震災復興に係る連携協定」に基づき、受託研究事業として、神栖市 4 件、いわき市 1 件を実施した。

・被災地としての経験を活かし、研究成果の発信と茨城県への提言のため、「巨大地震プロジェクト震災復興シンポジウム」を開催し、自治体から約 90 名、約 250 名の参加があった。

・地域貢献、地方創生を目的とした「社会貢献プロジェクト」では、平成 22 年度～27 年度の 6 年間で、のべ 251 課題の取り組みを実施した。

【研究学園都市連携】

- (1) 「つくば 3E フォーラム」の活動を通じて、研究機関及び自治体との連携を推進し、環境・エネルギー等に関する社会的課題に対して、各タスクフォースを中心にプロジェクトを推進する。

平成 28 年 1 月 23 日、都市構造・交通システム TF が基盤となり、第 9 回「つくば 3E フォーラム会議」を開催した。「これからの「交通まちづくり」を考える」をテーマとして、市民、研究者、行政関係者合わせて、120 名を超える参加者があった。

【つくば国際戦略総合特区】

- (1) 茨城県、つくば市及び他研究機関等と連携しながら、一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構と協働し、イノベーション創出に必要な企業との連携機能の強化を図る。

つくばの研究機関、つくばグローバル・イノベーション推進機構等が進めているつくばイノベーションエコシステム構築のベースとなる技術シーズの掘り起こし、目利き、ビジネス（事業化）の新たな手法を構築するため、事業化候補のデータベース化、技術シーズ集の作成、プロモーションイベント（文部科学省主催）等において、発掘したシーズを提案し、中小企業とのマッチングを行った。また、中小企業の事業化ニーズを呼び込む仕組みとして、つくばテクニカルコンシェルジュ（TTC）という技術相談のワンストップ窓口を開設し、新しいマッチング方式を模索した（筑波大、物質・材料研究機構、農研機構が参加）。企業・投資家、起業家、研究者、起業志望者などが集い、人材育成や情報交換を行う場（つくば駅上）の設置準備を進めている。

【改善目標の達成状況】

【財務】

- (1) 第 3 期中期目標期間を見据え、人件費を含む予算編成の在り方を見直しするなど新たな予算配分のスキームを構築する。

第 3 期中期目標期間は、収入においては機能強化促進係数（▲1.6%）により基幹運営費交付金が毎年 3.8 億円の減額が見込まれ、支出においては平成 31 年 10 月に予定されている消費税増税や国からの財政支援終了に伴う大学負担などの増額が見込まれることから、これまで以上に厳しい財政運営を強いられることは確実である。

このため、担当部局へ第 3 期中期目標期間に取り組むべき方策を示し、具体的な戦略（人事戦略、外部資金獲得戦略等）を策定させ確実に実行させることとした。

また、学内予算については、新たな評価システムの導入などPDCAサイクルの徹底、予算の質の向上・重点化、民間資金など外部資金の導入促進を基本的な考え方とした基本方針を策定した。

【施設】

- (1) 平成 26 年度業務監査での監事の意見を受け、附属学校将来開発構想について、施設整備に関する諸条件を整理し、検討を行うため、施設・土地委員会の下に附属学校将来開発構想 WG を設置した。本 WG で検討し作成した骨子案について、施設・土地委員会へ報告し、学内の法定会議等に提案することとする。

東京キャンパス等（春日地区・大塚 1 丁目地区・大塚 3 丁目地区）の土地・建物の有効活用の観点から、再開発に関する計画を審議するため、平成 27 年 3 月に「附属学校将来開発構想 WG」を施設・土地委員会の下に設置し、検討結果を、施設・土地委員会に報告し、併せて平成 28 年 1 月 7 日の運営会議に報告した。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

財務部では、平成 25 年 2 月に「収入・支出改革アクションプラン（第一次報告）」として 21 の検討項目について提言を行い、平成 27 年 2 月には「収入・支出改革アクションプラン（第二次報告）」として 16 の検討項目について提言を行い、各部局が提言に基づき行う収入・支出改革の取り組みについて、進捗状況のフォローアップを行い課題解決に向けた取組を着実に進めてきている。

平成 27 年度では、①合同企業説明会の実施方法等の見直しで約 40 百万円の収入増、②広報刊行物の発行数等の見直しで約 2.6 百万円の経費削減の成果を得た。

また、平成 28 年度から開講する「エクステンションプログラム」に向けて、料金の考え方、エントリー WEB サイトの構築などのプラットフォームを整備した。

今後も、「収入・支出改革アクションプラン（第一次）（第二次）」のフォローアップを進めるとともに、これからの収入拡大の取組には資産の有効活用を含めた様々な施策がより重要となるため、大学執行部からの提言・意見などを踏まえた体系的な取組を推進していくこととしている。

施設部では、グローバルレジデンス整備事業計画に基づき、平成 27 年 8 月に PFI による事業契約を締結し、留学生・日本人学生のシェアルーム型で高機能な学生宿舎（500 人）を整備中である。また、短期留学生の宿泊施設として、一の矢学生宿舎を利用し平成 27 年度に 3 棟（206 戸）を長期借入金により改修整備した。

（チャレンジプランの取組状況）

前年度に実施した、旅費計算業務に係る業務量調査を踏まえ、旅費についての規則、施行規程、細則と 3 つに分かれていたものを一つの規則に統合、簡素化を図った。（平成 28 年 2 月 1 日施行）特に、日当及び宿泊費に食費を含まない事を明確化したことにより、従来非常に事務負担が大きかった学会等参加費に於ける食費の有無確認について旅費としての確認が必要でなくなったことにより簡素化することができた。

また、会計業務に従事する人数、業務プロセスを精査し、集中・省略化できるものを峻別し、会計業務の合理化・効率化に向けた会計業務一元集中化を実施した。（平成 28 年 1 月より試行）集中した業務は、①各支援室などで実施している教員発注に係る会計処理業務を全学会計センターに一元集中化した。②教員発注以外のすべての契約業務を財務部契約課に一元集中化した。③旅費計算業務を全学会計センターに移管した。今後は、この試行によってどれだけ業務及び人件費削減ができるのかを検証していくこととしている。

2. 自己評価と課題

①インターネットを活用した購買システム（TUPS）について、90%を超える登録率を達成しており利用率が課題となっていたが、利用率の向上を図るため登録者への通知、運営会議及び教員会議で周知を行った結果、購買実績が前年度に比較して約 10 倍（平成 28 年 2 月現在）の伸びを示している。TUPS は、複数業者から見積額の提出を受ける仕組みになっていることや直接業者との接触がないなど経費削減や不正防止抑制の効果が期待できることから、今後は、利用環境を改善するなどして、未だ利用実績のない登録者へ改めて周知を行い利用者の拡大を図っていく予定である。

②スケールメリットを活かした調達方法による購買については、本学を含む茨城県内の国立大学法人等 7 機関で PPC 用紙をはじめ 7 件の共同調達を実施できた。平成 28 年度以降、新たに 2 件の共同調達を実施することとしているが、引き続き、共通する物品調達や役務について新たな共同調達案件を検討する予定である。

- ③改善目標である「第3期中期目標期間を見据え、人件費を含む予算編成の在り方を見直すなど新たな予算配分のスキームを構築する」については、これまで以上に厳しい財務運営を強いられることが確実であることから、新たな評価システムの導入など PDCA サイクルの徹底、予算の質の向上・重点化、民間資金など外部資金の導入促進を基本的な考えとした基本方針を策定した。
- ④収入・支出改革アクションプランについては、平成 25 年 2 月の第一次報告、平成 27 年 2 月の第二次報告で多岐にわたる提言を行い、実施組織に対するコスト意識や業務改善への意識の醸成などに貢献した。今後も、未達成の取組事項も含め提言時では実現が困難と判断された事項についても、その後の社会環境の変化や国の制度改革等により、現段階で実現可能性のある事項がないか改めて確認を行うなど、改善策のフォローアップを継続し着実に取組を進める予定である。
- ⑤教育・研究活動等の充実・支援のため、校友会カードや筑波フューチャーシッププレミアム等の事業により、安定的かつ恒常的な募金システムを整備しているが、更なる募金体制の確立を行い、基金の充実を図る必要がある。
- ⑥【省エネルギー・環境保全】エコステーションでは資源ゴミのリサイクル促進や環境教育面のみならず、売却収入による財政面での大きな効果を挙げている。また、総合科目では、キャンパス環境から地球規模課題まで取り扱い、環境問題解決のリーダーや専門家を育成する一助になったと考えている。今後、さらに学内外への情報発信を強化していきたい。
- ⑦【社会連携／研究学園都市連携】学内経費によるスタートアップ的なもの、自治体からの受託研究として経費を受け入れるもの、両方で連携を密にして行う社会発信など、バランスよく活動が展開されるようになった。今後、双方にとって取り組みが片務的にならないよう、また、継続性を持って取り組んでいく必要がある。
- ⑧施設部では、重点施策については、概ね実施することができた。研究室・実験室等の施設の利用率を向上させるため、施設使用状況調査業務の簡素化とタイムリーな情報が得られる施設管理システムを導入した。また、平成 28 年度のスペースチャージ制度の実施に向けて「スペースチャージ運用ガイドライン」を制定した。その他特色ある取組として、グローバルレジデンス整備事業を進めており、目標を十分達成したものと考える。

課題：本学は、昭和 48 年から 52 年にかけて集中的に整備しており、老朽化した建物が多数残っている状況である。また、基幹設備（ライフライン）も同様に老朽化が進んでおり、安全性確保のため、年次計画を立てて計画的に実施していくことが今後の課題である。

総務・人事

1. 平成 27 年度重点施策並びに改善目標に記載されている事項についての達成状況等

〔平成 27 年度の実施方針〕

平成 27 年度施策のポイントを「文部科学省が策定した『国立大学改革プラン』を踏まえ、本学の人事・給与システムのさらなる活性化」、「安全管理・法令遵守」、「国外への戦略的広報」に置く。重点的な取り組みとして、業務運営では、新たな業績評価に基づく年俸制の促進を図る。また、安全管理・法令遵守等では、リスクマネジメントポリシーに基づいた全学的なリスクマネジメント体制、安全衛生教育、ハラスメント相談に係る初期対応をそれぞれ充実させる。また、広報関係では、海外向けの教育研究に関する広報を強化し、公式英語サイトの全面リニューアルを実施する。

〔重点施策の達成状況〕

【業務運営】

- (1) **海外教育研究ユニット招致制度や、年俸制・混合給与などの活用により、外国人教員の任用を推進する。**
新たに 3 つの海外教育研究ユニット招致を開始すること等により、外国人教員の任用を推進した。
海外教育研究ユニット招致内訳（平成 28 年 3 月 31 日現在）
件数：6 件
相手先：イギリス、フランス、ドイツ、オランダ、デンマーク
分野：人文社会系、数理工学系、医学医療系、下田臨海実験センター
（平成 28 年 3 月 31 日現在）
外国人教員数 130 人（前年 122 人）
- (2) **国際テニュアトラック制、海外教育研究ユニット招致制度、年俸制の活用により優秀な教員の任用を推進する。**
国際テニュアトラック制、海外教育研究ユニット招致制度、年俸制の効果的な活用により、優れた教員、若手・女性・外国人教員の採用を推進し、平成 27 年度末時点で年俸制を適用している教員は 474 名、外国人教員 130 名、女性教員 351 名、若手教員（満 39 歳以下）451 名となっている。
- (3) **サバティカル制度の検証結果に応じ、必要に応じて改善を行う。**
サバティカル制度実施上の改善について各系長に照会し、提出された意見に基づき人事企画委員会において検証を行った。その結果、制度面の変更は行なわず、科目開講の必要性などを考慮した、より取得しやすい環境の整備を図ることとした。
- (4) **新たな業績評価に基づく年俸制を促進する。**
全学年俸制教員評価実施委員会（7 月、10 月、11 月、3 月の計 4 回開催）において、平成 27 年度の年俸制教員の評価を行い、年俸制教員業績給（区分Ⅰを 1 人、区分Ⅱを 16 人、区分Ⅲを 15 人）及び年俸制教員特別手当（区分Ⅰを 3 人、区分Ⅱを 15 人）を支給する者を選考した。
- (5) **複線型人事を推進するため、検証結果及び職務を踏まえ、専門職スタッフのキャリアパス等の労働条件を策定する。**
専門職スタッフのキャリアパス及び業績評価結果の処遇等へ反映として、URA の一部を任期のない職員へ転任させるなど、事務系職員の高度化と複線型人事を推進した。
- (6) **在宅勤務制度などの検証結果に応じ、必要があれば適宜改善を図る。**
在宅勤務制度については適用範囲の検討を行ったが、平成 27 年度の制度利用者がいなかったことから、従来の適用範囲のとおりとした。
- (7) **平成 26 年から本格実施した定期評価を引き続き実施し、必要に応じ改善を行う。**
平成 26 年 10 月から本格実施した定期評価を引き続き実施するとともに、人材育成基本方針、評価者アンケート等を踏まえ、各職位に求められる能力と職位間の整合性を図るため、職務能力評価シートのうち「評価項目」及び「着眼点」について整理を行い、平成 27 年 10 月から新たな様式で定期評価を実施した。また、平成 27 年 9 月期評価終了後の提出状況を踏まえ、業務の実情、人事異動等を考慮し、3 月期評価終了時点において定期評価調書の提出を求めるなど調書の提出方法について見直しを行うとともに、「定期評価の手引き《事務職員・技術職員》」の改訂を行った。
- (8) **若手・女性・外国人等の構成比率の数値目標を定めて、多様な人員構成の実現を進める。**
部局毎に定めた若手・女性・外国人教員等の構成比率の数値目標に対し、全学戦略枠による採用者を

含めた5月1日現在の達成状況について検証を行った。

(5月1日現在の全体の構成比率及び人数)

若手 24.3% (前年 22.6%) 471人

女性 17.7% (前年 16.9%) 342人

外国人比率 6.3% (前年 5.8%) 122人

(9) 若手教員の雇用計画に基づき配分した全学戦略枠を活用し、優秀な若手教員の雇用を促進する。

若手教員の雇用計画に基づき前年度に採用した9人の若手教員について、全学戦略枠を活用して退職金に係る運営費交付金の積算対象となる教員とした。

(10) 人材育成基本方針に基づく研修・自己啓発等の機会を設けるとともに、職員育成研修制度の検証に応じ、適宜改善を行う。

人材育成基本方針に基づき、人材育成重点期間職員研修、階層別研修、情報化研修、語学研修、資格取得支援等を実施した。

平成27年度においては、新たに上司と部下を連動させた「中核人材育成研修」を実施しOJT能力の強化を図るとともに、自己啓発、自律的なキャリア形成を促進するため若手職員勉強会の開催(3回)、採用3年目職員に対するキャリア面談(40名)を実施し、大学の将来を担う人材の育成を図った。

さらに、グローバル・スタッフ育成室を設置し、「エリア・コモンズ人材育成研修」(12回)、「筑波大学SD研修特別講演会」(2回)、特別セミナー(3回)、海外の大学等への短期業務研修(7件、12名派遣)及び留学生による英語チューター研修(39名受講)等を実施し、真の国際性を身に付けた職員の育成を図った。

(11) ライフステージに対応した勤務形態や代替要員措置制度について、必要に応じ改善を行う。

教職員のライフステージに対応した準フレックスタイム制度については、適用範囲を拡大し「夏の生活スタイル改革」を目的とした取得についても準フレックス勤務としたところ、平成27年度の制度利用者は171名となった。

(12) 保育施設の利用拡充を実施する。

ゆりのき保育所(月～土開所、医療従事職員を除く教職員対象)及びそよかぜ保育所(通年開所、医療従事職員対象)を統合した保育所を平成27年4月に開所し、両保育所の入所定員数合計数を維持しつつ全教職員対象及び通年開所とすることにより、利用者の利便性の向上を図った。

(13) 女性管理職の登用やダイバーシティの一層の推進に資するFD研修を、各部局と共に実施する。

また、ワークライフバランス、キャリアプランニング、ライフプランニング、ダイバーシティ教育など、学群総合科目、大学院共通科目におけるダイバーシティ理解・推進のための授業の充実・拡大を図る。

取り組み全般を加速させるとともに、特に大学執行部ならびに管理職を対象としたトップマネジメントセミナーや、部局の長である系長への個別ヒアリングを実施し、女性管理職の登用やダイバーシティ推進に関する情報提供及び現状や課題の把握に取り組んだ。また、部局との共催による男女共同参画やダイバーシティ推進に関するFD研修を7回企画・実施(7月(1回)、10月(2回)、1月(1回)、2月(2回)、3月(1回))し、大学全体に意識改革が浸透するよう努めた。

学群総合科目と大学院共通科目を春学期及び秋学期にそれぞれ開講し(受講生の合計146名)、企業やNPO等の現場でダイバーシティに取り組む外部講師による講義を取り入れ、授業内容の幅を充実・拡大するとともに、学生同士に自発的に課題解決を促すためのグループワーク等のアクティブ・ラーニングを取り入れ、内容のより深い理解を促す等、ダイバーシティ教育の充実・拡大を図った。

平成27年度における女性管理職の登用人数は15人であり、管理職における女性の割合は14.7%となった。

(14) 本部と部局の機能・責任分担関係を明確にした文書処理規程に定める文書決裁の原則(名義者・専決)に基づき、引き続き大学運営の意思決定を迅速に行うとともに、新たな業務等の発生に伴う名義者・専決を改善する。

新たな業務等の発生に伴う名義者・専決について調査し、その調査結果に基づき、平成27年4月に文書処理規程の一部改正を行った。

(15) 平成25年に見直しした経営協議会における意見・助言を大学運営に適切に反映するシステムを引き続き、機能させる。

平成27年度においても継続して経営協議会における意見・助言を整理し、第79回及び第82回の経営協議会において改善策等の実施状況を報告した。

(16) 業務プロセスチェック制度の運用方法の検証結果を基に、必要に応じた制度の改善を行う。

学長を本部長とする業務改革推進本部を新設し、業務プロセスチェック制度の成果を踏まえた業務のチェック体制の見直しや業務プロセス見直しが必要な業務の洗い出しを行った。これら業務の適正化・効率化に資する34件の改善施策については、平成28年4月までに実施した。

【安全管理・法令遵守等】

(1) 化学薬品の取扱に関するeラーニング教材を開発し提供するとともに、実験廃棄物管理等の安全衛生講習会を継続的に実施する。

化学薬品に対する安全衛生の教育体制をさらに充実させるため、オンデマンドで繰り返し学習できるeラーニング教材「化学物質の安全衛生管理」(基礎編:第5章)を作成し、試行を開始した。さらに、大学院共通科目として、これまでの実践力養成に加え、指導者の育成を目指す「EHSマイスター養成講座」を開講した。

毎年開催している薬品・実験廃棄物管理研修会については、平成27年度の参加者は教職員・学生合わせて153名となり、留学生向け同研修会では、参加した19名との活発な質疑応答が行われた。

(2) 危機に迅速かつ確に対処するため、事件・事故等の情報を充実するとともに、防犯・安全対策を改善し、安全・安心なキャンパスを整備する。

リスクマネジメントポリシーのもと、学内外において発生したリスク事案の情報を、全学リスク管理室に集約させ、総務担当副学長の指揮により、速やかに学長はじめ執行部への報告、関係の事務担当へ連絡・連携を行う体制で運用できた。

また、学生部と連携したセーフティプロジェクトの活動として、学生の安全意識の啓発を目的とした安全キャンペーン週間において、朝夕の交通安全指導を実施した。

(3) 組織の長等を対象としたメンタルヘルス講習会を開催するとともに、各個人が心理的な負担の程度を確認できるストレスチェック制度を導入する。

教職員一人一人が健康で生き生きと働くことのできる職場環境作りに向けて、主に管理監督者を対象としたメンタルヘルス講演会を開催し、本学産業医から、仕事に対する時間的裁量権や達成感の付与などの労務管理のポイントについて説明を行った(参加者129名)。さらに、平成28年度からスタートするストレスチェック制度について、平成27年6月、ワーキンググループを設置して本学に適した実施方法の検討を重ね、平成28年3月、ストレス調査票の作成や集団分析を請け負う委託機関との契約を締結し、導入を図った。

(4) 危機管理体制・対応マニュアル等の検証、整備を受け、リスクマネジメントポリシーに基づいた全学的なリスクマネジメント体制を充実させる。

全学リスクマネジメント委員会及び全学リスク管理室会議を開催し、災害発生時の避難計画の改善を行った。併せて、関係部局と連携し、海外における危機発生時の渡航者の安否確認体制を構築した。

また、平成27年11月に全学での防災訓練を実施した(参加者約5,800名)。

(5) 前年度までの検証を踏まえた上で、コンプライアンスの概要や遵守事項について解説したマニュアルを引き続き充実させるとともに、全職員を対象としたコンプライアンス研修を実施する。また、法令遵守の観点から、上位規則等に学内規則等が適切に規定されているか総点検を行い、整備する。

コンプライアンスの概要や遵守事項について解説したコンプライアンスマニュアルについて改訂を行い、さらに内容を充実させた。また、新任職員を対象にコンプライアンス研修を行うとともに、階層別(主任、係長、副課長級)研修参加者の全体講習時に、外部講師による日常起こりやすい事例紹介等をテーマとしたコンプライアンス研修(平成27年9月7日実施。出席者118名)を実施した。

上位の法令や規則等との整合性や用語の統一性等を確認し、改正事項の洗い出しを行う学内規則の総点検・見直しを実施した。

(6) 前年度までの検証や研修基本方針を踏まえてハラスメント防止研修を実施するとともに、ハラスメントが発生した場合には、「ハラスメント相談員のための対応マニュアル」及び「初期対応マニュアル」を活用しつつ、調査委員会、調停、組織対応等による事案に応じた対応を図る。

また、平成26年度に試行したカウンセラーによるハラスメント相談体制を引き続き実施改善し、ハラスメント相談に係る初期対応を充実する。

階層別、新任職員及び管理職を対象に、ハラスメント防止研修を行うとともに、外部の弁護士を講師とし、相談員を対象とした講習会(平成27年7月28日実施。出席者33名)を実施した。また、前年度に試行的にハラスメント相談室に配置した心理カウンセラーを引き続き配置し、相談体制の充実を図る。

た。

実際のハラスメント事案については、調査委員会、調停、組織対応等による、事案に応じた対応を行った。

【広報】

- (1) 平成 26 年度において、新聞社への研究成果の情報発信件数が昨年度を上回った。引き続き、サイエンスコミュニケーターを活用した情報提供に取組むとともに、海外向けの研究・教育広報の強化を図る。また、公式英語サイトの全面リニューアルを実施・検証する。
 - ・教育研究成果のプレスリリースについて、その手順を明確化するとともに必要な様式を定め、教育研究評議会等において説明を行い広く教員に周知した。その結果、新聞社等への情報発信件数は昨年度をさらに上回る 153 件（3/23 日現在）の実績を上げた（平成 26 年度 118 件）。
 - ・公式英語ウェブサイトへの掲載に加え、SNS（Facebook、LinkedIn）及び海外の世界最大級のネットワークを有する有料のメディア向け情報配信サービス（AlphaGalileo、EurekAlert!）を積極的に活用し、研究・教育広報を強化した。
 - ・公式英語ウェブサイトの全面リニューアルを実施し、独創的・先進的な研究成果をはじめとする本学の特色・魅力を発信した（具体例：サイト構成の見直し、英語コンテンツの充実）。現在、アクセス解析ならびに、ユーザビリティ向上のための改善を進めている。
- (2) 本学のブランドイメージのさらなる向上のため、地域との新たな連携による広報活動を強化し、具体的な展開を図る。
 - ・つくば市との連携によって開設したサテライトオフィスを活用し、本学の多様な教育研究活動をアピールするためのイベント・展示を実施した。
 - ・筑波研究学園都市記者会を最大限に活用したプレスリリースを実施するとともに、業界・一般メディア等への発信及び連携の拠点として東京キャンパスを積極的に活用した（具体例：研究成果の記者発表、文京区との連携によるイベントの企画・実施）。

〔改善目標の達成状況〕

特になし。

2. 自己評価と課題

重点施策に掲げた事項については、計画どおりに実施できている。

特に、全学リスク管理室を中心とするリスク事案への対応機能強化の一環として、グローバル・commons 機構、学生部及び国際室と連携した、海外における危機発生時の渡航者の安否確認体制を構築し、運用を開始した。

附属図書館・学術情報

1. 平成 27 年度重点施策並びに改善目標に記載されている事項についての達成状況等

〔平成 27 年度の実施方針〕

学術情報担当では、平成 27 年度施策のポイントを『学術情報基盤の整備』、『来館型図書館サービス機能の整備』、『地域の知識基盤としての役割の充実』、『情報基盤整備』、『情報セキュリティ体制の強化』に置く。学術情報基盤関係では、新電子図書館システムの運用と評価、電子資料の計画的整備を行う。図書館サービス関係では、開館時間の延長、ラーニング・コモンズを活用した学習支援活動の継続、専門図書館での活動を展開する。地域の知識基盤関係では、つくばリポジトリによる本学の研究成果の発信を更に推進する。情報基盤整備関係では、e-Learning 学習管理システムの利用促進、人事給与システムの更新に向けた仕様検討を進める。情報セキュリティ関係では、情報セキュリティ体制の強化及び情報セキュリティリスクマネジメント体制の構築を進める。

〔重点施策の達成状況〕

【学術情報基盤】

- (1) ディスカバリーサービス機能を含む新電子図書館システムの評価を継続して行い、利用者サービス機能の改善を図る。

附属図書館 Web サイトアクセス統計では、平成 27 年度の学内からのアクセス数が前年度よりわずかに増加しており、電子図書館システムが学内における学術情報基盤として定着したといえる。

また、利用者からの要望に対応するために、以下のサービス機能改善を行った。

- ①多くの学生が利用する施設予約システムは、業務システムの夜間処理時間のため深夜に 4 時間以上利用できない状況にあった。早朝の時間帯の予約を可能とするため、業務システムの夜間処理内容を見直し、月曜日以外はわずかな時間を除き予約できるようにした。
- ②附属図書館 Web サイトは平成 26 年 3 月の電子図書館システム導入時にリニューアルを行い、デザインもコンテンツも一新して基本的な事項へのアクセスが容易になったが、詳細な事項については従来より探しにくくなり、検索機能がほしいとの要望が出ていた。これに対応するため、サイト内検索機能の実装に向けて半年かけて準備し、1 月に機能追加が完了した。
- ③従来は利用者から借りた図書の履歴を聞かれた際にカウンターの職員が調べて回答していたが、大勢の利用者への対応と、職員の業務省力化のために、ログインした画面で履歴が参照できるよう、2 月に貸出履歴参照機能をマイライブラリ内に追加した。1 ヶ月弱で 900 件以上のアクセスがあり、今後利用の拡大と、職員の負担軽減が見込まれる。

- (2) 電子ジャーナルのバックファイル及び電子化された一次資料を計画的に整備する。

第 2 期中期目標・中期計画期間最終年度となる平成 27 年度は平成 22 年度に策定した整備計画及び平成 25 年度に見直しを行ったものから、電子ジャーナルバックファイルとして利用の希望が多い Wiley 社の 26 タイトル、電子ブックとして継続的に整備している Springer 社の eBook Computer Science 分野 (2016) 1,125 タイトル、学生の語学力向上のための基礎的な英語図書として Infobase Learning eBooks Collections 1,285 タイトルを整備することができた。

これにより電子ブックの総数は、約 30,800 タイトルとなり、電子ジャーナルバックファイルも含め、今期策定目標の基礎的な部分の整備がほぼ完了した。

【図書館サービス】

- (3) 中央図書館のラーニング・コモンズの運用について点検・評価を行い、学習支援サービスの定常化・体系化に向けた運用方針・体制の見直しを行う。また、専門図書館でのサービスの展開や学習用のコンテンツの充実を継続する。

中央図書館のラーニング・コモンズの点検・評価については、平成 27 年 1 月に実施したアンケートの分析に基づき、「グループ学習スペースの拡張」、「ライティング支援の強化」を重点課題として抽出した。グループ学習スペースについては、既存の書架・資料の移動によりエリアの拡張を図った。ライティング支援に関しては、類似の取組を行っているグローバル・コモンズ等と協力体制を構築し、TA の研修体制等について検討を行ったほか、全学のライティング支援の取組を集約した「筑波大学ライティング支援ポータル」を図書館サイト内に開設した(CSI-9 の成果)。また、学習支援サービスの定常化・体系化のために従来の業務内容の点検を行い、学習・教育支援の体系図を策定し、今後の実施計画の拠り所と位

置づけた。学習支援については、専門図書館においても、各分野に応じた講習会・セミナー等を開催するとともに、教員と連携した資料展示を年間を通じて企画するなど活発に展開した。さらに、利用者から強い要望が寄せられていた筑波地区内の図書取り寄せサービスの試行を開始した。

ラーニング・コモンズにおける学習用コンテンツの充実を図るために平成 26 年度に改訂した収書方針により、パソコンスキル、プレゼンテーション技術、レポート作成技術の向上のためのアカデミックスキルズ図書、英語多読本や語学試験対策本、就職対策や各種資格試験対策となる就職関連図書の充実を図った。

また、英語多読本の利用を促進するため、多読を研究対象とする学内の教員と協力して、大学院生を講師とした「多読入門セミナー」を 3 回開催し、合計 142 名の参加者を得た。

- (4) 学生の学習支援強化のため、図書館のサービス時間を充実する。平成 26 年度に実施した休業期間中の開館時間延長の試行結果を踏まえ、中央図書館の開館日数の増加並びに開館時間の延長を通年で実施することにより利用者サービスを拡充する。

平成 26 年度の試行を踏まえ、休業期間中の開館時間延長については平成 27 年 4 月より正式運用を開始した。また、筑波地区専門図書館の開館時間を 30 分早め、中央図書館と同様の 8 時 30 分開館とした。さらに、医学図書館では医学類の授業実施期間に合わせ、休業期間中でも開館時間の延長を行ったほか、大塚図書館においても年末年始の時間外開館を実施し、利用者サービスの拡充を行った。

【地域の知識基盤】

- (5) 二次情報データベースによる本学研究成果の調査を継続し、つくばリポジトリの収録コンテンツ数を一層拡大する。

本学の研究成果の把握とつくばリポジトリへの登録推進のため、学術論文データベースである Web of Science を対象として、本学に関係する研究者の研究成果を毎週調査した。その結果、本学研究者が執筆した 1,856 件の学術論文のうち 812 件について登録の許諾を依頼し、311 件をつくばリポジトリに登録した。

また、日本語学術雑誌論文についても研究者情報システム (TRIOS) から論文情報を抽出し、リポジトリ登録可能である 3,071 件のうち、1,677 件へ登録許諾依頼を行い、875 件を登録した。さらに、TRIOS に教員が自ら原稿のファイルをアップロードした学術雑誌論文 121 件もリポジトリに登録した。

平成 27 年度につくばリポジトリ収録コンテンツの総数は、平成 26 年度から 12.9% 増加し、37,290 件に拡充した。(平成 28 年 3 月末現在)

【情報基盤整備】

- (6) e-Learning 学習管理システムの円滑な運用と効果的な教育活動に向けた利用促進を図る。

e-Learning 学習管理システム manaba を導入して 2 年目の当年は、ユーザインターフェースのさらなる改善やドキュメントの整理を行うことにより、より利便性を高め利用促進を図ってきた。

また、平成 28 年度より実施予定の掲示板の電子化や履修登録の自動化に向け、TWINS との連携を強化するための改修を進めてきた。利用科目数：2,066 科目 (定義は「平成 27 年度に、一度でも書き込みのあったコースページの数」)、受講者数：14,344 人 (定義は「平成 27 年度に、一度でもログインしたことのある学生数」) 遠隔講義・自動収録システムは、収録装置の更なる増設を行い、また、サーバソフトウェアの改修等による利便性の向上を行うことでシステム利用の促進に努めた。(利用授業数：98、収録数：826) OCW では、テキストを主体とする教材から動画コンテンツへの移行による学習効果の向上や、Web サイトのリニューアル、サーバのクラウド化の実施による機能の向上、コンテンツの英語化による国際化の促進を引き続き行っている。(提供コンテンツ数：146 動画)

- (7) 業務情報基盤の整備・運用及び情報処理に対応した人材育成を進める。

業務用連絡システム (グループウェアオフィスシステム) について、運用面ではアカウント作成ツールの導入による業務の省力化を図り、迅速な対応が可能となった。

更には、新しい Web メールサービス機能の活用により、利用者のユーザインターフェース及び利便性を向上させた。

紙媒体で行われている学生向け掲示板について、業務の効率化を図るため、学生向け掲示板の電子化に係るタスクフォースを設置し、平成 28 年度中の本格運用を目指して検討を重ね、TWINS や manaba との連携を図りつつ、システムを構築した。

人材育成に関して、総務省主催の「インターネットセキュリティ技術」研修及び文科省主催の「高等教育機関向け情報セキュリティ技術向上支援」研修などの専門技術部門研修等に参加し、学内の情報セ

セキュリティ強化を図った。また、これまでの専門技術部門の研修参加により、業務情報基盤整備体制の強化並びに、ICT研修の講師育成にも繋げることが出来た。また、ICT研修で、新規採用者向けに業務用連絡システム（GW0）コースを設け、採用時に受講させることで各組織での大学職員としての情報・技術の早期受講を図ることができた。

- (8) **新業務用連絡システムの円滑な運用と検証を行うとともに、人事給与システム（PERSON）の高度活用を目指し、更新に向けた業務設計及び仕様検討を進める。**

人事給与システム（PERSON）について、平成28年度の更新に向け、同システムの設計にかかる基本方針を定め、仕様策定委員会及び検討WGにおいて、業務の省力化と職員へのサービス向上（諸届出のWeb申請・給与明細等のWeb閲覧）、学内構成員情報の統一管理、並びに不正利用や情報漏洩などの対策を考慮したシステム設計を具体的に推し進めることができた。

また、マイナンバー制度に対応するためのガイドラインを策定し、その徹底を図った。

- (9) **知の集積・発信システムとして、研究者情報システム（TRIOS）、大学教員業績評価支援システム（TESSA）及び電子図書館システムとの連携を図り、全体運用の検証を進める。**

知の集積・発信システムとしての全体運用を開始した中で、TRIOSのシステム改修及びRead&Reserchmapのデータ連携の改修を図った。また、TRIOS、TESSA及び電子図書館のより高度な全体運用の検証を図った。

【情報セキュリティ】

- (10) **大学構成員に対する情報セキュリティ教育の充実に向けて、教職員へのe-Learningによる学習体制の浸透を図るとともに、情報セキュリティ体制の強化及び情報セキュリティリスクマネジメント体制の構築を進める。**

平成26年度の筑波大学ISIRTの設置に伴い、部局ISIRTの設置及び情報セキュリティ専門委員会の設置による体制強化及び情報セキュリティに関する、平時、有事の体制構築のため、「インシデント対応手順」及び対応フローの見直しを図った。

情報セキュリティリスク管理室については、4月に民間のIT関連会社より専門家を登用し、情報セキュリティリスクマネジメント体制の構築及び、部局ISIRTを対象としたセキュリティ監査及び各組織へのセキュリティアンケート調査実施による、情報セキュリティの強化を行った。

eラーニングの情報セキュリティ教育については、特に教職員の受講促進を強化し、平成28年3月31日時点において、教員83%、事務・技術等職員92%の受講率となり、教職員の受講開始（平成25年度）から受講率がそれぞれ30%以上向上するなど、教職員の意識向上が図られた。

〔改善目標の達成状況〕

- (1) **監査法人監査において指摘され、平成23年度から10年計画で実施している蔵書点検については、点検計画および実施方法の改善策を検討し、継続的に実施する。**

計画に従い平成27年度の対象の蔵書34万冊について、点検を実施した。資料の単純な読込作業には学内ワークスタディ事業を活用し、職員は取り扱いの難しい和装本の点検や、データ処理等の業務を効率的に行うことができた。また、平成26年度に引き続き、当初計画で平成32年度に予定していた専攻等資料室の蔵書点検を平成27年度も前倒しで実施した。平成27年度の蔵書点検で明らかとなった不明図書は300冊（点検数に対する不明率0.09%）であった。不明図書については、過去の不明図書と合わせて平成28年度以降も継続して確認作業を行う。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

平成27年11月19日に「筑波大学オープンアクセス方針」を学長決定した。この方針は、情報公開の推進と社会に対する説明責任を果たす目的で策定され、学術雑誌に掲載された本学教員の成果物をつくばリポジトリにより公開するとしている。本方針の周知のため、教員所属組織を対象に1月から3月にかけて13箇所で開催し、402人の参加があった。今後は、本方針の実施によりリポジトリへの論文登録率の増加が期待される。

大学図書館ボランティア制度が発足後20年を迎え、記念式典及び講演会を行った。地域住民の生涯学習の場として国立大として初めて導入して以来、毎年約50名のボランティアが登録し、述べ登録者数は1,000名を超える。障害者や留学生の利用支援、見学者の案内に加え、図書の補修、展覧会ポスター整理など活動が多岐に亘っており、今後も活躍の場が広がることが期待できる。

(チャレンジプランの取組状況)

ソフトウェアライセンスの不正使用リスクへの対応、コスト削減及び学内の情報基盤整備を図ることを目的に、平成 25 年 3 月に Microsoft 社「教育機関向け総合契約 (EES)」を導入してから 3 年目となるが、平成 27 年度についても、継続して専門スタッフによる EES 専用窓口を開設し、最新バージョン (Windows10、Office2016) の提供、利用者への学内周知を充実させるなど、教職員の利用拡大に努めた。なお、平成 28 年 3 月末現在、ライセンスの利用件数は 5,425 件の利用件数と、着実な利用件数となっている。

また、利用者のダウンロード及びライセンスを管理するソフトウェア配布管理システムのハードウェア更新、並びに統一認証システムとのログイン連携を進めるとともに、本契約の対象教職員及び学生が、Microsoft Office を個人所有の PC/MAC、タブレット、スマートフォンへインストールして使用可能となる契約 (Teacher Advantage、Student Advantage) を行い、EES の利用者及び管理者にとってより良い利用環境の整備を行っている。

2. 自己評価と課題

電子ジャーナルのバックファイルの整備については、当初より優先順位をつけて整備を進めてきたが、予定していたものはほぼ整備され、整備が完了していない出版社のものでも利用希望の多いタイトルから順調に整備が進んでいる。電子ブックについては、タイトル数を順調に増やしており、平成 22 年度には 10,500 タイトルだったものが平成 27 年度には 30,800 タイトルになり、約 3 倍に増加している。今後は、更なる国際力強化のために、海外の大学の教科書や語学教育関連の資料等教育力を強化するために必要な資料の充実を図っていきたい。

附属図書館の各種学習支援サービスについては、その利用状況から一層定着が図られていると見ることができる。特にライティング支援については、平成 27 年 12 月に学内他組織との連携による「ライティング支援ポータル」サイトをオープンすることができ、今後の発展可能性を考えると大きな成果があったといえる。セミナー等を活発に開催することで手狭となっていた中央図書館ラーニング・スクエアは、一部の書架を撤去することでグループワークのエリアを 3 倍以上拡大することができた。さらに、学生の関心が高い資料の活用を促進するため、語学学習支援や就職支援のための専用エリアを新設し、英語多読本、語学試験対策本、就職関連図書などを新たに配架した。今後は、リニューアルしたフロアの活用について教員等と協力しながら検討を進めるとともに、学生に対するアンケート等を実施し改善を図る。

開館時間延長については、平成 26 年度は中央図書館での取組が中心であったが、それを各専門図書館に拡大した。筑波地区専門図書館の早朝開館については、試行開始当初から利用が一定数あり、一限開始前に開館することへの需要があったことがわかる。医学図書館の休業中の延長開館では、医学類の授業実施期間が大学の学年暦とずれていることから生じていた不便を解消することができた。また、社会人学生が多い大塚図書館については、従来閉館であった年末年始を時間外開館というかたちで利用可能とした。通常期の土日並の利用があり、休暇中に集中して学習したい学生の需要に応えることができたと考えられる。今後も利用状況を注視しながら、学生の需要に沿うような開館計画を立てていく必要がある。

改善目標に掲げた蔵書点検については、10 年計画の 5 年目の作業を終え、蔵書の約 53% の点検が終了した。学内ワークスタディ事業を活用するなどして、点検業務を効率的に実施できている。蔵書点検による累積不明図書は 1,342 冊 (点検総数に対する不明率 0.1%)。これは、全面開架方式で運用している図書館としては極めて低い数値であり、資産である蔵書の管理が適切に行われているといえよう。その後の調査によっても不明のまま 5 年以上経過した不明図書は、規則に従って平成 28 年度より除却手続きを行っていく。今後も点検作業の効率化や手順・実施体制の改善を行いつつ、資産管理体制の向上を図る。

つくばリポジトリでは、学術雑誌論文について学術情報データベースによる本学研究成果の調査を行い対象を抽出した。これに基づいた作業の結果、学術雑誌論文の平成 27 年度登録件数は、日本語 875 件、外国語 311 件となり、新たに日本語論文を抽出の対象に加えたため、全体の登録数が平成 26 年度より大幅に増加している。今後は、11 月に決定された「筑波大学オープンアクセス方針」の実施により、リポジトリへの学術雑誌論文の登録率の増加が期待される。

ディスカバリーサービス機能を含む電子図書館システムについては、附属図書館 Web サイトアクセス統計も安定した数値となっている。平成 27 年度は、利用者からの要望に対応するために施設予約システムの利用時間拡大、Web サイト内検索機能の追加、マイライブラリーにおける貸出履歴参照機能の追加を行った。これらの要望への対応により、さらなる利用の拡大と職員の負担軽減が見込まれる。

情報基盤整備関係では、e-Learning 学習管理システムの利用促進のため、システムの改修によりエンドユーザの利便性向上を図った。また、人事給与システムの更新に向け、仕様策定委員会及び検討 WG を設置し、具体的なシステム設計を検討することが出来た。情報セキュリティ関係では、部局 ISIRT 及び情報セキュリティ専門委員会の設置による体制強化を図った。また、情報セキュリティに関しての専門家を登用し、情報セキュリティリスクマネジメント体制の構築及びセキュリティ監査の実施による情報セキュリティの強化を図ることが出来た。さらに、平成 22 年度から開始した e ラーニングでの情報セキュリティ教育において、全構成員への受講促進を図り、平成 27 年度末には全体の受講率が上がり、教職員の意識向上を図ることが出来た。

附属病院

1. 平成 27 年度重点施策並びに改善目標に記載されている事項についての達成状況等

〔平成 27 年度の実施方針〕

医療担当では、平成 27 年度施策のポイントとして、まず『附属病院運営基盤の強化』とし、医師等医療従事者の増員及び医療機器等の整備により高度急性期診療機能のさらなる強化を図るため、業務の効率化及び各種コストの削減を断行して運営基盤の強化に取り組む。

次に、研究大学の附属病院として『研究力の強化』に向けて、附属病院と医学医療系との相互協力により、既存組織を改組し、シーズ発掘から臨床応用までのシームレスな研究支援体制の構築を図る。

最後に、高度急性期医療機関として『救急機能の強化』を図るため、救急患者の受入体制の再構築を進め、地域医療への貢献に資する。

〔重点施策の達成状況〕

- (1) 各地域に整備した教育センターの指導教員の増員等による教育の質向上及び地域医療への貢献度の検証を行うとともに、センター教員の大学における教育・臨床研究へのコミットを推進する。
 - ・教育センターの教員を 7 人増員した 61 人を配置するとともに、新たに 1 つのセンターを加えた 9 センターを開設して教育・研修指導体制の強化の下で多くの研修医等が研修を行った。
 - ・平成 27 年度医師臨床研修マッチングにおいて、国公立大学病院では 4 番目となる 69 人、うち自大学出身者数では 9 番目となる 33 人という結果を残し、また、教育センター設置病院も前年度比 15 人増の 35 人がマッチングしたことからも県内外の学生から高い評価が得られた。
 - ・神栖地域臨床教育センターを 7 月に新規開設し、教員を配置したことにより一層の地域医療へ貢献を果たした。
- (2) 病棟に接近した場所に医学実習室を整備して、少人数による問題基盤型チュートリアル方式をより効果的に実施する。
 - ・従前の医療スタッフとの共用端末から学生専用端末を整備したことから、専用端末を活用した指導医（上級医）からの患者に接する前のレクチャー、自主研修などが充実しアンケートでも高い評価を受けている。また、卒後入職者（医・看護学類）も増加している。
 - ・薬学についても、各階に整備したファーマシーステーションで常駐する薬剤師の下で実習や自主研修を行うことが可能となり、9 の薬科大学から受入れた 32 人の実習生からも高い評価を受けている。
- (3) つくば臨床検査教育・研究センターにおいて、高精度なデータの早期還元、新たな臨床検査法の開発、センター機能を活用した実践的教育を行うことによる卒後社会貢献の高い学生の育成・輩出、及び臨床検査技師の生涯教育の拠点形成による地域医療貢献、外国人招聘研修事業による国際貢献を行うことにより、同センターの整備に伴う各種効果を検証する。
 - つくば臨床検査教育・研究センターにおいて、次のことを実施した。
 - ・検査結果の 60 分以内報告体制の整備
 - ・学生、臨床検査技師、市民など約 1,300 人を対象とした教育支援、出前講演会などの地域医療貢献
 - ・国際臨床検査技師会等との共催による外国人招聘研修事業
 - ・筑波大学と 3 件の共同研究を締結して臨床検査試薬の性能評価等を実施
 - ・地域の 16 医療機関、5 研究機関から検体検査受託契約を締結して高精度なデータ還元による地域医療支援
- (4) 大学病院臨床試験アライアンスの推進により、安全かつ効率的な臨床試験実施体制の整備に向けて構築した品質保証体制に対する外部評価の結果を踏まえ、品質管理体制等の効果を検証する。
 - ・大学病院臨床試験アライアンスにおいて取得している ISO9001 の認証継続審査を受け、認証継続をすることができ、品質管理体制等の妥当性の確認ができた。
- (5) けやき棟の供用開始に伴い、重症病症の増床及び手術室の増室整備による急性期医療の充実、診療システムの電子化による安全性・業務効率の向上及び個室増室による療養環境の向上等診療環境の整備に伴う各種効果を検証する。
 - ・診療単価の大幅上昇（入院：79,273 円→82,770 円、外来：18,413 円→19,332 円）、在院日数の短縮（15.3 日→13.8 日）及び手術人数の大幅増加（7,992 人→8,251 人）等の各種臨床指標の向上により、収益的には昨年度比で約 17.1 億円の増収を達成した。

- (6) 外来化学療法部門の集約整備により、がん診療機能の向上効果を検証する。
- 平成 27 年度の診療実績としては、外来化学療法部門（7,870 件→8,028 件）、新入院がん患者数（4,348 人→4,895 人）及び悪性腫瘍手術人数（1,204 人→1,262 人）も増加している。特に、新入院がん患者数、外来化学療法件数、放射線治療件数及び悪性腫瘍手術人数は県内最多人数である。
- (7) 医療機能の分化を推進するため、病院経営の範囲内で、メディカル・スタッフの増員を行い、医師・看護師が本来業務に専念できる環境の整備を継続するとともに、その効果を検証する。
- 医師（20 人）及び看護師等（15 人）を増員するとともに、チーム医療の推進を図るため、薬剤師、理学療法士など 8 人を増員した。
 - 効果としては、診療機能が向上し、診療報酬請求金額が前年度実績を約 13 億円上回るとともに、超過勤務の縮減が図られた。
- (8) PFI 事業の全面的開始に伴い、SPC（特定目的会社）からの一括購入によるコスト削減及び周辺業務（ノンコア業務）の移行による労働環境の向上に取り組むとともに、コスト削減効果を検証する。
- 委託業務内容の見直し▲1.0 億円、医薬品等診療材料の購入価格見直し▲2.0 億円、後発医薬品への切替拡大▲約 0.9 億円、人件費▲2.1 億円、光熱水料費を含む管理的経費▲2.6 億円、医療機器の購入抑制等▲2.0 億円により▲10.6 億円のコスト削減を達成した。
- (9) けやき棟の供用開始に伴い、省資源・省エネルギー効果を検証する。
- 使用状況に基づく時間外における空調停止箇所の拡大等の節電・節水等の省エネに取り組み、前年度比較で電気使用量については▲約 2.4%、光熱水量全体の使用量についても▲約 4.4%の削減を達成した。
- (10) さらなるエネルギーの有効利用を図る設備的手法を採るために改修から改築へ変更する整備計画の検証を行う。
- 平成 27 年 9 月、建築費等の急激な高騰により償還計画が成り立たないことから改築計画を断念した。
 - 将来の財政的リスクにも耐えうる新たな整備手法は既存棟改修とし、平成 29 年度概算要求に向けたランドデザインを策定中である。

〔改善目標の達成状況〕

- (1) 平成 27 年度収入目標・支出計画の確実な達成
- 平成 27 年度の収入目標額（約 279 億円）の達成に向けて、7 対 1 看護体制の推進、手術人数の増加、紹介・逆紹介の推進による初診患者の増加、病床稼働率は 88.5%台を維持しつつ、さらなる在院日数の短縮等に取り組むことにより診療単価の上昇を図り、収入金額を確保する。一方で、支出目標額（約 278 億円）の達成に向けては、委託業務内容の見直し、医薬品等診療材料の購入価格見直し、後発医薬品への切替拡大等によるコスト削減を図る。
- 診療指標としては、7 対 1 看護体制は維持しつつ、手術人数の増加（7,992 人→8,251 人）、初診患者の増加（外来：21,847 人→22,881 人、入院：16,540 人→17,838 人）、病床稼働率（89.5%→88.7%）、在院日数の短縮（15.3 日→13.8 日）を達成した。
 - 経営指標としては、臨床指標の向上による診療単価の上昇（外来：18,413 円→19,332 円、入院：79,273 円→82,770 円）に伴い、病院収入金額は前年度実績を 17.1 億円上回る約 292.8 億円を達成した。
 - 支出については、▲10.6 億円（委託業務内容の見直し▲1.0 億円、医薬品等診療材料の購入価格見直し▲2.0 億円、後発医薬品への切替拡大▲約 0.9 億円、人件費▲2.1 億円、光熱水料費を含む管理的経費▲2.6 億円、医療機器の購入抑制等で▲2.0 億円）コスト削減を達成した。
 - しかし、収入増に伴う医薬品等診療材料費の増加、人事院勧告を準用した給与引上等の特殊要因により支出額も増加しているが、コスト削減の取り組みにより前年度実績から約 15.4 億円増加した約 292.5 億円の支出となり 3 期ぶりの黒字化を達成した。
- (2) 病院構成員の意識改革（組織風土の醸成の推進）
- 高度急性期医療機関としての責務を果たすべく、その機能を維持・発展させるためには、恒常的な利益体質の実現を図る必要がある。このため、病院構成員一人ひとりに徹底した収入増・コスト削減とあわせ、寄附金、受託研究費及び科学研究費等診療以外の積極的な自己収入の確保の意識を浸透させる。
- 病院長から全職員に向けて、純利益確保及びコスト削減の具体的取組を「皆さんにお伝えしたい」と定期的に掲載し、経営者感覚の醸成を推進した。
 - アウトカムとして病床稼働率の早期回復等の改善が図られ、3 期ぶりの黒字化を達成した。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

- (1) 筑波大学および筑波研究学園都市を中心とする研究機関の英知を結集し、医療技術に関する研究成果（シーズ）の育成と臨床開発等実用化に向けた支援、および臨床上有用な知見を得るために行う臨床試験実施等の支援のため平成 27 年度につくば臨床医学研究開発機構（T-CReD0）を設置した。
- (2) 国立大学で唯一、体育系と医学医療系の専門家集団を有することから、両組織が連携してシームレスに総合的なスポーツ医学をプロデュースするつくばスポーツ医学・健康科学センターの組織体制を整備し、スポーツ医学・健康科学を対象とした高度教育・研究・診療システムの構築を図った。
- (3) 医師不足等を要因とした地域医療の崩壊という喫緊の課題に対応すべく、医師不足地域における地域医療体制の整備及び質的向上などへの寄与を目的として、平成 27 年 7 月 1 日付けで神栖地域医療教育センターを設置した。
- (4) 平成 27 年 9 月 10 日に発生した常総市を中心とした集中豪雨による水害に対して、茨城県災害拠点病院である附属病院は、被災発生時より DMAT チーム派遣による被災者救護、被災地からの重症患者等の受入を行うとともに、その後、各避難所への巡回医療支援チームの派遣による医療支援、また、被災による住民、市役所職員等の精神的なケアに対しても、災害派遣精神医療チームによる支援を行い、チーム活動終了後も平成 27 年度末現在においても災害精神支援学、精神神経科が支援活動を継続している。

（チャレンジプランの取組状況）

- (1) 世界標準の医療の質と安全を担保することを目指すため、JCI（Joint Commission International）の認証取得に向けて、JCI コアメンバーを中心に準備を進め、平成 28 年 3 月に予備審査（モックサーベイ）を受審した。
- (2) BNCT 治療装置一式の開発が完了し、放射線発生の許可も取得し、同装置を使って中性子ビームの発生に成功した。

2. 自己評価と課題

- ・重点施策並びに改善目標に掲げた施策については、概ね計画どおりに実施することができ、特に経営面においては 3 期ぶりに黒字化を達成することができた。
- ・第 3 期中期計画においては経営体質を筋肉質に改善して自立的な病院運営の確立を目指し、再開発整備を確実に実施したい。
- ・診療報酬改定等の外的要因に左右されない新たな収益確保策として、スポーツ医学・健康科学センター及びつくば予防医学研究センター（仮称）の整備による自由診療の拡大や、つくば臨床医学研究開発機構の整備による治験拡大による外部資金の獲得増加等を目指していきたい。
- ・また、医師不足地域における自立可能な地域医療体制の整備に向けた地域医療再生プランに取り組んできているが、派遣医師の増員等による地域医療・地域貢献の充実を図っていきたい。

附属学校

1. 平成 27 年度重点施策並びに改善目標に記載されている事項についての達成状況等

〔平成 27 年度の実施方針〕

平成 26 年度に設置した「附属学校将来構想検討委員会」において、11 附属学校共通の教育理念「グローバルな視野を持った人材の育成」、「ダイバーシティを理解し推進する人材の育成」について検討を進めてきており、平成 27 年度はその最終報告を踏まえ、初等中等教育段階からのグローバル人材育成に関する研究及び推進、附属 11 校の機能を生かしたインクルーシブ教育システムの検討を重点施策とする。

〔重点施策の達成状況〕

- (1) **大学と附属学校との教育研究の連携・協力の強化及び連携委員会やプロジェクト研究の継続とその研究成果を公表・検証する。**

大学・附属学校連携委員会において、大学との教育研究の連携及び教育実習その他の教職教育に関する 3 つのプロジェクト研究を実施し、公開研究会、紀要等で公表した。

 - ・「子供の自主性を育てる学校行事」は、各附属学校の行事に対する教育的な意図の確認、行事に参加する子供たちを通して、行事のねらいや学校文化や風土の理解について確認ができた。
 - ・「学校教育における ICT 活用に関する研究」は、3 年間の研究報告である「学校教育における ICT 活用に関する研究」を作成した。
 - ・「子供の国際的資質を育てる実践」は、3 つ課題である「国際的資質向上の背景にあるメカニズムの検討」、「子供の国際的資質を育成する活動を整理した基にした情報発信」及び「多様な専門家コラボレーションの促進」について検討を行った。
- (2) **大学が開設する教職に関する科目や附属学校の出前授業などの相互協力等を拡大促進する。**
 - ・大学が開設する教職科目、リメディアル教育として自由科目「基礎から学ぶ遺伝の世界」「基礎から学ぶ統計の世界」等及び大学院共通科目「教育・研究指導Ⅱ（教師論）」、教育研究科「保健体育教育実践演習Ⅰ」等を附属学校の教員が担当した。また、附属学校 11 校で教育実習生 131 名（筑波大生 118 名、他大学生 13 名）、附属特別支援学校 5 校での介護等体験実習生 1,024 名（筑波大生 722 名、他大学生 302 名）、特別支援実習生 37 名（筑波大生 28 名、他大学生 9 名）を受け入れた。各附属での実習生は、教育実習終了後に「教職実践演習」の授業の一部として、改めて学校現場訪問を行い、附属学校 8 校で受け入れた。
 - ・大学教員が、附属高等学校、附属駒場高等学校、附属坂戸高等学校及び附属視覚特別支援学校において、出前講義、体験授業、卒業研究指導を実施した。また、昨年度に引き続き、附属高校 2 年生全員の筑波大研究室訪問、附属駒場高校 2 年生の筑波大学訪問及び附属駒場中学校 3 年筑波大学訪問、附属坂戸高校 1 年生全員の筑波大学訪問・授業聴講等を実施した。
- (3) **大学と連携し、教育実習など教師教育を更に充実するとともに、2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、初等中等教育段階におけるオリンピック・パラリンピック教育を推進し、その成果を全国へ発信する。**
 - ・オリンピック教育プラットフォーム（CORE）と協力し、「オリンピック・パラリンピック教育研修会」、「オリンピック教育フォーラム」を開催し、各附属学校でのオリンピック・パラリンピック教育の方向性を見出すとともに、附属学校での実践報告や附属学校群の授業指導案・活動計画案の報告を行った。また、附属学校群の取り組みとその成果を「オリンピック教育（第 4 巻）」で公表した。
 - ・平成 27 年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント調査研究事業」（スポーツ庁委託）では、宮城県、京都府及び福岡県で開催した教育セミナー、市民フォーラム、ワークショップに附属学校教員が協力を行い、附属学校群での取り組み等を広く発信した。
 - ・「オリンピック・パラリンピック教育研修会～2020 に向けてのオリンピック・パラリンピック教育を考える～」を開催し、教育関係者約 100 名が参加した。（27.8.28）
- (4) **先導的教育拠点、教師教育拠点、国際教育拠点の形成を目指し、附属学校の新しい実験モデルの具体案を構想する。**
 - ① **大学と連携し、小中高一貫カリキュラム案の試行・検証及び研究成果を公表する。**
 - ・大塚地区小・中・高の四校研を中心に、一貫カリキュラムに基づいた附属学校としての特徴的な指導内容、指導方法について実践例を各教科毎に検討を継続し、試案の検証等を実施した。

・報告書「四校研活動報告（平成 22～27 年度）「中期計画」まとめ－小・中・高一貫カリキュラムをめぐりて－」を刊行し、附属学校教育局研究発表会で発表を行った。

②各附属学校において、全国の学校教員を対象とした研究発表会等を開催し、研究成果の公表及び参加者の感想評価を使つての検証を行うとともに、教員免許状更新講習における実践演習などの講習内容を更に充実する。

各附属学校における教育実践や研究開発の成果を学習公開、研究発表会等で公表し、ホームページや出版物により、普及に努めた。また、研究会でのアンケート調査等により評価検証を行った。主な実施事業は、次のとおり。

附属小学校「学習公開・研究発表会」（27. 6. 12～27. 6. 13）

附属小学校「学習公開・初等教育研修会」（28. 2. 11～28. 2. 12）

附属中学校「研究協議会」（27. 11. 14）学外参加者：638 名

附属高等学校「教育研究大会」（27. 12. 5）学外参加者：290 名

附属高等学校「SGH 研究会」（28. 2. 6）学外参加者：

附属駒場中・高等学校「教育研究会」（27. 11. 21）学外参加者：243 名

附属坂戸高等学校「SGH 研究大会・総合学科研究大会」（28. 2. 18～28. 2. 19）学外参加者：約 130 名

附属視覚特別支援学校「理療教育研究セミナー」（27. 10. 9）

附属視覚特別支援学校「視覚障害教育研究協議会」（28. 2. 20）学外参加者：約 200 名

附属聴覚特別支援学校「関東地区聾教育研究会」（27. 6. 18～27. 6. 19）

附属聴覚特別支援学校「聴覚障害教育担当教員講習会」（27. 11. 18～27. 11. 20）学外参加者：59 名

附属聴覚特別支援学校「聴覚障害早期教育公開研修会」（28. 2. 19）学外参加者：26 名

附属聴覚特別支援学校「筑波大学連携研究報告会（系と附属聴覚支援学校）」（28. 2）学外参加者：110 名

附属大塚特別支援学校「知的障害教育研究協議会」（28. 2. 12）学外参加者：224 名

附属桐が丘特別支援学校「自立活動実践セミナー」（27. 7. 31, 27. 8. 1）

附属桐が丘特別支援学校「肢体不自由教育実践研究協議会」（28. 2. 4～28. 2. 5）学外参加者：105 名

附属久里浜特別支援学校「自閉症教育実践研究協議会」（28. 2. 11～28. 2. 12）学外参加者：約 400 名

また、次のとおり筑波大学教員免許状更新講習を実施した。

必修 A 附属学校教育局及び附属学校教員 8 名が講義を担当し、その実施に協力した。5 講習（受講者 1, 115 名）

選択 B・C 附属学校教員が、筑波キャンパス及び東京キャンパス開講の講習に協力した。また、東京キャンパス文京校舎、附属駒場中・高等学校及び附属視覚特別支援学校において、44 講習（受講者 1, 548 名）の企画・運営を行った。（昨年、39 講習 1, 527 名）

選択 D 附属学校群が全国で唯一の現場実践である附属学校実践演習 20 講習（465 名）の企画・運営を行った。（昨年は 20 講習 619 名）

附属学校実践演習の受講者による評価（事後アンケート）では、平均 3.8 点（昨年 3.8 点：4 点満点）と昨年同様高い評価を得た。

③大学と連携してグローバル人材育成プログラムの開発や効果測定の研究をするほか、海外の学校との交流や児童・生徒の短期留学制度を整備・充実する。

・筑波大学とカナダのブリティッシュ・コロンビア大学との共同プロジェクトの筑波・UBC グローバルリーダー育成プログラムを開始し、附属高校から 23 名の生徒が参加した。

・附属学校群の国際交流状況を「筑波大学附属学校群グローバル教育の世界地図」として作成した。なお、今年度の海外との交流は、海外教員 417 名を受け入れ、附属学校教員 50 名を海外に派遣した。また、144 名の留学生等を受け入れ、143 名を海外に派遣した。

附属学校群において、短期留学の充実を進めており、主な実施事業は、以下のとおりである。

・附属小学校では、児童の海外交流としてカリフォルニア大学 DC バークレー校視察とサンフランシスコ市内小学校児童との交流を実施した。

・附属中学校では、アメリカ・ペンシルバニア州のフェイスクリスチャンアカデミーへ 26 名が短期留学を行った。

・附属高等学校では、日中高校生交流を 7 月（招聘）・10 月（派遣）に実施し、生徒 30 名を派遣し、アジア太平洋リーダーサミットへの参加などを行った。

- ・附属駒場中・高等学校では、台中一中および釜山高等学校との国際交流プログラムを学校単独で企画・実施した。
 - ・附属坂戸高等学校では、国際フィールドワークをインドネシア、フィリピンで実施し、トビタテ留学 JAPAN 高校生部門で3名が短期留学を行った。また、1年次の海外校外学習をカナダ・バンクーバーで実施した。
 - ・附属視覚特別支援学校では、「海外で活躍する先輩を訪ねてこんにちわプログラム」を実施し、タイのバンコクへ選抜された3名の生徒を派遣した。
 - ・附属聴覚特別支援学校では、専攻科の生徒が台湾研修実施に向けて、臺北市立啓聰學校とのオンライン交流を実施した。
 - ・附属桐が丘特別支援学校では、韓国・世界障害学生 e スポーツ大会に児童生徒6名が参加し交流をした。また、台湾・国立和美実験学校に生徒2名と教員を派遣し、国際交流協定の締結に向けた話し合いを行った。
- (5) 附属11校の連携を更に深め、それぞれの機能を生かしたインクルーシブ教育システムの検討を行うほか、特別支援教育における超早期（0歳児～2歳児）段階における知的重複障害児に対する先駆的な教育研究を継続する。
- 文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業（スクールクラスター）」を受託し、研修会の実施、合理的配慮職員の配置、様々な障害のある児童生徒を含む筑波大学附属学校群の児童生徒が、7月28日から7月30日の3日間にわたり共同生活を行う「黒姫高原共同生活」を実施し、取り組みの成果を「インクルーシブ教育実践研究協議会」において発表した。また、附属大塚特別支援学校を中心に障害5校と特別支援教育研究センターが文京区との連携により、超早期知的重複障害児に対する教育研究を継続し実施した。
- (6) 発達障害等の支援を必要とする児童・生徒に対して、スクールカウンセラーの活用、専門家チームの派遣など教育相談体制を充実するとともに、その検証を行う。
- 大学教員、特別支援教育コーディネーター等を中心として専門家チームを各附属学校に派遣するとともにチームで毎週1回の情報交換会及び個別事例についてのコンサルテーション等を実施した。支援教育推進委員会を2ヶ月に1回の割合で開催し、各校の特別支援教育コーディネーターの支援体制についての説明時間を充分にとることにより学校の様子が良くわかり、積極的な取り組みが行われ、支援体制の充実が図られた。
- (7) 特別支援学校と小・中・高等学校との交流及び共同学習を充実するとともに、実践報告等に基づく研究成果を公表・検証する。
- 附属学校間の交流事業は、各附属学校が計画的に実施し、多様な共同学習、スポーツ交流など充実を図った。また、今年度実施した「黒姫高原共同生活」では、様々な障害のある児童、生徒が共同生活の準備と実践を通して多様な交流活動を展開した。これらの活動を通じての研究成果を「共生社会を目指す講演とシンポジウム」において公表・検証を行った。

〔改善目標の達成状況〕

- (1) 「附属学校教育局の教員に求められる指導助言機能の強化」については、平成27年6月までに検討結果をまとめ、改善を図る。
- 「筑波大学附属学校の将来構想について」（平成27年10月）において、現状と課題及び今後の方向性をとりまとめた。
- (2) 「『校長は教授をもって充てる』とした基本規則条項の見直しと附属学校人事における教育長の権限強化」については、企画調整会議、附属学校教育審議会で検討を深める。
- 企画調整会議（平成27年1月20日、3月17日、5月19日、9月1日、10月6日）において検討を深め、校長職の在り方、従来の手順にとられない附属学校人事について、一定の方向性を得た。その後、附属学校長選考懇談会（平成28年2月18日）での意見をとりまとめ、平成28年3月14日開催の学副懇談会において「附属学校長の任用のあり方」として方針を報告し、了承を得て、方針に基づき平成28年度に所要の規則改正を行うことになった。
- (3) 「専任校長の常駐による実質的な学校管理体制の実現」については、企画調整会議、附属学校教育審議会で検討を深める。
- 企画調整会議（平成27年1月20日、3月17日、5月19日、9月1日、10月6日）、附属学校教育審

- 議会(平成 27 年 1 月 30 日)において検討を深めた。ただし、複数の意見があるため、更に検討を行う。
- (4) 「附属学校教員の人事異動・人事交流の活性化」については、附属学校教員選考委員会、附属学校教育審議会において、本格的な検討を行う。
 - ・企画調整会議(平成 27 年 1 月 20 日、3 月 17 日、5 月 19 日、9 月 1 日、10 月 6 日)において議論し、一定の合意を得た。
 - ・今後、附属学校教員選考委員会、附属学校教育審議会において、本格的な検討を行う予定。
 - (5) 「統合キャンパスを含む附属学校全体の将来構想計画の早期取りまとめ」については、附属学校将来構想検討委員会において検討し、平成 27 年 6 月に最終報告としてまとめる。
 - ・平成 26 年度 4 月から平成 27 年度 7 月まで、附属学校将来構想検討委員会で検討を行い「報告書」をとりまとめた。
 - ・10 月 9 日の附属学校教育審議会で報告した。
 - (6) 「附属学校の教育研究成果を活かした産学連携活動の促進など、自己収入確保のためのあらゆる施策の検討と実施」については、関係の部局と連携を図り、企画調整会議において、実施に向けての検討を行う。
 - ・附属学校の教職員に対し、自己収入確保のためのアンケートを実施した。
 - ・8 月 31 日の学副懇談会で報告した。(入学願書の有料化、企業との共同研究等)
 - ・今後は、課題や実現可能性を踏まえ、関係部局と連携の上、実施できるものから順次実施していく。
 - (7) 「一般社会に向けた戦略的な情報発信」については、広報戦略推進委員会、企画調整会議において、実施に向けて検討を行う。
 - ・『朝永振一郎記念「科学の芽」賞』10 周年シンポジウムを東京キャンパス文京校舎で開催した。
 - ・附属学校教育局 HP、広報誌「ポローニア」の充実、及び季刊誌「茗溪」の連載をした。
 - ・文京校舎「情報ひろば」を充実した。
 - ・「筑波大学附属学校 NEWS」の配付先を拡大した。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

- ・「つくばグローバルサイエンスウィーク」(27.9.29~27.9.30)に附属坂戸高等学、附属桐が丘特別支援学校、附属視覚特別支援学校の生徒が参加し、「オリンピック・パラリンピックムーブメントへの参画」セッションに登壇した。
- ・文部科学省からの委託業務として、視覚障害教育と言語障害教育の科目について教員資格認定試験を実施した。受験者は、全体で 195 名、合格者は、視覚障害教育 2 名(4.1%)、言語障害教育 12 名(8.2%)。
- ・平成 27 年度文部科学省委託事業「インクルーシブ教育システム構築モデル事業(スクールクラスター)」の一環として「共生社会を目指す講演とシンポジウム」(27.12.12)を開催し、山海嘉之教授の講演と附属校生徒 4 名によるシンポジウムを実施した。
- ・朝永振一郎記念「科学の芽」賞が 10 周年となり、同賞 10 周年シンポジウム「科学の芽を育てるために」(27.6.29)を開催し、同賞の表彰式では学長特別賞を設け、受賞者の中から 1 名を表彰した。応募者数は、2,380 件(昨年 2,155 件)で、高校生部門の伸びがみられた。
- ・附属桐が丘特別支援学校高等部生徒 1 名が昨年に引き続き、東京キャンパス事務部においてインターシップを実施した。(10 月 19 日から 23 日)
- ・附属視覚特別支援学校中等部生徒 2 名が、東京キャンパス事務部において職場体験を実施した。(11 月 27 日)

2. 自己評価と課題

〔自己評価〕

上記 1 に進捗状況を述べた。結論として、各項目すべて順調に達成されていると考える。今年度は、将来構想検討委員会の小中高大連携教育 WG、特別支援教育 WG 及び文京キャンパス再開発 WG(平成 27 年 4 月開始)を通じて、本学附属学校群としての特色・強みの確認し、附属学校群の将来構想における理念の共有として、グローバル人材の育成、インクルーシブ教育システムの構築及び附属学校群内、及び大学との連携をまとめ、これらのアクションプランと展望を検討し、第 3 期中期計画・中期目標として推進していくこととなったことが、特に評価できる。

〔課題〕

監事監査で取り組みを求める重要課題として掲げられた事項の実施

企画評価

1. 平成 27 年度重点施策並びに改善目標に記載されている事項についての達成状況等

〔平成 27 年度の実施方針〕

企画評価では、平成 27 年度施策のポイントを、『自己点検システムの見直し』に置く。重点的な取組として、年度重点施策方式および教員業績評価システムの検証及び必要に応じた改善を実施する。

〔重点施策の達成状況〕

【企画・評価】

- (1) 大学教員業績評価を実施し、評価結果の分析と分析結果の公表を行うとともに、それを大学・組織の運営にフィードバックする。また、大学教員業績評価システムの検証及び必要に応じた改善を行う。

「大学教員業績評価指針」に基づき、平成 26 年度を対象に全学一斉に「大学教員業績評価支援システム (TESSA)」を用いて評価を実施した。評価結果は各組織・教員にフィードバックするとともに、学外に公表した。また、全学で特に優れた活動を行った教員 (SS 評価教員：21 人) を認定した。

平成 28 年度に試行予定の定量的評価指標に基づく組織評価の状況に応じて、大学教員業績評価システムの見直しを図る予定である。

- (2) 組織評価において、平成 26 年度を対象とした年度活動評価を実施し、評価結果を大学・組織の運営にフィードバックする。また、組織評価システムの検証及び必要に応じた改善を行う

組織評価において、平成 26 年度を対象とした年度活動評価を実施し、評価結果を大学・組織の運営にフィードバックした。組織評価システムの検証を行った結果、平成 28 年度以降に定量的評価指標に基づく、組織評価システムの導入を決定した。

- (3) 年度重点施策方式により自己点検・評価を着実に実施し、評価のプロセスと結果を大学・組織の運営にフィードバックする。また、年度重点施策方式の検証及び必要に応じた改善を行う。

「年度重点施策方式」に基づき、自己点検・評価を着実に実施した。重点施策の中に評価・監査の指摘事項を改善目標として盛り込み、当該事項の確実な改善に繋げるとともに、年度重点施策方式を実質的に機能させるため、年次別実行計画の確認や副学長等の重点施策の進捗確認を引き続き行った。また、学長・副学長等と各組織の長との意見交換会を開催し、全学的な情報共有と重点施策の精選を図った。

一方で、第 3 期中期目標期間を迎えるにあたり、現状の年度重点施策方式について検証を行った結果、より評価を実質化し業務の削減を図る観点から、自己点検・評価と中期計画の進捗管理を切り離すことを基本とした新たな策定方針を定め、各組織の負担を軽減しつつも PDCA サイクルが確保されるよう、新方式に移行することとした。

〔改善目標の達成状況〕

特になし

〔その他特色ある取組の実施状況〕

近年多くの大学において導入されてきている IR について、学内における認知度・理解度の向上、及び近隣大学の IR 担当者間での意見交換・情報共有を図ることを目的として、平成 27 年 9 月 18 日に「筑波大学 IR 勉強会」を開催した。講師に茨城大学大学戦略・IR 室の寫田敏行准教授を招き講演頂くとともに、他大学等の IR 担当者による意見交換会を実施した。参加者数は約 50 人で、うち学外からの参加者は 16 人 (大学：14 (10 大学)、大学共同利用機関法人：1、民間企業：1) であった。

2. 自己評価と課題

「年度重点施策方式」について自己点検・評価と中期計画の進捗管理を切り離すことを基本とした新たな策定方針を定め、評価の実質化および業務量削減を図った。それに伴い、平成 27 年度の実績報告事項の簡素化を行った。

グローバル・commons機構

1. 平成 27 年度重点施策並びに改善目標に記載されている事項についての達成状況等

〔平成 27 年度の実施方針〕

昨年度採択されたスーパーグローバル大学創成事業（以下、SGU 事業）における本学のグローバル化戦略に従い、グローバル化を進める学内の諸組織を連携させ、本学全体のグローバル化に関する機能を向上させる諸活動を進める。

特に今年度は、第 2 期中期目標・中期計画の最終年度であり平成 28 年度からの第 3 期中期目標・中期計画の構想立案の年でもあることを念頭に置き、学生部・教育推進部・各エリア支援室との連携を優先的に進め、第 3 期中期目標・中期計画期間及び SGU 事業実施期間を通じて本学のグローバル化を基盤的に支えることの出来る強固な全学的運営体制の確立を目指す。

〔重点施策の達成状況〕

【機構運営体制の整備】

- (1) 学生部との合同改組を実施し、増大する国際交流業務（学生・研究者の派遣・受入）を滞りなく遂行し、学生支援に関しても一元的に対応可能な体制整備を行う。

学生部との合同改組に伴い、国際交流支援部門の事務部門を学生部学生交流課に移行し、学生生活課、就職課とより密接に連携しながら学生の受入れ、派遣、支援を推進し、増加した留学生・派遣学生への業務を円滑に実施した。

また、学生交流課事務室を、大学会館から学生部（スチューデントプラザ）に近接する第 1 エリアに移転し、学生の支援に関する事務サービスの場を集約した。

- (2) エリア支援室にエリア・commonsを増設し、要員配置により体制整備を図る。

部局における国際交流に係る活動支援体制の拡充のため、各エリア支援室にエリア・commons担当を配置し、エリア支援室のグローバル化対応業務を支援するとともに、教育研究現場と本部との情報共有を図った。

また、エリア・commons業務の適切な遂行を担保するため、学長、機構長、副理事（国際担当）及び担当課長が各エリア・commons担当を訪問の上、業務の実施状況を確認するとともに、エリア・commons連絡会を開催し、エリア・commons間の業務内容の情報共有を図った。

- (3) 将来的に国際活動支援・国際化促進のワンストップ・サービス窓口となることを念頭に置き、国際室・各事務部局・各教育研究組織等と機構との連携のあり方、役割分担のあり方について検証・見直しを行い、将来的な連携・協力推進のロードマップを策定する。

国際関連組織である、国際室、グローバル・commons機構、学生部及びエリア・commonsの業務内容・役割、連携体制を検証し、明確化した。

また、学生への各種海外留学プログラムの情報提供のワンストップサービスを目指し、教育推進部 SGU 推進室、学生部学生交流課と協働し、海外留学ガイドブック 2016 を作成した。

- (4) グローバル・スタッフ育成室を開設し、全学的に事務職員のグローバル化に向けた研修プログラムを構築、実施する。

グローバル・スタッフ育成室を開設し、真の国際性を身に付けた職員の育成を目的とする研修プログラムとして、「エリア・commons人材育成研修」（12 回）、「筑波大学 SD 研修特別講演会」（2 回）、海外の大学等への短期業務研修（7 件、12 名派遣）等を実施した。

また、人材育成基本方針に基づく語学研修プログラムとして、職員を対象とする英語研修（レベル別英会話研修（28 名受講）、留学生による英語チューター研修（39 名受講）、e ラーニング英語研修（78 名受講）、特別セミナー（3 回））を実施した。

【国際交流支援、キャンパスグローバル化】

- (1) 学生の海外派遣を推進するための新たな支援制度の創設等により財政支援を充実して派遣者数の増を図る。また、派遣学生への海外安全情報の提供、海外での安全管理に関する啓発活動を促進して、海外での安全確保を図る。

つくばスカラシップ「交換留学支援奨学金」及び「短期海外研修支援奨学金」、(独)日本学生支援機構の「留学生交流支援制度」、文部科学省の「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～」、筑波大学基金「開学 40+101 周年記念募金」海外留学支援事業に加えて、新たに海外

留学支援事業「はばたけ！筑大生」による支援を実施したことにより、学生の海外派遣者数は26年度663名から27年度768名と大幅に増加した。また、部局経費による支援を含めると学生の海外派遣者数は1,747名であった。

学生及び教職員の海外渡航について、外務省が発出する海外安全情報（危険情報及び感染症危険情報）に基づき渡航の是非を判断すること等を、「海外での危機発生時における学生及び教職員の渡航に関する指針」として定め、学内に周知した。

海外で頻発している災害やテロ、感染症発生などの危機発生時に、当該地域への学生の渡航状況をリアルタイムで把握し、安否確認を迅速に行うことを目的とし、本学学習管理システム（manaba）を利用した海外渡航届 web 入力システムを開発し、11月から稼働させた。この海外渡航届の提出及び海外危機管理サービス OSSMA への登録による集約システムで渡航情報を一体化することにより学生の海外派遣情報を即座に把握することが可能となった。

併せて、学生が海外で危機に直面した場面に備え、現地での緊急連絡先等を記載する「緊急連絡カード」を作成し、海外渡航の際には、学生自身で必要事項を記載し携行すること及び外務省海外旅行登録「たびレジ」又は在留届の登録について学内に周知した。

さらに、共同通信社のニュース情報リアルタイム配信サービスの利用を開始し、海外での災害、事故、犯罪やテロ、感染症発生などの情報を、速やかに入手し、迅速な対応を可能とした。

海外危機管理窓口（グローバル・コモンズ機構他）のメールアドレスを作成し、学内教職員、海外滞在者、海外オフィス、海外危機管理会社等からの情報を一元的に集約するとともに、海外危機管理窓口から全学リスク管理室への報告体制を明確にした。

以上のことにより派遣学生の海外危機意識の啓発を促進できた。

- (2) **各組織における留学生受け入れ拡充を支援し、受入対応体制を強化する。また、留学生の学修・生活支援の充実を図るとともに留学生の在籍管理を徹底する。**

留学生の受入れについて、本学独自の「つくばスカラシップ」奨学金制度の活用、(独)日本学生支援機構の「海外留学支援制度」、「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」による留学生受入れ、各国政府等による留学生派遣プログラム（「ブラジル政府派遣「国境なき科学計画」事業」、JICA による「ABE イニシアティブ（アフリカ）」及び「PEACE プロジェクト（アフガニスタン）」の受入れ支援、私費外国人研究生の受入れの増加により、留学生数は2,242名（27年3月1日現在）から2,436名（28年3月1日現在）に増加した。

チューターによる渡日後間もない留学生への定着支援以外に、日本人学生がサポーターとなって身近な情報提供を常時行う「Ask Us Desk」を設けて留学生対応の充実を図った。

留学生への指導と支援を強化することを目的とし、FD 研修会の開催、学内への在籍管理に関する注意喚起及び留学生の在籍管理を徹底するため在籍状況調査を行った。

- (3) **SGU 事業におけるキャンパス・イン・キャンパス構想の中で、相互に海外キャンパス展開を予定している海外パートナー大学（ボルドー大学等）との交流体制の整備等を進める。**

本学の重点協定校であるボルドー大学（UBx）、国立台湾大学（NTU）、カリフォルニア大学アーバイン校（UCI）及びサンパウロ大学の Campus in Campus (CiC) 相互オフィスとして、オーバークロス・コモンズを設置した。

- (4) **研究大学強化促進事業等による研究者交流、海外研究室招致等による外国人研究者等の出入国関係業務の支援を行う。**

外国人研究者等の出入国関係申請手続きの支援業務として①来日する外国人研究者及びその家族の在留資格認定証明書の代理申請、②引き続き滞在する外国人研究者等の在留期間更新、在留資格変更、家族の在留資格取得等の申請書類作成補助及びアドバイスを行った。また、滞在中の生活支援として③相談業務、④公的機関での手続きの案内や書類作成補助、⑤外国人研究者のための国際交流イベント（茶道体験）を実施した。

- (5) **教育推進部と連携し、G30 事業後継プログラム等各教育組織における英語プログラムの開講を支援するとともに、スーパーグローバル大学等事業（「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成推進事業」を含む）、大学の世界展開力強化事業等の教育プログラム支援を継続する。**

グローバル30事業の継続性を維持するため、人社、生命、医学エリア支援室の英語プログラム支援業務を行う事務補佐員の雇用費を確保し、体制の維持及び充実を図った。

さらに、本学で実施している4つの国際化拠点整備事業（経済社会の発展を牽引するグローバル人材

育成支援事業（GGJ）、世界展開力強化事業（TRANS、AIMS、Ge-NIS）の予算執行管理及び文科省への各種提出書類作成に係る業務について、グローバル・コモンズ機構が各事業実施部局のハブとなり、課題やノウハウを共有し、課題解決までの時間の短縮や、重複業務の削減等による業務の効率化に取り組んだ。

大学の世界展開力強化事業の中間評価（AIMS）では、優れたプログラム運営に加え、学内のリソースを最大限に活用し、効果的に事業を実施しているとして高評価を得ることができた。

(6) スチューデント・コモンズを拡充し、留学情報サービス・国際交流イベント等の充実を図る。

スチューデント・コモンズにおいて、「国際性の日常化」を体現するキャンパス環境構築のため、日本人学生と留学生の交流の場を創出するとともに、国際交流に係るイベント等を企画・実施した。

特に、海外留学プログラムへの参加を促進するため、各種留学等情報のパンフレットの配架、コモンズスタッフにおける留学相談に加え、留学に伴う英文書類作成の支援を行うライティング・ヘルプデスク（週 3 日）、留学等経験のある学生スタッフによる相談デスク（時間外週 2 日）を開設するとともに、留学へのロードマップを作成する等、留学情報サービスを拡大した。

また、日本人学生の語学力アップ及び国際交流を目的とする、英語でおしゃべりする Chat を多数開催し、日々学習している言語の活用が気軽にできるコミュニケーションの場を提供するとともに、留学生を対象とした日本語で会話をする Chat や、留学生及び留学に興味のある日本人学生を対象とした日本文化紹介イベントとして、巻き寿司作り、茶道体験を新規開催した。さらに、留学生の増加に対応するため、Ask Us Desk（留学生向け何でも相談デスク）をスチューデント・コモンズに開設して、留学生に対する支援を行った。

(7) 学生部・施設部との連携・支援により、グローバル・レジデンスの改修整備計画を着実に進める。

学生部・施設部と連携して、インターナショナルハウス及びコミュニティプラザの新築整備計画並びに短期留学・ショートステイハウスの改修整備の検討を行った。

〔改善目標の達成状況〕

(1) 日本人学生に対して、様々な海外派遣形態のプログラムへの参加促進のため、学生部学生交流課とキャンパス・グローバル化部門の連携・協働により、一体となって取り組んでいく。

新たに今年度から海外留学支援事業「はばたけ！筑大生」において海外学会等参加支援、交換留学支援、海外武者修行支援の 3 種類のプログラム形態による学生の派遣支援を行い、海外派遣プログラムの多様化を図った。

また、例年開催している秋の海外留学フェアに加え、新規企画として、春の海外留学フェア（全 10 回）、海外ボランティア説明会（2 回）及び主な派遣プログラムを紹介する留学説明会（2 回）を開催した。また、海外留学のきっかけ作りイベントとして、海外体験写真展及び海外体験トークイベントを開催した。さらに、本学学生の海外留学を飛躍的に増加させるための新たな支援策として、学内各教育組織で行っている海外派遣プログラム及び協定校一覧等をまとめた海外留学ガイドブック（Go Abroad）を作成した。

さらに、平成 27 年 11 月から manaba を活用した海外渡航届の提出及び海外危機管理サービス OSSMA への登録による集約システムで渡航情報を一体化することにより学生の海外派遣情報を即座に把握することが可能となった。加えて、海外渡航の際には、緊急連絡カードの携帯を推進した。これらのことにより派遣学生の海外危機意識の啓発を促進できた。

〔その他特色ある取組の実施状況〕

日本人学生・留学生支援のワンストップサービス実現に向け、グローバル・コモンズ機構国際交流支援部門と学生部を合同改組するとともに、学生部学生交流課事務室をスチューデント・プラザ隣 1A 棟 1F へ移転（12 月）した。

また、本学学生の海外留学を飛躍的に増加させるための新たな支援策として、教育推進部 SGU 推進室、学生部学生交流課と協働し、海外留学ガイドブック 2016 を作成し学生への情報提供を充実させた。また、新たな海外派遣プログラムとして、国連ボランティア計画（UNV）と関西学院大学との国連コースボランティア派遣に関する協力協定に基づく連携校として、平成 28 年度からの派遣に向け選考を開始し、国際総合学類の海外研修科目として単位（8 単位）化を実現した。

2. 自己評価と課題

学生及び教職員の国際化に関するワンストップサービスの実現に向け、国際関連組織である、国際室、グローバル・コモンズ機構、学生部学生交流課及びエリア・コモンズの業務内容・役割、連携体制を検証し、明確化した。また、部局における国際交流に係る支援体制を拡充するため、各エリア支援室にエリア・コモンズ担当を配置するとともに、グローバル・スタッフ育成室を開設し、各種 SD 研修、語学研修、海外の大学等への短期業務研修等を実施し、職員の国際性の涵養を図った。

また、海外危機発生時における情報収集のため、グローバル・コモンズ機構、総務課リスク管理担当、学生部等による海外危機管理窓口を設け、学内教職員、海外滞在者、海外オフィス、海外危機管理会社等からの情報を集約化させるとともに、全学リスク管理室への報告体制を明確化した。さらに、「海外での危機発生時における学生及び教職員の渡航に関する指針」の制定、学生の渡航情報をリアルタイムで把握するための海外渡航届 web 入力システムの整備、共同通信社のニュース情報リアルタイム配信サービスの利用の開始など、海外におけるリスク管理体制を充実させたことにより、海外滞在者を即座に把握し、安否確認が容易に出来るようになり本業務の合理化が図れた。

Ⅲ 各教育研究組織の評価結果

平成 27 年度活動評価結果報告書 (学群、研究科全体)

【学群・研究科共通】

企業への訪問調査において、各企業の担当者からの筑波大学の卒業生・修了生に対する評価は、概ね「優れている」という評価であった。

【学群全体】

志願倍率 3 倍未満の学類については、3 年以内に是正する方策を講じていただきたい。

【研究科全体】

- ・博士前期課程及び修士課程において、入学定員充足率が 100%に満たない専攻については、是正する方策を講じていただきたい。
- ・学位授与率が低い専攻については、是正する方策を講じていただきたい。

平成 27 年度活動評価結果報告書 (組織名：人文社会系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・人文社会系の研究評価指標について他大学と協力しながら検討し、被引用に代わる評価指標としてダイバーシティ・ファクター (DF) を「データベースに基づく評価指標」として試行的に算出している。
- ・系内に人文社会国際比較研究機構、研究推進室、社会連携推進室を設置し、国際会議開催、研究将来構想、社会貢献活動などを系として推進している。
- ・個人研究からグループ研究へと転換を進めている。
- ・科研費獲得セミナーを例年に比べてより積極的に行い、実績に結実させている。
- ・ハラスメント防止研修会の受講を平成 28 年度以降の昇任人事の推薦要件とすることを検討しており、教員の意識改革を進めている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・各分野の特性を考慮しても教員一人当たりの論文・著書数が多いとは言えず、増加に向けた取組を講じる必要がある。
- ・文理融合型の研究の連携や分野横断による科研費 (S、A) の獲得が十分でない。
- ・ICR の国際共同研究の推進、外部資金の獲得になお一層の努力を期待する。
- ・検討・試行中の評価指標「ダイバーシティ・ファクター」について、国際的通用性のある指標にしてほしい。

平成 27 年度活動評価結果報告書
(組織名：ビジネスサイエンス系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・国際ワークショップの開催等をはじめとする国際交流を推進しており、海外大学との部局間協定へ結実させようとしている。
- ・大学研究センターでは、2回の履修証明プログラムと2回の公開研究会を開催している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・領域ごとに、科研費の採択率には大きな違いがないが、申請率には大きな違いがあり、申請率を上げて採択率も上げる方策の検討が十分でない。
- ・法学領域については、研究成果の発表に一層の努力を期待する。
- ・外部からの受託研究や寄附金が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書
(組織名：数理物質系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・総合政策室の下に URA や各分野の若手教員による「研究戦略チーム」を設置し、外部資金獲得に関するセミナー、レビュー会、アドバイス会、技術交流会、ヒヤリングリハーサル、申請書類の校閲、公募情報の提供など、競争的資金の獲得に系全体で取り組んでいる。
- ・海外教育研究ユニットを2つ設置し、ナノサイエンス・ナノテクノロジーに関するさまざまなプログラムや活動を行っている。
- ・「TIA 連携大学院サマー・オープン・フェスティバル 2015」を約1ヶ月半にわたり開催し、延べ334人が参加している。
- ・平成27年10月に TIA-ACCELERATE における本学の活動拠点として光量子計測器開発推進室を新たに設置し、つくばの他機関との連携を図っている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・コンプライアンスに関するセミナー等の受講率が十分でない。
- ・女性教員が少なく、教員の多様性が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：システム情報系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・「科研費アドバイザー制度」や「科研費申請ワークショップ」「外部資金ワークショップ」等、外部資金獲得に対する支援を積極的に実施し、実績に結び付けている。また、系内教員に対する教育研究費重点配分制度を設置するなど、競争的資金獲得のための活動を積極的に行っている。
- ・人工知能学際研究センターの設立構想により、文部科学省の AIP 事業のサテライト拠点の筑波大学への誘致、及び AIP 関係の大型研究プロジェクト資金の獲得を目指している。
- ・第 2 期 enPIT について、課題解決型学習 (PBL) 等の実践的教育を、学部レベルまで広げて推進することを計画して、応募に向けた準備を行っている。
- ・医学、障害科学、工学、農学、情報学、さらには企業などと連携して多彩な分野融合型の基礎研究から応用研究まで幅広い研究活性を進めている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・コンプライアンス、情報セキュリティリスクに対する取組が十分でない。
- ・大型の科研費獲得の意欲を向上させる取組が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：生命環境系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・部局経費で国際連携コーディネータを雇用し、部局 URA と連携させるなど、国際化を積極的に進めている。
- ・センター再編準備室会議を設置し、部局附属の複数センターを統合した新しいセンターを設置あるいは検討している。
- ・安全保障輸出管理手続き、グローバルキャリア開発ネットワーク紹介、技術職員グループ長会議の定期開催等、多様な FD 研修会を活発に行っている。
- ・障害のある方を含めて非常時における避難路の確保を図るため、種々の整備を行っている。
- ・ERATO や特別共同研究事業等、系として外部資金の獲得に積極的に取り組んでいる。
- ・地球・人類共生科学研究機構から外部資金等で運営される筑波大学第 1 号の開発研究センターとして藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センターが独立し、エネルギー研究を先導している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・平成 27 年度における表彰数が過年度と比べて大きく減少しており、研究成果に対する外部からの評価が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：人間系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・系としての研究の方向性として「共生人間科学」を打ち出し、人間系コロキウムを企画するなど、今後の展開に向けた努力を重ねている。
- ・研究倫理審査の厳密さは失わないように注意しながら手続きの大幅な簡素化を図っている。
- ・人間系教員の刊行した日本語書籍の英文アブストラクト・サマリーを国際発信する制度を設け、平成 27 年度は 16 件の英文アブストラクトを附属図書館リポジトリに登録している。
- ・系附属の教育開発国際協力研究センターを中心に、SEAMEO や APEC 加盟国関係組織と連携し、国際会議や共同事業を行っている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・国際化への取組になお一層の努力を期待する。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：体育系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・国立大学改革強化推進事業として鹿屋体育大学との共同専攻の設置が認められ、平成 28 年度より実施することとなった。また、7 月の文部科学省による中間評価においては、最高ランクの評価を得ている。
- ・「スポーツ・オリンピック学修士学位プログラム（英語プログラム）」の第 1 期生（留学生 16 名、日本人 5 名）を受け入れ、10 月よりプログラムを開始した。
- ・「体育・スポーツ科学分野における世界の格付けプロジェクト」をトムソンロイター社と共同で実施している。
- ・オリンピック・パラリンピックの教育研究センター（CORE）とヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センターを設置し、社会のニーズに沿った研究を推進している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

特になし

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：芸術系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・ 科研費の申請様式に合わせた系としての研究プロジェクトの設置や、科研費獲得のための教員研修会の開催など、研究力の向上に取り組んでいる。
- ・ 系の社会貢献推進室を中心に、学内外においてアートの展示や企画を多数実施している。
- ・ 新規の国際交流協定の締結 3 件、国際シンポジウムの開催、交換留学生帰国報告会の開催をはじめ、国際交流を積極的に進めている。
- ・ 文化庁委託事業を継続的に支援し、文化庁委託事業ユニバーシティアートセレクション展において、[出品者委託大学数：国内 31 大学、国外 9 大学、出品数：国内 78 点、国外 19 点]の参加があり、一層の国際化および研究基盤の進展につなげている。
- ・ 予算削減の中でも様々な工夫を重ねて情報発信を推進している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・ 収入源の開拓をさらに強化する必要がある。
- ・ 開催しているアートの展示・企画に関し、学内外への広報が必ずしも十分でなく、せっかくの活動が知られていないことが危惧され、対策が求められる。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：医学医療系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・ 診療端末が存在する部屋に持ち込まれるノート PC に暗号化ソフトをインストールさせる組織的取組を行っている。
- ・ つくば臨床医学研究開発機構の設置や国際統合睡眠医科学研究機構の運営支援、創薬関連の企業との共同研究など、研究の開発・支援を行っている。
- ・ クロスアポイントメント制度で 2 名、ハイブリッドサラリーシステムで 1 名の雇用を行い、人事改革による研究活動の活性化を図っている。
- ・ 国内外の大学・医療機関をテレビ会議をつないだ遠隔会議の実施（約 100 回）、教職員および大学病院職員を対象としたセミナーのネット配信など、ICT を活用した会議・研修を促進している。
- ・ 教員評価についての過去の経験を踏まえて評価方式の改善を行い、評価結果が給与に適正に反映できるしくみを作っている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

特になし

平成 27 年度活動評価結果報告書
(組織名：図書館情報メディア系)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・平成 26 年度の教職員版の危機管理マニュアルの作成に引き続き、学生向けの携帯版危機管理マニュアルを作成している。
- ・科研費獲得に関する FD の開催や研究プロジェクト支援など、系内の研究活動の促進を図っている。
- ・2名の支援室職員を海外の大学に派遣し、プレゼンテーション並びに現地職員との情報交換を行っている。また、海外大学から教員を招き共同研究を開始したり、本系の教員を海外に派遣し国際連携について協議するなど、国際化に向けた活動を活発化させている。
- ・助教の割合を増やして、構造改革を進めている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・外部資金獲得状況を増加させる取組が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書
(組織名：人文・文化学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・Japan Expert プログラムの準備を進めている。
- ・学生の海外派遣を活発に行っている。
- ・日本語・日本文化研修留学生等、留学生を多数受け入れている。
- ・世界展開力強化事業や地域研究イノベーション学位プログラムについて学生への周知に努め、参加する学生を支援している。(人文学類)
- ・日本人と留学生の協同による多言語・文化学習環境の確立を進めている。(比較文化学類)
- ・TA/TF の有効活用を推進するための支援を進めている。(日本語・日本文化学類)

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・科目数が多く、科目の絞り込みが十分でない。
- ・授業評価アンケートの結果の公表及びフォローが、教育会議での公表という形でしか行われておらず、十分でない。
- ・大括り入試、SF term、学位プログラム化等への準備になお一層の努力を期待する。
- ・一部の学類において就職・進学決定率が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：社会・国際学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・英語による授業の増加等を行い、海外派遣学生の増加や海外インターンシップのさらなる充実を図っている。また、学生の海外派遣については、学生数の増加とともに、派遣先国が世界の多岐にわたっている。
- ・国際化拠点整備事業に貢献している。
- ・模擬国連派遣事業を推進し、高大連携に活かしている。
- ・学外施設見学やフィールドワーク、模擬法廷など、多様な実務対応学修の機会を提供している。(社会学類)
- ・開設授業科目数を年々増加し、アジアに留まらずアフリカ・欧米などから広く留学生を集めている。(社会国際学教育プログラム)

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・研究科や他学群との共同的な取組が見られる一方で、自主的な取組が十分でない。
- ・志願倍率減への対応が十分でない。(国際総合学類)

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：人間学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・学群コアカリキュラムを4年間の各年次に配置し、学生が学際的に学べる教育環境を推進している。
- ・学群長、学類長、学生担当教員、事務職員、学生代表による情報・意見交換を行うためのランチタイムミーティング及び学群懇親会を開催している。
- ・人間学群が構想する学位プログラムを明確化するために、ステークホルダーとしての卒業生の意見を聞く機会や講演会、シンポジウムなどを開催している。
- ・我が国の学校教育分野における国際貢献についての検討を行っている。
- ・国際的なボランティアを兼ねて国際教育協力や実習に取り組みせるとともに、英語による教育政策概論を開講し、全ての学類生に参加を呼び掛けている。
- ・初等教育コースが完成年度を迎え、カリキュラムの検証を行うとともに、指導の過程について報告書としてまとめている。(教育学類)

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・社会福祉士国家試験の合格率は、筑波大学の全国的な位置づけからすると十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：生命環境学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・英語教育に関する FD 研修会を開催し、24 名の教員が参加するなど、積極的に実施している。
- ・生命環境学際プログラムや ASEAN 横断型地球規模課題挑戦的グローバル人材育成プログラム等により、学群教育の国際化と留学生交流を活発に進めている。
- ・ベネッセとの共同によるアメリカ短期留学プログラムを他学群に先駆けて実施し、学群 1・2 年生合計 9 名が参加し、参加者から高く評価されている。
- ・筑波大学「先導的研究者体験プログラム」に 21 名の学群生が参加する等、早期からの研究活動を推奨している。
- ・授業評価を科目毎にまとめている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・学外の海外派遣プログラムへの応募が十分でない。
- ・志願倍率減への対応が十分でない。
- ・教員の多様化が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：理工学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・各学類の事情に即した留学生受入体制を構築している。
- ・講義のビデオ収録や動画教材配信のシステム整備を順次行っており、グローバルな学位プログラムを推進するとともに、学生の e-learning 環境の充実のみならずオープンコースウェアへの準備を行っている。
- ・留学生を含む多様な学生の受入れを意義あるものとするために、つまづき寺子屋相談、数学手習い塾など、きめ細かな相談・指導を行っている。
- ・多様な入試により入学した多様な学生を対象にボトムアップ教育を行い、学群生全体のレベルアップを図っている。
- ・専門基礎科目の共通化の可能性についての取組を早めに始めている。
- ・海外インターンシップや短期留学、学外での研究成果の発表等を積極的に推進するなど、グローバル化に向けた活動を積極的に行っている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・学外の海外派遣プログラムへの応募が十分でない。
- ・学類により志願倍率に開きがあり、対応が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：情報学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・組み込み技術キャンパス OJT の取組と、工作室「openfab 創房」の設置及び関連設備の整備を行っている。
- ・授業評価アンケートに対応して、授業内容の改善を具体的に行っている。
- ・第 6 期生から 2 名同時に I P A 未踏採択者が、第 7 期生から経産大臣賞、著名な国際会議での受賞者がそれぞれ出るなど、とがった学生を育成している。
- ・研究倫理教育を学群全体で実施している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・学外の海外派遣プログラムへの応募が十分でない。
- ・知識情報・図書館学類の独自性、専門性の明確化になお一層の工夫を期待する。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：医学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・外部評価者や学生も含めた教育推進委員会を設置し、教育評価方法と基準を明確化し、公開している。また、同委員会による検討内容を既にカリキュラム等の改善に役立てている。
- ・外部資金による拡充を進めている。
- ・FD 研修を活発に実施している。
- ・研究者養成コース、問題指向型指導方法、長期間の臨床実習、地域機関と連携した地域医療教育、他大学とも連携したチーム医療教育など、多様な教育方法により医療専門職の教育を行っている。
- ・「グローバルな医学教育認証に対応した診療参加型臨床実習」について、昨年度 11 月に受審した評価では、全国で唯一 S 評価を受けている。(医学類)

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・医師国家試験の合格率が低下してきており、今後の対策が必要である。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：体育専門学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・実技検定を継続実施している。
- ・Tsukuba Summer Institute に学群生も受け入れ、世界のスポーツの動向を学びつつ英語の学習も促進する教育を行っている。
- ・学群卒業生で国際競技大会のスタッフとして参加する者が、大きく増加しており、広くスポーツ界に貢献する人材を育成している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・学外の海外派遣プログラムへの応募が十分でない。
- ・留学生の受け入れ態勢が十分でない。
- ・TOEFL スコアが他学群に比して低く、英語教育が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：芸術専門学群)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・Japan Expert プログラムや国際バカロレアなど多様な入試方法により多様な人材の確保を進めている。
- ・学外において高い評価を得た特別経費事業「多領域と芸術の融合による創造的復興に向けた人材育成プログラムの構築－希望に満ちた日本にするために－」(CR プロジェクト) は人材育成プログラムとしても最終年度を迎え、芸術専門学群生だけでなく多数の他学群生が受講し、大きな成果を挙げている。
- ・継続的な社会貢献、高大連携の諸活動「高校生アトライター大賞」「アートデザインプロデュース」「夏休みアートディキャンプ&アート探検隊」等を通して、学業の社会への還元に努めている。
- ・学生の予防的メンタルヘルス対策を積極的に進めている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・キャリア支援が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：人文社会科学研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・多様な留学生の受入れを進めるために、外部資金を獲得して 5 種類の英語プログラムを実施している。
- ・新入生を対象に、研究倫理やハラスメント防止等に関わる研修会を実施している。
- ・国内大学との連携による単位互換、海外連携校との学術協定を通じた交換留学、短期派遣プログラムに関する公募型教育プログラム等を通じた海外研修、専攻・研究科の独自予算を活用しての国際会議での発表の促進等、学生の主体的学習を支援し、世界に通用する人材の育成に努めている。
- ・国際化拠点整備事業に貢献している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・留学生(研究生)受け入れ内諾の際の本人確認等の確実性の担保が十分でない。
- ・志願倍率が 1 倍未満の専攻が見られ、志願倍率減への対策が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：ビジネス科学研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・院生や修了生の授業評価結果を教員会議で検討、教員相互の授業参観・チューター会議など、教育の改善に心がけている。
- ・社会のニーズに合った学位プログラムを構築するため、企業組織の採用担当者に調査を実施している。
- ・「法科大学院公的支援見直し加算プログラム」について、平成 26 年度は加算点を得られなかったことを真摯に受け止め、他大学の取組を調査するなどして、強みと特色を生かした戦略の提案につなげ、平成 27 年度には計 15% の加算点を得ている。(法曹専攻)

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・司法試験合格率が全国平均以下であり、要因検討と対策が十分でない。(法曹専攻)
- ・教育プログラムの評価、特に、出口における評価が不十分である。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：数理物質科学研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・グルノーブル大学とのダブルディグリープログラム、「つくば共鳴教育プログラム」など、学生の海外派遣を促進し、海外で活躍できる人材育成のための様々な取組を積極的に進めている。
- ・寄付講座を活用した新研究分野の設置、ナノサイエンス分野における連携大学院による1ヶ月以上にわたるセミナー（サマー・オープン・フェスティバル）など、新しい研究を大学院教育に展開している。
- ・英語による授業を前期課程の共通科目とし、さらに英語のみで修士学位取得が可能なコースを5つ設置するなど、博士課程前期課程の教育の充実に努めている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・修士生のアンケートでは、心配事や不安を感じている学生がおり、特に就職問題の不安が多く、組織的な就職支援等が十分でない。
- ・博士後期課程において、志願倍率が1倍未満の専攻が見られ、志願倍率減への対策が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：システム情報工学研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・産官学連携研究により教育プログラムを促進している。
- ・エンパワーメント情報学プログラムを推進している。
- ・スカイプやポリコムを用いた口述試験の方法や問題点の整理を行っており、問題発生時の対応方法も含めて完成させている。
- ・英語のみによる教育プログラムの拡充を進めるとともに、既存の英語プログラムを他専攻学生が利活用しやすい環境を作ろうとしている。
- ・研究科レベルでの学生支援制度を構築している。
- ・「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」において、ビジネスアプリケーション分野の幹事校として他大学にも呼びかけて合宿研修を行うなど、実践的な人材育成教育を行っている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・志願倍率が1倍未満の専攻が見られ、志願倍率減への対策が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：生命環境科学研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・海外の大学との国際共同学位プログラムを積極的に推進し、提携大学はアジア、欧米にまで広がっている。
- ・英語で学位取得が可能なプログラムを 10 設置し、また、海外大学教員による英語によるアクティブラーニング研修を学生・教員対象に複数回実施するなど、英語による教育を積極的に推進している。
- ・平成 27 年度入学者 455 名のうち留学生が 148 名（約 32%）を占めている、また、海外の協定校との教育連携強化と外国人教員の増員配置を進めているなど、国際化を積極的に推進している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・後期課程修了者に対する継続的な就職支援が十分でない。
- ・志願倍率が 1 倍未満の専攻が見られ、志願倍率減への対策が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書

(組織名：人間総合科学研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・鹿屋体育大学との連携による 2 つの共同学位プログラムを設置し、文部科学省の中間評価で最上級の評価を得ている。
- ・各専攻の特色を生かしながら、国際的な協働教育を積極的に進めている。
- ・学修派遣支援やスカラシップなど積極的に院生支援を行っている。
- ・学生のメンタルヘルス、及び学生と教員のコミュニケーション促進に向けた取組を積極的に実施している。
- ・研究科戦略プロジェクトを設置し、研究科における教育研究の強化を図ることで、外部資金獲得に結びついた研究が増加している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・学生による授業等評価アンケートの実施が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書
(組織名：図書館情報メディア研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・前期課程英語プログラムの入学時期の 10 月への変更、英語で学位が取得できる後期課程の開始など、留学生を積極的に受け入れる対応が行われている。
- ・博士前期課程の全ての講義科目で授業評価を実施し、その結果を教員にフィードバックしている。
- ・学生懇談会を年 2 回実施し、カリキュラムや学生生活等について学生の要望を聞き、改善を図っている。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・博士後期課程の入学定員充足率が十分でない。

平成 27 年度活動評価結果報告書
(組織名：教育研究科)

以下の取組については、優れた取組として高く評価できる。

- ・小学校教員専修免許を取得できるプログラムにより、高度職業人としての小学校教員育成のコースを設置している。
- ・IB（国際バカロレア）教師教育プログラムの設置のための準備を展開し、グローバルな教師教育をめざしている。
- ・外国人教員研修生の受入を継続して実施し、これまでの実績を鑑み、学位プログラム等の構想の中で、修士課程にできないか検討を進めている。
- ・社会人リカレント教育を通して、本学のプレゼンスの向上に寄与している。
- ・平成 24 年度より継続して実施してきた「教育困難校における生徒の多様な援助ニーズに応える院生の高度専門的援助能力育成の取り組み」について、平成 27 年度は教育大学協会からの財政的支援を受けた事業として継続して実施している。

以下の取組については、改善が必要な取組として今後の改善を求める。

- ・留学生の入学者数が減少しており、要因の分析と対策が十分でない。
- ・現職教員プログラムの志願倍率が低く、要因の分析と対策が十分でない。

IV 各種資料

1 管理運営関係

(1) 沿革

- 昭 37. 9 東京教育大学、5学部の統合移転候補地の調査を決定
38. 9 研究学園都市を筑波地区に建設することを閣議了解
42. 7 東京教育大学、「総合大学として発展することを期し、条件付きで筑波に土地を希望する」ことを決定
42. 9 筑波地区への移転予定機関として、東京教育大学、東京医科歯科大学医学部附属病院霞ヶ浦分院等 36 機関を閣議了解
44. 7 東京教育大学、「筑波における新大学のビジョンの実現を期して筑波に移転する」旨を表明
44. 11 文部省に筑波新大学創設準備調査会を設置
45. 5 筑波研究学園都市建設法成立
46. 6 東京教育大学、「筑波新大学に関する基本計画案」を決定
46. 7 筑波新大学創設準備調査会、「筑波新大学のあり方について」文部大臣に報告
46. 10 文部省に筑波新大学創設準備会を設置
47. 5 筑波研究学園都市に新設移転する研究教育機関として、筑波新大学（仮称）等 42 機関を閣議決定、東京教育大学に筑波新大学創設準備室を設置
47. 8 政府機関の移転を繰り上げ、昭和 50 年度までに完了することを閣議了解
48. 2 国立学校設置法等の一部を改正する法律案を閣議決定
48. 10 筑波大学設置「国立学校設置法等の一部を改正する法律（昭和 48 年法律第 103 号）」
三輪知雄、学長に就任
- 第一学群「人文学類、社会学類、自然科学類」、医学専門学群、体育専門学群、26 学系、
体育センター、農林技術センター、附属図書館、保健管理センターを設置
49. 4 外国語センター、加速器センター、計算センター（昭 53.4 学術情報処理センターに改組）、企画調査室を設置
50. 4 第二学群「比較文化学類、人間学類、生物学類、農林学類（平 6.4 生物資源学類に改称）」、
芸術専門学群、大学院修士課程「地域研究研究科（平成 20.4 人文社会科学研究科に改組・再編）」、
大学院博士課程「哲学・思想研究科、歴史・人類学研究科、文芸・言語研究科、社会科学研究科、
生物科学研究科、数学研究科、物理学研究科、化学研究科、地球科学研究科」、
教育機器センター、アイソトープセンター、水理実験センター（平 12.4 陸域環境研究センター（～平 22.3）に転換）、
附属病院創設準備室を設置
50. 10 国民体力特別プロジェクト研究組織（～昭 55.3）を設置
51. 4 「（修士課程）経営・政策科学研究科（平 17.4 システム情報工学研究科に改組・再編）、
体育研究科（平 20.4 人間総合科学研究科に改組・再編）」、「（博士課程）教育学研究科、
心理学研究科、心身障害学研究科、農学研究科、体育科学研究科、芸術学研究科」を設置
51. 5 低温センター、分析センター、動物実験センター（平成 13.4 生命科学動物資源センターに転換）、
下田臨海実験センター、附属病院を設置

51. 8 宮島龍興、学長に就任
52. 4 第三学群「社会工学類、情報学類、基礎工学類（平 10.4 工学基礎学類に改組）」、「(修士課程) 教育研究科（平 20.4 人間総合科学研究科に一部改組・再編）、環境科学研究科（平 19.4 生命環境科学研究科に改組・再編）、芸術研究科（平 19.4 人間総合科学研究科に改組・再編）」、工作センター、菅平高原実験センターを設置
52. 5 核物性特別プロジェクト研究組織（～昭 57.3）を設置
53. 3 東京教育大学閉学
53. 4 「(修士課程) 理工学研究科（平 16.4 数理物質科学研究科、平 17.4 システム情報工学研究科及び生命環境科学研究科に改組・再編）」、「(博士課程) 社会工学研究科」、理療科教員養成施設、学校教育部、附属 10 学校を設置
53. 5 ラテンアメリカ特別プロジェクト研究組織（～昭 58.3）を設置
53. 10 筑波大学医療技術短期大学部を併設
54. 4 「(修士課程) 医科学研究科（平 18.4 人間総合科学研究科に改組・再編）」、プラズマ研究センターを設置
55. 4 福田信之、学長に就任
「(博士課程) 医学研究科」、粒子線医科学センター（～平 2.3）、運動処方特別プロジェクト研究組織（～昭 57.3）を設置
56. 4 「(博士課程) 工学研究科」を設置
57. 4 熱帯農林資源特別プロジェクト研究組織（～昭 62.3）、老化特別プロジェクト研究組織（～昭 62.3）を設置
58. 4 「(第三学群) 国際関係学類（平 7.4 国際総合学類に改組）」、本能特別プロジェクト研究組織（～昭 63.3）を設置
59. 4 留学生教育センター（平 3.4 留学生センターに改称）、遺伝子実験センターを設置
60. 4 「(第二学群) 日本語・日本文化学類」を設置
61. 4 阿南功一、学長に就任
大学研究センターを設置
62. 5 物質の進化特別プロジェクト研究組織（～平 4.3）、変換技術開発特別プロジェクト研究組織（～平 4.3）を設置
63. 4 代謝特別プロジェクト研究組織（～平 5.3）を設置
- 平元. 4 大学院修士課程に夜間開講の専攻を設置
大学院修士課程において昼夜開講制を実施
2. 6 陽子線医学利用研究センター（～平 12.3）を設置
3. 4 「(第三学群) 工学システム学類」を設置
4. 4 江崎玲於奈、学長に就任
「(博士課程) 国際政治経済学研究科」、計算物理学研究センター（～平 14.3）、新国際システム特別プロジェクト研究組織（～平 9.3）、循環器系バイオシステム特別プロジェクト研究組織（～平 9.3）を設置
大学院博士課程において連携大学院方式（第一号連携大学院方式）を実施
5. 4 「(修士課程) バイオシステム研究科（平 17.4 生命環境科学研究科に改組・再編）」、地球環境変化特別プロジェクト研究組織（～平 10.3）を設置

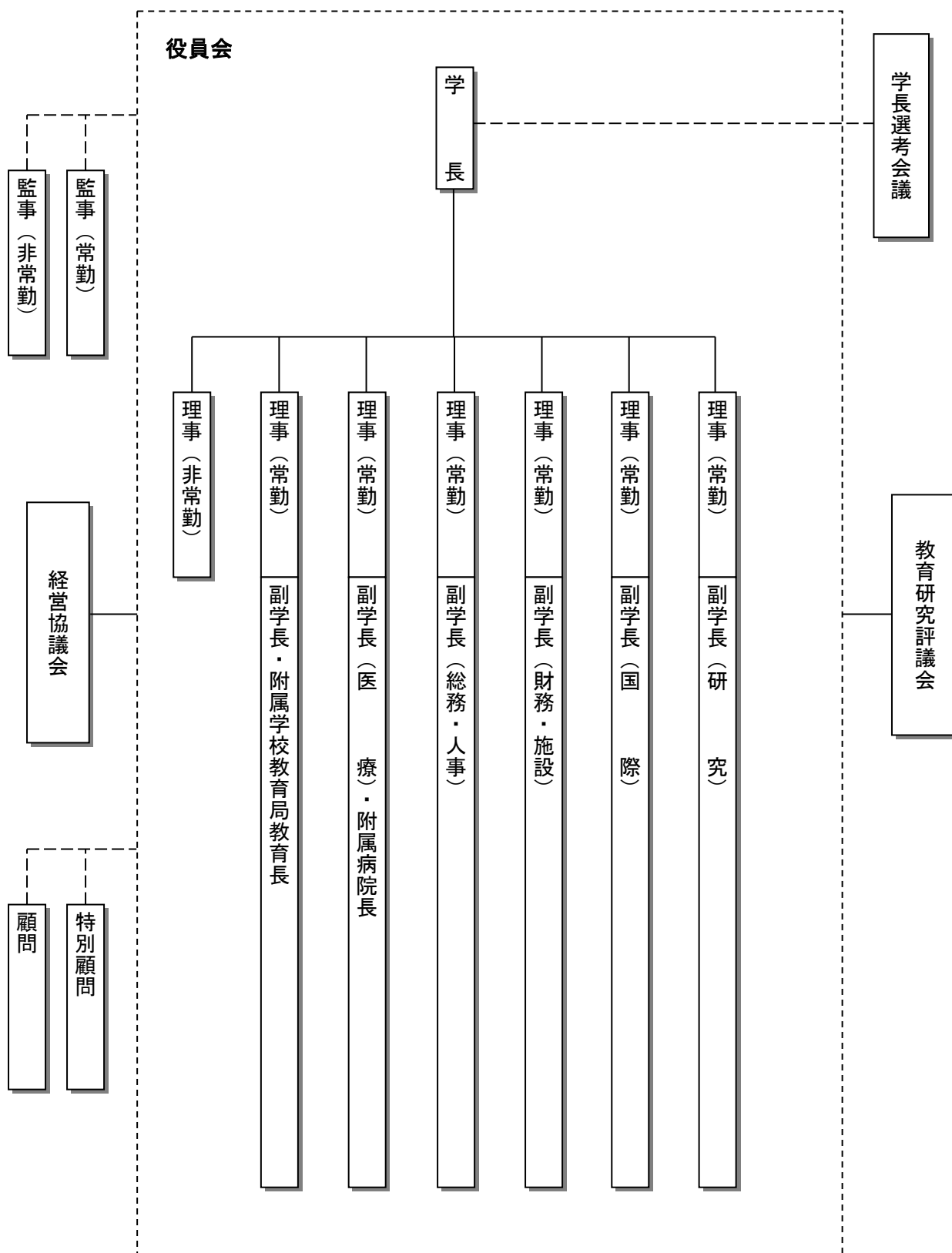
- 6 . 5 先端学際領域研究センター（平 22. 10 生命領域学際研究センターに改組）
- 7 . 4 大学院博士課程において昼夜開講制を実施
- 8 . 4 大学院博士課程に夜間開講の専攻（後期 3 年博士課程）を設置
- 9 . 4 東西言語文化の類型論特別プロジェクト研究組織（～平 14. 3）、感性評価構造モデル構築特別プロジェクト研究組織（～平 14. 3）を設置
10. 4 北原保雄、学長に就任
動的脳機能とこころのアメニティ特別プロジェクト研究組織（～平 15. 3）を設置
11. 4 構造工学系を機能工学系に改称、アドミッションセンターを設置
12. 4 「(博士課程) 生命環境科学研究科、数理物質科学研究科、システム情報工学研究科（社会工学研究科、生物科学研究科、農学研究科、数学研究科、物理学研究科、化学研究科、地球科学研究科、工学研究科の改組）」、陽子線医学利用研究センター（～平 22. 3）を設置
13. 4 「(博士課程) 人文社会科学研究科、ビジネス科学研究科、人間総合科学研究科（哲学・思想研究科、歴史・人類学研究科、文芸・言語研究科、教育学研究科、心理学研究科、心身障害学研究科、社会科学研究科、国際政治経済学研究科、経営・政策科学研究科（経営システム科学専攻、企業法学専攻及び企業科学専攻）、医学研究科、体育科学研究科及び芸術学研究科の改組）」を設置
14. 4 産学リエゾン共同研究センター、教育開発国際協力研究センター、計算物理学研究センター（～平 24. 3；平 16. 4 計算科学研究センターに改組）、ナノサイエンス特別プロジェクト研究組織（～平 19. 3）、獲得性環境因子の生体応答システム特別プロジェクト研究組織（～平 19. 3）の設置
大学院修士課程において連携大学院方式を実施
14. 10 図書館情報大学と統合「国立学校設置法の一部を改正する法律（平成 14 年法律第 23 号）」
医学専門学群「医学類、看護・医療科学類」、図書館情報専門学群、「(博士課程) 図書館情報メディア研究科」、図書館情報学系、知的コミュニティ基盤研究センター（～平 24. 3）を設置
15. 4 学際物質科学研究センターを設置（～平 25. 3）
比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト研究組織（～平 20. 3）を設置
16. 4 国立大学法人筑波大学設置「国立大学法人法（平成 15 年法律第 112 号）」
岩崎洋一、学長に就任
看護科学系、特別支援教育研究センター、北アフリカ研究センター、学術情報メディアセンター（教育機器センター及び学術情報処理センターを統合）、研究基盤総合センター（加速器センター、低温センター、アイソトープセンター、分析センター及び工作センターを統合）、附属久里浜養護学校、大学院修士課程芸術研究科「世界遺産専攻」を設置
大学院博士課程において連携大学院方式（第二号連携大学院方式）を実施（数理物質科学研究科物質・材料工学専攻）
大学院博士課程数理物質科学研究科を 5 年一貫制博士課程から区分制博士課程に転換
17. 4 大学院専門職学位課程「ビジネス科学研究科法曹専攻、国際経営プロフェッショナル専攻」、大学院博士課程生命環境科学研究科「生命産業科学専攻」を設置

- 大学院博士課程において連携大学院方式（第二号連携大学院方式）を実施（生命環境科学研究科先端農業技術科学専攻）
- 大学院博士課程システム情報工学研究科、大学院博士課程生命環境科学研究科（構造生物科学専攻、情報生物科学専攻、国際地縁技術開発科学専攻、生物圏資源科学専攻、生物機能科学専攻）を5年一貫制博士課程から区分制博士課程に転換
18. 4 大学院修士課程教育研究科「スクールリーダーシップ開発専攻」、大学院博士課程人間総合科学研究科「フロンティア医科学専攻（修士課程）、コーチング学専攻（後期のみの博士課程）、世界文化遺産学専攻（後期のみの博士課程）」、アイソトープ総合センターを設置
18. 10 次世代医療研究開発・教育統合センターを設置
19. 4 学群改組を実施（9学群23学類により編制）
- 人文・文化学群「人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類」、社会・国際学群「社会学類、国際総合学類」、人間学群「教育学類、心理学類、障害科学類」、生命環境学群「生物学類、生物資源学類、地球学類」、理工学群「数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類」、情報学群「情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類」、医学群「医学類、看護学類、医療科学類」、体育専門学群、芸術専門学群
- 大学院博士課程生命環境科学研究科（地球環境科学専攻、地球進化科学専攻）、大学院博士課程人間総合科学研究科（芸術学専攻）を5年一貫制から区分制に転換
- 大学院博士課程生命環境科学研究科「地球科学専攻（博士前期課程）、環境科学専攻（博士前期課程）、地球環境科学専攻（博士後期課程）、地球進化科学専攻（博士後期課程）、持続環境学専攻（博士後期課程）」、大学院博士課程人間総合科学研究科「看護科学専攻（修士課程）、世界遺産専攻（博士前期課程）、芸術専攻（博士前・後期課程）」を設置
- 附属盲学校、聾学校、大塚養護学校、桐が丘養護学校、久里浜養護学校を特別支援学校に変更
- 「学校教育法等の一部を改正する法律（平成18年法律第80号）」
20. 4 大学院人文社会科学研究科（現代文化・公共政策専攻、国際政治経済学専攻、社会科学専攻）、大学院博士課程人間総合科学研究科（教育学専攻、学校教育学専攻、心理学専攻、感性認知脳科学専攻、体育科学専攻）を5年一貫制から区分制に、大学院博士課程人間総合科学研究科（ヒューマン・ケア科学専攻、スポーツ医学専攻）を5年一貫制から後期3年博士課程に転換
- 大学院人文社会科学研究科「現代語・現代文化専攻、国際公共政策専攻、経済学専攻、法学専攻（以上、博士前・後期課程）、国際地域研究専攻（博士前期課程）、国際日本研究専攻（博士後期課程）」、大学院博士課程人間総合科学研究科「障害科学専攻（博士前・後期課程）心理専攻、生涯発達専攻、体育学専攻、スポーツ健康システム・マネジメント専攻（以上、博士前期課程）、教育基礎学専攻、生涯発達科学専攻、生命システム医学専攻、疾患制御医学専攻（以上、博士後期課程）」を設置
- 大学院修士課程教育研究科「特別支援教育専攻」を設置
21. 4 山田信博、学長に就任
- 大学院博士課程人間総合科学研究科「看護科学専攻（博士後期課程）」を設置

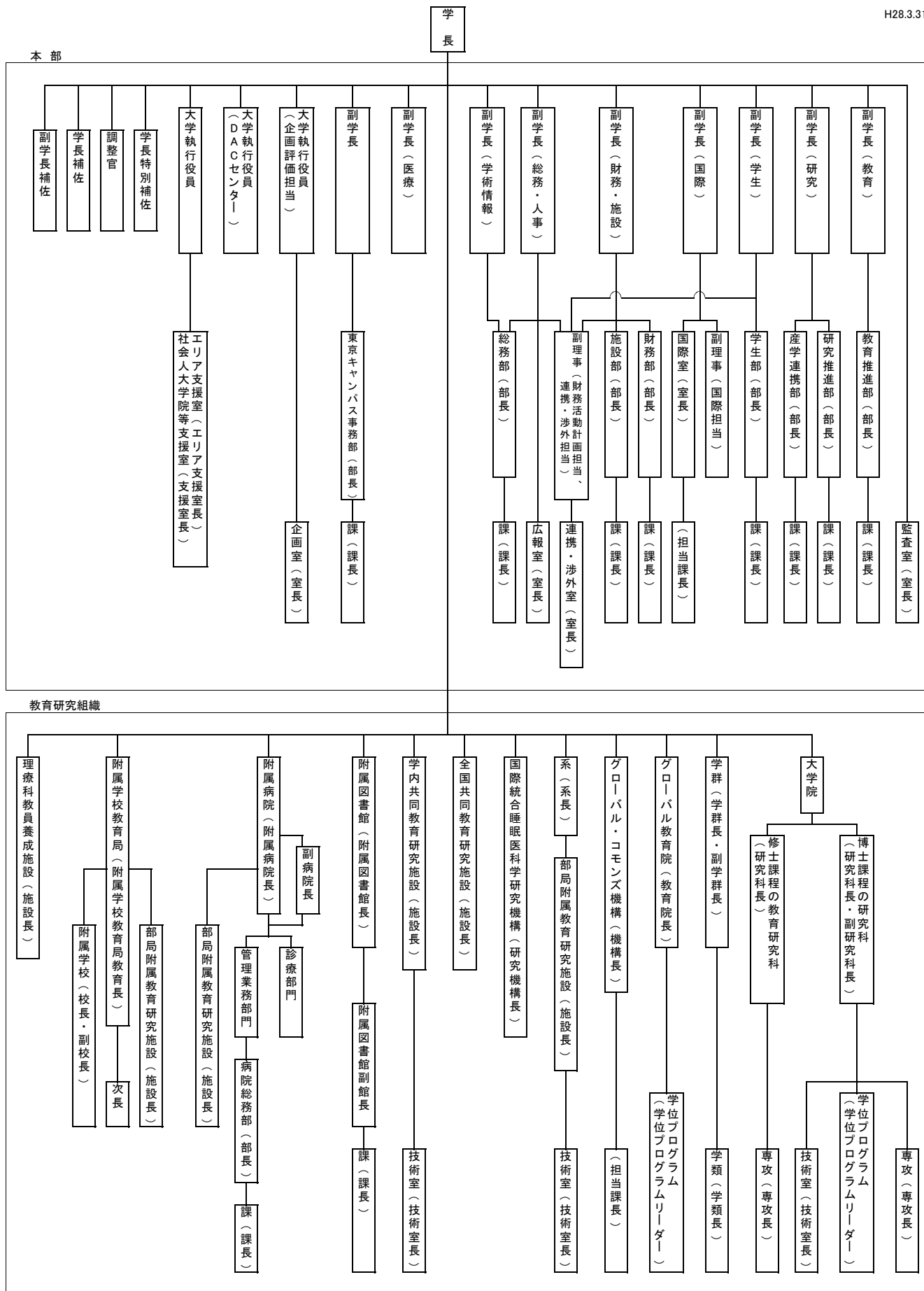
23. 4 教員組織である系（人文社会系、ビジネスサイエンス系、数理物質系、システム情報系、生命環境系、人間系、体育系、芸術系、医学医療系、図書館情報メディア系）を設置
大学院博士課程生命環境科学研究科「生物科学専攻（博士後期課程）」を設置
23. 10 サイバニクス研究センターを設置
23. 12 グローバル教育院を設置
24. 3 学系を廃止
24. 4 ヒューマンバイオロジー学位プログラム（5年一貫制博士課程）を設置
大学院博士課程数理物質科学研究科「ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻（博士後期課程）」、大学院博士課程生命環境科学研究科「生命共存科学専攻（5年一貫制）」を設置
24. 12 国際統合睡眠医科学研究機構を設置
アイソトープ環境動態研究センター（アイソトープ総合センター及び陸域環境研究センターを統合）を設置
25. 4 永田恭介、学長に就任
グローバル・コモンズ機構を設置
26. 4 エンパワーメント情報学プログラム（5年一貫制博士課程）を設置
27. 4 ライフイノベーション学位プログラム（前期2年博士課程、後期3年博士課程）を設置
グローバルコミュニケーション教育センター（外国語センター及び留学生センターを統合）を設置
27. 7 ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センターを設置
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センターを設置
27. 10 ダイバーシティ・アクセビリティ・キャリアセンター（キャリア支援室、ダイバーシティ推進室、障害学生支援室を統合）を設置

(2) 運営組織等
ア 法人運営組織

H28. 3. 31



イ 大学運営組織図



(3) 制定改廃法人規則等

○法人規則

国立大学法人筑波大学安全保障輸出管理規則（平成 27 年 4 月 23 日法人規則第 27 号）

国立大学法人筑波大学利益相反規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 4 月 23 日法人規則第 28 号）

国立大学法人筑波大学研究公正規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 5 月 28 日法人規則第 29 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 5 月 28 日法人規則第 30 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 5 月 28 日法人規則第 31 号）

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 6 月 25 日法人規則第 32 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 6 月 25 日法人規則第 33 号）

国立大学法人筑波大学研究公正規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 6 月 25 日法人規則第 34 号）

国立大学法人筑波大学経営協議会規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 6 月 25 日法人規則第 35 号）

国立大学法人筑波大学教育研究評議会規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 6 月 25 日法人規則第 36 号）

国立大学法人筑波大学職員の安全衛生管理規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 7 月 23 日法人規則第 37 号）

国立大学法人筑波大学財産管理規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 8 月 31 日法人規則第 38 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 9 月 24 日法人規則第 39 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 27 年 9 月 24 日法人規則第 40 号）

国立大学法人筑波大学役職員の再就職等の規制に関する規則（平成 27 年 9 月 24 日法人規則第 41 号）

国立大学法人筑波大学における個人番号及び特定個人情報の取扱いに関する規則（平成 27 年 10 月 27 日法人規則第 42 号）

国立大学法人筑波大学人事企画委員会規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 1 月 28 日法人規則第 1 号）

国立大学法人筑波大学大学教員の任用手続等に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 1 月 28 日法人規則第 2 号）

国立大学法人筑波大学出張及び旅費に関する規則（平成 28 年 1 月 28 日法人規則第 3 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 2 月 18 日法人規則第 4 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 2 月 18 日法人規則第 5 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 2 月 18 日法人規則第 6 号）

国立大学法人筑波大学における役員の報酬等に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 2 月

18 日法人規則第 7 号)

国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 2 月 18 日法人規則第 8 号)

国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 2 月 18 日法人規則第 9 号)

国立大学法人筑波大学附属学校職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 2 月 18 日法人規則第 10 号)

筑波大学におけるヒトを対象とする研究の倫理に関する規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 2 月 18 日法人規則第 11 号)

国立大学法人筑波大学利益相反規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 2 月 18 日法人規則第 12 号)

筑波大学附属学校校則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 2 月 18 日法人規則第 13 号)

国立大学法人筑波大学職員の安全衛生管理規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 2 月 18 日法人規則第 14 号)

国立大学法人筑波大学本部等職員就業規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 15 号)

国立大学法人筑波大学附属病院職員就業規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 16 号)

国立大学法人筑波大学附属学校職員就業規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 17 号)

国立大学法人筑波大学本部等職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 18 号)

国立大学法人筑波大学附属病院職員の給与に関する規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 19 号)

国立大学法人筑波大学附属学校職員の勤務時間及び休暇に関する規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 20 号)

国立大学法人筑波大学職員の退職金に関する規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 21 号)

国立大学法人筑波大学本部等非常勤職員就業規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 22 号)

国立大学法人筑波大学附属病院非常勤職員就業規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 23 号)

国立大学法人筑波大学附属学校非常勤職員就業規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 24 号)

国立大学法人筑波大学本部等非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 25 号)

国立大学法人筑波大学附属学校等非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 26 号)

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 27 号)

コンプライアンス推進規則の一部を改正する法人規則 (平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 28 号)

筑波大学出版会規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 29 号）
国立大学法人筑波大学リスクマネジメント規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 30 号）
全学交通安全環境委員会規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 31 号）
教育研究組織の長等の選考及び任期に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 32 号）
国立大学法人筑波大学財務規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 33 号）
筑波大学学群学則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 34 号）
筑波大学大学院学則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 35 号）
国立大学法人筑波大学外部資金研究取扱規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 36 号）
筑波大学教育相談に関する規則の一部を改正する法人規則（平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 37 号）
国立大学法人筑波大学財産管理規則の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規則第 38 号）

○法人規程

国立大学法人筑波大学文書処理規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 4 月 14 日法人規程第 37 号）
国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 4 月 23 日法人規程第 38 号）
国際産学連携本部規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 4 月 23 日法人規程第 39 号）
つくばグローバル・イノベーション推進機構規程を廃止する法人規程（平成 27 年 4 月 23 日法人規程第 40 号）
利益相反・輸出管理マネジメント室規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 4 月 23 日法人規程第 41 号）
国立大学法人筑波大学文書処理規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 4 月 28 日法人規程第 42 号）
国立大学法人筑波大学本部等職員の採用、昇任、退職等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 5 月 22 日法人規程第 43 号）
国立大学法人筑波大学附属病院職員の採用、昇任、退職等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 5 月 22 日法人規程第 44 号）
国立大学法人筑波大学附属学校職員の採用、昇任、退職等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 5 月 22 日法人規程第 45 号）
国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 5 月 28 日法人規程第 46 号）
国立大学法人筑波大学公印取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 5 月 28 日法人規程第 47 号）
国立大学法人筑波大学職員の服務監督者に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 5 月 28 日法人規程第 48 号）
国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 6 月 25 日法人規程第 49 号）
国立大学法人筑波大学公印取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 6 月 25 日法人規程第 50 号）
国立大学法人筑波大学職員の服務監督者に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 6 月 25 日法人規程第 51 号）

国立大学法人筑波大学寄附金等取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 6 月 25 日法人規程第 52 号）

国際産学連携本部規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 6 月 25 日法人規程第 53 号）

国立大学法人筑波大学法人文書の開示の手続きに関する規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 6 月 25 日法人規程第 54 号）

筑波大学特定認定再生医療等委員会の組織及び運営に関する規程（平成 27 年 7 月 23 日法人規程第 55 号）

筑波大学認定再生医療等委員会の組織及び運営に関する規程（平成 27 年 5 月 9 日法人規程第 56 号）

筑波大学認定再生医療等委員会の組織及び運営に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 9 月 18 日法人規程第 57 号）

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター規程（平成 27 年 9 月 24 日法人規程第 58 号）

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 9 月 24 日法人規程第 59 号）

国立大学法人筑波大学公印取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 9 月 24 日法人規程第 60 号）

国立大学法人筑波大学ダイバーシティ推進室規程を廃止する法人規程（平成 27 年 9 月 24 日法人規程第 61 号）

筑波大学教育・学生支援組織に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 9 月 24 日法人規程第 62 号）

国立大学法人筑波大学職員の服務監督者に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 9 月 24 日法人規程第 63 号）

筑波大学グローバルリーダーキャリア開発ネットワーク規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 9 月 24 日法人規程第 64 号）

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 12 月 24 日法人規程第 65 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 12 月 24 日法人規程第 66 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 12 月 24 日法人規程第 67 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 27 年 12 月 24 日法人規程第 68 号）

国立大学法人筑波大学教員の任期に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 1 月 28 日法人規程第 1 号）

国立大学法人筑波大学財産管理施行規程の一部を改正する規程（平成 28 年 2 月 15 日法人規程第 2 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 2 月 18 日法人規程第 3 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 2 月 18 日法人規程第 4 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 2 月 18 日法人規程第 5 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 2 月 18 日法人規程第 6 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 2 月 18 日法人規程第 7 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 2 月 18 日法人規程第 8 号）

国立大学法人筑波大学附属学校教員の再雇用に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 2 月 18 日法人規程第 9 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 2 月 18 日法人規程第 10 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 2 月 18 日法人規程第 11 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 2 月 18 日法人規程第 12 号）

国立大学法人筑波大学附属学校教員の再雇用に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 2 月 18 日法人規程第 13 号）

利益相反・輸出管理マネジメント室規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 2 月 18 日法人規程第 14 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の採用、昇任、退職等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 15 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の採用、昇任、退職等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 16 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の採用、昇任、退職等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 17 号）

国立大学法人筑波大学本部等職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 18 号）

国立大学法人筑波大学附属病院職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 19 号）

国立大学法人筑波大学附属学校職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 20 号）

国立大学法人筑波大学職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 21 号）

国立大学法人筑波大学職員の手当に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 22 号）

国立大学法人筑波大学におけるハラスメントの防止等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 23 号）

国立大学法人筑波大学宿日直勤務規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 24 号）

国立大学法人筑波大学職員兼業規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 25 号）

国立大学法人筑波大学職員表彰規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 26 号）

国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 27 号）

大学戦略室規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 28 号）

研究戦略室規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 29 号）
情報ガバナンス基盤室規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 30 号）
筑波大学アーカイブズの組織及び運営等に関する規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 31 号）
筑波大学アーカイブズにおける保存、利用等に関する規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 32 号）
筑波大学 50 年史編纂委員会規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 33 号）
国立大学法人筑波大学法人文書の開示の手続きに関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 34 号）
国立大学法人筑波大学法人文書管理規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 35 号）
国立大学法人筑波大学文書処理規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 36 号）
国立大学法人筑波大学公印取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 37 号）
国立大学法人筑波大学保有個人情報の開示等に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 38 号）
評価企画室規程を廃止する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 39 号）
つくば・地域連携推進室規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 40 号）
情報環境機構規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 41 号）
情報システムの非常時行動計画に関する規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 42 号）
情報セキュリティリスク管理室規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 43 号）
全学リスク管理室規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 44 号）
国立大学法人筑波大学防火・防災管理規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 45 号）
環境安全管理室規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 46 号）
国立大学法人筑波大学毒物及び劇物管理規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 47 号）
国立大学法人筑波大学廃棄物管理規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 48 号）
国立大学法人筑波大学危険物管理規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 49 号）
国立大学法人筑波大学財務規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 50 号）
筑波大学学位規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 51 号）
国立大学法人筑波大学受託研究取扱規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 52 号）
国立大学法人筑波大学外部資金臨床研究取扱規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 53 号）
国際産学連携本部規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 54 号）
国立大学法人筑波大学商標取扱規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 55 号）
国立大学法人筑波大学特別プロジェクト研究組織の運営に関する規程を廃止する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 56 号）
研究推進会議規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 57 号）
筑波大学附属図書館規則施行規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 58 号）
筑波大学附属図書館利用規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 59 号）

筑波大学附属図書館研究開発室規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 60 号）
研究戦略イニシアティブ推進機構規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 3 月 24 日法人規程第 61 号）

○法人細則

国立大学法人筑波大学において行う図書館情報大学を卒業又は修了するために必要であった教育課程の履修に関する法人細則を廃止する法人細則（平成 27 年 5 月 7 日法人細則第 13 号）

ライフインノベーション学位プログラムの人材養成目的等に関する法人細則（平成 27 年 5 月 29 日法人細則第 14 号）

国立大学法人筑波大学の分任会計責任者等並びに会計責任者等の補助者の任命に関する取扱いを定める法人細則の一部を改正する法人細則（平成 27 年 6 月 25 日法人細則第 15 号）

国立大学法人筑波大学の財産管理役、財産管理役代理及び財産管理代行者の業務の範囲並びに指定する職位を定める法人細則の一部を改正する法人細則（平成 27 年 6 月 25 日法人細則第 16 号）

学群教育会議に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 27 年 9 月 24 日法人細則第 17 号）

国立大学法人筑波大学の分任会計責任者等並びに会計責任者等の補助者の任命に関する取扱いを定める法人細則の一部を改正する法人細則（平成 27 年 12 月 24 日法人細則第 18 号）

国立大学法人筑波大学大学教員の任用手続等に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 1 月 28 日法人細則第 1 号）

国立大学法人筑波大学財産管理事務取扱細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 2 月 15 日法人細則第 2 号）

国立大学法人筑波大学知的財産権返還契約細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 2 月 18 日法人細則第 3 号）

筑波大学学群入学資格審査細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 3 月 17 日法人細則第 4 号）

筑波大学学群入学者選抜等に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 3 月 17 日法人細則第 5 号）

国立大学法人筑波大学における大学発ベンチャーの支援に関する細則（平成 28 年 3 月 17 日法人細則第 6 号）

国立大学法人筑波大学紫峰会基金細則（平成 28 年 3 月 17 日法人細則第 7 号）

国立大学法人筑波大学留学生後援会基金細則（平成 28 年 3 月 17 日法人細則第 8 号）

コンプライアンス通報細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 3 月 24 日法人細則第 9 号）

国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 3 月 24 日法人細則第 10 号）

国立大学法人筑波大学の会計責任者等の使用する公印に関する法人細則（平成 28 年 3 月 24 日法人細則第 11 号）

国立大学法人筑波大学の分任会計責任者等並びに会計責任者等の補助者の任命に関する取扱いを定める法人細則（平成 28 年 3 月 24 日法人細則第 12 号）

国立大学法人筑波大学の財産管理役、財産管理役代理及び財産管理代行者の業務の範囲並びに指定する職位を定める法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 3 月 24 日法人細則第 13 号）

国立大学法人筑波大学債権管理事務取扱細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 3 月 24 日法人細則第 14 号）

学群教育会議に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 3 月 24 日法人細則第 15 号）

大学院教育会議に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 3 月 24 日法人細則第 16 号）

国立大学法人筑波大学非常勤講師の選考の基準等に関する法人細則の一部を改正する法人細則（平成 28 年 3 月 24 日法人細則第 17 号）

筑波大学センター連絡会に関する法人細則を廃止する法人細則（平成 28 年 3 月 24 日法人細則第 18 号）

○経営協議会規程

国立大学法人筑波大学経営協議会の議事等に関する規程の一部を改正する経営協議会規程（平成 27 年 6 月 25 日経営協議会規程第 1 号）

○教育研究評議会規程

国立大学法人筑波大学教育研究評議会の議事等に関する規程の一部を改正する教育研究評議会規程（平成 27 年 6 月 25 日教育研究評議会規程第 1 号）

国立大学法人筑波大学大学教員の任用手続等に関する規則に基づく教育研究評議会規程の一部を改正する法人規程（平成 28 年 1 月 28 日教育研究評議会規程第 1 号）

○学長告示

国立大学法人筑波大学大学本部等事業場及び東京キャンパス事業場の適用範囲についての一部を改正する学長告示（平成 27 年 4 月 1 日学長告示第 1 号）

国立大学法人筑波大学大学本部等事業場及び東京キャンパス事業場の適用範囲についての一部を改正する学長告示（平成 27 年 6 月 1 日学長告示第 2 号）

○附属病院規程

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成 27 年 4 月 6 日附属病院規程第 2 号）

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成 27 年 5 月 25 日附属病院規程第 3 号）

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成 27 年 6 月 15 日附属病院規程第 4 号）

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成 27 年 6 月 29 日附属病院規程第 5 号）

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成 27 年 7 月 13 日附属病院規程第 6 号）

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成 27 年 8 月 3 日附属病院規程第 7 号）

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成 27 年 9 月 24 日附属病院規程第 8 号）

筑波大学附属病院の組織及び運営に関する規程の一部を改正する附属病院規程（平成 28 年 3 月 14 日附属病院規程第 1 号）

○附属病院細則

筑波大学附属病院副病院長の職務分担等に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 4 月 6 日附属病院細則第 10 号）

筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センターの組織及び運営に関する細則（平成 27 年 3 月 30 日附属病院細則第 11 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 5 月 11 日附属病院細則第 12 号）

つくば臨床医学研究開発機構の組織及び運営に関する細則（平成 27 年 5 月 25 日附属病院細則第 13 号）

筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 5 月 25 日附属病院細則第 14 号）

筑波大学附属病院ヒト幹細胞臨床研究倫理審査委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 5 月 25 日附属病院細則第 15 号）

筑波大学附属病院常置委員会細則を廃止する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 16 号）

筑波大学附属病院第 1 常置（総務）委員会細則を廃止する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 17 号）

筑波大学附属病院第 2 常置（安全管理・質の管理）委員会細則を廃止する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 18 号）

筑波大学附属病院第 3 常置（診療）委員会細則を廃止する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 19 号）

筑波大学附属病院第 4 常置（財務・経営管理）委員会細則を廃止する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 20 号）

筑波大学附属病院第 5 常置（看護・患者サービス）委員会細則を廃止する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 21 号）

筑波大学附属病院第 6 常置（施設管理・広報）委員会細則を廃止する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 22 号）

筑波大学附属病院第 7 常置（地域医療・教育）委員会細則を廃止する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 23 号）

筑波大学附属病院経営戦略室細則を廃止する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 24 号）

筑波大学附属病院病院経営戦略会議細則を廃止する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 25 号）

筑波大学附属病院財務経営委員会細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 26 号）

筑波大学附属病院地域医療調整委員会細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 27 号）

筑波大学附属病院病院会議細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 28 号）

筑波大学附属病院病院連絡会議細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 29 号）

筑波大学附属病院病院利用細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 30 号）

筑波大学附属病院感染対策委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 31 号）

筑波大学附属病院リスクマネジメント委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 32 号）

筑波大学附属病院輸血療法委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 33 号）

筑波大学附属病院研修登録医受入細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 34 号）

筑波大学附属病院奨学金貸与細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 35 号）

筑波大学附属病院診療情報提供細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 36 号）

筑波大学附属病院ハイリスク手術等検討委員会細則（平成 27 年 6 月 15 日附属病院細則第 37 号）

筑波大学附属病院医療機器等導入審査委員会の組織及び運営に関する細則（平成 27 年 6 月 29 日附属病院細則第 38 号）

筑波大学附属病院神栖地域医療教育センターの組織及び運営に関する細則（平成 27 年 6 月 29 日附属病院細則第 39 号）

筑波大学附属病院病院経営協議会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 7 月 13 日附属病院細則第 40 号）

筑波大学特定認定再生医療等委員会運営細則（平成 27 年 7 月 23 日附属病院細則第 41 号）

筑波大学附属病院遺伝診療部の組織及び運営に関する細則（平成 27 年 8 月 3 日附属病院細則第 42 号）

筑波大学附属病院ハイリスク手術検討委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 8 月 31 日附属病院細則第 43 号）

筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会細則（平成 27 年 9 月 14 日附属病院細則第 44 号）

筑波大学附属病院総合臨床教育センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 9 月 14 日附属病院細則第 45 号）

筑波大学附属病院臨床修練運営細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 9 月 14 日附属病院細則第 46 号）

筑波大学附属病院陽子線治療センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 9 月 14 日附属病院細則第 47 号）

筑波大学認定再生医療等委員会運営細則（平成 27 年 9 月 18 日附属病院細則第 48 号）

つくばスポーツ医学・健康科学センターの組織及び運営に関する細則（平成 27 年 9 月 24 日附属病院細則第 49 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 10 月 26 日附属病院細則第 50 号）

筑波大学附属病院病床管理センターの組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 27 年 11 月 9 日附属病院細則第 51 号）

筑波大学附属病院ヒト幹細胞臨床研究倫理審査委員会細則を廃止する附属病院細則（平成 28 年 1 月 4 日附属病院細則第 1 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 1 月 25 日附属病院細則第 2 号）

筑波大学附属病院における医薬品等受託研究取扱細則（平成 28 年 2 月 8 日附属病院細則第 3 号）

筑波大学治験審査委員会細則（平成 28 年 2 月 8 日附属病院細則第 4 号）

筑波大学附属病院臨床研究倫理委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 2 月 8 日附属病院細則第 5 号）

筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 2 月 8 日附属病院細則第 6 号）
つくば臨床医学研究開発機構研究支援業務細則（平成 28 年 3 月 14 日附属病院細則第 7 号）
筑波大学附属病院救急・集中治療部の組織及び運営に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 3 月 14 日附属病院細則第 8 号）
筑波大学附属病院薬剤部部の組織及び業務分掌に関する細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 3 月 14 日附属病院細則第 9 号）
筑波大学附属病院茨城県災害・地域精神医学研究センターの組織及び運営に関する細則（平成 28 年 3 月 14 日附属病院細則第 10 号）
筑波大学附属病院薬事委員会細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 3 月 14 日附属病院細則第 11 号）
筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 3 月 14 日附属病院細則第 12 号）
筑波大学附属病院いばらき治験ネットワーク細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 3 月 28 日附属病院細則第 13 号）
筑波大学附属病院国際医療センターの組織及び運営に関する細則（平成 28 年 3 月 28 日附属病院細則第 14 号）
筑波大学附属病院諸料金細則の一部を改正する附属病院細則（平成 28 年 3 月 28 日附属病院細則第 15 号）

○部局細則

博士課程研究科

数理物質科学研究科

数理物質科学研究科における大学院担当の認定に関する細則の一部を改正する数理物質科学研究科部局細則（平成 27 年 8 月 26 日数理物質科学研究科部局細則第 2 号）

システム情報工学研究科

システム情報工学研究科における課程修了に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 2 日システム情報工学研究科部局細則第 1 号）

システム情報工学研究科における教育課程の編成等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 2 日システム情報工学研究科部局細則第 2 号）

学群

人文・文化学群

人文・文化学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 1 月 21 日人文・文化学群履修細則第 1 号）

人文・文化学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 3 日人文・文化学群履修細則第 2 号）

人文・文化学群運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 28 日人文・文化学群部局細則第 3 号）

人文・文化学群学類教育会議細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 28 日人文・文化学群部局細則第 4 号）

社会・国際学群

社会・国際学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 1 月 13 日社会・国際学群部局細則第 1 号）

社会・国際学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 2 日社会・国際学群部局細則第 2 号）

社会・国際学群運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 28 日社会・国際学群部局細則第 3 号）

社会・国際学群学類教育会議細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 28 日社会・国際学群部局細則第 4 号）

人間学群

人間学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 1 月 6 日人間学群部局細則第 1 号）

生命環境学群

生命環境学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 6 月 25 日生命環境学群部局細則第 1 号）

生命環境学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 12 月 17 日生命環境学群部局細則第 2 号）

情報学群

情報学群運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 5 月 20 日情報学群部局細則第 1 号）

情報学群学類教育会議細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 5 月 20 日情報学群部局細則第 2 号）

図書館情報専門学群の副学群長に関する細則を廃止する情報学群部局細則（平成 27 年 5 月 20 日情報学群部局細則第 3 号）

情報学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 1 月 27 日情報学群部局細則第 1 号）

医学群

医学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 1 月 13 日医学群部局細則第 1 号）

体育専門学群

体育専門学群履修細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 12 月 2 日体育専門学群部局細則第 1 号）

グローバル・コモンズ機構

筑波大学グローバル・コモンズ機構の組織及び運営に関する細則の一部を改正する細則（平成 27 年 4 月 1 日グローバル・コモンズ機構部局細則第 1 号）

国際交流支援部門細則（平成 27 年 4 月 1 日グローバル・コモンズ機構部局細則第 2 号）

系

人文社会系

人文社会系年俸制教員評価実施委員会細則（平成 27 年 5 月 27 日人文社会系部局細則第 2 号）

人文社会系エアリスクマネジメント細則（平成 27 年 7 月 1 日人文社会系部局細則第 3 号）

人文社会系大学教員業績評価に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 7 月 22 日

人文社会系部局細則第4号)

人文社会系運営委員会細則の一部を改正する部局細則(平成28年3月30日人文社会系部局細則第1号)

人文社会系推進室細則の一部を改正する部局細則(平成28年3月30日人文社会系部局細則第2号)

人文社会系長候補者選考細則の一部を改正する部局細則(平成28年3月30日人文社会系部局細則第3号)

ビジネスサイエンス系

ビジネスサイエンス系人事委員会細則の一部を改正する部局細則(平成27年11月18日ビジネスサイエンス系部局細則第8号)

数理物質系

国立大学法人筑波大学数理物質系におけるナノテクノロジープラットフォーム共用施設の利用に関する細則の一部を改正する部局細則(平成27年4月3日数理物質系部局細則第6号)

数理物質系年俸制教員評価実施委員会細則(平成27年5月15日数理物質系部局細則第7号)

数理物質系リスクマネジメント細則(平成27年6月12日数理物質系部局細則第8号)

国立大学法人筑波大学数理物質系におけるナノテクノロジープラットフォーム共用施設の利用に関する細則の一部を改正する部局細則(平成27年7月6日数理物質系部局細則第9号)

システム情報系

システム情報系年俸制教員評価実施委員会細則(平成27年6月10日システム情報系部局細則第4号)

システム情報系人事委員会細則の一部を改正する部局細則(平成27年11月5日システム情報系部局細則第5号)

システム情報系の系長の候補者選考細則の一部を改正する部局細則(平成28年3月2日システム情報系部局細則第1号)

システム情報系危機管理体制細則の一部を改正する部局細則(平成28年3月2日システム情報系部局細則第2号)

システム情報系研究倫理委員会細則の一部を改正する部局細則(平成28年3月2日システム情報系部局細則第3号)

生命環境系

生命環境系における基本年俸表を適用する大学教員業績評価に関する細則(平成27年5月13日生命環境系部局細則第2号)

生命環境系人事委員会細則の一部を改正する部局細則(平成27年9月9日生命環境系部局細則第3号)

人間系

人間系人事委員会細則の一部を改正する部局細則(平成27年11月5日人間系部局細則第3号)

人間系教員会議細則の一部を改正する部局細則(平成27年10月29日人間系部局細則第4号)

人間系の系長の候補者選考細則の一部を改正する部局細則(平成27年10月29日人間系部局細則第5号)

人間系大学教員業績評価の実施に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 10 月 29 日人間系部局細則第 6 号）

人間系に置く域の名称等に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 1 月 27 日人間系部局細則第 1 号）

人間系研究倫理委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 24 日人間系部局細則第 2 号）

医学医療系

医学医療系の系長の候補者選考細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 4 月 22 日医学医療系部局細則第 9 号）

国立大学法人筑波大学次世代医療研究開発・教育統合センター細則を廃止する医学医療系部局細則（平成 27 年 5 月 27 日医学医療系部局細則第 10 号）

医学医療系運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 6 月 24 日医学医療系部局細則第 11 号）

医学医療系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 6 月 24 日医学医療系部局細則第 12 号）

医学医療系大学教員業績評価の実施に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 6 月 24 日医学医療系部局細則第 13 号）

医学地区リスクマネジメント細則（平成 27 年 6 月 24 日医学医療系部局細則第 14 号）

医学医療系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 9 月 30 日医学医療系部局細則第 15 号）

医学医療系ヒトES細胞に関する倫理委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 12 月 25 日医学医療系部局細則第 16 号）

医学医療系運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 2 月 24 日医学医療系部局細則第 1 号）

医学医療系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 30 日医学医療系部局細則第 2 号）

医学医療系大学教員業績評価の実施に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 30 日医学医療系部局細則第 3 号）

図書館情報メディア系

図書館情報メディア系人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 11 月 5 日図書館情報メディア系部局細則第 9 号）

図書館情報メディア系年俸制教員評価実施委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 5 月 20 日図書館情報メディア系部局細則第 10 号）

図書館情報メディア系業績評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 2 月 17 日図書館情報メディア系部局細則第 1 号）

全国共同教育研究施設

下田臨海実験センター

下田臨海実験センター船舶等利用細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 10 月 15 日下田臨海実験センター部局細則第 2 号）

遺伝子実験センター

筑波大学遺伝子実験センター利用細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 1 月 15 日遺伝子実験センター部局細則第 1 号）

学内共同教育研究施設

生命領域学際研究センター

生命領域学際研究センターにおける基本年俸表を適用する大学教員業績評価の実施に係る評価委員会細則（平成 27 年 5 月 11 日生命領域学際研究センター部局細則第 1 号）

生命領域学際研究センター人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 6 月 4 日生命領域学際研究センター部局細則第 2 号）

生命領域学際研究センターにおける基本年俸表を適用する大学教員業績評価の実施に係る評価委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 7 月 6 日生命領域学際研究センター部局細則第 3 号）

生命領域学際研究センター人事委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 10 月 1 日生命領域学際研究センター部局細則第 4 号）

体育センター

体育センター細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 5 月 28 日体育センター部局細則第 1 号）

体育センター体育施設等の使用に関する細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 5 月 28 日体育センター部局細則第 2 号）

北アフリカ研究センター

北アフリカ研究センター細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 9 月 3 日北アフリカ研究センター部局細則第 1 号）

学術情報メディアセンター

国立大学法人筑波大学情報環境学術情報メディアセンター運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 2 月 19 日学術情報メディアセンター部局細則第 1 号）

部局附属教育研究施設

数理物質融合科学センター

国立大学法人筑波大学数理物質融合科学センター細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 12 月 11 日数理物質系部局細則第 10 号）

農林技術センター

農林技術センター細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 10 月 7 日生命環境系部局細則第 4 号）

菅平高原実験センター

菅平高原実験センター細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 1 月 13 日生命環境系部局細則第 1 号）

教育開発国際協力研究センター

教育開発国際協力研究センター細則（平成 27 年 11 月 25 日人間系部局細則第 7 号）

附属図書館

国立大学法人筑波大学附属図書館運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 3 月 3 日附属図書館部局細則第 1 号）

国立大学法人筑波大学附属図書館運営委員会専門委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 3 月 3 日附属図書館部局細則第 2 号）

国立大学法人筑波大学附属図書館利用細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 3 月 3 日附属図書館部局細則第 3 号）

国立大学法人筑波大学附属図書館貴重図書及び準貴重図書の指定及び取扱いに関する細則の一部を改正する部局細則（平成 27 年 3 月 3 日附属図書館部局細則第 4 号）

国立大学法人筑波大学附属図書館運営委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 24 日附属図書館部局細則第 1 号）

国立大学法人筑波大学附属図書館運営委員会専門委員会細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 24 日附属図書館部局細則第 2 号）

筑波大学附属図書館ボランティアに関する細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 24 日附属図書館部局細則第 3 号）

国立大学法人筑波大学附属図書館利用細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 24 日附属図書館部局細則第 4 号）

国立大学法人筑波大学附属図書館貴重図書及び準貴重図書の指定及び取扱いに関する細則の一部を改正する部局細則（平成 28 年 3 月 24 日附属図書館部局細則第 5 号）

国際科学イノベーション研究組織

高細精医療イノベーション研究コア

国立大学法人筑波大学高細精医療イノベーション研究コア細則（平成 27 年 4 月 1 日高細精医療イノベーション研究コア部局細則第 1 号）

開発研究センター

藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター

藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター細則（平成 27 年 8 月 5 日藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター部局細則第 1 号）

(4) 主要行事

入学式	学群(理療科教員養成施設を含む), 大学院	4月6日(月)
	学群(秋学期入学), 大学院(秋学期入学)	9月30日(水)
新入生履修ガイダンス	学群(4月入学)	4月7日(火)
新入生オリエンテーション	学群(4月入学)	4月8日(水)~9日(木)
	大学院	4月6日(月)~4月7日(火)
	私費外国人研究生(4月入学)	4月9日(木)
	国費外国人留学生()	4月9日(木)
	私費外国人研究生(10月入学)	9月29日(火)
	国費外国人留学生()	9月29日(火)
	私費外国人研究生(12月入学)	12月4日(金)
スポーツ・デー	春季	5月16日(土)~5月17日(日)
	秋季	11月14日(土)~11月15日(日)

入学試験等(学群)

・受験生のための筑波大学説明会

人文・文化学群(人文学類, 日本語・日本文化学類), 社会・国際学群(国際総合学類), 生命環境学群(生物学類), 情報学群(情報科学類), 医学群(医学類), 体育専門学群

8月1日(土)

人文・文化学群(比較文化学類), 社会・国際学群(社会学類), 人間学群(教育学類, 心理学類, 障害科学類), 生命環境学群(生物資源学類), 理工学群(工学システム学類), 情報学群(情報メディア創成学類), 医学群(医療科学類), 芸術専門学群

8月2日(日)

生命環境学群(地球学類), 理工学群(数学類, 物理学類, 化学類, 応用理工学類, 社会工学類), 情報学群(知識情報・図書館学類), 医学群(看護学類)

8月8日(土)

・平成27年度帰国生徒特別入試(10月入学)

7月18日(土)

・平成28年度学群編入学試験

7月18日(土), 19日(日)

・平成28年度アドミッションセンター入試

第1次選考合格発表

9月24日(木)

第2次選考

10月5日(月)~19日(月)

・平成28年度国際科学オリンピック特別入試

10月5日(月)~19日(月)

第1次選考合格発表(生物学類のみ)

9月24日(木)

第2次選考()

10月9日(金)

・平成28年度推薦入試

11月26日(木), 27日(金)

第1段階選抜合格発表

[障害科学類(障害者特別入試)のみ]

11月13日(金)

第2段階選抜[]

11月26日(木)

- ・システム情報工学研究科（博士後期課程），生命環境科学研究科（地球進化科学専攻，国際地縁技術開発科学専攻，生物圏資源科学専攻，生物機能科学専攻，生命産業科学専攻，持続環境学専攻，先端農業技術科学専攻，環境科学専攻），人間総合科学研究科（フロンティア医科学専攻）
8月19日（水）
- ・システム情報工学研究科（構造エネルギー工学専攻（博士前期課程）），生命環境科学研究科（地球科学専攻，生物科学専攻（博士前期課程），生物資源科学専攻，環境バイオマス共生学専攻），人間総合科学研究科（感性認知脳科学専攻（博士前期課程），心理専攻）
8月19日（水），20日（木）
- ・システム情報工学研究科（知能機能システム専攻（博士前期課程））
8月19日（水），20日（木），21日（金）
- ・数理物質科学研究科（博士後期課程），システム情報工学研究科（リスク工学専攻（博士前期課程）），生命環境科学研究科（生物科学専攻（博士後期課程）），人間総合科学研究科（感性認知脳科学専攻（博士後期課程））8月20日（木）
- ・システム情報工学研究科（社会工学専攻（博士前期課程），コンピュータサイエンス専攻（博士前期課程））8月20日（木），21日（金）
- ・人間総合科学研究科（生涯発達専攻）8月22日（土），23日（日）
- ・グローバル教育院（ライフイノベーション学位プログラム）8月24日（月）～8月28日（金）
- ・グローバル教育院（ヒューマンバイオロジー学位プログラム），図書館情報メディア研究科（博士前期課程）8月25日（火），26日（水）
- ・図書館情報メディア研究科（博士後期課程）8月26日（水），27日（木）
- ・人間総合科学研究科（スポーツ健康システム・マネジメント専攻）9月5日（土）
- ・ビジネス科学研究科（企業科学専攻）9月6日（日）
- ・ビジネス科学研究科（企業法学専攻）9月13日（日）
- ・人間総合科学研究科（スポーツ国際開発学共同専攻）9月26日（土）
- ・人間総合科学研究科（大学体育スポーツ高度化共同専攻）9月27日（日）
- ・人間総合科学研究科（心理学専攻）内部進学10月14日（水）
- ・人間総合科学研究科（体育学専攻）10月15日（木）
- ・人間総合科学研究科（教育学専攻，障害科学専攻（博士前期課程），芸術専攻（博士前期課程），世界遺産専攻）10月15日（木），16日（金）
- ・人間総合科学研究科（教育基礎学専攻，学校教育学専攻）10月19日（月）
- ・グローバル教育院（エンパワーメント情報学プログラム）10月19日（月）～11月8日（日）
- ・人文社会科学研究科（歴史・人類学専攻，国際公共政策専攻（博士前期課程），国際日本研究専攻（博士後期課程））10月22日（木）
- ・人文社会科学研究科（国際地域研究専攻，現代語・現代文化専攻（博士前期課程），国際日本研究専攻（博士前期課程））10月22日（木），23日（金）
- ・人間総合科学研究科（スポーツウェルネス学位プログラム）11月14日（土）

- ・ビジネス科学研究科（経営システム科学専攻），人間総合科学研究科（生涯発達科学専攻）
 ……………11月21日（土），22日（日）
- ・グローバル教育院（エンパワーメント情報学プログラム）……………12月7日（月）
- ・グローバル教育院（ヒューマンバイオロジー学位プログラム）……………1月21日（木），22日（金）
- ・グローバル教育院（ライフイノベーション学位プログラム）……………1月25日（月），26日（火）
- ・人文社会科学研究所（歴史・人類学専攻，国際公共政策専攻（博士後期課程），国際日本研究専攻（博士後期課程）），生命環境科学研究科（環境科学専攻，持続環境学専攻），人間総合科学研究科（障害科学専攻（博士前期課程），芸術専攻（博士後期課程），世界文化遺産学専攻）
 ……………1月28日（木）
- ・人文社会科学研究所（国際公共政策専攻（博士前期課程）），生命環境科学研究科（国際地縁技術開発科学専攻，生物圏資源科学専攻，生物機能科学専攻，生命産業科学専攻，先端農業技術科学専攻）2次募集……………1月28日（木）
- ・人文社会科学研究所（歴史・人類学専攻）第3年次編入学……………1月28日（木）
- ・人文社会科学研究所（哲学・思想専攻，文芸・言語専攻，現代語・現代文化専攻（博士前期課程），現代語・現代文化専攻（博士後期課程），国際日本研究専攻（博士前期課程）），数理物質科学研究科（電子・物理工学専攻（博士前期課程），物性・分子工学専攻（博士前期課程），物質・材料工学専攻），人間総合科学研究科（心理学専攻）……………1月28日（木），29日（金）
- ・数理物質科学研究科（数学専攻（博士前期課程），物理学専攻（博士前期課程），化学専攻（博士前期課程）），生命環境科学研究科（地球科学専攻，生物資源科学専攻，環境バイオマス共生学専攻），人間総合科学研究科（教育学専攻，心理専攻）2次募集……………1月28日（木），29日（金）
- ・人文社会科学研究所（哲学・思想専攻，文芸・言語専攻），生命環境科学研究科（環境バイオマス共生学専攻）第3年次編入学……………1月28日（木），29日（金）
- ・数理物質科学研究科（数学専攻（博士後期課程），物理学専攻（博士後期課程），電子・物理工学専攻（博士後期課程），物性・分子工学専攻（博士後期課程）），生命環境科学研究科（地球環境科学専攻，地球進化科学専攻，生物科学専攻（博士後期課程）），人間総合科学研究科（障害科学専攻（博士後期課程））……………1月29日（金）
- ・数理物質科学研究科（化学専攻（博士後期課程），ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻（博士後期課程）），生命環境科学研究科（生物科学専攻（博士前期課程））2次募集……………1月29日（金）
- ・システム情報工学研究所（リスク工学専攻（博士前期課程），社会工学専攻（博士後期課程），知能機能システム専攻（博士後期課程），構造エネルギー工学専攻（博士後期課程）），人間総合科学研究科（体育科学専攻，コーチング学専攻），図書館情報メディア研究所（博士前期課程），グローバル教育院（エンパワーメント情報学プログラム）……………2月1日（月）
- ・人間総合科学研究科（生命システム医学専攻，疾患制御医学専攻，看護科学専攻（博士後期課程））2次募集……………2月1日（月）
- ・人間総合科学研究科（感性認知脳科学専攻（博士前期課程），世界遺産専攻）2次募集
 ……………2月1日（月），2日（火）

- ・システム情報工学研究科（社会工学専攻（博士前期課程），コンピュータサイエンス専攻（博士前期課程），知能機能システム専攻（博士前期課程））……………2月1日（月），2日（火）
- ・人間総合科学研究科（フロンティア医科学専攻，感性認知脳科学専攻（博士後期課程），ヒューマン・ケア科学専攻，スポーツ医学専攻）2次募集……………2月2日（火）
- ・システム情報工学研究科（構造エネルギー工学専攻（博士前期課程），リスク工学専攻（博士後期課程），コンピュータサイエンス専攻（博士後期課程）），人間総合科学研究科（教育基礎学専攻），図書館情報メディア研究科（博士後期課程）……………2月2日（火）
- ・ビジネス科学研究科（企業法学専攻，企業科学専攻）2次募集……………2月7日（日）

○平成28年度専門職学位課程入学試験

- ・ビジネス科学研究科（法曹専攻）……………9月13日（日），20日（日），10月18日（日）
- ・ビジネス科学研究科（国際経営プロフェッショナル専攻）……………11月14日（土），15日（日）

永年勤続者（20年）表彰式……………10月 1日（木）

永年勤続者（退職時）表彰式……………3月31日（木）

名誉教授称号授与式……………6月17日（水）

学園祭（雙峰祭）……………11月 6日（金）～11月 8日（日）

卒業式・学位記授与式

学群・大学院（7月期）……………7月24日（金）

学群・大学院（9月期）…………… 9月25日（金）

大学院（11月期）……………11月30日（月）

大学院（3月期）……………3月25日（金）

学群（理療科教員養成施設を含む）……………3月25日（金）

(5) 役員・役職教員名簿

役 職 名	氏 名	任 期
学長	永田 恭介	27. 4. 1～31. 3.31
副学長	伊藤 眞	27. 4. 1～28. 3.31
副学長・理事	三明 康郎	27. 4. 1～28. 3.31
副学長	玉川 信一	27. 4. 1～28. 3.31
副学長・理事	Benton Caroline Fern	27. 4. 1～28. 3.31
〃	吉川 晃	27. 4. 1～28. 3.31
〃	稲垣 敏之	27. 4. 1～28. 3.31
副学長・附属図書館長	中山 伸一	27. 4. 1～28. 3.31
副学長・理事・附属病院長	松村 明	27. 4. 1～28. 3.31
副学長・理事・附属学校教育局教育長	石隈 利紀	27. 4. 1～28. 3.31
理事(非常勤)	住 明正	27. 4. 1～28. 3.31
監事	佐藤 総一郎	26. 4. 1～28. 3.31
〃(非常勤)	井原 宏	26. 4. 1～28. 3.31
大学執行役員(企画評価担当)	徳永 保	27. 4. 1～28. 3.31
大学執行役員	五十嵐 浩也	27. 10. 1～28. 3.31
大学執行役員	遅野井 茂雄	27. 4. 1～28. 3.31
〃	弥永 真生	27. 4. 1～28. 3.31
〃	伊藤 雅英	27. 4. 1～28. 3.31
〃	阿部 豊	27. 4. 1～28. 3.31
〃	松本 宏	27. 4. 1～28. 3.31
〃	茂呂 雄二	27. 4. 1～28. 3.31
〃	中川 昭	27. 4. 1～28. 3.31
〃	山中 敏正	27. 4. 1～28. 3.31
〃	原 晃	27. 4. 1～28. 3.31
〃	松本 紳	27. 4. 1～28. 3.31
学長特別補佐	辻中 豊	27. 4. 1～28. 3.31
学長特別補佐	馬場 忠	27. 4. 1～28. 3.31
学長特別補佐(非常勤)	河野 一郎	27. 4. 1～28. 3.31
学長特別補佐(非常勤)	吉岡 高志	27. 4. 1～28. 3.31
学長補佐室長	池田 潤	27. 4. 1～28. 3.31

役 職 名	氏 名	任 期
-------	-----	-----

(系長)

人文社会系長	遅野井 茂雄	27. 4. 1～30. 3.31
ビジネスサイエンス系長	弥永 真生	27. 4. 1～30. 3.31
数理物質系長	伊藤 雅英	27. 4. 1～30. 3.31
システム情報系長	阿部 豊	27. 4. 1～30. 3.31
生命環境系長	松本 宏	27. 4. 1～30. 3.31
人間系長	茂呂 雄二	27. 4. 1～30. 3.31
体育系長	中川 昭	27. 4. 1～30. 3.31
芸術系長	山中 敏正	27. 4. 1～30. 3.31
医学医療系長	原 晃	27. 4. 1～30. 3.31
図書館情報メディア系長	松本 紳	27. 4. 1～30. 3.31

(博士課程研究科長)

人文社会科学研究科長	山田 博志	27. 4. 1～28. 3.31
ビジネス科学研究科長	西尾 チヅル	26. 4. 1～28. 3.31
数理物質科学研究科長	木越 英夫	26. 4. 1～28. 3.31
システム情報工学研究科長	北川 博之	27. 4. 1～28. 3.31
生命環境科学研究科長	江面 浩	26. 4. 1～28. 3.31
人間総合科学研究科長	金保 安則	26. 4. 1～28. 3.31
図書館情報メディア研究科長	杉本 重雄	26. 4. 1～28. 3.31

(専攻長)

人文社会科学研究科		
哲学・思想専攻長(一貫制)	桑原 直巳	27. 4. 1～29. 3.31
歴史・人類学専攻長(一貫制)	伊藤 純郎	26. 4. 1～28. 3.31
文芸・言語専攻長(一貫制)	宮本 陽一郎	27. 4. 1～29. 3.31
現代語・現代文化専攻長(区分制)	畔上 泰治	27. 4. 1～29. 3.31
国際公共政策専攻長(区分制)	竹中 佳彦	26. 4. 1～28. 3.31
経済学専攻長(区分制)	仲 重人	26. 4. 1～28. 3.31
法学専攻長(区分制)	岡上 雅美	26. 4. 1～28. 3.31
国際地域研究専攻長(前期)	首藤 素子	26. 4. 1～28. 3.31
国際日本研究専攻長(前期)	佐藤 貢悦	27. 4. 1～29. 3.31
国際日本研究専攻長(後期)	佐藤 貢悦	27. 4. 1～29. 3.31
国際政治経済学専攻長(一貫制)	首藤 素子	26. 4. 1～28. 3.31
社会科学専攻長(一貫制)	岡上 雅美	26. 4. 1～28. 3.31
ビジネス科学研究科		
経営システム科学専攻長(前期)	山田 雄二	27. 4. 1～29. 3.31
企業法学専攻長(前期)	大野 雅人	27. 4. 1～29. 3.31
企業科学専攻長(後期)	潮海 久雄	26. 4. 1～28. 3.31
法曹専攻長(専門職学位課程)	大石 和彦	27. 4. 1～29. 3.31

役 職 名	氏 名	任 期
国際経営プロフェッショナル専攻長(専門職学位課程)	大野 忠士	26. 4. 1～28. 3.31
数理物質科学研究科		
数学専攻長(区分制)	坪井 明人	26. 4. 1～28. 3.31
物理学専攻長(区分制)	矢花 一浩	26. 4. 1～28. 3.31
化学専攻長(区分制)	新井 達郎	26. 8. 1～28. 3.31
ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻長(後期)	大塩 寛紀	27. 4. 1～29. 3.31
電子・物理工学専攻長(区分制)	佐々木 正洋	27. 4. 1～29. 3.31
物性・分子工学専攻長(区分制)	日野 健一	27. 4. 1～29. 3.31
物質・材料工学専攻長(3年制博士課程)	迫田 和彰	27. 4. 1～29. 3.31
物質創成先端科学専攻長(区分制)	大塩 寛紀	27. 4. 1～29. 3.31
システム情報工学研究科		
社会工学専攻長(区分制)	谷口 守	27. 4. 1～29. 3.31
リスク工学専攻長(区分制)	鈴木 勉	27. 4. 1～29. 3.31
コンピュータサイエンス専攻長(区分制)	加藤 和彦	27. 4. 1～29. 3.31
知能機能システム専攻長(区分制)	葛岡 英明	26. 4. 1～28. 3.31
構造エネルギー工学専攻長(区分制)	西岡 牧人	27. 4. 1～29. 3.31
社会システム工学専攻長(前期)	谷口 守	27. 4. 1～29. 3.31
経営・政策科学専攻長(前期)	吉瀬 章子	27. 4. 1～29. 3.31
社会システム・マネジメント専攻長(後期)	谷口 守	27. 4. 1～29. 3.31
生命環境科学研究科		
地球科学専攻長(前期)	呉羽 正昭	27. 4. 1～29. 3.31
生物科学専攻長(前期)	中田 和人	26. 4. 1～28. 3.31
生物科学専攻長(後期)	中田 和人	27. 4. 1～29. 3.31
生物資源科学専攻長(前期)	山岡 裕一	26. 4. 1～28. 3.31
環境科学専攻長(前期)	濱 健夫	26. 4. 1～28. 3.31
地球環境科学専攻長(後期)	呉羽 正昭	27. 4. 1～29. 3.31
地球進化科学専攻長(後期)	久田 健一郎	26. 4. 1～28. 3.31
構造生物科学専攻長(後期)	橋本 哲男	26. 4. 1～28. 3.31
情報生物科学専攻長(後期)	中田 和人	26. 4. 1～28. 3.31
環境バイオマス共生学専攻長(一貫制)	鈴木 石根	26. 4. 1～28. 3.31
国際地縁技術開発科学専攻長(後期)	足立 泰久	27. 4. 1～29. 3.31
生物圏資源科学専攻長(後期)	田村 憲司	26. 4. 1～28. 3.31
生物機能科学専攻長(後期)	田中 俊之	26. 4. 1～28. 3.31
生命産業科学専攻長(後期)	中村 幸治	27. 4. 1～29. 3.31
持続環境学専攻長(後期)	辻村 真貴	27. 4. 1～29. 3.31
先端農業技術科学専攻長(3年制博士課程)	西島 隆明	27. 4. 1～29. 3.31
生命共存科学専攻長(一貫制)	鈴木 石根	26. 4. 1～28. 3.31
人間総合科学研究科		
スポーツ健康システム・マネジメント専攻長(修士)	菊 幸一	26. 4. 1～28. 3.31
フロンティア医科学専攻長(修士)	久武 幸司	26. 4. 1～28. 3.31

役 職 名	氏 名	任 期
教育学専攻長(前期)	清水 美憲	26. 4. 1～28. 3.31
教育基礎学専攻長(後期)	濱田 博文	26. 4. 1～28. 3.31
学校教育学専攻長(後期)	清水 美憲	26. 4. 1～28. 3.31
心理専攻長(前期)	原田 悦子	27. 4. 1～29. 3.31
心理学専攻長(後期)	原田 悦子	27. 4. 1～29. 3.31
障害科学専攻長(前期)	野呂 文行	26. 4. 1～28. 3.31
障害科学専攻長(後期)	園山 繁樹	26. 4. 1～28. 3.31
生涯発達専攻長(前期)	藤生 英行	26. 4. 1～28. 3.31
生涯発達科学専攻長(後期)	廣田 栄子	26. 4. 1～28. 3.31
ヒューマン・ケア科学専攻長 (3年制博士課程)	庄司 一子	27. 4. 1～29. 3.31
感性認知脳科学専攻長(区分制)	小川 園子	26. 4. 1～28. 3.31
スポーツ医学専攻長(3年制博士課程)	宮川 俊平	26. 4. 1～28. 3.31
生命システム医学専攻長(一貫制・医学4年)	加藤 光保	26. 4. 1～28. 3.31
疾患制御医学専攻長(一貫制・医学4年)	千葉 滋	26. 4. 1～28. 3.31
看護科学専攻長(前期)	水野 道代	27. 4. 1～28. 3.31
看護科学専攻長(後期)	水野 道代	26. 4. 1～28. 3.31
体育学専攻長(前期)	清水 諭	26. 4. 1～28. 3.31
体育科学専攻長(後期)	征矢 英昭	26. 4. 1～28. 3.31
コーチング学専攻長(3年制博士課程)	浅井 武	26. 4. 1～28. 3.31
芸術専攻長(前期)	藤田 志朗	26. 4. 1～28. 3.31
芸術専攻長(後期)	守屋 正彦	27. 4. 1～29. 3.31
世界遺産専攻長(前期)	稲葉 信子	26. 4. 1～28. 3.31
世界文化遺産学専攻長(後期)	稲葉 信子	26. 4. 1～28. 3.31
図書館情報メディア研究科		
図書館情報メディア専攻長(区分制)	逸村 裕	26. 4. 1～28. 3.31

(修士課程研究科長)

教育研究科長	窪田 眞二	26. 4. 1～28. 3.31
--------	-------	-------------------

(学位プログラムリーダー)

ヒューマンバイオロジー学位プログラムリーダー	澁谷 彰	26. 4. 1～28. 3.31
エンパワメント情報学プログラムリーダー	岩田 洋夫	26. 4. 1～28. 3.31
サービス工学学位プログラムリーダー	吉瀬 章子	27. 4. 1～29. 3.31
ライフイノベーション学位プログラムリーダー	礪田 博子	27. 4. 1～29. 3.31

(学群長)

人文・文化学群長	古家 信平	27. 4. 1～28. 3.31
社会・国際学群長	篠塚 友一	26. 4. 1～28. 3.31
人間学群長	安藤 隆男	26. 4. 1～28. 3.31
生命環境学群長	丸山 幸夫	26. 4. 1～28. 3.31

役 職 名	氏 名	任 期
理工学群長	宮本 雅彦	26. 4. 1～28. 3.31
情報学群長	西川 博昭	26. 4. 1～28. 3.31
医学群長	原 晃	26. 4. 1～28. 3.31
体育専門学群長	真田 久	26. 4. 1～28. 3.31
芸術専門学群長	中村 伸夫	26. 4. 1～28. 3.31
医学専門学群長	原 晃	26. 4. 1～28. 3.31

(副学群長)

理工学群副学群長	糸井川 栄一	26. 4. 1～28. 3.31
----------	--------	-------------------

(学類長)

人文・文化学群		
人文学類長	大倉 浩	26. 4. 1～28. 3.31
比較文化学類長	青柳 悦子	26. 4. 1～28. 3.31
日本語・日本文化学類長	竹沢 幸一	26. 4. 1～28. 3.31
社会・国際学群		
社会学類長	根本 信義	26. 4. 1～28. 3.31
国際総合学類長	関根 久雄	26. 4. 1～28. 3.31
人間学群		
教育学類長	吉田 武男	26. 4. 1～28. 3.31
心理学類長	綾部 早穂	27. 4. 1～28. 3.31
障害科学類長	大六 一志	26. 4. 1～28. 3.31
生命環境学群		
生物学類長	千葉 智樹	26. 4. 1～28. 3.31
生物資源学類長	繁森 英幸	26. 4. 1～28. 3.31
地球学類長	荒川 洋二	26. 4. 1～28. 3.31
理工学群		
数学類長	森田 純	26. 4. 1～28. 3.31
物理学類長	都倉 康弘	26. 4. 1～28. 3.31
化学類長	鍋島 達弥	26. 4. 1～28. 3.31
応用理工学類長	神原 貴樹	26. 4. 1～28. 3.31
工学システム学類長	坪内 孝司	26. 4. 1～28. 3.31
社会工学類長	張 勇兵	26. 4. 1～28. 3.31
情報学群		
情報科学類長	櫻井 鉄也	26. 4. 1～28. 3.31
情報メディア創成学類長	平賀 譲	26. 4. 1～28. 3.31
知識情報・図書館学類長	長谷川 秀彦	26. 4. 1～28. 3.31
医学群		
医学類長	梶 正幸	26. 4. 1～28. 3.31
看護学類長	川口 孝泰	26. 4. 1～28. 3.31

役 職 名	氏 名	任 期
-------	-----	-----

医療科学類長	二宮 治彦	26. 4. 1～28. 3.31
医学専門学群 医学類長	梶 正幸	26. 4. 1～28. 3.31

(グローバル教育院)

グローバル教育院長	伊藤 眞	27. 4. 1～28. 3.31
-----------	------	-------------------

(グローバル・コモンズ機構)

グローバル・コモンズ機構長	Benton Caroline Fern	27. 4. 1～28. 3.31
---------------	----------------------	-------------------

(国際統合睡眠医科学研究機構)

国際統合睡眠医科学研究機構長	柳沢 正史	24.12. 1～
----------------	-------	-----------

(全国共同教育研究施設の長)

計算科学研究センター長	梅村 雅之	27. 4. 1～29. 3.31
下田臨海実験センター長	稲葉 一男	26. 4. 1～28. 3.31
遺伝子実験センター長	渡邊 和男	26. 4. 1～28. 3.31
プラズマ研究センター長	中嶋 洋輔	27. 4. 1～29. 3.31

(学内共同教育研究施設の長)

生命領域学際研究センター長	浅島 誠	27. 4. 1～28. 3.31
グローバルコミュニケーション教育センター長	濱名 恵美	27. 4. 1～28. 3.31
体育センター長	山田 幸雄	27. 4. 1～29. 3.31
アドミッションセンター長	島田 康行	26. 4. 1～28. 3.31
北アフリカ研究センター長	青木 三郎	27.10. 1～29. 3.31
学術情報メディアセンター長	和田 耕一	26. 4. 1～28. 3.31
研究基盤総合センター長	新井 達郎	27. 4. 1～29. 3.31
サイバニクス研究センター長	山海 嘉之	26. 4. 1～28. 3.31
アイソトープ環境動態研究センター長	恩田 裕一	27. 4. 1～29. 3.31
保健管理センター所長	久賀 圭祐	26. 4. 1～28. 3.31

(部局附属教育研究施設の長)

大学研究センター長	徳永 保	27. 4. 1～29. 3.31
学際物質科学研究センター長	鍋島 達弥	27. 4. 1～29. 3.31
農林技術センター長	戒能 洋一	27. 4. 1～29. 3.31
菅平高原実験センター長	石田 健一郎	27. 4. 1～28. 3.31
教育開発国際協力研究センター長	佐藤 眞理子	26. 4. 1～28. 3.31
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター長	中川 昭	27. 7. 1～29. 3.31
生命科学動物資源センター長	杉山 文博	27. 4. 1～29. 3.31
つくば臨床医学研究開発機構長	荒川 義弘	27. 6. 1～29. 3.31

役 職 名	氏 名	任 期
-------	-----	-----

つくばスポーツ医学・健康科学センター長	山崎 正志	27.10. 1～29. 3.31
知的コミュニティ基盤研究センター長	綿拔 豊昭	26. 4. 1～28. 3.31
陽子線医学利用研究センター長	坪井 康次	26.10. 1～28. 3.31
特別支援教育研究センター長	宮本 信也	27. 4. 1～29. 3.31

(理療科教員養成施設長)

理療科教員養成施設長	宮本 俊和	26. 4. 1～28. 3.31
------------	-------	-------------------

(附属学校長)

附属小学校長	片平 克弘	26. 4. 1～29. 3.31
附属中学校長	野津 有司	27. 4. 1～29. 3.31
附属駒場中学校長	林 久喜	26. 4. 1～29. 3.31
附属高等学校長	大川 一郎	26. 4. 1～29. 3.31
附属駒場高等学校長	林 久喜	26. 4. 1～29. 3.31
附属坂戸高等学校長	加藤 衛拡	26. 4. 1～29. 3.31
附属視覚特別支援学校長	澤田 晋	26. 4. 1～29. 3.31
附属聴覚特別支援学校長	原島 恒夫	26. 4. 1～29. 3.31
附属大塚特別支援学校長	柘植 雅義	26. 4. 1～29. 3.31
附属桐が丘特別支援学校長	川間 健之介	26. 4. 1～29. 3.31
附属久里浜特別支援学校長	下山 直人	26. 4. 1～29. 3.31

(6) 役員・教職員数

ア 役員・教職員数総表

平成28年3月1日現在

職名	学長	理事・ 監事	副学長・ 図書館長	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	大学教 員計	研究員等	附属学校 教員	事務・ 技術・ 医療職員	合計
学長	1									1				1
理事・監事		9								9				9
副学長（理事でない）			3							3				3
本部（教員）				14	9		9			32				32
調整官										0				0
監査室										0			3	3
企画室										0			13	13
広報室										0			8	8
総務部										0			109	109
連携・渉外室										0			6	6
財務部										0			50	50
施設部										0			48	48
国際室										0			18	18
教育推進部										0			66	66
学生部										0			56	56
研究推進部										0			83	83
産学連携部										0			45	45
人文社会系				101	98	4	45			248	5			253
人文社会エリア支援室										0			33	33
ビジネスサイエンス系				31	24	1	1		1	58				58
社会人大学院等支援室										0			19	19
数理物質系				78	73	36	52		1	240	16			256
数理物質エリア支援室										0			39	39
数理物質科学等技術室										0			10	10
システム情報系				85	75	9	54			223	9			232
システム情報エリア支援室										0			49	49
システム情報工学等技術室										0			17	17
生命環境系				90	79	20	78		6	273	25			298
生命環境エリア支援室										0			49	49
生命環境科学等技術室										0			19	19
人間系				58	33	5	16		9	121	3			124
人間エリア支援室										0			16	16
体育系				53	42	2	22		18	137	11			148
芸術系				30	21		12			63	6			69
体育芸術エリア支援室										0			46	46
医学医療系				114	99	173	82	1	3	472	12			484
医学医療エリア支援室										0			74	74
医学系技術室										0			40	40
図書館情報メディア系				25	22	5	12		1	65				65
図書館情報エリア支援室										0			22	22
利益相反・輸出管理マネジメント室										0			2	2
スポーツResearch&Developmentコア										0	18			18
サイバニクス研究センター										0	1			1
グローバル・コモンズ機構										0			10	10
国際統合睡眠医科学研究機構				6	8		8			22	17		20	59
農林技術センター技術室										0			21	21
研究基盤総合センター技術室										0			13	13
計算科学研究センター				1	2		6			9	19			28
下田臨海実験センター										0	1			1
生命領域学際研究センター				3			6			9	5			14
グローバルコミュニケーション教育センター										0	2			2
北アフリカ研究センター										0	4			4
アイソトープ環境動態研究センター										0	3		7	10
薬類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター										0	9			9
附属図書館										0			60	60
附属病院										0			1150	1150
病院総務部										0			150	150
附属学校教育局										0	1		65	66
附属学校										0		525		525
合計	1	9	3	689	585	255	403	1	39	1985	167	525	2436	5113

イ 役員数

学長	1
理事	7
監事	2

ウ 大学教員異動状況

採用

	大学	研究所	企業	その他	総計
教授	10	2	6	5	23
准教授	20	6		6	32
講師	4	1		3	8
助教	44	11	2	23	80
特任助教	7	1	2	7	17
総計	85	21	10	44	160

退職

	大学	研究所	企業	定年	その他	総計
教授	7	1		29	8	45
准教授	15		1	2	18	36
講師	4			1	14	19
助教	25	5	2		21	53
特任助教	11	1	1		1	14
総計	62	7	4	32	62	167

(7) 予算決算

ア 貸借対照表

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部

I 固定資産

1 有形固定資産

土地		248,512,830
建物	149,017,095	
建物減価償却累計額	△58,163,524	
建物減損損失累計額	△624,120	90,229,452
構築物	10,904,599	
構築物減価償却累計額	△5,733,366	
構築物減損損失累計額	△15,747	5,155,486
機械装置	107,191	
機械装置減価償却累計額	△83,887	23,304
工具器具備品	55,387,281	
工具器具備品減価償却累計額	△41,301,500	14,085,781
図書		10,090,918
美術品・收藏品		901,104
船舶	258,066	
船舶減価償却累計額	△95,565	162,501
車両運搬具	135,229	
車両運搬具減価償却累計額	△118,016	17,213
建設仮勘定		1,724,004
その他の有形固定資産	9,692	
その他の有形固定資産減価償却累計額	△966	8,725
有形固定資産合計		370,911,318

2 無形固定資産

商標権		1,537
特許権		198,397
借地権		235,000
電気施設利用権		30,914
ソフトウェア		220,116
電話加入権		8,549
特許権仮勘定		219,223
その他の仮勘定		432
その他の無形固定資産		23,788
無形固定資産合計		937,955

3 投資その他の資産

投資有価証券		2,701,227
破産債権、再生債権、更生債権その他これらに準ずる債権	20,198	
貸倒引当金	△20,198	—
長期未収附属病院収入	117,898	
徴収不能引当金	△117,898	—
その他の投資等		2,154
投資その他の資産合計		2,703,381
固定資産合計		374,552,654

II 流動資産

現金及び預金		12,792,249
未収学生納付金収入		123,321
未収附属病院収入	5,018,074	
徴収不能引当金	△20,510	4,997,564
未収金		1,031,410
有価証券		499,942
たな卸資産		54,944
医薬品及び診療材料		153,467
前渡金		3,824
前払費用		26,216
未収収益		8,575
未収消費税等		132,698
その他の流動資産		18,104
流動資産合計		19,842,312
資産合計		394,394,967

負債の部

I 固定負債

資産見返負債		
資産見返運営費交付金等	12,305,221	
資産見返補助金等	4,123,849	
資産見返寄附金	2,632,975	
資産見返物品受贈額	8,497,216	
建設仮勘定見返運営費交付金	200,874	
建設仮勘定見返施設費	995,260	
建設仮勘定見返補助金	248,278	29,003,673
長期寄附金債務		192,000
国立大学財務・経営センター債務負担金		1,114,995
長期借入金		14,100,694
長期リース債務		1,628,362
長期PFI債務		23,132,799
退職給付引当金		472,713
資産除去債務		240,539
その他の固定負債		262,866
固定負債合計		<u>70,148,642</u>

II 流動負債

預り補助金等		9,258	
寄附金債務		3,911,954	
前受受託研究費等		1,311,436	
前受受託事業費等		115,960	
前受金		98,473	
預り科学研究費補助金等		535,977	
預り金		755,275	
一年以内返済予定国立大学財務・経営センター債務負担金		375,297	
一年以内返済予定長期借入金		4,012,523	
リース債務		1,052,060	
PFI債務		1,851,093	
未払金		9,812,978	
未払費用		328,959	
引当金			
賞与引当金	543,467		
環境対策引当金	162,177	705,644	
流動負債合計			<u>24,876,887</u>
負債合計			<u>95,025,529</u>

純資産の部

I 資本金

政府出資金		232,358,303	
資本金合計			<u>232,358,303</u>

II 資本剰余金

資本剰余金		117,822,630	
損益外減価償却累計額(△)		△53,044,509	
損益外減損損失累計額(△)		△617,213	
損益外利息費用累計額(△)		△20,033	
資本剰余金合計			<u>64,140,876</u>

III 利益剰余金

前中期目標期間繰越積立金		1,902,174	
積立金		994,698	
当期未処理損失(△)		△26,612	
(うち当期総損失(△))		△26,612)	
利益剰余金合計			<u>2,870,259</u>
純資産合計			<u>299,369,438</u>
負債純資産合計			<u>394,394,967</u>

イ 損益計算書

損益計算書
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:千円)

経常費用			
業務費			
教育経費		6,561,138	
研究経費		7,523,696	
診療経費			
材料費	10,459,023		
委託費	3,642,076		
設備関係費	4,931,659		
研修費	112		
経費	998,952	20,031,821	
教育研究支援経費		2,357,079	
受託研究費等		5,059,136	
受託事業費等		1,208,829	
役員人件費		167,886	
教員人件費			
常勤教員給与	26,923,439		
非常勤教員給与	675,872	27,599,311	
職員人件費			
常勤職員給与	16,579,097		
非常勤職員給与	3,406,947	19,986,045	90,494,941
一般管理費			2,640,111
財務費用			
支払利息		797,289	
為替差損		4,865	802,154
雑損			84,319
			<u>94,021,524</u>
経常費用合計			
経常収益			
運営費交付金収益		37,108,148	
授業料収益		6,867,238	
入学金収益		1,373,512	
検定料収益		306,652	
附属病院収益		29,409,565	
受託研究等収益			
国又は地方公共団体	1,765,378		
その他	3,968,722	5,734,100	
受託事業等収益			
国又は地方公共団体	790,485		
その他	490,192	1,280,677	
施設費収益		354,738	
補助金等収益		2,778,976	
寄附金収益		2,036,421	
資産見返負債戻入			
資産見返運営費交付金等戻入	1,993,582		
資産見返補助金等戻入	1,308,146		
資産見返寄附金戻入	578,433		
資産見返物品受贈額戻入	8,106	3,888,268	
財務収益			
受取利息	20,751		
有価証券利息	27,681	48,432	

雑益			
公開講座収入	13,316		
財産貸付料収入	239,626		
学生寄宿舍収入	322,161		
職員宿舍料収入	195,726		
文献複写料収入	5,514		
研究関連収入	921,023		
その他の雑益	847,704	2,545,069	
經常収益合計			93,731,796
經常損失(△)			△289,728
臨時損失			
固定資産除却損		28,736	
減損損失		394	
その他の臨時損失		166,201	195,332
臨時利益			
運営費交付金収益		434,740	
資産見返運営費交付金等戻入		12,297	
資産見返寄附金戻入		11,113	
資産見返物品受贈額戻入		266	
資産見返補助金戻入		31	458,448
当期純損失(△)			△26,612
当期総損失(△)			△26,612

ウ 決算報告書

平成27事業年度 決算報告書

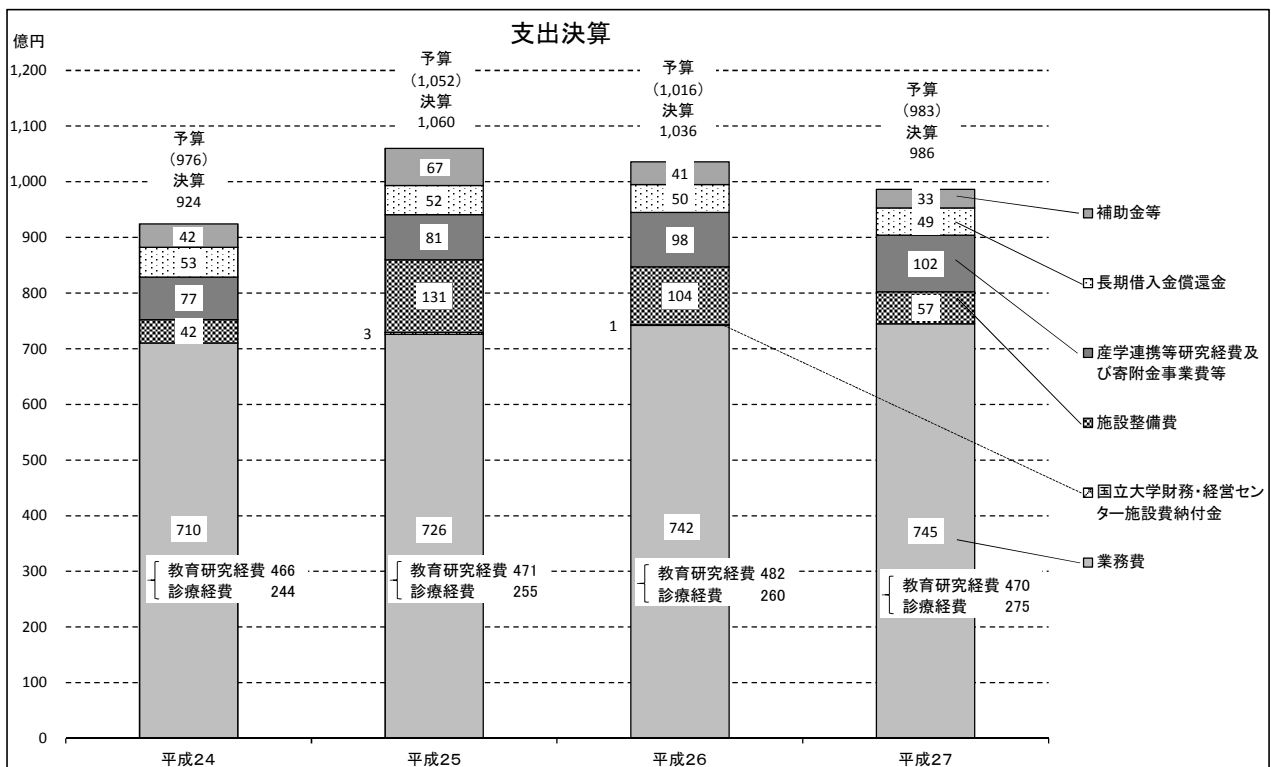
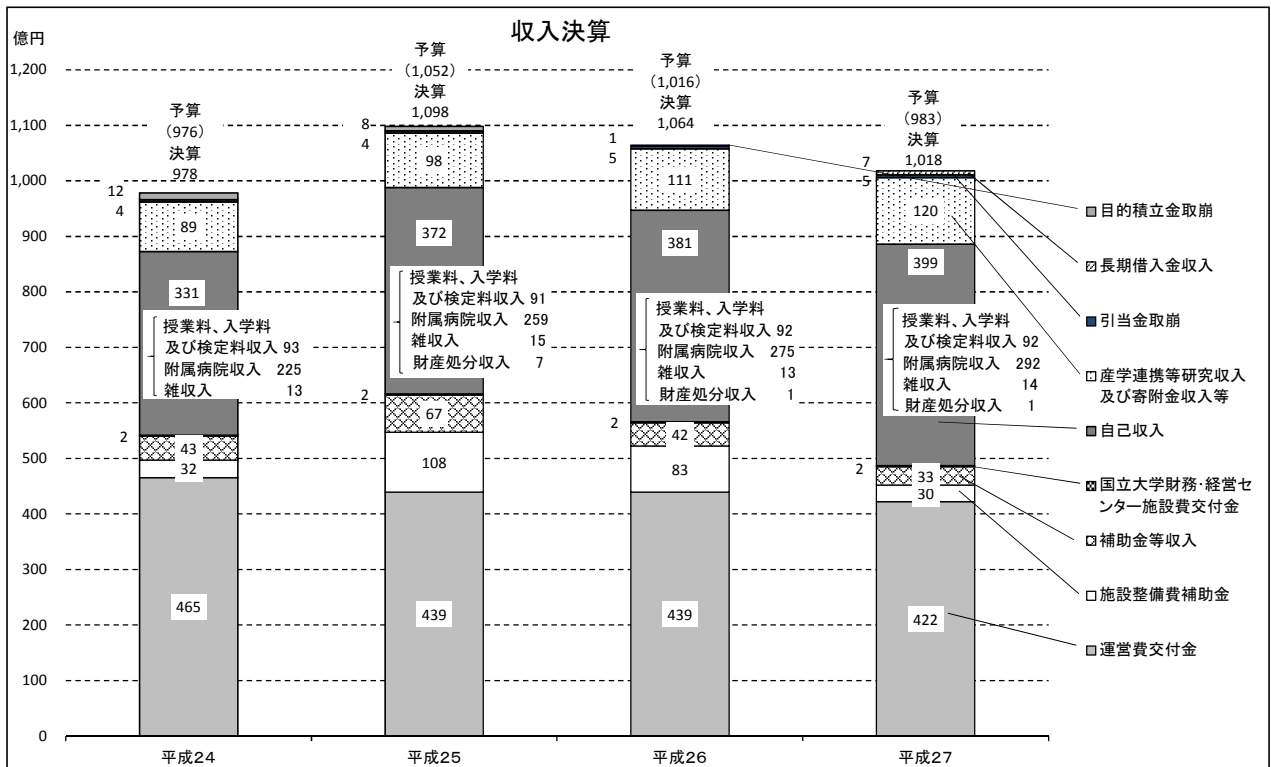
国立大学法人筑波大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	41,218	42,183	965	(注1)
施設整備費補助金	4,072	2,952	△ 1,120	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	3,111	3,284	173	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	175	175	0	
自己収入	39,865	39,958	94	
授業料、入学料及び検定料収入	9,420	9,226	△ 194	(注4)
附属病院収入	29,076	29,279	203	(注5)
財産処分収入	5	5	0	
雑収入	1,364	1,449	85	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	8,522	12,015	3,493	(注7)
引当金取崩	549	540	△ 9	(注8)
長期借入金収入	743	735	△ 8	(注9)
貸付回収金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	98,255	101,841	3,586	
支 出				
業務費	74,894	74,467	△ 427	(注10)
教育研究経費	46,954	46,987	34	
診療経費	27,940	27,479	△ 461	
施設整備費	6,865	5,737	△ 1,128	(注11)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	3,111	3,284	173	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	8,522	10,236	1,714	(注13)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	4,863	4,862	△ 1	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	98,255	98,585	331	
収入－支出	0	3,256	3,256	

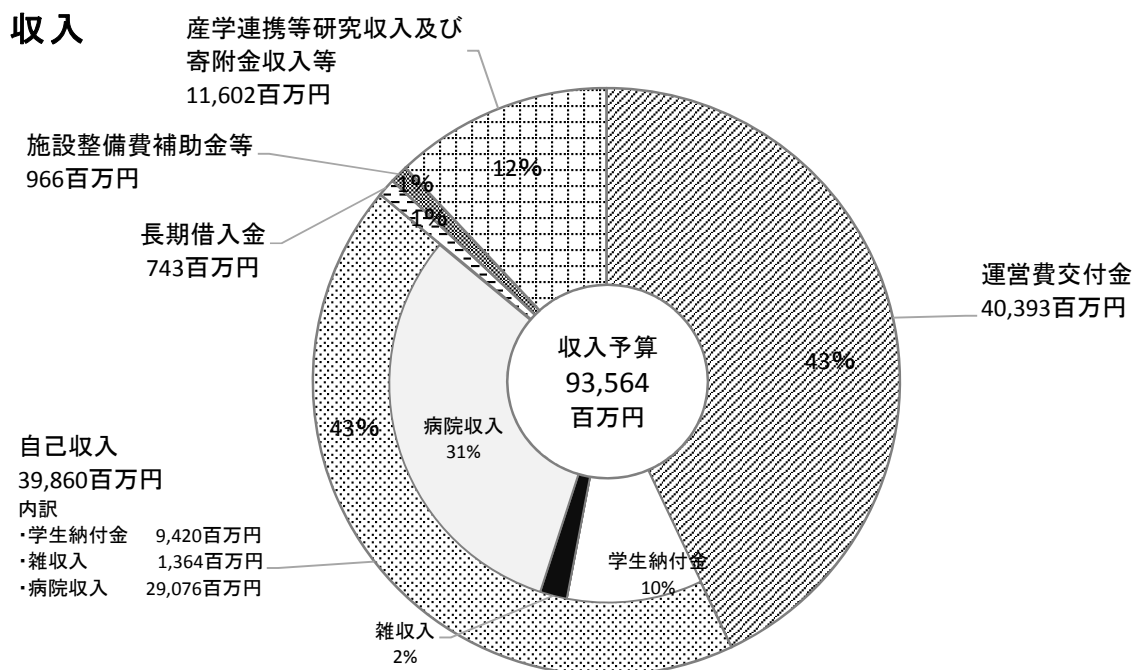
- (注1) 運営費交付金については、追加配分による増加などの要因により、予算額に比して決算額が965百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、耐震対策事業が未完成となったため、予算額に比して決算額が1,120百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が173百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料免除額の拡充により、予算額に比して決算額が194百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、高度急性期医療の展開により、予算額に比して決算額が203百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、財産貸付料収入及び消費税還付金収入などの増加により、予算額に比して決算額が85百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的に資金の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が3,493百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、退職者が減少したため、予算額に比して決算額が9百万円少額となっています。
- (注9) 長期借入金収入については、予算段階では予定していなかった借入不用額が生じたため、予算額に比して決算額が8百万円少額となっています。
- (注10) 業務費については、(注6)に示した理由などにより教育研究経費の決算額が増加した一方、診療経費の節減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が427百万円少額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が1,128百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が173百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由を主な要因として、予算額に比して決算額が1,714百万円多額となっています。

工 収入支出概況

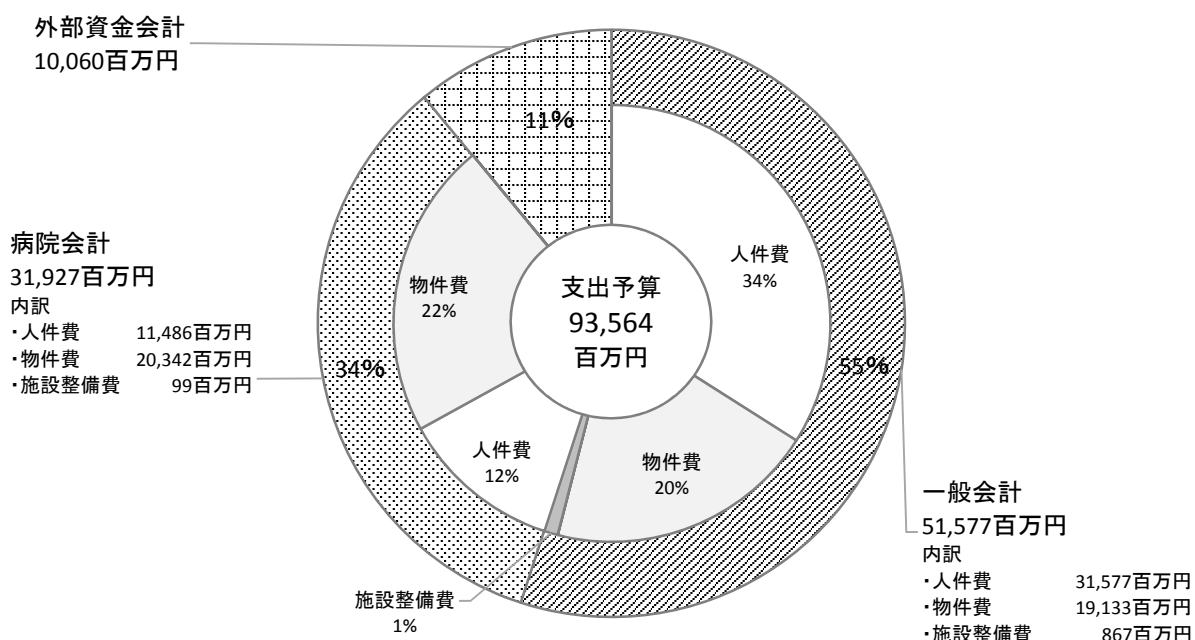


才 平成27年度予算構成図(当初配分予算)

収入



支出



(注) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等の外部資金会計における収入と支出の1%の差異は、支出予算において間接経費を一般会計に繰り入れているため生じたものである。

2 教育

(1) 学年暦

平成27年度 学年暦

事 項	学 群	大 学 院 【 】は 東京キャンパス
春学期（4月1日～9月30日）		
学年開始	4月 1日（水）	4月 1日（水）
春季休業	4月 1日（水）～ 4月 5日（日）	4月 1日（水）～ 4月 5日（日） 【 4月 1日（水）～ 4月 6日（月）】
入学式	4月 6日（月）	4月 6日（月） 【 4月 4日（土）】
新入生履修ガイダンス	4月 7日（火）	
新入生オリエンテーション	4月 8日（水）～ 4月 9日（木）	4月 6日（月）～ 4月 7日（火） 【 4月 4日（土）】
春学期授業開始	4月10日（金）	4月 8日（水） 【 4月 7日（火）】
春季スポーツ・デー	5月16日（土）～ 5月17日（日）	5月16日（土）～ 5月17日（日）
春A Bモジュール期末試験	6月25日（木）～ 7月 1日（水）	6月25日（木）～ 7月 1日（水）
春A B Cモジュール期末試験	7月31日（金）～ 8月 6日（木）	7月31日（金）～ 8月 6日（木） 【 7月23日（木）～ 7月25日（土） 7月28日（火）、8月 5日（水）】
春学期授業終了	8月 6日（木）	8月 6日（木） 【 7月29日（水）】
期末試験予備日	8月 7日（金）	8月 7日（金） 【 7月30日（木）～ 8月 1日（土）】
夏季休業	8月 8日（土）～ 9月30日（水）	8月 8日（土）～ 9月30日（水） 【 8月 6日（木）～ 9月30日（水）】
卒業式	9月25日（金）	
大学院学位記授与式		9月25日（金）
秋学期（10月1日～3月31日）		
秋学期入学式	9月30日（水）	9月30日（水）
秋学期授業開始	10月 1日（木）	10月 1日（木）
★1 開学記念日	10月 1日（木）	10月 1日（木）
筑波キャンパス電気設備点検（全学停電）	10月24日（土）～ 10月25日（日）	10月24日（土）～ 10月25日（日）
★2 学園祭	11月 6日（金）～ 11月 8日（日）	11月 6日（金）～ 11月 8日（日）
秋季スポーツ・デー	11月14日（土）～ 11月15日（日）	11月14日（土）～ 11月15日（日）
秋A Bモジュール期末試験	12月22日（火）～ 12月28日（月） <small>（ただし12月23日の休日に当たる期末試験は12月16日に繰り上げて行う）</small>	12月22日（火）～ 12月28日（月） <small>（ただし12月23日の休日に当たる期末試験は12月16日に繰り上げて行う）</small>
冬季休業	12月29日（火）～ 1月 6日（水）	12月29日（火）～ 1月 6日（水） 【12月27日（日）～ 1月 4日（月）】
秋A B Cモジュール期末試験	2月10日（水）～ 2月16日（火） <small>（ただし2月11日の休日に当たる期末試験は2月4日に繰り上げて行う）</small>	2月10日（水）～ 2月16日（火） <small>（ただし2月11日の休日に当たる期末試験は2月4日に繰り上げて行う）</small> 【 1月21日（木）～ 1月22日（金） 1月30日（土）～ 2月 3日（水）】
期末試験予備日	2月17日（水）	2月17日（水） 【 1月28日（木）～ 1月29日（金）、2月 6日（土）】
秋学期授業終了	2月16日（火）	2月16日（火） 【 1月27日（水）】
春季休業	2月18日（木）～ 3月31日（木）	2月18日（木）～ 3月31日（木） 【 2月 7日（日）～ 3月31日（木）】
卒業式	3月25日（金）	
大学院学位記授与式		3月25日（金） 【 3月26日（土）】
学年終了	3月31日（木）	3月31日（木） 【 3月31日（木）】

（備考）

- ★1 10月1日（木）の開学記念日は、休講とせずに授業を実施する。
- ★2 学園祭の実施に伴い、11月6日（金）及び11月9日（月）の授業は臨時休講とする。（東京キャンパスを除く）
- 3 定期健康診断の日程については、別に定め、実施時間に当たる学群・学類の当該年次及び研究科の授業は、臨時休講とする。（東京キャンパスを除く）
- 4 授業日数確保のため、下記のとおり曜日を振替えて授業を実施する。（東京キャンパスを除く）
5月8日は振替え授業日とし、水曜日の授業を実施する。7月23日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
10月15日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。1月19日は振替え授業日とし、月曜日の授業を実施する。
- 5 学群の入学者選抜の実施に伴う臨時休業は、準備及び後片付けに要する時間を含め、別に定める。（東京キャンパスを除く）
- 6 医学類に係る卒業日は平成28年3月10日とし、卒業式は上記日程に従って実施する。
- 7 平成24年度以前に8月又は12月に入学した者で標準修業年限で卒業・修了する者に係る卒業日・修了日は、それぞれ7月25日、11月30日とする。
- ※ 学期（学期の区分）は、春学期と秋学期の2学期とし、5週単位の6つ（春A、春B、春C、秋A、秋B、秋C）のモジュールで構成する。

(2) 学生数

ア 学群

(ア) 新組織

(平成28年3月1日現在)

学群・学類	人文・文化学群				社会・国際学群			人間学群				生命環境学群				理工学群						情報学群				医学群				体育 専門 学群	芸術 専門 学群	合計	総合計 (新組織+ 旧組織)		
	人文	比文	日・日	計	社会	国際	計	教育	心理	障害	計	生物	資源	地球	計	数学	物理	化学	応理	工シ	社工	計	情報	創成	知識	計	医学	看護	医療	計					
入学定員(1年次)	120	80	40	240	80	80	160	35	50	35	120	80	120	50	250	40	60	50	120	130	120	520	80	50	100	230	127	70	37	234	240	100	2,094	2,094	
入学定員(編入学)※				0	10		10				0		10		10				10				10	10	10	30	5	10	3	18			78	78	
取容定員	480	320	160	960	340	320	660	140	200	140	480	320	500	200	1,020	160	240	200	500	520	480	2,100	340	220	420	980	708	300	154	1,162	960	400	8,722	8,722	
学生数 (女子)	52	86	46	254	90	96	186	35	53	38	126	95	145	58	298	41	62	54	129	137	123	546	85	52	109	246	128	70	42	240	254	107	2,257	2,257	
一般学生 (女子)	122	84	44	250	80	91	171	35	50	38	123	84	125	52	261	41	61	52	120	131	121	526	82	51	108	241	124	70	41	235	253	107	2,167	2,167	
外国人学生 (女子)	52	50	30	132	34	52	86	14	31	28	73	37	67	13	117	4	6	13	14	12	25	74	6	15	58	79	48	70	25	143	86	83	873	873	
外国人留學生 (女子)	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	5	3	0	10	1	0	1	2	4	0	0	4	0	0	19	19	
外国人留學生 (女子)	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	6	6	
外国人留學生 (女子)	0	1	0	1	4	3	7	0	3	0	3	5	13	2	20	0	0	1	4	3	2	10	2	1	0	3	0	0	1	1	1	1	71	71	
学生数 (女子)	130	85	46	261	96	94	190	39	53	38	130	98	134	57	289	39	64	52	124	142	125	546	90	54	105	249	126	72	37	235	252	111	2,263	2,263	
一般学生 (女子)	65	54	33	152	32	55	87	15	26	32	73	49	62	24	135	1	7	9	18	18	31	84	7	13	57	77	37	65	26	128	73	93	902	902	
外国人学生 (女子)	129	82	44	255	87	81	168	37	51	36	124	81	122	54	257	39	62	51	119	140	119	530	87	54	104	245	125	71	36	232	252	110	2,173	2,173	
外国人学生 (女子)	64	53	33	150	26	45	71	14	25	30	69	38	55	22	115	1	7	9	15	18	27	77	7	13	56	76	36	65	25	126	73	92	849	849	
外国人留學生 (女子)	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	3	3	0	0	3	0	1	0	0	0	3	4	1	0	0	1	1	0	1	2	0	0	14	14	
外国人留學生 (女子)	1	3	2	6	9	12	21	1	0	2	3	14	12	3	29	0	1	1	5	2	3	12	2	0	1	3	0	1	0	1	0	1	76	76	
外国人留學生 (女子)	1	1	0	2	6	9	15	0	2	2	2	8	7	2	17	0	0	0	3	0	2	5	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	43	43	
学生数 (女子)	127	83	40	250	107	96	203	37	53	35	125	93	157	58	308	44	62	50	138	141	131	566	102	68	120	290	118	81	38	237	248	112	2,339	2,339	
一般学生 (女子)	63	59	28	150	40	54	94	15	26	27	68	44	83	18	145	5	7	14	15	9	18	68	6	19	65	90	45	76	32	153	69	94	931	931	
外国人学生 (女子)	127	83	40	250	96	82	178	37	51	34	122	81	137	54	272	42	61	49	129	136	126	543	98	66	120	284	115	81	35	231	247	111	2,238	2,238	
外国人学生 (女子)	63	59	28	150	35	46	81	15	26	26	67	36	68	14	118	5	7	14	13	9	17	65	6	19	65	90	43	76	30	149	69	93	882	882	
外国人留學生 (女子)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	2	0	3	1	1	0	2	3	0	2	5	1	1	14	14	
外国人留學生 (女子)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	1	7	7	
外国人留學生 (女子)	0	0	0	0	11	14	25	0	2	0	2	11	20	4	35	2	1	8	3	5	20	3	3	1	0	4	0	0	1	1	0	0	87	87	
外国人留學生 (女子)	0	0	0	0	5	8	13	0	0	0	0	7	15	4	26	0	0	0	2	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	42	
学生数 (女子)	150	104	54	308	123	119	242	42	56	41	139	100	158	57	315	50	71	59	162	165	154	661	117	79	131	327	120	87	46	253	291	145	2,681	2,681	
一般学生 (女子)	66	68	44	178	40	73	113	18	30	29	77	43	82	16	141	3	4	14	15	16	33	85	6	15	64	85	38	81	30	149	86	119	1,033	1,033	
外国人学生 (女子)	149	102	54	305	113	105	218	42	55	41	138	91	147	55	293	48	69	58	148	161	149	633	113	77	131	321	118	87	44	249	289	143	2,589	2,589	
外国人学生 (女子)	65	68	44	177	36	65	101	18	30	29	77	39	75	15	129	3	4	14	11	16	30	78	4	14	64	82	38	81	29	148	86	118	996	996	
外国人留學生 (女子)	1	1	0	2	0	4	4	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	3	2	0	2	2	1	1	16	16	
外国人留學生 (女子)	1	0	0	1	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3	0	0	0	0	0	1	8	8
外国人留學生 (女子)	0	1	0	1	10	10	20	0	1	0	1	8	11	2	21	2	2	0	14	4	5	27	2	1	0	3	0	0	2	2	0	1	76	76	
外国人留學生 (女子)	0	0	0	0	4	5	9	0	0	0	0	4	7	1	12	0	0	0	4	4	3	7	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	29	29	
学生数 (女子)																											113			113			113	113	
一般学生 (女子)																											49			49			49	49	
外国人学生 (女子)																											1			1			1	1	
外国人留學生 (女子)																											0			0			0	0	
外国人留學生 (女子)																											0			0			0	0	
学生数 (女子)																											125			125			125	125	
一般学生 (女子)																											37			37			37	37	
外国人学生 (女子)																											0			0			0	0	
外国人留學生 (女子)																											0			0			0	0	
学生数 (女子)	529	358	186	1,073	416	405	821	153	215	152	520	386	594	230	1,210	174	259	215	553	585	533	2,319	394	253	465	1,112	730	310	163	1,203	1,045	475	9,778	9,778	
一般学生 (女子)	246	233	135	614	151	237	388	62	116	116	294	178	307	73	558	13	24	50	65	55	108	315	25	62	244	331	256	292	114	662	314	389	3,865	3,865	
外国人学生 (女子)	527	351	182	1,060	376	359	735	151	207	149	507	337	531	215	1,083	170	253	210	516	568	515	2,232	380	248	463	1,091	719	309	156	1,184	1,041	471	9,404	9,404	
外国人留學生 (女子)	244	230	135	609	131	208	339	61	112	113	286	150	265	64	479	13	24	50	53	55	99	294	23	61	243	327	251	292	109	652	314	386	3,686	3,686	
外国人学生 (女子)	1	2	0	3	1	5	6	1	2	1	4	5	0	1	6	0	2	2	6	5	3	18	5	2	1	8	11	0	3	14	3	2	64	64	
外国人留學生 (女子)	1	1	0	2	1	4	5	1	1	1	3	4	0	0	4	0	0	0	2	0	2	4	2	1	0	3	5	0	3	8	0	2	31	31	
外国人留學生 (女子)	1	5	4	10	39	41	80	1	6	2	9	44	63	14	121	4	4	3	31																

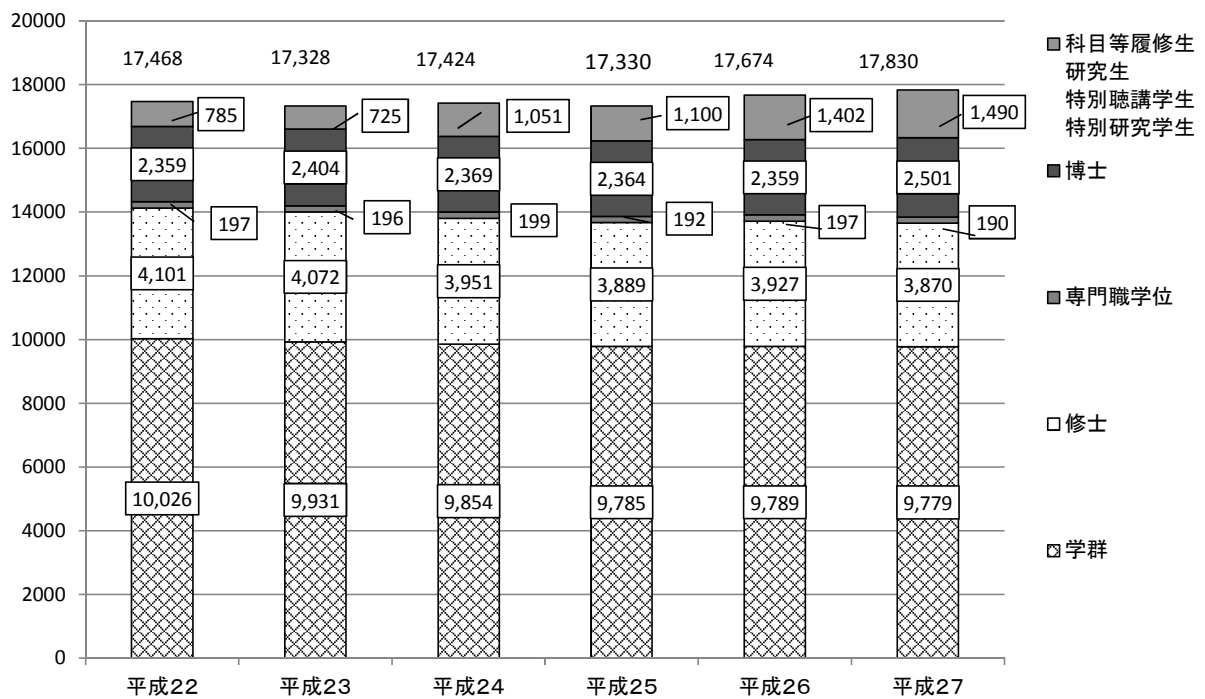
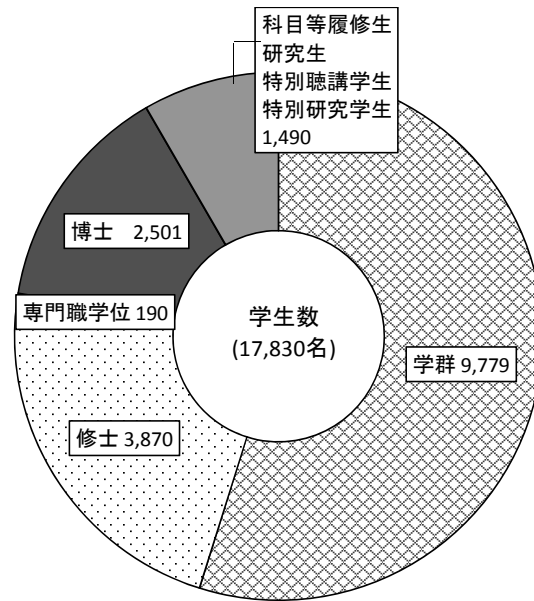
ウ 科目等履修生・研究生・特別聴講学生・特別研究学生

(平成27年度)

所 属		科目等履修生		研究生		特別聴講学生		特別研究学生		計	
学 群	人文・文化 学 群	人文学類	19 (9)				48 (30) ※48 ※(30)			67 (39) ※48 ※(30)	
		比較文化学類	8 (5)				54 (45) ※54 ※(45)			62 (50) ※54 ※(45)	
		日本語・日本文化学類	30 (24) ※28 ※(23)				54 (43) ※54 ※(43)			84 (67) ※82 ※(66)	
	国際社会・ 学 群	社会学類	8 (2)				5 (2) ※5 ※(2)			13 (4) ※5 ※(2)	
		国際総合学類	1 (1)				39 (23) ※39 ※(23)			40 (24) ※39 ※(23)	
	学 人 群 間	教育学類	19 (1)		16 (7)		2 (2) ※2 ※(2)			37 (10) ※2 ※(2)	
		心理学類	2 (2)		3 (3)		1 (1) ※1 ※(1)			6 (6) ※1 ※(1)	
		障害科学類	3 (3)		4 (4)		3 (1) ※3 ※(1)			10 (8) ※3 ※(1)	
	生 命 学 群 環 境	生物学類	4 (1)		1 (1)		8 (4) ※8 ※(4)			13 (6) ※8 ※(4)	
		生物資源学類	10 (4)				92 (59) ※92 ※(59)			102 (63) ※92 ※(59)	
		地球学類	1		2 (2)		2 (2) ※2 ※(2)			5 (4) ※2 ※(2)	
	理 工 学 群	数学類	5				1 (1) ※1 ※(1)			6 (1) ※1 ※(1)	
		物理学類	3		1					4	
		化学類	2 (1)		1		1 ※1			4 (1) ※1	
		応用理工学類	7 (1)		1		1 ※1			9 (1) ※1	
		工学システム学類	3				8 (3) ※8 ※(3)			11 (3) ※8 ※(3)	
		社会工学類	4				5 (1) ※5 ※(1)			9 (1) ※5 ※(1)	
	情 報 学 群	情報科学類	2		1		22 (5) ※22 ※(5)			25 (5) ※22 ※(5)	
		情報メディア創成学類	3 (1)				1 ※1			4 (1) ※1	
		知識情報・図書館学類	4 (3)							4 (3)	
医 学 学 群	医学類	1 (1)							1 (1)		
	看護学類	0 (0)									
	医療科学類	2 (1)							2 (1)		
体育専門学群	66 (19) ※2 ※(2)		9 (2)						75 (21) ※2 ※(2)		
芸術専門学群	13 (10)		1 (0)		10 (8) ※10 ※(8)				24 (18) ※10 ※(8)		
学 群 計	220 (89) ※30 ※(25)		40 (19) ※0 ※(0)		357 (230) ※357 ※(230)		0 (0) ※0 ※(0)		617 (338) ※387 ※(255)		
大 学 院	修 士 ・ 博 士 前 期 ・ 専 門 職 学 位 課 程	教育研究科	2 (1)		22 (15) ※19 (13)					24 (16) ※19 ※(13)	
		人文社会科学研究科 (修士・博士前期課程)	1 (1)		103 (79) ※101 (78)	43 (22) ※43 ※(22)	27 (20) ※27 ※(20)	174 (122) ※171 ※(120)			
		ビジネス科学研究科 (博士前期・専門職学位課程)	37 (8)						37 (8)		
		数理解物科学研究科 (博士前期課程)	1 (1)		17 (6) ※15 (6)		1 ※1	19 (7) ※16 ※(6)			
		システム情報工学研究科 (博士前期課程)	2 (0)		107 (35) ※107 (35)		3 ※3	112 (35) ※110 ※(35)			
		生命環境科学研究科 (博士前期課程)	2 (2) ※2 ※(2)		59 (27) ※58 (26)	9 (2) ※9 ※(2)	29 (22) ※29 ※(22)	99 (53) ※98 ※(52)			
		人間総合科学研究科 (修士・博士前期課程)	45 (25) ※1		91 (66) ※82 (60)	6 (4) ※6 ※(4)	9 (6) ※9 ※(6)	151 (101) ※98 ※(70)			
		図書館情報メディア研究科 (博士前期課程)			25 (16) ※25 (16)	11 (5) ※11 ※(5)		36 (21) ※36 ※(21)			
		小 計	90 (38) ※3 ※(2) ※(424) ※(244) ※(407) ※(234)		※(69) ※(33) ※(69) ※(33) ※(69) ※(48) ※(69) ※(48)		652 (363) ※548 ※(317)				
		一 貫 制 ・ 博 士 後 期 ・ 3 年 制 博 士 課 程	人文社会科学研究科 (一貫制博士課程)	8 (4) ※3 ※(1)		22 (16) ※22 (16)	20 (15) ※20 ※(15)	20 (11) ※20 ※(11)	70 (46) ※65 ※(43)		
	人文社会科学研究科 (博士後期課程)		1		25 (19) ※25 (19)	6 (5) ※6 ※(5)	18 (13) ※18 ※(13)	50 (37) ※49 ※(37)			
	ビジネス科学研究科 (博士後期課程)		1					1			
	数理解物科学研究科 (博士後期・3年制博士課程)				6 (1) ※5 (1)		5 (3) ※5 ※(3)	11 (4) ※10 ※(4)			
	システム情報工学研究科 (博士後期課程)			6 (1) ※5 (1)		5 (1) ※5 ※(1)	11 (2) ※10 ※(2)				
生命環境科学研究科 (博士後期・3年制博士課程)			10 (5) ※9 (5)		18 (8) ※18 ※(8)	28 (13) ※27 ※(13)					
生命環境科学研究科 (一貫制博士課程)			4 (1) ※4 (1)		1 ※1	5 (1) ※5 ※(1)					
人間総合科学研究科 (博士後期・3年制博士課程)	4 (1)		25 (17) ※9 (8)		2 (2) ※2 ※(2)	31 (20) ※11 ※(10)					
人間総合科学研究科 (医学の課程)			12 (7) ※4 (3)		1 (1) ※1 ※(1)	13 (8) ※5 ※(4)					
図書館情報メディア研究科 (博士後期課程)					1 (1) ※1 ※(1)	1 (1) ※1 ※(1)					
小 計	14 (5) ※3 ※(1)		110 (67) ※83 ※(54)		26 (20) ※26 ※(20)	71 (40) ※71 ※(40)	221 (132) ※183 ※(115)				
大 学 院 計	104 (43) ※6 ※(3)		534 (311) ※490 ※(288)		96 (53) ※96 ※(53)	140 (88) ※140 ※(88)	873 (495) ※731 ※(432)				
合 計	324 (132) ※36 ※(28)		574 (330) ※490 ※(288)		452 (283) ※452 ※(283)	140 (88) ※140 ※(88)	1,490 (833) ※1,118 ※(687)				

(注) 1 () は女子を、※は外国人留学生(ただし、科目等履修生については、外国人の履修者)を、それぞれの内数で示す。
2 日本語・日本文化研修留学生は、学群の科目等履修生として受け入れている。

工 学生数



オ 附属学校の定員・現員

学 校 名		入学定員	総定員	現 員						計	
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
附属小学校		128	896	128	126	158	158	155	157	882	
附属中学校		200	600	205	203	203				611	
附属駒場中学校		120	360	123	123	123				369	
附属高等学校		240	720	234	254	234				722	
附属駒場高等学校		160	480	164	163	163				490	
附属坂戸高等学校		160	480	158	160	162				480	
附属視覚特別支援学校	幼稚部	5	10	7	4				11		
	小学部	9	54	7	5	3	4	9	6	34	
	中学部	12	36	13	8	11				32	
	高等部	16	56	17	15	17				49	
	高等部 専攻科	鍼灸手技療法科	16	48	9	12	14				35
		音楽科	8	16	3	2				5	
		理学療法科	8	24	5	9	4				18
		鍼灸手技療法研修科	8	8	2				2		
小 計		82	252						186		
附属聴覚特別支援学校	幼稚部	15	45	9	13	14				36	
	小学部	12	72	13	12	12	10	13	12	72	
	中学部	12	36	14	14	14				42	
	高等部	24	72	27	26	27				80	
	高等部 専攻科	造形芸術科	8	16	1	4				5	
		ビジネス情報科	8	16	3	9				12	
		歯科技工科	10	30	2	6	5				13
小 計		89	287						260		
附属大塚特別支援学校	幼稚部	5	10	3	7				10		
	小学部	4	24	4	4	4	4	4	4	24	
	中学部	6	18	6	6	5				17	
	高等部	8	24	8	8	7				23	
	小 計		23	76						74	
附属桐が丘特別支援学校	小学部	8	63	6	12	9	8	6	11	52	
	中学部	12	39	10	11	7				28	
	高等部	12	39	12	8	10				30	
	小 計		32	141						110	
附属久里浜特別支援学校	幼稚部	6	18	6	6	6				18	
	小学部	6	36	6	6	6	5	6	6	35	
	小 計		12	54						53	
附属学校合計		1,246	4,346						4,237		

(3) 授業科目数及び授業担当教員数

ア 学 群

(ア) 基礎科目（共通科目等）

共通科目等	授業科目数	授 業 担 当 教 員 数		
		常勤	非常勤	計
総 合 科 目	246	1,003	148	1,151
体 育	339	43	23	66
外 国 語	852	78	46	124
情 報 報	70	27	22	49
国 語	60	7	4	11
芸 術	21	21	2	23
日本語・日本事情等に関する科目	20	5	5	10
自 由 科 目（特 設）	30	36	46	82
教職科目及び博物館に関する科目	211	87	87	174
合 計	1,849	1,307	383	1,690

(注) 1. 授業科目数は、他学群・学類開設科目を指定しているものを除く。

2. 総合科目における授業担当教員数は延人数

(イ) 専門基礎科目・専門科目

学 群 ・ 学 類	授 業 科 目 数			授 業 担 当 教 員 数				
	専門科目	専門基礎科目	計	教育会議構成員	教育会議構成員以外の教員	非常勤	計	
全 学 群 対 象	0	14	14	0	0	9	9	
人 文 ・ 文 化 学 群	学 群 コ ア	0	11	11	9	0	12	21
	人 文 学 類	425	58	483	56	29	23	108
	比 較 文 化 学 類	207	105	312	65	45	15	125
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	84	37	121	21	3	15	39
	小 計	716	211	927	151	77	65	293
社 会 ・ 国 際 学 群	学 群 共 通 科 目	0	5	5	1	0	14	15
	社 会 学 類	187	9	196	36	23	14	73
	国 際 総 合 学 類	114	28	142	42	4	12	58
	社会国際学教育プログラム	48	27	75	0	0	8	8
	小 計	349	64	413	78	27	34	139
人 間 学 群	学 群 コ ア	0	14	14	46	0	1	47
	教 育 学 類	91	13	104	32	8	29	69
	心 理 学 類	46	11	57	29	0	12	41
	障 害 科 学 類	92	9	101	45	0	16	61
	小 計	229	47	276	152	8	58	218
生 命 環 境 学 群	学 群 コ ア	0	8	8	34	0	0	34
	生 物 学 類	156	47	203	78	63	16	157
	生 物 資 源 学 類	214	30	244	124	34	22	180
	地 球 学 類	110	25	135	45	21	16	82
	生命環境学際プログラム	100	37	137	149	0	21	170
	小 計	580	147	727	430	118	75	623
理 工 学 群	学 群 共 通 科 目	4	0	4	1	0	3	4
	数 学 類	70	48	118	42	15	7	64
	物 理 学 類	51	23	74	70	19	2	91
	化 学 類	43	15	58	39	15	8	62
	応 用 理 工 学 類	139	82	221	76	0	8	84
	工 学 シ ス テ ム 学 類	245	25	270	76	5	42	123
	社 会 工 学 類	153	69	222	53	2	21	76
小 計	705	262	967	357	56	91	504	
情 報 学 群	学 群 共 通 科 目	2	2	4	3	0	0	3
	情 報 科 学 類	97	23	120	56	21	20	97
	情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	41	47	88	30	17	25	72
	知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	89	52	141	47	7	13	67
	小 計	229	124	353	136	45	58	239
医 学 群	医 学 類	34	12	46	390	37	70	497
	看 護 学 類	65	27	92	34	19	24	77
	医 療 科 学 類	70	26	96	52	69	8	129
	小 計	169	65	234	476	125	102	703
体 育 専 門 学 群	321	109	430	126	3	31	160	
芸 術 専 門 学 群	366	43	409	57	5	39	101	
合 計	3,664	1,086	4,750	1,963	464	562	2,989	

(注) 授業科目数は、他学群・学類開設科目を指定しているものを除く。

イ 大学院

(ア) 大学院共通科目

科目群	授業科目数	授業担当教員数		
		常勤	非常勤	計
生命・環境・研究倫理	6	15	2	17
研究マネジメント力養成	5	8	3	11
情報伝達力・コミュニケーション力養成	16	24	1	25
国際性養成	5	6	1	7
キャリアマネジメント	15	41	1	42
知的基盤形成	19	74	22	96
身心基盤形成	18	35	2	37
合計	84	203	32	235

(注) 非常勤には、連携大学院方式による教員を含まない。

(イ) 研究科

課程・研究科	授業科目数	授業担当教員数					
		教育会議構成員	教育会議構成員以外の教員	非常勤	計		
修士課程 教育研究科	191	122	90	27	239		
	小計	191	122	90	239		
博士課程	一貫	415	95	5	9	109	
	人文社会科学研究科	前期	673	145	90	37	272
		後期	381	115	18	11	144
	ビジネス科学研究科	前期	160	31	2	49	82
		後期	89	35	3	11	49
		専門職	171	26	6	65	97
	数理工学科学研究科	前期	512	253	26	64	343
		後期	262	240	26	7	273
	システム情報工学研究科	前期	447	214	49	50	313
		後期	76	214	41	3	258
	生命環境科学研究科	一貫	74	29	4	3	36
		前期	1022	263	46	89	398
		後期	492	237	46	7	290
	人間総合科学研究科	一貫	119	389	2	16	407
		修士	94	199	12	33	244
		前期	814	318	23	64	405
		後期	77	199	11	14	224
		3年制	102	80	7	38	125
	図書館情報メディア研究科	前期	79	54	5	8	67
		後期	52	39	5	0	44
グローバル教育院	一貫	101	130	68	30	228	
	前期	38	101	0	4	105	
	後期	16	101	0	0	101	
小計	6,111	3,175	427	578	4,180		
合計	6,302	3,297	517	605	4,419		

(注) 1. 授業科目数は、他研究科開設科目を指定しているもの及び研究指導を除く。

2. 非常勤には、連携大学院方式による教員を含まない。

(4) 卒業・修了者等数

ア 学群卒業者

〔平成28年3月31日現在〕

学群・学類	卒業 年次 定員	編入学 定員	本年度卒業者(学位「学士」取得者)数		累計	
			学位記	計		
人文・ 学文化 学群	人文学類	120		人文学 118 (52)	118 (52) ※0	703 (375) ※0
	比較文化学類	80		文 学 19 (15)	78 (54) ※0	495 (360) ※7
	日本語・日本文化学類	40		比 較 文 化 59 (39)	43 (34) ※0	240 (178) ※2
	小計	240	(0)	文 学 43 (34)	239 (140) ※0	1438 (913) ※9
社会・ 国際学 学群	社会学類	80	(10)	社会学 16 (8) ※2	87 (27) ※4	529 (215) ※15
				法 学 30 (10)		
				政 治 学 18 (5)		
				経 済 学 23 (4) ※2		
	国際総合学類	80	(10)	国際社会科学 0	76 (43) ※7	
				国際関係学 44 (27)		
				国際開発学 25 (14)		
				国際社会科学 7 (2) ※7		
小計	160	(10)	163 (70) ※11	163 (70) ※11	1015 (506) ※42	
人間学 学群	教育学類	35		教育学 33 (14)	33 (14) ※0	216 (96) ※1
	心理学類	50		心 理 学 44 (28) ※1	44 (28) ※1	299 (181) ※3
	障害科学類	35	(0)	障害科学 24 (19)	41 (29) ※0	219 (165) ※1
				特別支援教育学 2 (2)		
	社会福祉学 15 (8)					
小計	120	(0)	118 (71) ※1	118 (71) ※1	734 (442) ※5	
生命 学環境 学群	生物学類	80		理 学 82 (39) ※5	82 (39) ※5	505 (220) ※14
	生物資源学類	120	(10)	生物資源学 134 (74) ※12	139 (76) ※12	834 (457) ※30
	地球学類	50		農 学 5 (2)	46 (13) ※1	326 (105) ※1
	小計	250	(10)	理 学 46 (13) ※1	267 (128) ※18	1,665 (782) ※45
理工学 学群	数学類	40		理 学 36 (2) ※1	36 (2) ※1	261 (39) ※4
	物理学類	60		理 学 56 (3) ※1	56 (3) ※1	370 (36) ※13
	化学類	50		理 学 55 (14) ※0	55 (14) ※0	334 (90) ※4
	応用理工学類	120	(10)	工 学 130 (14) ※12	130 (14) ※12	797 (87) ※34
	工学システム学類	130		工 学 138 (13) ※5	138 (13) ※5	862 (65) ※36
	社会工学類	120		社 会 工 学 116 (26) ※4	116 (26) ※4	754 (144) ※21
小計	520	(10)	531 (72) ※23	531 (72) ※23	3,378 (461) ※112	
情報学 学群	情報科学類	80	(10)	情 報 科 学 30 (5) ※1	89 (5) ※1	545 (33) ※21
	情報メディア創成学類	50	(10)	情 報 工 学 59 (5)	61 (13) ※0	373 (90) ※6
	知識情報・図書館学類	100	(10)	情 報 メ デ ィ ア 科 学 61 (13)	112 (58) ※0	648 (379) ※3
	小計	230	(30)	図 書 館 情 報 学 112 (58)	262 (76) ※1	1,566 (502) ※30
医学 学群	医学類	105	(5)	医 学 113 (35)	113 (35)	404 (129)
	看護学類	70	(10)	看 護 学 77 (72)	77 (72)	463 (441)
	医療科学類	37	(3)	医 療 科 学 34 (22)	39 (26) ※1	231 (142) ※6
	小計	212	(18)	国 際 医 療 科 学 5 (4) ※1	229 (133) ※1	1,098 (712) ※6
体 育 専 門 学 群	240		体 育 学 255 (75)	255 (75)	9,283 (2,404) ※7	
芸 術 専 門 学 群	100		芸 術 学 119 (103) ※1	119 (103) ※1	3,785 (2,312) ※21	
第一学 学群	人文学類			人 文 学 0	0 (0)	3,965 (1,916) ※15
	社会学類			社 会 学 0	0 (0)	3,669 (1,197) ※37
	自然学類			法 政 経 理 学 0	0 (0)	6,828 (1,374) ※17
	小計			理 学 0	0 (0)	14,462 (4,487) ※69
第二学 学群	比較文化学類			文 学 0	0 (0)	2,758 (1,693) ※15
	日本語・日本文化学類			比 較 文 化 0	0 (0)	1,454 (1,110) ※18
	人間学類			文 間 科 学 0	0 (0)	3,949 (2,242) ※17
	生物学類			理 物 資 源 学 0	0 (0)	2,686 (1,099) ※20
	生物資源学類			農 学 0	0 (0)	2,474 (1,155) ※16
	農林学類			農 学 0	0 (0)	2,057 (514) ※4
小計			0 (0)	0 (0)	15,378 (7,813) ※90	
第三学 学群	社会工学類			社 会 工 学 0	0 (0)	3,835 (559) ※57
	国際総合学類			国 際 関 係 学 0	0 (0)	1,242 (777) ※70
	国際関係学類			国 際 関 係 学 0	0 (0)	1,001 (466) ※64
	情報学類			情 報 工 学 0	0 (0)	3,017 (377) ※67
	工学システム学類			工 学 0	0 (0)	1,988 (165) ※47
	工学基礎学類			工 学 0	0 (0)	1,215 (76) ※11
	基礎工学類			工 学 0	0 (0)	3,765 (500) ※20
小計			0 (0)	0 (0)	16,063 (2,920) ※336	
医学 専門学 学群	医学専門学群			医 学 0	0 (0)	3,259 (906) ※7
	看護学類			看 護 学 1 (1)	1 (1)	315 (297)
	医療科学類			医 療 科 学 0	0 (0)	160 (111)
	小計			1 (1)	1 (1)	3,734 (1,314) ※7
図書館 情報 専門学 学群	図書館情報専門学群			図 書 館 情 報 学 0	0 (0)	696 (436) ※7
	図情大からの移籍学生			図 書 館 情 報 学 0	0 (0)	3,819 (2,550) ※34
小計			0 (0)	0 (0)	4,515 (2,986) ※41	
合計	2,072	(78)	2,184 (869) ※56	2,184 (869) ※56	(78,114) (28,554) ※820	

(注) 1. () は女子を、※は外国人留学生を、それぞれ内数で示し、< >は編入学定員を外数で示す。

2. 卒業者数には、第2学期推薦入学者等の年度途中卒業者41名を含む。

3. 累計には、東京教育大学からの移管学生を含む。

4. 第二学群農林学類は、平成6年度から生物資源学類へ名称変更。

5. 第三学群国際総合学類は、平成7年度に国際関係学類を改組。

6. 第三学群工学基礎学類は、平成10年度に基礎工学類を改組。

7. 図情大からの移籍学生の累計は、平成15年度をもって閉学した図書館情報大学の卒業者を含む。

イ 大学院修了者等

(ア) 修士課程修了者

(平成28年3月31日現在)

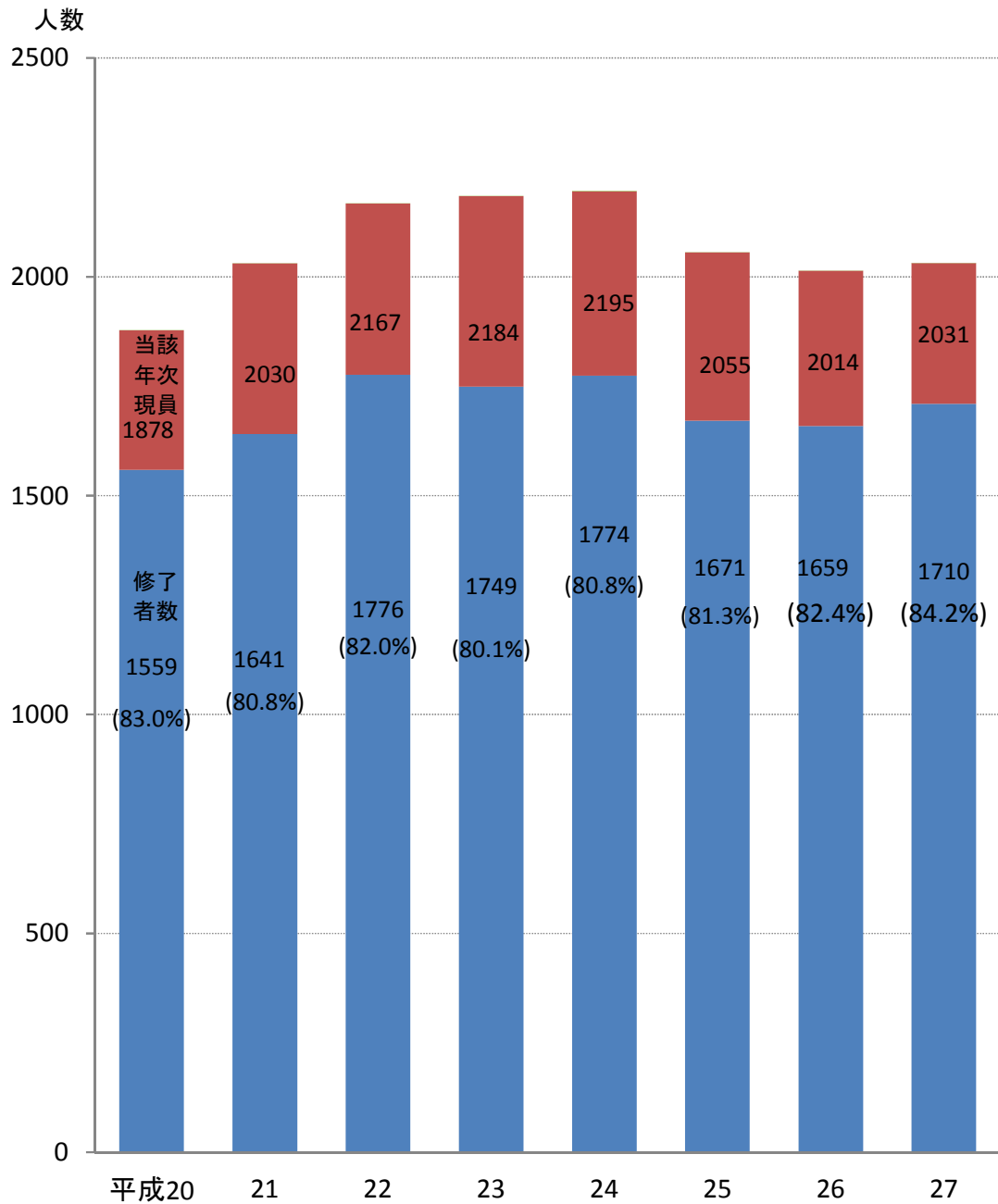
研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
地域研究	地域研究	国際学修士		563 (287) ※ 207
		修士(国際学)		8 (6)
		修士(地域研究)		1,002 (615) ※ 335
教 育	障害児教育	教育学修士		290 (125) ※ 18
		修士(教育学)		595 (415) ※ 45
	スクールリーダーシップ開発	修士(教育学)	17 (7) ※ 1	140 (54) ※ 13
		教育学修士		735 (189) ※ 42
	教科教育	修士(教育学)	73 (22)	1,943 (765) ※ 64
		教育学修士		30 (12)
	カウンセリング	修士(教育学)		2 (2)
		修士(カウンセリング)		395 (257) ※ 2
		修士(リハビリテーション)		403 (228)
	修士(学術)		1	
	特別支援教育	修士(特別支援教育学)		101 (71) ※ 9
経営・政策科学	経営・政策科学	経済学修士		540 (48) ※ 128
		修士(経済学)		333 (65) ※ 60
		修士(ビジネス)		109 (32) ※ 49
		修士(社会工学)		56 (5) ※ 6
		修士(経営科学)		272 (67) ※ 136
		修士(公共政策)		1
	経営システム科学	経営学修士		25 (2)
		修士(経営学)		256 (47)
		修士(経営システム科学)		121 (19)
	企業法学	修士(法学)		320 (47)
理工学	理工学	工学修士		772 (30) ※ 56
		修士(工学)		2,326 (181) ※ 197
		理学修士		411 (44) ※ 6
		修士(理学)		733 (118) ※ 16
環境科学	環境科学	学術修士		922 (127) ※ 36
		修士(学術)		91 (21) ※ 3
		修士(環境科学)		1,686 (590) ※ 185
バイオシステム	バイオシステム	修士(学術)		851 (299) ※ 90
医科学	医科学	医科学修士		242 (63) ※ 7
		修士(医科学)		681 (352) ※ 32
体 育	体育方法学	体育学修士		251 (60) ※ 14
		修士(体育学)		429 (123) ※ 71
	コーチ学	体育学修士		328 (25) ※ 15
		修士(体育学)		679 (120) ※ 54
	健康教育学	体育学修士		218 (42) ※ 12
	修士(体育学)		429 (182) ※ 33	
	スポーツ健康科学	修士(体育学)		235 (81) ※ 6
修士(体育学)		379 (97) ※ 27		
スポーツ健康システム・マネジメント	修士(体育学)		58 (11)	
	修士(保健学)		54 (46)	
芸 術	美 術	芸術学修士		175 (45) ※ 9
		修士(芸術学)		440 (210) ※ 40
	デザイン	芸術学修士		190 (49) ※ 43
		修士(芸術学)		28 (15) ※ 3
		修士(デザイン学)		481 (171) ※ 159
	世界遺産	修士(世界遺産学)		34 (31) ※ 2
修士(学術)			20 (14) ※ 2	
人文社会科学	現代語・現代文化	修士(文学)	4 (3) ※ 1	22 (15) ※ 2
		修士(言語学)	2 (1) ※ 1	29 (15) ※ 6
		修士(学術)	1 (1)	8 (6)
	国際公共政策	修士(国際政治経済学)	1	32 (18) ※ 18
		修士(政治学)		7 ※ 1
		修士(社会学)	6 (1) ※ 3	34 (15) ※ 10
		修士(国際公共政策)	7 (4) ※ 5	37 (14) ※ 31
	国際地域研究	修士(国際学)	64 (41) ※ 51	442 (290) ※ 330
		修士(学術)	7 (4) ※ 5	12 (9) ※ 10
	法学	修士(法学)	2 (1) ※ 2	28 (16) ※ 14

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
人文社会科学	経済学	修士(経済学)	1 (1) ※ 1	39 (14) ※ 34
数理物質科学	数学	修士(理学)	24 (1)	159 (16) ※ 5
		修士(数学)		86 (7) ※ 2
	物理学	修士(理学)	51 (7) ※ 2	435 (41) ※ 9
		修士(物理学)		43 (6) ※ 4
数理物質科学	化学	修士(理学)	49 (13)	466 (115) ※ 11
	物質創成先端科学	修士(理学)		146 (34) ※ 4
		修士(数学)		1
		修士(物理学)		2
		修士(工学)		101 (6) ※ 9
	電子・物理工学	修士(工学)	75 (7) ※ 12	620 (43) ※ 51
物性・分子工学	修士(工学)	69 (7) ※ 4	723 (75) ※ 50	
システム情報工学	社会システム工学	修士(工学)	2	220 (40) ※ 48
		修士(社会工学)	2	222 (48) ※ 25
		修士(社会経済)		23 (1) ※ 9
	経営・政策科学	修士(ビジネス)	2 (1) ※ 2	414 (181) ※ 272
		修士(公共政策)		26 (7) ※ 9
	リスク工学	修士(工学)	30 (4) ※ 5	260 (23) ※ 33
		修士(社会工学)	3	34 (8) ※ 4
	コンピュータサイエンス	修士(工学)	140 (12) ※ 27	1,119 (113) ※ 229
	知能機能システム	修士(工学)	104 (9) ※ 11	983 (82) ※ 116
	社会工学	修士(社会工学)	70 (27) ※ 41	71 (28) ※ 41
修士(サービス工学)		17 (6) ※ 2	17 (6) ※ 2	
構造エネルギー工学	修士(工学)	90 (1) ※ 4	730 (32) ※ 40	
生命環境科学	生物科学	修士(生物科学)	4 (2)	39 (18) ※ 7
		修士(理学)	33 (13) ※ 2	389 (172) ※ 17
	生物資源科学	修士(学術)	1	59 (29) ※ 18
		修士(生物工学)	15 (6) ※ 7	208 (87) ※ 42
		修士(生物資源工学)	11 (4) ※ 4	109 (47) ※ 44
		修士(農学)	87 (41) ※ 4	861 (393) ※ 113
		修士(バイオディプロマシー)		4 (2) ※ 2
	環境科学	修士(環境科学)	61 (30) ※ 34	638 (241) ※ 195
	地球科学	修士(理学)	40 (9) ※ 7	306 (90) ※ 30
		修士(地球科学)		3
修士(地球環境科学)			1	
ビジネス科学	企業法学	修士(法学)	30 (6)	381 (75) ※ 1
	経営システム科学	修士(経営システム科学)		48 (6)
修士(経営学)		28 (4)	354 (70) ※ 1	
人間総合科学	スポーツ健康システム・マネジメント	修士(体育学)	12 (5)	91 (27) ※ 2
		修士(保健学)	10 (4)	79 (57) ※ 1
	フロンティア医科学	修士(医科学)	53 (20) ※ 9	437 (207) ※ 29
		修士(公衆衛生学)	15 (12) ※ 9	56 (38) ※ 22
		修士(ヒューマン・ケア科学)	5 (5) ※ 2	26 (18) ※ 3
	教育学	修士(教育学)	7 (2) ※ 1	88 (51) ※ 40
	心理	修士(心理学)	16 (12) ※ 2	109 (70) ※ 12
	障害科学	修士(障害科学)	24 (15) ※ 4	166 (110) ※ 25
		修士(特別支援教育学)	19 (13) ※ 3	29 (19) ※ 3
	生涯発達	修士(カウンセリング)	25 (19)	161 (115)
		修士(リハビリテーション)	23 (12)	160 (87)
	感性認知脳科学	修士(感性科学)	1 () ※ 1	34 (16) ※ 12
		修士(行動科学)	2 (1) ※	42 (28) ※ 4
		修士(神経科学)	2 (1) ※	24 (12) ※ 2
		修士(学術)	1 () ※	1 (0) ※ 0
	体育学	修士(体育学)	126 (42) ※ 4	861 (246) ※ 47
		修士(コーチング学)	5 (2)	8 (2) ※ 0
	看護科学	修士(看護科学)	15 (14) ※ 3	120 (112) ※ 4
	芸術	修士(芸術学)	32 (25) ※ 4	259 (187) ※ 24
		修士(デザイン学)	30 (14) ※ 10	280 (143) ※ 73
世界遺産	修士(世界遺産学)	11 (8) ※ 3	67 (48) ※ 15	
	修士(学術)	7 (5) ※ 2	58 (40) ※ 5	
図書館情報メディア	図書館情報メディア	修士(図書館情報学)	24 (13) ※ 5	221 (137) ※ 21
		修士(情報学)	22 (8) ※ 3	238 (89) ※ 41
		修士(学術)		22 (12) ※ 4
計			1,710 (548) ※ 303	36,012 (10,930) ※ 4,520

(注) 1 ()は女子を、※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

2 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され、単に「修士」とすることとされた。

【修士課程修了状況の推移】



()内は、修了対象年次の現員に対する修了者率(%)を示す。

(イ) 博士課程修了者

(平成28年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
人文社会科学	哲学・思想	博士(文学)	3(3)	26(7)※3
		博士(文学)	3(2)※1	30(13)※5
	歴史・人類学	博士(文学)	8(4)※3	56(33)※29
		博士(言語学)	7(5)	66(38)※29
	文芸・言語	博士(言語学)		15(10)※6
		博士(文学)		7(3)※1
		博士(学術)		4(2)
		博士(政治学)		14(8)※5
	現代文化・公共政策	博士(経済学)		3※2
		博士(社会学)	1	16(8)※5
		博士(法学)		2(1)※1
	社会科学	博士(国際政治経済学)		31(11)※21
	国際政治経済学	博士(文学)	1(1)	1(1)
		博士(言語学)	3(2)	15(6)
	現代語・現代文化	博士(法学)		2
		博士(国際政治経済学)		1(1)※1
	法学	博士(政治学)	2(1)※2	5(3)※3
		博士(社会学)	1(1)	1(1)
博士(国際公共政策)			3(1)※2	
博士(学術)			1(1)	
国際公共政策	博士(国際日本研究)	5(5)※3	9(6)※6	
	博士(学術)	4(2)※2	15(7)※10	
国際日本研究	企業科学	博士(システム・マネジメント)	5(2)	35(4)
		博士(経営学)	5	53(7)
		博士(法学)	3	28(4)
ビジネス科学	数学	博士(理学)	5(1)※2	51(4)※5
		博士(数学)		11
	物理学	博士(理学)	7(1)※1	98(8)※4
		博士(物理学)		14(1)※1
	化学	博士(理学)	12	101(14)※8
	物質創成先端科学	博士(理学)		30(6)※6
		博士(工学)		8※3
	電子・物理工学	博士(工学)	11(1)※2	127(7)※19
	物性・分子工学	博士(工学)	13(2)※6	105(9)※33
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー	博士(工学)	3※1	19(1)※2
博士(理学)		4(1)※2	4(1)※2	
物質・材料工学	博士(工学)	11(1)※10	105(21)※67	
数理物質科学	社会システム工学	博士(工学)		12(2)※4
		博士(社会工学)		18(4)※7
		博士(社会経済)		10(3)※5
	社会システム・マネジメント	博士(マネジメント)	2(1)※2	12(5)※8
		博士(社会経済)	1	9(2)※1
		博士(社会工学)	1	15(1)※2
		博士(工学)	6(1)※2	39(8)※15
	リスク工学	博士(工学)	4	52(7)※11
		博士(社会工学)		6(1)※2
	コンピュータサイエンス	博士(工学)	13※3	178(12)※59
	知能機能システム	博士(工学)	16(2)※2	159(13)※36
	構造エネルギー工学	博士(工学)	9(2)※4	79(4)※19
	社会工学	博士(社会工学)	2	2※
	計量ファイナンス・マネジメント	博士(ファイナンス)		2(1)※2
博士(マネジメント)			4(2)※4	
博士(社会工学)			2	
システム情報工学	地球環境科学	博士(理学)	6(2)※2	80(25)※28
		博士(理学)	1	30(12)※8
	地球進化科学	博士(理学)	12(4)※2	43(10)※6
		博士(生物科学)	9(2)	19(4)※1
		博士(学術)		10
	生物科学	博士(理学)	2	44(11)※2
		博士(生物科学)		2
	構造生物科学	博士(理学)	1	84(27)※5
		博士(生物科学)		4(2)※1
	情報生物科学	博士(理学)	3※1	63(16)※25
		博士(農学)		11(3)※1
	生命共存科学	博士(生命共存科学)		7(1)※4

研究科	専攻	学位（専攻分野の名称）	本年度修了者数	果	計
生命環境科学	国際地緑技術開発科学	博士（学術）	1（ 1）	33（ 15）※	16
		博士（生物資源工学）	7（ 3）※	33（ 14）※	30
		博士（農学）	2 ※	66（ 25）※	22
	生物圏資源科学	博士（学術）	1（ 1）※	21（ 11）※	16
		博士（農学）	8（ 4）※	112（ 35）※	52
	生物機能科学	博士（生物工学）	2（ 1）※	73（ 22）※	25
		博士（農学）	6（ 2）	68（ 18）※	6
		博士（学術）	3（ 2）	21（ 5）	
	生命産業科学	博士（農学）	4（ 1）※	26（ 8）※	9
		博士（生物科学）	2（ 2）※	15（ 12）※	7
		博士（生物工学）	8（ 2）※	59（ 21）※	43
	博士（学術）		13（ 4）※	4	
持続環境学	博士（環境学）	15（ 3）※	108（ 39）※	68	
先端農業技術科学	博士（農学）	5（ 3）※	46（ 13）※	9	
人間総合科学	教育学	博士（教育学）		2	
	学校教育学	博士（教育学）	1	15（ 9）※	3
	教育基礎学	博士（教育学）	1（ 1）※	5（ 5）※	3
	心理学	博士（心理学）	5（ 1）	41（ 13）※	1
		博士（学術）		1 ※	1
	障害科学	博士（障害科学）	1 ※	25（ 12）※	2
人間総合科学	心身障害学	博士（心身障害学）		15（ 10）※	3
	ヒューマン・ケア科学	博士（ヒューマン・ケア科学）	3（ 1）	90（ 72）※	5
		博士（心理学）	3（ 1）	32（ 11）※	1
		博士（心身障害学）		1（ 1）※	1
		博士（教育学）		7（ 3）※	1
		博士（体育科学）	2	4（ 1）	
		博士（医学）		3（ 2）	
	博士（学術）	1（ 1）	25（ 21）※	2	
	生涯発達科学	博士（カウンセリング科学）	2（ 1）	20（ 12）	
		博士（生涯発達科学）	5（ 4）	8（ 5）	
		博士（リハビリテーション科学）	3	12（ 4）	
	感性認知脳科学	博士（感性科学）	1 ※	23（ 11）※	16
		博士（神経科学）		29（ 9）※	1
		博士（行動科学）		21（ 11）※	1
		博士（学術）		5（ 4）※	2
	スポーツ医学	博士（スポーツ医学）	10（ 1）※	95（ 35）※	19
		博士（医学）		2（ 1）※	1
		博士（学術）		2	
	先端応用医学	博士（医学）		105（ 21）※	11
	分子情報・生体統御医学	博士（医学）		76（ 36）※	18
	病態制御医学	博士（医学）		79（ 26）※	9
	機能制御医学	博士（医学）		53（ 17）※	4
	社会環境医学	博士（医学）		69（ 31）※	11
	生命システム医学	博士（医学）	14（ 5）※	82（ 31）※	10
	疾患制御医学	博士（医学）	39（ 15）※	209（ 62）※	11
	看護科学	博士（看護科学）	4（ 3）	13（ 10）※	1
	体育科学	博士（体育科学）	10（ 2）※	78（ 14）※	13
		博士（学術）	5（ 2）	16（ 4）※	4
	芸術	博士（芸術学）	8（ 4）	52（ 26）※	9
		博士（デザイン学）	3（ 2）	23（ 11）※	11
	世界文化遺産学	博士（世界遺産学）	1	12（ 10）※	4
		博士（学術）	1（ 1）※	11（ 9）※	5
	コーチング学	博士（コーチング学）	1	23（ 5）※	1
芸術学	博士（芸術学）		19（ 9）※	3	
	博士（デザイン学）		17（ 7）※	9	
図書館情報メディア	図書館情報メディア	博士（図書館情報学）	3	27（ 13）※	6
		博士（情報学）	1（ 1）	35（ 13）※	11
		博士（学術）	1（ 1）	17（ 10）※	4
哲学・思想	哲学	文学博士		3	
		博士（文学）		5（ 1）※	1
	倫理学	文学博士		8（ 1）※	2
		博士（文学）		2	
		博士（学術）		3 ※	2
	宗教学・比較思想学	文学博士		2	
博士（文学）			2		
	博士（学術）		1		

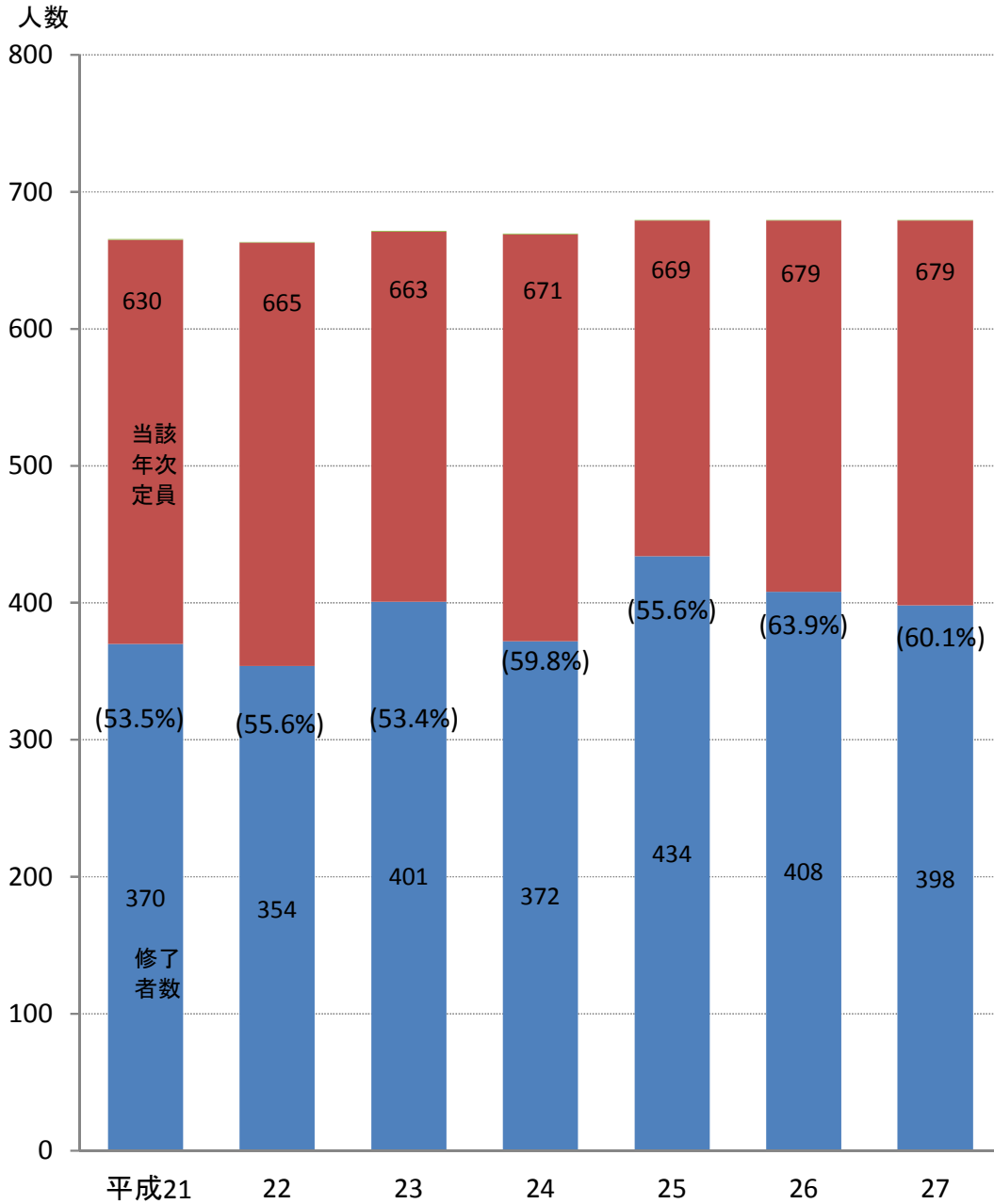
研究科	専攻	学位（専攻分野の名称）	本年度修了者数	累 計
歴史・人類学	史学	文学博士		11 (2) ※ 8
		博士（文学）		9 (4) ※ 3
		博士（学術）		3 (1) ※ 1
	文化人類学	文学博士		6 (2) ※ 6
		博士（文学）		9 (2) ※ 3
		博士（学術）		2 (1) ※ 1
文芸・言語	文学	文学博士		2 (1) ※ 2
		博士（文学）		22 (13) ※ 14
		博士（学術）		2 (2) ※ 1
	各国文学	文学博士		2 (2) ※ 1
		博士（文学）		11 (4) ※ 2
		博士（学術）		6 (2) ※ 5
	言語学	文学博士		8 (3) ※ 7
		博士（言語学）		47 (22) ※ 35
	教育学	教育学	教育学博士	
教育基礎学		教育学博士		6 (4) ※ 5
		博士（教育学）		12 (8) ※ 10
学校教育学		教育学博士		2 ※ 2
	博士（教育学）		17 (7) ※ 14	
心理学	心理学	教育学博士		6 (1)
		博士（心理学）		44 (13) ※ 5
		学術博士		4 (1) ※ 2
心身障害学	心身障害学	教育学博士		22 (10) ※ 2
		博士（教育学）		23 (11) ※ 6
		博士（心身障害学）		26 (15) ※ 6
		学術博士		1 (1)
		博士（学術）		1
社会科学	法学	法学博士		11 ※ 2
		博士（法学）		23 (3) ※ 11
	経済学	経済学博士		1 ※ 1
		博士（経済学）		7 (1) ※ 4
	社会学	社会学博士		8 (2) ※ 5
博士（社会学）			24 (3) ※ 17	
計量計画学	経済学博士		1	
社会工学	計量計画学	学術博士		1 ※ 1
		博士（社会経済）		13 (3) ※ 8
		博士（経営工学）		1
	経営工学	学術博士		10 (1) ※ 8
		博士（経営工学）		27 (6) ※ 18
		博士（社会経済）		1 ※ 1
	都市・地域計画学	学術博士		11 (1) ※ 8
		博士（社会工学）		3 () ※ 1
		博士（都市・地域計画）		30 (3) ※ 20
	計量ファイナンス・マネジメント	博士（経営学）		4 (1) ※ 4
		博士（計量ファイナンス）		3
社会経済システム	博士（社会経済）		3 (1) ※ 3	
都市・環境システム	博士（社会工学）		9 (2)	
システム情報数理	博士（都市・環境システム）		2 ※ 2	
		博士（数理工学）		1 ※ 1
国際政治経済学	国際政治経済学	博士（学術）		2 (1) ※ 1
		博士（国際政治経済学）		21 (4) ※ 15
経営・政策科学	企業科学	博士（法学）		5 (1)
		博士（経営学）		8 (3)
		博士（システムズ・マネジメント）		10 (1)
生物科学	生物学	理学博士		36 (2) ※ 6
		博士（理学）		56 (16) ※ 5
		博士（生物科学）		3
	生物物理化学	理学博士		34 (4) ※ 2
		博士（理学）		85 (23) ※ 9
		博士（学術）		8 (1)
		博士（生物科学）		1

研究科	専攻	学位（専攻分野の名称）	本年度修了者数	累 計
農 学	農林学	農学博士		41 (4) ※ 13
		博士（農学）		87 (9) ※ 35
	農林工学	農学博士		21 ※ 10
		博士（農学）		99 (13) ※ 53
	応用生物化学	農学博士		59 (6) ※ 18
		博士（農学）		175 (41) ※ 50
学位博士			7	
		博士（学術）		42 (8) ※ 5
数 学	数 学	理学博士		19 ※ 1
		博士（理学）		53 (6) ※ 6
		博士（数学）		17 (1) ※ 3
物理学	物理学	理学博士		119 (2) ※ 3
		博士（理学）		122 (7) ※ 9
		博士（物理学）		21 (1) ※ 1
		学位博士		1
化 学	化 学	理学博士		98 (6) ※ 6
		博士（理学）		94 (9) ※ 7
地球科学	地理学・水文学	理学博士		46 (3) ※ 19
		博士（理学）		50 (8) ※ 15
	地質学	理学博士		28 (3) ※ 6
		博士（理学）		75 (15) ※ 28
工 学	物理工学	工学博士		32 ※ 8
		博士（工学）		102 (3) ※ 21
	物質工学	工学博士		21 ※ 3
		博士（工学）		132 (6) ※ 31
	構造工学	工学博士		18 ※ 3
		博士（工学）		86 (6) ※ 26
知能機能工学	博士（工学）		54 (4) ※ 9	
電子・情報工学	工学博士		21 ※ 8	
	博士（工学）		134 (9) ※ 42	
医 学	形態系	医学博士		19 (1)
		博士（医学）		103 (24) ※ 17
	生化系	医学博士		30 (4) ※ 1
		博士（医学）		114 (42) ※ 13
	生理系	医学博士		53 (3) ※ 2
		博士（医学）		173 (50) ※ 24
生物系	医学博士		19 (4) ※ 1	
	博士（医学）		67 (19) ※ 7	
環境生態系	医学博士		34 (6) ※ 2	
	博士（医学）		81 (36) ※ 7	
体育科学	体育科学	教育学博士		30 (3) ※ 12
		博士（体育科学）		88 (11) ※ 22
		学位博士		5
		博士（学術）		20 (6) ※ 6
芸術学	芸術学	学位博士		4 (1) ※ 1
		博士（芸術学）		34 (25) ※ 9
		博士（デザイン学）		39 (11) ※ 23
計			398 (121) ※ 95	7,884 (1,916) ※ 1,948

(注) 1 () は女子を、※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

2 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され、単に「博士」とすることとされた。

【博士課程修了状況の推移】



()内は、年次定員に対する修了者率(%)を示す。

(ウ) 博士課程修士学位授与者

(平成28年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計
人文社会科学	哲学・思想	修士(文学)	6 (3)	86 (35) ※ 8
		修士(文学)	10 (4)	129 (59) ※ 10
	歴史・人類学	修士(言語学)	12 (10) ※ 5	148 (84) ※ 50
		修士(文学)	6 (4) ※ 2	113 (65) ※ 33
		修士(学術)	4 (4) ※ 2	4 (4) ※ 2
	現代文化公共政策	修士(学術)		16 (8) ※ 3
		修士(言語学)		26 (16) ※ 7
		修士(政治学)		28 (13) ※ 10
		修士(文学)		17 (11) ※ 1
	社会科学	修士(経済学)		10 (2) ※ 2
		修士(社会学)		21 (14) ※ 5
		修士(法学)		24 (16) ※ 4
	国際政治経済学	修士(国際政治経済学)		94 (36) ※ 76
修士(学術)			2 (2)	
数理物質科学	数学	修士(理学)		43 (1)
		修士(数学)		4
	物理学	修士(理学)		58 (5)
		修士(物理学)		13 (1)
	化学	修士(理学)		66 (14) ※ 2
		修士(工学)		36 (6)
	物質創成先端科学	修士(工学)		22 (2)
		修士(物理学)		3
電子・物理工学	修士(工学)		66 (3)	
物性・分子工学	修士(工学)		76 (7) ※ 2	
システム情報工学	社会システム工学	修士(社会経済)		7 ※ 1
		修士(社会工学)		53 (8) ※ 6
		修士(工学)		27 (2) ※ 6
	リスク工学	修士(工学)		48 (5) ※ 4
		修士(社会工学)		5 (1)
	コンピュータサイエンス	修士(工学)		159 (11) ※ 15
	知能機能システム	修士(工学)		134 (9) ※ 6
	構造エネルギー工学	修士(工学)		101 (5) ※ 1
	計量ファイナンス・マネジメント	修士(ファイナンス)		15 ※ 1
		修士(マネジメント)		3 (1) ※ 3
修士(社会工学)			10	
生命環境科学	地球環境科学	修士(理学)		79 (25) ※ 4
		修士(地球環境科学)		3 (2)
	地球進化科学	修士(理学)		63 (20) ※ 4
		修士(地球科学)		1
	構造生物科学	修士(理学)		36 (13)
		修士(生物科学)		3 (2) ※ 1
	情報生物科学	修士(理学)		98 (37)
		修士(生物科学)		8 (1)
	生命共存科学	修士(理学)		120 (44) ※ 10
		修士(農学)		29 (5) ※ 1
		修士(生命共存科学)		19 (6) ※ 6
		修士(学術)		1
	環境バイオマス共生学	修士(農学)	5 (2)	9 (5) ※ 1
		修士(理学)	6 (3) ※ 1	20 (7) ※ 2
		修士(学術)	1	1
	国際地縁技術開発科学	修士(農学)		54 (24) ※ 6
		修士(生物資源工学)		16 (4) ※ 7
修士(学術)			14 (7) ※ 3	
生物圏資源科学	修士(農学)		89 (31) ※ 15	
	修士(学術)		4 (3) ※ 1	
生物機能科学	修士(農学)		38 (12) ※ 1	
	修士(生物工学)		25 (5) ※ 2	
	修士(学術)		3	
人間総合科学	教育学	修士(教育学)		37 (20) ※ 8
	学校教育学	修士(教育学)		37 (13) ※ 4
	心理学	修士(心理学)		46 (20)
	心身障害学	修士(学術)		1
修士(心身障害学)			46 (24) ※ 4	

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計
人間総合科学	ヒューマン・ケア科学	修士(ヒューマン・ケア科学)		43 (40) ※ 10
		修士(教育学)		5 (4)
		修士(心理学)		51 (28) ※ 1
		修士(体育科学)		2 (1)
		修士(心身障害学)		1
	感性認知脳科学	修士(学術)		2 (1)
		修士(感性科学)		18 (7) ※ 8
		修士(行動科学)		28 (18) ※ 2
		修士(神経科学)		26 (11) ※ 1
	スポーツ医学	修士(スポーツ医学)		54 (15) ※ 16
	体育科学	修士(学術)		6 (3)
		修士(体育科学)		62 (11) ※ 9
	芸術学	修士(デザイン学)		17 (8) ※ 5
		修士(学術)		1
修士(芸術学)			36 (26) ※ 5	
哲学・思想	哲 学	文学修士		19 (1)
		修士(文学)		18 (3) ※ 1
	哲学・思想	修士(文学)		1
	倫理学	文学修士		20 (3) ※ 6
		修士(文学)		18 (4) ※ 2
		修士(学術)		5 ※ 4
	宗教学・比較思想学	文学修士		30 (9) ※ 7
		修士(文学)		20 (3) ※ 1
修士(学術)			3 (1)	
歴史・人類学	史 学	文学修士		88 (14) ※ 12
		修士(文学)		71 (23) ※ 2
		修士(学術)		10 (3) ※ 2
	文化人類学	文学修士		65 (16) ※ 10
		修士(文学)		48 (10) ※ 3
		修士(学術)		5 (3) ※ 2
文芸・言語	文 学	文学修士		20 (7) ※ 2
		修士(文学)		23 (11) ※ 7
		修士(学術)		1 (1) ※ 1
	各国文学	文学修士		107 (39) ※ 12
		修士(文学)		65 (22) ※ 4
		修士(学術)		10 (4) ※ 9
	言語学	文学修士		118 (24) ※ 16
		修士(言語学)		117 (56) ※ 36
		修士(学術)		5 (4) ※ 1
教育学	教育学	教育学修士		65 (4) ※ 4
	教育基礎学	教育学修士		29 (10) ※ 4
		修士(教育学)		64 (21) ※ 5
	学校教育学	教育学修士		37 (6) ※ 5
修士(教育学)		62 (18) ※ 11		
心理学	心理学	教育学修士		94 (19) ※ 6
		修士(心理学)		111 (48) ※ 9
心身障害学	心身障害学	教育学修士		71 (16) ※ 4
		修士(教育学)		23 (12) ※ 4
		修士(心身障害学)		48 (22) ※ 4
社会科学	法 学	法学修士		17 (5) ※ 2
		修士(法学)		35 (9) ※ 14
	経済学	経済学修士		12 ※ 2
		修士(経済学)		21 (7) ※ 7
	社会学	社会学修士		23 (6) ※ 8
修士(社会学)		37 (12) ※ 15		
計量計画学	経済学修士		2 (1)	
社会工学	計量計画学	学術修士		11 ※ 1
		修士(社会経済)		19 (2) ※ 7
	経営工学	学術修士		19 ※ 5
		修士(経営工学)		38 (8) ※ 15
	都市・地域計画学	学術修士		8 (1) ※ 1
		修士(都市・地域計画)		32 (5) ※ 12
社会経済システム	修士(社会経済)		7 ※ 1	

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計
社会工学	システム情報数理	修士(社会工学)		1
		修士(数理工学)		12 (1) ※ 3
	都市・環境システム	修士(社会工学)		12 (6)
		修士(都市・環境システム)		7 (1) ※ 1
	計量ファイナンス・マネジメント	修士(社会工学)		3
		修士(計量ファイナンス)		10 (2) ※ 2
		修士(経営学)		5 (2) ※ 3
国際政治経済学	国際政治経済学	修士(国際政治経済学)		52 (18) ※ 34
		修士(学術)		57 (24) ※ 33
生物科学	生物学	理学修士		52 (7) ※ 4
		修士(理学)		78 (27) ※ 1
		修士(生物科学)		6 (1)
	生物物理化学	理学修士		74 (16) ※ 2
		修士(理学)		113 (44) ※ 2
		修士(生物科学)		1 (1)
農 学	農林学	農学修士		64 (2) ※ 14
		修士(農学)		122 (29) ※ 18
	農林工学	農学修士		47 (1) ※ 8
		修士(農学)		80 (15) ※ 13
	応用生物化学	農学修士		112 (13) ※ 10
		修士(農学)		177 (51) ※ 12
数 学	数 学	理学修士		90 (2) ※ 2
		修士(理学)		76 (11) ※ 2
		修士(数学)		46 (5)
物理学	物理学	理学修士		178 (6) ※ 1
		修士(理学)		156 (9)
		修士(物理学)		54 (5)
化 学	化 学	理学修士		111 (13) ※ 4
		修士(理学)		117 (19) ※ 1
		修士(化学)		3 (1)
地球科学	地理学・水文学	理学修士		83 (5) ※ 15
		修士(理学)		79 (11) ※ 2
		修士(地球科学)		1
	地質学	理学修士		42 (6) ※ 6
		修士(理学)		74 (14) ※ 19
		修士(地球科学)		1
工 学	物理工学	工学修士		53
		修士(工学)		155 (4) ※ 1
	物質工学	工学修士		58 (4)
		修士(工学)		172 (10) ※ 2
	構造工学	工学修士		63 (1)
		修士(工学)		171 (7) ※ 3
知能機能工学	修士(工学)		101 (4) ※ 1	
電子・情報工学	工学修士		60 (1) ※ 2	
	修士(工学)		203 (11) ※ 9	
体育科学	体育科学	教育学修士		96 (11) ※ 23
		修士(体育科学)		118 (24) ※ 27
芸術学	芸術学	学術修士		34 (15) ※ 2
		修士(芸術学)		35 (22) ※ 5
		修士(デザイン学)		23 (9) ※ 9
計			50 (30) ※ 10	8,229 (1,933) ※ 977

(注) 1 () は女子を, ※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

2 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され, 単に「修士」とすることとされた。

(エ) 論文博士学位授与者

(平成28年3月31日現在)

	学位(専攻分野の名称)	本年度授与者数	累 計
平成3年6月までの 学位授与数	文学博士		72 (4) ※ 11
	教育学博士		86 (13) ※ 12
	法学博士		1
	経済学博士		2
	社会学博士		2 (1) ※ 1
	理学博士		290 (19) ※ 11
	農学博士		67 (1) ※ 6
	工学博士		33 (1)
	学術博士		22 (1) ※ 3
	医学博士		122 (13) ※ 1
平成3年7月以降の 学位授与数	博士(文学)	2	219 (41) ※ 19
	博士(言語学)	2	66 (15) ※ 8
	博士(国際日本研究)		1 (0) ※ 1
	博士(教育学)	1 (1)	103 (16) ※ 8
	博士(心理学)	1	77 (27) ※ 3
	博士(心身障害学)		27 (9) ※ 1
	博士(法学)	2 (1)	23 (3) ※ 4
	博士(政治学)		2 (1) ※ 1
	博士(経済学)		11 (1)
	博士(社会学)		23 (9) ※ 2
	博士(経営学)	1 (1)	7 (2)
	博士(社会工学)	1 ※ 1	3 ※ 1
	博士(社会経済)		10 ※ 1
	博士(経営工学)		6 (1) ※ 1
	博士(数理工学)		1 ※ 1
	博士(都市・地域計画)		4 (1) ※ 2
	博士(ファイナンス)		1
	博士(システムズ・マネジメント)		5 (1)
	博士(国際政治経済学)		15 (10) ※ 7
	博士(理学)	2	273 (43) ※ 20
	博士(生物科学)	1 (1)	5 (2)
	博士(数学)		8 (2)
	博士(物理学)		1
	博士(化学)		2 (1)
	博士(地球科学)		1 ※ 1
	博士(農学)	4	212 (28) ※ 22
	博士(生物資源工学)		4 ※ 1
	博士(生物工学)	1	18 (6) ※ 4
	博士(工学)	2 (1) ※ 1	301 (23) ※ 35
	博士(生命共存科学)		1
	博士(感性科学)		9 (3) ※ 1
	博士(障害科学)	2 (1)	5 (1)
	博士(行動科学)		8 (3)
	博士(神経科学)	1	5 (1)
	博士(リハビリテーション科学)	1	2 (1)
	博士(スポーツ医学)	1 (1)	10 (3)
	博士(医学)	6 (1)	376 (64) ※ 6
	博士(看護科学)		1 (0)
	博士(体育科学)	1	101 (8) ※ 7
	博士(ヒューマン・ケア科学)	1 (1)	5 (5)
	博士(芸術学)	1 (1)	32 (6) ※ 1
博士(世界遺産学)		1	
博士(コーチング学)	1	6	
博士(デザイン学)		18 (6) ※ 2	
博士(学術)	6 (2) ※ 1	72 (22) ※ 10	
博士(図書館情報学)		4 (1) ※ 2	
博士(情報学)		7 (0) ※ 1	
計	41 (12) ※ 3	2,789 (419) ※ 218	

(注) 1 () は女子を, ※は外国人をそれぞれ内数で示す。

2 平成3年7月以降の学位についてその種類が廃止され, 単に「博士」とすることとされた。

(オ) 専門職課程修了者

(平成28年3月31日現在)

研究科	専攻	学位(専攻分野の名称)	本年度修了者数	累 計
ビジネス科学	国際経営プロフェッショナル	国際経営修士(専門職)	30 (14) ※ 1	299 (107) ※ 47
	法曹(法科大学院)	法務博士(専門職)	27 (7)	263 (58)
計			57 (21) ※ 1	562 (165) ※ 47

(注) 1 ()は女子を, ※は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。

(5) 平成27年度特別支援学校教員資格認定試験

科目	受験者数	第1次試験 合格者数	第2次試験 合格者数	合格率
視覚障害教育	49 [7]	16 [7]	2	4.1%
言語障害教育	146 [23]	59 [23]	12	8.2%
合 計	195 [30]	75 [30]	14	7.2%

(注) 1. []は、第1次試験免除者を内数で示す。

2. 試験日程等は、次のとおりである。

第1次試験 8月9日(日)

場所 東京キャンパス文京校舎

第2次試験 10月4日(日)

場所 東京キャンパス文京校舎

最終合格発表 11月20日(金)

官報で公告

(6) 学生の身分異動

ア 学群

学群・学類		休学	退学	除籍	計
文化学群 人文・ 学群	人文学類	19 (11)	10 (3)		29 (14)
	比較文化学類	16 (11)	1		17 (11)
	日本語・日本文化学類	7 (5)	1 (1)		8 (6)
社会学群 国際・ 学群	社会学類	18 (6)	2	1	21 (6)
	国際総合学類	21 (9)		1	22 (9)
人間学群	教育学類	5			5 (0)
	心理学類	5 (1)	2 (1)		7 (2)
	障害科学類	3 (1)	1 (1)		4 (2)
生命環境学群	生物学類	18 (5)	8 (1)	1 (1)	27 (7)
	生物資源学類	17 (9)	8 (5)		25 (14)
	地球学類	4 (2)	3 (1)		7 (3)
理工学群	数学類	10 (1)	4		14 (1)
	物理学類	7	3 (1)	1	11 (1)
	化学類		1		1 (0)
	応用理工学類	9	4 (1)	1	14 (1)
	工学システム学類	21 (2)	5		26 (2)
	社会工学類	21 (6)	4 (1)		25 (7)
情報学群	情報科学類	17 (1)	5	1	23 (1)
	情報メディア創成学類	11 (1)	3		14 (1)
	知識情報・図書館学類	12 (2)	7 (2)	2 (1)	21 (5)
医学群	医学類	21 (4)			21 (4)
	看護学類	7 (7)	3 (3)		10 (10)
	医療科学類	6 (4)	5 (3)		11 (7)
体育専門学群		29 (5)	8 (4)		37 (9)
芸術専門学群		21 (12)	4 (3)		25 (15)
第一学群	人文学類				0 (0)
	社会学類				0 (0)
	自然科学類				0 (0)
第二学群	比較文化学類				0 (0)
	日本語・日本文化学類				0 (0)
	人間学類				0 (0)
	生物学類				0 (0)
	生物資源学類				0 (0)
第三学群	社会工学類				0 (0)
	国際総合学類				0 (0)
	情報学類				0 (0)
	工学システム学類				0 (0)
	工学基礎学類				0 (0)
医学専門学群					0 (0)
医学専門学群	医学類				0 (0)
	看護・医療科学類				0 (0)
図書館情報専門学群					0 (0)
学群計		325 (105)	92 (31)	8 (2)	425 (138)

(注) () は女子を内数で示す。

イ 大学院

所 属		休学	退学	除籍	計
教育研究科	修士課程	17 (8)	6 (2)	1	24 (10)
人文社会科学研究科	一貫制博士課程	57 (27)	33 (18)		90 (45)
	修士課程	2 (2)			2 (2)
	博士前期課程	24 (16)	6 (5)	1	31 (21)
	博士後期課程	37 (20)	20 (12)	1 (1)	58 (33)
ビジネス科学研究科	博士前期課程	40 (6)	6		46 (6)
	博士後期課程	72 (19)	18 (4)	1 (1)	91 (24)
	専門職学位課程	37 (11)	15 (4)	2 (1)	54 (16)
数理物質科学研究科	一貫制博士課程				0 (0)
	博士前期課程	17 (3)	19 (2)	2	38 (5)
	博士後期課程	16 (3)	15 (4)		31 (7)
	3年制博士課程	1 (1)	1		2 (1)
システム情報工学研究科	一貫制博士課程				0 (0)
	博士前期課程	29 (7)	25 (4)	1	55 (11)
	博士後期課程	35 (7)	19 (4)	1 (1)	55 (12)
生命環境科学研究科	一貫制博士課程	5 (1)	9 (4)		14 (5)
	博士前期課程	17 (8)	18 (7)	1 (1)	36 (16)
	博士後期課程	54 (19)	27 (9)	2 (2)	83 (30)
	3年制博士課程	5 (2)	1		6 (2)
人間総合科学研究科	一貫制博士課程	37 (17)	11 (2)		48 (19)
	修士課程	16 (5)	2		18 (5)
	博士前期課程	54 (23)	15 (8)	3	72 (31)
	博士後期課程	134 (69)	42 (17)		176 (86)
	3年制博士課程	66 (30)	15 (4)	1	82 (34)
図書館情報メディア研究科	博士前期課程	7 (3)	4		11 (3)
	博士後期課程	22 (8)	8 (6)	2	32 (14)
グローバル教育院	一貫制博士課程	1 (1)	2 (2)		3 (3)
大学院計		802 (316)	337 (118)	19 (7)	1158 (441)

(注) () は女子を内数で示す。

(7) 入学者選抜

ア 学群

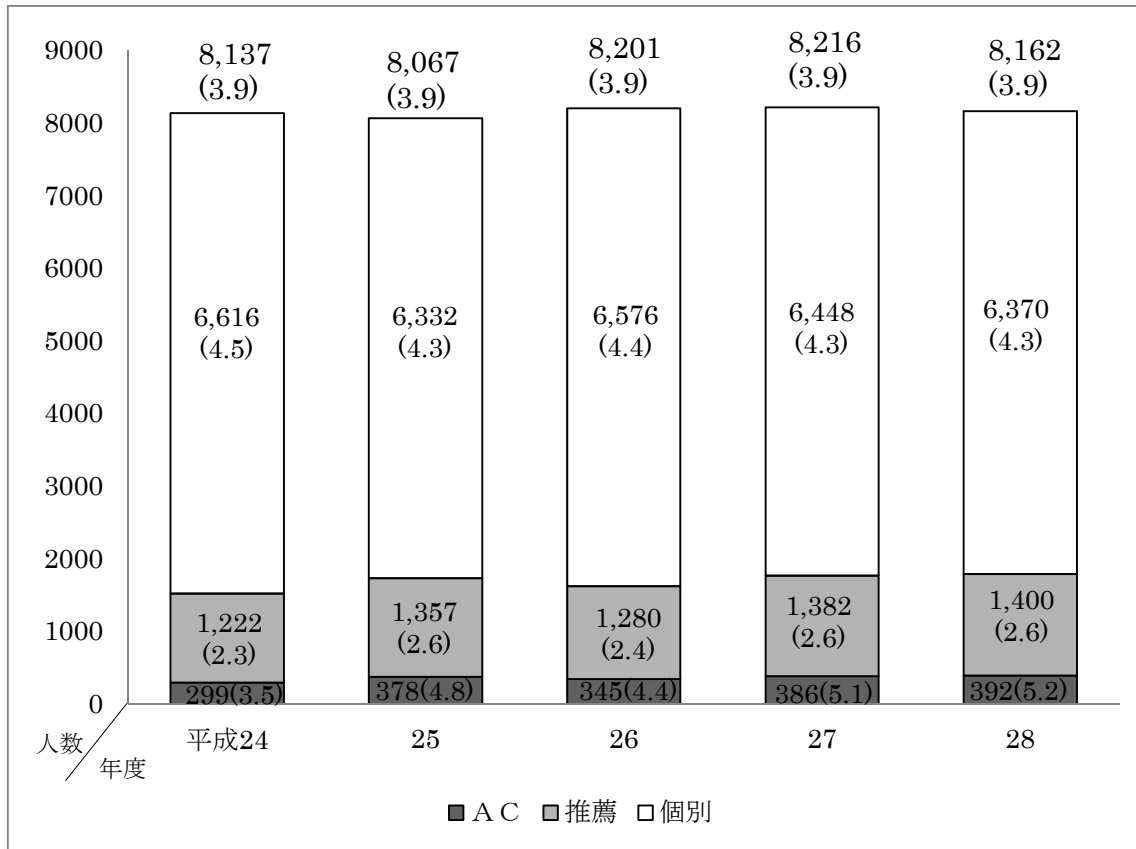
(ア) 平成28年度入学者選抜(4月入学)

平成28年4月1日現在

学群・学類	入学定員	アドミッションセンター入試 (国際科学オリンピック特別入試、 国際バカロレア特別入試を含む)				推薦入試 (帰国生徒特別入試(体育、芸術)を含む)				個別学力検査等 (前期日程・後期日程)				私費外国人留学生入試			合格者 数計	入学者数計	
		募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数	募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数	志願 者数	合格 者数	入学 者数			
人文・文化学群	人文学類	120	(5)	(1)	(1)	28	(38)	(22)	(22)	87	(217)	(52)	(49)	(1)	(1)	(1)	(76)	(73)	#(0)
	比較文化学類	80	(24)	(3)	(3)	20	(29)	(18)	(18)	55	(139)	(39)	(37)	(1)	(1)	(0)	(61)	(58)	#(2)
	日本語・ 日本文化学類	40	(9)	(1)	(0)	10	(30)	(11)	(11)	27	(65)	(24)	(22)	(1)	(0)	(0)	(36)	(33)	#(1)
	計	240	(38)	(5)	(4)	58	(97)	(51)	(51)	169	(421)	(115)	(108)	(3)	(2)	(1)	(173)	(164)	#(3)
社会・国際学群	社会学類	80	(0)	(0)	(0)	16	(21)	(12)	(12)	64	(119)	(17)	(15)	(3)	(2)	(1)	(31)	(28)	
	国際総合学類	80	(2)	(1)	(0)	20	(32)	(19)	(19)	60	(73)	(26)	(25)	(3)	(1)	(1)	(47)	(45)	#(0)
	計	160	(2)	(1)	(0)	36	(53)	(31)	(31)	124	(192)	(43)	(40)	(6)	(3)	(2)	(78)	(73)	#(0)
人間学群	教育学類	35	(1)	(0)	(0)	7	(13)	(6)	(6)	28	(35)	(14)	(13)	(2)	(0)	(0)	(20)	(19)	
	心理学類	50	(0)	(0)	(0)	12	(29)	(10)	(10)	38	(95)	(22)	(20)	(7)	(0)	(0)	(32)	(30)	
	障害科学類	35	(0)	(0)	(0)	15	(29)	(13)	(13)	20	(43)	(10)	(9)	(2)	(2)	(2)	(25)	(24)	
	計	120	(1)	(0)	(0)	34	(71)	(29)	(29)	86	(173)	(46)	(42)	(11)	(2)	(2)	(77)	(73)	
生命環境学群	生物学類	80	(10)	(2)	(2)	15	(21)	(10)	(10)	57	(81)	(29)	(28)	(2)	(1)	(1)	(42)	(41)	#(0)
	生物資源学類	120	(3)	(1)	(1)	33	(51)	(26)	(26)	83	(180)	(46)	(46)	(1)	(1)	(1)	(74)	(74)	
	地球学類	50	(4)	(1)	(1)	10	(7)	(5)	(5)	38	(43)	(9)	(9)	(0)	(0)	(0)	(15)	(15)	
	計	250	(17)	(4)	(4)	58	(79)	(41)	(41)	178	(304)	(84)	(83)	(3)	(2)	(2)	(131)	(130)	#(0)
理工学群	数学類	40	(0)	(0)	(0)	10	(6)	(2)	(2)	28	(9)	(4)	(4)	(0)	(0)	(0)	(6)	(6)	
	物理学類	60	(3)	(0)	(0)	15	(9)	(3)	(3)	43	(28)	(3)	(3)	(0)	(0)	(0)	(6)	(6)	#(0)
	化学類	50	(1)	(0)	(0)	13	(9)	(5)	(5)	35	(33)	(13)	(12)	(4)	(0)	(0)	(18)	(17)	#(1)
	応用理工学類	120	(0)	(0)	(0)	16	(5)	(4)	(4)	104	(47)	(16)	(16)	(0)	(0)	(0)	(20)	(20)	#(1)
	工学システム 学類	130	(2)	(0)	(0)	20	(11)	(3)	(3)	102	(54)	(14)	(11)	(5)	(0)	(0)	(17)	(14)	#(0)
	社会工学類	120	(1)	(0)	(0)	20	(12)	(9)	(9)	95	(102)	(25)	(22)	(2)	(1)	(0)	(35)	(31)	
	計	520	(7)	(0)	(0)	94	(52)	(26)	(26)	407	(273)	(75)	(68)	(11)	(1)	(0)	(102)	(94)	#(2)
情報学群	情報科学類	80	(1)	(1)	(1)	10	(2)	(0)	(0)	62	(22)	(7)	(7)	(2)	(0)	(0)	(8)	(8)	
	情報メディア 創成学類	50	(3)	(1)	(1)	8	(9)	(4)	(4)	38	(60)	(15)	(15)	(0)	(0)	(0)	(20)	(20)	
	知識情報・ 図書館学類	100	(14)	(5)	(5)	20	(34)	(17)	(17)	75	(130)	(43)	(41)	(2)	(2)	(2)	(67)	(65)	
	計	230	(18)	(7)	(7)	38	(45)	(21)	(21)	175	(212)	(65)	(63)	(4)	(2)	(2)	(95)	(93)	
医学群	医学類	135	(4)	(1)	(1)	58	(140)	(25)	(25)	77	(141)	(28)	(28)	(1)	(0)	(0)	(54)	(54)	
	看護学類	70	(0)	(0)	(0)	25	(74)	(25)	(25)	45	(100)	(48)	(45)	(0)	(0)	(0)	(73)	(70)	
	医療科学類	37	(1)	(1)	(1)	12	(28)	(11)	(11)	25	(64)	(20)	(17)	(0)	(0)	(0)	(32)	(29)	
	計	242	(5)	(2)	(2)	95	(242)	(61)	(61)	147	(305)	(96)	(90)	(1)	(0)	(0)	(159)	(153)	
体育専門学群	240	(43)	(6)	(6)	84	(57)	(36)	(36)	148	(130)	(34)	(34)	(1)	(0)	(0)	(76)	(76)		
芸術専門学群	100	(42)	(3)	(3)	35	(124)	(32)	(31)	60	(279)	(56)	(54)	(0)	(0)	(0)	(91)	(88)	#(1)	
合計	2,102	(173)	(28)	(26)	532	(820)	(328)	(327)	1,494	(2,289)	(614)	(582)	(40)	(12)	(9)	(982)	(944)	#(6)	
前年度合計	2,094	(183)	(31)	(31)	532	(767)	(294)	(294)	1,495	(2,221)	(593)	(549)	(45)	(11)	(5)	(929)	(879)	#(3)	

(注)1. () 内は、女子を内数で、入学者数計欄中#は国費、外国政府派遣または日韓共同理工系留学生を外数で示す。
2. アドミッションセンター入試とは、書類選考と面接・口述試験によって、多面的・総合的に評価する自己推薦型の入試である。

〔志願者数の推移〕



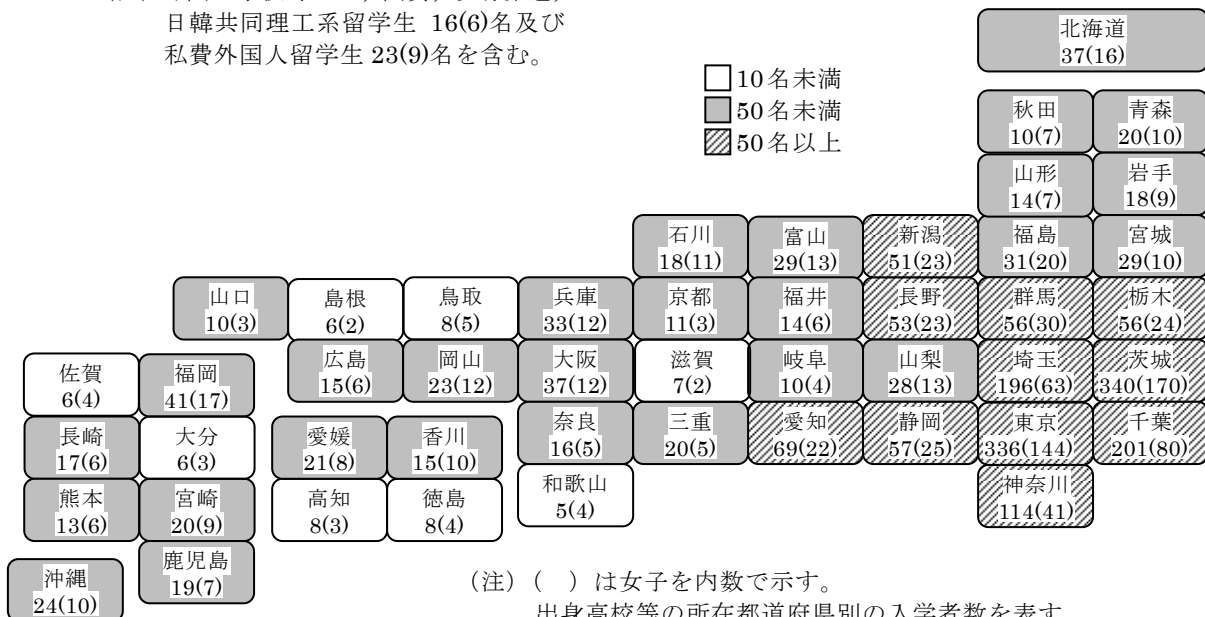
(注) () は、志願倍率を示す。
私費外国人留学生入試を除く。

〔平成 28 年度都道府県等別入学者数〕

平成 28 年 4 月 1 日現在

高卒認定試験	4(0)
外国の学校等	47(21)

(注) 外国の学校等には、国費、政府派遣、日韓共同理工系留学生 16(6)名及び私費外国人留学生 23(9)名を含む。



(注) () は女子を内数で示す。
出身高校等の所在都道府県別の入学者数を表す。

(イ)平成27年度入学者選抜(秋学期入学)

平成27年10月1日現在

学群・学類	帰国生徒特別入試(10月入学)			学群英語コース入試			
	志願者数	合格者数	入学者数	志願者数	合格者数	入学者数	
人文・文化学群	人文学類	(1)	(0)	(0)			
		2	0	0			
	比較文化学類	(2)	(2)	(2)			
	日本語・日本文化学類	(2)	(0)	(0)			
	計	5	2	2			
社会学群・国際	社会学類	(0)	(0)	(0)	(14)	(6)	(4)
		5	1	1	40	13	8
	国際総合学類	(5)	(3)	(2)	(25)	(8)	(3)
	計	5	4	3	45	12	4
人間学群	教育学類	(2)	(0)	(0)			
		3	0	0			
	心理学類	(1)	(0)	(0)			
	障害科学類	(0)	(0)	(0)			
	0	0	0				
	3	0	0				
	4	0	0				
生命環境学群	生物学類	(1)	(1)	(1)	(24)	(13)	(7)
		1	1	1	45	21	12
	生物資源学類	(2)	(1)	(1)	(9)	(8)	(7)
		3	2	2	18	11	9
地球学類	(0)	(0)	(0)	(6)	(2)	(2)	
	2	1	1	16	5	4	
計	3	2	2	39	23	16	
	6	4	4	79	37	25	
理工学群	数学類	(0)	(0)	(0)			
		1	0	0			
	物理学類						
	化学類	(1)	(0)	(0)			
		5	0	0			
	応用理工学類						
	工学システム学類						
社会工学類							
計	1	0	0				
	6	0	0				
情報学群	情報科学類						
	情報メディア創成学類						
	知識情報・図書館学類						
	計						
医学群	医学類						
	看護学類						
	医療科学類				(2)	(1)	(0)
	計				5	2	1
				(2)	(1)	(0)	
				5	2	1	
体育専門学群							
芸術専門学群							
合 計	(17)	(7)	(6)	(80)	(38)	(23)	
	35	11	10	169	64	38	
前年度合計	(14)	(6)	(6)	(70)	(37)	(27)	
	20	8	8	134	63	44	

(注)1. ()内は、女子を内数で示す。

2. 帰国生徒特別入試とは、海外帰国生徒(海外で2年以上継続在学)の学校推薦入試選抜を行うものである。(旧第2学期推薦入試)

3. 学群英語コース入試とは、英語で授業を受け学位が取得できるコースの入試である。

(入学時期は平成27年9月入学、生命環境学群生物学類の志願者数、合格者数、入学者数に編入学2(2)名が含まれる、医学群医療科学類のみ第3年次編入学)

(ウ) 編入学

平成28年4月1日現在

学群・学類		募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数
人文・文化学群	人文学類				
	比較文化学類 日本語・ 日本文化学類				
	計				
	社会学類	10	(29) 84	(5) 11	(5) 11
社会・国際学群	国際総合学類				
	計		(29) 84	(5) 11	(5) 11
人間学群	教育学類				
	心理学類				
	障害科学類				
	計				
生命環境学群	生物学類	若干名	(8) 12	(2) 4	(2) 4
	生物資源学類	10	(15) 38	(4) 12	(3) 11
	地球学類	若干名	(3) 9	(0) 1	(0) 1
	計		(26) 59	(6) 17	(5) 16
理工学群	数学類	若干名	(0) 2	(0) 0	(0) 0
	物理学類	若干名	(2) 19	(0) 3	(0) 2
	化学類	若干名	(2) 6	(0) 1	(0) 0
	応用理工学類	10	(7) 54	(1) 23	(1) 13
	工学システム学類	若干名	(2) 70	(0) 6	(0) 2
	社会工学類	若干名	(3) 17	(0) 4	(0) 3
	計		(16) 168	(1) 37	(1) 20
	情報科学類 (単願)	10	(2) 31	(1) 7	(1) 6
情報科学類 (併願 第1志望)	(2) 75		(0) 17	(0) 10	
情報科学類 (併願 第2志望)	(0) 1		(0) 1	(0) 1	
情報メディア創成学類 (単願)	(5) 34		(1) 6	(1) 4	
情報メディア創成学類 (併願 第1志望)	(2) 22		(0) 3	(0) 2	
情報メディア創成学類 (併願 第2志望)	(0) 10		(0) 10	(0) 10	
知識情報・図書館学類	10		(19) 37	(5) 14	(4) 13
計		(30) 199	(7) 58	(6) 46	
医学群	医学類	5	(34) 149	(0) 7	(0) 5
	看護学類	10	(22) 25	(10) 10	(10) 10
	医療科学類	3	(4) 9	(2) 3	(2) 3
	計		(60) 183	(12) 20	(12) 18
体育専門学群					
芸術専門学群					
合計		(161) 693	(31) 143	(29) 111	
前年度合計		(180) 690	(37) 157	(32) 121	

(注)1. ()内は、女子を内数で示す。

2. 編入学とは、大学等に2年以上在学した者で、2年又は3年次に入学するものである。

(エ) 学士再入学

平成28年4月1日現在

学群・学類		募集 人員	志願 者数	合格 者数	入学 者数
人文・文化学群	人文学類				
	比較文化学類 日本語・ 日本文化学類				
	計				
	社会学類				
社会・国際学群	国際総合学類				
	計				
人間学群	教育学類				
	心理学類	若干名	(0) 1	(0) 0	(0) 0
	障害科学類				
	計		(0) 1	(0) 0	(0) 0
生命環境学群	生物学類				
	生物資源学類				
	地球学類				
	計				
理工学群	数学類				
	物理学類				
	化学類				
	応用理工学類				
	工学システム学類				
	社会工学類				
計					
情報学群	情報科学類 情報IT 創成学類				
	知識情報・ 図書館学類				
	計				
	医学群				
医学群	医学類				
	看護学類				
	医療科学類				
計					
体育専門学群					
芸術専門学群					
合計		(0) 1	(0) 0	(0) 0	
前年度合計		(3) 3	(2) 2	(2) 2	

(注)1. ()内は、女子を内数で示す。

2. 学士再入学とは、本学を卒業した者で、学力試験、実技試験等で選抜する入試である。

イ 大学院

(ア)平成28年度大学院入学者選抜

平成28年4月1日現在

平成28年度大学院入学者数（課程別）

課程	定員	志願者数	女子内数		外国人留学生内数		受験者数	女子内数		外国人留学生内数		合格者数	女子内数		外国人留学生内数		辞退者数	入学者数	女子内数		外国人留学生内数	
			女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数		女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数		女子内数	外国人留学生内数								
修士課程	215	331	138	31	301	128	28	222	99	21	29	193	87	20								
博士前期課程	1,436 [40]	2,526 [51]	879	520	2,430 [49]	846	524	1,717 [33]	566	333	136 [4]	1,581 [28]	539	322								
専門職学位課程	66	211	56	4	198	55	4	83	27	2	16	67	20	2								
一貫制博士課程	59 [1]	102 [0]	40	32	98 [0]	39	30	65 [0]	27	16	7 [0]	58 [0]	25	14								
一貫制博士課程(3年次編入)		9 [0]	3	8	9 [0]	3	8	8 [0]	3	7	0 [0]	8 [0]	3	7								
博士後期課程	507 [40]	452 [20]	140	98	446 [20]	138	97	373 [19]	114	86	12 [0]	361 [19]	110	80								
3年制博士課程	51 [15]	90 [17]	41	18	89 [17]	40	17	67 [13]	33	11	0 [0]	67 [13]	33	11								
医学を履修する博士課程	62 [0]	69 [0]	25	10	68 [0]	24	10	67 [0]	24	10	3 [0]	64 [0]	21	8								
合計	2,396 [96]	3,790 [88]	1,322	721	3,639 [86]	1,273	718	2,602 [65]	893	486	203 [4]	2,399 [60]	838	464								

注)1.[]内は、連携大学院方式を内数で示す。

- デュアルディグリー、ダブルメジャー等の該当者は、主専攻のみカウントする。ただし、海外協定校との場合は本学を副専攻としていてもカウントする。
- 特別プログラム等の対象者は除く。

平成28年4月1日現在

平成28年度大学院入学者数（研究科別）

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子内数		外国人留学生内数		受験者数	女子内数		外国人留学生内数		合格者数	女子内数		外国人留学生内数		辞退者数	入学者数	女子内数		外国人留学生内数	
					女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数		女子内数	外国人留学生内数	女子内数	外国人留学生内数		女子内数	外国人留学生内数								
教育	修士	スクールリーダーシップ開発	20	27	14	3	22	11	1	16	9	1	1	15	9	1								
		社会人特別選抜		9	4	0	9	4	0	6	3	0	0	6	3	0								
		教科教育	80	94	28	1	84	27	1	70	23	0	14	56	18	0								
		社会人特別選抜		7	4	0	7	4	0	6	3	0	0	6	3	0								
計		100	137	50	4	122	46	2	98	38	1	15	83	33	1									

人文社会科学	一貫制	哲学・思想	6	13	8	4	12	8	4	12	8	4	0	12	8	4
		歴史・人類学	12	26	7	4	25	7	4	13	5	1	1	12	4	1
		文芸・言語	20	27	15	13	26	14	12	17	7	4	3	14	7	4
	小計	38	66	30	21	63	29	20	42	20	9	4	38	19	9	
	一貫制(3年次編入)	哲学・思想	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		歴史・人類学	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		文芸・言語	若干名	3	1	3	3	1	3	3	1	3	0	3	1	3
	小計	3	3	1	3	3	1	3	3	1	3	0	3	1	3	
	修士	国際地域研究	36	21	11	12	20	11	11	17	10	10	2	15	9	10
		小計	36	21	11	12	20	11	11	17	10	10	2	15	9	10
	博士前期	現代語・現代文化	10	13	9	3	13	9	3	7	5	1	1	6	5	1
		国際公共政策	15	40	19	14	37	18	13	19	12	5	0	19	12	5
		国際日本研究	25	119	92	111	118	92	110	49	36	42	1	48	35	41
		社会人特別選抜	若干名	6	4	2	6	4	2	5	3	1	0	5	3	1
	小計	50	178	124	130	174	123	128	80	56	49	2	78	55	48	
	博士後期	現代語・現代文化	8	8	2	1	8	2	1	5	0	0	1	4	0	0
		国際公共政策	10	4	1	3	4	1	3	2	1	1	0	2	1	1
		国際日本研究	19	15	8	11	15	8	11	13	8	10	0	13	8	10
		社会人特別選抜	若干名	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
	小計	37	28	12	15	28	12	15	21	10	11	1	20	10	11	
計		161	296	178	181	288	176	177	163	97	82	9	154	94	81	

注)1. 教育研究科の定員には、現職教員1年制プログラムを含む。

- 修士課程国際地域研究専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
- 博士前期課程国際日本研究専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。

ビジネス科学	博士前期	※経営システム科学	30	103	25	0	101	25	0	35	10	0	5	30	8	0
		※企業法学	30	64	19	0	64	19	0	36	13	0	2	34	11	0
	小計	60	167	44	0	165	44	0	71	23	0	7	64	19	0	
	博士後期	※企業科学	23	46	9	0	46	9	0	21	6	0	1	20	6	0
		小計	23	46	9	0	46	9	0	21	6	0	1	20	6	0
	専門職学位	※法曹	36	124	26	1	111	25	1	48	11	1	13	35	5	1
※国際経営プロフェッショナル		30	87	30	3	87	30	3	35	16	1	3	32	15	1	
小計	66	211	56	4	198	55	4	83	27	2	16	67	20	2		
計		149	424	109	4	409	108	4	175	56	2	24	151	45	2	

注)1. ※は、専ら夜間において教育を行う課程。

- 専門職学位課程法曹専攻の再入学者1名は除く。

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子内数	外国人留学生内数	受験者数	女子内数	外国人留学生内数	合格者数	女子内数	外国人留学生内数	辞退者数	入学者数	女子内数	外国人留学生内数					
数理物質科学	博士前期	数学	26	29	2	2	27	2	2	18	1	1	2	16	0	1					
		社会人特別選抜	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		物理学	48	[4]	130	11	1	118	8	1	87	6	1	24	63	6	1				
		社会人特別選抜	2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		化学	46	[3]	76	[3]	28	7	75	[3]	28	7	54	[0]	17	2	3	51	[0]	15	2
		社会人特別選抜	2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電子・物理工学	52	[1]	102	[1]	6	18	96	[1]	5	16	72	[1]	4	10	8	64	[1]	3	10
		社会人特別選抜	2		1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		物性・分子工学	59	[1]	84	[1]	14	16	81	[1]	14	16	74	[1]	13	14	6	68	[1]	13	12
		社会人特別選抜	2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	240	[9]	422	[4]	61	45	398	[4]	57	43	305	[1]	41	28	43	[0]	262	[1]	37	26
	博士後期	数学	12		6	0	0	6	0	0	4	0	0	0	4	0	0				
		社会人特別選抜	若干名		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
		物理学	20	[2]	12	[1]	0	3	12	[1]	0	3	12	[1]	0	3	0	12	[1]	0	3
		社会人特別選抜	若干名		2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0				
		化学	16	[2]	5	0	0	5	0	0	5	0	0	0	5	0	0				
		社会人特別選抜	若干名		5	0	0	5	0	0	5	0	0	0	5	0	0				
		ナノサイエンス・ナノテクノロジー	25	[3]	9	1	3	9	1	3	9	1	3	0	9	1	3				
		社会人特別選抜	若干名		3	[1]	1	0	3	[1]	1	0	3	[1]	1	0	3	[1]	1	0	
		電子・物理工学	16	[1]	10	[1]	2	6	10	[1]	2	6	10	[1]	2	6	1	9	[1]	2	5
		社会人特別選抜	若干名		7	0	1	7	0	1	7	0	1	0	7	0	1				
	物性・分子工学	13	[1]	11	0	6	11	0	6	11	0	6	1	10	0	5					
	社会人特別選抜	若干名		2	[1]	0	0	2	[1]	0	0	2	[1]	0	0	2	[1]	0	0		
	小計	102	[9]	72	[4]	4	19	72	[4]	4	19	70	[4]	4	19	2	[0]	68	[4]	4	17
	3年制博士	物質・材料工学	9	[9]	12	[12]	4	9	12	[12]	4	9	8	[8]	3	5	0	8	[8]	3	5
		社会人特別選抜	若干名		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	小計	9	[9]	12	[12]	4	9	12	[12]	4	9	8	[8]	3	5	0	0	8	[8]	3	5
計	351	[27]	506	[20]	69	73	482	[20]	65	71	383	[13]	48	52	45	[0]	338	[13]	44	48	

注)1. []内は、連携大学院方式を内数で示す。

2. 博士後期課程電子・物理工学専攻には、海外協定校(仏)とのデュアルディグリープログラムによる志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を含む。

システム情報工学	博士前期	社会工学	98	[3]	157	74	48	147	61	69	122	50	48	15	107	47	45					
		社会人特別選抜	10		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1				
		リスク工学	28		45	7	9	41	6	9	40	6	8	5	35	6	8					
		社会人特別選抜	2		1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0					
		コンピュータサイエンス	111	[2]	193	[10]	23	58	181	[10]	22	52	149	[6]	18	39	9	[1]	140	[5]	16	38
		社会人特別選抜	2		6	[1]	1	3	6	[1]	1	3	5	[1]	0	3	0	5	[1]	0	3	
		知能機能システム	106	[4]	144	[3]	9	24	137	[2]	7	23	125	[1]	7	16	9	[0]	116	[1]	7	16
		社会人特別選抜	2		6	[1]	1	4	6	[1]	1	4	4	[0]	1	4	0	[0]	4	[0]	1	4
		構造エネルギー工学	66	[2]	134	[12]	11	12	127	[11]	11	12	102	[9]	11	5	17	[3]	85	[6]	10	4
		社会人特別選抜	2		1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
	小計	427	[11]	688	[27]	127	160	648	[25]	110	174	550	[17]	94	125	55	[4]	495	[13]	88	120	
	博士後期	社会工学	21	[3]	9	7	5	9	7	5	9	7	5	2	7	6	4					
		社会人特別選抜	5		11	[1]	3	0	11	[1]	3	0	11	[1]	3	0	0	[0]	11	[1]	3	0
		リスク工学	10		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
		社会人特別選抜	2		10	1	0	10	1	0	10	1	0	0	10	1	0					
		コンピュータサイエンス	24	[2]	9	0	5	9	0	5	9	0	5	2	7	0	3					
		社会人特別選抜	4		8	[1]	1	0	7	[1]	0	0	7	[1]	0	0	0	[0]	7	[1]	0	0
		知能機能システム	22	[4]	12	[1]	2	5	12	[1]	2	5	8	[0]	1	2	0	[0]	8	[0]	1	2
		社会人特別選抜	2		6	1	0	5	0	0	4	0	0	0	4	0	0					
		構造エネルギー工学	14	[2]	8	[1]	0	2	8	[1]	0	2	8	[1]	0	2	0	[0]	8	[1]	0	2
社会人特別選抜		2		6	2	0	6	2	0	6	2	0	0	6	2	0						
小計	106	[11]	79	[4]	17	17	77	[4]	15	17	72	[3]	14	14	4	[0]	68	[3]	13	11		
計	533	[22]	767	[31]	144	177	725	[29]	125	191	622	[20]	108	139	59	[4]	563	[16]	101	131		

注)1. []内は、連携大学院方式を内数で示す。

2. 博士前期及び博士後期課程知能機能システム専攻には、エンパワメント情報学プログラム5名を除く。

	一貫制	環境バイオマス共生学	21	[1]	15	1	2	15	1	2	12	1	2	1	11	1	2				
	小計	21	[1]	15	[0]	1	2	15	[0]	1	2	12	[0]	1	2	1	[0]	11	[0]	1	2
	一貫制 (3年次編入)	環境バイオマス共生学	若干名		1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1				
		社会人特別選抜	若干名		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
小計	1	[0]	1	1	1	[0]	1	1	1	[0]	1	1	0	[0]	1	[0]	1	1			

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	受験者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	合格者数	女子 内数	外国人 留学生 内数	辞退者数	入学者数	女子 内数	外国人 留学生 内数
生命環境科学	博士前期	地球科学	39 [3]	53 [6]	15	10	51 [6]	14	10	43 [4]	12	8	2	41 [3]	12	8
		生物科学	47 [6]	58 [5]	30	6	56 [5]	28	6	47 [3]	25	5	0 [0]	47 [3]	25	5
		社会人特別選抜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		生物資源科学	92 [8]	125 [2]	65	16	125 [2]	65	16	121 [2]	62	15	5 [0]	116 [2]	58	15
		社会人特別選抜	14	6	3	1	5	3	1	5	3	1	0	5	3	1
		環境科学	74 [2]	61 [2]	28	28	57 [2]	28	25	51 [2]	25	22	7 [0]	44 [2]	21	20
		社会人特別選抜	10	4	1	1	4	1	1	3	1	0	0	3	1	0
	小計		278 [19]	307 [15]	142	62	298 [15]	139	59	270 [11]	128	51	14 [0]	256 [10]	120	49
	博士後期	地球環境科学	11 [2]	12	4	5	12	4	5	12	4	5	0	12	4	5
		地球進化科学	8 [1]	3 [1]	0	0	3 [1]	0	0	3 [1]	0	0	0 [0]	3 [1]	0	0
		社会人特別選抜	若干名	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
		生物科学	26 [6]	13 [7]	7	5	13 [7]	7	5	12 [7]	7	5	2 [0]	10 [7]	5	5
		社会人特別選抜	若干名	6	2	0	6	2	0	6	2	0	0	6	2	0
		国際地縁技術開発科学	18 [3]	2	0	1	2	0	1	2	0	1	0	2	0	1
		社会人特別選抜	4	4 [2]	2	0	4 [2]	2	0	4 [2]	2	0	0	4 [2]	2	0
		生物圏資源科学	16 [2]	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0
		社会人特別選抜	4	5	0	0	5	0	0	5	0	0	0	5	0	0
		生物機能科学	17 [3]	6 [1]	3	2	6 [1]	3	2	6 [1]	3	2	0 [0]	6 [1]	3	2
		社会人特別選抜	4	4	1	0	4	1	0	4	1	0	0	4	1	0
		生命産業科学	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
		社会人特別選抜	2	12	3	1	12	3	1	12	3	1	0	12	3	1
		持続環境学	10 [2]	12	4	10	11	4	9	10	4	8	1	9	4	8
		社会人特別選抜	2	4	1	0	4	1	0	4	1	0	0	4	1	0
	小計		132 [19]	87 [11]	28	25	86 [11]	28	24	84 [11]	28	23	3 [0]	81 [11]	26	23
	3年制博士	先端農業技術科学	6 [6]	5 [5]	2	1	5 [5]	2	1	5 [5]	2	1	0 [0]	5 [5]	2	1
	小計		6 [6]	5 [5]	2	1	5 [5]	2	1	5 [5]	2	1	0 [0]	5 [5]	2	1
	計		437 [45]	415 [31]	174	91	405 [31]	171	87	372 [27]	160	78	18 [0]	354 [26]	150	76

注) 1. []内は、連携大学院方式を内数で示す。

- 博士前期課程生物資源科学専攻には、特別プログラム及び海外協定校とのデュアルディグリープログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
- 博士後期課程地球進化科学専攻には、海外協定校とのデュアルディグリープログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
- 博士後期課程国際地縁技術開発科学専攻には、特別プログラムの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。

人間総合科学	修士	フロンティア医科学	50	99	44	11	88	40	11	66	31	7	10	56	26	6
		社会人特別選抜	若干名	20	11	2	19	10	2	11	7	1	2	9	6	1
		スポーツ健康システム・マネジメント ※	24	48	20	2	46	19	2	24	11	2	0	24	11	2
		スポーツ国際開発学共同	5	6	2	0	6	2	0	6	2	0	0	6	2	0
	小計		79	173	77	15	159	71	15	107	51	10	12	95	45	9
	博士前期	教育学	18	22	7	5	21	6	4	17	6	3	1	16	6	3
		心理	16	78	44	5	72	42	5	19	10	1	0	19	10	1
		障害科学	45	40	27	16	39	27	16	39	27	16	3	36	25	16
		社会人特別選抜	若干名	7	5	0	7	5	0	7	5	0	0	7	5	0
		感性認知脳科学	14 [1]	30 [5]	13	8	30 [5]	13	8	23 [4]	12	7	4 [0]	19 [4]	11	6
		看護科学	15	20	19	0	20	19	0	15	14	0	0	15	14	0
		社会人特別選抜	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		体育学	100	181	57	7	177	55	7	111	37	4	3	108	36	4
		社会人特別選抜	15	18	8	3	18	8	3	14	6	3	0	14	6	3
		芸術	45	81	49	30	77	46	28	53	36	16	1	52	36	16
		社会人特別選抜	15	14	7	6	14	7	6	9	5	2	0	9	5	2
	世界遺産	15	18	8	9	18	8	9	15	7	8	0	15	7	8	
	生涯発達 ※	46	153	91	1	153	91	1	48	26	0	0	48	26	0	
	小計		344 [1]	662 [5]	335	90	646 [5]	327	87	370 [4]	191	60	12 [0]	358 [4]	187	59
	博士後期	教育基礎学	8	10	6	0	10	6	0	8	4	0	0	8	4	0
		学校教育学	6	9	4	3	9	4	3	8	3	2	0	8	3	2
		心理学	6	10	5	3	8	5	3	7	4	2	0	7	4	2
		障害科学	10	12	6	5	12	6	5	12	6	5	0	12	6	5
		感性認知脳科学	10 [1]	7 [1]	2	2	7 [1]	2	2	7 [1]	2	2	0 [0]	7 [1]	2	2
		看護科学	8	8	7	1	8	7	1	6	5	1	0	6	5	1
		体育科学	15	16	6	1	16	6	1	14	5	1	0	14	5	1
		芸術	10	10	7	1	10	7	1	8	6	1	0	8	6	1
		社会人特別選抜	若干名	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
		世界文化遺産学	7	9	6	3	9	6	3	9	6	3	0	9	6	3
		生涯発達科学 ※	6	30	12	1	29	12	1	7	2	0	0	7	2	0
	小計		86 [1]	122 [1]	62	20	119 [1]	62	20	87 [1]	44	17	0 [0]	87 [1]	44	17

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子内数	外国人留学生内数	受験者数	女子内数	外国人留学生内数	合格者数	女子内数	外国人留学生内数	辞退者数	入学者数	女子内数	外国人留学生内数	
	医学の課程	生命システム医学	28	17	9	5	17	9	5	17	9	5	1	16	8	5	
		社会人特別選抜	若干名	5	1	0	5	1	0	5	1	0	0	5	1	0	
		疾患制御医学	34	32	12	5	32	12	5	32	12	5	2	30	10	3	
		社会人特別選抜	若干名	15	3	0	14	2	0	13	2	0	0	13	2	0	
	小計			62 [0]	69 [0]	25	10	68 [0]	24	10	67 [0]	24	10	3 [0]	64 [0]	21	8
	3年制博士	ヒューマン・ケア科学	18	31	21	7	30	20	6	23	17	4	0	23	17	4	
		スポーツ医学	10	19	8	1	19	8	1	16	7	1	0	16	7	1	
		コーチング学	5	11	3	0	11	3	0	9	3	0	0	9	3	0	
		大学体育スポーツ高度化共同	3	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0	
		スポーツウエルネス学位プログラム ※	若干名	9	3	0	9	3	0	3	1	0	0	3	1	0	
	小計			36	73	35	8	72	34	7	54	28	5	0	54	28	5
	計			607 [2]	1,099 [6]	534	143	1,064 [6]	518	139	685 [5]	338	102	27 [0]	658 [5]	325	98

注) 1. []内は、連携大学院方式を内数で示す。なお、フロンティア医科学、生命システム医学及び疾患制御医学専攻については、内数を明示していないが、連携大学院方式の募集あり。

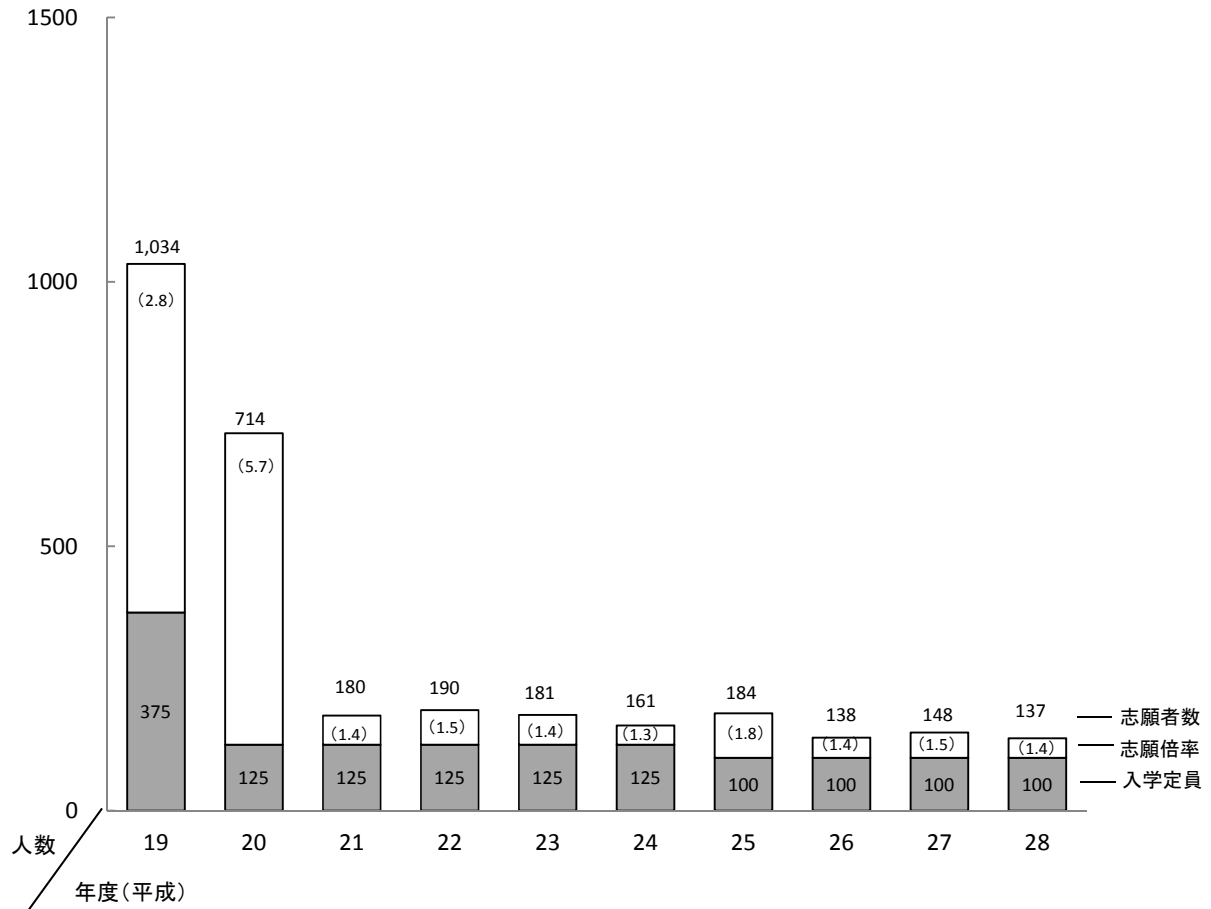
- ※は、専ら夜間において教育を行う課程。
- 修士課程フロンティア医科学専攻には、特別プログラム、海外居住者特別選抜の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
- 修士課程フロンティア医科学専攻には、デュアルディグリープログラム(副専攻)の3名を除く。
- 博士前期課程芸術専攻には、デュアルディグリープログラム(副専攻)の1名を除く。
- 修士課程スポーツ国際開発学共同専攻及び3年制博士課程大学体育スポーツ高度化共同専攻には、鹿屋体育大学を主として在籍する者を除く。
- 医学の課程疾患制御医学専攻には、海外居住者特別選抜の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を除く。
- 医学の課程疾患制御医学専攻には、ダブルメジャー(副専攻)の1名を除く。

図書館情報メディア	博士前期	図書館情報メディア	37	92	39	28	91	39	28	62	26	15	3	59	26	15	
		社会人特別選抜	若干名	5	4	0	5	4	0	4	4	0	0	4	4	0	
	小計			37 [0]	97 [0]	43	28	96 [0]	43	28	66 [0]	30	15	3 [0]	63 [0]	30	15
	博士後期	図書館情報メディア	21	9	3	0	9	3	0	9	3	0	0	9	3	0	
		社会人特別選抜	若干名	6	3	0	6	3	0	6	3	0	0	6	3	0	
	小計			21 [0]	15 [0]	6	0	15 [0]	6	0	15 [0]	6	0	0 [0]	15 [0]	6	0
計			58 [0]	112 [0]	49	28	111 [0]	49	28	81 [0]	36	15	3 [0]	78 [0]	36	15	

注) 1. []内は、連携大学院方式を内数で示す。

グローバル教育院	一貫制	ヒューマンバイオリソナー学位プログラム	18	9	9	17	9	8	10	6	5	2	8	5	3	
		エンパワーメント情報学プログラム	3	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
	小計			21	9	9	20	9	8	11	6	5	2	9	5	3
	一貫制(3年次編入)	エンパワーメント情報学プログラム	5	1	4	5	1	4	4	1	3	0	4	1	3	
		小計			5	1	4	5	1	4	4	1	3	0	4	1
	博士前期	ライフイノベーション学位プログラム	5	3	5	5	3	5	5	3	5	0	5	3	5	
		小計			5	3	5	5	3	5	5	3	5	0	5	3
	博士後期	ライフイノベーション学位プログラム	3	2	2	3	2	2	3	2	2	1	2	1	1	
小計			3	2	2	3	2	2	3	2	2	1	2	1	1	
計			34	15	20	33	15	19	23	12	15	3	20	10	12	

[修士課程研究科志願者数の推移]



※博士前期課程を除く。

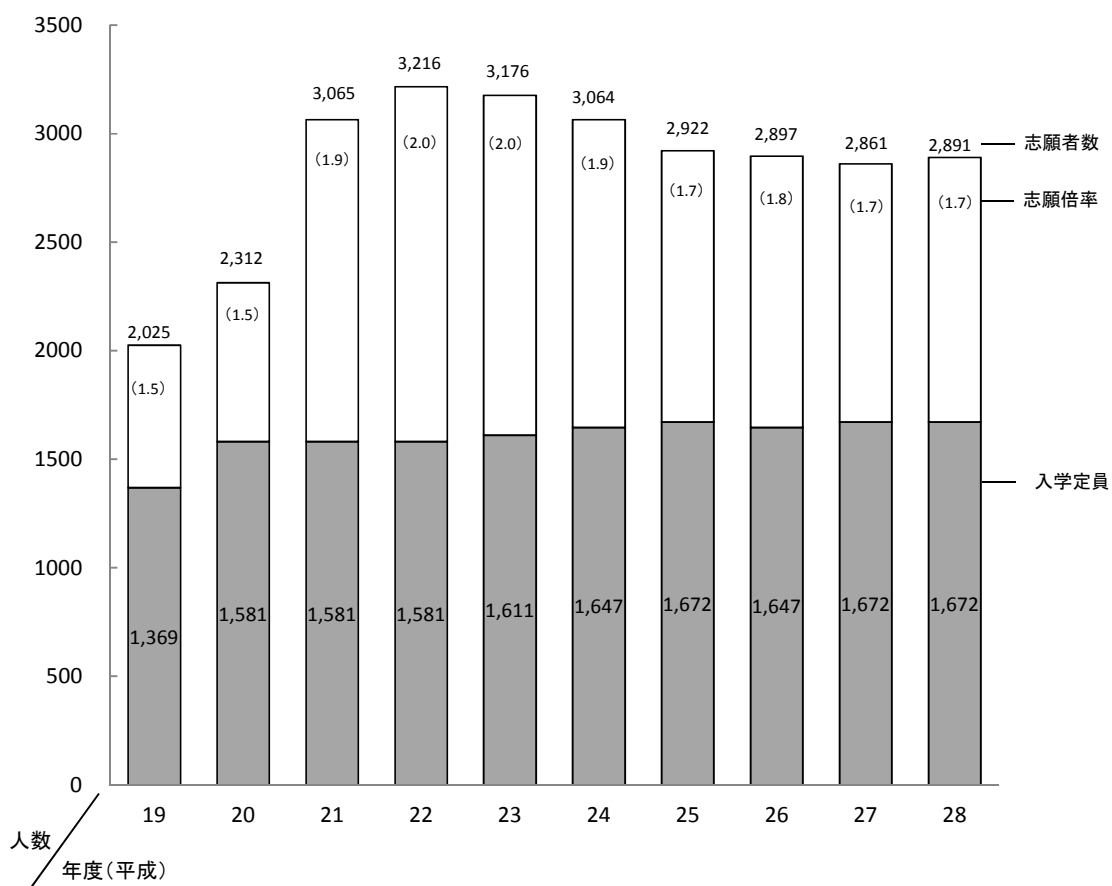
人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻を除く。

平成20年度より、人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻を除くものとした。

平成27年度より、人文社会科学研究科国際地域研究専攻を除くものとした。

平成28年度より、人間総合科学研究科スポーツ国際開発学共同専攻を除くものとした。

[博士課程研究科志願者数の推移]



※後期3年制博士課程及び博士後期課程を除く。

大学院学則に基づく博士前期課程を含む。

人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻を含む。

平成20年度より、人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻を含むものとした。

平成27年度より、人文社会科学研究科国際地域研究専攻を含むものとした。

平成28年度より、人間総合科学研究科スポーツ国際開発学共同専攻を含むものとした。

(イ) 再入学・特別プログラム等

平成28年4月1日現在

研究科	課程	専攻	定員	志願者数	女子内数	外国人留学生内数	受験者数	女子内数	外国人留学生内数	合格者数	女子内数	外国人留学生内数	辞退者数	入学者数	女子内数	外国人留学生内数
-----	----	----	----	------	------	----------	------	------	----------	------	------	----------	------	------	------	----------

【再入学】

ビジネス科学	専門職学位	法曹		1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
計				1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0

【人文社会科学研究科 ASIP】

人文社会科学	修士	国際地域研究		7	1	0	7	1	0	7	1	0	0	7	1	0
計				7	1	0	7	1	0	7	1	0	0	7	1	0

【人文社会科学研究科 TEACHプログラム】

人文社会科学	博士前期	国際日本研究		1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
計				1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1

【生命環境科学研究科(博士前期課程)国際共同農業研究エキスパート養成プログラム】

生命環境科学	博士前期	生物資源科学		3	0	3	3	0	3	3	0	3	0	3	0	3
計				3	0	3	3	0	3	3	0	3	0	3	0	3

【生命環境科学研究科 国立台湾大学とのダブルディグリープログラム】

生命環境科学	博士前期	生物資源科学		3	2	3	3	2	3	3	2	3	0	3	2	3
計				3	2	3	3	2	3	3	2	3	0	3	2	3

【生命環境科学研究科 中国地質大学とのダブルディグリープログラム】

生命環境科学	博士後期	地球進化科学		1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1
計				1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1

【生命環境科学研究科(博士後期課程) 乾燥地資源科学コース】

生命環境科学	博士後期	国際地縁技術開発科学		2	1	2	2	1	2	2	1	2	0	2	1	2
計				2	1	2	2	1	2	2	1	2	0	2	1	2

【人間総合科学研究科 マスター・オブパブリックヘルスプログラム】

人間総合科学	修士	フロンティア医科学		6	4	6	6	4	6	6	4	6	1	5	3	5
計				6	4	6	6	4	6	6	4	6	1	5	3	5

【人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻におけるフロンティア医科学専攻とのデュアルディグリープログラム】

人間総合科学	修士	フロンティア医科学		1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
計				1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0

【人間総合科学研究科 システム情報工学研究科(博士後期課程)とのデュアルディグリープログラム】

人間総合科学	修士	フロンティア医科学		1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
計				1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1

【人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻と医学2専攻におけるデュアルディグリープログラム】

人間総合科学	修士	フロンティア医科学		1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
計				1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0

【人間総合科学研究科 鹿屋体育大学との共同専攻(主として鹿屋体育大学に在籍)】

人間総合科学	修士	スポーツ国際開発学共同		2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0
	3年制博士	大学体育スポーツ高度化共同		2	2	0	2	2	0	2	2	0	0	2	2	0
計				4	2	0	4	2	0	4	2	0	0	4	2	0

【人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻におけるデュアルディグリープログラム】

人間総合科学	博士前期	芸術		1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
計				1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1

【人間総合科学研究科 海外居住者特別選抜】

人間総合科学	修士	フロンティア医科学		1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
	医学の課程	疾患制御医学専攻		1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1
計				2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	2	2	2

【人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻における疾患制御医学専攻とのダブルメジャープログラム】

人間総合科学	医学の課程	疾患制御医学		1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0
計				1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0

3 研究関係

(1) 紀要等発行状況

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
『哲学・思想論集』	大学図書館、大学(学部・研究科等)	『哲学・思想論集』編集委員会 佐藤印刷(発行)
歴史人類44号	国内外の主要大学、研究機関、学内組織等	歴史・人類学専攻
先史学・考古学研究27号		
歴史地理学野外研究17号		
文藝言語研究 68号、69号	国内外の研究・教育機関	文芸・言語専攻
論叢 現代語・現代文化 VOL.15, 16	国内外の関係大学、関連研究機関	現代語・現代文化専攻
国際公共政策論集 36号 2015年10月	国際関係学・社会学・政治学系の学部等を有する大学 他	筑波大学大学院人文社会科学 研究科国際公共政策専攻
国際公共政策論集 37号 2016年2月		
社会学ジャーナル 41号 2016年3月	国内外の各教育研究機関、図書館、研究協力者 他	筑波大学社会学研究室
経済学論集 第68号	各大学図書館	経済学専攻
筑波法政 第63号、第64号、第65号、第66号	「つくばリポジトリ」サイト上にて公開	法学専攻
筑波大学地域研究 第37号	国内外の大学附属図書館及び学内外の研究者	国際地域研究専攻
平成27年度 日本語教育実践研究論文集	国内外の大学の留学生センター等、学内外の日本語教育関係研究者	
「国際日本研究」第8号(印刷版)	国内:国立国会図書館他40か所 国外:「国際日本研究」第8号(印刷版)に関する通知を送付	国際日本研究専攻
「国際日本研究」第8号(オンライン版)	オープンアクセス	
筑波ロー・ジャーナル18号	主要大学法学部・法科大学院・図書館等	筑波ロー・ジャーナル編集委員会
筑波ロー・ジャーナル19号		
学生紀要『企業法研究の序曲 IV』	在学生、オープンキャンパスの参加者等	企業法学専攻
2014〔平成26〕年度筑波大学数理物質系数学域年次報告	国内理工系大学、研究機関、学内関係者	数学域
Tsukuba Journal of Mathematics Vol.39 No.1, No.2	国内外の大学、研究機関、学内関係者	
2015(平成27)年度物理学域年次研究報告	Web	数理物質系物理学域

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
平成26年度年報筑波大学学際物質科学研究センター	国立私立大学、関係研究機関、学内組織の長	学際物質科学研究センター
リスク工学研究	web公開	リスク工学専攻
リスク工学グループ演習研究成果報告書		
Tsukuba Geoenvironmental Sciences Vol.11	地球環境科学関係大学、研究機関	地球環境科学専攻
Earth Evolution Sciences, University of Tsukuba Vol.10	国内外の大学や研究機関	地球進化科学専攻
筑波大学農林技術研究(第4号)	全国国公立大学附属演習林、全国国公立大学附属図書館、国立国会図書館、学内関係部局等 インターネット公開	農林技術センター
農林技術センター活動報告書 第15号	全国国公立大学附属農場、学内関係部局等	
国際農学ESDシンポジウム2014 ～持続可能な未来のための農学ESDの推進～ The Role of Universities in Promoting Agricultural Education for Sustainable Development 農学ESD推進における大学の役割	国内外の大学、シンポジウム参加者	
Journal of Developments in Sustainable Agriculture (Volume 10 Number 2 2015, Volume 11 Number 1 2016)	JST(独)科学技術振興機構、国立国会図書館、インターネット公開	
教育学系論集 第40巻第1号	国公立大学、関連研究機関	人間系(教育学域)
教育学系論集 第40巻第2号		
筑波大学心理学研究 第50号	心理学部のある大学、研究機関等	人間系(心理学域)
筑波大学心理学研究 第51号		
筑波大学臨床心理学論集 第30号	臨床心理相談室のある大学、研究機関等	筑波大学心理相談室
筑波大学発達臨床心理学研究 第27号	発達臨床心理相談室のある大学、研究機関等	筑波大学発達臨床心理相談室
障害科学研究 第40巻	国公立大学、研究機関、特別支援学校等	障害科学学会
筑波大学特別支援教育研究 第10巻	国立、私立大学との関係組織、都道府県教育センター	特別支援教育研究センター
筑波大学理療科教員養成施設紀要 第1巻1号	全国の視覚特別支援学校、視覚障がい者センター、全国の鍼灸専修学校	理療科教員養成施設
筑波大学体育系紀要(第39巻)	日本国内大学、研究機関、外国の大学等32ヶ所	筑波大学体育系紀要・業績集 編集委員会
筑波大学体育系業績集 2015.1.1～2015.12.31	日本国内大学、研究機関、外国の大学等32ヶ所研究機関	
石井コレクション研究4:三岸好太郎	国内大学および主要美術館	編集:寺門臨太郎 発行:芸術系

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
筑波大学芸術年報2015		
芸術研究報36	国公立大学、美術館・博物館、 関連研究機関、学内関係部局等	編集：芸術系図書・研究報委 員会、発行：芸術系
芸術研究報・作品集27		
芸術学研究NO.20	芸術系の部門を有する主要教育機関 および美術館	編集：芸術学研究編集委員会 発行：人間総合科学研究科博 士後期課程芸術専攻
藝叢 第31号	国内主要美術館、教育機関等	人間総合科学研究科芸術学 研究室
Art Writing 第10号	全国高等学校、美術館、大学図書館、 報道機関等	芸術支援研究室
書芸術研究 第9号	国立大学附属図書館・各大学書道研 究室	人間総合科学研究科書研究 室
図書館情報メディア研究 13巻1号 2015年	Webで公開	図書館情報メディア研究編集 委員会
図書館情報メディア研究 13巻2号 2015年		
図書館流通センター図書館経営寄附講座・調査研 究報告7 人口減少社会における公立図書館経営	各図書館、関連企業等	図書館情報メディア研究科
図書館流通センター図書館経営寄附講座・調査研 究報告8 国及び地方公共団体における図書館政策の現状と 課題		
計算科学研究センター 平成26年度 年次報告書	学内組織の長、文部科学省、学内関 係部局、センター関係者	計算科学研究センター長
計算科学研究センター 平成26年度 研究評価	学内組織の長、センター関係者	計算科学研究センター研究評 価委員会
プラズマ研究センター 平成26年度 年次報告	国内外の関係者、関係大学、関連研 究機関等	プラズマ研究センター
外国語教育論集 第38号	国公立大学、関係機関、学内関係 部局	グローバルコミュニケーション 教育センター 外国語教育部門
筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター 日本語教育論集 第31号	附属図書館、依頼先に送付	グローバルコミュニケーション 教育センター 日本語教育部門
大学体育研究 第38号	国公立体育系大学、学内関係部局	体育センター
体育センター年次報告書(平成27年度版)	学内関係部局	
BOOK OF ABSTRACT TJASST2015	TJASST2015 Symposium参加者	北アフリカ研究センター
研究紀要71集	平成27年度学習公開・研究発表会参 加者	附属小学校

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
研究資料(教育課程研究)51号 総合学習研究(41)	研究協議会来校者他	附属中学校
第43回研究協議会発表要項		
研究紀要 第68号		
研究紀要 第57巻	国立大学附属中学校・筑波大学関係	附属高等学校
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 HWA CHONGへの短期留学 課題研究」	文部科学省、学内関係部局、学内関係者	
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 日中高校生交流 交流活動と課題研究」		
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 ASIA PACIFIC YOUNG LEADERS SUMMIT- 2015」		
スーパーグローバルハイスクール「海外研修報告書 UBC研修」		
筑波大学附属駒場論集 第55集	国立大学附属中学校、附属高等学校 学内関係部局、教育関係機関等	附属駒場中・高等学校
第42回教育研究大会報告書	教育研究会参加者、講師・助言者等	
筑波大学社会貢献プロジェクト第9回筑駒アカデミア報告書	本校関係機関、学内関係部局、研究関係者	
スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施報告書 第四年次	文部科学省、(独)科学技術振興機構、SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	
スーパーサイエンスハイスクール 創造的な教材・指導法及びカリキュラムの開発教材集(2004年度～2015年度)	SSH関係学校、国立大学附属中学校・附属高等学校、学内関係部局、教育関係機関等	
スーパーサイエンスハイスクール「数学科教員研修会資料」		
SSH英語文集 Dead Poets Society in Tsukukoma		
SSH台湾生徒研究交流会用論文集	教員研修参加者等	
スーパーサイエンスハイスクール「SSH数学教員徳島研修会」		
SSH台湾研究交流会資料「Academic and Cultural Exchange Program in Taichung 2015」	研究交流参加生徒・教員(本校、国立台中第一高級中学)等	
スーパーサイエンスハイスクール「2015年度(64期生)テーマ研究論文集」	SSH関係学校、学内関係部局、研究関係者 教員研修参加者等、研究論文著者(生徒)等	
スーパーサイエンスハイスクール「Café Bollweck 2015」		
2015年度 筑波大学附属駒場高校2年生(65期)ゼミナール「水俣から日本を考える」実習報告書		

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
研究紀要 第52集	文部科学省、学内関係者、国立大学 附属学校、全国総合学科高等学校、 埼玉県公立高等学校等	附属坂戸高等学校
第19回総合学科研究大会資料集		
JST 国立研究開発法人 科学技術振興機構 日本・アジア青少年サイエンス交流事業さくらサイエ ンスプラン平成27年度 第3回採択交流事業 「日本インドネシア ヤングフォレスター会議」報告 書		
筑波大学社会貢献プロジェクト「つくさか地域食育支 援プロジェクト」報告書		
平成27年度「革新的な教育プロジェクト」報告書 「国際連携協定校群によるIMAP (International Multilevel Academic Program) の開発」		
「先進的な総合学科を活かした持続可能なアセアン 社会を創るグローバル人材の育成」(文部科学省スー パーグローバル事業 第2年次報告書)	学内外関係部局、関係教職員、来訪 者等	
研究紀要 47巻	文部科学省、学内関係者、国立大学 附属学校、全国総合学科高等学校、 埼玉県公立高等学校等、SGH認定 校・アソシエイト校	
研究紀要 47巻	全国視覚特別支援学校、各関係機関 等	附属視覚特別支援学校
視覚障害教育研究協議会資料集12	第12回視覚障害教育研究協議会参加 者	
平成25・26・27年度文部科学省受託事業 インクルー シブ教育システム構築モデル地域事業(交流及び共 同学習)報告書	全国視覚特別支援学校、文部科学 省・学内関係者、各関係機関等	
平成26・27年度文部科学省受託事業 「支援機器等 教材を活用した指導方法充実事業」(報告書)	全国視覚特別支援学校、文部科学 省・学内関係者、各関係機関等	
筑波大学聾学校紀要第38巻	全国の公私立聾学校、各種関係機関 等	附属聴覚特別支援学校
関東地区聾教育研究会聾教育実践研修会 授業公 開指導案集	関東地区聾教育研究会聾教育実践研 修会参加者	
聴覚障害教育担当教員講習会 授業公開指導案集	聴覚障害教育担当教員講習会参加者	
文部科学省委託事業 インクルーシブ教育システム 構築事業モデル地域事業(交流及び共同学習)平成 27年度交流記録集(幼稚部)	文部科学省、学内関係者、国立大学 附属学校、学内・学外関係機関	大塚特別支援学校
文部科学省委託事業 インクルーシブ教育システム 構築事業モデル地域事業(交流及び共同学習)平成 27年度交流報告書(小学部)		
文部科学省委託事業 インクルーシブ教育システム 構築事業モデル地域事業 学校における交流及び 共同学習を通じた障害者理解(心のバリアフリー)の 推進平成27年度交流実践報告書		
研究紀要 第60集	特別支援学校(養護学校)、障害児教 育研究機関、学内関係部局	
平成26・27年度 文部科学省 特別支援教育に関す る実践研究充実事業研究成果報告書(研究紀要第 51巻)	学内関係者・各関係機関・附属学校・ 公立肢体不自由学校	附属桐が丘特別支援学校

紀 要 等 名	主 な 配 布 先	編 集 ・ 発 行
自閉症のある子どもの理解と支援Q&A集ー福祉サービス事業所等の皆さんに知っていただきたいことー	学内・学外関係機関	附属久里浜特別支援学校
自閉症教育実践研究協議会プレゼンテーション資料集	自閉症教育実践研究協議会参加者	
自閉症教育実践研究協議会授業公開学習指導案集		
自閉症教育実践研究協議会実践研究集録		
筑波大学学校教育論集38巻	国公立大学等	附属学校教育局
筑波大学特別支援教育研究 第10巻	学内関係部局・教職員、全国の教育研究センター、日本教育大学協会加盟大学等関係機関	特別支援教育研究センター
筑波大学理療科教員養成施設紀要 第1巻第1号	全国視覚特別支援学校、各関係機関等	筑波大学理療科教員養成施設
ブラインドアスリートのスポーツ科学サポートーリオデジャネイロに向けてー	全国視覚特別支援学校、障害者スポーツ競技団体等	
2016年版 視覚障がい者のパラリンピックスポーツ	全国視覚特別支援学校、障害者スポーツ競技団体等	筑波大学理療科教員養成施設 ブラインドバラスポーツ MTG

(2)各種受賞

ア 学会賞等

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
人文社会系	教授	石塚 修	茶道文化学術奨励賞	H27.6
人文社会系	教授	本澤 巳代子	2015年度サイボルト賞	H27.7
ビジネスサイエンス系	准教授	稲水 伸行	組織学会高宮賞・著作部門	H27.6
数理物質系	教授	小島 隆彦	独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金第1段審査表彰	H27.10
数理物質系	教授	重川 秀実	平成27年度科学技術分野 文部科学大臣表彰 科学技術賞 研究部門	H27.4
数理物質系	教授	只野 博	電気学会 電気学術振興賞進歩賞	H27.5
数理物質系	教授	長崎 幸夫	日本DDS学会永井賞	H27.11
数理物質系	准教授	北 将樹	平成27年度科学技術分野 文部科学大臣表彰 若手科学者賞	H27.4
数理物質系	准教授	所 裕子	平成27年度第19回 丸文研究奨励賞	H28.3
数理物質系	准教授	鈴木 義和	公益社団法人日本セラミックス協会「男女共同参画に関する川柳」銅賞	H27.4
数理物質系	准教授	牧村 哲也	独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金第1段審査表彰	H27.10
数理物質系(学際物質科学研究センター)	教授	神原 貴樹	独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金第1段審査表彰	H27.10
数理物質系(学際物質科学研究センター)	准教授	近藤 剛弘	第10回(2016年)日本物理学会若手奨励賞	H28.3
数理物質系(学際物質科学研究センター)	准教授	山本 洋平	平成27年度 高分子学会日立化成賞	H27.9
数理物質系(学際物質科学研究センター)	講師	桑原 純平	BCSJ Award	H27.11
数理物質系(計算科学研究センター)	助教	庄司 光男	新学術領域研究プロジェクト「3D活性サイト科学」第2回成果報告会 ポスター賞(大門賞)	H27.9
システム情報系	教授	イリチュ(佐藤) 美佳	1st Runner-Up Theoretical Paper Award	H27.11

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
システム情報系	教授	磯部 大吾郎	日本計算工学会 川井メダル	H28.5
システム情報系	教授	大澤 義明	地方創生★政策アイデアコンテスト2015 地方創生大臣賞	H27.12
システム情報系	教授	鬼沢 武久	独立行政法人日本学術振興会 平成26年度 特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及 び国際事業委員会書面審査員の表彰	H27.9
システム情報系	教授	山海 嘉之	平成27年度科学技術分野 文部科学大臣表 彰 科学技術賞 科学技術振興部門	H27.4
システム情報系	教授	谷口 守	2015年日本地域学会著作賞	H27.10
システム情報系	教授	谷口 守	都市計画学会年間優秀論文賞	H27.5.
システム情報系	教授	堤 盛人	独立行政法人日本学術振興会科学研究費補 助金第1段審査表彰	H27.10
システム情報系	教授	西川 博昭	Achievement Award in the Field of Information Sharing Network Systems	H27.7
システム情報系	教授	星野 聖	ISER International Conference にて Best Paper Award 受賞	H27.12
システム情報系	教授	牧野 昭二	平成27年度科学技術分野 文部科学大臣表 彰 科学技術賞 研究部門	H27.4
システム情報系	教授	渡部 修	日本高圧力技術協会 貢献賞	H27.5
システム情報系	教授	葛岡 英明	ACM, CHI 2015, SIGCHI Conference on Human Factors in Computing Systems, Honorable mention paper	H27.5
システム情報系	教授	葛岡 英明	情報処理学会インタラクション2016 ベストペー パー表彰	H28.3
システム情報系	准教授	上市 秀雄	日本心理学会第78回大会学術大会優秀発表 賞	H27.10
システム情報系	准教授	藤井 さやか	2014年度日本都市計画学会年間優秀論文賞	H27.5
システム情報系	准教授	山際 伸一	ET / IoT Technology アワード 特別賞	H27.11
システム情報系	助教	大澤 博隆	日本認知科学会 野島久雄賞	H27.9
システム情報系	助教	橋本 悠希	平成27年度日本バーチャルリアリティ学会 論 文賞	H27.9

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
システム情報系	助教	橋本 悠希	ICISIP2015 Best Student Paper Award	H27.9
システム情報系	助教	橋本 悠希	鯖江うるしアワード2015 最優秀賞(新技術アイデア部門)	H27.9
システム情報系	助教	橋本 悠希	ICAT2015 Best Poster Audience Award	H27.10
システム情報系	助教	橋本 悠希	インタラクシオン2016 インタラクティブ発表賞	H28.3
システム情報系	助教 教授	大槻 麻衣 葛岡 英明	情報処理学会ヒューマンコンピュータインタラクシオン研究会 学生奨励賞	H28.3
システム情報系(計算科学研究センター)	准教授	天笠 俊之	2015年度日本データベース学会若手功労賞	H28.3
システム情報工学等技術室	技術専門職員	小野 雅晃	Design Solution Forum 2015 最優秀講演賞	H27.10
生命環境系	教授	上條 隆志	富士箱根伊豆国立公園指定80周年記念功労者表彰	H28.3
生命環境系	教授	繁森 英幸	独立行政法人日本学術振興会 平成26年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H27.10
生命環境系	教授	深水 昭吉	第19回日本心血管内分泌代謝学会 高峰譲吉賞	H27.12
生命環境系	教授	山岡 裕一	日本菌学会賞	H27.5
生命環境系	教授	和田 洋	独立行政法人日本学術振興会 平成26年度特別研究員等審査会専門委員(書面担当)及び国際事業委員会書面審査員の表彰	H27.9
生命環境系	准教授	氏家 恒太郎	2015年度「日本地質学会小藤文次郎賞」	H27.6
生命環境系	准教授	中野 裕昭	平成27年度 日本動物学会奨励賞	H27.9
生命環境系	准教授	山路 恵子	Plant Species Biology Best Paper Award 2015	H27.12
生命環境系	研究員	荒居 博之	日本陸水学会第80回大会 最優秀ポスター賞	H27.9
人間系	准教授	大塚 泰正	日本産業衛生学会 産業衛生学雑誌 優秀論文賞	H27.5
人間系	准教授	外山 美樹	平成27年度日本スポーツ心理学会最優秀論文賞	H27.11

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
人間系	准教授	藤 桂	日本教育心理学会2014年度優秀論文賞	H27.8
人間系	准教授	山田 実	第29回日本老年学会 最優秀演題賞	H27.6
人間系	准教授	山田 実	第2回サルコペニア・フレイル研究会発表会 最優秀演題賞	H27.10
人間系	准教授	湯川 進太郎	日本感情心理学会学術貢献賞	H27.6
人間系	特任助教	野口 代	平成27年度障害科学学会研究奨励賞	H28.3
人間系	特任助教	茂木 成友	平成27年度障害科学学会研究奨励賞	H28.3
体育系	特任助教	荻山 靖	日本体育学会第66回大会 若手研究奨励賞	H27.8
体育系	教授	會田 宏	平成27年度日本ハンドボール学会賞	H28.2
体育系	教授	関子 浩二	日本体育学会第66回大会 若手研究奨励賞	H27.8
体育系	准教授	仲澤 眞	日本スポーツマネジメント学会奨励賞	H27.12
体育系	准教授	橋本 佐由理	日本体育学会第66回大会発表賞	H27.10
体育系	准教授	橋本 佐由理	第22回日本未病システム学会優秀演題賞	H27.10
体育系	特任助教	内藤 景	New Investigator Award Poster Competition 1st place	H27.7
芸術系	教授	黒田 乃生	独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金第1段審査表彰	H27.10
芸術系	教授	柴田 良貴	第2回日展(平成27年度)文部科学大臣賞(彫刻部門)	H27.12
芸術系	教授	野中 勝利	日本建築学会賞(論文)	H27.5
芸術系	教授	野中 勝利	日本造園学会奨励賞(研究論文部門)	H27.5
芸術系	教授	野中 勝利	グッドデザイン賞	H27.11

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
芸術系	准教授	山本 浩之	再興第100回院展 奨励賞	H27.9
芸術系	助教	市川 寛也	平成二十六年年度笹川科学研究奨励賞	H27.4
芸術系	助教	武 正憲	日本造園学会賞(研究論文)	H27.5
医学医療系	講師	阿久津 博義	日本脳腫瘍の外科学会 会長賞	H27.9
医学医療系	教授	安梅 勅江	日本保健福祉学会 最優秀発表賞	H27.10
医学医療系	教授	渋谷 彰	つくば賞	H27.11
医学医療系	教授	土屋 尚之	平成27年度日本リウマチ学会賞	H27.4
医学医療系	教授	長田 道夫	日本腎臓財団学術賞	H28.2
医学医療系	教授	野口 雅之	日本病理学会賞	H27.5
医学医療系	准教授	坂田 麻実子	第8回「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」	H27.4
医学医療系	准教授	太刀川 弘和	第111回 日本精神神経学会学術総会 優秀発表賞	H27.6
医学医療系	准教授	早田 匡芳	OUTSTANDING POSTER AWARD, 12th Bone Biology Forum	H27.8
医学医療系	准教授	早田 匡芳	第21回日本軟骨代謝学会賞	H28.2
医学医療系	准教授	水野 智美	日本教材学会研究奨励賞	H27.10
医学医療系	准教授	涌水 理恵	五十嵐正紘記念賞	H27.8
医学医療系	講師	石川 栄一	第33回日本脳腫瘍病理学会学会賞	H27.5
医学医療系	講師	大城 幸雄	SAT テクノロジー・ショーケース2016 総合得点賞	H28.2
医学医療系	講師	大城 幸雄	第20回茨城県医師会学術奨励賞	H27.10

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
医学医療系	講師	土岐 浩介	第32回日本TDM学会・学術大会 優秀演題賞	H27.5
医学医療系	講師	福田 慎一	日本医師会研究奨励賞	H27.11
医学医療系	助教	今川 和生	AASLD Presidential Poster of Distinction	H27.11
医学医療系	助教	今川 和生	日本小児肝臓研究会最優秀演題賞	H27.7
医学医療系	助教	今川 和生	日本肝臓学会総会優秀演題	H27.5
医学医療系	助教	小賀 麻菜	第九回日本シェーグレン症候群学会奨励賞	H27.9
医学医療系	助教	酒井 愛子	日本小児感染症学会Young Investigator Award	H27.11
医学医療系	助教	鈴木 健之	ICRR2015 Excellent Poster Award	H27.5
医学医療系	助教	松本 孔貴	第1回放射線ワークショップ～未来に繋ぐ放射線研究～ 優秀演題賞	H27.10
医学医療系	助教	山岡 祐衣	平成27年度 小児医学研究振興財団アワード	H28.3
医学医療系	研究員	讃岐 勝	日本数式処理学会2015年度奨励賞	H27.6
医学医療系	研究員	善光 純子	ICRR2015 Excellent Poster Award	H27.5
医学医療系	助手	照沼 利之	第110回日本医学物理学会学術大会 優秀研究賞	H27.9
図書館情報メディア系	教授	井上 智雄	日本創造学会2013-2014年出版著作賞	H27.12
図書館情報メディア系	教授	川原崎 雅敏	電子情報通信学会 インターネットアーキテクチャ研究賞	H27.6
図書館情報メディア系	教授	森嶋 厚行	27th International Conference on Advanced Information Systems Engineering (CAiSE'15) Best Paper Award	H27.6
図書館情報メディア系	教授	森嶋 厚行	第8回データ工学と情報処理マネジメントに関するフォーラム(DEIM2016) 最優秀インタラクティブ賞	H28.3
図書館情報メディア系	准教授	関 洋平	第8回データ工学と情報処理マネジメントに関するフォーラム(DEIM2016) 優秀インタラクティブ賞	H28.3

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
図書館情報メディア系	助教	落合 陽一	経済産業省Innovative Technologies賞	H27.9
図書館情報メディア系	助教	落合 陽一	グッドデザイン賞	H27.9
図書館情報メディア系	助教	落合 陽一	World Technology Award 2015	H27.11
図書館情報メディア系	助教	落合 陽一	Asia Digital Art Award 2015 優秀賞	H27.11
図書館情報メディア系	助教	落合 陽一	WIRED CREATIVE HACK AWARD 2015 グランプリ	H27.11
図書館情報メディア系	助教	落合 陽一	World Omoshiroi Award	H28.2
図書館情報メディア系	助教	落合 陽一	Laval Virtual Award	H28.3
図書館情報メディア系	助教	若林 啓	情報処理学会, 第8回WebDB Forum優秀論文賞	H27.11
附属病院	病院講師	鶴淵 隆夫	日本小児神経外科学会川淵賞	H27.6
附属病院	病院講師	檜山 貴志	Certificate of Merit, 101st Radiological Society of North America, 2015.	H27.12
附属病院	病院講師	八牧 愉二	第57回日本小児血液がん学会学術集会優秀ポスター賞	H27.11
附属病院	レジデント	佐藤 康介	関東整形災害外科学会 第676回月例会優秀発表演題賞	H27.12
附属病院	レジデント	佐藤 康介	第56回関東整形災害外科学会平成28年度関東整形災害外科学会最優秀発表演題賞	H28.3
附属病院	レジデント	杉浦 嘉樹	日本小児神経外科学会優秀ポスター賞	H27.6
附属病院	レジデント	丹下 善隆	日本消化器病学会関東支部会専修医奨励賞	H28.2
附属病院	レジデント	増田 洋亮	加藤賞	H28.2
附属病院	レジデント	関根 彩	第111回日本精神神経学会学術総会優秀発表賞	H27.6
附属病院	レジデント	斎藤 高	子宮頸癌における画像誘導小線源治療の短期治療成績と線量分布解析. 第10回茨城放射線腫瘍研究会 優秀演題賞	H27.9

所属	職位	氏名	受賞名	受賞月
附属病院	診療放射線技師	額額 純一	モンテカルロ計算の放射線治療での活用. 第10回茨城放射線腫瘍研究会 優秀演題賞 2015.9	H27.9
国際統合睡眠医科学研究機構	助教	斉藤 毅	第33回メディシナルケミストリーシンポジウム優秀賞	H27.11
計算科学研究センター	教授	相川 祐理	地球惑星科学振興西田賞	H27.5
システム情報系(計算科学研究センター)	教授	朴 泰祐	情報処理学会ACSI2016シンポジウム Outstanding Research Award	H28.1
教理物質系(計算科学研究センター) 計算科学研究センター	教授 研究員	梅村 雅之 三木 洋平	HEART2015最優秀論文賞	H27.6
システム情報系(計算科学研究センター) システム情報系(計算科学研究センター) 計算科学研究センター	教授 准教授 研究員	北川 博之 天笠 俊之 駒水 孝裕	iiwas2015 Best Paper Award	H27.12
生命環境系(遺伝子実験センター)	教授 准教授	江面 浩 有泉 亨	平成27年度日本ナス科植物ゲノム研究シンポジウム(JSOL)2015・優秀ポスター賞	H27.9
生命環境系(遺伝子実験センター)	教授 准教授	江面 浩 有泉 亨	The 12th Solanaceae Conference (SOL2015) Best Poster Presentation Award	H27.10
生命環境系(遺伝子実験センター)	教授	大澤 良	日本育種学会論文賞	H28.3
生命領域学際研究センター	助教	山城 義人	第23回日本血管生物医学会学術集会 優秀賞	H27.12
生命領域学際研究センター	助教	山城 義人	第2回日本血管生物医学会若手の会 優秀プレゼンテーション賞	H28.3
生命領域学際研究センター	研究員	村田 知弥	第19回日本心血管内分泌代謝学会 若手研究奨励賞	H27.12
生命領域学際研究センター	研究員	島田 裕子	公益財団法人 井上科学振興財団 第8回井上リサーチアワード賞	H27.12
グローバルコミュニケーション教育センター	非常勤講師	山田 野絵	日本語教育方法研究会第七回奨励賞	H28.3
生命環境系(北アフリカ研究センター)	教授	中嶋 光敏	日本食品工学会2014年度学会賞	H27.8

イ 研究助成等

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
人文社会系	准教授	谷口 陽子	公益財団法人 鹿島学術振興財団	「世界遺産カッパドキア・ウズムル岩窟教会遺跡における文化遺産の保全に関する包括的研究」に対する研究助成	H27.03
人文社会系	特任研究員	山崎 寿美子	公益財団法人 三島海雲記念財団	「メコン川流域における発酵食品の加工法と食べ方をめぐる人類学的研究」に対する研究助成	H27.07
数理工学系	教授	野本 信也	大学等環境安全協議会	「環境安全衛生マイスターを育成する技術教育実習講義の構築」に対する研究助成金	H27.08
数理工学系	准教授	辻村 清也	公益財団法人 稲盛財団	「ソフト界面と階層空間が制御された炭素材料での酵素の超活性」に対する研究助成	H27.04
数理工学系	准教授	柳原 英人	公益財団法人 旭硝子財団	「スピネルフェライト複合膜における非線形電気磁気効果に基づいた電界誘起磁化反転の検証」に対する研究助成	H27.04
数理工学系	講師	大石 基	(株)テクノバ	「アルツハイマー型認知症に関与する血中マイクロRNAの簡便検出法の開発」に対する研究助成	H27.05
数理工学系	助教	奥野 将成	東京工業大学基金	「キラル振動和周波発生による界面におけるアミロイド線維形成過程の研究」に関する研究助成	H27.06
数理工学系	助教	小谷 弘明	公益財団法人 日立財団	「高活性な高原子価クロムオキソ錯体の創製と反応性評価」への研究助成	H27.07
数理工学系	助教	都甲 薫	公益財団法人 国際科学技術財団	「高効率・フレキシブル太陽電池の創出に向けたプラスチック上伸長歪ゲルマニウム薄膜の開発」についての研究活動に対する助成	H27.05
数理工学系	助教	都甲 薫	公益財団法人 泉科学技術振興財団	「新機能・異種材料を集積回路に混載するためのシリコンゲルマニウム・バッファ層技術の構築」に対する研究助成	H27.11
数理工学系	助教	都甲 薫	公益財団法人 住友電工グループ社会貢献基金	「プラスチック上におけるゲルマニウム・ナノワイヤの均一合成と太陽電池応用」に対する研究助成	H27.11
数理工学系(学際物質科学研究センター)	教授	神原 貴樹	(公財)日本科学協会:平成27年度笹川科学研究助成金	「連続したハロゲン化反応および直接的アリアル化反応による π 共役高分子の合成」に関する研究助成	H27.05
数理工学系(学際物質科学研究センター)	教授	守友 浩	公益財団法人 日本板硝子材料工学研究会	「配位高分子をベースとしたリチウムおよびナトリウムイオン二次電池材料の開発」に関する研究	H27.04
数理工学系(学際物質科学研究センター)	教授	西堀 英治	公益財団 双葉電子記念財団	「エネルギー材料のマルチスケール構造可視化システムの構築」に対する研究助成	H27.03
数理工学系(学際物質科学研究センター)	教授	西堀 英治	(公財)内藤記念科学振興財団	「医療粉末の湿度・温度変化下での構造決定法の開発」に関する研究助成	H27.12
数理工学系(学際物質科学研究センター)	准教授	近藤 剛弘	公益信託 ENEOS 水素基金	「窒素ドーピンググラフェン粉末を用いた新規CO ₂ 分離吸着材料の開発」に対する研究助成	H27.09

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
数理解物質系(学際物質科学研究センター)	准教授	山本 洋平	公益財団法人 旭硝子財団	「導電性高分子マイクロ共振器への電荷注入と共鳴電界発光」に対する研究助成	H27.04
プラズマ研究センター	研究員	王 小龍	公益財団法人 日本科学協会	超狭帯域フィルタ型平面構成マイクロ波・ミリ波帯信号分配器の開発及びマイクロ波干渉計回路に関する研究	H27.05
システム情報系	教授	有田 智一	一般社団法人 不動産流通経営協会	「公民連携を通じた公的不動産の活用を促進する方策に関する研究」に対する研究助成	H27.11
システム情報系	教授	武若 聡	一般財団法人 国土技術研究センター	「流域と海域を繋ぐ総合的土砂管理の実現に向けた実践的フィールド研究」に対する研究助成	H28.02
システム情報系	教授	文字 秀明	公益財団法人 カシオ科学振興財団	「車列走行による空気抵抗低減を利用して高効率化を図る安定した高速自動車運転技術の開発」に対する研究協賛	H27.11
システム情報系	教授	藪野 浩司	公益財団法人 三豊科学技術振興協会	「非線形自励発振型マイクロレゾネータをもちいた高粘性環境下で利用可能な超微小質量センサーの開発」に関する研究助成	H27.10
システム情報系	准教授	延原 肇	公益財団法人 立石科学技術振興財団	「小型無人航空機による災害直後の迅速な通信インフラ復旧支援」に関する研究のため	H27.05
システム情報系	准教授	延原 肇	公益財団法人 カシオ科学振興財団	「P2Pインフラを利用した超高耐久性・簡易型著作権保護支援システムの提案とCGM産業への応用」に対する研究助成	H27.11
システム情報系	准教授	岡島 敬一	パワーアカデミー	「燃料電池システムにおけるセル面内発電状況の非破壊診断」に関する研究に対する研究助成	H28.03
システム情報系	准教授	岡島 敬一	一般財団法人 鷹野学術振興財団	「水素社会実現に向けた燃料電池システムにおける発電状況の非破壊診断」に対する研究助成	H28.03
システム情報系	准教授	河本 浩明	公益財団法人 立石科学技術振興財団	37th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC2015)での発表のため	H27.07
システム情報系	准教授	高橋 義明	公益財団法人 トヨタ財団	「「理想の幸福」を用いた幸福概念の多様性に関する研究—人々の声に耳を傾ける聞き取り調査を通じて」に対する研究助成	H27.05
システム情報系	准教授	村上 暁信	公益財団法人 旭硝子財団	学術研究のため	H27.05
システム情報系	准教授	谷口 綾子	一般社団法人 日本損害保険協会	「優先配慮行動を促す道路上のコミュニケーションと交通安全に関する研究」に対する研究助成	H27.04
システム情報系	准教授	藤井 さやか	公益財団法人 大林財団	「老朽化するマンションの改修を核とした近隣地区再生に関する研究—カナダ・トロント市タワー・リニューアル制度に着目して」に対する研究助成	H27.04
システム情報系	准教授	藤井 さやか	公益財団法人 三井住友海上福祉財団	高齢者福祉に関する研究	H27.11
システム情報系	准教授	白川 直樹	一般社団法人 九州地方計画協会	支援事業「都市河川における環境改善用水の水源をどこに求めるか？」	H27.06

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
システム情報系	助教	牛島 光一	公益財団法人 村田学術振興財団	親の教育水準の向上による子供の健康格差縮小に関する研究に対する研究助成	H27.07
システム情報系	助教	橋本 悠希	一般財団法人 電子回路基板技術振興財団	「漆をベースとした電子回路基板製造技術の研究」への研究助成	H27.04
システム情報系	助教	橋本 悠希	公益財団法人 立石科学技術振興財団	「触覚情報の時間伸縮提示による物性・物理現象理解のアシスト手法の確立」に関する研究のため	H27.05
システム情報系	助教	大澤 博隆	公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団	「人狼知能の開発」に対する研究助成	H28.03
システム情報系	助教	大澤 博隆	一般財団法人 人工知能研究振興財団	「3者間対話上での相手のモデル発見に至る推論構造の分析」に対する研究助成	H28.03
システム情報系	助教	津川 翔	公益財団法人 電気通信普及財団	「グラフマイニングとテキストマイニング技術の統合によるソーシャルセンサからの実社会イベント予測手法の開発」に対する研究助成	H27.04
システム情報系	助教	嶋村 耕平	公益財団法人 大林財団	「金属を介した磁気共振結合型無線電力伝送の基礎研究とインフラ設備診断への応用」に関する研究助成	H27.04
システム情報系	助教	嶋村 耕平	公益財団法人 JKA	磁気共振結合無線電力伝送研究とインフラ診断への応用補助事業	H27.05
システム情報系	助教	嶋村 耕平	公益財団法人 加藤科学振興会	「長距離無線電力伝送が可能なレーザープラズマ型エネルギー変換器の開発」に対する研究助成	H27.06
システム情報系	助教	嶋村 耕平	公益財団法人 天田財団	「レーザー誘起衝撃波を利用したナノ粒子処理技術の基礎研究」	H27.11
システム情報系	助教	嶋村 耕平	公益財団法人 東燃ゼネラル石油研究奨励・奨学財団	「大電力エネルギー輸送可能なレーザープラズマ型エネルギー変換器の基礎研究」に対する研究助成	H28.01
システム情報系	助教	白川 真一	公益財団法人 情報科学国際交流財団	国際会議GECCO'15での発表のため	H27.07
生命環境系	教授	青柳 秀紀	公益財団法人 双葉電子記念財団	「新規ナノバブルを用いた植物有用物質の実用的な高速度連続生産システムの開発」に対する研究助成	H27.03
生命環境系	教授	青柳 秀紀	公益財団法人 食生活研究会	「腸内有用微生物を活用したリンおよびセシウムの体外排出食品の開発」に対する研究助成	H27.04
生命環境系	教授	青柳 秀紀	公益財団法人 新技術開発財団	「革新的培養基材の開発と植物生態関連微生物ライブラリーの構築」に対する研究助成	H27.04
生命環境系	教授	市川 創作	公益財団法人 日本食品化学研究振興財団	「食品添加物を利用した高齢者用ゲル状食品の力学的特性と胃消化挙動の制御」に対する研究助成	H27.04
生命環境系	教授	江前 敏晴	一般社団法人 日本印刷学会	「紙の振動を利用した発電デバイスの印刷技術を用いた薄膜化」に対する研究助成	H27.03

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
生命環境系	教授	上條 隆志	公益財団法人 自然保護助成基金	「伊豆諸島における植生とその保全に関する普及活動のためのパンフレットの刊行」に対する研究助成	H27.11
生命環境系	教授	山岡 裕一	公益財団法人 発酵研究所	「不完全さび菌および内生型さび菌の系統分類学的所属の決定ならびに生活環進化の解明のための情報基盤構築」に対する研究助成	H27.03
生命環境系	教授	福島 武彦	公益財団法人 河川財団	「リモートセンシングを活用した湖沼透明度の推定と変化・変動要因解析」に対する研究助成	H27.04
生命環境系	准教授	小幡谷 英一	一般社団法人 日本木材学会	「木材の横圧縮による高ダンピング特性発現機構の解明とその応用」に対する研究助成	H27.07
生命環境系	准教授	谷口 俊介	公益財団法人 武田科学振興財団	「脳が腸をつくる」に対する研究助成	H27.07
生命環境系	准教授	谷口 俊介	(公)千里ライフサイエンス振興財団	「脳セロトニンによる腸管形成および蠕動運動制御」に対する研究助成	H27.12
生命環境系	助教	横井 智之	三井物産(株)	「日本の生態系に溶け込んだ外来植物が在来訪花昆虫の繁殖成功に与える影響」に対する研究助成	H27.04
生命環境系	助教	岩上 哲史	公益財団法人 加藤記念バイオサイエンス振興財団	「インド型イネ品種が有する新規除草剤耐性遺伝子の同定」に対する研究助成	H28.02
生命環境系	助教	源川 拓磨	一般財団法人 東和食品研究振興会	「アイスクリームの食べごころを判定する光分析技術」に対する研究助成	H27.06
生命環境系	助教	水田 大輝	公益財団法人 日本科学協会	「常緑性ツツジにおいて花色多様化のカギとなる遺伝子の解析から300年間謎である品種の起源を紐解く」に対する研究助成	H27.05
生命環境系	助教	石賀 康博	公益財団法人 不二たん白質研究振興財団	「イソフラボンを用いた大豆さび病菌防御に関する基盤研究」に対する研究助成	H27.04
生命環境系	助教	川田 清和	公益財団法人 国土地理協会	「黄砂発生地域の拡大を抑制する環境修復型放牧に関する研究」に対する研究助成	H27.09
生命環境系	助教	川田 清和	公益財団法人 上廣倫理財団	「ステーキホルダーの倫理観に基づいた草原修復技術に関する研究」に対する研究助成	H28.02
生命環境系	助教	浅野 敦之	公益財団法人 サントリー生命科学財団	「精子の精巣上体成熟における選択的分子獲得機構の全容解明」に対する研究助成	H27.11
生命環境系	助教	平川 泰久	THE UNIVERSITY OF BRITISH COLUMBIA	「Transformation for Myzozoans」に対する研究助成	H27.11
生命環境系	助教	蓑田 歩	公益社団法人 日本化学会	「準嫌気環境で光合成特性を持つ微生物の単離と生理学的解析」に対する研究助成	H27.03
生命環境系	助教	蓑田 歩	公益財団法人 徳山科学技術振興財団	「植物性廃棄物を利用した金属廃液中のレアメタルをナノ粒子として回収する技術の開発」に対する研究助成	H27.04

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
生命環境系	助教	木下 奈都子	一般財団法人 キヤノン財団	「揮発性物質による植物間情報伝達と早期病害ストレス検出基盤構築」に対する研究助成	H27.04
生命環境系	助教	木下 奈都子	公益財団法人 戸部眞紀財団	「モニター植物による予防型農業: 早期ストレス検出のための基盤技術の開発」に対する研究助成	H27.05
生命環境系	研究員	真下 雄太	公益財団法人 日本科学協会	「発生学的アプローチからの形態学ルネサンス-昆虫類における胸部側板の起源の解明」に対する研究助成	H27.04
生命環境系	研究員	真下 雄太	一般財団法人 長野県科学振興会	「好蟻性昆虫アリスアブ幼虫の形態学的・進化発生学的研究」に対する研究助成	H27.07
生命環境系	特任助教	本庄 賢	公益財団法人 上原記念生命科学財団	「神経ペプチドシグナル網による痛覚シグナル調節機構」に対する研究助成	H28.01
生命環境系(アイトープ環境動態研究センター)	教授	恩田 裕一	IAEA	「福島原子力発電所事故に伴う土壤汚染マッピングと日本における食物生産の影響への評価」に対する研究助成	H27.09
生命環境系(アイトープ環境動態研究センター)	教授	恩田 裕一	IAEA	「食料及び農業に影響を及ぼす原子力災害の緊急事態への準備及び対応のための土壌と食品サンプリングのプロトコルと戦略」に対する研究助成	H28.02
人間系	教授	磯田 正美	学校図書 株式会社	人間系教授磯田正美の「研究と教育」	H27.11
人間系	教授	庄司 一子	日本教育大学協会	「多様な生徒の援助ニーズに応える学生の専門的援助能力の育成-専門的援助能力の分析と効果的指導の検討を通して-」に対する助成	H27.4
人間系	教授	宮本 信也	公益財団法人 笹川スポーツ財団	聴覚障害のある子どもたちのスポーツ活動支援に関する研究	H27.04
人間系	准教授	山田 実	一般財団法人 日本老年医学会	研究課題「運動と栄養の併用療法がフレイル高齢者の機能改善に及ぼす効果-無作為化比較対照試験による検討-」の実施	H28.03
人間系	特任助教	茂木 成友	公益財団法人 博報財団 2015年度 第10回児童教育実践についての研究助成	義務教育段階の聴覚障害児における漢字の読み書き習得の困難とその要因に関する研究	H27.04
人間系 (医療科教員養成施設)	教授	宮本 俊和	公益財団法人 住友生命健康財団	研究助成金「視覚障がいパラリンピアン競技力向上とコミュニティスポーツ参加を目的とした調査研究」	H27.10
芸術系	助教	FONDEVILLA HERBETH L	グレートブリテン・ササカワ財団 東京事務所	英国サウスミッド病院と筑波大学の共同企画によるフレッシュ芸術祭2015に筑波大学学生3名派遣に対する助成	H27.05
医学医療系	教授	金保 安則	公益財団法人 上原記念生命科学財団	「Arf6シグナル伝達を標的とした革新的抗癌剤の開発」に対する研究助成	H28.01
医学医療系	教授	森川 一也	公益財団法人 発酵研究所	「限定的発現遺伝子の機能解析による新たな両賭戦略システムの解明」に対する研究助成	H27.02
医学医療系	教授	武井 陽介	公益財団法人 上原記念生命科学財団	「スペイン内NMDA受容体輸送機構の解明」に対する研究助成	H28.01

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
医学医療系	教授	徳田 克己	公益財団法人 ひと・健康・未来研究財団	「交通弱者の移動における新たなバリアの実態解明とその解決に向けた提案」に対する研究助成	H27.09
医学医療系	教授	徳田 克己	公益財団法人 コストロジー研究振興財団	「現代の子ども文化の中に見られる化粧の話題の分析と保護者と保育者の化粧に関する認識」に対する研究助成	H27.12
医学医療系	教授	徳田 克己	公益財団法人 浦上食品・食文化振興財団	「幼児の食事における香辛料の活用に関する研究」に対する研究助成	H28.02
医学医療系	准教授	坂田 麻実子	公益財団法人 第一三共生命科学研究振興財団	「T細胞リンパ腫の治療モデルの作製」に対する研究助成	H27.01
医学医療系	准教授	坂田 麻実子	公益財団法人 細胞科学研究財団	「TET2変異を有する前がん細胞によるリンパ腫の支持環境形成メカニズム」に対する研究助成	H27.05
医学医療系	准教授	坂田 麻実子	(株)資生堂	「RHOAシグナル異常によるT細胞の悪性化獲得機序の解明」に対する研究助成(第8回資生堂女性研究者サイエンスグラント)	H27.05
医学医療系	准教授	坂田 麻実子	公益財団法人内藤記念科学振興財団 2015年度内藤記念科学奨励金・研究助成	「疾患特異的遺伝子変異陰性群のゲノム解析によるT細胞リンパ腫の病態解明」に対する研究助成	H28.01
医学医療系	准教授	小原 直	公益財団法人 日本腎臓財団	「エリスロポエチン産生細胞および骨形成におけるNotchシグナルの解析」に対する研究助成	H28.01
医学医療系	准教授	松坂 賢	公益財団法人 日本応用酵素協会	「脂肪酸伸長酵素Elovl6の糖尿病における役割およびその治療応用に関する研究」に対する研究助成	H27.09
医学医療系	准教授	植田 敦志	協和発酵キリン(株)	「CKDに関する研究」に対する研究助成	H27.09
医学医療系	准教授	水野 智美	一般財団法人カワイサウンド技術・音楽振興財団	「幼稚園・保育所・家庭において幼児が親しんでいる音楽の分析ー童謡・唱歌離れ現象をめぐるー」に対する研究助成	H27.06
医学医療系	准教授	水野 智美	公益財団法人三菱財団 第46回(平成27年度)社会福祉事業・研究助成	「点字ブロックの適正な設置のためのガイドラインの作成に関する研究」に対する研究助成	H27.10
医学医療系	准教授	早田 匡芳	公益財団法人住友電工グループ社会貢献基金	「力学的刺激を模倣する新型骨粗鬆症治療薬の開発を目指した力覚情報処理機構の解明」に対する研究助成	H27.09
医学医療系	准教授	早田 匡芳	公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団	「力覚情報を骨形成へ変換する情報処理機構の分子基盤の解明と新型骨粗鬆症治療薬開発への応用」に関する研究助成	H27.11
医学医療系	准教授	大林 典彦	花王メラニン研究会助成金	「Rab40Cによるメラニン合成酵素の新規輸送制御機構の解明」	H27.05
医学医療系	准教授	大林 典彦	公益財団法人 コストロジー研究振興財団	「メラニン合成酵素を郵送するRab32およびRab38の不活性化因子GAPの色素細胞における機能解析」に対する研究助成	H27.12
医学医療系	准教授	涌水 理恵	公益財団法人 メンタルヘルス岡本記念財団	「育児不安を有する母親への前向き子育てプログラム(Positive Parenting Program)の導入・実践が児・母親・家族にもたらす効果の検証」に対する研究助成	H27.08

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
医学医療系	准教授	涌水 理恵	公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 第24回(平成27年度)研究助成	「先天代謝異常症児と家族の生活およびヘルスアウトカムの実態調査」に対する研究助成	H27.12
医学医療系	講師	沖山 奈緒子	公益財団法人中富健康科学振興財団平成26年度(第27回)研究助成金	「移植片対宿主病(GVHD)様皮膚粘膜疾患モデルを用いた苔癬反応における表皮アポトーシス機構の解明」に対する研究助成	H27.05
医学医療系	講師	沖山 奈緒子	一般財団法人リディアオリリー記念ピアス皮膚科学振興財団	「移植片対宿主病(GVHD)様皮膚粘膜疾患モデルを用いた苔癬反応における表皮角化細胞アポトーシス機構の解明と治療法開発」に対する研究助成	H27.07
医学医療系	講師	際本 拓未	グラクソ・スミスクライン株式会社	「ヒアルロン酸合成障害に伴う気管支喘息発症憎悪メカニズムの解明」に対する研究助成	H27.12
医学医療系	講師	新開 統子	公益財団法人 川野小児医学奨学財団	「Umbilical Cord Wharton's Jelly Stem Cellsシートによる先天性横隔膜ヘルニア低形成肺の再生に関する研究」に対する研究助成	H27.06
医学医療系	講師	大戸 達之	公益財団法人 母子健康協会	「小児医学に関する研究」に対する研究助成	H27.12
医学医療系	講師	福島 紘子	NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト	「陽子線照射をうけた小児がん患者における予後調査」に対する研究助成	H27.03
医学医療系	診療講師	濱野 淳	公益財団法人 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団	「非がん疾患の終末期医療の実態に関する調査」に対する研究助成(2015年度日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団 ホスピス・緩和ケアに関する事業助成	H27.05
医学医療系	診療講師	濱野 淳	協和発酵キリン(株)	「緩和と医療に関する研究」に対する研究助成	H27.09
医学医療系	助教	許 東洙	日本心電学会外留学助成	「アメリカインディアナ大学心臓研究所での心臓電気生理に関する研究」に対する研究助成	H27.04
医学医療系	助教	笹原 朋代	公益財団法人日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団_2015年度(平成27年度)ホスピス・緩和ケアに関する事業助成	「ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム受講によるエンド・オブ・ライフ・ケアに関する看護実践の変化」に対する研究助成	H27.05
医学医療系	助教	山岡 祐衣	公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団	「定期的レスパイト入院が重症障害児および家族の身体的・精神的健康に与える効果と、小児在宅医療を支えるための医療提供体制の課題について」に対する研究助成	H27.04
医学医療系	助教	山下 年晴	公益財団法人 日本腎臓財団	「エリスロポエチン産生誘導におけるHIF代償性機構の解析」に対する研究助成	H28.01
医学医療系	助教	小賀 麻菜	特定非営利活動法人日本免疫学会	「シェーグレン症候群の発症機序の解明」に対する研究助成	H27.05
医学医療系	助教	松本 孔貴	公益財団法人 武田科学振興財団	「葉酸修飾シクロデキストリンND201を用いた新規ホウ素中性子捕捉療法キャリアの開発」に対する研究助成	H27.06
医学医療系	助教	田尻 和子	公益財団法人 武田科学振興財団	「心筋自己抗原に対するトレランスの破綻がもたらす心筋炎の慢性化機構の解明に関する研究」に対する研究助成	H27.11
医学医療系	助教	渡邊 幸秀	公益財団法人 上原記念生命科学財団	「特殊環状ペプチドを用いた抗腫瘍薬の開発」に対する研究助成	H28.01

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
医学医療系	助教	武内 謙憲	公益財団法人 万有生命科学振興国際交流財団	「KLF15の新機能ー糖代謝と脂質代謝の新たな接点ーならびに発現制御メカニズムの解明」に対する研究助成	H27.11
医学医療系	助教	濱田 理人	公益財団法人 高松宮妃癌研究基金	「転写因子MafBによる腫瘍随伴マクロファージ数の制御による腫瘍悪性化の抑制」に対する研究助成	H28.01
図書館情報メディア系	准教授	上保 秀夫	日本マイクロソフト(株)	MSR Grant of CORE12 Project“Search Engine That Listens(SETL)”に対する研究助成	H28.01
ビジネスサイエンス系	准教授	渡邊 絹子	公益財団法人 ユニバーバル財団	研究課題「遺族年金のあり方をめぐる国際比較」の実施	H28.02
ビジネスサイエンス系	助教	上山 一	公益財団法人 村田学術振興財団	ヨルダンおよび東南アジアのイスラーム銀行に関する比較分析ー個人顧客による金融商品・金融サービスの利用動機を中心にーに対する助成	H27.11
国際統合睡眠医科学研究機構	教授	佐藤 誠	MSD株式会社	「柔道選手の睡眠時無呼吸患者の評価と代謝に関する研究」	H27.10
国際統合睡眠医科学研究機構	教授	柳沢 正史	公益財団法人 武田科学振興財団	「睡眠覚醒制御機構の解明」	H27.08
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 日本応用酵素協会	「光による睡眠ステージ特異的制御にて明らかにする、新生ニューロンの記憶における機能」	H27.07
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	グラクソ・スミスクライン株式会社	「脳内で再生する神経の光制御による、睡眠中のトラウマ記憶形成の制御」の研究助成	H27.10
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 かなえ医薬振興財団	「中枢神経再生のための、新生ニューロンの既存回路への統合機構の解明」	H27.11
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 先進医薬研究振興財団	「REM睡眠中の新生ニューロンの興奮が、トラウマ記憶の形成に必要である。」研究助成	H27.11
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 光科学技術研究振興財団	「光にて明らかにする、睡眠中の新生ニューロンの記憶回路形成への機能」の研究助成	H27.11
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 興和生命科学振興財団	「脳内で再生するニューロンの光制御による、睡眠中の記憶形成過程の解明」の研究助成	H27.12
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 上原記念生命科学財団	「光による、睡眠中の記憶形成機構の解明」に対する研究助成	H27.12
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	坂口 昌徳	公益財団法人 ライフサイエンス振興財団	「新生ニューロンを用いた中枢神経再生治療のための基礎研究」の研究助成	H28.01
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	中川 嘉	公益財団法人 日本応用酵素協会	「腸肝循環で脂質代謝酵素遺伝子の発現を制御する転写因子CREBHによる生活習慣病の分子メカニズム」に対する研究助成	H27.05
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	中川 嘉	公益財団法人 金原一郎記念医学医療振興財団	「非アルコール性脂肪肝の発症を制御する新たな分子機構の解明」	H27.09

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
国際統合睡眠医科学研究機構	准教授	中川 嘉	公益財団法人 山口内分泌疾患研究振興財団	「CREB3L3の動脈硬化改善機構」の研究助成	H28.02
国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	大石 陽	公益財団法人 日本応用酵素協会	「睡眠不足モデル動物の開発と評価」	H27.07
生命領域学際研究センター	教授	柳沢 裕美	公益財団法人 内藤記念科学振興財団	マウスモデルを用いた胸部大動脈瘤発症の分子メカニズムの解明	H27.12
生命領域学際研究センター	教授	柳沢 裕美	公益財団法人 アステラス病態代謝研究会	大動脈瘤の新たな治療標的の探索	H27.12
生命領域学際研究センター	教授	柳沢 裕美	公益財団法人 上原記念生命科学財団	新規局所石灰化因子の同定と作用機序の解明	H28.01
生命領域学際研究センター	助教	山城 義人	公益財団法人 日本心臓財団	大動脈瘤マウスモデルを用いた血管壁の機械刺激応答と弾性線維形成機構の解明	H28.02
生命領域学際研究センター	助教	鍋倉 幸	公益財団法人 中島記念国際交流財団	慢性骨髄性白血病の再発に対する同種MHC反応性記憶ナチュラルキラー細胞を用いた新規ドナー養子免疫療法の開発	H27.02
生命領域学際研究センター	助教	林 良樹	大学共同利用機関法人自然科学研究機構(H27.4.1付け異動による移管分:原資:公益財団法人 内藤記念科学振興財団)	ショウジョウバエ生殖幹細胞ニッチにおけるHSPGの役割	H27.05
生命領域学際研究センター	研究員	島田 裕子	公益財団法人 内藤記念科学振興財団	発生プログラムの柔軟性を支える内分泌機構と神経基盤:栄養依存的なステロイドホルモン生成と摂食停止を制御する神経経路の役割	H27.12
学生部	准教授	五味 洋一	公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団	日本版Travel Training(交通移動支援プログラム)の開発-知的障害児者における日常生活の移動に関するニーズおよび支援実態の把握-	H27.09
附属図書館	教授	中山 伸一	公益財団法人 田嶋記念大学図書館振興財団	【スポーツ&アート】ギャラリー機能を備えた学習空間整備事業	H28.03
附属病院	教授	小田 竜也	公益財団法人 テルモ生命科学芸術財団	『サージカルIQパネル:統合的情報表示装置による安全な外科手術』の研究	H27.12
附属病院	病院教授	溝上 裕士	アステラス製薬(株)	『消化器系疾患領域』に対する研究助成	H27.04
附属病院	病院教授	長谷川 雄一	協和発酵キリン(株)	「自己血輸血に関する研究」に対する研究助成	H27.09
附属病院	病院講師	永井 恵	公益財団法人 石橋由紀子記念基金	「コラーゲン受容体による腎糸球体上皮細胞の制御機構の解明」への研究助成	H27.04
附属病院	病院講師	永井 恵	公益社団法人 日本透析医会	血液透析患者におけるナチュラルキラー細胞機能と感染症発症に関する検討	H27.11
附属病院	病院講師	春田 淳志	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会	「住民をまきこんだ多職種連携教育を基盤とした緩和ケアボランティア養成プログラムの開発-参加型アクションリサーチ-	H27.04

所属	職位	代表者氏名	助成団体名・助成金名	プロジェクト名称	助成開始月
附属病院	診療放射線技師	富田 哲也	一般財団法人 日本医学物理学会	「陽子線治療計画におけるヨード造影剤が線量計算に与える影響」に対する研究助成	H27.09
附属病院	-	脳神経外科診療グループ	ファイザー(株)	神経系疾患に関する研究(脳神経外科)	H27.04
附属桐が丘特別支援学校	教諭	永杉 理恵	一般社団法人 日本特殊教育学会	研究助成金「肢体不自由等のある児童・生徒の音楽表現力を伸ばす指導の展開に関する実践研究」	H27.05
附属大塚特別支援学校	教諭	若井 広太郎	公益財団法人 パナソニック教育財団	研究助成金「幼児・児童・生徒・教師による主体的かつ効果的なICT教材の活用システムの検討～授業実践の蓄積と情報の共有化を通して～に関する研究」	H27.04
附大塚特別支援学校	教諭	居林 弘和	公益財団法人 キリン福祉財団	附属大塚特別支援学校 研究助成金「こここひろば・乳幼児教育相談」	H28.03

(3) 科学研究費助成事業採択状況(新規+継続分)

ア 総括表

平成28年3月31日現在
(単位:千円)

種目 系等	特別推進研究		新学術領域研究		基盤研究(S)		基盤研究(A)		基盤研究(B)		基盤研究(C)		若手研究(A)		若手研究(B)		研究活動 スタート支援		挑戦的 萌芽研究		研究成果公開 促進費		特別研究員 奨励費		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
人文社会系	0	0	8	30,160	0	0	2	21,970	18	56,810	56	59,345	1	4,290	19	18,330	1	1,430	8	8,970	1	1,600	31	30,020	145	232,925
ビジネス サイエンス系	0	0	0	0	0	0	1	8,190	6	20,150	18	23,140	1	1,560	5	5,460	0	0	3	4,420	0	0	0	0	34	62,920
数理物質系	0	0	24	121,030	2	131,950	15	177,970	27	123,500	57	81,770	7	38,480	28	41,080	2	2,730	35	54,470	0	0	41	41,690	238	814,670
システム 情報系	0	0	2	8,060	1	38,740	6	59,670	33	161,330	45	63,960	5	24,180	29	41,990	1	1,170	28	38,480	0	0	18	17,870	168	455,450
生命環境系	0	0	17	183,794	1	35,880	11	102,570	34	158,210	49	72,020	6	35,490	25	39,390	6	8,190	33	59,020	0	0	40	42,480	222	737,044
人間系	0	0	0	0	1	37,050	4	26,520	11	43,550	25	35,360	0	0	7	7,670	4	4,290	10	12,740	2	2,600	15	12,600	79	182,380
体育系	0	0	0	0	0	0	3	36,790	16	73,190	24	29,510	1	2,080	14	14,170	3	4,420	15	21,580	0	0	17	17,320	93	199,060
芸術系	0	0	0	0	0	0	7	77,090	4	16,640	12	15,990	1	5,070	2	1,430	1	1,170	3	2,990	1	400	4	4,150	35	124,930
医学医療系	0	0	14	112,996	3	100,620	3	38,740	37	201,500	124	184,860	4	19,240	50	77,870	4	5,850	51	83,330	0	0	19	21,580	309	846,586
図書館情報 メディア系	0	0	0	0	0	0	2	24,310	3	11,830	21	24,700	0	0	5	4,290	0	0	3	3,510	0	0	4	4,960	38	73,600
附属学校教育局	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5,980	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5,980
計算科学研究 センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,820	0	0	2	3,120	1	1,040	0	0	0	0	1	1,560	6	7,540
生命領域学際 研究センター	0	0	4	69,030	0	0	2	27,300	0	0	1	1,950	1	5,070	2	4,290	0	0	1	2,080	0	0	1	1,690	12	111,410
附属病院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5,980	1	1,430	0	0	11	18,720	1	1,170	2	2,470	0	0	0	0	16	29,770
国際統合睡眠医科学 研究機構	0	0	3	37,830	1	39,000	0	0	2	9,750	2	2,600	0	0	7	11,310	1	1,300	3	5,720	0	0	3	2,930	22	110,440
北アフリカ 研究センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2,080	0	0	1	1,170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3,250
本部任用教員等	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8,450	0	0	0	0	1	650	2	2,470	1	650	0	0	3	3,000	9	15,220
合計	0	0	72	562,900	9	383,240	56	601,120	195	896,870	438	600,535	27	135,460	208	290,940	27	35,230	196	300,430	4	4,600	197	201,850	1,429	4,013,175

※ 転入・転出状況を反映した。
 ※ 奨励研究は除く。
 ※ 学長、副学長、名誉教授等は元の所属部局に加算した。
 ※ 本部任用教員等はまとめて計上。(内訳:国際室(2)、広報室(1)、研究企画課(1)、外国語センター(1)、グローバルコミュニケーション教育センター(1)、グローバル教育院(3))
 ※ 間接経費を含む。
 ※ 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化):8件、82.420千円(全研究期間分)の採択あり。(うち平成27年度の交付決定は1件)

イ 種目別採択状況

(金額の単位:千円)

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
新学術領域研究(研究領域提案型)	23102014	数理物質系	・教授	木越 英夫	細胞骨格タンパク質の関わる抗腫瘍性発現機構の解明	9,230
	23116001	生命環境系	・教授	深水 昭吉	生命素子による転写環境とエネルギー代謝のクロストーク	8,307
	23116004	生命環境系	・教授	深水 昭吉	転写環境の構築とアミノ酸代謝のクロストーク制御	33,007
	23116006	医学医療系	・准教授	矢作 直也	代謝シグナルが投射されるゲノム領域の同定と転写環境調節機構の解明	12,376
	23117004	生命環境系	・教授	石田 健一郎	二次共生における共生藻のオルガネラ化過程の解明	29,640
	23117006	生命環境系	・准教授	稲垣 祐司	ミトコンドリア・色素体以外の共生オルガネラ成立過程の解明	21,320
	24101001	人文社会系	・教授	常木 晃	西アジア文明学の構築	5,980
	24101002	人文社会系	・教授	常木 晃	西アジアにおける現生人類の拡散ルート—新仮説の検証—	7,930
	24101004	人文社会系	・教授	三宅 裕	西アジア先史時代における工芸技術の研究	4,550
	24101005	生命環境系	・教授	久田 健一郎	西アジア先史時代の石材供給に関する地質学	2,860
	24101007	人文社会系	・教授	山田 重郎	古代西アジアの文字文化と社会—前2千年紀におけるユーフラテス中流域とハブル流域	2,860
	24101008	人文社会系	・教授	池田 潤	周辺アッカド語文書に見る古代西アジアの言語・歴史・宗教に関する総合的研究	3,120
	24101009	人文社会系	・准教授	柴田 大輔	バビロニア・アッシリアの「政治」と「宗教」—領土統治における神学構築と祭儀政策—	3,380
	24101010	生命環境系	・准教授	丸岡 照幸	多元素同位体比分析による古代西アジアにおける古環境復元	4,160
	24101011	生命環境系	・講師	安間 了	堆積物に記録される西アジアにおける第四紀環境変動の解読	6,370
	24101013	生命環境系	・准教授	黒澤 正紀	西アジア古代遺跡の石器・土器の組成・微細組織データベース	650
	24101014	人文社会系	・准教授	谷口 陽子	西アジア文化遺産の材質と保存状態に関する自然科学的研究	2,210
	24109006	数理物質系	・教授	関口 章	高周期典型元素を基軸とする感応性開殻分子の創製と機能	10,270
	24110001	生命環境系	・教授	恩田 裕一	福島原発事故により放出された放射性核種の環境動態に関する学際的研究:総括班	13,650
	24110006	生命環境系	・教授	恩田 裕一	水・土砂移動に伴う放射性物質の移行過程の理解	24,180

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
新学術領域研究 (研究領域提案型)	24114006	生命環境系	・教授	佐藤 忍	植物の細胞機能や発生・分化における細胞壁多糖・糖タンパク質の機能の解明	16,770
	24115001		・学長	永田 恭介	ウイルス感染現象における宿主細胞コンピテンシーの分子基盤	10,400
	24115002		・学長	永田 恭介	マイナス鎖RNAウイルスの複製におけるウイルスと宿主の攻防	27,170
	25105007	数理物質系	・教授	金 信弘	宇宙背景ニュートリノの崩壊探索に用いる超伝導赤外線検出器の開発	19,240
	25114001	生命領域学際研究センター	・教授	小林 悟	動物における配偶子産生システムの制御	13,650
	25114002	生命領域学際研究センター	・教授	小林 悟	ショウジョウバエPGCの形成を制御する遺伝子ネットワークの解明	43,810
	26101501	人文社会系	・准教授	中野 優子	タンザニアにおける「緑の革命」の実現可能性とその方策	1,430
	26102712	医学医療系	・講師	三輪 佳宏	蛍光イメージングによるスクリーニング系の確立と天然物探索	2,860
	26103504	数理物質系	・教授	齋藤 一弥	実在モデル系としての球形分子会合体からなる液体のガラス転移	3,510
	26104504	数理物質系	・教授	石橋 孝章	全内部反射ラマン・振動SFG分光システムの構築と固液界面への応用	3,640
	26105011	数理物質系	・准教授	小林 伸彦	有機半導体の活性サイトの理論	8,970
	26105705	数理物質系	・准教授	淵辺 耕平	有機触媒によるジフルオロカルベンの発生制御と有機フッ素化合物合成	3,380
	26106705	数理物質系	・研究員	池田 豊	酸化ストレスによって引き起こされる細胞システムの形態変化解析とその問題解決	3,900
	26107004	数理物質系	・教授	重田 育照	理論と実験の協奏的アプローチによる複合スピン励起子変換制御	15,080
	26107506	数理物質系	・教授	藤田 淳一	ナノ加圧法を用いた巨大格子歪み導入による面内電子伝導制御とデバイス応用	3,510
	26107507	数理物質系	・教授	中村 潤児	ホウ素ドーピンググラフェンの局所電子状態の解明と制御	3,250
	26107508	数理物質系	・准教授	神田 晶申	単層/多層グラフェンにおける超伝導近接効果	3,510
	26107509	数理物質系	・教授	岡田 晋	計算科学に基づく新奇原子層物質複合系の物性解明と物質設計	3,510
	26108703	数理物質系	・講師	関場 大一郎	ガラスキャピラリーによる超低エミッタンス超低速ミュオンの生成	4,160
	26112503	生命環境系	・教授	谷本 啓司	マウス・ゲノム刷り込み制御配列のエピゲノムダイナミクス	4,680
26115502	国際統合睡眠医科学研究機構	・准教授	坂口 昌徳	睡眠中の新生ニューロンの活性化が記憶に及ぼす機能	4,680	

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費
		所属部局・職	氏名		
新学術領域研究 (研究領域提案型)	26115503	国際統合睡眠医科学研究機構	・助教 林 悠	睡眠中の神経回路ダイナミズム	4,680
	26116705	医学医療系	・講師 小林 麻己人	血球分化のエピジェネティクス制御変遷とエネルギー代謝	4,680
	26116707	医学医療系	・教授 加藤 光保	足場非依存性間欠性細胞分裂の転写制御と代謝	4,680
	26116730	生命領域学際研究センター	・助教 林 良樹	ショウジョウバエ始原生殖細胞の転写抑制機構におけるメチオン代謝の役割	4,550
	26119504	医学医療系	・助教 水挽 貴至	脳内セロトニンが時間の体験に与える影響の解明	3,380
	26119702	生命環境系	・准教授 イン バイウエルン	人工的遺伝子回路の発現レベルの予測モデルの構築	1,170
	26120504	システム情報系	・助教 日野 英逸	スパース表現に基づくマーク付き点過程に対する距離尺度の学習手法の開発	2,470
	26120707	医学医療系	・教授 松本 正幸	2つのドーパミン神経系が支える報酬と罰に基づく学習の神経基盤	5,330
	15H00723	数理解物質系	・教授 鍋島 達弥	発光性錯体を元素ブロックとする多機能性高分子の創製	3,250
	15H00830	数理解物質系	・教授 小沢 顕	新型飛行時間検出器によるNi同位体の質量測定	2,860
	15H00860	数理解物質系	・准教授 山本 洋平	共役炭素ナノ材料およびペプチド複合体による超広域光捕集系の構築	1,950
	15H00861	数理解物質系	・教授 小島 隆彦	遷移金属錯体及びポルフィリン超分子を用いたCO ₂ 光還元系の開発	1,950
	15H00914	数理解物質系	・教授 鍋島 達弥	構造ストレスの付与と解放を利用した多感応性機能分子の創製	2,600
	15H00915	数理解物質系	・教授 小島 隆彦	高原子価ルテニウム錯体の反応性の制御要因の解明	2,600
	15H00969	生命環境系	・准教授 加藤 弘亮	森林に降下した放射性セシウムの初期遮断率の広域評価	3,900
	15H00970	生命環境系	・助教 高橋 純子	間伐施業が森林生態系の放射性セシウムの循環に及ぼす影響の定量的評価	2,990
	15H00985	数理解物質系	・講師 山村 正樹	リン含有曲面分子の曲率制御を用いた多彩な π 共役集積体の造形	3,380
	15H00986	数理解物質系	・准教授 山本 洋平	π 電子球体の自己形成と新しい光エレクトロニクスの創出	3,510
	15H01029	数理解物質系	・准教授 寺崎 順	原子核行列要素の方法による不一致問題の解決	1,170
	15H01079	数理解物質系	・講師 山村 正樹	マルチメタル正四面体型ホスト分子のゲストの対称性を反映した多段階光応答性	2,600
15H01103	医学医療系	・講師 大城 幸雄	CTとMRIを融合させる多元型変形可能な膵臓手術シミュレーションソフトの開発研究	1,950	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
新学術 領域研究 (研究 領域 提案型)	15H01201	生命環境系	・教授	稲葉 一男	繊毛外腕ダイニンによるカルシウム依存的屈曲制御と生体調節	4,810
	15H01308	生命環境系	・教授	稲葉 一男	多機能運動装置ハプトネマが示す新規微小管系屈曲運動のメカニズム	5,330
	15H01343	医学医療系	・准教授	村谷 匡史	癌特異的クリプティック遺伝子プロモーターの転写サイクルプロファイリング	5,720
	15H01365	医学医療系	・教授	渋谷 彰	粘膜上皮ダイニングコードによる炎症応答制御機構の解明	4,680
	15H01392	医学医療系	・教授	熊谷 嘉人	レドックスシグナル伝達の可逆性担保における活性イオウ分子の役割	2,860
	15H01504	医学医療系	・教授	千葉 滋	エイジングに伴うエピゲノム変化に注目した造血幹細胞の前がん化機構	5,590
	15H01576	システム情報系	・助教	川崎 真弘	コミュニケーション時の運動リズム同期から推定する発達障害と定型発達の関係性	5,590
	15H05941	医学医療系	・教授	松崎 一葉	想定外のストレス下での精神・自律神経系の恒常性維持機構の解明	21,320
	15H05942	国際統合睡眠医科学研究機構	・教授	長瀬 博	超ストレス環境・宇宙を見据えた新規睡眠覚醒制御手法の開発	28,470
	15K21736	生命領域学際研究センター	・教授	小林 悟	世界最先端の解析システムの構築による配偶子産生研究の国際展開(国際活動支援班)	7,020
基盤 研究 (S)	23228002	生命環境系	・教授	小林 達彦	炭素一窒素結合切断および合成酵素群の統括的機能解明と応用開発	35,880
	24221003	医学医療系	・客員教授	遠山 千春	微細形態解析による発達神経毒性メカニズムの解明	43,420
	25220103	医学医療系	・教授	熊谷 嘉人	環境中親電子物質によるシグナル伝達変動とその制御に関する包括的研究	35,750
	25220203	数理物質系	・教授	長崎 幸夫	活性酸素を制御するバイオマテリアルの構築	47,970
	26220207	国際統合睡眠医科学研究機構	・教授	柳沢 正史	フォワードジェネティクスで同定した新規睡眠制御遺伝子による睡眠覚醒制御機構の解明	39,000
	26221004	医学医療系	・教授	高橋 智	生体の光学的な窓を利用した新規in vivoイメージング技術の開発	21,450
	15H05716		・副学長	稲垣 敏之	人の認知・判断の特性と限界を考慮した自動走行システムと法制度の設計	38,740
	15H05724	人間系	・教授	小川 園子	社会性の形成・維持を司る神経内分泌機構の解明	37,050
15H05734	数理物質系	・教授	重川 秀実	フェムト秒時間分解STMによる光誘起ダイナミックスのナノスケール分光	90,480	
基盤 研究 (A)	23240058	生命環境系	・教授	中田 和人	モデルマウスを用いたミトコンドリアセントラルドグマの破綻病理の解明	5,980
	24240062	生命環境系	・准教授	千葉 親文	アカハライモリのモデル動物化を加速する分野横断研究:技術・情報基盤構築と実践適用	5,590

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (A) 【 一 般 】	24241010	生命環境系	・教授	濱 健夫	沿岸域における海洋酸性化の進行の特徴と微細藻類への影響	4,680
	24241053	システム情報系	・教授	鈴木 勉	地理情報科学と都市工学の空間情報解析融合技術の戦略的活用	10,920
	24243079	人間系	・教授	宮本 俊和	特別支援教育における視覚障害学生の鍼臨床能力向上のためのITを活用した包括的研究	3,120
	24245007	数理物質系	・教授	関口 章	ケイ素-ケイ素三重結合化合物を基盤とした高周期元素非平面 π 電子化合物の創製	8,970
	24245011	数理物質系	・教授	小島 隆彦	ルテニウム錯体とポルフィリンを基盤とする高効率・高選択的光酸化触媒系の構築	8,190
	24247011	生命領域学際研究センター	・教授	小林 悟	ショウジョウバエ生殖細胞系列の性決定機構の解明	8,970
	25240012	図書館情報メディア系	・教授	森嶋 厚行	データ中心型クラウドソーシングプラットフォームの高度化とその応用に関する研究	10,140
	25240030	システム情報系	・教授	岩田 洋夫	歩行移動インタフェースを用いた避難行動研究基盤の構築	17,550
	25241020	生命環境系	・教授	野村 暢彦	微生物シグナルを利用した微生物集団制御技術の科学的基盤確立に関する研究	8,970
	25242029	システム情報系	・教授	大澤 義明	老朽化する都市インフラの選択集中整備に関する理論・実証研究	7,540
	25242061	体育系	・教授	西保 岳	暑熱下運動時における熱中症発症の新メカニズム検証と新予防法の提案	10,400
	25245082	人間系	・教授	安藤 隆男	グローバル・スタンダードとしての特別支援教育の創成と貢献に関する総合的研究	5,720
	25246010	数理物質系	・教授	岡田 晋	ナノ炭素物質と無機半導体からなる複合構造におけるナノ界面物性の解明	10,400
	25248014	数理物質系	・教授	大塩 寛紀	光・電場に応答する多重機能性金属錯体の構築	6,370
	25250011	生命環境系	・特命教授	林 純一	ミトコンドリア移植による哺乳類ミトコンドリアゲノムのパラダイム変換	13,780
	25252008	生命環境系	・教授	江面 浩	大規模変異体集団を利用したトマト重要形質の解析	10,790
	25252062	生命環境系	・教授	深水 昭吉	アルギニンメチル化酵素と栄養補給路の機能的ネットワークの解明	11,700
	25253106	医学医療系	・教授	川口 孝泰	在宅医療推進に向けた遠隔看護の実証実験	5,850
	26242021	芸術系	・准教授	松井 敏也	被災博物館等の汚染ガスからみた資料と環境の安定化およびその評価手法の研究	11,700
	26242029	システム情報系	・教授	伊藤 誠	スキルの維持向上に基づき能力限界と機能喪失に備える相補的ヒューマンマシンシステム	11,310
26242073	数理物質系	・教授	木越 英夫	海洋天然物の誘導するタンパク質-タンパク質相互作用の解明	5,200	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(A) 【一般】	26244008	芸術系	・教授	守屋 正彦	東アジア文化の基盤としての儒教の視覚イメージに関する研究	5,980
	26244026	人文社会系	・教授	今井 新悟	コンピュータ自動採点日本語スピーキングテストの実用化と妥当性の検証	12,480
	26245082	人間系	・教授	磯田 正美	グローバル社会における未来構築型数学教育実現への国際先導研究	10,530
	26245086	人間系	・教授	竹田 一則	障害のある学生の修学支援における合理的配慮のあり方に関する学際的研究	7,150
	26246001		・名誉教授	磯谷 順一	ダイヤモンド中のNVセンターのナノ配列作製による数量子ビット量子レジスタの実現	14,170
	26247019	数理物質系	・教授	中井 直正	大規模電波カメラによる「あかり」北極域の掃天観測	16,510
	26247064	数理物質系	・教授	初貝 安弘	トポロジカル相におけるバルク・エッジ対応の普遍性: 固体物理から冷却原子まで	12,740
	26249073	システム情報系	・准教授	谷口 綾子	健康に配慮した交通行動誘発のための学際的研究	7,670
	26249104	数理物質系	・特命教授	宮崎 修一	チタン合金のマルチスケール組織の解明と実用材料開発	8,840
	26249141	数理物質系	・教授	今井 剛	原型炉ECHに向けたマルチMWジャイロトロン発振の研究	12,220
	15H01678	数理物質系	・教授	青嶋 誠	大規模複雑データの理論と方法論の総合的研究	9,750
	15H01708	システム情報系	・准教授	田中 文英	子どもと高齢者の教育的コミュニケーションを支援するロボットインタフェース	4,680
	15H01758	芸術系	・特命教授	逢坂 卓郎	地域資源を基盤とする創造的復興とレジリエンス力強化に関する実践研究	10,530
	15H01825	体育系	・教授	高木 英樹	体工連携によるスポーツ科学イノベーションー革新的な用具・コーチング法の開発ー	6,500
	15H01828	体育系	・教授	征矢 英昭	身心の活力を増進する最適運動条件の橋渡し研究: 意欲と認知をともに高める脳機構	19,890
	15H01844	人間系	・教授	小川 園子	性ステロイドホルモンによる社会行動神経ネットワーク機能の制御メカニズム	4,162
	15H01859	生命環境系	・教授	松井 圭介	世界遺産の創造と場所の商品化に関わる理論的・実証的研究	7,020
	15H01874	芸術系	・教授	五十殿 利治	大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究	15,730
	15H01986		・特任教授	金子 元久	大学組織の構造・機能とその変容可能性	8,190
	15H01996	数理物質系	・教授	門脇 和男	固有ジョセフソン接合によるテラヘルツ発振デバイスの高機能化と応用開拓	10,530
15H02023	数理物質系	・准教授	武内 修	有機光電変換デバイスの微視的評価法の確立	23,140	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費
		所属部局・職	氏名		
基盤研究(A)【一般】	15H02189	生命領域学際研究センター	・教授 小宮山 眞	化学ツールを活用したヒトゲノムの修飾・損傷の精密検出とニュー・ゲノム科学の創成	18,330
	15H02195	数理物質系	・教授 藤田 淳一	超高感度局在場可視化技術創出による触媒機能発現機構解明と高機能触媒の開発	23,660
	15H02237	数理物質系	・教授 末益 崇	結晶Siタンデム型太陽電池に向けたSi系ワイドギャップ新材料の探索	9,620
	15H02281	芸術系	・教授 花里 俊廣	課題解決能力・支払能力・公的支援策を考慮したマンション建替え可能性の評価方法	11,570
	15H02340	数理物質系	・准教授 笹 公和	多種の長寿命放射性核種を超高感度で検出可能な加速器質量分析法の開発	13,780
	15H02487	生命環境系	・教授 高谷 直樹	しつこく生えるカビの環境耐性と適応の分子機構	10,140
	15H02503	医学医療系	・教授 金保 安則	新規抗癌剤開発に向けた腫瘍血管新生・癌転移阻害ペプチドの創成	16,380
	15H02541	医学医療系	・教授 島野 仁	Elovl6による脂肪酸の質的変容が起こす多臓器代謝病態と脳行動異常のメカニズム	16,510
基盤研究(A)【海外】	24251013	人文社会系	・教授 三宅 裕	西アジアにおける初期定住集落の研究	9,490
	25257303	芸術系	・准教授 松井 敏也	アンコール遺跡群における砂岩浮き彫りの包括的な保存修復に関する研究	9,490
	25257306	生命環境系	・准教授 入江 光輝	サハラ砂漠周縁の水資源に関わる2大問題解決に向けた調査研究	10,270
	25257416	生命環境系	・教授 渡邊 和男	辺境少数民族地帯での植物利用及び伝統知の遺産と地域発展活動や国際経済の影響評価	13,650
	15H02636	芸術系	・教授 上北 恭史	伝統的生産システムによる保存手法の研究ー熱帯地域木造建造物保存の国際共同研究	12,740
基盤研究(B)【一般】	23320041	芸術系	・教授 柴田 良貴	東アジアに展開した儒教文化の視覚イメージに関する復元研究	4,420
	23330120	システム情報系	・教授 渡辺 真一郎	看護行動研究への組織心理学的アプローチ	2,730
	23330201	人間系	・教授 宇野 彰	発達性「読み」障害に関する臨床的、計算論的、脳機能研究	3,510
	23330273	人間系	・教授 鄭 仁豪	読書力の高い聴覚障害児はどのようにテキストを認知し理解しているのか	1,820
	23340022		・名誉教授 赤平 昌文	統計的推測における非正則構造の解明とその応用	3,900
	24300234	体育系	・准教授 橋本 佐由理	糖尿病患者に対するライフキャリア変容型の集団健康教育法開発とその評価	2,210
	24310004	生命環境系	・准教授 廣田 充	ギャップ・モザイク構造を考慮した成熟林の炭素吸収能力の再評価	1,950
	24310133	システム情報系	・准教授 庄司 学	地震津波複合災害時におけるライフラインの被害推計と応急復旧過程のモデル化	4,680

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(B)【一般】	24310169	システム情報系	・教授	吉野 邦彦	湿原生態系保全のためのリモートセンシング観測諸元の解明	3,510
	24320066	芸術系	・教授	菅野 智明	日中比較による書学資料の文献学的研究	5,070
	24320088	人文社会系	・教授	廣瀬 幸生	文法と語用論の関係に関する日英語対照研究	2,600
	24360378	数理物質系	・教授	中嶋 洋輔	タンデムミラー端部及び高出力中性粒子ビームを用いたダイバータ・ELM模擬研究	1,950
	25280020	システム情報系	・教授	亀山 幸義	信頼性の高いコード生成のためのプログラミング言語の実現	4,810
	25280056		・特命教授	大田 友一	大規模空間を対象とする人物ビルボードを用いた任意視点映像生成提示方式の高画質化	3,120
	25280070	システム情報系	・准教授	掛谷 英紀	精緻な作業を可能にする高精細裸眼立体ディスプレイの研究	4,420
	25280110	図書館情報メディア系	・教授	佐藤 哲司	コミュニティメディアからの知識抽出に基づくソーシャルキャピタルの変容過程の解明	3,120
	25280114	ビジネスサイエンス系	・教授	吉田 健一	通販のための学習不要型不正取引検知技術の研究	3,770
	25281042	国際室	・特命教授	杉浦 則夫	淡水環境におけるかび臭発生の原因解明とその発生抑制手法の開発	3,250
	25281046	生命環境系	・教授	張 振亜	有機性廃棄物からの窒素回収及びアンモニア阻害を抑制可能な乾式メタン発酵法の実現	4,030
	25282087	ビジネスサイエンス系	・教授	山田 雄二	市場リスクとエネルギーポートフォリオの統合マネジメントシステムの構築	4,550
	25282173	システム情報系	・教授	福井 和広	手話からの特定連続指文字のスポッティングシステム	4,420
	25282185	体育系	・准教授	長谷川 悦示	e-Learningによる体育授業評価システムと授業実践研究ネットワークの構築	2,340
	25282189	体育系	・教授	中込 四郎	臨床スポーツ心理学の展開	4,290
	25282190	体育系	・教授	菊 幸一	「新しい公共」形成をめぐる民間スポーツ組織の公共性に関する国際比較研究	5,460
	25282191	体育系	・教授	関子 浩二	次世代型筋力・パワートレーニングアセスメントの開発	4,030
	25282203	医学医療系	・准教授	中田 由夫	減量後の体重維持に対するweb支援の効果検証	2,600
	25282212	医学医療系	・准教授	溝上 裕士	生活習慣病を想定した過食肥満マウス開発とNASHへの進展を規定する病態因子の探索	4,290
	25282213	体育系	・准教授	大藏 倫博	運動支援ボランティア育成を柱とした包括的介護予防システムの構築とその波及効果	6,240
25282214	国際統合睡眠医科学研究機構	・准教授	中川 嘉	絶食時栄養制御因子CREBHが腸肝循環を介し肥満形成を抑制するメカニズム	6,370	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (B) 【 一 般 】	25282215	体育系	・教授	徳山 薫平	24時間の脂肪酸化に及ぼす運動の影響:運動後の代謝亢進を考慮した間接熱量測定	4,940
	25282246	医学医療系	・教授	設楽 宗孝	行動決定における価値判断の脳内情報コーディング機構	6,760
	25284010	人文社会系	・教授	佐久間 秀範	スティラマティ(安慧・堅慧)の思想の総合的研究	4,290
	25284048	人文社会系	・准教授	近本 謙介	唱導文献に基づく法会の総合的研究	3,900
	25284092	人文社会系	・教授	酒井 たか子	多言語背景の児童を対象とした多層分岐適応型日本語力診断オンラインテストの開発	3,380
	25284099	人文社会系	・教授	卯城 祐司	英文理解の破綻と修復プロセスの検証:眼球運動測定研究に基づく読解指導への提案	2,340
	25285026	ビジネスサイエンス系	・教授	弥永 真生	中小企業の会計とその適正性の確保	3,250
	25285182	人間系	・教授	庄司 一子	学校教育場面における社会的絆の形成と回復をめざす支援の検討	2,080
	25285242	人間系	・教授	井田 仁康	地理、歴史、公民を関連させた社会科としてのESD実践の構築と発信に関する研究	4,160
	25285258	附属学校教育局	・特命教授	藤原 義博	超早期段階からの知的・重複・発達障害児の一貫した特別支援教育支援体制モデル研究	5,980
	25286020	数理物質系	・講師	関場 大一郎	高速高分解能ERDAによるサブサーフェス水素ダイナミクスの研究	2,860
	25286021	数理物質系	・准教授	神田 晶申	歪み誘起ゲージ場を用いたグラフェンのエネルギーギャップの生成と制御	3,900
	25286034	数理物質系	・教授	鈴木 博章	1細胞計測のためのフォトニクス・マイクロフレイディックス融合デバイスの構築	4,810
	25286054	数理物質系	・准教授	藤ノ木 享英 (梅田享英)	炭化ケイ素(SiC)MOS界面準位の起源と移動度劣化メカニズムの分光学的解明	4,680
	25286097	システム情報系	・教授	櫻井 鉄也	非線形固有値解法の実用アルゴリズム開発と実アプリケーションへの応用	5,460
	25287016	数理物質系	・教授	磯崎 洋	多様体上の逆散乱理論の新局面-格子からオービフォールドまで	3,900
	25287047	数理物質系	・講師	中條 達也	LHC-ALICE実験・前方光子検出器のための高速読み出し系の開発	4,550
	25287048		・副学長	三明 康郎	粒子・ジェット方位角相関測定によるグルーオン衝撃波の探索	5,590
	25287065	数理物質系	・教授	中務 孝	原子核の低エネルギー集団励起と核融合・核分裂機構の解明	7,540
	25288016	数理物質系	・教授	市川 淳士	位置選択的にフッ素置換した多環式芳香族化合物のための系統的合成法開発	3,120
25288052	数理物質系	・教授	神原 貴樹	結合位置の高度制御を可能にする直接的アリアル化重縮合法の開発	3,900	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (B) 【 一 般 】	25289002	システム情報系	・教授	河井 昌道	一般化非相似形等寿命線図法と多軸疲労寿命予測法の開発・検証に関する基礎研究	1,820
	25289083	数理解物質系	・教授	秋本 克洋	水素化アモルファスカーボンの薄膜作成と物性制御	4,160
	25289178	システム情報系	・教授	境 有紀	入力地震動をパラメータとした実大在来木造建物の振動実験	910
	25289247	数理解物質系	・教授	金 へよん	不純物元素およびナノスケール変調構造の制御によるチタン基超弾性合金の高性能化	1,560
	25290064	生命環境系	・准教授	木村 圭志	M期染色体動態を制御する核小体RNA-タンパク質ネットワークの解析	5,980
	25291001		・学長	永田 恭介	ヒストンシャペロンによるクロマチンのダイナミック制御	5,200
	25291069	生命環境系	・教授	稲葉 一男	カラクシンによる繊毛機能の調節機構の解明	5,590
	25291084	生命環境系	・助教	出川 洋介	生きる化石「接合菌類」の多様性から読み解く菌類の陸上進出と繁栄	1,950
	25292019	生命環境系	・教授	菅谷 純子	温帯落葉果樹休眠芽の代謝制御—低温シグナルの機能に関する研究	2,860
	25292080	生命環境系	・准教授	山路 恵子	放射性核種が樹木実生の重金属ストレス耐性に与える影響評価	4,810
	25292131	生命環境系	・教授	茂野 隆一	消費行動がフードセキュリティに及ぼす影響の解明 —行動経済学による接近—	2,340
	25293065	医学医療系	・教授	榎 正幸	ヘパラン硫酸微細構造修飾の生体シグナル調節における役割の解明	5,460
	25293086	医学医療系	・教授	野口 雅之	SFN, IGBP1に着目した肺腺癌発生の分子基盤の解明	2,340
	25293091	医学医療系	・准教授	渋谷 和子	アレルギー性皮膚炎に対する分子標的療法の基盤開発	4,810
	25293092	医学医療系	・教授	加藤 光保	TGF- β の標的遺伝子TMEPAIとMafKの発がん促進能に関する研究	5,330
	25293125	医学医療系	・講師	酒井 俊	マイクロRNAの発現変動を切り口とした肺動脈性肺高血圧症の理解と新治療法の探索	3,380
	25293353	医学医療系	・教授	大鹿 哲郎	ドップラー補償光学型および偏光感受型光干渉断層計による三次元光バイオプシーの開発	2,600
	26280018	システム情報系	・准教授	追川 修一	不揮発性メインメモリのオペレーティングシステムサポート	3,900
	26280027	システム情報系	・教授	李 頌	クラウド環境における異種ネットワークの管理・評価・情報サービスイノベーション	3,380
	26280037	システム情報系	・教授	北川 博之	複合型並列計算環境を活用した大規模不均質データの実時間分析基盤	5,980
26280047	システム情報系	・教授	酒井 宏	凶地の知覚と皮膚におけるその群表現 --- 自然光景の理解に向けて	4,550	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (B) 【 一 般 】	26280068	システム情報系	・准教授	志築 文太郎	能動的な音響計測に基づくタッチインタフェース技術	5,590
	26280111	システム情報系	・教授	宇津呂 武仁	ウェブ検索における情報要求観点の言語間比較・対照分析システムの研究	5,200
	26280117	図書館情報メディア系	・教授	水嶋 英治	21世紀図書館情報専門職養成研究基盤アーカイブ構築:図書館情報専門職の再検討	3,770
	26280118		・副学長	中山 伸一	検索メディアと思考パターンに関する検索語生成過程の脳活動データ解析	5,200
	26281039	生命環境系	・教授	福島 武彦	ポリミクティックな湖沼での底質中物質動態の高解像度観測、モデル化と浄化対策	3,900
	26282076	生命環境系	・教授	松岡 憲知	山岳地形変動システムの統一的理解—欧州アルプスと日本アルプスの比較研究—	6,500
	26282117	数理物質系	・准教授	加納 英明	アルツハイマー病早期診断に向けたコヒーレント・ラマン水晶体イメージング法の開発	4,290
	26282170	体育系	・教授	岡出 美則	21世紀型能力を踏まえた体育の学力概念の検討	2,600
	26282172	体育系	・教授	阿江 通良	標準動作による動作の改善および学習者の類型化に関するバイオメカニクス的研究	5,200
	26282181	体育系	・教授	前田 清司	睡眠障害が競技パフォーマンスを低下させる機序の解明とその改善法の開発	6,240
	26282191	医学医療系	・教授	正田 純一	遺伝子レスキューマウスの解析によるNASHを制御する組織・細胞Nrf2の役割解明	4,290
	26282192	体育系	・教授	田中 喜代次	介護予防教室終了後の運動継続に対する郵送支援の有効性	2,860
	26284029	人文社会系	・准教授	江藤 光紀	公共圏における劇場の役割—ドイツの選択、日本の針路	2,990
	26284051	人文社会系	・准教授	平石 典子	日本現代文学・文化の世界展開の比較文学的研究—〈ポップ〉なテキストを中心に	3,120
	26284129	生命環境系	・教授	村山 祐司	アジア・アフリカの首都圏における土地利用変化の空間可視化と将来予測	3,380
	26285037		・名誉教授	波多野 澄雄	サンフランシスコ講和体制の再検討	4,420
	26285043	システム情報系	・准教授	石川 竜一郎	帰納的学習による意思決定理論の構築と資産取引実験への応用	3,900
	26285095	ビジネスサイエンス系	・教授	佐藤 忠彦	市場反応形成メカニズム解明のための体系的な研究	4,030
	26285130	医学医療系	・教授	安梅 勅江	全国コホートによる虐待等不適切な養育環境への根拠に基づく早期支援プログラム開発	6,370
	26285161	人間系	・教授	Pavlidis C	Mechanisms of memory consolidation in sleep	5,200
26285171	ビジネスサイエンス系	・准教授	田中 正弘	学生参画による質保証の国際比較—学生との対話を反映した大学教育の質の向上—	2,470	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (B) 【 一 般 】	26285195	人間系	・准教授	唐木 清志	現代社会の課題を考察する見方や考え方を身に付けさせる公民教育カリキュラムの再構築	6,500
	26285196	人文社会系	・教授	矢澤 真人	作文を支援する語彙・文法的事項に関する研究	2,990
	26285208	人間系	・教授	原島 恒夫	インクルーシブ時代および高度医療時代における聴覚障害教育の在り方に関する研究	2,860
	26286011	数理物質系	・教授	佐々木 正洋	有機半導体のドーピングにおける分子レベル構造変化と電子物性改質の相関	5,590
	26287001	数理物質系	・教授	宮本 雅彦	頂点作用素代数の研究と軌道理論の応用	3,120
	26287124	生命環境系	・准教授	氏家 恒太郎	炭質物ラマンスペクトルを用いた断層における摩擦発熱温度指標の構築	1,560
	26288021	数理物質系	・准教授	二瓶 雅之	指向性情報・エネルギー伝達システムの構築	4,160
	26288031	数理物質系	・教授	齋藤 一弥	擬二成分描像に基づくサーモトロピック液晶の構造とダイナミクスの研究	2,860
	26288085	生命環境系	・教授	中島 敏明	プラスチック分解酵素のポリマー分解機構の解明と機能強化	5,590
	26289058	システム情報系	・准教授	鈴木 健嗣	随意的な姿勢変換を支援するソフトロボットアシスト技術の基盤化	5,200
	26289114	システム情報系	・教授	安永 守利	共鳴増幅配線による低損失伝送線の開発	4,550
	26289150	システム情報系	・教授	松島 亘志	高圧下における地盤材料の圧縮、せん断と固化のマイクロメカニクス	3,380
	26289159	生命環境系	・教授	浅沼 順	広域観測データを用いた陸面データ同化実験	3,640
	26289170	システム情報系	・教授	谷口 守	成人病化する都市の救命学:その診断・予防・リハビリシステムの体系的構築	4,810
	26289171	システム情報系	・教授	石田 東生	交通関連調査体系の再構築と政策評価への展開	4,680
	26289188	システム情報系	・准教授	金久保 利之	配向性を考慮したHPFRCCの繊維架橋則の構築と構造性能の評価	4,810
	26289220	芸術系	・教授	稲葉 信子	文化と景観およびその保護手法の研究—一人の居住と生産に関する文化的景観の評価と保存	3,640
	26289352	数理物質系	・教授	坂本 瑞樹	照射損傷タングステンの水素吸蔵とその低減法の開発	7,540
	26290028	医学医療系	・教授	八神 健一	胚着床に関連するExoc1遺伝子の機能解析	4,030
	26292077	生命環境系	・准教授	堀田 紀文	流域土砂貯留量の変化に着目した深層崩壊の評価手法の開発	4,680
26292189	生命環境系	・教授	谷本 啓司	エピゲノム情報修復システムとしての受精後刷り込みメチル化機構の役割	3,380	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費
		所属部局・職	氏名		
基盤研究(B)【一般】	26293051	国際統合睡眠医科学研究機構	・准教授 有竹 浩介	プロスタグランジンD2情報伝達制御による筋ジストロフィーの進行抑制法の確立	3,380
	26293123	医学医療系	・准教授 古川 宏	抗リウマチ薬による有害事象に関わる遺伝要因と発症機序の解明	3,770
	26293272	医学医療系	・准教授 福光 延吉	病院併設型中性子捕捉療法を用いた難治性癌克服の研究	3,770
	26293284	医学医療系	・教授 鬼澤 浩司郎	Nrf2は歯周病菌による自然免疫活性を制御し、肥満性肝疾患の発症と進展を予防する	4,290
	26293296	医学医療系	・教授 大河内 信弘	経口血小板増多剤による肝硬変に対する新規肝再生、線維化改善及び発癌予防法の確立	3,900
	26293297	医学医療系	・講師 石毛 和紀	遺伝子レスキューマウス解析による肥満肝発癌を制御する組織・細胞Nrf2の役割解明	4,290
	26293320		・副学長 松村 明	病院内加速器中性子捕捉療法確立のための基礎的・臨床的研究	4,290
	26293349	医学医療系	・教授 西山 博之	多系統動物モデルを用いた尿路上皮癌の発癌進展における腫瘍微小環境の解明	3,900
	26293383	医学医療系	・研究員 本多 伸一郎	IgM受容体を標的とした新規敗血症治療法の開発	5,070
	25284053	人文社会系	・教授 今泉 容子	ブレイクの複合芸術における「手」——医学的、ジェンダー的研究	910
	15H02674	システム情報系	・准教授 山際 伸一	データストリーム伝送路におけるロスレス圧縮技術の開発	4,940
	15H02733	システム情報系	・准教授 矢野 博明	バーチャルモデルとの協調歩行に関する研究	10,270
	15H02744	システム情報系	・教授 山本 幹雄	統計的機械翻訳における翻訳・言語モデルの高速かつコンパクトな実装方法に関する研究	6,760
	15H02765	医学医療系	・講師 首藤 文洋	感性を通して直感的に「惹かれる」物に対する行動選択思考メカニズムの脳機能的解明	9,230
	15H02859	生命環境系	・准教授 楊 英男	海洋微細藻類からのエネルギー回収を目指した太陽光利用型光触媒システムに関する研究	8,840
	15H02957	生命環境系	・准教授 山中 勤	同位体トレーサーと数値モデルの複合利用による山岳流域水収支評価の高精度化	4,940
	15H02966	システム情報系	・教授 吉瀬 章子	錐最適化技術の実社会における利活用を加速させる基礎理論の整備と深化	2,860
	15H03069	体育系	・教授 本田 靖	簡易暑熱順化トレーニング法開発とその実用化にむけたコベネフィット評価	5,330
	15H03070	体育系	・准教授 小池 関也	駆動源の出力様式を考慮した走・打・投動作の動力学的な生成メカニズムの解明	5,330
	15H03091		・名誉教授 目崎 登	運動や食事による性ステロイドホルモンの増加が動脈硬化改善効果に貢献する機序の解明	6,760
15H03092	医学医療系	・准教授 矢作 直也	エネルギー代謝制御を担う核内情報処理機構の解明と生活習慣病治療への応用	6,760	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (B) 【 一 般 】	15H03093	医学医療系	・准教授	松坂 賢	生活習慣病予防における脂肪酸組成制御の有用性の解明と健康科学への応用	6,760
	15H03146	システム情報系	・教授	岡本 直久	複数の観光交通データの融合的活用方法の開発と政策評価への展開	8,580
	15H03150		・名誉教授	谷川 多佳子	中世後期から近世初期までの〈メディアチオ〉に関する国際協働による哲学史的総合研究	3,380
	15H03173	芸術系	・教授	中村 義孝	日伊の交流を通じた蠟型ブロンズ彫刻の新しい表現の研究	3,510
	15H03214	人文社会系	・教授	加納 千恵子	日本語の漢字力評価の方法に関する研究	2,990
	15H03274	生命環境系	・教授	呉羽 正昭	日本におけるインバウンド・ツーリズムの発展に関する地理学的研究	5,460
	15H03280	人文社会系	・教授	前川 啓治	下からの地域開発の実践—フットパスと農村民泊による展開	5,720
	15H03327	システム情報系	・助教	栗野 盛光	肝臓・肺生体交換移植ネットワークの構築	7,410
	15H03333	システム情報系	・教授	金澤 雄一郎	合理的に行動する生産者と非合理的な消費者パラダイムの実証産業組織論における検証	3,510
	15H03373	ビジネスサイエンス系	・教授	大野 忠士	流動性指標の時系列分析:企業倒産に影響を及ぼす金融経済指標間の因果関係解明	2,080
	15H03426	人間系	・教授	小澤 温	ケアマネジメントにおける意思決定支援プログラム開発と評価に関する研究	3,510
	15H03454	体育系	・教授	坂入 洋右	心のダイアグラムを活用した自己調整による“身心”の機能の最適化	6,760
	15H03470	人文社会系	・教授	桑原 直巳	カトリック系人文主義教育と日本—イエズス会を中心に—	6,110
	15H03493		・名誉教授	長洲 南海男	教科と内容構成新ビジョンの解明—米国・欧州STEM・リテラシー教育との比較より	5,460
	15H03509	人間系	・准教授	佐島 毅	盲幼児・児童の発達段階に応じた教材・教具の開発と指導モデルの構築	3,900
	15H03638	数理物質系	・教授	梅村 雅之	一般相対論的輻射流体によるブラックホール超臨界降着流と超大質量星の研究	2,340
	15H03650	数理物質系	・准教授	石塚 成人	格子QCDによる K中間子崩壊の直接的CP非保存パラメータの決定	5,330
	15H03651	数理物質系	・教授	藏増 嘉伸	テンソルネットワーク形式による格子ゲージ理論の研究	4,550
	15H03673	数理物質系	・准教授	野村 晋太郎	ヘリカルTHz波による二次元電子系局所励起効果の解明	8,190
	15H03674	数理物質系	・教授	矢花 一浩	第一原理計算に基づく極限パルス光と物質の相互作用の解明	6,370
15H03925	システム情報系	・教授	阿部 豊	静電場・超音波ハイブリッド浮遊法を用いた非接触無容器プロセス制御技術の開発	7,020	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (B) 【 一 般 】	15H03966	数理物質系	・准教授	柳原 英人	人工磁壁における非線形電気磁気効果の観測	8,710
	15H03983	数理物質系	・教授	佐野 伸行	単原子層FETデバイスにおける電子間クーロン相互作用と室温動作特性の予測	5,590
	15H04054	システム情報系	・教授	堤 盛人	空間的自己相関を考慮した地域間フローの計量分析と空間詳細化	6,630
	15H04249	システム情報系	・教授	石田 政義	固体酸化物形燃料電池の大容量化に資する電気絶縁信頼性向上	8,320
	15H04281	医学医療系	・講師	三輪 佳宏	マウス高度非侵襲イメージングシステムの開発と応用	9,100
	15H04406	生命環境系	・教授	橋本 哲男	新型分割イントロンのスプライシング機構と進化多様性の解明	5,980
	15H04411	生命環境系	・教授	石田 健一郎	クロララクニオン藻成立に至る宿主ケルコゾアの進化	3,380
	15H04506	生命環境系	・教授	山岡 裕一	Ash dieback病原菌の起源地周辺での生態、多様性と移入病原菌リスク評価	7,150
	15H04507	生命環境系	・教授	上條 隆志	火山島の荒廃地における自生種を用いた緑化に関する生態学的基礎研究	4,290
	15H04560	生命環境系	・教授	加藤 衛弘	東北型社会の特質に関する史的研究:地域資源の開発・管理・利用との関係を重視して	3,380
	15H04563	生命環境系	・准教授	小林 幹佳	土壌・水環境技術の高度化に資する農業工学とコロイド化学の融合域における課題の解明	7,020
	15H04569	生命環境系	・教授	青柳 秀紀	ナノバブルによるプロトプラスト機能の活性化と有用物質の高速度生産システムの開発	8,580
	15H04827	医学医療系	・教授	檜澤 伸之	ゲノム情報に基づく難治性気道疾患のエンドタイプへの解明に向けた基盤研究	9,360
	15H04862	医学医療系	・講師	田原 聡子	アレルギー抑制性受容体アラジン-1のリガンド同定とその機能解明	3,770
	15H04885	医学医療系	・教授	藤本 学	皮膚筋炎におけるB細胞と自己抗体の病態関与メカニズムの解明	6,630
	15H04901	医学医療系	・教授	櫻井 英幸	次世代型マルチ粒子線治療の臨床応用のための基盤研究	6,890
	15H04917	医学医療系	・准教授	柳川 徹	Nrf2-p62ダブルノックアウトを用いたオートファジー異常による肝発癌の解析	6,240
	15H04924	医学医療系	・教授	小田 竜也	iCAF:iPS由来の癌線維芽細胞による膵癌幹細胞、間質幹細胞の糖鎖標的探索	7,150
	15H04947	附属病院	・病院講師	高野 晋吾	神経血管ワイアリング分子を標的とした脳腫瘍の血管新生抑制療法	5,980
	15H05038	医学医療系	・教授	武川 寛樹	口腔がん関連microRNAの総合的機能解析と新規治療法の探索	8,710
15H05077	医学医療系	・教授	水野 道代	ウェブサイトを用いた自己管理支援ががん体験者のQOL及び心理的安寧に与える効果	4,160	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名		
基 盤 研 究 (B) 【 海 外 学 術 調 査 】	24401031		・名誉教授 川西 宏幸	文化遺産救済策としてのエジプト古代都市の 立体復原とその活用	2,860
	24401036	生命環境系	・准教授 堤 純	ネオ・リベラリズムの進展とアジア化するオース トラリア社会に関する人文地理学的研究	4,160
	25301017	人文社会系	・教授 中村 逸郎	ロシア先住民の現代政治的な諸相に関する 実地調査—シベリア・極東の地域主義の台頭	1,690
	25301018	人文社会系	・教授 首藤 もと子	中国の対ASEAN文化外交の実像とその政治 社会的な影響に関する調査研究	1,040
	25305034	医学医療系	・助教 Jesmin Sub rina	Comprehensive Assessment of Prevalence and Trends of Gestational Diabetes Mellitus among Bangladeshi Rural Women: A multidisciplinary investigation from basic epidemiology to genetic screening	2,600
	26300032		・名誉教授 田林 明	カナダにおける農村空間の商品化による都市 —農村共生システム構築の実証的研究	3,770
	26301030	人文社会系	・教授 田中 洋子	ドイツにおける仕事とケアの調整政策の研究	2,210
	26302009	生命環境系	・教授 角替 敏昭	原生代ゴンドワナ衝突帯にみられる太古代地 殻断片の岩石学的解析	1,560
	26304001	生命環境系	・教授 田村 憲司	アジア半乾燥地における土壌中の環境汚染物 質の動態と将来予測	3,640
	26304002	国際室	・特命教 授 杉浦 則夫	マレーシア汚濁淡水源におけるエコゲノミクス を用いた浄水処理障害微生物の実態調査	5,200
	15H05111	生命環境系	・准教授 廣田 充	チベット高原における温暖化にともなう有機物 分解促進メカニズムの解明	7,540
	15H05198	人間系	・教授 嶺井 明子	ロシア及びCIS諸国における教育改革と教師教 育の現代化に関する総合的調査研究	5,850
	15H05231	生命環境系	・教授 橋本 哲男	嫌気環境に生育する真核微生物の多様性の 解明	6,890
	15H05294	医学医療系	・講師 河野 了	Exploration of the role of environmental chemical (arsenic) in the development of diabetes and the related metabolic disorders for South Asian Countries	8,320
	15H05296	医学医療系	・教授 我妻 ゆき子	バングラデシュの妊婦へのプロバイオティクス 経口投与による出生体重と乳児成長の効果	4,680
【 特 設 分 野 研 究 (B) 】	26310101	医学医療系	・教授 田宮 菜奈子	満足できる人生の幕引きのために—根拠に基 づく医療介護整備への学際的実証研究	4,680
	26310303	生命環境系	・教授 高谷 直樹	土壌腐植の恒常性を支える微生物の代謝と生 態	4,550
	15KT0074	生命環境系	・教授 和田 洋	転写制御ネットワークの頑健性と柔軟性、相転 移の実験的検証	4,940
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	23500296	図書館情報メディア系	・教授 呑海 沙織	大学図書館の学習支援空間における人材育 成プログラム・モデルの構築	520
	23520151	芸術系	・教授 森岡 隆	本阿弥光悦筆和歌巻の特徴解明と伝光悦筆 和歌巻の真贋鑑定法の確立	910
	23520489	人文社会系	・准教授 MIYAMOT O EDSO N・T	文理解におけるワーキングメモリ負荷の軽減化	1,040

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名		
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	23540185		・名誉教授 若林 誠一郎	無限回微分可能函数の枠組においてコーシー問題が適切となる双曲型方程式の特徴付け	780
	23540266	計算科学研究センター	・教授 相川 祐理	星・惑星系形成過程における揮発性物質の組成、同位体比、気相・固相分配	650
	24500526	医学医療系	・講師 三好 浩稔	三次元固定処理フィーダー細胞を用いた未分化細胞培養法の確立	1,430
	24500691	体育系	・教授 坂本 昭裕	自然体験療法における軽度発達障害のある生徒の障害特性と心理的成長の検討	1,430
	24500723	体育系	・准教授 深澤 浩洋	スポーツ競争に拡大体験の地平を探る意味生成論の展開	520
	24500725	体育系	・准教授 山口 香	女子柔道トップアスリートのレジリエンス向上及びパフォーマンスの向上支援	1,300
	24520137	芸術系	・教授 内藤 定壽	絵画制作の下地にかかわる専門用語の、西洋における混乱した使用状況に関する研究	1,170
	24520204	人文社会系	・准教授 本井 牧子	仏教類書と説話集におけるその受容に関する基礎的研究	1,300
	24520270	人文社会系	・教授 鷺津 浩子	〈知識の枠組み〉と南北戦争前アメリカ散文—〈ライフ〉をめぐる知識史	910
	24520272	人文社会系	・教授 宮本 陽一郎	越境を超えて—ネットワーク理論に基づく20世紀合衆国文学史の再構築	650
	24520336	人文社会系	・准教授 ヘーゼルハウス ヘルト	ペーター・スロータダイクと「福島原発事故」	1,040
	24520451	人文社会系	・准教授 佐々木 勲人	中国東南方言におけるヴォイスの構文ネットワークに関する研究	780
	24520530	人文社会系	・准教授 和田 尚明	日英語ならびに西欧諸語における時制・モダリティ・アスペクトの包括的研究	910
	24540012	数理物質系	・教授 秋山 茂樹	置換規則力学系のピゾ予想	1,170
	24540110	数理物質系	・教授 笠原 勇二	1次元2階微分作用素のスペクトル漸近定理とその拡散過程への応用	1,170
	24540161	数理物質系	・准教授 木下 保	偏微分方程式に対するウェーブレット理論の発展とその数値解析的応用	1,170
	24540248	数理物質系	・助教 佐藤 勇二	重力/ゲージ理論双対性の可積分構造に基づいたグルーオン散乱振幅の研究	1,040
	24540421	数理物質系	・准教授 トン ショウミン	赤外線レーザーの付加による原子・分子高速過程の制御の理論研究	780
	24591035	医学医療系	・講師 石津 智子	左室駆出率を超える心不全指標としての左室長軸収縮率の臨床的意義の研究	1,300
	24592541	医学医療系	・講師 田淵 経司	蝸牛発生、機能維持、蝸牛障害におけるセラミド、スフィンゴ脂質の影響の検討	910
24593285	医学医療系	・准教授 柴山 大賀	Common sense modelに基づく糖尿病自己管理教育プログラムの開発	910	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	25330006	図書館情報メディア系	・教授	森継 修一	和算で扱われた計算幾何学問題に対する現代的解法の研究	130
	25330007		・名誉教授	井田 哲雄	立体折紙の計算理論の展開と計算折紙ソフトウェアの開発	1,170
	25330022	システム情報系	・教授	久野 誉人	実用的な微分フリー最適化アルゴリズムの開発	1,690
	25330076	ビジネスサイエンス系	・教授	久野 靖	クラス構造のメタ記述による合成を許すプログラミング言語機構	520
	25330124	システム情報系	・准教授	天笠 俊之	EPUB3.0を核とした知識集積型ソーシャルリーディング基盤に関する研究	1,430
	25330141	図書館情報メディア系	・教授	長谷川 秀彦	高精度演算の併用によるクロフ部分空間法アルゴリズムの収束改善と高速化	1,170
	25330166	図書館情報メディア系	・准教授	森田 ひろみ	文章と画像の効果的スクロール表示実現のための心理学的研究	520
	25330225	システム情報系	・准教授	高橋 伸	装着型全周囲カメラと携帯端末を利用した仮想共同外出インタラクションシステムの開発	1,430
	25330380	図書館情報メディア系	・教授	平久江 祐司	デジタル社会における司書教諭・学校司書の研修制度に関する総合的研究	910
	25330381	人文社会系	・准教授	タック川崎 レスリー	日本における政治家、市民とソーシャルメディア	520
	25330382	図書館情報メディア系	・助教	松村 敦	子どもの好みの多面的獲得による絵本推薦システムの構築に関する研究	910
	25330394	人文社会系	・准教授	海後 宗男	自治体の防災と市民社会活性化のためのSNSの効果的運用方法の開発	1,300
	25330395	人文社会系	・准教授	和氣 愛仁	アノテーション付与型画像データベースシステムのための汎用プラットフォーム構築	1,300
	25330396	図書館情報メディア系	・准教授	池内 淳	公共図書館における電子書籍サービスに対する市民の潜在的需要と経済価値の測定	1,430
	25350002	芸術系	・准教授	橋本 剛	伝統的な民家・集落における熱環境デザイン手法に関する研究	1,300
	25350232	芸術系	・准教授	田中 佐代子	科学者によるビジュアル資料作成のための指針構築	520
	25350317	図書館情報メディア系	・教授	西岡 貞一	映像表現を学ぶカジュアル・ビデオワークショップの研究	1,170
	25350434	システム情報系	・教授	繁野 麻衣子	実問題への適応能力のあるネットワーク最適化アルゴリズムと構造解析手法の発展的展開	1,430
	25350715	体育系	・准教授	中村 剛	体育・スポーツ指導者養成における代行分析能力の養成方法の構築	650
	25350716	体育系	・准教授	寺山 由美	「いつの間にか」動いているダンス授業の検討-表現することを改めて問う-	390
25350748	体育系	・教授	香田 郡秀	剣道競技者の構えから打突に至る過程の神経科学的研究	1,170	

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	25350749	体育系	・教授	清水 紀宏	長期研修による体育教師の学びと成長	1,170
	25350750	体育系	・教授	會田 宏	卓越した球技スポーツ選手におけるグループ戦術に関する実践知の構造	520
	25350751	体育系	・教授	齋藤 健司	スポーツに関する憲法規定の国際比較研究	650
	25350790	体育系	・准教授	大石 純子	朝鮮李朝の「倭劔」に関する文献研究	780
	25350836	医学医療系	・講師	矢藤 繁	血中脂肪酸濃度を利用した新しい2型糖尿病診療の試行とその有効性の検証	1,170
	25350879	医学医療系	・講師	坂本 裕昭	放射光微小血管造影を用いた糖尿病心臓における微小冠動脈血流の解析	1,560
	25350992	医学医療系	・助教	水挽 貴至	時間の不確実性が行動選択に与える効果とそのニューロン活動基盤	1,300
	25370005	図書館情報メディア系	・准教授	横山 幹子	「幻覚からの議論」への適切な対応についての考察: 選言説と表象説の比較を通して	260
	25370043	図書館情報メディア系	・教授	松本 浩一	道教の普渡儀礼の成立と現状	650
	25370127	芸術系	・教授	八木 春生	中国仏教美術古典様式完成時期としての「則天武后期(655~705)」の確立	1,560
	25370157	芸術系	・准教授	大原 央聡	欧州の木彫表現についての研究, および日本の木彫表現との比較	910
	25370158	人文社会系	・准教授	清水 知子	移動の映像政治学—人種と社会的公正をめぐるテクノロジー	1,430
	25370203	人文社会系	・准教授	秋山 佳奈子 (吉森佳奈子)	年代記類がつくる歴史世界のなかの『河海抄』	1,300
	25370266	人文社会系	・准教授	馬籠 清子	20世紀半ばのカルテットの世界観の分析	650
	25370422	人文社会系	・准教授	渡邊 淳也	フランス語および日本語におけるモダリティの発展的研究	520
	25370462	人文社会系	・教授	臼山 利信	現代ロシア語名辞類の語形変化型とアクセント型に関する総合的研究	780
	25370573	人文社会系	・准教授	李 在鎬	読解教育支援を目的とする文章難易度判別システムの開発	1,170
	25370574	人文社会系	・准教授	澤田 浩子	日本語学習者の母語場面・接触場面を対象とした対話コーパスの構築と分析	260
	25370824	人文社会系	・准教授	山本 真	サラワク・シブにおける華僑社会の形成と変容、対日歴史記憶に関する総合的研究	1,430
	25370899	人文社会系	・助教	前田 修	分析考古学による西アジア先史時代石器利用の研究	910
25370931	人文社会系	・准教授	鈴木 伸隆	フィリピン人エリートから見た「近代発展としての米国植民地支配」に関する研究	1,300	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	25370932	人文社会系	・准教授	中野 泰	フィールドノート・アーカイブズの基礎的研究	910
	25380130	ビジネスサイエンス系	・教授	平嶋 竜太	イノベーション促進法制としての植物新品種保護法の理論的課題に関する総合的研究	1,560
	25380147	システム情報系	・教授	岸本 一男	「原理政党」存在下での空間的投票理論とその実証	780
	25380222	システム情報系	・准教授	渡邊 直樹	重み付き投票メカニズムにおける交渉過程の実験経済学的分析	1,560
	25380457	ビジネスサイエンス系	・准教授	佐野 享子	組織開発のプロフェッショナルによる実践知生成のメカニズム	780
	25380458	ビジネスサイエンス系	・准教授	稲水 伸行	環境変動に対する組織適応プロセスのマイクロ・マクロ統合的理論構築と定量的実証分析	1,430
	25380869	人間系	・教授	安藤 智子	両親の抑うつと幼児の適応に関する検討	1,040
	25381009	人文社会系	・准教授	柴田 政子	指導要領にみる日・独・英における第二次大戦後の歴史教育政策:大戦の歴史を中心に	1,170
	25381067	人間系	・教授	大谷 奨	国立大学誘致運動と地元負担—「地方利益」としての国立医科大学	1,040
	25381069	人間系	・教授	吉田 武男	ベルリンの就学前施設における道徳教育の総合的研究	1,690
	25381119	人間系	・准教授	岡本 智周	2010年代の日米歴史教科書に表現されるナショナリズムと共生概念との接続の理路	910
	25381120	ビジネスサイエンス系	・准教授	加藤 毅	大学職員主導によるプロジェクトのマネジメントとそのインパクト	1,300
	25381164	芸術系	・教授	石崎 和宏	視覚イメージと言語の相互作用を促す美術学習方略に関する実証的研究	1,690
	25381165	人間系	・准教授	蒔苗 直道	戦後教育改革期における数学教育の単元学習に対する再構成運動の影響に関する研究	910
	25381232	人間系	・准教授	根津 朋実	宮坂哲文にみる戦後教科外活動の源流	650
	25381293	人間系	・准教授	米田 宏樹	知的・発達障害者のソーシャルインクルージョンを実現するカリキュラムモデルの構築	1,300
	25381294	人間系	・講師	徳竹 忠司	特別支援学校理療科あん摩実技における臨床能力向上を目的とした教育プログラムの開発	260
	25390027	数理物質系	・准教授	谷本 久典	金属ナノ結晶材料の格子収縮と結晶子+粒界層二相共存化の原因機構	1,040
	25390063	数理物質系	・准教授	櫻井 岳暁	変調フラックス蒸着法と放射光解析法を利用した不純物ドーブ有機薄膜太陽電池開発	780
	25390074	数理物質系	・准教授	近藤 剛弘	平坦なグラファイト表面における無磁場下でのランダウ準位の発現メカニズムの解明	1,560
25400004	数理物質系	・講師	木村 健一郎	モチーフの実現関手の構成	2,080	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	25400063	数理物質系	・助教	守屋 克洋	正則写像から受け継がれる超共形写像の性質とその応用	2,080
	25400079	数理物質系	・教授	加藤 久男	位相空間論および幾何学的トポロジーを用いた位相力学系の研究	1,430
	25400104	数理物質系	・教授	竹内 潔	多項式写像と多変数超幾何関数の大域的モノドロミーの研究	1,560
	25400189	数理物質系	・准教授	小池 健一	非正則な確率分布に関する逐次推定方式の構築	1,170
	25400190	数理物質系	・教授	坪井 明人	タイプ排除定理と無限組み合わせ論の研究	1,950
	25400191	システム情報系	・准教授	八森 正泰	部分構造への等質性を基軸とする単体的複体の構造解析	780
	25400222	数理物質系	・准教授	森 正夫	輻射流体シミュレーションによる銀河系統樹の構築	1,040
	25400242	数理物質系	・教授	石橋 延幸	弦の場の理論を用いた超弦理論・D-ブレーンの研究	1,040
	25400294	数理物質系	・准教授	原 和彦	アトラス実験でのヒッグス湯川結合の測定	1,560
	25400295	数理物質系	・教授	受川 史彦	ハドロン衝突における重いクォーク生成の物理	910
	25400482	生命環境系	・講師	関口 智寛	複合砂丘ダイナミクス解明に向けて:アナログ実験によるアプローチ	910
	25400495	生命環境系	・准教授	上松 佐知子	後期オルドビス紀の古環境変遷:オルドビス紀-シルル紀境界で何が起きたのか?	650
	25400508	生命環境系	・教授	荒川 洋二	島孤産灰長石巨晶中の微小包有物の精密分析と起源マグマの推定	1,170
	25400531	数理物質系	・研究員	市村 真	アルベンイオンサイクロトロン波動による磁力線方向へのエネルギー輸送	910
	25410033	数理物質系	・講師	石塚 智也	超分子組織化を指向した外周部縮環による新規拡張 π 共役系の創製	1,040
	25410034	数理物質系	・准教授	一戸 雅聡	高周期14族元素ラジカルを基盤とする高スピン化学種に関する研究	1,690
	25410218	数理物質系	・准教授	後藤 博正	液晶・光・相転移を用いた電解重合による機能性高分子の開発	650
	25420195	システム情報系	・教授	藪野 浩司	モード局在化と自励振動を利用したマイクロカノンチレバープローブによる超精密質量計測	650
	25420209	システム情報系	・教授	相山 康道	摩擦を利用した把持・操りの接触力の不確定性に対する安定性解析とその判別法の確立	1,560
	25420516	システム情報系	・教授	武若 聡	河川一沿岸域の土砂ストックとフローのモニタリングシステムの構築	1,430
25420555	生命環境系	・准教授	松下 文経	植物プランクトンの吸収係数に基づいた湖沼の基礎生産量推定手法の確立	1,040	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	25420567	システム情報系	・教授	磯部 大吾郎	津波漂流物による建物の衝突崩壊解析技術の構築と避難ビルの設計支援	1,170
	25420623	芸術系	・教授	野中 勝利	城下町都市における文化的景観と近代的都市景観の相克	1,170
	25420688	数理物質系	・准教授	古谷野 有	高窒素オーステナイトの等温変態曲線の精密測定と表面処理応用の基礎研究	910
	25420703	数理物質系	・准教授	山村 泰久	フレームワーク構造を利用した等方性負の熱膨張物質への多様な伝導性の付与	1,170
	25420888	数理物質系	・准教授	江角 直道	境界領域模擬プラズマにおけるイオン温度の精密測定	780
	25430002	医学医療系	・准教授	長谷川 潤	リン脂質の細胞膜内ダイナミクスによる末梢神経軸索伸長の制御	0
	25430189	生命環境系	・教授	本多 正尚	分子生物学的手法によるオキナワキノボリカゲ外来個体群の原産地の特定	780
	25440078	医学医療系	・助教	水野 智亮	小胞体ストレス応答を制御するキナーゼモジュールの解明	1,040
	25440101	生命環境系	・准教授	谷口 俊介	三次元の体を構築するための体軸間相互作用の分子メカニズム	1,560
	25440119	生命領域学際研究センター	・研究員	浅岡 美穂	ショウジョウバエにおける生殖幹細胞ニッチの形成過程と調節機構の解明	1,950
	25440125	生命環境系	・准教授	岩井 宏暁	落花と落果で異なる離層細胞壁の制御メカニズムの解明	1,560
	25440201	生命環境系	・教授	町田 龍一郎	多新翅類の比較発生学－多新翅類昆虫の高次系統・グラウンドプランの再構築－	1,690
	25440202	生命環境系	・准教授	中山 剛	普遍的湖沼にはどんな原生物がいるのか	1,300
	25450018	生命環境系	・助教	加藤 盛夫	高二酸化炭素濃度条件が草型の異なる飼料イネ品種の飼料特性に及ぼす影響の解明	650
	25450039	生命環境系	・教授	松倉 千昭	果実の糖蓄積および糖酸バランス調節における糖新生・PEPCKの機能解明	1,690
	25450068	生命環境系	・講師	春原 由香里	次世代の新規除草剤候補物質の探索と作用機構の解明	1,040
	25450092	生命環境系	・教授	中村 幸治	バクテリオファージによる不稔感染機構の分子機序	1,040
	25450316	生命環境系	・教授	松下 秀介	企業経営型果樹作経営における意思決定支援に関する基礎研究	1,300
	25460354	医学医療系	・教授	久武 幸司	iPS細胞誘導の初期段階での転写因子ネットワークの解析	1,560
	25460472	医学医療系	・准教授	鈴木 裕之	細胞増殖、分化、がん化におけるTsc-2ファミリータンパク質の役割	1,560
25460561	医学医療系	・准教授	竹内 薫	植物ウイルスベクターを用いたエディブルVLPワクチンの開発	1,040	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付 を受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	25460610	医学医療系	・准教授	近藤 正英	乳がん個別化医療における治療方針決定支援技術の経済評価研究	1,560
	25460671	医学医療系	・教授	川上 康	褐色細胞腫の遺伝子診断法の推進とコンパニオン診断法開発を含む分子標的薬の研究	910
	25460738	医学医療系	・准教授	小島 真奈	母児間免疫寛容に注目した絨毛膜羊膜炎を伴う早産の予防戦略	1,040
	25460739	医学医療系	・講師	山岸 良匡	心・腎・眼疾患の包括的予防のための新しいバイオマーカーに関するコホート研究	1,040
	25460975	医学医療系	・准教授	安部井 誠人	腫瘍融解ワクシニアウイルスの肝癌幹細胞に対する殺細胞効果の評価	1,690
	25461041	医学医療系	・准教授	瀬尾 由広	3次元スペクトルトラッキング法による右室機能評価法の開発	260
	25461042	医学医療系	・准教授	佐藤 明	難治性薬剤抵抗性高血圧に対する革新的な腎動脈交感神経アブレーション法の開発	910
	25461147	医学医療系	・准教授	坂本 透	前向きコホートによる喘息とCOPD発症に対する危険因子の包括的解析	1,040
	25461206	医学医療系	・准教授	臼井 丈一	腎臓発生研究成果を臨床医療に応用するための基盤研究－腎疾患モデルと臓器再生モデル	1,040
	25461240	医学医療系	・研究員	楊 景堯	被囊性腹膜硬化症におけるTヘルパー細胞の役割の解明と新規治療法の開発	1,820
	25461407	医学医療系	・准教授	坂田 麻実子 (柳元麻実子)	エピゲノム異常を発端とする濾胞性ヘルパーT細胞の腫瘍化機序の解明	1,040
	25461408	医学医療系	・准教授	小原 直	造血不全におけるNestin陽性造血支持細胞の機能解析	1,560
	25461467	医学医療系	・助教	川崎 綾	ペア型受容体LILRおよびLAIR遺伝子群の膠原病疾患感受性への寄与の解明	1,560
	25461538	医学医療系	・講師	大戸 達之	小児の手指巧緻性機能障害に関する治療法の開発-磁気センサによる定量評価	1,040
	25461901	医学医療系	・准教授	熊田 博明	等価線量をシミュレーションで評価する次世代型BNCT用治療計画システムの開発	1,040
	25461902	医学医療系	・講師	安岡 聖	BNCTにおける生体内線量分布計測システムのための基盤技術の研究開発	520
	25461903	医学医療系	・助手	照沼 利之	腫瘍追跡情報をフィードバックする呼吸コーチング法の開発	650
	25461941	医学医療系	・講師	福永 潔	ナノバイオ装置を用いた新規免疫抑制薬感受性試験の開発	965
	25461972	医学医療系	・准教授	坂東 裕子	ヒト初代培養乳癌幹細胞における浸潤・転移能獲得の分子機構解明	1,040
	25462078	医学医療系	・教授	近藤 匡	癌細胞とクッパー細胞の相互作用に着目した血行性肝転移メカニズムの解明	1,430
25462171	医学医療系	・研究員	酒井 光昭	肺エアリーク定量モニタリングの臨床応用と気腫に対する新しい治療戦略の構築	1,040	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	25462205	医学医療系	・准教授	鶴田 和太郎	頭頸部血管形成術後再狭窄に対するナノ粒子を用いた診断・治療についての基礎的研究	130
	25462243	医学医療系	・講師	阿久津 博義	多機能レーザー内視鏡治療機器を用いた超低侵襲内視鏡手術	1,300
	25462285	医学医療系	・講師	原 友紀	末梢神経欠損間隙の新治療法:末梢神経両断端緩徐伸長法の実用化に向けて	1,300
	25462287	医学医療系	・准教授	早田 匡芳	Ctdnep1遺伝子欠損による先天性多発性関節拘縮症発症メカニズムの解明	1,690
	25462398	医学医療系	・准教授	田口 典子	マウスの心肺停止を用いた全脳虚血に対するフルオキセチン投与長期予後の検討	1,170
	25462422	医学医療系	・准教授	猪股 伸一	麻薬受容体の遺伝子多型とシグナル伝達系に関する革新的臨床および基礎研究	2,600
	25462585	医学医療系	・准教授	松本 光司	子宮頸癌におけるHPV型別の病態解析:新たな疾患概念の確立を目指して	1,560
	25462659	医学医療系	・准教授	斎藤 慎二	黄色ブドウ球菌、常在細菌群のアレルギー性鼻炎病態に及ぼす影響、その基礎的検討	1,430
	25462769	医学医療系	・講師	高安 肇	エリスロポエチンの先天性横隔膜ヘルニアにおける肺高血圧への有用性の検討	1,170
	25462812	医学医療系	・助教	Jesmin Subrina	血管内皮増殖因子VEGF系を基軸とする、敗血症性多臓器不全の治療戦略の研究	1,040
	25463288	医学医療系	・准教授	三木 明子	病院における患者・家族の暴力に対する医療安全力を高める体制の醸成	1,560
	25463539	医学医療系	・准教授	岡田 佳詠	精神科看護師の認知行動療法の早期導入のための短期研修プログラムの作成と効果	1,040
	25463612	医学医療系	・教授	高田 ゆり子	通常学級に在籍する発達障がいをもつ児童生徒への健康支援スキル向上プログラム開発	1,560
	25501001	生命環境系	・准教授	堤 純	WebGISを用いた先住民族の土地資源管理と観光開発の調整に関する研究	1,170
	26330003	システム情報系	・教授	古賀 弘樹	不正者全員を特定できる電子指紋符号の容量公式の導出および特定アルゴリズムの開発	1,300
	26330033	システム情報系	・教授	イリチュ 美佳(佐藤美佳)	多次元クラスター尺度構成法によるビックデータ解析とその社会的応用	1,690
	26330076	システム情報系	・助教	長谷部 浩二	知識の形成過程の分析による暗号プロトコルの安全性検証法に関する研究	1,430
	26330126	図書館情報メディア系	・准教授	鈴木 伸崇	スキーマ更新に応じたXSLTスタイルシート修正アルゴリズムの開発	2,080
	26330151	システム情報系	・准教授	西出 隆志	機密データの漏洩防止と安全利用を同時に実現する暗号技術の確立	1,300
	26330218	図書館情報メディア系	・教授	井上 智雄	話す食するという日常行動の共同機会を増やすシステムの開発と評価	1,690
26330270	システム情報系	・教授	宮本 定明	SNSクラスタリングのための伝統的理論vs.発見的技法	1,300	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	26330271	システム情報系	・教授	遠藤 靖典	言語ベースクラスタリング技法の確立ーモデル ベースからの転換	1,430
	26330294	システム情報系	・助教	山口 友之	コンクリート構造物のひび割れ自動検査のため の壁面画像計測ロボットの開発	1,690
	26330354		・名誉教 授	高木 英明	病院および地域における医療サービスシステム の工学的モデル化と検証	1,690
	26330355	システム情報系	・准教授	古川 宏	高齢者利用と緊急時誘導における迷い不安を 軽減する経路案内法の実証的研究	1,430
	26330356	ビジネスサイエンス系	・准教授	倉橋 節也	逆シミュレーション法による競争的電力市場の インセンティブ・メカニズム研究	1,690
	26330361	図書館情報メディア系	・教授	芳鐘 冬樹	引用ネットワーク分析に基づく技術融合型特許 の特性に関する研究	1,170
	26330362	図書館情報メディア系	・准教授	高久 雅生	書誌記述の新しいデータモデルFRBR及び RDAに基づく書誌情報システムの研究	1,950
	26330378	図書館情報メディア系	・教授	白井 哲哉	近代地方公文書アーカイブズと民間アーカイ ブズの構造・情報・関連性に関する総合研究	1,040
	26330393	システム情報系	・准教授	延原 肇	形式概念分析とグラフマイニングによる効果的 なオンライン学習百科事典の構築	1,300
	26340044	北アフリカ研究セン ター	・研究員	高橋 真哉	環境放射線の生物影響モニタリング可能な植 物培養細胞を用いた新規影響評価手法の開 発	2,080
	26350184	人間系	・教授	片平 克弘	理科学習における核となる知識の理解深化を 目指したLPs活用型教授法の構想と実践	1,430
	26350413	システム情報系	・准教授	倉田 久	製品個別化とアフターサービスの統合；顧客関 係視点からの供給連鎖のモデル化分析	1,170
	26350414	ビジネスサイエンス系	・教授	山田 秀	市場不具合の未然防止をねらいとする不具合 情報解析と設計段階での品質保証	1,430
	26350415	システム情報系	・教授	秋山 英三	人間の認知・行動と「金融資産市場の定式化さ れた事実」：シミュレーションと行動実験	1,820
	26350449	システム情報系	・准教授	梅本 通孝	沿岸地の防災と観光の両立に向けた住民・一 時来訪者の津波避難のリスク評価と改善方策	1,040
	26350705	体育系	・教授	木塚 朝博	身体性コンピテンシーに関する評価法の確立 と向上プログラムの開発	1,820
	26350706	体育系	・准教授	宮崎 明世	体育理論を中心とした中学・高等学校における オリンピック教育の体系化	780
	26350707	体育系	・助教	木越 清信	観察的動作評価法を用いた短距離走における 「見える化」に関する研究	1,170
	26350773	体育系	・助教	仙石 泰雄	水泳競技における近代4泳法中の筋活動量の 比較ーMRI画像を用いてー	1,300
	26350774	体育系	・教授	本間 三和子	シンクロナイズドスイミングのスラスト動作の技 術特性	910
26350812	体育系	・教授	西平 賀昭	運動に伴う筋感覚情報が高齢者認知機能低 下に及ぼす影響	1,820	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	26350813	体育系	・助教	福田 崇	アメリカンフットボールにおける衝突時の頭部へ及ぼす作用の解明	650
	26350881	医学医療系	・教授	竹越 一博	カテスタチンの多型を指標としたメタボリック症候群の分子診断法と新規治療法開発	910
	26350882	医学医療系	・准教授	磯辺 智範	機能画像情報を利用した非アルコール性脂肪性肝疾患の非侵襲的病態評価法の確立	1,170
	26350923	医学医療系	・教授	市川 政雄	メコン川流域国における急速なモータリゼーションから子どもの命と健康を守る	1,300
	26350957	生命環境系	・講師	加香 孝一郎	周産期における薬剤応答性アミノプロダクトの探索と薬剤作用機序の解析	1,690
	26370006	人文社会系	・准教授	五十嵐 沙千子	「哲学カフェ」に関する基礎理論および「哲学カフェ」形式の授業構築に関する研究	910
	26370091	芸術系	・准教授	宮原 克人	農閑工芸の研究 - 軟質文化の造形から -	1,430
	26370124	人文社会系	・教授	山口 恵里子	19世紀英国の芸術家集団による協働的实践―「古代人たち」から「エトラスカンズ」へ	1,170
	26370269	人文社会系	・教授	佐野 隆弥	エリザベス朝宮廷政治文化と演劇興行のインターフェイス―少年劇団の触媒機能を中心に	780
	26370310	人文社会系	・教授	浜名 恵美	世界シェイクスピア超言語上演の意義と可能性	1,690
	26370423	人文社会系	・教授	青柳 悦子	21世紀的視座から見る北アフリカ(チュニジア・アルジェリア)の現代文学状況	910
	26370437	人文社会系	・准教授	那須 昭夫	促音節近傍におけるプロソディと象徴性の構成に関する研究	910
	26370438	人文社会系	・准教授	橋本 修	日本語従属節の、意味論・語用論的研究	910
	26370586	人文社会系	・准教授	許 明子	パーソナル・テリトリー認識と発話スタイルに関する日米韓中の対照研究	1,040
	26370656	人文社会系	・助教	小野 雄一	統合型タブレットCALLシステムの構築とその評価に関する研究	910
	26370817	人文社会系	・准教授	柴田 大輔	前二千年紀後半アッシリアにおける地方王国マリ国の歴史学的研究	1,950
	26370917		・名誉教授	田林 明	日本農業の存続・成長戦略に関する地域動態的研究	1,430
	26380026	ビジネスサイエンス系	・准教授	日野 辰哉	取引関係に起因する危険の制御と私法秩序	650
	26380067	人文社会系	・准教授	石川 知子	投資協定の解釈における締約国の役割-WTO紛争解決制度が与える示唆	1,040
	26380087	人文社会系	・教授	岡上 雅美	法人処罰における刑法、手続法および制裁法上の問題点―ドイツ判例実務の研究	455
26380104	ビジネスサイエンス系	・教授	田村 陽子	客観的な事実認定をめぐる当事者および裁判所の機能と役割	1,040	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名		
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	26380106	ビジネスサイエンス系 ・准教授	木村 真生子	行動経済学と証券規制	1,170
	26380121	ビジネスサイエンス系 ・准教授	直井 義典	倒産手続における目的物の変動した債権の効力貫徹に関する研究	1,560
	26380145	ビジネスサイエンス系 ・教授	潮海 久雄	競争法の視点からみた商標機能論の再構築	1,170
	26380161	人文社会系 ・准教授	近藤 康史	政党システム変動期におけるイギリス二大政党の政党組織改革についての研究	1,040
	26380203	人文社会系 ・准教授	明石 純一	国際労働移動の政策的管理と外交過程ーベトナムと日本を事例とする実証研究	1,820
	26380286	システム情報系 ・准教授	原田 信行	中小企業の雇用・技術と日本経済の再生	1,170
	26380287	システム情報系 ・准教授	S. J Turnbull	Industrial Policy Implications of Encouraging Open Source Software in Commerce and Open Projects	650
	26380288	システム情報系 ・准教授	太田 充	新たな集積効果関数を用いた都市一般均衡モデルの構築	1,040
	26380418	人文社会系 ・教授	佐藤 千登勢	低所得者への食料支援におけるアメリカ農務省の役割に関する社会経済史研究	650
	26380419	人文社会系 ・教授	平沢 照雄	電球工業におけるグローバル競争の展開と日本企業の対応に関する歴史実証研究	650
	26380452	人文社会系 ・准教授	Pohl Martin	Management Strategies of Humanitarian Support by Global Enterprise after the Great Tohoku Kanto Earthquake - Lessons Learnt for Future Disasters	130
	26380497	ビジネスサイエンス系 ・准教授	マニエー渡邊 レミー	Knowledge Management for Foreign Direct Investments: Comparative Analysis of Japanese and Foreign Inbound and Outbound Investments	1,300
	26380498	システム情報系 ・准教授	生稲 史彦	ITベース・イノベーションを実現する企業経営に関する実証研究	1,950
	26380668	人文社会系 ・教授	仲田 誠	情報化時代における東アジアの相互理解のための価値意識・情報倫理の比較社会論的研究	1,300
	26380839	人間系 ・教授	相川 充	感謝が自己と対人関係に及ぼすポジティブ効果に関する拡張・形成2過程モデルの検証	2,080
	26380866	人間系 ・教授	櫻井 茂男	キャリア発達における将来目標の役割と心理的適応への影響過程の解明	2,210
	26380917	医学医療系 ・助教	大谷 保和	依存物質再使用リスク測度の潜在的指標を用いた改良および治療応用	1,690
	26380918	人間系 ・教授	沢宮 容子	対人的楽観性に焦点を当てた抑うつ予防的アプローチ法の開発	910
	26381062	人間系 ・教授	藤井 穂高	スイスにおける幼児教育義務化の論理と制度に関する基礎的研究	1,040
	26381063	人間系 ・教授	岡 典子	日本型インクルーシブ教育システムの融合的創成とその国際的意義に関する総合的研究	1,170
26381119	人間系 ・准教授	飯田 浩之	「共生」を実現する教育の実証的検討ー「社会的カテゴリーの問い直し」に着目してー	1,820	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	26381120	人文社会系	・准教授	森 直人	教育実践開発の継承・普及プロセスに関する 社会学的研究	1,300
	26381121	人間系	・准教授	上田 孝典	中国生涯学習政策の法制化に関する比較研 究	1,950
	26381306	人間系	・教授	熊谷 恵子	算数の教科学習の系統性と関連させた算数障 害スクリーニング検査の作成	2,210
	26390060	数理物質系	・准教授	河合 孝純	リチウムのグラファイトインターカレーションにお ける固液界面反応の物理	1,170
	26400005	数理物質系	・教授	森田 純	無限次元の代数群とリー代数の構造と表現、 および準周期構造への応用の研究	1,950
	26400035	数理物質系	・准教授	増岡 彰	ホップ代数を用いたスーパー代数群の研究	1,560
	26400036	数理物質系	・講師	星野 光男	導来圏におけるゴレンシュタイン次元	1,170
	26400080	数理物質系	・教授	川村 一宏	無限次元線形作用素の力学系理論の幾何学 的トポロジ的研究	1,560
	26400106	数理物質系	・准教授	竹山 美宏	可積分系に現れる差分方程式の代数解析	1,170
	26400186		・名誉教 授	藤原 良叔	デジタル指紋符号の組合せ理論的新構成法 に関する研究	1,170
	26400265	数理物質系	・准教授	寺崎 順	QRPAを用いたニュートリノレス二重ベータ崩壊 の原子核行列要素計算	1,690
	26400309		・名誉教 授	舛本 泰章	時間分解スピン回転をプローブとした高速電子 移動の研究	1,560
	26400382	数理物質系	・准教授	谷口 伸彦	物質のゲージ理論とナノ系非平衡量子輸送現 象	780
	26400511	生命環境系	・講師	興野 純	地球表層環境の水酸化鉄ナノ粒子の挙動	910
	26410002	数理物質系	・助教	庄司 光男	トレオニン合成酵素の全反応機構の理論的解 明	780
	26410065	数理物質系	・助教	志賀 拓也	グリッド型分子の物性変換機能を利用した分子 素子の開発	1,560
	26410144	数理物質系	・教授	中谷 清治	単一微小水滴／油系のマイクロ化学分析によ るキレート抽出機構の解明	1,040
	26410172	数理物質系	・教授	山本 泰彦	ヘムタンパク質機能の電子論的解明と人工酸 素運搬体創製への応用	1,820
	26410212	数理物質系	・教授	木島 正志	有機ナノ構造体の炭素変換に関する研究	1,170
	26420881	生命環境系	・准教授	桑原 朋彦	好熱性発酵細菌ーメタン菌栄養共生系による 高速メタン生産の基本原理解	650
26420882	システム情報系	・教授	奥野 光	地域独立系統と大規模電力系統の連系システ ム安定化制御の研究	1,560	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	26430086	生命環境系	・講師	石田 純治	受容体間相互作用を介した血管平滑筋APJ受容体による血管狭窄メカニズムの解明	1,820
	26430140	生命環境系	・助教	南雲 陽子	がんの不均一性・変動性制御にむけた抗がん剤オーダーメイド投薬アプローチ	1,690
	26440021	医学医療系	・准教授	奥脇 暢	天然変性タンパク質NPM1による新規の細胞増殖制御機構	1,560
	26440044	医学医療系	・助教	船越 祐司	脱ユビキチン化酵素TRE17によるクラスリン非依存性カーゴ蛋白質の細胞内輸送制御	1,560
	26440231	生命環境系	・講師	大橋 一晴	多様な送粉動物の利用における開花時刻の適応的意義	1,040
	26440232	生命環境系	・准教授	藤岡 正博	北海道に新規侵入したカササギ個体群の由来と定着条件の解明	1,690
	26440233	生命環境系	・准教授	徳永 幸彦	集合知がもたらすサギ類群集の時空間分布についての研究	1,690
	26450118	生命環境系	・教授	王 碧昭	ストレス誘発型腎臓培養装置の開発および腎障害メカニズムの解明	1,820
	26450119	生命環境系	・助教	廣田 恵子	メチル供与体・SAMを介した短期絶食による寿命延長メカニズムの解明	1,300
	26450245	生命環境系	・研究員	大林 由美子	海洋生態系での主要な有機物分解者は従属栄養細菌だけだろうか？	0
	26450304	生命環境系	・准教授	首藤 久人	インドにおける食料消費構造の変化に関する分析	260
	26450351	生命環境系	・准教授	野口 良造	超小型排水処理を目指した油水分離・浮遊物質回収システムの開発と分離特性の検証	1,430
	26450499	生命環境系	・助教	兼森 芳紀	精子先体形成におけるアクチン細胞骨格のダイナミクス	1,690
	26450500	生命環境系	・講師	大徳 浩照	転写因子DAF-16/FOXOによる寿命延長機構のin vivoにおける解明	1,820
	26460356	医学医療系	・准教授	大石 久史	膵内分泌細胞における大Mat群転写因子の機能解析	1,690
	26460485	医学医療系	・講師	蕨 栄治	新しいNASHモデルマウスの病態発症機序の解析	1,690
	26460588	医学医療系	・准教授	齋藤 知栄	慢性腎臓病進行抑制のための医薬連携システムの確立と検証	390
	26460589	医学医療系	・講師	前野 貴美	大教室で1日のできるチーム医療教育プログラムパッケージの開発と教育効果の検証	1,170
	26460624	医学医療系	・教授	兵頭 一之介	p53変異型癌細胞におけるp73活性化を応用した新規癌治療の基礎研究	1,300
	26460718	医学医療系	・講師	中井 啓	病院併設BNCTにむけた血液・組織内ホウ素分析手法の最適化	1,430
26460719	医学医療系	・研究員	神澤 聡	スキャニング照射のインタープレイ効果軽減に向けたシステムの最適化	780	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	26460763	医学医療系	・准教授	山海 知子	出血性脳血管疾患の発症と予後への可溶性FasとIGF-Iの影響に関する疫学的研究	2,210
	26460824	医学医療系	・教授	大久保 一郎	定期接種下の高齢者肺炎球菌ワクチンの費用効用分析-PPV23とPCV13の比較	650
	26460901	医学医療系	・講師	中馬越 清隆	認知症患者のバランス障害に対する前庭刺激効果の解明および臨床応用	1,690
	26461055	医学医療系	・講師	村越 伸行	持続性心房細動における心房内異常電位の成因と機序の解明	1,170
	26461178	医学医療系	・准教授	森島 祐子	慢性炎症性呼吸器疾患におけるヘルパーT細胞と炎症性マクロファージのクロストーク	2,210
	26461183	医学医療系	・教授	関根 郁夫	悪性中皮腫における薬剤耐性の克服と分子標的治療の開発	1,430
	26461210	医学医療系	・教授	長田 道夫	ポドサイト障害連鎖機構の解明と阻止	1,430
	26461211	医学医療系	・准教授	上杉 憲子	腎内微小循環系の3次元構築から腎硬化症の進展を考える	1,430
	26461483	医学医療系	・准教授	後藤 大輔	間質性肺炎発症におけるヒトCD161陽性 γ δ 陽性T細胞の関与	1,430
	26461733	医学医療系	・教授	新井 哲明	蓄積蛋白質の構造異常による認知症の分子病理診断法およびモデル動物の開発	1,950
	26461818	医学医療系	・講師	岡本 嘉一	多角的なMRI評価を用いたスポーツアスリートの筋コンディショニングの試み	1,170
	26462004	医学医療系	・講師	榎本 剛史	大腸癌におけるCD44variant9発現の意義と新規診断法の開発	1,690
	26462035	医学医療系	・講師	大城 幸雄	Patient dependent力覚体感型手術エミュレータ開発	1,170
	26462081	医学医療系	・講師	徳永 千穂	肺高血圧症における放射光微小血管撮影法を用いた微小血管血流変化と血管内皮細胞障害	1,300
	26462121	医学医療系	・助教	竹内 朋代	初期浸潤肺腺がん凍結組織培養を利用した肺腺がんの悪性化分子機構の解明	1,430
	26462198	医学医療系	・准教授	山本 哲哉	中性アミノ酸プレローディングによる中性子捕捉療法(BNCT)の確立	1,950
	26462350	医学医療系	・講師	山下 創一郎	Neurogenesisに焦点をあてた術後の認知機能障害の発症機序と予防法の解明	1,560
	26462397	医学医療系	・准教授	宮崎 淳	BCG細胞莢膜成分を用いた、全身投与可能な新規癌治療剤の開発	1,430
	26462398	医学医療系	・講師	河合 弘二	精巣腫瘍の組織分化におけるエピジェネティクス制御の解明	1,430
	26462399	医学医療系	・講師	小島 崇宏	腎細胞癌の発生と肉腫様変化におけるRAC2-VAV1シグナルの役割	1,430
26462513	医学医療系	・教授	佐藤 豊実	婦人科がんの系統的、総合的周術期VTE予防法の確立およびVTE発生機序の解明	1,560	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	26462631	医学医療系	・講師	岡本 史樹	組織シーラントによる新しい網膜剥離手術手技の 開発とヒトへの臨床応用	1,300
	26462743	医学医療系	・講師	中山 慎	蘇生後症候群へのスタチンの多面効果：水 溶性と脂溶性の比較	910
	26462744	医学医療系	・講師	下條 信威	敗血症超急性期モデル動物に対する TEMPO-RNPを用いた抗酸化ストレス療法	1,430
	26462745	体育系	・教授	RAKWAL RANDEEP	虚血脳におけるPACAP神経保護作用効果に 関わる分子的因子の同定	1,690
	26463405	附属病院	・その他	小泉 仁子	高度周産期医療施設勤務助産師のワークエン ゲージメント向上プログラムの開発	1,430
	26463482	医学医療系	・准教授	橋爪 祐美	中高年女性ケア従事者と夫の老親介護生活適 応を促す夫婦間の心のケア	2,340
	26500001	医学医療系	・研究員	小林 和人	脂質代謝と小胞体ストレスをつなぐCREBHの 非アルコール性脂肪肝発症における役割	1,560
	26504002	システム情報系	・准教授	藤井 さやか	北米における公的住宅団地の再々開発の実 態分析と日本への示唆	1,560
	26506003	生命環境系	・准教授	イン ベイウエ ン	極限貧栄養環境下で増殖する細胞の創出	910
	26507002	国際統合睡眠医科学 研究機構	・助教	上田 なつ子 (辻野なつ 子)	自発的な睡眠覚醒に伴う皮質ニューロン群活 動の二光子イメージング	1,170
	26507003	国際統合睡眠医科学 研究機構	・助教	三好 千香	新規過眠・肥満マウスの解析による睡眠覚醒と 摂食代謝制御の統合分子機構の解明	1,430
	15K00005		・名誉教 授	佐々木 建昭	疎な多変数多項式・系に対する近似代数算法 の開発と安定・効率化	1,820
	15K00087	システム情報系	・准教授	南出 靖彦	形式言語理論を駆使したウェブ基盤技術の検 証	172
	15K00296	システム情報系	・教授	狩野 均	複雑制約ネットワークを対象とした汎用群知能 による問題解決方式	1,040
	15K00358	図書館情報メディア系	・准教授	三河 正彦	積雪地帯における半自律移動ロボットと地域情 報データベースによる情報提供システム	2,340
	15K00395	ビジネスサイエンス系	・教授	津田 和彦	死因究明プロセスのノウハウ顕在化に関する研 究	1,430
	15K00420	システム情報系	・准教授	岡 瑞起	ソーシャルメディアにおけるバースト現象の理 解と予測に関する研究	1,820
	15K00434	システム情報系	・准教授	佐藤 聡	異なり数計測アルゴリズムを多分野に適応する ための最適パラメータの設定手法の開発	2,340
	15K00444	図書館情報メディア系	・講師	永森 光晴	LinkedDataを基礎とした用例に基づくメタデー タ語彙発見とスキーマ設計支援	1,950
	15K00458	図書館情報メディア系	・准教授	真栄城 哲也	糖尿病の包括的な知識表現	910
15K00479	図書館情報メディア系	・教授	綿抜 豊昭	共同体験型自然観察会用学習支援システム	1,040	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	15K00599	生命環境系	・准教授	雷 中方	Formation of Granules with High Phosphorus Content to Realize Efficient Phosphorus Recovery from Waste Activated Sludge by Using Anaerobic Digestion Followed by Aerobic Granulation Technology	2,990
	15K00677	芸術系	・准教授	山本 早里	地域再生に資する環境色彩デザイン手法ー日本特有の環境色彩と歴史的変遷を考慮してー	1,820
	15K00776	生命環境系	・教授	佐竹 隆顕	食肉の新鮮度を評価する電気化学的マイクロ分析システムの開発	1,820
	15K01055	医学医療系	・研究員	KIM Jaejeong	新外科教育コンバージェンス構築のための次世代型ダイナミック手術教材開発	1,560
	15K01159	生命環境系	・教授	杉田 倫明	霞ヶ浦水収支に係わる水文学の空間分布構造とその40年間の変化	650
	15K01179	ビジネスサイエンス系	・教授	猿渡 康文	医療サービスとそのネットワーク化のメカニズム分析	1,690
	15K01451	医学医療系	・教授	徳田 克己	高齢者、障害者、幼児の移動上のバリアを解消するための啓発・教育プログラムの開発	1,560
	15K01514	体育系	・講師	本谷 聡	小学校低・中学年における児童の笑顔あふれる運動プログラムの開発に関する研究	1,300
	15K01550	体育系	・教授	鍋倉 賢治	長距離ランナーのエネルギー節約に関わる能力の評価	1,690
	15K01551	体育系	・准教授	榎本 靖士	ランニングエコミーを用いた中・長距離走における評価・診断法の開発	2,600
	15K01586	体育系	・教授	真田 久	オリンピック・パラリンピック競技大会開催国におけるマナー教育の在り方に関する研究	2,210
	15K01587	体育系	・教授	清水 諭	東京湾岸エリアとオリンピックに関する研究	650
	15K01646	医学医療系	・准教授	太刀川 弘和	大学生の自殺予防を目的とするメンタルヘルスリテラシー教育手法の開発	1,820
	15K01647	体育系	・准教授	柴田 愛	地域在住高齢者における座り過ぎの健康影響および決定要因を解明するための縦断研究	2,340
	15K01701	医学医療系	・准教授	鈴木 浩明	生活習慣病におけるmicroRNAのバイオマーカーとしての意義に関する研究	1,690
	15K01862	人文社会系	・准教授	ティムール ダダバエフ	対中央アジア政策の日中比較	1,560
	15K01984	人文社会系	・教授	檜垣 良成	カント目的論のコンテキストとしてのバウムガルテン「自然神学」の検討	910
	15K02053	人文社会系	・助教	岩崎 真紀	コプト・ディアスポラのネットワーク形成と異文化適応に関する比較宗教学的調査研究	1,300
	15K02333	人文社会系	・教授	竹谷 悦子	African American Global Imaginary	650
	15K02401	人文社会系	・教授	武井 隆道	18・19世紀転換期の身体表象ーヘルダー・ゲーテとパフォーマンス芸術	1,820
15K02502	人文社会系	・教授	柳田 優子	言語類型論の視点からみた日本語史の項表示の変遷:通時コーパスを利用した実証研究	1,430	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	15K02503	人文社会系	・助教	永井 正勝	古代エジプト語聖刻文字とアッカド語楔形文字の画像を利用した対訳データベースの構築	1,560
	15K02630	人文社会系	・教授	小野 正樹	「言い換え」に関する語彙・表現の基礎的研究	1,560
	15K02746	人文社会系	・教授	相澤 啓一	通訳者が持つ知見とノウハウのドイツ語教育への還元	910
	15K03003	生命環境系	・准教授	松井 健一	先住民族の環境紛争解決のためのインフィニティ型ディプロマシー理論の実証	1,430
	15K03237	図書館情報メディア系	・准教授	石井 夏生利	個人情報不正取得・漏えいに関する法制度及び運用状況の各国比較	2,340
	15K03309	人文社会系	・教授	潘 亮	冷戦期日本の国連外交における西側とアジア・アフリカ調整と対立の過程に関する研究	1,170
	15K03310	人文社会系	・准教授	東野 篤子	トルコのEU加盟問題の今日的課題とヨーロッパ国際関係をめぐる研究	780
	15K03391	システム情報系	・准教授	大久保 正勝	モデル不確実性回避度の計測と異質性の国際比較	780
	15K03412	人文社会系	・助教	SAPKOTA JEETB.	Impacts of Access to Infrastructure on Human and Community Development in Hilly-Mountainous Area: Evidence from Rural Nepal	1,170
	15K03413		・名誉教授	丸山 義皓	自己雇用生産者家計の景気変動安定化作用に関する経時的国際研究	1,690
	15K03414	ビジネスサイエンス系	・准教授	MASWAN A J. C.	Accounting for Technology Imitation in Trade-Led Growth in African Economies	1,950
	15K03501	人文社会系	・准教授	内藤 久裕	人口減少社会での、大規模移民受け入れと企業のオフショアリングの総合的分析	2,210
	15K03721	ビジネスサイエンス系	・教授	西尾 チヅル	消費者の社会志向と消費行動	1,430
	15K03833	人文社会系	・准教授	五十嵐 泰正	生産者と消費者の認識論的切断の克服のための多角的研究――主に労働と地域の視点から	910
	15K04051	医学医療系	・准教授	水野 智美	発達障害幼児を持つ保護者の障害受容を促す支援プログラムの開発	1,430
	15K04110	人間系	・准教授	青木 佐奈枝	自殺念慮・自傷行為への遭遇体験に関する調査研究 ―自殺予防教育の一環として―	2,080
	15K04180	人間系	・准教授	山田 一夫	ニオイ刺激が生み出すトラウマ記憶:恐怖条件づけと母子分離を用いた検討	2,340
	15K04210	人間系	・准教授	國分 麻里	学校より見る植民地期朝鮮の教育に関する基礎的研究	1,300
	15K04276	利益相反・輸出管理マネジメント室	・准教授	新谷 由紀子	大学の利益相反マネジメント運用基準策定及び教職員研修の資料作成に関する調査研究	650
	15K04277	人間系	・教授	樋口 直宏	小中一貫教育における発達特性および汎用的能力をふまえたキャリア教育プログラム開発	1,170
15K04278	図書館情報メディア系	・教授	溝上 智恵子	多文化国家カナダにおける道徳教育政策の形成と推進	1,430	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
基盤研究(C) 【一般】	15K04404	芸術系	・准教授	齋藤 敏寿	コミュニケーションツールとなる作陶を活用した教育プログラムの構築	1,820
	15K04480	人間系	・教授	甲斐 雄一郎	東アジアを視野においた古典化への参加プログラムの開発	910
	15K04537	人間系	・教授	野呂 文行	通常学級での発達障害児童の行動問題に対する集団随伴性と個別支援の組合せ条件の検討	1,300
	15K04538	人間系	・講師	浜田 淳	鍼灸実習における視覚障害学生の治療教育プログラムの開発に関する教材論的研究	1,040
	15K04539	人間系	・教授	廣田 栄子	軽中等度難聴児の言語処理機能のアセスメントプロセスと支援ガイドラインの構築	2,600
	15K04632	数理物質系	・講師	大石 基	DNAクリック連鎖反応に最適なナノ界面の構築によるアルツハイマーの客観的早期診断	3,510
	15K04688	数理物質系	・講師	南 英俊	高温超伝導体によるテラヘルツ波発振の高周波数化、高強度化と高温化	2,730
	15K04719	数理物質系	・准教授	寺田 康彦	イネ腋芽の成長評価用4次元MRIマイクロスコピーの開発	2,470
	15K04803	数理物質系	・准教授	佐垣 大輔	Kirillov-Reshetikhin 加群の結晶基底とその組合せ論的实现	1,300
	15K04804		・名誉教授	木村 達雄	良い性質をもつ概均質ベクトル空間の研究	1,170
	15K04834	数理物質系	・教授	井ノ口 順一	ループ群による非コンパクト対称空間への調和写像の構成と曲面論への応用	1,170
	15K04835	数理物質系	・准教授	田崎 博之	対称空間の対蹠集合の拡張と応用	1,560
	15K04866	数理物質系	・講師	石井 敦	ハンドル体結び目の向きと不変量	1,560
	15K04891	数理物質系	・教授	田島 慎一	特異点の計算複素解析と代数解析アルゴリズム	2,470
	15K04946	数理物質系	・講師	久保 隆徹	流体力学の非定常問題への実解析的・数値解析的アプローチ	910
	15K04974	システム情報系	・教授	繆 いん	デジタル指紋及びグループ検査に共通する組合せ構造とアルゴリズムに関する研究	1,690
	15K05041	数理物質系	・教授	金谷 和至	有限温度・有限密度クォーク物質の物性と相構造	1,300
	15K05068	計算科学研究センター	・研究員	滑川 裕介	格子量子色力学による新たなハドロン存在形態の解明	1,170
	15K05121	数理物質系	・教授	日野 健一	コヒーレントフォノン生成機構における過渡的準粒子描像の定量的検証	2,860
	15K05307	生命環境系	・准教授	鎌田 祥仁	ジュラ紀付加体における地震性断層	1,430
15K05412	数理物質系	・講師	中本 真晃	歪共役系分子の化学:高歪み炭素 σ 骨格および 4π 反芳香族分子の構築と物性の解明	1,950	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	15K05413	数理物質系	・講師	Lee Vladi mir	Pyramidal Structures: New Type of Cluster Compounds	2,340
	15K05414	数理物質系	・准教授	渋辺 耕平	フッ素置換錯体を基盤とする有機フッ素化合 物の触媒的合成法	2,730
	15K05671	システム情報系	・准教授	松田 昭博	マイクロセルラー発泡材料のマイクロ構造均質化 による力学特性の設計法構築	1,690
	15K05754	システム情報系	・教授	三谷 純	折り紙の技術を産業へ活用するための形状設 計手法に関する研究	2,080
	15K05781	システム情報系	・准教授	金子 暁子	化学反応器としてのマイクロバブルの可能性と その応用に関する研究	1,820
	15K05922	システム情報系	・准教授	伊達 央	流体のみにより動作・制御される自己推進柔軟 マニピレーターの3次元化	2,340
	15K06103	システム情報系	・教授	工藤 博幸	超圧縮センシングの基礎構築と多様なトモグラ フィーへの応用	1,820
	15K06695	医学医療系	・准教授	西丸 広史	哺乳類の歩行運動を形成する脊髄神経モ ジュールの同定と再構築	683
	15K06823	医学医療系	・助教	山下 年晴	グリオブラストーマ由来血管の発生機序とその 性質がもたらす悪性度への影響	2,470
	15K06944	医学医療系	・教授	入江 賢児	RNA制御系によるmRNA安定性と翻訳の時 空間ファインチューニング	2,080
	15K07039	医学医療系	・准教授	大林 典彦	Rabによるエフェクター分子分解機構の解明	2,080
	15K07142	生命環境系	・教授	中谷 敬	イモリ嗅細胞におけるアミノ酸受容体の同定お よびシグナル伝達機構の解明	1,690
	15K07213	生命環境系	・助教	鈴木 亮	温暖化に対する生物多様性の安定性効果	2,600
	15K07253	生命環境系	・助教	野中 聡子	人工制限酵素CRISPR/Cas9を利用したγアミ ノ酪酸高蓄積トマトの育種	1,300
	15K07284	生命環境系	・准教授	福田 直也	レタス植物体中におけるクロロゲン酸含有量を 増大させる明期延長型照明処理法の開発	1,560
	15K07333	生命環境系	・准教授	古川 純	多核種同時イメージング手法を用いた植物のミ ネラル輸送機構の解析	1,690
	15K07406	生命環境系	・教授	繁森 英幸	植物の屈性現象機構解明に関する生物有機 化学的研究	2,210
	15K07452	生命環境系	・助教	Neves Mar cos	Development of antimicrobial packaging system foreseeing enhanced storage stability of lotus root (Nelumbo nucifera)	1,820
	15K07523	生命環境系	・准教授	田辺 雄彦	汽水湖で特異的に大量発生する新奇強毒ア オコのエコトキシコ・ゲノミクス	1,690
	15K07761	生命環境系	・助教	浅野 敦之	鳥類精子の受精機構分子基盤における膜ラフ トマイクロドメインの機能的役割	1,950
15K07790	生命環境系	・教授	戒能 洋一	ハマキガの産卵が引き起こす誘導とその発現 機構の解明	2,210	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	15K07823	芸術系	・教授	黒田 乃生	世界文化遺産における複合的な森林整備のためのガイドラインの作成	1,690
	15K08042	医学医療系	・助教	新開 泰弘	カドミウムの毒性防御を担う小胞体ストレス応答系と活性イオウ分子産生系の協調的役割	1,820
	15K08148	医学医療系	・准教授	増田 知之	従来型解析にバイオインフォマティクスデータを取り入れた新規長鎖遺伝子の機能解析	1,690
	15K08171	医学医療系	・助教	小金澤 禎史	呼吸循環連関に関与する脳内ネットワークの解明:本態性高血圧の原因とは?	1,560
	15K08457	医学医療系	・教授	森川 一也	限定的発現遺伝子群espの機能解析による新たな細菌特性の解明	1,170
	15K08540	医学医療系	・講師	高屋敷 明由美	地域枠医学生 of 医師不足地域での従事意思についての全国調査	1,560
	15K08640	医学医療系	・准教授	大越 靖	原発不明がんの治療成績向上を目的とした、がん組織由来マイクロRNAの網羅的解析	1,950
	15K08665	医学医療系	・講師	山本 純偉	疼痛による扁桃体抑制性神経回路可塑性機構の解明	1,300
	15K08800	医学医療系	・助教	馬 恩博	Disparities, dynamic changes, and controls of burden of cardiovascular diseases and cancer in Japan, China, and Taiwan	1,560
	15K08963	医学医療系	・教授	小島 寛	大腸癌血管新生阻害薬の効果予測を可能にするバイオマーカーの網羅的探索	1,560
	15K09209	医学医療系	・講師	川口 未央	難治性喘息の病態解明: IL-17Fの意義	2,080
	15K09241	医学医療系	・講師	森戸 直記	転写因子異常による巣状糸球体硬化症発症機序の解明	1,950
	15K09493	医学医療系	・助教	錦井 秀和	同種骨髄移植後の新規免疫モニタリングシステムと免疫寛容メカニズムの解明	1,690
	15K09518	医学医療系	・准教授	松本 功	関節炎における炎症性サイトカインと自己免疫応答相互の制御	1,690
	15K09519	医学医療系	・講師	坪井 洋人	IgG4関連疾患におけるCCL18-CCR8と疾患特異的治療標的分子の探索	1,690
	15K09680	医学医療系	・教授	堀米 仁志	早期に発症する遺伝性不整脈の遺伝子型と臨床的表現型の関連の検討及び治療法の確立	3,380
	15K09757	医学医療系	・講師	沖山 奈緒子	皮膚苔癬反応におけるランゲルハンス細胞によるCD8 T細胞抑制機構の解明	1,690
	15K09758	医学医療系	・特任助教	高崎 真美	表皮初期発生制御におけるADAMTS-2の機能解析	2,340
	15K09822	医学医療系	・講師	東 晋二	タンパク質-RNA相互作用が及ぼす神経変性疾患の病態機序の解明	1,950
	15K09986	医学医療系	・助教	松本 孔貴	次世代型ホウ素中性子捕捉療法の実現に向けた多角的アプローチ	1,950
15K10234	医学医療系	・講師	佐藤 藤夫	「冷え性」とは? ~微小血管造影による血管反応の検討~	2,860	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
基 盤 研 究 (C) 【 一 般 】	15K10277	医学医療系	・准教授	鬼塚 正孝	胸腔内に存在する癌細胞の進展に関する実験研究	1,040
	15K10291	医学医療系	・准教授	鶴嶋 英夫	徐放性DDSと未分化細胞を用いた脳虚血に対する再生医療の基礎的研究	2,600
	15K10327	医学医療系	・講師	石川 栄一	グリオーマ幹細胞に対する免疫チェックポイント阻害薬とワクチン療法の併用	1,820
	15K10531	医学医療系	・教授	福田 妙子	術後認知障害におけるオランザピンの効果	1,950
	15K10701	医学医療系	・講師	小貫 麻美子	次世代シーケンサーによるHPV準種解析:子宮頸部発癌との関連について	1,950
	15K10797	医学医療系	・准教授	栗飯原 輝人	難治性頭頸部癌硼素中性子捕捉療法と併用療法上乗せ効果の研究	2,340
	15K10859	医学医療系	・准教授	加治 優一	加齢黄斑変性症における異常凝集蛋白質の同定および新規治療薬・光線力学療法の開発	2,210
	15K11655	医学医療系	・助教	川野 亜津子	バイオマーカーを用いた妊娠期からの産後鬱スクリーニングプログラム開発に関する検討	1,560
	15K11787	医学医療系	・教授	森 千鶴	統合失調症者のメタ認知機能を高めるリアリティモニタリングプログラムの開発	1,820
【 特 設 分 野 研 究 (C) 】	26520101	医学医療系	・講師	小林 麻己人	老年学モデルとしてのゼブラフィッシュ活用の試み	1,040
	15KT0102	数理物質系	・教授	田島 慎一	機械学習モデルの特異統計構造と計算代数解析アルゴリズム	1,300
	15KT0127	生命環境系	・教授	増田 美砂	参加型アプローチの可能性と制約:ジャワの森林コンフリクトを通じた検証	2,210
挑 戦 的 萌 芽 研 究	25540022	システム情報系	・准教授	新城 靖	実時間仮想計算機の研究	910
	25540093	ビジネスサイエンス系	・教授	吉田 健一	Big Data向メモリ管理技術とData Mining性能の関係	1,170
	25540159	図書館情報メディア系	・教授	佐藤 哲司	賑わいeラーニング環境の構築	1,300
	25560003	芸術系	・准教授	李 昇姫	認知的クロノエスノグラフィに基づくエンタテインメントプロダクトのデザイン構成法	650
	25560019	人間系	・准教授	加藤 靖佳	高齢者における聴覚認知機能検査プログラムの開発	1,040
	25560045	医学医療系	・教授	平松 祐司	紫外線加工によるMK-7フリー納豆風味食品の開発とワーファリン内服患者への適用	910
	25560143	生命環境系	・教授	松岡 憲知	火星表面の地形を実験室で再現する	1,170
	25560251	医学医療系	・准教授	森田 展彰	ハイパーソニック効果を応用したストレス関連障害の治療効果の研究	1,170
25560278	システム情報系	・准教授	滝沢 穂高	オンデマンド型の画像認識による視覚障がい者のための知覚支援に関する研究	1,300	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑戦的萌芽研究	25560312	体育系	・研究員	松田 裕雄	スポーツ産業市場活性化及び雇用創出へ寄与する起業家的人材育成プログラムの開発	390
	25580013	人文社会系	・准教授	木村 武史	宗教的教義に基づく経済と環境の均衡を目指す文化価値の創出に関する参加型研究	910
	25580057	人文社会系	・准教授	馬場 美佳	近代日本の人文知形成に関する基礎研究—『郵便報知新聞』掲載外国小説原典調査から	1,170
	25580122	人文社会系	・教授	卯城 祐司	英文読解におけるタスクとエクササイズの違い：タスク型英文読解テストの開発	1,300
	25590051	システム情報系	・教授	金澤 雄一郎	ベイズ理論を用いたMS-AIDSモデルの推定法・モデル選択法の提案とその応用	910
	25590257	人間系	・教授	大高 泉	明治期のドイツ科学教育の受容と「理科」教育の原型形成—独創性育成の失敗原因究明—	1,040
	25590281	人間系	・教授	大川 一郎	適応指導教室と中学校支援室を活用する再登校援助システムの開発	650
	25600148	数理物質系	・教授	西堀 英治	ナノビーム回折による精密原子配列決定法の開発	260
	25620094	数理物質系	・教授	神原 貴樹	“ポスト”クロスカップリング反応を基軸とする高分子半導体合成技術の開発	650
	25630168	数理物質系	・助教	村上 勝久	ナノスケール高感度電圧電流計測のための導電性プローブ顕微鏡システムの構築	780
	25630213	システム情報系	・教授	谷口 守	インビジブルシティ(見えない都市)のプランニング戦略	1,040
	25660274	生命環境系	・助教	石川 尚人	過放牧自体が内蒙古草原の退行を引き起こした原因なのか？	780
	25670241	医学医療系	・助教	藤江 敬子	質の高い疫学研究のための救急蘇生データの品質向上への取組み	780
	25670311	医学医療系	・助教	石井 映美	大学生における精神科治療と学業転帰—自殺予防の観点から—	390
	25670416	医学医療系	・講師	富所 康志	ナノ粒子薬物送達システムによる、アルツハイマー病の酸化ストレス消去療法の開発	650
	25670567	医学医療系	・教授	小田 竜也	膵がん間質消滅治療：自殺遺伝子を導入した間葉系幹細胞によるがん間質の入れ換え	1,560
	25670943	医学医療系	・教授	日高 紀久江	自然排便の促進を目指した臨床看護技術の効果検証	650
	26540010	数理物質系	・教授	青嶋 誠	ビッグデータの統計学：理論の開拓と3Vへの挑戦	1,040
	26540094	システム情報系	・教授	伊藤 誠	緑内障患者のための盲導犬メタファーに基づく自動車運転支援	780
	26540095	システム情報系	・准教授	嵯峨 智	熱放射を利用した触覚ディスプレイの研究	1,430

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	26540096	システム情報系	・准教授	矢野 博明	間接フィードバック型力覚提示に関する研究	780
	26540139	医学医療系	・講師	首藤 文洋	親しみの感情を構成する情動が造形物に対する感情移入を形成する脳機能システムの解明	1,170
	26540168	図書館情報メディア系	・准教授	鈴木 佳苗	子どもの読書への関心を高めるプログラムの実践と評価	1,170
	26550057	生命環境系	・准教授	橋本 義輝	含窒素環境負荷毒性化合物の分解代謝研究	2,600
	26550106	生命環境系	・教授	志賀 和人	現代的森林管理論と制度・政策の枠組み構築	1,560
	26550107	システム情報系	・助教	甲斐田 直子	環境配慮行動と充足感のポジティブな連鎖に関する縦断的研究	1,560
	26560041	数理物質系	・教授	長崎 幸夫	安全食品創出のためのマテリアルデザイン	1,820
	26560080	広報室	・教授	渡辺 政隆	科学リテラシー涵養に益するサイエンスライティング作法の追求	650
	26560162	システム情報系	・教授	鈴木 勉	不確実・低成長時代の次世代都市時空間構成に関する数理的研究	1,040
	26560200	数理物質系	・准教授	加納 英明	iPS細胞の多能性を可視化する新しい分子イメージング法の開拓	780
	26560329	体育系	・教授	坂入 洋右	個人差・多要因・効果量を重視した応用科学独自の研究法:教育領域における活用	1,820
	26560341	体育系	・教授	浅井 武	スポーツ用次世代数値流体解析システムの構築と展開研究	1,820
	26560342	体育系	・教授	藤井 範久	不整地における走動作のバイオメカニクスの研究	1,560
	26560343	体育系	・教授	尾縣 貢	高地の低圧環境を利用した新トレーニング法の開発	1,300
	26560365	数理物質系	・教授	鈴木 博章	蚊を模倣した超低侵襲採血機能を有するバイオセンシングチップの構築	1,690
	26560390	体育系	・教授	徳山 薫平	運動後の脂肪酸化亢進の機序の解明:代謝内分泌機能の網羅的解析	1,950
	26560391	国際統合睡眠医科学研究機構	・准教授	中川 嘉	骨格筋におけるコレステロール不足がなぜ横紋筋融解症と突然死を引き起こしたのか?	1,430
	26560392	医学医療系	・准教授	矢作 直也	肝臓内グリコーゲンセンサーの分子同定	1,430
	26570003	システム情報系	・准教授	松原 康介	アレppoの戦災状況調査と戦災復興都市計画原案の策定	1,300
	26580022	芸術系	・教授	五十殿 利治	占領期の美術と冷戦—日本、ドイツ、アメリカ	1,170
26580023	芸術系	・教授	菅野 智明	日本流入の中国書画に関する新旧収蔵家ネットワークの復元的研究	1,170	

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	26580025	人文社会系	・教授	酒井 たか子	日本の話芸における「おかしみ」の理解の研究 法ー笑いの文化差の視点からー	1,040
	26580026	人文社会系	・教授	今泉 容子	映画がたどる高齢者介護の40年間 1973～ 2013年	1,560
	26580140	生命環境系	・教授	山下 清海	エスニック集団のホスト社会への適応における 借り傘戦略の実証的・理論的研究	1,040
	26590026	システム情報系	・准教授	石川 竜一郎	会計制度に起因する金融危機波及に関する研究: 理論と実験	1,040
	26590035	人文社会系	・准教授	柏木 健一	平和と繁栄の回廊創設を目指したヨルダン川 西岸・東岸におけるオリーブ産業育成研究	1,040
	26590107	医学医療系	・教授	安梅 勅江	五感を活用した地域ブランド共創による多世代 交流型エンバワメントプログラム開発評価	1,820
	26590173	システム情報系	・教授	森田 昌彦	対属性仮説に基づく結合問題の解決と多次元 情報統合過程のモデル化	1,170
	26590174	人間系	・教授	一谷 幸男	ラットの検索誘導性忘却に関わる神経メカニ ズムの解明	1,820
	26590175	人間系	・教授	綾部 早穂	においのトラウマ記憶に関する実態調査ならび に実験的検討	1,040
	26590252	人間系	・教授	大六 一志	知能検査が測定する心的過程を実証し、検査 の有用性を高める研究	650
	26600008	数理物質系	・教授	黒田 眞司	半導体ドット中の単一スピンの制御とメモリーへ の応用	1,560
	26600083	数理物質系	・助教	都甲 薫	シリコンLSI融合型ゲルマニウム・ナノワイヤの 創製と超高速トランジスタの実証	1,040
	26600138	数理物質系	・准教授	笹 公和	炭素14マッピング直接測定を目指したレー ザーアブレーション加速器質量分析法の開発	910
	26610002	数理物質系	・教授	宮本 雅彦	単純自己同型群に対する軌道予想の解決	1,040
	26610012	数理物質系	・講師	永野 幸一	曲率が上に有界なホモロジー多様体に対する 幾何学的トポロジーの展開	650
	26610056	数理物質系	・教授	小沢 顕	不安定核電気双極子モーメント測定への挑戦	780
	26610079	数理物質系	・准教授	野村 晋太郎	ベクトル整形パルス励起による端電流制御	1,560
	26610129	生命環境系	・准教授	桑山 秀一	遺伝子解析によるソリトン波の形成・維持メカ ニズムの解明	1,560
	26620038	数理物質系	・教授	小島 隆彦	新規高原子価鉄-オキソ錯体の合成と反応性	1,950
	26620127	数理物質系	・教授	鍋島 達弥	極性応答的な着脱能をもつ分子コートを導入 した発光性分子の創製	2,080
26630032	数理物質系	・教授	木塚 徳志	原子直視法による摩擦実験法の開発	780	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	26630120	数理物質系	・教授	末益 崇	新規シリサイド半導体の熱電物性の探索	1,690
	26630416	生命環境系	・教授	市川 創作	マイクロギャップ法の開発による食品のin vitro 胃消化挙動の微視的解析	1,560
	26640024	医学医療系	・教授	志賀 隆	生後発達期の皮膚刺激が脳と行動に与える影 響	2,080
	26640025	国際統合睡眠医科学 研究機構	・研究員	高田 陽子	代謝疾患メカニズム解明に向けた、慢性的睡 眠不足モデルマウスの開発	1,300
	26640049	医学医療系	・教授	高橋 智	マウス生体内での肝臓細胞からのインシュリン 産生細胞誘導法の開発	1,560
	26640050	医学医療系	・教授	八神 健一	複数遺伝子変異マウス作製のためのXYi法の 開発	1,950
	26650004	生命環境系	・教授	馬場 忠	低分子DNAによる遺伝子発現制御とその応用	1,170
	26650142	生命環境系	・教授	石田 健一郎	ポーリネラの珪酸被殻構築機構と生物による珪 酸外被形成の進化の解明に向けた初期研究	1,300
	26650155	生命環境系	・准教授	田中 健太	エピジェネティクスによる累代適応を、適応幅 が広いシロイヌナズナ属野生種で検証する	650
	26660055	生命環境系	・教授	小林 達彦	ウコン生理活性成分の微生物代謝	1,950
	26660056	生命環境系	・教授	中島 敏明	メタンガスを発酵原料とした有用物質生産菌取 得法の開発	1,560
	26660138	生命環境系	・准教授	中川 明子	国産針葉樹の直接酵素糖化处理に向けたイオン 液体前処理法の開発	1,820
	26660202	システム情報系	・教授	水谷 孝一	豚舎内における非侵襲な呼吸器感染症早期 発見に関する基礎研究	1,560
	26660203	生命環境系	・助教	源川 拓磨	テラヘルツ分光法による農産物・食品中の水素 結合の非破壊定量分析	650
	26670109	医学医療系	・教授	正田 純一	転写因子Nrf2の酸化ストレスと自食作用脆弱 化の病態制御による高齢者筋萎縮の予防	1,560
	26670172	医学医療系	・教授	野口 雅之	血管保護因子DDAH2に注目した肺腺癌間質 形成の分子機構の解明	1,560
	26670185	医学医療系	・研究員	本多 伸一郎	濾胞樹状細胞の食食機構を介した液性免疫 応答制御機構の解明	1,820
	26670264	医学医療系	・准教授	福島 敬	新規高性能ベクターを生体イメージングで評価 し血友病遺伝子治療に応用するための研究	1,040
	26670273	医学医療系	・教授	鬼澤 浩司郎	非アルコール性脂肪性肝炎を自然発症する新 規モデル動物を利用した診断マーカーの探索	1,690
	26670298	数理物質系	・教授	高田 義久	炭素イオン線治療のためのポーラス形状の最 適化の研究	1,820
26670521	医学医療系	・教授	藤本 学	皮膚疾患における制御性B細胞を用いた治療 法の開発	1,820	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	26670548	医学医療系	・教授	坪井 康次	放射線と免疫療法を融合したロコ・システム がん治療法の開発	1,950
	26670575	医学医療系	・准教授	渋谷 和子	免疫記憶制御分子を標的とした腎移植後慢性 拒絶反応の予防法の開発	2,080
	26670696	医学医療系	・教授	西山 博之	尿路上皮癌における新規癌関連遺伝子の同 定	1,430
	26670697	附属病院	・病院講 師	市岡 大士	造精機能障害とエピジェネティクス異常の解明	1,430
	26670901	生命環境系	・准教授	楊 英男	光触媒デバイスを用いた口腔内バイオフィルム 予防の機構解明と実用検証	910
	26670970	医学医療系	・准教授	古谷 佳由理	小児慢性疾患患者における成人移行期支援 のためのヘルスリテラシー尺度の開発	1,690
	26670971	附属病院	・その他	杉本 敬子	出産による心的外傷後ストレス症状測定尺度 日本語版の開発研究	1,040
	26671001	医学医療系	・助教	岡本 紀子	高齢者の肺炎予防のための生活リズム調整と 社会的機能の強化による保健指導方法の開発	2,210
	26671002	医学医療系	・教授	松田 ひとみ	高齢者の起立時血圧低下の実態と「起立前看 護オノマトペ法」の開発	650
	15K11992		・名誉教 授	赤平 昌文	統計的欠損性の階層構造の解明とその応用	1,300
	15K11993	システム情報系	・教授	金野 秀敏	応用確率過程解析における「ホインの微分方 程式の方法」の開拓	1,170
	15K12001	システム情報系	・教授	丸山 勉	大規模問題に対するFPGAアクセラレータ構 築手法の研究	1,300
	15K12006	システム情報系	・教授	加藤 和彦	メモリーコアと大容量主記憶を持つ計算機向け のビッグデータの並列処理方式	1,690
	15K12007	システム情報系	・教授	亀山 幸義	マルチステージ証明記述言語の設計と開発	1,040
	15K12024	システム情報系	・教授	北川 高嗣	一般化逆作用素を用いたビッグデータ向け知 識創造サイクルモデル	1,430
	15K12137	システム情報系	・助教	安東 弘泰	2型糖尿病における人工的膵臓刺激装置設計 のための数理モデル研究	1,690
	15K12149	システム情報系	・教授	山本 幹雄	テキストデータに対する高次元小標本回帰問 題へのトピックモデルに基づくアプローチ	1,820
	15K12156	図書館情報メディア系	・准教授	毛利 るみこ (毛利るみこ)	公立図書館長に求められる能力及び研修モデ ルの構築に関する研究	1,040
	15K12178	システム情報系	・准教授	星野 准一	海洋環境コンテンツの制作を支援する仮想ア クリウム基盤の構築	1,690
	15K12234	システム情報系	・教授	京藤 敏達	流体力学的分級およびサクシオン圧密による土 壌洗浄	1,820
	15K12235	生命環境系	・教授	張 振亜	ナノチューブを足場とした高活性複合材料を 用いた水中有害イオンの吸着浄化	2,340

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	15K12236	生命環境系	・助教	山下 祐司	なぜ腐植物質は水処理プロセスの効率を低下させるのか？	2,470
	15K12241	生命環境系	・准教授	梶山 幹夫	マトリックス重合によるケラチン複合体の生成	3,770
	15K12256	生命環境系	・助教	平尾 章	植物の花蜜が介在する生物間ネットワークの形成プロセス	1,560
	15K12272	生命環境系	・准教授	水野谷 剛	道州制導入後の流域管理政策の提言ー南・北関東州を例としたシミュレーション分析ー	2,470
	15K12554	医学医療系	・教授	大河内 信弘	ヒト胎盤羊膜由来間葉系幹細胞のバイオバンクの創設	2,470
	15K12626	体育系	・教授	長谷川 聖修	帰還困難地域の避難者へ地域交流を促す身体運動の効果と方法	1,040
	15K12627	体育系	・准教授	長谷川 悦示	体育科授業研究のための授業分析用アプリの開発と効果の検証	2,860
	15K12628	体育系	・准教授	三木 ひろみ	体育で育成する思考力・判断力・表現力ー21世紀型能力と学習指導要領の視点から	1,040
	15K12629	体育系	・教授	西嶋 尚彦	ICT活用のための子どもの運動習熟特性の発見的解明	1,820
	15K12639	システム情報系	・准教授	山際 伸一	動きビッグデータからスキルの予測は可能か？	1,040
	15K12640	体育系	・教授	征矢 英昭	毛髪コルチゾールはコンディショニングの新指標となりうるか？	1,040
	15K12641	体育系	・教授	高木 英樹	水泳研究のパラダイムシフトとなる新たな泳パワーの測定方法の開発	1,040
	15K12642	体育系	・准教授	小池 関也	高速スポーツ動作生成メカニズムの即時提示システムの開発	1,300
	15K12692	体育系	・教授	前田 清司	定期的な有酸素性運動は中高齢男性における勃起不全を改善するか？	1,300
	15K12753	数理物質系	・准教授	北 将樹	光親和性プローブとLA-LDI-MSを用いた標的生体分子の結合部位解析法の開発	1,820
	15K12766	医学医療系	・教授	松本 正幸	注意の神経機構:霊長類動物モデルを用いた光遺伝学からのアプローチ	1,300
	15K12773	人間系	・助教	高橋 阿貴	苛立ちの神経回路	1,170
	15K12797	生命環境系	・教授	呉羽 正昭	景観変化とイメージ創造に基づいたリゾート発展モデルの構築	1,170
	15K12855	人文社会系	・准教授	対馬 美千子	現代ヨーロッパ文学におけるトラウマと創造性についての総合的研究	1,300
	15K12955	人文社会系	・教授	関根 久雄	ダイバーシティ・マネジメントの民族誌的研究ー企業活力の追求と人類学の可能性ー	650
15K12975	ビジネスサイエンス系	・教授	弥永 真生	北アフリカにおける会社法ーシャリーアとの関連において	650	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	15K13002	システム情報系	・助教	栗野 盛光	分権的マッチング制度の理論研究	1,040
	15K13011	システム情報系	・教授	大澤 義明	パレート効率な自治体連携の可能性と限界－ マッチング理論による地方創生－	1,820
	15K13157	人間系	・教授	Pavlidis C	Neural network organization of the spatial map	1,820
	15K13170	ビジネスサイエンス系	・准教授	田中 正弘	東北地域の大学進学問題－教育社会学と比 較教育学の研究手法の融合－	2,600
	15K13172	人間系	・教授	濱田 博文	新たな学校ガバナンスにおける「教育の専門 性」の再定位	1,690
	15K13203	人間系	助教	川口 純	途上国における非正規課程の教育に関する国 際比較研究	1,366
	15K13220	体育系	・准教授	三田部 勇	保健体育科教員を養成及び育成する一貫した 教育プログラムの検討	1,300
	15K13269	数理物質系	・助教	谷中 淳	ナノ接点のその場観察とノイズ解析によるコン ダクタンスおよび透過率の動的計測	2,210
	15K13329	数理物質系	・准教授	丸本 一弘	ペロブスカイト太陽電池のスピ形成・電荷蓄 積の直接観測と特性向上	1,300
	15K13355	数理物質系	・准教授	柳原 英人	スピネルフェライトヘテロ接合における界面2次 元伝導	2,860
	15K13356	数理物質系	・教授	佐々木 正洋	炭化したシャープペンシル芯からの優れた電 界電子放出の起源の解明	3,120
	15K13371	数理物質系	・講師	安野 嘉晃	光レオロジー: 偏光で見るバイオメカニクス	1,430
	15K13397	数理物質系	・教授	伊藤 雅英	準結晶パターンによるX線集光素子に関する 基礎研究	2,210
	15K13447	数理物質系	・教授	磯崎 洋	確率論的方法による離散シュレーディンガー 作用素の逆散乱理論	1,040
	15K13475	数理物質系	・講師	中條 達也	高エネルギー実験のための10ピコ秒 飛行時 間測定器の開発	1,560
	15K13513	数理物質系	・助教	小林 航	イオンモデルに基づいた新奇的なナトリウムイ オン電池材料の開発	2,600
	15K13546	数理物質系	・助教	菱田 真史	擬似非平衡場としての生体膜: 膜上での分子 拡散と選択的分子集積	1,430
	15K13599	生命環境系	・教授	濱 健夫	海洋蛍光性溶存態有機物の光化学反応と残 存性－バクテリアによる炭素長期隔離の鍵－	2,860
	15K13717	数理物質系	・教授	藤田 淳一	マイクロ電解セルの創出による電解反応機構 解明とデバイス応用	2,340
	15K13735	数理物質系	・講師	百武 篤也	無発光イメージング法確立に向けた分子開発	1,950
15K13812	数理物質系	・准教授	山本 洋平	細胞への光閉じ込めと共鳴発光・レーザー発 振	1,950	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	15K13879	システム情報系	・教授	阿部 豊	二酸化炭素貯留に向けたCO2ハイドレート生成・成長のその場計測	2,730
	15K14094	システム情報系	・教授	藤川 昌樹	在来産業の近代化と都市形成の対応に関する日中比較研究	1,430
	15K14245	システム情報系	・准教授	横田 茂	形状記憶推進剤を用いたレーザーアブレーション推進	2,470
	15K14359	医学医療系	・准教授	杉山 文博	ゲノム編集によるバイストロニックCreドライバーマウスの開発	1,950
	15K14520	生命環境系	・教授	笹倉 靖徳	ホヤにおける新規母性因子特異的ノックダウン法によるmRNAの局在機構の解明	1,170
	15K14565	生命領域学際研究センター	・研究員	藤澤 千笑 (西宮 千笑)	ヒドラ生殖幹細胞の特質の解明ー多能性幹細胞との発現遺伝子の比較から	2,080
	15K14566	生命環境系	・教授	稲葉 一男	新規光感受性タンパク質を介した鞭毛繊毛運動の光制御	2,340
	15K14579	生命環境系	・准教授	宮村 新一	真核生物のオスとメス、2つの性の起源と進化に関する細胞構造学的研究	2,340
	15K14587	生命環境系	・助教	蓑田 歩	嫌気条件下での酸素発生型光合成のパラドックスを解く	1,950
	15K14683	生命環境系	・教授	星野 貴行	脱窒処理の効率化をもたらす微生物代謝の電極電位による制御	3,120
	15K14684	数理物質系	・准教授	辻村 清也	酸化還元酵素のハイスループット電極触媒機能評価	2,470
	15K14707	生命環境系	・助教	金 俊達	「ナノビペット」による蛍光標識したストレス顆粒の単離	1,690
	15K14719	生命環境系	・准教授	丹羽 隆介	エクジステロイド生合成に関わる新規酵素に着目した昆虫発育制御剤スクリーニング戦略	650
	15K14747	生命環境系	・准教授	堀田 紀文	岩盤風化に伴う渓流水質の変化に着目した深層崩壊の発生時期予測手法の開発	1,690
	15K14748	生命環境系	・助教	耳田 直純	遺伝子組換えによるユーカリの木質改変・アンチ-エイジング技術基盤の構築	2,730
	15K14825	生命環境系	・教授	北村 豊	真空低温場における噴霧液体の凍結・昇華特性の実験的解析	2,080
	15K14874	国際統合睡眠医科学研究機構	・教授	Liu Qinghua	フォワード・ジェネティックスを用いた先天的恐怖の分子メカニズム解明	2,990
	15K14913	生命環境系	・准教授	小野 道之	新型インフルエンザに対する食べるワクチンを色素体で生産する試み	2,340
	15K15037	医学医療系	・講師	山縣 憲司	閉経女性のエストロゲン欠乏によるサルコペニア肥満のリスク増大とNrf2の抑止効果	2,210
	15K15187	医学医療系	・教授	野口 恵美子	セルフリーDNAを用いた乳癌の予後予測法の開発	1,950
15K15188	医学医療系	・講師	松井 裕史	ポルフィリン蛍光を利用した血中循環腫瘍細胞捕捉技術に関する研究	2,210	

研究 種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を 受けた 研究費	
		所属部局・職	氏名			
挑 戦 的 萌 芽 研 究	15K15218	医学医療系	・講師	岡田 昌史	標準データモデルの導入による臨床研究データマネジメント基盤技術の開発	578
	15K15318	医学医療系	・講師	酒井 俊	肺高血圧症におけるポリアミン系活性化の意義解明と新規治療法の開発	2,210
	15K15319	医学医療系	・講師	田原 聡子	抑制性受容体アラジン-1のリガンドを用いた重症喘息の治療法の開発	2,210
	15K15344	医学医療系	・教授	島野 仁	横紋筋融解症発症モデルマウスにおけるオートファジー異常の分子メカニズム	1,690
	15K15359	医学医療系	・教授	千葉 滋	骨髄赤芽球造血ニッチの解明	2,210
	15K15445	医学医療系	・准教授	福光 延吉	本邦初の99Mo/99mTc国産化を目指した99Mo/99mTcジェネレータ開発	1,690
	15K15446	医学医療系	・准教授	旗野 健太郎	BNCT製剤早期実用化を実現する新規分子イメージング技術	1,560
	15K15488	医学医療系	・講師	石毛 和紀	遺伝子レスキューマウス解析によるNASH発癌を制御する組織・細胞Nr2の役割解明	2,080
	15K15523	医学医療系	・准教授	高野 晋吾	血管新生因子アンチセンスホモロジーボックス由来ペプチドによる脳梗塞の血管新生療法	1,170
	15K15580	医学医療系	・講師	高岡 栄一郎	マウス排尿行動解析システムを用いた低活動膀胱の診断・治療薬の開発	1,820
	15K15642	医学医療系	・講師	新開 統子	臍帯間葉系幹細胞シートによる先天性横隔膜ヘルニア低形成肺の再生	910
	15K15649	医学医療系	・教授	関堂 充	末梢神経再生技術の形成外科領域への導入	2,210
	15K15659	医学医療系	・教授	渋谷 彰	ヒト化マウスを用いたエンドトキシンショックの新規治療法開発のための基礎研究	3,640
	15K15730	医学医療系	・准教授	柳川 徹	海馬の疼痛記憶形成異常仮説による舌痛症モデル動物の構築と解析	1,820
	15K15782	医学医療系	・教授	川口 孝泰	ベッド上からの転落予知センサの開発と実用化に向けた検証	2,470
	15K15825	医学医療系	・教授	水野 道代	がん患者の就労に係る自己評価ツールの活用とQOLに与える効果の検討	910
	15K15846	医学医療系	・准教授	涌水 理恵	在宅重症心身障害児の家族エンパワメントに焦点を当てたケアモデルの検証	2,340
	15K15847	医学医療系	・助教	山海 千保子	「育児ストレス」軽減に向けた認知行動療法プログラムの開発	780
15K15848	医学医療系	・教授	江守 陽子	妊娠女性の正常体重肥満(いわゆる隠れ肥満)と周産期outcomeの関係	2,470	
若 手 研 究 (A)	24680015	システム情報系	・准教授	佐久間 淳	大規模非構造型秘密情報のためのアウトソース型プライバシー保護データマイニング基盤	7,280
	24683008	人文社会系	・准教授	柏木 健一	北アフリカ・地中海諸国における食薬資源の高度利用による地場産業育成研究	4,290

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
若 手 研 究 (A)	24686067	システム情報系	・准教授	松原 康介	多様性と共生の知恵を育む中東・北アフリカ地域の都市計画史	390
	24686068	芸術系	・助教	下田 一太	クメール古代都市イーシャナプラの都城研究	5,070
	24687008	生命環境系	・助教	堀江 健生	遺伝学的技術を用いたホヤ幼生の光感覚入力から行動出力に至る神経回路の機能解析	5,980
	25700024	システム情報系	・助教	大澤 博隆	ユーザの機能習得を手助けする自己紹介型インタフェース	2,080
	25701012	生命環境系	・助教	豊福 雅典	ベシクルを介した微生物間ネットワークの解明とそのデザイン方法の創出	7,540
	25702037	体育系	・助教	山口 拓	カンボジア王国の小学校体育科教育の普及施策に関する研究	2,080
	25702047	数理解物質系	・准教授	北 将樹	陸棲哺乳類の産生する麻痺性神経毒およびプロテアーゼの構造と機能	4,940
	25705011	ビジネスサイエンス系	・准教授	立本 博文	グローバルなビジネス・エコシステムにおけるプラットフォーム競争戦略の成功要因	1,560
	25708020	数理解物質系	・准教授	山本 洋平	発光性および強誘電ポリマーナノ粒子による新しいフォトニック結晶の構築	2,860
	25711020	生命領域学際研究センター	・助教	林 良樹	ショウジョウバエ始原生殖細胞におけるミトコンドリア品質管理機構の解析	5,070
	25712004	生命環境系	・准教授	有泉 亨	トマト花卉内におけるエステル化カロテノイド蓄積の分子基盤の解明	5,590
	25712010	生命環境系	・准教授	丹羽 隆介	コレステロール動態調節に関わる新規遺伝子 noppera-bo の機能解明	4,030
	26706018	数理解物質系	・講師	久保 敦	通信帯フェムト秒表面プラズモン波束の顕微映像化と非線形増幅	4,420
	26708008	数理解物質系	・准教授	所 裕子	双安定性を利用した新規機能性相転移物質の開発	8,060
	26709019	数理解物質系	・助教	都甲 薫	プラスチックを基材とした高効率・多接合型薄膜太陽電池のボトムセル技術	5,200
	26710001	医学医療系	・教授	松本 正幸	前頭前野機能への神経路特異的なドーパミン信号の役割	5,850
	26711022	生命環境系	・准教授	中野 裕昭	非モデル動物を用いた海産無脊椎動物幼生の進化に関する比較発生学的研究	5,850
	26712004	生命環境系	・助教	吉岡 洋輔	キュウリ属作物の果実品質改良に寄与するゲノムデザイン育種基盤の構築	6,500
	26713057	医学医療系	・准教授	涌水 理恵	発達障害児の家族を対象とした包括的エンパワメントプログラムの開発と評価	1,170
	15H05374	医学医療系	助教	山田 洋	生理的欲求に応じて価値判断を調節する神経ネットワークの解明	8,190
15H05418	数理解物質系	客員准教授	石井 宏幸	低分子系および高分子系有機半導体のための大規模電子伝導計算理論	5,200	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
若 手 研 究 (A)	15H05522	数理物質系	助教	村上 勝久	金属蒸気触媒CVDによるグラフェンの絶縁基板 上直接合成と高効率MOS冷陰極の開発	9,100
	15H05558	システム情報系	准教授	横田 茂	即時安定作動可能な大電流電子源	9,620
	15H05560	システム情報系	助教	海老原 格	環境に応じて自律的にパラメータを調整する水中 音響モデムによる小型移動体通信の実現	4,810
	15H05576	医学医療系	准教授	村谷 匡史	肺癌に関わる非コードゲノム制御領域のゲノム・ エピゲノム統合解析	4,030
若 手 研 究 (B)	24700004	システム情報系	・准教授	小林 佑輔	グラフマイナーアルゴリズムにおける双対概念の 利用	1,170
	24700642	体育系	・研究員	宮田 香織 (江田香織)	アスリートの対話的競技体験がパフォーマンス 発揮に及ぼす影響	1,430
	24720318	人文社会系	・助教	上田 裕之	清代中期の制錢供給政策に関する財政史的 研究—近代前夜の中国貨幣と国家—	910
	24730146	図書館情報メディア系	・助教	バーレイシェフ エドワルド	第一次世界大戦期における「日露兵器同盟」 の実像	650
	24730199	ビジネスサイエンス系	・助教	上山 一	中東・GCC諸国におけるイスラム銀行の経営 実態に関する実証的研究	130
	24790802	医学医療系	・講師	菊池 慎二	細胞接着分子CADM1を分子標的とする小細胞 肺癌の治療法の開発	780
	24791134	医学医療系	・講師	藤澤 康弘	ROR γ t発現がCD4+T細胞の誘導に及ぼす 影響の研究	910
	24792525	医学医療系	研究員	福澤 利江子 (岸 利江子)	周産期から育児期の支援者の体験と問題意識	0
	25730024	ビジネスサイエンス系	・准教授	尾崎 幸謙	分冊型調査票と短縮型調査票の統計学的比較	650
	25730035	システム情報系	・助教	海野 広志	ゲーム意味論に基づくリファインメント型の拡張 とその応用	1,300
	25730036	システム情報系	・助教	早瀬 康裕	過去の開発事例に基づくメソッド名とメソッドボ ディの補完システムの開発	650
	25730069	図書館情報メディア系	・助教	藤澤 誠	数値シミュレーションにおける高精細表面生成 技術の確立	1,040
	25730070	図書館情報メディア系	・准教授	手塚 太郎	スパース符号化を用いた大規模画像特徴量 データベースの構築	1,170
	25750113	生命環境系	・講師	八反地 剛	日本列島の花崗岩山地の化学的風化速度の 分布とその規定要因	650
	25750120	システム情報系	・助教	川村 大伸	半導体製造工程における統計的工程管理	910
	25750272	体育系	・助教	渡邊 仁	自然体験プログラムによる体験者の現実適応と 個性化へのプロセス	780
25750284	体育系	・特任助 教	笠野 英弘	スポーツ行為者の性格構造形成に影響を及ぼ すスポーツ組織研究-国際比較を踏まえて-	650	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
若 手 研 究 (B)	25750285	体育系	・助教	山田 永子	ハンドボール競技におけるヨーロッパ強豪国のユース年代のトレーニング分析	260
	25770002	人文社会系	・准教授	津崎 良典	デカルトによる批判的受容を背景にしたピエール・シャロン人間学に関する哲学史的解明	1,170
	25770021	人文社会系	・助教	土井 裕人	西洋古代を中心とした宗教思想研究への人文情報学の応用	910
	25770038	人文社会系	・准教授	御園生 涼子	大島渚作品における国家とその内的な他者	1,040
	25770057	人文社会系	・特任研究員	杉本 章吾	1980年代から2000年代の少女マンガにおける若年女性表象の表象文化論的研究	910
	25770183	人文社会系	・助教	金谷 優	コトのモノ化と構文文法理論における強制	780
	25770293	生命環境系	・准教授	湯澤 規子	近代日本における地域の経済発展の論理と構造に関する歴史地理学的研究	650
	25770310	人文社会系	・助教	木村 周平	津波常習地の災害文化に関する歴史人類学的研究	780
	25780067	ビジネスサイエンス系	・准教授	白石 友行	民事責任法と人・家族——その変容と現代におけるあり方——	650
	25780082	図書館情報メディア系	・准教授	村井 麻衣子	著作物の自由利用の確保と権利者への対価還流の両立への方策	650
	25780367	人間系	・准教授	外山 美樹	楽観性が適応的結果に結びつくメカニズムの検討	1,300
	25780412	人間系	・准教授	大塚 泰正	新しい職場における臨床心理専門職養成のための教育プログラムの開発	910
	25780539	人間系	・助教	森 まゆ	点字使用者の学習において識別容易性の高い点図作成基準構築のための基礎的研究	650
	25800003	数理物質系	・助教	有家 雄介	頂点作用素代数のモジュラー不変性とその表現論への応用に関する研究	910
	25800056	数理物質系	・准教授	梁 松	結晶確率モデルのハミルトン力学系による導出及びそれにおける相対効果の影響	1,040
	25800100	計算科学研究センター	・研究員	行方 大輔	マルチグループ輻射流体計算によるAGNトラスから降着円盤へのガス供給過程の解明	1,690
	25800138	数理物質系	・准教授	山崎 剛	量子色力学を基にしたクォーク多体系としての原子核の研究	910
	25820152	システム情報系	・助教	鈴木 大三	クラウド時代における多次元適応変換を用いたロッキー・ロスレス統合映像符号化	1,040
	25820200	システム情報系	・助教	山本 亨輔	迅速・低コストに橋梁群の健全性を評価する車両応答分析技術の開発と検証	650
	25820261	システム情報系	・助教	八十島 章	既存低強度コンクリート柱梁接合部の構造性能評価と補修効果の検証	910
25820290	システム情報系	・助教	山本 幸子	体験・就業支援と空き家活用を組み込んだ包括的移住支援システムの構築	1,300	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
若 手 研 究 (B)	25840002	医学医療系	・准教授	大庭 良介	核様体に局在する酸化ストレス消去タンパク質群によるゲノムDNA維持システムの解明	1,300
	25860106	医学医療系	・講師	土岐 浩介	心筋ナトリウムチャンネル関連遺伝子解析に基づく抗不整脈薬の個別投与設計法の構築	910
	25860205	医学医療系	・助教	濱田 理人	マクロファージにおけるMafBによる補体C1q転写制御機構の解明	1,300
	25861064	医学医療系	・講師	水本 斉志	小児腫瘍に対する陽子線治療後の晩期有害事象予測プログラムの作成	650
	25870095	生命環境系	・助教	和田 茂樹	沈降粒子生成量に対する海洋酸性化の影響-酸性化は生物ポンプを停滞させるのか?-	910
	25870098	人文社会系	・助教	津田 博司	多文化主義オーストラリアにおけるマイノリティの包摂とアンザック・デイ	910
	25870099	システム情報系	・助教	今倉 暁	大規模連立一次方程式に対する反復法を用いた前処理技術の開発と科学技術計算への応用	1,300
	25870100	グローバルコモンズ機構	・助教	島田 直子	非言語性知能検査UNITを利用した多文化心理教育アセスメントモデルの開発	1,300
	25870101	システム情報系	・准教授	松田 哲也	航空機用複合材構造の高度設計開発に向けた新規BBAの構築	1,300
	25870103	数理物質系	・助教	金澤 研	走査トンネル顕微鏡による希薄磁性半導体の磁性発現機構解明と強磁性ナノ構造作製	650
	25870811	システム情報系	・助教	日野 英逸	再生核ヒルベルト空間の構造最適化による非線形識別に関する研究	910
	25871237	数理物質系	・助教	森口 哲朗	脳虚血性病態理解のための非侵襲的小動物0-15ガスPET検査システムの構築	650
	26730026	システム情報系	・助教	金澤 健治	マルチFPGAシステムにおける任意のデータアクセス幅のキャッシュ機構の実現	1,560
	26730102	システム情報系	・助教	橋本 悠希	振動刺激による定量的な3次元形状認識を可能とする振動強度の設計手法	1,170
	26730108	システム情報系	・助教	大槻 麻衣	Pseudo-transparencyに基づいた透過知覚に関する心理物理学的検討	2,080
	26750261	体育系	・特任助教	松畑 尚子	スポーツ政策における新たな政策指標の開発-生涯スポーツ政策を中心として-	390
	26750262	体育系	・助教	成瀬 和弥	文部省生涯スポーツ課・競技スポーツ課はどのようにして設置されたのか	520
	26750263	体育系	・助教	國部 雅大	両眼を用いた水平および奥行き方向への注視トレーニングの効果に関する検討	780
	26770022	人文社会系	・准教授	志田 泰盛	系統型混交を許容する写本系統の推定:『プラカラナ・パンチカー』校訂研究	910
	26770038	芸術系	・助教	杉山 卓史	「われ感触す、ゆえにわれ在り」の系譜—ヘルダーからメルロ＝ポンティまで—	650
26770048	芸術系	特別研 ・究員(P D)	太田 岳人	ブルーノ・ムナーリの芸術形成	780	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
若 手 研 究 (B)	26770133	人文社会系	・助教	山村 崇斗	英語疑似空所化の史的発達についての生成 統語論的研究	1,040
	26780024	ビジネスサイエンス系	・准教授	藤澤 尚江	金融商品取引法上の民事責任と法の適用関 係	910
	26780247	システム情報系	・准教授	岡田 幸彦	わが国サービス企業における原価計算・原価 管理の成功モデルに関する実証的研究	1,430
	26780426	人間系	・助教	田中 マリア	ルソーの女性教育論再考—宗教的世界観との 連続性に着目して—	1,300
	26780512	図書館情報メディア系	・特任助 教	松原 正樹	聴覚障害学生のための音楽トレーニングにお ける学習効果についての研究	1,170
	26780521	人間系	・助教	宮内 久絵	視覚障害教育の専門性に立脚した支援システ ムとその実現条件	910
	26790028	生命環境系	・特別研 究員(P D)	佐々 文洋	超集積型高耐久化技術による浮遊ウイルスモ ニタリングセンサの構築	1,250
	26790046	数理物質系	・研究員	渡辺 健太郎	溶液成長ZnOナノロッド圧電素子の圧電性・弾 性評価と成長制御による圧電応答改善	0
	26800031	数理物質系	・助教	丹下 基生	ハンドル図式を用いた低次元多様体の研究	780
	26800051	数理物質系	・助教	中島 誠	個体間に強い相互作用を持つ分枝過程の解 析	373
	26800077	数理物質系	・助教	竹内 耕太	有限組み合わせ論を用いた安定性理論の新 展開	910
	26800078	数理物質系	・助教	矢田 和善	高次元漸近理論の統一的研究	910
	26800163	数理物質系	・講師	前島 展也	多自由度強相関電子系における光誘起超高 速ダイナミクスの生成と制御	1,170
	26800271	生命環境系	・助教	池端 慶	銅同位体を用いた海底自然銅鉱床の形成機 構に関する研究	650
	26800278	数理物質系	・准教授	坂口 綾	天然試料中HFS元素の分別挙動に関する研 究	1,170
	26810012	数理物質系	・准教授	松井 亨	ヘムの面外振動変位と酸化還元電位の相関の 算出	1,148
	26810015	数理物質系	・講師	山村 正樹	リン原子を効果的に利用した非平面ホスト分子 の開発と曲面炭素材料との超分子複合化	1,820
	26810126	数理物質系	・研究員	鈴木 孝宗	Curie温度向上に向けたチタン酸バリウムへの メソ細孔由来歪み導入	0
	26820040	システム情報系	・助教	金川 哲也	気泡振動の能動的制御による水中衝撃波のソ リトン遷移を狙う非線形音響理論	2,080
	26820094	数理物質系	・准教授	磯部 高範	車上搭載用高性能永久磁石発電機のための 高効率整流回路	3,510
26820136	数理物質系	・助教	岡本 大	新規界面原子導入による高移動SiC MOSFET 作製技術の確立	1,430	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究 (B)	26820152	システム情報系	・助教	宮部 滋樹	確率指向の脳波分離・認識フレームワーク	1,950
	26820257	システム情報系	・准教授	雨宮 護	小地域時系列犯罪統計に基づく「防犯まちづくり」の効果検証と評価目録の作成	1,040
	26830002	国際統合睡眠医科学研究機構	・研究員	大山 薫	大脳皮質アデノシン系による局所睡眠の制御	1,170
	26830123	医学医療系	・研究員	久岡 美晴	転写・複製に依存しないヒストン脱離の分子機構	1,820
	26830130	生命環境系	・助教	仲島 由佳	オリゴDNAを用いた新技術による転写活性化機構の解析と再生医療への応用	2,210
	26840003	医学医療系	・助教	加藤 広介	ヒストンH1ユビキチン化によるゲノム安定性制御機構	1,950
	26840056	数理物質系	特別研究員(PD)	原田 隆平	タンパク質構造揺らぎに基づく構造変化予測法の構築	1,170
	26840061	生命環境系	・助教	柴 小菊	精子機能を調節する時空間的な細胞内カルシウムシグナルの可視化	650
	26840074	生命領域学際研究センター	・研究員	島田 裕子	光受容体が介するステロイドホルモン生合成調節機構の解明	1,690
	26840087	生命環境系	・准教授	三浦 謙治	MAPキナーゼによるICE1のリン酸化と低温シグナル伝達の調節	1,950
	26840113	生命環境系	・助教	松崎 仁美	マウスゲノム刷り込み遺伝子座におけるエピジェネティック修飾制御の分子メカニズム	1,300
	26840123	生命環境系	・特任助教	谷藤 吾朗	非光合成葉緑体の進化と機能多様性探索～比較ゲノムとプロテオームから	1,170
	26840124	計算科学研究センター	・研究員	中山 卓郎	ケルコゾア生物における“ミトコンドリア型解糖系”の理解に向けた基礎的研究	1,430
	26840156	体育系	・特任助教	久保 大輔	ジャワ原人を中心としたホモ・エレクトスの頭蓋腔形態に関する古神経学的研究	260
	26850094	生命環境系	・特任助教	高木 悦郎	果肉食性昆虫と種子食性昆虫が創り出す間接効果による種子散布阻害の解明	650
	26860076	国際統合睡眠医科学研究機構	・助教	山本 直司	オピオイドκ受容体リガンドにおける側鎖の最適配向の明確化とその応用	1,170
	26860230	医学医療系	・助教	柴 綾	結合蛋白に着目したStratifinによる肺腺癌初期悪性化の分子メカニズム解明	1,820
	26860231	医学医療系	・講師	菅野 雅人	大腸発癌過程においてHNF4a(P1)発現が消失するメカニズムの解明に向けた研究	1,300
	26860275	生命環境系	・助教	千葉 洋子	ピロリン酸を軸とした赤痢アメーバの嫌氣的代謝系とオルガネラ進化の原動力の解明	2,080
	26860281	生命環境系	・助教	尾花 望	クロストリジウム属細菌におけるIV型線毛を介した温度依存的な附着制御の解析	1,950
26860299	医学医療系	・助教	川口 敦史	インフルエンザウイルスによる中心体制御機構の研究	1,950	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
若 手 研 究 (B)	26860393	附属病院	・病院講 師	ザボロノク ア レクサンドル	Novel adjuvant method of malignant brain tumor diagnosis and therapy with targeted nanoparticles made of high-Z elements	1,690
	26860394	医学医療系	・助教	高田 健太	BNCTに最適化した決定論的手法による超高 速線量計算アルゴリズムの開発	1,040
	26860432	医学医療系	・講師	安部 加奈子	睡眠時無呼吸症候群による母児病態変動解 析	0
	26860454	医学医療系	・客員准 教授	阿部 智一	救急外来の時間的Quality Indicatorの構築	1,690
	26860596	医学医療系	・講師	際本 拓未	気道リモデリング形成に伴うSiglecを介した好酸 球炎症制御経路障害の解明	1,300
	26860717	医学医療系	・講師	武藤 秀治	Tet2機能低下によるエピゲノム制御異常を介し たリンパ腫発症メカニズムの解明	1,170
	26860718	医学医療系	・助教	上妻 行則	新たな血栓症の予防・治療法確立を目指した 巨核球造血・血小板機能における系統的解析	1,300
	26860782	医学医療系	・講師	加藤 愛章	新しい心磁図指標を用いた小児の早期再分極 症例の突然死リスク評価に関する研究	1,950
	26860976	医学医療系	・助教	鈴木 健之	放射線照射とNSAIDsの併用による新規腫瘍免 疫賦活療法の基礎的研究	1,040
	26861038	医学医療系	・講師	井口 研子 (間中研子)	癌免疫逃避機構の制御による新規分子標的治 療の開発のための研究	1,560
	26861039	医学医療系	・講師	明石 義正	可変3D画像・タッチレスインタフェースを用いた 鏡視下手術ナビゲーションの開発	650
	26861059	医学医療系	・講師	久倉 勝治	S1P, アデノシン, トロンボポエチンを用いたN ASHの線維化抑制治療の開発	1,690
	26861060	医学医療系	・講師	高野 恵輔	血清エクソソームの機能性RNA発現解析による 非B非C肝癌の新規診断法の開発	1,820
	26861139	医学医療系	・講師	丸島 愛樹	TEMPO-RNPによる脳梗塞再開通療法後にお ける再灌流障害と出血性脳梗塞の予防	1,170
	26861310	医学医療系	・講師	櫻井 学	婦人科悪性腫瘍におけるTFの発現と過凝固 状態についての研究	780
	26870074	医学医療系	・助教	西村 健	Paused iPSCを用いたiPS細胞誘導機構の解析	1,950
	26870075	人文社会系	・助教	根本 達	反差別と脱差別:現代インドの仏教組織と仏教 僧侶々井による関係的差別克服の取り組み	1,040
	26870076	システム情報系	・助教	津川 翔	ソーシャルメディアにおける大規模行動履歴を 活用したユーザのうつ傾向推定	1,950
	26870077	医学医療系	・助教	水野 聖哉	CRISPR法によるオーダーメイド型免疫系ヒト 化NOGマウスの開発	1,170
	26870078	医学医療系	・講師	浅島 弘充	シェーグレン症候群における抗原特異的治療 法の新規構築	1,950
26870079	数理物質系	・助教	藤田 健志	β -フッ素脱離による触媒的炭素-フッ素結合 活性化	1,170	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
若手研究(B)	26870080	数理物質系	・研究員	久保 敏弘	メゾスコピック系における測定の反作用とトポロジカルな準粒子	142
	26870081	医学医療系	・講師	近藤 裕也	自己免疫性関節炎における病原性T細胞の分化制御機構の解析	1,950
	26870082	システム情報系	・助教	中山 知紀	超電導機器を液体水素冷却した際の熱的安定性向上効果の熱特性把握による実験的検証	910
	26870083	人文社会系	・助教	塩谷 哲史	近代ロシア帝国の開発と中央アジア南部定住地域の社会変容—灌漑史の視点から—	910
	26870085	人文社会系	・研究員	高橋 洋成	前14世紀の楔形文字文書、アマルナ書簡の言語記述のためのデジタルアーカイブ構築	780
	26870087	生命環境系	・助教	Irving Louis	Carbon / nitrogen interactions between legumes and parasitic plants	1,820
	26870088	システム情報系	・助教	前田 祐佳	脈波伝搬速度を用いた動脈硬化の家庭内モニタリング	1,170
	26870089	数理物質系	・助教	横川 雅俊	光ナノアンテナを備えた蛍光相関分光分析デバイスによるプリオン病の早期診断法の開発	1,430
	26870151	システム情報系	・助教	鬼頭 朋美	レジリエンスと企業の生存戦略を考慮したサプライネットワークの構造解析と設計提案	1,170
	26870854	医学医療系	・助教	須田 恭之	小胞融合による新規膜構造形成の分子基盤の解明	2,080
	15K15996	システム情報系	・助教	多田野 寛人	複数右辺ベクトルをもつ連立一次方程式に対する高精度・高効率アルゴリズムの開発	1,690
	15K16029	システム情報系	・助教	白川 真一	画像処理フィルタの組合せ最適化に基づく特徴抽出処理の自動構築	1,430
	15K16060	システム情報系	・助教	新里 高行	不完全な情報下での個体の振る舞いが作る群れが担う多岐的な機能の研究	3,510
	15K16112	生命環境系	・助教	高橋 純子	放射性セシウムの初期沈着直後の土壌深度分布の決定因子と浸透・拡散プロセスの解明	1,560
	15K16424	体育系	・特任助教	朴 京眞	ダンス指導力向上を目指す教員養成課程におけるダンス授業のプログラム改善	1,560
	15K16425	体育系	・特任助教	村上 祐介	発達性協調運動障害児への課題指向型アプローチが自己認知に与える影響	1,170
	15K16442	スポーツR&Dコア	・研究員	洪 性賛	スポーツボールの飛翔軌道を予測する可視化システムの構築	1,300
	15K16443	体育系	・助教	李 燦雨	豊臣秀吉の朝鮮出兵と徳川幕府の朝鮮通信使招聘が齎した日韓武文化交流に関する研究	2,600
	15K16445	体育系	・特任助教	荒牧 亜衣	オリンピック競技大会のレガシーに関する批判的検討	650
	15K16487	体育系	・特任助教	角川 隆明	障がい者競泳選手支援に向けた抵抗力測定法の開発	1,820
15K16553	国際統合睡眠医科学研究機構	・准教授	沓村 憲樹	原虫感染症治療薬を目指した鍵化合物BNTXの作用機序解明、及び、構造活性相関研究	2,470	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
若 手 研 究 (B)	15K16557	国際統合睡眠医科学 研究機構	・助教	齊藤 毅	光により睡眠・摂食を制御する分子ツールの開 発	1,170
	15K16623	北アフリカ研究セン ター	・研究員	喜田川 たま き(渡邊たま き)	北アフリカ地域の多層文化構造における食用・ 薬用植物の宗教的意味についての研究	1,300
	15K16732	人文社会系	・助教	窪田 悠介	論理文法と構成的動的意味論の統合	1,430
	15K16758	人文社会系	・助教	田川 拓海	分散形態論を用いた日本語の時・法と語性の 形式的研究	1,040
	15K16855	人文社会系	・助教	村上 宏昭	近代ドイツ社会における細菌学説の拡散と変 容—衛生博覧会運動を中心に—	1,170
	15K16894	人文社会系	・助教	山田 亨	世界遺産と国際法の法人類学的研究	1,560
	15K17087	システム情報系	・助教	竹原 浩太	非正規分布を中心とする漸近展開法による近 似に関する研究	780
	15K17156	ビジネスサイエンス系	・准教授	中村 亮介	財務制限条項の役割に関する包括的実証研 究	2,210
	15K17212	医学医療系	・研究員	磯 笑子(田 中笑子)	大規模コホートを活用した、思春期におよぶ学 校不適応への早期支援方法の解明	1,430
	15K17337	人間系	・特任助 教	星野 真澄	学級規模縮小政策の法制的・財政的研究 — 日米比較を中心に—	1,300
	15K17420	人間系	・助教	三盃 亜美	発達性読み書き障害児者が示す漢字単語音 読障害の特徴と認知障害に関する基礎的研究	1,300
	15K17432	数理物質系	・助教	植田 暁子	パラフェルミオンの電氣的制御を目指した理論 研究	1,300
	15K17505	数理物質系	・助教	金子 元	種々の数列のランダム性、およびその超越数 論への応用	780
	15K17550	数理物質系	・准教授	平山 至大	体積保存可微分力学系のエルゴード性とその 応用	650
	15K17598	数理物質系	・研究員	永井 誠	焦点面における位相差を用いた電波望遠鏡の 鏡面形状測定法の開発	1,950
	15K17797	数理物質系	・助教	池添 竜也	ミラー磁場配位における自発励起アルベン波 動の境界条件および非等方性緩和の研究	1,820
	15K17802	数理物質系	・助教	奥野 将成	ヘテロダイン検出キラル和周波発生による界面 におけるたんぱく質の二次構造の解明	3,120
	15K17922	数理物質系	・講師	桑原 純平	高純度化と高分子量化が共役高分子材料にも たらす特性向上の原理解明	2,470
	15K18315	数理物質系	・助教	山崎 信哉	リポソームをテンプレートとしたモリブデンナノ 粒子合成法の実用化に向けた研究開発	1,430
	15K18359	国際統合睡眠医科学 研究機構	・研究員	大石 陽	睡眠を誘発する神経システムの解明	1,300
15K18525	生命環境系	・研究員	高稻 正勝	分裂酵母における孢子への選択的ミトコンドリア 継承機構の解明	0	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
若 手 研 究 (B)	15K18550	生命環境系	・助教	木下 奈都子	長鎖非コードRNAは如何に転写因子を制御するか:実生時ストレス応答機構をモデルに	2,340
	15K18558	生命環境系	・准教授	ブザス ダイ アナ・ミハエラ	Role of a novel DNA demethylation enzyme in cellular memory	1,950
	15K18567	生命領域学際研究センター	・助教	林 誠	魚類の多様な繁殖様式を支える配偶子幹細胞の動態解析	1,950
	15K18582	生命環境系	・助教	平川 泰久	核による二次葉緑体の分裂制御機構の解明	1,040
	15K18631	生命環境系	・助教	伊澤 かなな (佐藤かなな)	イネ科植物細胞壁におけるフェルラ酸-アラビノキシランエステルの役割の解明	1,040
	15K18659	生命環境系	・助教	長尾 眞希 (浅野 眞希)	微生物マイクロハビタットとしての土壌団粒微小環境の解明	2,340
	15K18663	生命環境系	・助教	竹下 典男	糸状菌をモデルとした極性生長におけるアクチンケーブルの役割	2,860
	15K18747	生命環境系	・助教	LUR PUA NGKAEW	タイにおける福島原発事故後の日本産農水産物・食品の主体別輸入対応行動の総合評価	1,300
	15K18906	医学医療系	・助教	安孫子 ユミ	キノン体による化学修飾を介した芳香族炭化水素受容体の活性化:新機構の提案	2,470
	15K18916	附属病院	・病院講師	百 賢二	がん患者の栄養摂取状況の改善を目指した口腔粘膜炎症痛治療アルゴリズムの構築	1,300
	15K18966	国際統合睡眠医科学研究機構	特別研 ・究員(P D)	藤山 知之	新規睡眠関連遺伝子に基づくレム睡眠制御機構の解明	2,210
	15K19001	医学医療系	・助教	本宮 綱記	転移性乳癌の克服に向けた血管性ニッチの分子機構解析	2,340
	15K19045	附属病院	・病院講師	坂下 信悟	患者由来XGマウスを用いたIGBP1関連miRNAの肺癌治療における機序の検討	1,560
	15K19070	医学医療系	・研究員	沖田 結花里	がん進展におけるMafK-Gpnmb経路の機能と分子標的治療	2,080
	15K19071	医学医療系	・助教	戸塚 直也	炎症性単球の遊走を促進する免疫受容体MAIR-IIのリガンド同定とその機能解明	2,860
	15K19160	附属病院	・病院講師	山本 祥之	MDM4を標的とした新規癌治療の開発研究	1,430
	15K19195	国際統合睡眠医科学研究機構	・助教	南雲 康行	末梢神経損傷による視床シナプス外部GABA電流の変化と視床神経回路改編への影響	1,820
	15K19219	医学医療系	・准教授	五所 正彦	医薬品副作用データベースを用いた生活習慣病治療薬の併用に伴う副作用リスク分析	1,170
	15K19312	附属病院	・病院講師	長谷川 直之	肝細胞癌に対する腫瘍融解ワクシニアウイルスJX-594と一過性免疫抑制の併用効果	1,300
	15K19364	医学医療系	・助教	田尻 和子	好中球細胞外トラップに焦点をあてた新視点からの心筋梗塞に伴う炎症の制御	2,080
15K19365	附属病院	・病院講師	木村 泰三	心筋梗塞後炎症の制御機構の解明	1,950	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
若 手 研 究 (B)	15K19366	医学医療系	・助教	許 東洙	心房細動の発症におけるNamt役割の解明	2,730
	15K19367	医学医療系	・助教	町野 毅	心房細動および致死性不整脈に対する革新的な腎交感神経アブレーション治療法の確立	1,040
	15K19542	医学医療系	・講師	栗田 尚樹	新たな巨核球分化経路の探索と、造血幹細胞移植マウスモデルにおける応用	1,950
	15K19543	医学医療系	・講師	加藤 貴康	難治性白血病の病態解明(Notchシグナルによる白血病抑制機構の破綻)	2,340
	15K19565	附属病院	・病院講師	廣田 智哉	関節リウマチにおける抗原特異的治療法の構築	1,950
	15K19600	医学医療系	・助教	今川 和生	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症2型患者のiPS細胞由来肝細胞を用いた治療薬の探索	1,170
	15K19768	附属病院	・医員	斎藤 高	温熱療法の陽子線治療に対する増感効果の基礎的検討	2,080
	15K19830	医学医療系	・研究員	徳田 安則	ビスホスホネートのPET標識薬剤合成に関する基礎的検討	1,170
	15K19870	医学医療系	・講師	田村 孝史	肝類洞内皮細胞を標的としたsiRNAを用いた新規肝疾患治療薬の開発	2,080
	15K19948	医学医療系	・講師	松田 真秀	不活化ウイルス粒子による脳腫瘍幹細胞を標的とした新規核酸医薬療法の開発	1,300
	15K20501	附属病院	・医員	内田 文彦	microRNAを切り口とした口腔癌発癌メカニズムの解明	2,080
	15K20882	医学医療系	・助教	小賀 麻菜 (飯塚麻菜)	シェーグレン症候群における新規病因CD4+ T細胞の解析とその制御	2,080
	15K20883	附属病院	・病院講師	小山 泰明	近赤外線分光法を用いた心肺脳蘇生の新しい評価方法ー簡易で非侵襲でリアルタイムにー	2,860
	15K20884	システム情報系	・准教授	乾 孝司	言語表現の使用実態を踏まえたソーシャルメディア上の誹謗中傷行為の検出に関する研究	2,730
	15K20885	システム情報系	・准教授	佐野 良夫	スペクトラルグラフ理論を用いた離散構造とアルゴリズムの研究	1,300
	15K20886	システム情報系	・助教	善甫 啓一	透過型ヘッドマウントディスプレイを用いる実世界字幕を実現する音響信号処理	2,600
	15K20887	医学医療系	・助教	洪 暎周	High-speed optical imaging engine for multifunctional investigation of the eye	1,300
	15K20888	医学医療系	・研究員	伊関 大敬	がんエピゲノム変異誘導マウス作製技術の開発	1,690
	15K20889	医学医療系	・助教	井上 明日香	新規関節炎抑制分子の制御機構の解明および治療戦略の確立	2,080
	15K20891	医学医療系	・講師	吉本 尚	大学生におけるアルコール使用障害のスクリーニングに関する研究	1,170
15K20893	人文社会系	・助教	鈴木 華子	健康増進型留学生支援モデルの構築	650	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名		
若手 研 究 (B)	15K20894	附属病院	・病院講師 黒木 健志	J波症候群における次世代シークエンサーを用いた包括的遺伝子解析	2,080
	15K20895	生命環境系	・助教 河内 敦	乾燥地沿岸農業地域における地下水塩水化の評価と予測:地下水質への灌漑の作用と効果	2,990
	15K20896	ビジネスサイエンス系	・准教授 タン キャロラ インスーリン	Consumer Behavior for Sustainable Marketing: Understanding How To Market and Make Sustainability Work in Japan and Overseas	1,560
	15K20897	数理物質系	・講師 柏木 隆成	高温超伝導体テラヘルツ波発振器の高出力化	2,080
	15K20898	生命領域学際研究センター	・助教 山城 義人	TGF β の新しい役割に着目した、大動脈瘤破裂を誘導するシグナルの解析	2,340
研 究 活 動 ス タ ー ト 支 援	26882005	芸術系	・研究員 河崎 衣美	基質強化した文化遺産建造物基材に対する地衣類の定着特性	1,170
	26882006	体育系	・特任助教 荻山 靖	骨盤の回転運動を引き出すための片脚スクワットを用いたトレーニング方法論の構築	1,300
	26882008	医学医療系	・研究員 韓 松伊	エネルギー代謝における転写因子複合体形成と遺伝子発現制御	1,300
	26884008	グローバルコミュニケーション教育センター	・特任研究員 西牧 和也	言語における競合:形態論と統語論の関係についての新提案	1,170
	26885007	人間系	・准教授 宇佐美 慧	縦断データの分類手法に関する方法論的研究と教育・発達心理学研究への応用	1,300
	26885008	人間系	・研究員 泉 直志	理科学習促進のための言語活動を取り入れた授業構成ーアーギュメント概念に着目してー	650
	26885009	人間系	・助教 山本 容子	学校の生物教育における環境倫理の視点を導入した環境教育に関する理論的・実践的研究	1,300
	26887007	計算科学研究センター	・助教 松枝 未遠	天候レジームの予測可能性と予測精度の予測に関する研究	1,040
	26888003	数理物質系	・助教 中村 貴志	希有な対称性を有する大環状配位子の創出とその形状を生かした多核金属錯体の機能開拓	1,170
	26890003	国際統合睡眠医科学研究機構	・准教授 Vogt Kasp ar	睡眠の「深さ」の制御機構ー徐波睡眠調節を担う皮質ネットワークの解明	1,300
	26890004	研究推進部	・助教 山下 美鈴 (山田美鈴)	雌性生殖器内における効率的な受精機構の解明	1,300
	26890025	生命環境系	・特任助教 本庄 賢	BMPシグナルによる侵害受容ニューロン機能制御の分子・神経メカニズムの解析	1,300
	26891003	生命環境系	・助教 佐藤 幸恵	血縁者間の競争が対立行動の進化に与える影響	1,300
	26892006	生命環境系	・助教 王 寧	トマト日持ち性関連遺伝子の転写制御機構の解明	1,300
	26893027	附属病院	・病院講師 永井 恵	肥満細胞の機能制御による血管炎治療法の探索	1,170
26893029	医学医療系	・講師 小川 光一	ローズマリーの有効成分に着目した新しい非アルコール性肝炎、肝癌治療法の開発	1,560	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
研究活動 スタート 支援	15H06064	体育系	・研究員	鄭 松伊	長期間の運動継続が高齢者の筋質および筋内脂肪に及ぼす影響	1,560
	15H06065	スポーツR&Dコア	・研究員	崔 英珠	睡眠の質が血管機能に及ぼす影響	1,560
	15H06066	人文社会系	・助教	河田 英介	アーネスト・ヘミングウェイの1920年代初期短編諸作品における生成原理の研究	1,430
	15H06067	生命環境系	・研究員	ESTOQUE RONALDC	A comparative sustainability study of rapidly growing megacities in Southeast Asia (Bangkok, Jakarta and Manila) using geospatial and social-ecological approaches	1,430
	15H06068	システム情報系	・助教	五十嵐 岳	境界問題のないノンパラメトリックな多次元密度推定とその応用について	1,170
	15H06069	人間系	・特任研究員	榎本 哲士	学校数学における方程式の学習指導を改善する方法の開発	1,040
	15H06070	数理物質系	・助教	奥村 宏典	InAlN層におけるデバイスプロセス中に発生した欠陥評価とその電気的特性への影響	1,560
	15H06071	生命環境系	・助教	矢野 亮一	トマト誘発変異集団の高度利用に向けたエキソーム解析手法の確立	1,430
	15H06072	生命環境系	・助教	岩上 哲史	多除草剤抵抗性雑草における急速な除草剤解毒代謝メカニズムの解明	1,430
	15H06073	医学医療系	・助教	HIPOLITO CHRIS	Restoring tissue homeostasis by regulating TGF-beta signaling by using macrocyclic peptides	1,430
	15H06074	医学医療系	・研究員	萩原 幸輝	パターン化アルギン酸カルシウム上での並列化筋管細胞包埋コラーゲンゲルシートの作成	1,560
特別 研究員 奨励費 【特別 研究員】	25・452	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	金子 悠太	S期における紫外線DNA損傷応答に対する転写因子Foxo1の新規機能の解明	1,000
	25・487	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	濱田 彰	推論による未知語処理プロセスを通じた語彙ネットワーク構築過程の検証	1,200
	25・504	生命環境系	特別研 ・究員(P D)	守野 孔明	棘皮動物ブルテウス幼生の進化機構の解明	1,170
	25・516	医学医療系	特別研 ・究員(P D)	堀江 正樹	肥満関連肝疾患発症予防を目的とした骨格筋における転写因子Nrf2活性化と機能解析	1,430
	25・524	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	問芝 志保	近現代日本における「先祖」観の社会的構築と国家政策の関係に関する宗教学的的研究	1,000
	25・587	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	白鳥 峻志	鞭毛装置構造の比較及び複数遺伝子解析によるケルコゾア門の分類体系の再構築	1,100
	25・607	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	大崎 芳典	スタチンでの横紋筋融解の発症機構及び骨格筋におけるHMGCoA還元酵素機能の解明	1,100
	25・621	生命環境系	特別研 ・究員(P D)	鈴木 大地	円口類ヤツメウナギの神経進化発生的研究による脊椎動物中脳の進化的起源の解明	1,000
	25・630	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	竹中 江里	サイトメガロウイルス感染症に対する宿主応答における免疫受容体の機能解明	1,000
25・653	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	笠原 天人	様々なデータを統合した高自由度な震源過程解析手法の開発と適用	1,000	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費 【特別研究員】	25・739	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	浅見 拓哉	転写因子Klf5による多能性幹細胞の発生制御機構	1,000
	25・743	人文社会科学研究所	特別研 ・究員(D C1)	吉野 宏志	東クシ祖語における動詞活用体系の再建	1,000
	25・759	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	越田 隆介	膵β細胞の成熟・機能維持における大Mat転写因子群の役割	1,000
	25・774	医学医療系	特別研 ・究員(P D)	人見 香織	炎症性疾患における免疫受容体Allergin-1の機能解明	1,430
	25・789	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	西村 祐貴	ミトコンドリアゲノムの比較解析に基づくハクロビア生物群の系統進化の解明	1,200
	25・791	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	花館 有希	腸管寄生性原虫赤痢アメーバの食食におけるRab依存的輸送機構の解明	1,000
	25・798	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	金丸 和正	肥満細胞に特異的に発現する抑制性受容体の機能解析	1,000
	25・935	人文社会科学研究所	特別研 ・究員(D C1)	木村 雪乃	日本人英語学習者の読解におけるテーマ理解プロセスの解明	900
	25・1017	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	今田 大皓	南極1.2mサブミリ波望遠鏡による大質量星形成過程の解明	1,200
	25・1035	生命環境系	特別研 ・究員(P D)	神津 博幸	ぜん動運動を模擬した胃モデル装置による食品消化動態のin vitro評価系の構築	1,300
	25・1195	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	鈴木 悠介	Bi系トポロジカル絶縁体の電子状態と超伝導接合に関する研究	900
	25・1428	生命環境系	特別研 ・究員(P D)	佐々 文洋	高密度マイクロフルーイディックストレージによる高速有用微生物探索デバイスの開発	1,560
	25・1523	人文社会科学研究所	特別研 ・究員(D C1)	高口 僚太郎	小児I型糖尿病を取り巻く重層的社会的・隠しながら「普通」に生きる人々の生存実践	1,000
	25・1620	数理物質系	特別研 ・究員(P D)	栗之丸 隆章	高分子電解質による酵素超活性化現象を利用した新規診断システムの開発	1,170
	25・1662	生命環境系	特別研 ・究員(P D)	香月 雅子	共生細菌によるホストの生活史戦略と繁殖戦略の進化	1,560
	25・1713	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	馬場 正和	BaSi2を用いたシリコンベース高効率薄膜太陽電池	900
	25・1786	システム情報工学研究科	特別研 ・究員(D C1)	爲季 和樹	空間計量経済学を用いた産業構造分析手法の構築	1,000
	25・1825	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	大崎 達哉	電気化学的手法を用いた三次元組織構築のための血管網構造の高速バイオアセンブリ	1,100
	25・1995	システム情報工学研究科	特別研 ・究員(D C1)	黒山 喬允	レーザー回折法による音響キャビテーション場における複素音場・気泡粒度分布同時計測	1,000
	25・4811	数理物質系	・助教	辻本 学	固有ジョセフソン接合系の同期メカニズム解明とコヒーレントテラヘルツ光源への応用	2,319
25・5767	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	山口 芽衣	異なる光環境下に生育するカタバミが及ぼすヤマトシジミの選好性メカニズム解明	900	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費 【特別研究員】	25・6895	数理物質科学研究科	特別研究員(D C1)	佐藤 志彦	環境中放射性ストロンチウムの迅速定量法の開発と環境影響評価への適用	1,100
	25・9313	図書館情報メディア系	・助教	落合 陽一	形態可変ディスプレイのインタラクションに関する研究	1,200
	25・10375	人間総合科学研究科	特別研究員(D C1)	古田 雄一	アメリカの学区におけるシティズンシップ教育のカリキュラムマネジメント	700
	25・40009	体育系	特別研究員(R PD)	緒形 ひとみ	ヒトの睡眠時エネルギー代謝に関する時系列解析を用いた検討	1,560
	25・40062	生命領域学際研究センター	特別研究員(R PD)	田仲 真紀子	高効率DNA内シグナル伝達システムの構築とDNA光切断を用いた遺伝子操作法の開発	1,690
	25・40090	人文社会系	特別研究員(R PD)	小池(遠藤) 智子	子どもと養育者の相互行為における反応の追求	1,560
	26・72	数理物質科学研究科	特別研究員(D C1)	櫻井 陽平	リッチ曲率が下に有界な境界付きリーマン多様体の幾何構造の研究	800
	26・89	生命環境科学研究科	特別研究員(D C1)	楊 佳約	細菌バイオフィルム中の薬剤耐性変異株の出現機構解析と制御	1,000
	26・94	人間総合科学研究科	特別研究員(D C1)	佐藤 葵	肝臓CREB3L3による栄養飢餓時のエネルギー代謝の解明と生活習慣病治療への応用	1,000
	26・107	生命環境科学研究科	特別研究員(D C1)	山田 昌樹	津波堆積物高精度解析による南海トラフ巨大津波波源の時空間分布評価	1,000
	26・169	生命環境科学研究科	特別研究員(D C2)	斎藤 翼	付加体玄武岩中に発達する断層調査・分析と摩擦特性から読み解く海溝型地震の実態	1,000
	26・241	人間総合科学研究科	特別研究員(D C2)	島埜内 恵	フランスにおける移民教育政策に関する研究	800
	26・299	人間総合科学研究科	特別研究員(D C2)	勝田 光	文学の授業における読者反応の支援方法に関する研究	900
	26・318	人間総合科学研究科	特別研究員(D C1)	上條 菜美子	ストレスフルな体験に対する意味づけ過程の精緻化に関する基礎的研究	900
	26・335	芸術系	特別研究員(P D)	大島 卓	農畜産業遺産の動態保存にみる地域活性化と景観形成の国際的共通性	1,040
	26・348	数理物質系	特別研究員(D C1)	桐原 崇亘	大規模数値シミュレーションを用いた局所銀河群形成過程の解明	900
	26・367	生命環境科学研究科	特別研究員(D C2)	野口 隆明	多能性幹細胞を用いた胃がん病態モデルの開発	1,000
	26・374	システム情報工学研究科	特別研究員(D C2)	前田 恭行	確率的固有値分布推定を用いた非線形固有値問題の並列計算手法	900
	26・384	生命環境科学研究科	特別研究員(D C1)	清川 達則	次世代的排水処理法の実現に向けた微生物間コミュニケーション制御技術の構築	900
	26・426	人間総合科学研究科	特別研究員(D C2)	猪俣 朋恵	読み書きの習得に影響する認知要因と環境要因に関する縦断研究	1,100
26・428	生命環境科学研究科	特別研究員(D C2)	石丸 友博	妊娠時疾患におけるアルギニンメチル基転移酵素・PRMT1の機能解析	900	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
特別 研究員 奨励費 【特別 研究員 】	26・430	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	千島 雄太	自己変容に対する志向性の発達過程—自己 変容の予期に伴う葛藤の解決に向けて—	500
	26・436	生命環境系	特別研 ・究員(P D)	山本 遼介	繊毛／鞭毛内腕ダイニンの規則的周期性を規 定する因子の探索	1,430
	26・441	医学医療系	特別研 ・究員(P D)	笹井 浩行	座位行動を標的とした即時フィードバックによる 介入プログラムの効果検証	1,430
	26・445	生命環境系	特別研 ・究員(P D)	瓜生 央大	ショウジョウバエ成虫型時計細胞ネットワークの 発生メカニズムと生物学的意義の解明	1,560
	26・450	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	新保 未来	マウス生体内における肝臓細胞からインスリン 産生細胞への転換法の確立	900
	26・458	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	國分 優子	ダイレクトリプログラミング法による脳下垂体細 胞の作製	1,000
	26・467	生命環境系	特別研 ・究員(D C2)	三藤 崇行	ミトコンドリアゲノム変異の病原性発揮と発生・ 分化の相互制御機構	1,170
	26・518	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	樋口 大樹	MRIを用いた発達性読み書き障害の神経科 学的マーカーの確立に関する研究	1,000
	26・543	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	松本 昇	抑うつ脆弱性としての自伝的記憶の概括化 —メカニズムの解明と介入法の開発—	1,000
	26・566	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	村井 大介	地理歴史科・公民科教師のライフヒストリー研 究—教育課程の変容と教師の教科観—	500
	26・567	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	高田 琢弘	ギャンブルの基礎的行動メカニズムとその影響 要因に関する実験社会心理学的検討	800
	26・572	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	鈴木 重勝	二次共生成立過程における共生者—宿主転 写制御ネットワーク機構に関する研究	800
	26・586	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	戸邊 優美	民俗社会における女性のインフォーマルな繋 がりとその創造性に関する調査研究	800
	26・680	芸術系	特別研 ・究員(P D)	太田 岳人	初期ブルーノ・ムナーリ研究	1,300
	26・701	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	山内 庸平	癌細胞浸潤における浸潤仮足退縮の意義と制 御メカニズムの解明	900
	26・713	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	佐藤 和貴	新規貪食細胞：濾胞樹状細胞 によるアポー シスB細胞排除とその生理的意義の解明	900
	26・736	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	佐々木 洋輔	水中巻き足運動時の呼吸循環応答に関する研 究	1,000
	26・739	医学医療系	特別研 ・究員(P D)	三木 春香	CD300a(MAIR-I)によるアレルギー性気道 炎症の制御	1,170
	26・787	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	棚橋 嵩一郎	有酸素性運動トレーニングが動脈伸展性を増 大させる機序の解明：ADMAに関する検討	800
	26・830	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	熊谷 仁	テストステロンが運動による動脈機能改善に及 ぼす影響：抗肥満因子イリシンに着目して	800
26・867	医学医療系	特別研 ・究員(P D)	根本 みゆき	若年性認知症に対する運動療法の有効性に 関する検討	1,300	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付 を受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
特別 研究員 奨励費 【特別 研究員 】	26・935	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	富井 久義	ボランティア活動をめぐる意味秩序形成についての相互作用論的研究	900
	26・995	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	磯田 沙織	南米諸国における代表制の「危機」とその後に 関する比較研究	900
	26・1177	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	渡辺 裕美	日本語学習者の発音に対する評価研究	900
	26・1188	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	鈴木 彩香	属性叙述の形式と意味 ― 事象叙述との対応 を中心に―	500
	26・1189	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	井戸 美里	日本語評価系とりたて詞の統語的位置と意味 に関する共時的・通時的理論研究	400
	26・1218	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	居關 友里子	分析単位としての「会話」 ― 日常に生じる会 話終結場面の体系的記述から―	900
	26・1294	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	高野 友理香	豊臣政権における対キリスト教修道会交渉	1,000
	26・1303	数理物質系	特別研 ・究員(P D)	小松 勇	光合成光捕集機構の量子力学計算による太陽 系外惑星のバイオマーカー・モデルの構築	1,170
	26・1345	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	越川 瑛理	越境文学における言語遊戯 ― 多和田葉子 をめぐる修辞学と翻訳の問題	1,000
	26・1511	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	佐藤 駿丞	アト秒電子ダイナミクスの第一原理計算	900
	26・1750	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	鈴木 裕行	大質量星の紫外線輻射輸送と超新星爆発の 共存輻射流体モデル構築による銀河形成の研 究	800
	26・1818	システム情報工学研究 科	特別研 ・究員(D C1)	中川 岳	不揮発性メモリを利用可能な言語処理系の実 現	900
	26・1846	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	柳川 信	指数的理論の決定可能性について	800
	26・1891	システム情報系	特別研 ・究員(P D)	下柿元 智也	生体信号を用いた遊びの拡張と理学療法支援 への応用	1,040
	26・1960	システム情報工学研究 科	特別研 ・究員(D C1)	岩澤 譲	原子炉の過酷事故時における炉心溶融物の 冷却挙動	1,000
	26・1967	システム情報工学研究 科	特別研 ・究員(D C2)	大辻 弘貴	次世代高性能計算機に向けたネットワーク指 向ストレージシステムの研究	1,000
	26・2016	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	米田 耕三	海洋天然物アブリロンAが誘導する新しいタ ンパク質間相互作用	800
	26・2022	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	柴田 大樹	ホップ代数を用いたスーパー代数群の研究	900
	26・2075	システム情報系	特別研 ・究員(P D)	表 祐志	仮想ハードウェアを用いないVMMによるシス テム管理	1,109
	26・2405	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	吉積 義隆	化学的エネルギーの直接変換により運動する 機能性マイクロ/ナノロボットの構築	1,100
26・2421	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	大森 悠	ケイ素不飽和三員環シクロトリシレンを前駆体と した新規な不飽和ケイ素化合物の合成	900	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
特別 研究員 奨励費 【特別 研究員 】	26・2445	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	牧野 美咲	プロトン共役電子移動を利用した新規均一系 窒素固定ルテニウム触媒の開発	1,000
	26・2480	数理物質系	特別研 ・ 究員 (P D)	市塚 知宏	遷移金属触媒によるsp ³ 炭素—フッ素結合の 選択的活性化と官能基化	1,170
	26・2583	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	見留 広海	複素環補酵素ペテリンを用いた生体内酸化活 性種の模倣と酸化触媒への展開	1,000
	26・3001	芸術系	特別研 ・ 究員 (P D)	安永 麻里絵	美術館展示と鑑賞体験—大正期の「美術」鑑 賞制度の変容に関する東西比較交渉研究	910
	26・3079	人間総合科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	岩山 海渡	運動実施時間帯の違いは24時間の脂肪燃焼 量に影響するか	900
	26・3097	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	渡邊 千春	高温超伝導体の固有ジョセフソン接合から得ら れるTHz波の発振機構の解明と出力向上	800
	26・3551	生命環境科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	吉田 圭太朗	複合微生物系における膜の目詰まりの新奇生 物学的制御	900
	26・3848	人文社会科学研究所	特別研 ・ 究員 (D C1)	清沢 紫織	ベラルーシ共和国における言語状況及び言語 政策に関する総合的研究	1,100
	26・4086	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	岡田 孝春	細胞選択的に機能誘導可能な感染性ウイルス 模倣表面の創製	900
	26・4913	生命環境系	・ 助教	粉川 美踏	スペクトロミクスによる食品の鮮度・熟成モニタリ ング	1,430
	26・5612	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	佐藤 健	人工椎間板構築を目指した可逆的硬化—軟 化生体模倣ゲルの研究	900
	26・7722	グローバル教育院	特別研 ・ 究員 (D C1)	竹村 彩	発現限定遺伝子が司る細菌の新しい種存続シ ステムの解明	900
	26・7944	人間総合科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	林 みちこ	明治政府の外交政策と美術—1910年日英博 覧会を中心に	900
	26・11782	図書館情報メディア系	・ 助教	叶 少瑜	留学生のコミュニケーションメディア使用と異文 化適応に関する研究	1,300
	26・40015	生命環境系	特別研 ・ 究員 (R PD)	谷口 順子	神経系の中枢化—棘皮動物研究の観点から	1,300
	15J00013	人間総合科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	金井 雅仁	感情の認識と制御における文化的自己観と身 体の役割に関する基礎的研究	1,000
	15J00085	人文社会科学研究所	特別研 ・ 究員 (D C2)	石田 隆太	魂の実体性と個性化の解明—トマス・アクィナ スにおける個としての人間のエッセー	1,000
	15J00221	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	ドウ イェ	ホイスラー合金層を用いた多結晶面直電流型 巨大磁気抵抗素子の高出力化	900
	15J00281	人間総合科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	神藤 隆志	地域在住高齢者の運動教室参加による体力へ の効果を最適化する方法の提案	900
	15J00302	人間総合科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	市川 玲子	パーソナリティ障害における対人関係機能によ る対人相互作用過程の解明	500
15J00384	生命環境科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	榊原 厚一	六フッ化硫黄を用いた若い地下水の滞留時間 推定に関する研究	1,000	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
特別 研究員 奨励費 【特別 研究員 】	15J00393	国際統合睡眠医科学研究機構	特別研 ・究員(P D)	藤山 知之	新規Dreamless遺伝子に基づくレム睡眠制御機構の解明	1,430
	15J00394	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	横井 美緒	典型発達児および発達性読み書き障害児における漢字書取の正確性と流暢性に関する研究	1,000
	15J00396	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(P D)	張 晏如	プリミックスMC乳化システムの確立	900
	15J00406	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	OSSAI E MMANUE L	食品機能性成分の効率的利用のためのナノ/ マイクロキャリアの作製	900
	15J00411	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	藤巻 慎	運動による骨格筋幹細胞機能の活性化に関わる分子基盤の解明	1,000
	15J00533	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	及川 哲志	習慣的な運動が血管内皮機能を改善する分子機構の解明:マイクロRNAに着目して	900
	15J00599	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	林 優樹	rRNA転写量および核小体動態変化を介した小胞体ストレス応答の解析	1,000
	15J00604	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	雨宮 怜	スポーツ競技者の健康と競技力向上のためのマインドフルネス・プログラムの開発	900
	15J00611	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	SUBASIN GHE SHY AMANTH	コロンボ市の機能的・形態的ダイナミクス:都市リモートセンシング・アプローチ	900
	15J00614	医学医療系	特別研 ・究員(P D)	羅 成圭	血管内皮前駆細胞の増殖・活性化に着目した抗動脈硬化運動プログラムの確立	1,560
	15J00647	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	福田 奏子	盲児の空間概念に関する指導法の開発—はめこみ構成課題の教材配列と規定要因の検討—	1,000
	15J00649	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	河南 佐和呼	自閉症スペクトラム障害児の叙事的コミュニケーション支援:応用行動分析学からの検討	900
	15J00652	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	天久 朝恒	交尾刺激による生殖幹細胞の増加を司るステロイドホルモンを介した神経機構の追究	1,000
	15J00683	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	小泉 達也	先カンブリア時代の下部地殻における高温条件下での流体—岩石相互作用	1,000
	15J00695	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	遠藤 雄大	高度変成岩における部分熔融過程の解明	1,000
	15J00709	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	秋澤 文香	報酬獲得過程におけるセロトニンの行動決定制御機構の解明	900
	15J00718	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	李 沁潼	海洋窒素循環に寄与するアンモニア酸化古細菌の生態特性評価	1,000
	15J00732	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	門間 貴史	我が国の高齢者における活動制限のリスク要因の検討—健康寿命の格差縮小に向けて	900
	15J00735	図書館情報メディア系	特別研 ・究員(P D)	伏見 卓恭	大規模ネットワークからのトピック指向コミュニティとキーパーソンの抽出	1,560
	15J00763	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	藏満 司夢	植物由来の防御物質が高次栄養段階の昆虫に及ぼす影響の解明	1,000
15J00776	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	藤田 麻里	ゴキブリ目の比較発生学的研究—網翅類、多新翅類の系統進化の再構築を目指して—	1,000	

研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
特別 研究員 奨励費 【特別 研究員 】	15J00782	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	越智 元太	低酸素環境下での過換気による認知疲労に血 中酸素濃度が関わるか	900
	15J00805	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	杉本 卓也	水環境中の物質輸送予測の高度化に向けた 非一様・非定常流中の凝集ダイナミクスの解析	1,000
	15J00821	生命環境科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	松尾 恵梨子	葉緑体置換に伴うクロロフィルa合成系進化: 「1足す1は1」型ゲノム進化解明へ	1,000
	15J00839	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	山元 康平	陸上競技400m走におけるレース分析を基に したテーラーメイド型トレーニングの開発	900
	15J00840	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	吉川 徹	生活習慣改善が肥満者の脈圧増幅および抗 炎症性アディポカインSFRP5に与える影響	900
	15J00841	体育系	特別研 ・究員(P D)	渡邊 和仁	運動時の循環反応に関する研究—個人差に 着眼した新たな研究方法によるアプローチ—	1,560
	15J00899	人間総合科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	大林 太朗	関東大震災(1923年)を契機とした東京市の スポーツ政策の変容と展開	1,200
	15J00900	医学医療系	特別研 ・究員(P D)	松原 朋子	抗老化因子Klothoが肥満改善による動脈伸 展性増大に果たす役割	1,560
	15J01014	システム情報工学研究 科	特別研 ・究員(D C2)	松林 道雄	既存建築ストックの更新に向けたBIMによる設 計図書電子データ化とその利用可能性	900
	15J01056	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	PAREPA LAURA A NCA	中国の戦略的行動と民軍関係の進展:アジア 安全保障への影響	500
	15J01084	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	多久 孝一郎	ジュン=ガル滅亡前夜の清朝外交の変容過 程—講和期外交とその終焉	1,000
	15J01147	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	松野 友美	華僑と中国の関係性—シンガポール福建人・ 僑郷・南京国民政府の三極構造に着目して—	1,000
	15J01200	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	佐本 英規	現代メラネシアにおける「世界音楽」の生成過 程に関する人類学的研究	900
	15J01238	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	BLAJ HRI BAR PET RA	比較考古学からみた初期国家形成—葬送儀 礼を中心に—	1,000
	15J01241	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	細田 雅也	英語学習者による「テキストからの学習」: 推 論生成を通じた因果理解の観点から	1,000
	15J01262	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	田中 菜採	英語学習者の自動的なチャンク解析: プロセ ス・ストラテジーと解析を支える知識の関係	1,200
	15J01302	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	柴田 香奈子	日独厳律シトー会における修道院手話「手ま ね」の研究—社会言語学からのアプローチ—	1,000
	15J01304	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	森 好紳	英語学習者によるマイクロ志向・マクロ志向のメイ ンアイデア理解プロセスの解明	900
	15J01317	人文社会系	特別研 ・究員(P D)	木村 豊	戦争災害の集会的記憶に関する比較社会学 的研究	1,560
	15J01326	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	高橋 康史	現代日本における犯罪加害者家族の日常生 活に影響を与える社会的要因	1,200
15J01365	人文社会科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	永田 大輔	「メディア経験」の文化社会学—80年代のビデ オをめぐる言説の多層性をめぐって	1,000	

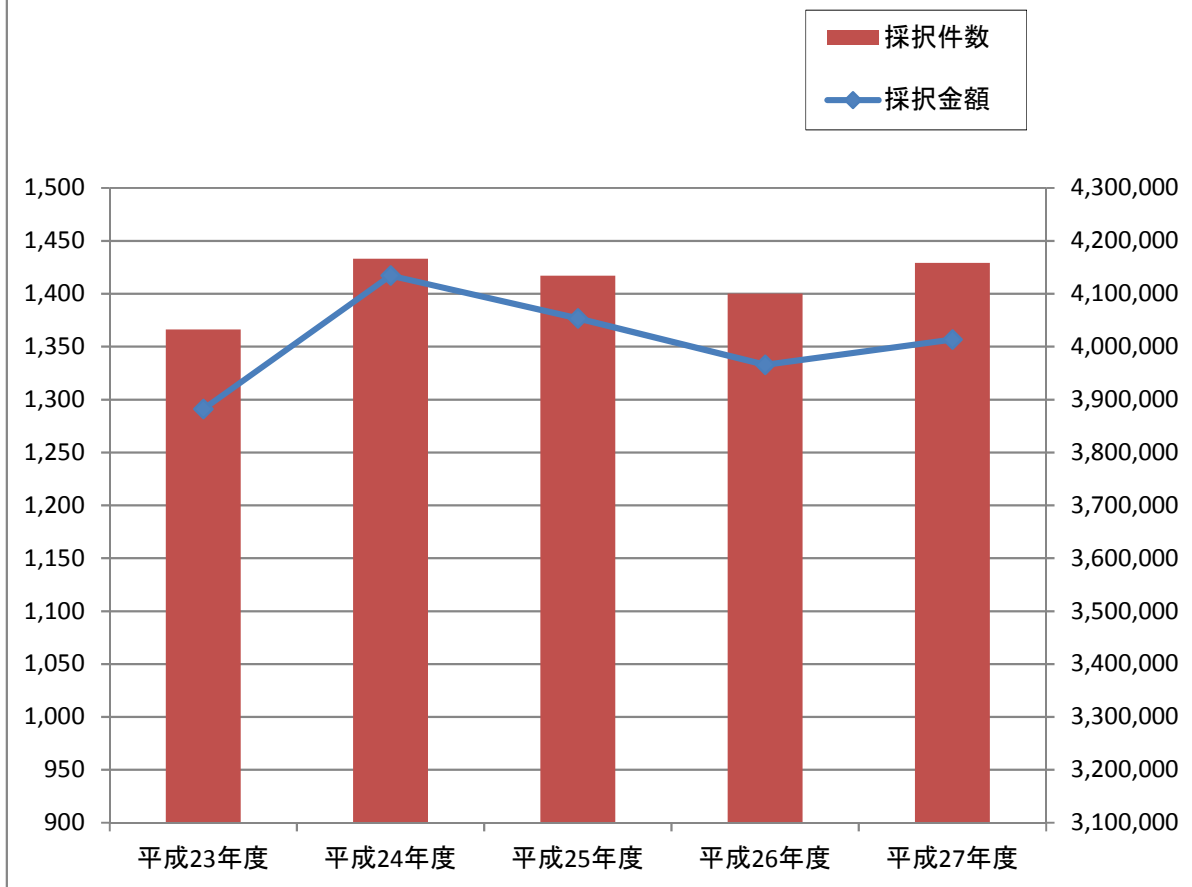
研究 種目	課題番号	研究 代 表 者		研 究 課 題 名	交付を 受けた 研究費	
		所 属 部 局 ・ 職	氏 名			
特別 研究員 奨励費 【特別 研究員 】	15J01374	人文社会科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	河野 正治	ポスト植民地期ミクロネシアにおける伝統的権威の存続と動態に関する人類学的研究	900
	15J01781	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	王 新竜	幹細胞の機能性を制御するためのマイクロ・ナノ複合パターン材料の創出	900
	15J01843	システム情報工学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	上里 友弥	再帰プログラムの拡張における到達可能性問題を広く可解とする構造の究明と応用	800
	15J01897	システム情報工学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	木下 尚彦	モデルフリーに基づいたクラスタリング手法の開発とソーシャルデータ解析への応用	900
	15J01900	システム情報系	特別研 ・ 究員 (P D)	松田 壮一郎	自閉症スペクトラム障害幼児における早期対人相互作用の定量解析に基づく発達支援法	1,430
	15J01910	システム情報工学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	黒田 翔	不動産市場の時空間計量経済分析	500
	15J01942	生命環境科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	許 銀超	ウェットエンドにおけるポリマー吸着を活用した紙基板環境センサーの開発	500
	15J01966	システム情報工学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	藤井 郁香	薄板および複層構造板を伝搬する曲げ波からの音響放射の解析とその応用	900
	15J01981	システム情報工学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	藤倉 崇晃	仲介者取引と直接取引の共存状態を生むトレーダーの特性 —経済実験による検証—	1,000
	15J02048	システム情報工学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	森 英高	都市構造リスク低減を考慮した都市の集約化に向けた一考察	1,200
	15J02121	システム情報工学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	小澤 佑介	GPUクラスタを用いた半構造データの並列分散処理基盤の構築	900
	15J02139	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	高部 涼太	ゲルマニウム基板上へのバリウムシリサイド薄膜太陽電池作製とガラス基板上への展開	1,000
	15J02395	システム情報工学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	堀口 直樹	放射性物質除去の為にベンチュリスクラバの流動機構と作動特性に係る実験・数値的研究	1,200
	15J03221	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	佐藤 悠貴	多彩な電子状態を制御可能な異種金属グリッド型錯体の創成	1,000
	15J03517	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	中嶋 龍	新規オピオイド κ 選択的作動薬の創出を目的とするプロペラン型五環性誘導体の合成	900
	15J03776	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C1)	新井 郁也	イオンサーフィン型高周波イオンガイドガスセルの開発及び短寿命原子核の精密質量測定	900
	15J03797	計算科学研究センター	特別研 ・ 究員 (P D)	原田 隆平	分子動力学シミュレーションで探る細胞環境におけるタンパク質フォールディング機構	1,560
	15J04118	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	狩野 絵美	白金担持グラフェンの原子構造・電子状態解析による高活性な低白金触媒材料の開発	900
	15J04291	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	小林 謙	高歪み化合物テトラヘドランの官能基化及び物性解明	900
	15J04495	数理物質科学研究科	特別研 ・ 究員 (D C2)	河村 篤	新規海洋産天然物 アプリシアセコステロール A, B, Cに関する研究	900
15J04635	数理物質系	特別研 ・ 究員 (P D)	洪 達超	ヘテロ二核金属錯体を触媒とする二酸化炭素の還元反応と応用	1,560	

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費	
		所属部局・職	氏名			
特別研究員奨励費【特別研究員】	15J04660	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	本多 俊介	トッポーク対と随伴生成されるヒッグス粒子の探索とトッポーク湯川結合の測定	1,000
	15J04751	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	中澤 暦	脂質膜内添加物の役割の解明:構造熱力学モデルによる統一化	1,000
	15J05066	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	丸山 実那	ネットワークポロジードesignによる炭素ナノ物質の物性制御	1,000
	15J05071	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	山中 綾香	複合構造を形成したナノカーボン物質の基礎物性解明	1,000
	15J05599	図書館情報メディア研究科	特別研 ・究員(D C2)	山本 修平	情報整理を支援する成長型フィルタの能動学習手法	900
	15J05607	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C1)	長谷川 友里	有機複合材料の自己組織化構造の分子レベル観察に基づく機能創成	900
	15J05745	数理物質科学研究科	特別研 ・究員(D C2)	徐 錦嘉	スピロ炭素戦略を用いた立体規則性共役系高分子の創製	900
	15J06369	グローバル教育院	特別研 ・究員(D C1)	本多 隆利	新規睡眠制御遺伝子Sleepyの機能解析による睡眠覚醒制御の分子・神経基盤の解明	1,200
	15J08253	グローバル教育院	特別研 ・究員(D C1)	新妻 耕太	自然免疫応答を制御する新規ヒト免疫受容体CD300Hの機能解明	900
特別研究員奨励費【外国人特別研究員】	26・04005	人文社会系	・教授	内山田 康	ネットワーク化したボランティア活動:復興のテクノ社会的な諸次元	800
	26・04008	体育系	・教授	征矢 英昭	負荷付き自発運動による海馬機能向上の分子基盤の解明	317
	26・04009	体育系	・教授	田中 喜代次	筋由来の新規生理活性物質イリシンの活性化に着目した肥満改善運動プログラムの確立	1,100
	26・04097	生命環境系	・准教授	千葉 親文	トランスジェネシスによる成体イモリ網膜再生におけるPax6の機能解析	1,100
	26・04307	医学医療系	・教授	正田 純一	非アルコール性脂肪性肝疾患の運動療法による肝臓リハビリテーションプログラムの構築	900
	26・04337	数理物質系	・教授	大塩 寛紀	電場誘起電子状態スイッチングを示す異種金属配位高分子	800
	26・04762	国際統合睡眠医科学研究機構	・准教授	ラザルス ミハエル	睡眠が認知機能の柔軟性および情動の調節に与える影響の解明	1,100
	26・04807		・学長	永田 恭介	ColE7を用いたアロステリック制御機構を持った人工ヌクレアーゼの開発	1,100
	15F15034	数理物質系	・教授	大塩 寛紀	カスタマイズ可能なポリオキソバナデートをもちいた拡張骨格構造の構築	900
15F15408	国際統合睡眠医科学研究機構	・准教授	坂口 昌徳	睡眠中の、新生ニューロンの記録回路への組み込み	400	
【学術図書】研究成果公開促進費	15HP5026	芸術系	・教授	長田 年弘	The Parthenon Frieze. The Ritual Communication between the Goddess and the Polis. Parthenon Project Japan 2011	400
	15HP5194	人間系	・特任助教	星野 真澄	アメリカの学級規模縮小政策	1,200

研究種目	課題番号	研究代表者		研究課題名	交付を受けた研究費
		所属部局・職	氏名		
研究 成果 公開 促進 費 【 学 術 図 書 】	15HP5207	人文社会系 ・准教授	長田 友紀	国語教育における話し合い指導の研究	1,600
	15HP5208	人間系 ・教授	片平 克弘	粒子理論の教授学習過程の構成と展開に関する研究	1,400
研究 国際 共同 強化	15KK0035	人文社会系 ・助教	前田 修	分析考古学による西アジア先史時代石器利用の研究(国際共同研究強化)	0

(注)「交付を受けた研究費」が0の項目は退職・異動・辞退等で本学分0円のものを示す。

科研費の推移



年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
採択件数	1,366	1,433	1,417	1,400	1,429
採択金額	3,882,068	4,134,265	4,053,266	3,965,618	4,013,175

(4) 研究プロジェクト支援経費

ア 戦略イニシアティブ（S），（A）採択・配分状況<平成 27 年度>

(ア) 総括表

(単位：千円、以下同じ)

系、センター	平成 24 年度 採択 S	平成 25 年度 採択 S	平成 25 年度 採択 A	配分金額
人文社会系	0	0	1	4,000
ビジネスサイエンス系	0	0	0	0
数理物質系	0	0	1	4,000
システム情報系	0	0	0	0
生命環境系	1	0	1	6,500
人間系	0	0	0	0
体育系	0	0	0	0
芸術系	0	0	0	0
医学医療系	0	0	0	0
図書館情報メディア系	0	0	0	0
計算科学研究センター	0	1	0	4,000
生命領域学際研究センター	0	1	0	4,000
合 計	1	2	3	22,500

(イ) 研究代表者等

1) 継続<戦略イニシアティブ S>

代表者		拠 点 名	配分額
所属部局・職	氏名		
生命環境系・教授	鈴木 石根	藻類バイオマス・エネルギーシステム研究拠点	2,500
計算科学研究センター・センター長	梅村 雅之	計算科学研究センター (重点研究センター)	4,000
生命領域学際研究センター・センター長	浅島 誠	生命領域学際研究センター (重点研究センター)	4,000

2) 継続<戦略イニシアティブ A>

代表者		拠 点 名	配分額
所属部局・職	氏名		
人文社会系・教授	辻中 豊	人文社会国際比較研究機構 (学術センター)	4,000
数理物質系・教授	金谷 和至	数理物質融合科学センター (学術センター)	4,000
生命環境系・教授	白岩 善博	地球・人類共生科学研究機構 (学術センター)	4,000

イ プレ戦略イニシアティブ（研究拠点提案型）、（研究プロジェクト提案型）申請・採択・配分状況
 <平成 27 年度>

(ア) 総括表

系	新規申請件数		新規採択件数		継続件数		配分金額
	拠点	プロジェクト	拠点	プロジェクト	拠点	プロジェクト	
人文社会系	0	-	0	-	0	0	0
ビジネスサイエンス系	0	-	0	-	0	0	0
数理工学系	0	-	0	-	0	0	0
システム情報系	2	-	1	-	0	0	2,200
生命環境系	0	-	0	-	0	0	0
人間系	0	-	0	-	0	0	0
体育系	0	-	0	-	0	1	2,000
芸術系	0	-	0	-	0	0	0
医学医療系	0	-	0	-	2	0	8,000
図書館情報メディア系	0	-	0	-	0	0	0
附属病院	1	-	0	-	0	0	0
下田臨海実験センター	1	-	0	-	0	0	0
北アフリカ研究センター	1	-	0	-	0	0	0
合計	5	-	1	-	2	1	12,200

(イ) 研究代表者等

1) 新規採択

	代表者		拠 点 名	配分額
	所属部局・職	氏名		
研究拠点提案型	システム情報系・准教授	横田 茂	宇宙輸送技術研究拠点の形成	2,200

2) 継続

(平成 25 年度採択)

	代表者		拠 点 名	配分額
	所属部局・職	氏名		
研究拠点提案型	医学医療系・教授	櫻井 英幸	次世代粒子線治療研究拠点の形成	4,000
	医学医療系・教授	田宮 菜奈子	グローバルエイジングセンター 国境と学問領域をこえた人類の課題への挑戦—つくばから世界への発信拠点	4,000
プロジェクト提案型	体育系・教授	浅井 武	ヒューマン・ハイ・パフォーマンスを支える計測, 予測, 最適化技術の研究	2,000

ウ 研究基盤支援プログラム（Aタイプ）（若手研究者研究奨励費）申請・採択・配分状況（平成27年度）

（ア）総括表

（単位：千円）

所 属	申請件数					採択件数					配分額
	助教・特任助教	特任研究員	博士特別研究員	研究員	計	助教・特任助教	特任研究員	博士特別研究員	研究員	計	
人文社会系	2	3	0	0	5	1	1	0	0	2	802
ビジネスサイエンス系	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
数理物質系	6	0	0	1	7	1	0	0	1	2	1,562
システム情報系	3	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0
生命環境系	9	0	0	2	11	0	0	0	0	0	0
人間系	1	1	0	1	3	1	0	0	0	1	836
体育系	3	0	0	0	3	1	0	0	0	1	631
芸術系	2	1	0	0	3	1	0	0	0	1	625
医学医療系	3	0	0	2	5	2	0	0	0	2	1,562
図書館情報メディア系	4	0	0	0	4	1	0	0	0	1	711
国際統合睡眠医科学研究機構	0	0	0	4	4	0	0	0	1	1	631
計算科学研究センター	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
下田臨海実験センター	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0
プラズマ研究センター	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
グローバルコミュニケーション教育センター	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
学生部	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
合計	37	6	1	14	58	8	1	0	2	11	7,360

(イ) 研究代表者等

(単位:千円)

所属	身分	氏名	研究課題	配分額
人文社会系	助教	白戸 健一郎	戦間期満洲における「多文化的公共性」のメディア史的研究	536
	特任研究員	穂山 新	集合的記憶と地域アイデンティティ——水戸市内原郷土史義勇軍資料館を中心に	266
数理物質系	助教	小谷 弘明	高活性なクロム(V)オキソ錯体の基質反応性制御とその触媒酸化反応系の構築	631
	研究員	柴田 恭幸	配向制御したナトリウムイオン二次電池正極薄膜の作成と電気化学特性の評価	931
人間系	特任助教	中野 詩織	感覚刺激の感情価における系列的文脈効果の生起メカニズム	836
体育系	特任助教	辻本 健彦	働き盛り世代の男性をターゲットにした運動習慣化支援プログラムの開発	631
芸術系	助教	市川 寛也	高等学校芸術科工芸における地域人材の活用状況に関する研究	625
医学医療系	助教	秋山 雅博	環境リスク軽減制御因子の実態解明	931
	助教	岡田 拓也	皮質脊髄路の生後発達におけるヘパラン硫酸糖鎖の果たす役割の解明	631
図書館情報メディア系	助教	小泉 公乃	公共図書館における公共圏の国際比較研究:公共圏と私圏・政治システム・経済システム・情報技術環境の関係理論モデルの構築	711
国際統合睡眠医科学研究機構	研究員	Deependra Kumar	Adult born neurons encode memory during REM sleep	631

エ 筑波大学研究基盤プログラムBタイプ（ステップ・アップ支援）申請・採択・配分状況（平成27年度）

(ア) 総括表

(単位:千円)

系	Bタイプ③		
	申請件数	採択件数	配分金額
人文社会系	3	3	4,645
数理物質系	3	2	2,900
システム情報系	4	3	3,378
生命環境系	5	3	5,126
人間系	2	2	1,280
芸術系	2	2	943
図書館情報メディア系	3	3	1,545
合 計	22	18	19,817

(イ) 研究代表者等

(単位:千円)

	所属部局・職	氏 名	研 究 課 題 名	配 分 額
B タ イ プ	人文社会系 教授	辻中 豊	アジアにおけるローカルガバナンスの比較実証研究	4,000
	人文社会系 准教授	野上 元	多分野および国際連携による戦争社会学研究領域の構築	245
	人文社会系 准教授	吉原 ゆかり	1945 年を跨境して――帝国日本の英文学、記憶の継承と消去	400
	数理物質系 教授	守友 浩	大規模原子配列解析によるイオン貯蔵・放出機能	2,500
	数理物質系 准教授	富田 成夫	静電型イオン蓄積リングを用いたタンパク質多量体の解離実験	400
	システム情報系 教授	葛岡 英明	実空間を教材化するタンジブル拡張現実感教材ツールキットの開発と実用化の研究	2,338
	システム情報系 教授	西岡 牧人	新方式バーナを用いた超低品位ガス燃料の可燃範囲拡大法の研究	640
	システム情報系 准教授	コール ジェームズ ビー	モルフォ蝶鱗粉の数学構造を用いた逆問題としてのナノフォトニック発色素材デザイン	400
	生命環境系 教授	足立 泰久	凝集沈降と界面動電現象解析を基軸に展開する生物資源コロイド工学の創生	3,966
	生命環境系 准教授	氏家 清和	食品の公共財的属性に対する消費者選好の適正な評価手法の開発	640

生命環境系 助教	佐々井 崇博	気候変動に対する生態系の応答メカニズム 解明: 全球1kmメッシュ解析	520
人間系 准教授	山田 実	ソマトポーズ・アドレノポーズに及ぼす身体活 動指針の構築	640
人間系 准教授	山中 克夫	認知症高齢者に対する回想法を基盤とした 認知的働きかけプログラムの構築	640
芸術系 教授	黒田 乃生	中国の棚田地域におけるヘリテージツーリズ ムの現状と課題	423
芸術系 教授	山中 敏正	感動を生み出すデザインプロセスの解明とサ イエンスデザインへの応用	520
図書館情報メディア系 准教授	上保 秀夫	外国人観光者の支援を目的とした情報探索 行動分析と検索技術評価基盤の構築	625
図書館情報メディア系 助教	関 洋平	ソーシャルメディアを活用した意見分析に基 づく行政サービスの評価	520
図書館情報メディア系 助教	寺澤 洋子	複数名の参加型聴覚インタラクションにおけ る情動と行動の共有	400

オ 筑波大学産学連携推進プロジェクト申請・採択・配分状況〈平成27年度〉

(ア) 総括表

(単位:千円)

系等	共同研究プロジェクト			創業支援プロジェクト			ベンチャー創業プロジェクト (H25までは「ベンチャー支援プロジェクト」)			つくば地区研究開発法人との マッチングファンド			知的財産活用プロジェクト			共同研究立上げ支援プロジェクト			アントレプレナーシップ教育及び 知財教育支援プロジェクト			合 計		
	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額
人文社会系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
ビジネスサイエンス系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
教理物質系	4 (1)	4 (1)	1,260 (260)	4 (4)	4 (4)	2,210 (2,210)	2 (0)	1 (0)	500 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (5)	9 (5)	3,970 (2,470)
システム情報系	6 (2)	6 (2)	750 (250)	2 (2)	2 (2)	1,000 (1,000)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	990 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	360 (360)	11 (6)	11 (6)	3,100 (1,610)
生命環境系	2 (2)	2 (2)	1,170 (1,170)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	1,170 (1,170)
人間系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
体育系	3 (1)	2 (1)	609 (111)	2 (2)	2 (2)	1,331 (1,331)	1 (0)	1 (0)	500 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (3)	5 (3)	2,440 (1,442)
芸術系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
医学医療系	10 (5)	10 (5)	4,810 (2,810)	1 (1)	1 (1)	250 (250)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	3,000 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (6)	14 (6)	8,060 (3,060)
図書館情報メディア系	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
附属病院	1 (1)	1 (1)	250 (250)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	250 (250)
グローバルリーダーキャリア開発 ネットワーク	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大学発ベンチャー企業等	/	/	/	/	/	/	2 (1)	2 (1)	0 (0)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	2 (1)	2 (1)	0 (0)
合 計	26 (12)	25 (12)	8,849 (4,851)	9 (9)	9 (9)	4,791 (4,791)	5 (1)	4 (1)	1,000 (0)	4 (0)	4 (0)	3,990 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2 (2)	360 (360)	46 (24)	44 (24)	18,990 (10,002)

注) ()内の数字は、継続研究課題の申請件数、採択件数及び採択金額で内数。

(イ) 種目別採択状況

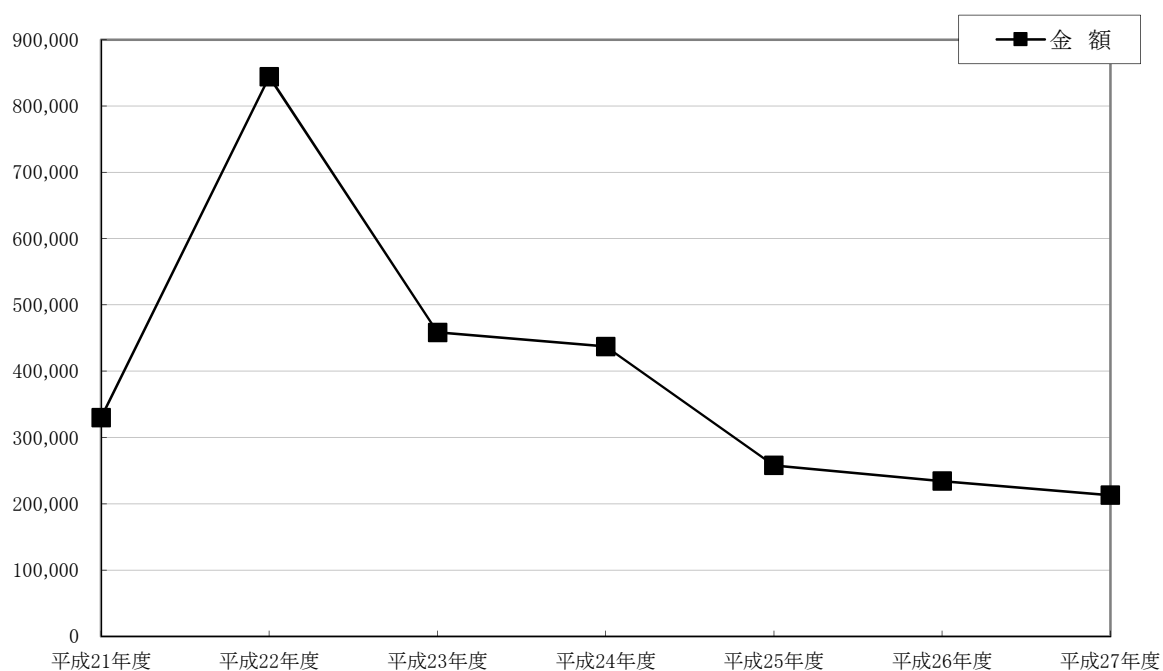
(単位:千円)

種類	研究代表者		プロジェクト名	配分額	
	配分先(所属)・職	氏名			
共同研究プロジェクト	27年度新規採択分	医学医療系 教授	千葉 滋	抹消性T細胞リンパ腫における特異的RHOA遺伝子変異を利用した診断および標的治療の開発	500
		医学医療系 准教授	福光延吉	ホウ素中性子捕捉療法の治療効率を目指した多機能ナノ粒子の開発	500
		システム情報系 准教授	横田 茂	宇宙用電気推進機のための大型電子源の開発	500
		システム情報系 准教授	岡島敬一	3軸電子コンパス診断技術を用いた燃料電池システムの安定稼働運転制御手法の開発	0 (ILC等施設利用)
		システム情報系 准教授	山際伸一	血流および血中物質の光学的計測手法によるエイジングモニタリングシステムの開発	0 (ILC等施設利用)
		体育系 准教授	大藏倫博	世界初の卓越した健康度評価・改善システムを内蔵する体重計開発	498 (ILC等施設利用)
		数理物質系 教授	門脇和男	液体窒素温度で作動する小型・高出力・連続THz波発生装置の開発	0 (ILC等施設利用)
		数理物質系 教授	長崎幸夫	レドックス高分子の開発とバイオマテリアルとしての開発	500 (ILC等施設利用)
		数理物質系 准教授	丸本一弘	有機薄膜素子評価用の電子スピン測定ホルダーの開発	500
		医学医療系 准教授	福島 敬	遺伝子導入脂肪細胞技術の医療実用化のための共同研究	500 (ILC等施設利用)
		医学医療系 講師	大城幸雄	all in oneコンピュータ外科手術支援パッケージの開発研究	500 (ILC等施設利用)
		システム情報系 准教授	亀田敏弘	超小型人工衛星用高信頼小型無線通信システムモジュールの開発と検証	0 (ILC等施設利用)
	医学医療系 准教授	新井哲明 (朝田隆)	メタボローム解析を用いた認知症およびうつ病マーカーの探索研究とアッセイ開発	0 (ILC等施設利用)	
	26年度新継続採分	医学医療系 講師	榎本剛史	近赤外イメージセンサによる手術支援システムの開発	250
		体育系 准教授	榎本靖士	モーションセンサーを用いた運動技能測定評価システムの開発	111
		システム情報系 准教授	延原 肇	あらゆる悪環境下で精密かつ安全に飛行可能なUAWの開発とその大規模農業支援への応用	250
		生命環境系 助教	蓑田 歩	硫酸性温泉紅藻を利用した金属廃液からの貴金属の選択的回収	200
		附属病院 講師	小山泰明	近赤外分光法を用いた新しい心肺脳蘇生評価方法の開発～簡易、非侵襲かつリアルタイムに測定する方法に関する病院前からの多施設共同研究～	250
		医学医療系 講師	松井裕史	アミノレブリン酸投与によるがん特異的ポルフィリン蛍光を利用した血中循環腫瘍細胞(CTC)捕捉法の樹立	250

種類	研究代表者		プロジェクト名	配分額
	配分先(所属)・職	氏名		
	25年度継続採択分	システム情報系 准教授	若槻尚斗	無響室を利用する高度音響情報処理技術に関する研究 0 (ILC等施設利用)
		生命環境系 教授	青柳秀紀	実用的な新規有用微生物単離培養基材の開発と利用 970
		医学医療系 准教授	熊田博明	医療用及び産業工業用加速器中性子源開発のための共同研究 890 (ILC等施設利用)
		医学医療系 講師	盛武 敬	頭部IVR治療用統合的被曝防護ユニットの開発 980 (ILC等施設利用)
		数理物質系 教授	守友 浩	プルシャンブルー類似体膜によるイオン吸脱着素子の開発 260
		医学医療系 准教授	阿部智一	救急外来の時間追跡モニター 440
つくば地区研究開発法人との	27年度新規採択分	医学医療系 教授	坪井康次	陽子線照射とがん免疫賦活によるロコ・システミック融合がん治療法の開発 1,000
		医学医療系 教授	山崎正志	革新的医療機器開発：骨粗鬆症高齢者でも弛まない骨固定材料・成長因子含有アパタイトコーティングネジ 1,000
		医学医療系 助教	松本孔貴	高精度放射線の向上を目指した金ナノ粒子増感剤の開発 1,000
		システム情報系 教授	藪野浩司	非線形マイクロレゾネータアレイを用いた高精度・高機能超微小質量センサーの実用化 990
創業支援プロジェクト	26年度継続採択分	数理物質系 研究員	池田 豊	アンメットディカルニーズに対する画期的新案を目指した創薬型ベンチャー企業の創業 250
		人間系(人間総合科学研究科) 博士前期	阿部 巧	巧緻性動作に着目した新たな認知機能評価法および脳機能活性ツールの開発 111 (ILC等施設利用)
		システム情報系 教授	星野 聖	眼球の血管映像を用いた軽量で廉価な眼球運動計測装置の開発 110 (ILC等施設利用)
		医学医療系(CREILセンター) センター長	坂根正孝	コンタクトスポーツ選手の頸椎障害予防、治療、アスレティックリハビリテーションに関するベンチャー(MISSA)起業 250
		数理物質系 准教授	大毛利健治	半導体素子の雑音計測事業のための研究開発 0 (ILC等施設利用)
	25年度継続採択分	数理物質系 准教授	小林伸彦	科学技術計算・3次元CT計測の3D立体映像化技術 980 (施設の優先使用)
		数理物質系 講師	関場大一郎	イオンビーム分析を用いた軽元素受託分析システムの構築 980 (ILC等施設利用)
		体育系 教授	征矢英昭	子どもの体と心を活性化する学校体育支援SPARTSプロジェクト 1,220 (ILC等施設利用)
		システム情報系 准教授	鈴木健嗣	人々の社会生活を支援する拡張生体技術の研究開発 890

種類	研究代表者		プロジェクト名	配分額
	配分先(所属)・職	氏名		
ベンチャー創業プロジェクト(25年度までは「ベンチャー支援プロジェクト」)	27年度新規採択分	株式会社MCBI 代表取締役	内田和彦	先制医療のための認知症の早期血流検査システムの開発 0 (ILC等施設利用)
		数理物質系 教授	伊藤雅英	3次元LSI実装のためのマイクロバンプ測定装置の開発 500 (ILC等施設利用)
		体育系 研究員	松田裕雄	地域創成に寄与するストック活用型リノベーション手法の研究開発-猪苗代湖志田浜周辺区域のスポーツ資源を通じた再開発実践 500 (ILC等施設利用)
	採度25年 採継分続	FULLER株式会社	大野康明	スマートフォンアプリの利用動向分析システムの構築 0 (ILC等施設利用)
アントレプレナーシップ教育及び知財教育支援プロジェクト	25年度継続採択分	システム情報系 講師	有馬澄佳	社会起業家精神に基づく日本版技術経営=ビジネスモデル・イノベーションの教育体系の構築~21世紀:知識社会において 200
		システム情報系 教授	安信誠二	先導的研究者体験プログラムとの連携による研究志向の学群生アントレプレナーシップ教育プロジェクト 160

研究プロジェクト支援経費の推移



(単位:千円)

年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
金 額	330,000	844,309	458,438	437,253	257,903	234,184	212,913

注) ・戦略イニシアティブ推進機構経費を含む。

- ・平成21年度以前は予算額、平成22年度以降は、配分金額の推移とする。
- ・平成22年度～24年度は筑波大学革新的研究等支援プログラムを含む。
- ・平成22年度以降は、社会貢献・産学イノベーション推進経費に区分されている産学連携プロジェクトについても含む。
- ・平成25年度以降は系・研究科経営経費を除く。

(5) その他の研究費

ア 平成27年度寄附金（学術研究関係）および研究助成金

部 局 名	1 寄附金（学術研究関係） ※1		2 研究助成金 ※2		合計	
	件 数	金 額（円）	件 数	金 額（円）	合計件数	合計金額
人文社会系	7	2,200,000	2	1,420,000	9	3,620,000
ビジネスサイエンス系	4	1,823,000	2	2,460,000	6	4,283,000
数理物質系	19	16,190,000	21	35,400,000	40	51,590,000
システム情報系	32	25,630,000	31	38,693,953	63	64,323,953
生命環境系	22	17,996,000	26	58,473,300	48	76,469,300
人間系	3	6,050,000	3	3,757,624	6	9,807,624
体育系	25	38,817,508			25	38,817,508
芸術系	11	9,821,640	1	300,000	12	10,121,640
医学医療系	426	323,875,895	96	85,112,694	522	408,988,589
図書館情報メディア系	3	4,500,000	1	2,500,000	4	7,000,000
国際統合睡眠医科学研究機構	2	1,000,000	15	51,000,000	17	52,000,000
計算科学研究センター	3	7,074,500	0	0	3	7,074,500
下田臨海実験センター	1	30,000	0	0	1	30,000
遺伝子実験センター	0	0	0	0	0	0
プラズマ研究センター	1	220,000	1	800,000	2	1,020,000
生命領域学際研究センター	4	2,770,876	6	15,412,962	10	18,183,838
グローバルコミュニケーション教育センター	0	0	0	0	0	0
体育センター	0	0	0	0	0	0
北アフリカ研究センター	1	1,101,241	0	0	1	1,101,241
学術情報メディアセンター	0	0	0	0	0	0
研究基盤総合センター	0	0	0	0	0	0
サイバニクス研究センター	1	10,000,000	0	0	1	10,000,000
アイソトープ環境動態研究センター	2	1,189,680	0	0	2	1,189,680
保健管理センター	0	0	0	0	0	0
附属病院	49	793,769,802	7	4,300,000	56	798,069,802
附属学校	14	95,095,193	4	2,230,000	18	97,325,193
高細精医療イノベーション研究コア	0	0	0	0	0	0
つくば臨床医学研究開発機構						
薬類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	0	0	0	0	0	0
計	630	1,359,155,335	216	301,860,533	846	1,661,015,868

※1 定義：寄附金等取扱規程第2条第1項

※2 定義：寄附金等取扱規程第2条第2項（FAIRにおけるプロジェクトコード末尾「J」）

イ 受託研究費

(金額：千円)

部 局 名	一般受託研究費		医薬品等受託研究費		計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
人文社会系	1	3,391	0	0	1	3,391
ビジネスサイエンス系	1	1,950	0	0	1	1,950
数理物質系	40	420,416	0	0	40	420,416
システム情報系	39	412,579	0	0	39	412,579
生命環境系	55	1,257,900	0	0	55	1,257,900
人間系	3	22,153	0	0	3	22,153
体育系	17	1,387,420	0	0	17	1,387,420
芸術系	2	8,609	0	0	2	8,609
医学医療系	85	536,475	0	0	85	536,475
図書館情報メディア系	5	20,253	0	0	5	20,253
計算科学研究センター	16	383,360	0	0	16	383,360
アイソトープ環境動態研究センター	2	36,999	0	0	2	36,999
国際統合睡眠医科学研究機構	10	78,394	0	0	10	78,394
遺伝子実験センター	1	33,960	0	0	1	33,960
北アフリカ研究センター	2	53,149	0	0	2	53,149
本部（事務局）	1	473	0	0	1	473
サイバニクス研究センター	2	134,478	0	0	2	134,478
附属病院	40	136,061	288	129,271	328	265,332
計	322	4,928,020	288	129,271	610	5,057,291

※医薬品等受託研究費は、産学連携等実施状況調査における治験等受入実績の件数、金額である。

〔過去5年間の推移〕

(金額：千円)

		23	24	25	26	27
一般受託研究費	件数	235	240	260	305	322
	金額	3,582,775	3,660,507	3,513,898	3,818,136	4,928,020
医薬品等受託研究費	件数	10,723	1,999	2,063	1,832	288
	金額	216,125	202,319	177,583	179,309	129,271
計		10,958	2,239	2,323	2,137	610
		3,798,900	3,862,826	3,691,481	3,997,445	5,057,291

※医薬品等受託研究費は、産学連携等実施状況調査における治験等受入実績の件数、金額である。

ウ 民間等との共同研究費

(金額：千円)

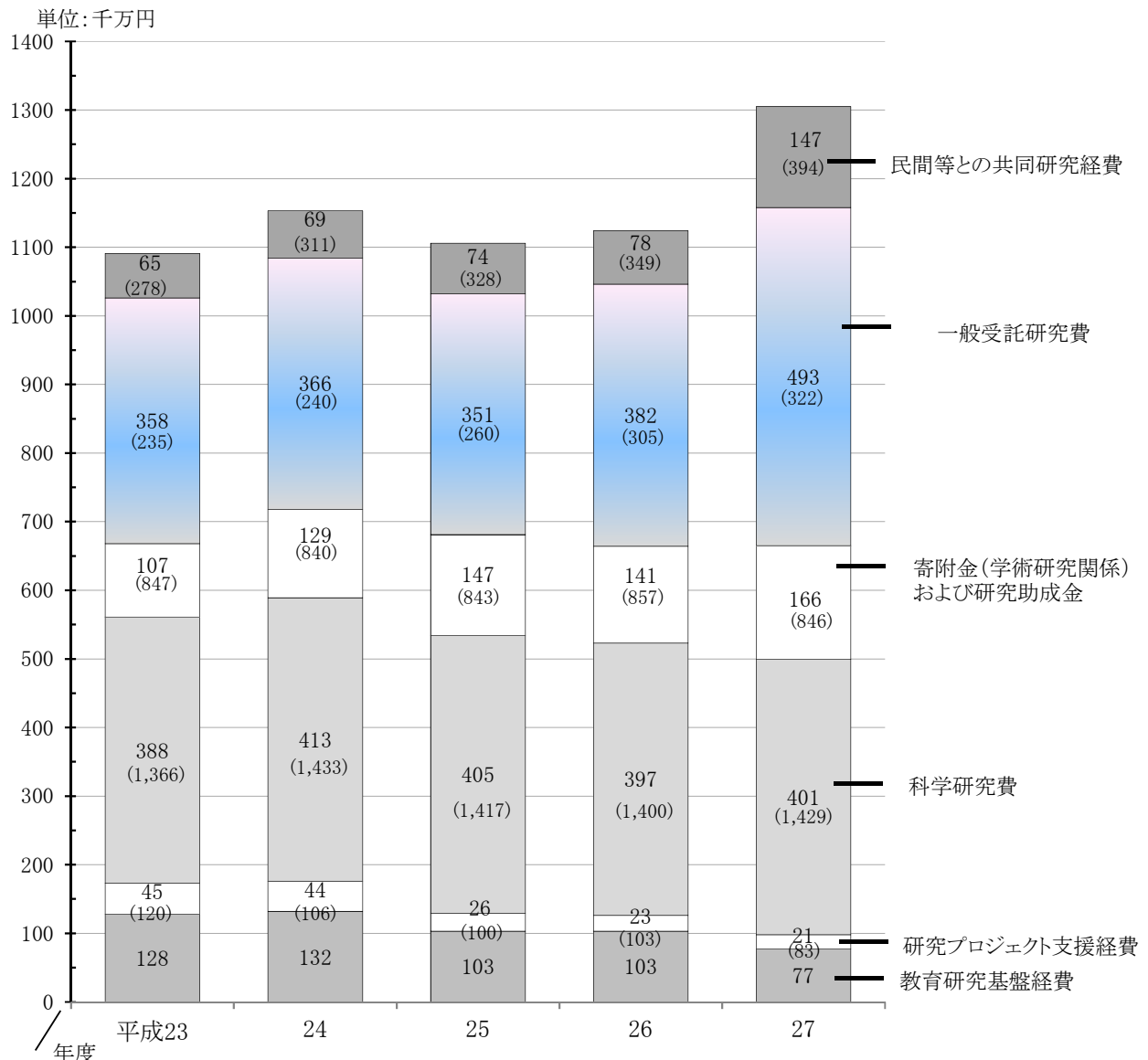
部 局 名	件 数	研究員 受入数	民間等負担経費
人文社会系	0	0	0
ビジネスサイエンス系	6	0	7,836
数理物質系	62	7	157,203
システム情報系	63	3	130,733
生命環境系	59	10	198,720
人間系	15	0	26,650
体育系	40	0	59,379
芸術系	8	0	7,419
医学医療系	69	9	368,667
図書館情報メディア系	4	0	9,672
計算科学研究センター	9	0	20,737
プラズマ研究センター	27	0	126,723
生命領域学際研究センター	3	0	1,500
国際産学連携本部	3	1	100,801
高細精医療イノベーション研究コア	1	0	30,000
学術情報メディアセンター	3	2	1,508
アイソトープ環境動態研究センター	1	0	0
サイバニクス研究センター	1	0	4,400
国際統合睡眠医科学研究機構	11	4	204,067
附属病院	6	0	3,850
陽子線研究センター	1	0	495
グローバルリーダーキャリア開発ネットワーク	1	0	1,500
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	1	0	4,510
	394	36	1,466,370

[過去5年間の推移]

(金額：千円)

年度	22	23	24	25	26	27
項 目						
件 数	267	278	311	328	349	394
民間等負担費	592,389	646,539	690,679	747,418	778,249	1,466,370

(6) 各種研究費年度別取得状況



* ()内数字は件数を示す。

各種経費とその割合

(単位: 千万円)

区分	教育研究 基盤経費	研究プロ ジェクト 支援経費	科学研究 費	学外からの研究費(外部資金)				合計
				計	寄附金(学術 研究関係) および研究 助成金	受託研究 (一般)	民間等と の共同 研究	
平成23年度	128 (11.7)	45 (4.1)	388 (35.6)	530 (48.6)	107	358	65	1091
平成24年度	132 (11.4)	44 (3.8)	413 (35.8)	564 (48.9)	129	366	69	1153
平成25年度	103 (9.3)	26 (2.4)	405 (36.6)	572 (51.7)	147	351	74	1106
平成26年度	103 (9.2)	23 (2.0)	397 (35.3)	601 (53.5)	141	382	78	1124
平成27年度	77 (5.9)	21 (1.6)	401 (30.7)	806 (61.8)	166	493	147	1305

()内は研究費の合計に占める割合を示す。

(7) 日本学術振興会特別研究員採用状況

区 分 \ 年 度	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用
S P D		0		0		0		0		0
P D	61	4	45	8	55	9	62	8	51	6
D C	307	87	307	74	317	70	337	62	328	68
計	368	91	352	82	372	79	399	70	379	74

区 分 \ 年 度	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用	申請	採用
R P D	4	1	8	4	5	1	7	0	6	2

(8) 工業所有権等（平成28年3月31日現在）

ア 発明等の届け出状況

年度	発明等の届け出数	発明者に権利帰属	法人(国)に権利帰属数
14	73	65	8
15	114	110	4
16	112	48	64
17	122	26	96
18	132	63	69
19	179	77	102
20	163	43	120
21	129	34	95
22	100	21	79
23	127	18	109
24	136	15	121
25	121	13	108
26	142	28	114
27	102	20	82

イ 現有特許件数

	国内特許件数	外国特許件数	合計
登録済	319	182	501
申請中	277	144	421

4 学内共同教育研究施設等関係

(1) 学内共同教育研究施設等勤務教職員数

[全国共同教育研究施設]

(平成28年3月1日現在)

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	合計
計算科学研究センター	11	14	4	8			37	19	4	11	71
下田臨海実験センター	2	2		5			9	1	5	0	15
遺伝子実験センター	9	8	1	6			24	5	2	3	34
プラズマ研究センター	2	4	3	1			10		5	1	16
合計	24	28	8	20	0	0	80	25	16	15	136

[学内共同教育研究施設]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	合計
生命領域学際研究センター	7		5	11			23	5		4	32
グローバルコミュニケーション教育センター	14	21		14			49	2	1	5	57
体育センター	10	9	1	6			26			4	30
アドミッションセンター	3	1					4			2	6
北アフリカ研究センター	1	2		6			9	4		2	15
学術情報メディアセンター	1	5	2	3			11		11	5	27
サイバニクス研究センター	1	3		1			5	1		6	12
研究基盤総合センター	1	4	2	1			8		1		
アイノトープ環境動態研究センター	3	3	1	3			10	3	7		36
保健管理センター	2	2	3	4			11		8	2	21
合計	43	50	14	49	0	0	156	15	28	37	236

[部局附属教育研究施設]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	合計
大学研究センター	1	3	1				5				5
学際物質科学研究センター	9		2				11				11
農林技術センター	4	4		8			16		25	2	43
菅平高原実験センター	1	2		4		1	8		6		14
教育開発国際協力研究センター	2	1					3		2		5
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター							0				0
生命科学動物資源センター	2	2		2			6		13	2	21
知的コミュニティ基盤研究センター	4	4					8			1	9
陽子線医学利用研究センター	3	4	2	1	1		11	2			13
つくばスポーツ医学・健康科学センター							0				0
特別支援教育研究センター	3	1					4				4
合計	29	21	5	15	1	1	72	2	46	5	125

[事業費により措置する教育研究組織]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	合計
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター							0	9			9

[理療科教員養成施設]

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任助教	教員計	研究員等	技術職員	事務職員	合計
理療科教員養成施設	1	1	2				4		2	2	8

(2) 学内共同教育研究施設等利用概況

施設名	利用状況	業績等
計算科学研究センター	共同利用・共同研究者の受入れ状況：451人（内訳：大学367・研究機関59・外国機関12・民間機関6・その他7）・49機関施設（内訳：大学29・研究機関6・外国機関7・民間機関4・その他3） 見学者数：2294人	論文数：178件（内国際学術誌掲載161件）受賞総数5件 研究会・シンポジウム等開催16（総参加者3276人）
下田臨海実験センター	授業臨海実習として、20件の臨海実習を行い、延べ1,462人の実習生を受け入れている。また、全国の高校生を対象として、公開講座を行い、28人の高校生を受け入れた。 宿泊施設の利用状況について年間の宿泊者は、延べ7,144人の利用があった。 文部科学省共同利用・共同研究拠点「海洋生物学研究共同推進拠点」として、海洋生物に関する共同利用・共同研究を77件受け入れている。	論文数：23件
遺伝子実験センター	共同利用者 348 名(占有201、機器147) 一般見学者 436 名	発表論文数 57 報
プラズマ研究センター	教員12名、PD3名、大学院生21名、学類生12名、見学者39件・1350名、双方向型共同研究（筑波大学受入分）の実施26件、自然科学研究機構核融合科学研究所との共同研究1件	論文31編 国際会議（プロシーディングス、アブストラクト、講演）36件 解説・紀要等32件 国内学会・国内会議・研究会等57件
生命領域学際研究センター	TARAプロジェクトの実施：7件 見学：延 2,105名	TARAセミナー 14回
グローバルコミュニケーション教育センター	<p>（外国語教育部門） 共通科目外国語授業 850科目 メディアライブラリー利用者 1,650名</p>	公開講演会・シンポジウム3回 FD研修会2回
	<p>（日本語教育部門）</p> <p>○集中日本語コース （1,200コマ/年、登録者数24名/年） 春学期登録者（13名） 秋学期登録者（11名） ・4コマ/日×5日/週×2クラス×30週=1,200コマ</p> <p>○日韓共同理工系学部留学生日本語コース（秋学期のみ） （120コマ/年、登録者数7名/年） ・8コマ/週×15週=120コマ</p> <p>○補講日本語コース （2,895コマ/年、登録者数1,010名/年） 春学期登録者（441名） 秋学期登録者（569名） ・初級・中級入門・中上級クラス （78コマ/週×15週）+（83コマ/週×15週）=2,415コマ ・漢字クラス 14コマ/週×30週=420コマ ・目的別日本語クラス 2コマ/週×30週=60コマ</p> <p>○総合日本語コース （1,365コマ/年、登録者数313名/年） 春学期登録者（135名） 秋学期登録者（178名） ・総合日本語クラス （35コマ/週×15週）+（39コマ/週×15週）=1,110コマ ・漢字クラス （8コマ/週×15週）+（9コマ/週×15週）=255コマ</p>	

施設名	利用状況	業績等
グローバルコミュニケーション教育センター	<p>○日本語・日本事情等に関する科目（日本語科目） （150コマ/年、登録者数72名/年）</p> <p>・5コマ/週×30週間=150コマ</p> <p>○学群英語コース （465コマ/年、登録者数208名/年）</p> <p>・日本事情に関する科目 （1コマ/週×2クラス×15週）+（10コマ×2クラス）=50コマ</p> <p>・外国語（日本語） （3コマ/週×5クラス×15週）+（3コマ/週×4クラス×10週）=345コマ</p> <p>・総合科目II （2コマ/週×20週）+（3コマ/週×10週）=70コマ</p>	
体育センター	屋外体育施設（陸上競技場他）約524,633人, 屋内体育施設（中央体育館他）約830,789人	
農林技術センター	<p>学生の実験・実習、大学院生、教職員の研究、公開講座等、視察・見学等、外国人訪問</p> <p>農場地区(苗畑地区共通実習等含む)：35,052名 苗畑地区：671名 井川演習林：522名 八ヶ岳演習林：1,841名</p>	
生命科学動物資源センター	<p>動物実験計画 343件、利用者登録数 750名、 利用者数 延76,852名（211名/日平均）、 動物導入数 7種 26,616匹、 飼育動物数 56,315匹/日平均、 講習会の受講者数 161名、見学者 82名</p>	<p>改変マウス作成事業 TG:76件、CH:4件、VC:10件</p>
菅平高原実験センター	<p>○野外実験、実習、講義、セミナー及び研究会その他教育研究利用 延べ 5,257名 ○施設見学者 1,885名</p>	研究論文数 36編
大学研究センター	<p>履修証明プログラム「大学マネジメント人材養成」 (受講生延べ23名)</p> <p>・大学マネジメントセミナー：全10回・20時間 〃 (TV配信)：11大学 (他一般参加者延べ1,036名)</p> <p>・大学マネジメント講義：全40科目・80時間</p> <p>・大学マネジメントワークショップ：全1回・16時間 (他一般参加者延べ26名)</p> <p>・大学マネジメント課題研究：全12回・28時間</p> <p>・大学マネジメント課題研究Ⅱ：全6回・16時間</p>	<p>論文：7編 著書：1件 報告書：5件 学会発表：4件</p>
陽子線医学利用研究センター	<p>陽子線治療患者数379名 (先進医療328名、臨床研究51名) (昨年度410名) 治療予定日実施率229日/229日(100%)</p>	<p>論文 44編 著書 14件 学会発表 84件 講演 28件</p>
アドミッションセンター	<ol style="list-style-type: none"> 1. アドミッションセンター入試の実施 2. 国際科学オリンピック特別入試の実施 3. 国際バカロレア特別入試の実施 4. 「筑波大学入学案内2016」の発行及び配布(70,000部) 5. 「AC入試・特別入試GUIDE BOOK 2017リーフレット」の発行及び配布(10,000部) 6. 進学相談の実施(68件) 7. 大学見学(広報室所掌)団体対応(22回) 8. 東京キャンパス「進学相談」の実施(9回、21件) 9. 東京キャンパス「春の進学説明会」の実施(3日間のべ2,497人) 10. 受験生等対象大学説明会・進学説明会への参加(119回) 11. 「受験生のための筑波大学説明会」における進学相談(196件)及び概要説明(839人)の実施 12. 全学入試関係参考資料(「帰国生徒特別入試選考のための参考資料」「推薦入試選考のための参考資料」)の作成及び提供 13. 全学入試関係情報の提供(Webサイト「アドミッションセンター」及び携帯サイト等) 14. 各教育組織パンフレットの高校宛て一括発送(1回、1,508校) 	<p>研究発表 2件 論文発表 1件</p>

施設名	利用状況	業績等
教育開発国際協力研究センター	<p>文部科学省共催、経済産業省後援のAPEC会議（第10回）を実施し、外国人170名、日本人30名の参加を得た。学内学生インターンを20名を雇用し、業務実習機会を提供した。世界授業研究学会・APECジョイント国際会議（タイ）を後援し、タイ国外から300名、国内から300名の参加を得た。APECプロジェクトの一環として、大学院生1名・附属小学校教員1名をフィリピン、マレーシアへ派遣し、附属高等学校教員1名をタイ、ブラジルに派遣し、現地教員各100名を交えた授業研究会を実施した。大学の世界展開力強化事業（中南米枠）の文書作成に寄与し、過去のAPECプロジェクト実績がその獲得に際して評価された。獲得後は、サンパウロ大学でのキックオフ会議で、授業研究ワークショップを実施し、近隣大学関係者を招聘し、今後の留学生受入・派遣の基盤を築いた。特に、その枠組みのもとで、学生1名をチリ大学から、院生1名をチリ大学に、院生1名をペルーカトリック大学に派遣する支援を行った。例年通り、タイ政府高官・大学執行部30名を受入、特に今年度は本学のインクルーシブ教育状況の視察機会を提供した。東南アジア教育大臣機構SEAMEO各種会議に人間系教員3名を派遣、リエゾン機会を設けた。SEAMEO生涯学習センターのシンポジウム（ベトナム）を支援し、関係者3名を招聘し、学内でその成果共有を行った。SEAMEO理数教育センターとカリキュラム開発シンポジウムを開催し、関係国の教育課程調査官及び各国研究者、そして国立教育政策研究所をはじめとする国内教育課程研究者30名からなる専門家会合を開催し、ASEANカリキュラム標準の開発に寄与した。外国人研究者7名を招聘し、それぞれに講演会を実施し、当該分野における知見を共有した。</p>	
知的コミュニティ基盤研究センター	<p>○公開シンポジウム（7回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回アジア情報アクセスサマースクール 参加者：約50名 ・第38回ICOFOM国際シンポジウム 参加者：約50名 ・時系列データ可聴化国際ワークショップ（TSDS2015） 参加者：59名 ・第7回DAN（Digital Archive Network）ワークショップ 参加者：約50名 ・緊急支援報告会！常総市水損行政文書の救助と復旧 参加者：約80名 ・2015年度成果報告会&公開イベント「画像・映像アーカイブの可能性」 参加者：34名 ・シンポジウム「認知症と図書館」 参加者：約130名 <p>○研究談話会開催（12回）講演者：学内2名/学外10名、参加者延べ293名</p> <p>○外国人研究員招へい（1名） マギル大学（カナダ）1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学術雑誌論文 22件 ・国際会議発表 12件 ・国内学会発表 71件 ・著書 14件 ・受賞等 9件 ・その他 2件
学際物質科学研究センター	<ul style="list-style-type: none"> ・TSUKUBA GLOBAL SCIENCE WEEK 2015 (TGSW2015) : Session 5: Research Frontier of Developing Energy and Environmental-friendly Materials ・MANA-RSC symposium: Materials for Energy Generation and Storage ・平成27年度TIMS研究交流会 ・Interdisciplinary Workshop on Science and Patents 2015 (IWP2015) ・Interdisciplinary Workshop on Science and Patents 2015 (IWP2015) - High School Section ・Physics of bulk-edge correspondence & its universality from solid state physics to cold atoms International workshop 2015 ・第53回茨城地区活動講演会 主題=π造形科学の最新動向 ・数理物質融合科学センター 環境エネルギー材料研究拠点 パイオエネルギー研究チーム研究発表会 ・第2回CiRFSEワークショップ: Session 3 環境エネルギー材料研究拠点 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム開催（2回） ・研究会開催（7回） ・講演会・セミナー開催（7回） ・論文 165件 ・学会発表（国際会議153件、国内会議287件）
特別支援教育研究センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 免許法認定公開講座「特別支援教育の基礎理論」「視覚障害の理解」「聴覚障害の理解」「知的障害の理解」「肢体不自由の理解」「視覚障害の指導法」「聴覚障害の指導法」「知的障害の指導法」「肢体不自由の指導法」「障害児の心理・生理・病理・教育課程・指導法論」の全10講座、受講者数553名、のべ単位取得者数540名 2. 平成27年度筑波大学特別支援教育研究センター主催セミナー「シリーズ特別支援教育の伸展（4）障害種を超えた教材活用の可能性」：参加者34名 3. 平成27年度筑波大学特別支援教育研究センター主催セミナー「シリーズ特別支援教育の伸展（5）特色ある教材及び指導法データベースの公開」：参加者100名 4. JICA「障がいのある子どものための授業づくり」研修コース研修生の受入れ（モンゴルから10名の研修生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・現職教員研修事業（研修期間1年）：北海道1名、千葉県3名、埼玉県1名、静岡県1名、計6名 ・免許法認定公開講座開講 ・主催セミナー開講（2回） ・「筑波大学特別支援教育研究第10巻」発刊

施設名	利用状況	業績等
北アフリカ研究センター	<p>視察： ○チュニジア高等教育大臣一行：4名 ○エジプト アインシャムス大学 外国語学部長：1名 ○駐日モロッコ大使館 参事官：1名 ○駐日サウジアラビア大使館 文化アタッシュー行：4名 ○駐日チュニジア大使館 一等書記官：1名 ○駐日チュニジア大使館 大使：1名</p> <p>研修： ○平成27年度JICA集団研修：10名</p>	○国内特許出願：1件 ○論文：52編 ○学会発表：国内学会：54件 国際学会：32件 ○著書：6冊 ○定期セミナー：4回 ○T G S W2015参加 ○JST-JICA地球規模課題対応国際科学技術協力事業 ○EUへのモンペリエ I 大学と Erasmus Mundusプログラムを共同実施 ○TJASST2015シンポジウム (チュニジア共和国) ○公開講座開催 ○その他駐日大使館訪問：10回
学術情報メディアセンター	<p>[計算機システムの利用者登録数] 1. 全学計算機システム：21,133件 2. 社会工学類専門教育用計算機システム：1,041件 3. 学習管理システム (manaba)：53,615件</p> <p>[ネットワーク関係] 1. DNSに登録されているドメイン数：205件 2. DNSに登録されているメールサーバ数：539件 3. レンタルサーバ設置件数：90件 4. ウェブホスティング件数：26件 5. サーバハウジング件数：2件 6. 無線LANアクセスポイントへの利用者登録数(学内)：145件 無線LANアクセスポイントへの利用者登録数(学外)：31件 7. 統一認証システム登録者数：34,114件 8. グループウェアシステム登録者数：3,414件</p> <p>[メディア機器関係] 1. AV利用件数：88件 2. ビデオ配信件数：2件 3. ビデオ制作：11件 4. ライブ中継件数：3件 5. ポスター看板製作件数：221件</p>	論文・国際会議論文 5編 口頭発表 5件 訳書 1編
研究基盤総合センター	<p>(応用加速器部門) 応用加速器部門 2015年度利用登録者数 計109名 (教職員36名、学生66名、学外7名)</p> <p>2015年度 加速器施設利用統計 施設総利用時間：4,146 時間</p> <p>文科省補助事業 施設利用時間：共用率47.75% 1,980時間 (イオンビーム利用実験) 936時間 (放射性同位元素利用機器) 産学連携・学外研究利用：16 課題 内訳 トライアルユース：2 課題 産学連携無償利用：2 課題 成果専有有償利用 (企業)：5 課題 成果公開有償利用 (大学等)：7 課題</p> <p>1 MVタンデム加速器利用実績 加速器運転時間：399.4時間 ビーム利用時間：275.8時間 実験実施課題数：49件 実験利用者総数：552名</p> <p>6 MVタンデム加速器利用実績 加速器運転時間：97.9時間 ビーム利用時間：62.4時間 実験実施課題数：7件 実験利用者総数：63名</p> <p>施設見学者数：727名 (内 高校生：458名) 高校生 体験実習：2件</p>	研究業績 発表論文：19編 国際学会招待講演：4件 国際学会発表：20件 国内学会招待講演：2件 国内学会発表：37件 <p>研究教育利用 博士論文：2編 修士論文：5編 卒業論文：9編</p> <p>国際シンポジウム共催：2件 国内シンポジウム主催：1件</p> <p>技術講習会共催：1件 産業フェア等出展：1件</p>

施設名	利用状況	業績等
研究基盤総合センター	<p>(低温部門) 液体ヘリウム供給：584件、40,593リットル 液体窒素供給：4,059件、195,190リットル 低温容器貸出：65件 大型装置共同利用：19件 低温寒剤利用説明会受講者数：488名 (教職員40名、学生448名) 液体ヘリウム利用説明会受講者：20名 (教職員3名、学生17名) 見学者：50名</p> <p>(分析部門) 委託分析：5機種、計1,570件 共同利用：23機種、延5,604名、17,096時間 利用部局：10学系</p> <p>(工作部門) 機械工作関係：222件、延2709時間 ガラス工作関係：279件、延852.5時間 共同利用：71件 173時間 部門主催講習会受講者：機械26名、ガラス1名 授業支援：大学院共通科目(全学対象)43名 学類授業支援(化学対象)60名 見学者：91名</p>	<p>発表論文：22編 口頭発表：60件</p> <p>論文：85編</p>
サイバニクス研究センター	<p>教員6名、大学院生39名、学群生6名、研究員等11名 視察等：内閣府参事官(9名)、岡山朝日高校(12名)、ドイツ医療関係者(2名)、茨城大学岡田先生、産学連携課アレンジ学内面談(9名)、ローム株式会社(9名)、TDK株式会社(9名)、オムロン株式会社(10名)、シアトル医師団(7名)、環太平洋大学 学園長・理事長、福島県医療関連産業集積推進室(13名)、UCアーバイン校(2名)、小松文部科学省研究振興局長(2名)、文部科学省研究振興局、牛尾学術機関課長(6名)、内閣府須田参事官補佐、取材：大使館広報誌Bilateral、チューリップテレビ、日刊工業新聞、日経新聞、科学技術振興機構</p>	<p>海外特許出願：2件 論文(国内5編、国外3編) 会議発表(国内3件、国際1件) 表彰：3件 講演：22件</p>
アイソトープ環境動態研究センター	<p>放射線安全管理部 【アイソトープ研究基盤部門】 放射線業務従事者登録数：275名(内研究利用者数：64名、管理区域入退システム：延べ4092名) A型エックス線装置使用者個人管理：11名 学類・大学院授業：408名 放射線管理教育 ・新規講習会参加者：223名 ・更新講習会参加者：220名 ・X線講習会参加者：70名 ・新規利用者ガイダンス：19名 教員免許講習：22名 職員研修：10名 授業を除く管理区域見学者：374名 第14回日本放射線安全管理学会学術大会の実施</p> <p>【放射性物質環境移行部門】 若手育成策(新学術領域研究(研究領域提案型)研究課題番号：24110006)における土壌採取法実習参加者：9名 学類授業：6名 機器・データ利用：2名</p> <p>【環境動態予測部門】 教育関係(述べ1407名) 研究関係(述べ104名) 機器・データ利用(5名)、圃場説明会(6名)、見学(5名)</p>	<p>セミナー主催回数4回(86名) 論文(国内2編、国外36編)合計38編 学会発表(国際会議41件、国内学会81件、研究会等1件)合計123件</p> <p>セミナー主催回数5回(203名) 論文(国内4編、国外23編)合計27編 学会発表(国内32件、国外23件)合計55件</p> <p>セミナー4回(66名) 論文(国内6編、国外9編)合計15編 学会発表(国内8件、国外3件)合計11件</p>

施設名	利用状況	業績等
ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター	H27年7月に新設。100名規模の国際フォーラムを含む研究会・シンポジウム・フォーラム等を17件開催、総参加者753人。H27共同年度利用・共同研究実績は29機関施設（内訳：大学2・研究機関3・外国機関1・民間機関18・その他5）。	論文数：59件（内国際学術誌掲載43件） 受賞総数：12件
つくばスポーツ医学・健康科学センター	H27年10月1日、けがをしたアスリートの早期復帰を支援し、国民の健康増進を目的とする「つくばスポーツ医学・健康科学センター」が附属病院内に設置された。27年度においてはその準備段階として、トップアスリート1名をモデルケースとして、体育系施設を使用しながら一気通貫型リハビリテーションの具体的な使用方法を検討しながら実施した。 また28年度からのトレーナー常駐、外来におけるアスレチックトレーニングなどの運用にあたり準備を行った。（平成28年度4月から一般アスリートまで実施するに至った） その他、体外衝撃波による治療、針灸、PRP療法（自己多血小板血漿療法）の実施への検証、運動器検診（つくば市と協力）の実施準備、アントラズクリニックおよび八重洲クリニックにおける連携の開始、スポーツ健康クリニック外来および肝臓生活習慣病外来の実施準備を行った。 いずれも人員の配置が整った平成28年度4月より本格運用が開始されている。	
つくば臨床医学研究開発機構	<p>○講演会等 開設記念講演会・第1回医学医療系研究発表会・180名 知的財産講演会・・・60名 CIME & HAL シンポジウム・・・100名 AMED 理事長講演会・・・110名</p> <p>○教育・研修 倫理等教育レベル0・・・約460名 倫理等教育レベル1・・・528名（のべ：3コマ）、e-learning受講者 のべ1815名 倫理等教育レベル2・・・317名（のべ：7コマ） 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス講座・・・1,188名（のべ：10日）</p> <p>○臨床試験・治験支援 臨床研究倫理審査件数・・・383件 臨床研究のプロジェクト支援・・・26プロジェクト 医師主導の治験プロジェクト支援 1プロジェクト 治験審査件数・・・90件 治験実施支援（CRC支援等）・・・90件</p> <p>○プロトコール相談・・・12件 ○シーズ・知財相談・・・のべ31件 ○監査業務（医師主導治験監査業務・・・1件</p> <p>○センター利用 未来医工融合研究センター支援プロジェクト・・・7件 CPF 利用プロジェクト・・・2件</p> <p>○来訪 未来医工融合研究センター 文部科学省、茨城県議会、コロンビア駐日大使一行、トルクメニスタン大使一行、ロシア国立研究医科大学一行、アメリカ・BOA TECHNOLOGY INC 一行</p>	
藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター	TGSWのGreen and Life Innovation by Algae Biomassのシンポジウムに、Hu博士（中国水棲生物学研究所）、Mayfield教授（UCSD）、Craggs博士（ニュージーランド水圏大気研究所）を招聘した。それらを踏まえて、本学-UCSD（米）-ナント大（仏）-マードック大（豪）-UTM/MJIIT（馬）の藻類グループの連携協力体制の構築を目指している。 11月に藻類センターが中心となって行った藻類バイオマスの国際シンポジウムに招聘した米国藻類バイオマス機構（ABO）の上級執行役Carr博士は、我が国の藻類研究者のアクティビティに感銘を受け、本年からABOサミットに日本のセッションが設けられることとなった。 また、地域貢献の一環として、栗原地区の藻類バイオマス・エネルギー大規模実証施設の一般公開を、7月と11月（雙峰祭に合わせて実施）に実施し、一般からの多くの参加者があった。昨年度に引き続き、茨城県立土浦第一高等学校のスーパーグローバルハイスクール事業、米軍子弟校高大連携プロジェクト事業、複数のSSH校への出前授業・セミナーへの協力等も行った。	見学受入件数・・・40 論文発表数・・・33 （国内11 海外22） 学会発表・・・111 （国内72 海外39） 特許申請数・・・3 （国内3）

施設名	利用状況	業績等
国際統合睡眠医科学研究機構	<p>○国際シンポジウム開催 参加者：約180名 ○WPI-IIISセミナー開催 (21回) ○高校生向けラボツアー実施 (4回、参加者のべ32名)</p>	<p>研究論文数112編</p>
理療科教員養成施設	<p>1. 免許法認定公開講座 特別支援学校 (視覚) 理療科教員免許法認定講習：臨床医学総論 受講者27名 特別支援学校 (視覚) 理療科教員免許法認定講習：臨床医学各論 受講者27名 2. 特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業 (自立教科等担当教員講習会) 88名 (うち免許状更新講習参加者42名) 3. 公開講座「東洋医学でリフレッシュ！」 受講者29名 4. ブラインドバラスポーツミーティング (毎月1回) 「ブラインドバラスポーツに関する情報交換」 参加者毎回30名 5. 共催による研究会開催 日本サーモロジー学会第32回大会「健康・スポーツ分野のサーモグラフィの活用」 参加者70名 第41回日本東洋医学系物理療法学会「物理療法の臨床・最近の進歩-鍼通電療法の新たなる展望」 参加者86名 6. 「スポーツ鍼灸リサーチミーティング」開催 参加者50名 8. オリンピック・パラリンピックに向けた鍼灸マッサー実技講習 参加者30名 9. ブラインドバラスポーツシンポジウム2016「ブラインドアスリートのスポーツ科学サポーターリオデジャネイロに向けて」開催 参加者100名</p>	<p>・研究助成 科学研究費補助金 (基盤研究 (A)) : 「特別支援教育における視覚障害学生の鍼臨床能力向上のためのITを活用した包括的研究」 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金 (基盤研究 (C))) (研究代表者: 徳竹忠司) : 「特別支援学校理療科あん摩実技における臨床能力向上を目的とした教育プログラムの開発」 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金 (基盤研究 (C))) (研究代表者: 濱田 淳) : 「鍼実技実習における視覚障害学生の治療教育プログラムの開発に関する教材論的研究」 (株) ナイガイとの産学連携研究「機能性を重視したレッグウェアの開発」</p> <p>・社会貢献 住友生命健康財団の「スイセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」及び、本学の「社会貢献プロジェクト」、「研究科戦略プロジェクト」の採択を受け、ブラインドパラリンピック関連の研究を行い、「2016年版視覚障がい者のパラリンピックスポーツ」「ブラインドアスリートのスポーツ科学サポーターリオデジャネイロに向けて」等の冊子を作成し全国の盲学校、及び各障害者スポーツ団体へ寄贈配布した。</p>

(3) 理療科教員養成施設

ア 学生数 (平成28年3月1日現在)

総定員	1年	2年	計
40	20(4)	20(7)	40(11)

(注) ()は、女子を内数で示す。

イ 卒業生数 (平成28年3月31日現在)

定員	卒業生数	累計
20	19(7)	812(167)

(注) ()は、女子を内数で示す。

ウ 入学者選抜 (平成28年4月1日現在)

入学定員	試験別	志願者数	合格者数	入学者数
20	一般入試	35(6)	15(4)	19(6)
	推薦入試	12(3)	5(2)	

(注) ()は、女子を内数で示す。

エ 奨学金 (平成28年3月1日現在)

学生数	日本学生支援機構	その他	比率(%)
40(11)	2(1)	1	7.5

(注) ()は、女子を内数で示す。

オ 就職 (平成28年3月31日現在)

卒業生数	就職者数	就職者の内訳				進学者	その他
		盲学校等教員	視力障害センター等教員	専修学校等教員	治療院等		
19(7)	16(6)	14(5)	1(1)	0	1	2	1(1)

(注) ()は、女子を内数で示す。

カ 患者数 (平成28年3月31日現在)

診療日数	患者数				1日平均患者数
	初見者数	再来者数	学用者数	計	
173	190	4,662	0	4,852	28

5 学生生活関係

(1) 学生の表彰

平成 27 年 5 月

No.	所属(年次) 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	チームチャンピニオン 【代表者】 一貫制博士課程 グローバル教育院エンパワ メント情報学プログラム (2年次) にしだ じゅん 西田 惇	第 4 条 第 1 項 第 1 号	2014 年の 5 月～10 月にかけて行われたインタラクティブ作品の企画・制作・展示を行い、技術や芸術性を競うコンテストである「国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト」に、EMP 履修学生のうち人工知能とバーチャルリアリティに興味を持つ学生 (EMP1 年次 西田惇、佐藤綱祐、高鳥光) がチームを組み参加した。本チームはこのコンテストにおいて総合優勝を果たし、フランスで行われる国際 VR 展示会”Laval Virtual”派遣賞、そして企業賞であるクリスティデジタルシステムズ賞を合わせて受賞した。2015年4月にはフランスで招待展示を行った。

平成 27 年 7 月

No.	所属(年次) 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	生命環境科学研究科 博士後期課程 持続環境学専攻 (3年次) ゆう ぶんりき 黄 文力	第 4 条 第 1 項 第 1 号	大学院在籍中に極めて優れた学術論文を十数編執筆・公表し、環境分野において著名な国際誌 (<i>Water Research</i> (IF:5.323)、 <i>Bioresource Technology</i> (IF:5.039)、 <i>Journal of Power Sources</i> (IF:5.211)等)に 9 編が掲載されており、うち 5 編は筆頭著者である。実験技術、解析力、および論文執筆等の総合的研究能力が高く評価されている。

平成 27 年 12 月

No.	所属(年次) 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	情報学群 知識情報・図書館学類 (4年次) いながき ひろのり 稲垣 洸雄	第 4 条 第 1 項 第 1 号	未踏 IT 人材発掘・育成事業において開発したシステム Motionium をもってスーパークリエイターの認定を受けた。この個人プロジェクトの成果は、技術力の高さを証明するのみならず、筑波大学の教育・研究水準の高さを世間にアピールするものである。また、NHK HACKATHON での大賞受賞、BattleHack Tokyo 2015での優勝は、チームワークによって成し遂げられたものであり、被表彰者がチームの中であつても場と人を盛り上げ、アイデアを活かす活躍ができることを示している。

平成 28 年 3 月
(大学院)

No.	所属(年次) 氏 名	適用 条項	表 彰 に 価 す る 行 為
1	人文社会科学研究所 一貫制博士課程 文芸・言語専攻 (4 年次) しばた かなこ 柴田 香奈子	第 4 条 第 1 項 第 1 号	国立民族学博物館主催の平成 27 年度みんぱく若手研究者奨励セミナー「伝承と身体をめぐる文化人類学」(平成 27 年 11 月 11 日-12 日 国立民族学博物館にて開催)において行った発表「厳律シトー修道会における修道院手話<手まね>の伝承」が高く評価され、最優秀賞である「みんぱく若手セミナー賞」を受賞した。
2	ビジネス科学研究科 博士後期課程 企業科学専攻 (3 年次) かんた はるひこ 神田 晴彦	第 4 条 第 1 項 第 1 号	博士論文研究の一部である下記の成果が、日本消費者行動研究学会の査読付き学会誌『消費者行動研究』に掲載され、優秀論文として 2015 年度消費者行動研究学会研究奨励賞(青木幸弘賞)を受けた。 <受賞論文>「機能疲労がリピート購買行動とクチコミ行動に及ぼす影響」 消費者行動研究, Vol.21, No.1・2, pp.1-24, 2015
3	教育研究科 修士課程 教科教育専攻 (2 年次) ささき しょうた 佐々木 章太	第 4 条 第 1 項 第 1 号	公益社団法人・日本数学教育学会の学会誌に掲載された下記の論文が高く評価され、学会賞(大学院生研究奨励部門)を受賞した。 「戦後教育改革期の算数数学教育における「単位の考え」に関する一考察:『算数』と『中学生の数学』における時間の計算に着目して」(日本数学教育学会誌・数学教育学論究・第 97 巻、pp.81-88、2015 年)
4	数理物質科学研究科 博士後期課程 物理学専攻 (2 年次) さとう しゅんすけ 佐藤 駿丞	第 4 条 第 1 項 第 1 号	これまでに13編の査読付き論文を発表しており、そのうち5編の第一著者である。掲載雑誌は Science, Phys. Rev. Lett., Phys. Rev. A, Phys. Rev. B, J. Chem. Phys., New J. Phys., J. Appl. Phys. 誌であり、いずれも物理学分野では著名な雑誌である。また、国際会議において招待講演を1件、口頭発表を6件、ポスター発表を9件行うなど、活発に発表を行っている。国際会議 International Conference on Simulation Technology においては、Student Presentation Award を受賞した。

5	<p>数理物質科学研究科 博士前期課程 物性・分子工学専攻 (2年次)</p> <p>はやし ひろき 林 宏紀</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>1. “Synthesis of Cholesteric Liquid Crystals Having Menthol”/Distinguished Presentation Prize/International Workshop on Science and Patents 2013, IWP 2013 (U. Tsukuba, 2013.9.6)</p> <p>2. “Electrochemical Synthesis of High Anisotropic Polymer Films in Magnetically Aligned Smectic Liquid Crystal”/Distinguished Presentation Prize International Workshop on Science and Patents 2014, IWP 2014 (U. Tsukuba, 2014.9.5)</p> <p>3. “スメクチック液晶溶媒を用いた磁場配向下液晶中電解重合による高異方性ポリマーフィルム の作製” 優秀ポスター発表賞/第4回 CSJ 化学フェスタ 2014 (タワーホール船堀, 2014.10.14)</p> <p>4. “液晶磁場電解重合による配向性導電性高分子の開発”/研究奨励賞 (35歳以下) (口頭発表) 日本磁気科学会 第9回年会 (岐阜 高山市民会館, 2014.11.13)</p> <p>5. “配向液晶中電解重合を用いた配向性共役系高分子薄膜の開発”/優秀ポスター賞 第64回高分子討論会 (東北大学 川内キャンパス, 2015.9.17)</p> <p>6. “液晶を鋳型とする電解重合法により配向制御した共役系ポリマーの電気伝導度評価”/ポスター発表優秀賞 高分子学会関東支部茨城地区第30回若手交流会 (つくばセミナーハウス, 2015.10.29)</p>
6	<p>数理物質科学研究科 3年制博士課程 物質・材料工学専攻 (3年次)</p> <p>チェン シャンウ CHEN Shangwu</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>これまで一貫して生体組織再生のための材料に関する研究を行い、すでに8編の査読付論文を発表している。掲載誌は、生体材料分野で最も権威あるBiomaterials誌(IF = 8.312)をはじめとする一流誌である。また、国内外の学会等で6件の賞を受賞した。その中でも特に、生体材料における世界最大の国際会議World Biomaterials Congressでは、世界中の研究者との激しい競争を勝ち抜き、Poster Awardを受賞した。また、予防医学と再生医学に関する国際会議World Congress on Preventive and Regenerative Medicineでは、最優秀の若手研究者に与えられるYoung Investigator Awardを受賞した。</p>

7	<p>システム情報工学 研究科 博士後期課程 リスク工学専攻 (2年次)</p> <p>きのした なおひこ 木下 尚彦</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>1. 研究業績:大学院在学中における顕著な研究業績(21本のジャーナル論文及び査読付き国際会議論文の掲載、うち9本は第一著者) <学術論文:査読制度があり、学会論文誌等の出版物に掲載されているもの> ・Naohiko Kinoshita, Yasunori Endo, Akira Sugawara, On Hierarchical Linguistic Based Clustering, Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent - Informatics, Vol.19,No.6, pp.900-906(2015.11) 他5編 <国際会議論文:査読制度があり、学会論文誌等の出版物に掲載されているもの> ・Naohiko Kinoshita, Yasunori Endo, Yuchi Kanazawa, Sadaaki Miyamoto, A Note on Non-Hierarchical Linguistic-based Clustering, Proc, of the 12th International - Conference on Modeling Decisions for Artificial Intelligence (MDAI2015),USB, pp.25-35(Skoevde, Sweden,2015.9.21) 他14編</p>
8	<p>システム情報工学 研究科 博士前期課程 社会工学専攻 社会工学学位プログラム (1年次)</p> <p>ひらい えり 平井 恵理</p>	<p>第4条 第1項 第3号</p>	<p>候補者は、 (1)常総市大水害発災間もない9月15日から、自ら被災地に入り、3カ月にわたって支援を行い、(2)単に支援を行うだけではなく、被害の実情を克明に記録し報告、さらに(3)大学で学んだ専門知識を活用した、常総市の課題解決に積極的に参画しており、その活動は筑波大学新聞323号(2015年10月5日)で報じられた他、大学院社会工学専攻の講義「プレイスメイキング」の活動報告書としてもまとめられた。 これらの行為は候補者が、まさに筑波大学が目指す「世界が直面する問題の解決に主体的に貢献する人材」であることを示している。</p>
9	<p>生命環境科学研究科 博士後期課程 生命産業科学専攻 (3年次)</p> <p>のぐち たかあき 野口 隆明</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>1.平成25年3月11日に、幹細胞研究における世界トップの学会である International Symposium 2013 にて Excellent Poster Awardを受賞。幹細胞分野で最高の ISSCRの本部会は、幹細胞から胃を世界で初めて作った個人研究者として野口氏を認めた。この受賞の成果を更に発展させ、2.の Nature Cell Biology 誌の論文発表につなげた。 2.平成27年7月20日に、筆頭著者として ES細胞からの機能性胃組織及び胃がん病態モデルを樹立した研究成果を Nature Cell Biology 誌(IF 19.679)に掲載し、同誌の News & View、また Nature Reviews Gastroenterology & Hepatology 誌の Research Highlight にて研究のハイライトも紹介された。</p>
10	<p>生命環境科学研究科 博士後期課程 持続環境学専攻 (3年次)</p> <p>そう しゅんねん 宋 俊年</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>日本地域学会優秀発表賞(2012年)および2013年度日本地域学会賞修士論文賞を受賞。博士課程在籍中に、論文4編を国際誌に筆頭著者として発表(何れも、インパクトファクターは4.38-5.61)する等、共著を含めて合計9編の論文を国際専門誌に発表した。</p>

11	<p>生命環境科学研究科 博士後期課程 国際地縁技術開発 科学専攻 (2年次)</p> <p>いけがわ まりあ 池川 真里亜</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>主に東アジアにおける日系冷凍食品企業の海外立地選択に関する実証研究を行い、すぐれた研究成果を得ている。いずれの成果も、政策提言や企業コンサルへの応用が期待されるなど、実証科学としての社会貢献度合いも甚大である。研究業績について、現在までに、同氏の研究成果は5編の学術論文(筆頭論文3編)と4回の学会発表(国際学会:2回、国内学会:2回、すべて筆頭報告者)で公表されている。</p> <p>2014年10月:「日本地域学会学位論文賞(修士論文)」日本地域学会</p> <p>2015年 9月:「平成27年度第2次国際会議派遣補助交付」日本経済学会連合</p>
12	<p>人間総合科学研究科 博士後期課程 芸術専攻 (2年次)</p> <p>みやざき 宮崎 みどり</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>第89回 国展(平成27年5月/主催国会会/国立新美術館)において、作品『水流迫』が国画賞(最高賞)を受賞した。</p>
13	<p>人間総合科学研究科 博士後期課程 学校教育学専攻 (3年次)</p> <p>ろ こうしょう 呂 光暁</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>経済教育学会奨励賞 2015年9月受賞(経済教育学会) 受賞論文「経済的な見方や考え方と日常経験の関係性に関する研究 ―小学校児童を対象に―」(『経済教育』第33号)</p>
14	<p>人間総合科学研究科 博士後期課程 体育科学専攻 (3年次)</p> <p>ゆく じゅんす 陸 彰洙</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>論文 “Astaxanthin supplementation enhances adult hippocampal neurogenesis and spatial memory in mice”(アスタキサンチン摂取は成体海馬の神経新生と空間記憶能力を高める)が、栄養学と食品研究分野のトップジャーナルとして知られる Molecular Nutrition and Food Research 誌(IF: 4.60)に掲載された。</p> <p>成果は、本学ホームページのトップで紹介されるとともに財經新聞など複数のメディアを通じて配信された。この知見を含む学位論文の成果は、国際学会(北米神経科学会、Cell Symposia: Exercise Metabolism; Cell 誌が主催する学術集会)において2回発表している。</p>
15	<p>人間総合科学研究科 博士前期課程 体育学専攻 (2年次)</p> <p>とべ なおと 戸邊 直人</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>○第15回世界陸上競技選手権大会 男子走高跳出場 候補者は、第15回世界陸上競技選手権大会出場を果たした。また、この出場に際してテレビ放送、新聞、雑誌など多くのメディアに取り上げられ、大学の広報活動にも大きく貢献した。</p>

16	図書館情報メディア研究科 博士後期課程 図書館情報メディア専攻 (2年次) やまもと しゅうへい 山本 修平	第4条 第1項 第1号	英語論文誌2編を含む雑誌論文3編、採択率19%の難関国際会議を含めて査読付き国際会議3編が採択されている(発表後に2編は論文誌への推薦も受ける)。また、国内の査読付き会議にも毎年複数件を研究発表しており、ヤングリサーチャー賞や優秀論文賞、学生奨励賞など、全ての発表で合わせて6件の表彰を受けている。
17	グローバル教育院 一貫制博士課程 ヒューマンバイオロジー 学位プログラム (3年次) にいづま こうた 新妻 耕太	第4条 第1項 第1号	第43回日本免疫学会およびThe 13 th National Taiwan University, Kyoto University, and University of Tsukuba Joint Mini SymposiumにおいてBest Presentation Awardを受賞、The 9 th Tsukuba Medical Science Research MeetingにおいてExcellent Poster Awardを受賞した。また、研究成果は国際的に評価が高いNature Publication Group発行の専門誌Nature Communicationsに共著者として論文発表した。さらに、日本の技術と発展途上国のニーズをつなぎ、新たなビジネスを興すコンテスト(シーズ・コンテスト)において優秀賞を受賞するなど、研究以外の学修にも積極的に取り組んでいる。
18	グローバル教育院 一貫制博士課程 エンパワーメント情報 学プログラム (2年次) おぎそ さとし 小木曾 里樹	第4条 第1項 第1号	筆頭著者として査読付国際会議論文4編、雑誌論文1編掲載と短期間に多くの成果を上げた。これらの成果は国際会議等にて複数回受賞する等、学外においても高く評価されている。コンテストへも積極的に参加し、クラウドコンピューティングによる睡眠管理アプリについてIBMから、センサを内蔵したお皿についてフィリップスから表彰されている。特に前者は300を超える他の企業・大学の中から学生で唯一受賞し、メディアで取り上げられる。
19	人間総合科学研究科 3年制博士課程 ヒューマン・ケア科学専攻 (3年次) ごとう りょうへい 後藤 亮平	第4条 第1項 第1号	有職大学院生(常勤理学療法士として病院勤務)でありながら、在学中に、英語論文1編、和文論文1編を発表し、かつ、プライマリ・ケア連合学会学術集会において、日野原賞を受賞した。この賞は、これからのプライマリ・ケア領域の研究の発展を担う、次世代の若手研究者を奨励することを目的として、最も質の高い臨床研究を実施し、発表したものに贈られる賞であり、研究活動において高い評価を得た。

(学群)

No.	所属(年次) 氏名	適用 条項	表彰に価する行為
1	人文・文化学群 人文学類 (4年次) なかむら みずき 中村 瑞希	第4条 第1項 第1号	2015年4月20日から23日にかけて、ロシア連邦タタールスタン共和国で開催された「第3回国際タタール語・タタール文学オリンピック」で、日本人唯一の入賞者となる。

2	<p>生命環境学群 生物資源学類 (4年次)</p> <p>たけい ひとみ 武井 瞳</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>(1)2012年7月に実施された筑波大学生命環境学群生物資源学類オープンキャンパスにおいて、学生代表を務めた。</p> <p>(2)筑波大学生命環境学群、生物資源学類の在籍時において履修科目のうち評価が「A」(優)以上の科目が8割以上であり、同学年の中でも最上位クラスに位置する成績を修めた。</p> <p>(3)履修科目の「A」取得率が7割以上の学生のみが出願可能である筑波大学生物資源科学専攻修士課程の大学院推薦入試に合格した。</p> <p>(4)平成26年度でのARE成果発表会で「優秀発表賞」を受賞した。</p> <p>(5)第四回サイエンス・インカレ(文部科学省主催)に参加し、優れた講演発表者に授与される「グッドパフォーマンス賞」を受賞した。</p> <p>(6)平成27年9月4日に筑波大学で開催された Interdisciplinary Workshop on Science and Patents (IWP) 2015 において、優秀発表賞を受賞した。</p>
3	<p>生命環境学群 生物学類 (4年次)</p> <p>すずき みずほ 鈴木 瑞穂</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>論文発表(共著) The Japanese Society of Applied Entomology and Zoology (2015年)</p> <p>国際学会発表(筆頭) International Ethological Conference (2015年)</p> <p>国内学会発表(筆頭)</p> <p>第32回日本動物行動学会(2014年)</p> <p>第62回日本生態学会(2015年)</p> <p>研究会運営スタッフ</p> <p>ヒスマイトトンボ観察会スタッフ参加(2014年、2015年)</p>
4	<p>理工学群 工学システム学類 (4年次)</p> <p>かわはら けいすけ 河原 圭佑</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>第4回サイエンス・インカレ(2015年3月) 畠山文化財団賞受賞</p> <p>2015年3月に実施されたサイエンス・インカレにて、全国から約6倍の倍率になる書類審査を通過し、情報・融合領域分野における口頭発表に選定されている。さらに、その発表が評価され、同インカレの各協力企業・団体賞である畠山文化財団賞(公益財団法人畠山文化財団)を受賞した。(題目:「聴覚障がい者のための装着型機器によるコミュニケーション支援の研究」)</p>
5	<p>情報学群 情報科学類 (4年次)</p> <p>ふくおか けんき 福岡 堅樹</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>2015年に開催された第51回全国大学選手権において本学2回目となる大会準優勝に大きく貢献した。さらに同年8月にはラグビーワールドカップ2015の日本代表に選抜され、スコットランド戦において活躍するなど、日本チームの3勝を大きく支えた。これらの鮮烈な活躍を通して、本学の存在感、およびスポーツ活動のレベルの高さを国内外に広く知らしめた。加えて、被推薦者がラグビーのみならず、情報科学類における勉学、研究にも邁進し、まさに文武両道を地でいく大学生活を送っている事は、大学を目指している若者に大いなる刺激と勇気を与えた。</p>

6	<p>情報学群 情報メディア創成 学類 (4年次)</p> <p>くぼ ゆうき 久保 勇貴</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>1. 以下の学会投稿・発表を行った。</p> <p>査読付き国際会議論文</p> <p>[1] <u>Kubo</u> et al. B2B-Swipe: Swipe Gesture for Rectangular Smartwatches from a Bezel to a Bezel. 34th Annual ACM Conf. on Human Factors in Computing Systems, May 2016. (to appear)</p> <p>[2] Kawabata, Komoriya, <u>Kubo</u>, et al. Effects of Holding Ring Attached to Mobile Devices on Pointing Accuracy. 18th Intl. Conference on Human-Computer Interaction, July 2016. (to appear)</p> <p>査読付き国内会議論文</p> <p>[3] <u>久保</u>, 他. B2B-Swipe: 超小型タッチパネル端末のためのベゼルからベゼルへのスワイプジェスチャ. 第23回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ, 2015年12月, pp. 85-90.</p>
7	<p>情報学群 情報メディア創成 学類 (4年次)</p> <p>いしい あきら 石井 晃</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>1. 以下の学会投稿・発表を行った。</p> <p>[1]石井, 他. スマートフォンにおける排便データを用いたインタラクティブ健康管理システム. 日本バーチャルリアリティ学会論文誌, Vol. 18, No. 4, pp. 465-474, 2013年8月. 査読付き</p> <p>[2]Ishii, et al. Evaluation of a System to Analyze Long Term Images from a Stationary Camera. 18th Intl. Conf. on Human-Computer Interaction, July 2016. (to appear) 査読付き</p> <p>[3]Ishii et al Evaluation of Callout Design for Ultra-small Touch Screen Devices. CHI '16 Extended Abstracts on Human Factors in Computing Systems, May 2016. (査読中)</p> <p>[4]石井, 他. Flickey: 超小型タッチスクリーン端末におけるフリックに基づく QWERTY キーボード. インタラクシオン 2016 論文集, 情報処理学会, 2016年3月, 9 pages. (to appear) 査読付き (他に口頭発表等4件)</p> <p>2. 以下の受賞を受けた。</p> <p>[5]情報処理学会ヒューマンコンピュータインタラクシオン研究会学生奨励賞受賞, 2015年8月.</p> <p>[6]DMTC Award 2013 モバイル部門優勝, 2013年12月.(3人1組のリーダーとして貢献)</p> <p>[7]KLab プロトタイプングラボ 2013 第一回準優勝.</p>
8	<p>情報学群 情報メディア創成 学類 (3年次)</p> <p>ふじさか ゆうじ 藤坂 祐史</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>同学生が企画・制作した iOS アプリケーション「Recture ～復習しやすい授業記録アプリ～」が、下記3件のコンテストにおいて受賞するなど高い評価を受けている。</p> <p>[1] 2015年10月、U-22プログラミング・コンテスト2015 にて経済産業大臣賞(最高賞)</p> <p>[2] 2015年11月、立命館大学主催 全国高校・大学ソフトウェア創作コンテスト 2015 (あいちゃれ 2015)にてセガネットワークス賞</p> <p>[3] 2015年12月、表参道学生アプリコンテスト2015にてグランプリ(最高賞)</p> <p>なお [2], [3] は既発表・既受賞の作品の応募を認めており、そのため重複受賞となっている。</p>

9	<p>医学群医学類 (5年次)</p> <p>ふじなか あやの 藤中 彩乃</p>	<p>第4条 第1項 第1号</p>	<p>査読付きの国際誌 Molecular Brain (インパクトファクター 4.345) に筆頭著者として下記の論文を発表した。この成果は、平成28年1月22日に、大学のプレスリリースでも紹介された。</p> <p>Fujinaka et al. Effect of context exposure after fear learning on memory generalization in mice (和訳: 恐怖学習直後の場所刺激がマウスの記憶汎化に与える影響)</p> <p>Molecular Brain 9:2, 2016 (2016年1月8日発行) PMID: 26745987 DOI: 10.1186/s13041-015-0184-0</p>
10	<p>体育専門学群 (4年次)</p> <p>ふじわら だいすけ 藤原 大輔</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>2015 パラバドミントン世界選手権出場</p>
11	<p>体育専門学群 (2年次)</p> <p>かとう みゆき 加藤 美幸</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>2015 ユニバーシアード競技大会バドミントン競技女子ダブルス第3位(銅メダル)</p> <p>2015 全日本学生バドミントン選手権大会女子ダブルス優勝</p>
12	<p>体育専門学群 (2年次)</p> <p>かしはら みき 柏原 みき</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>2015 ユニバーシアード競技大会バドミントン競技女子ダブルス第3位(銅メダル)</p> <p>2015 全日本学生バドミントン選手権大会女子ダブルス優勝</p>
13	<p>体育専門学群 (1年次)</p> <p>ひらまつ ゆうじ 平松 祐司</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>2015IAAF 世界陸上競技選手権大会男子走高跳 出場</p>
14	<p>体育専門学群 (4年次)</p> <p>おびかわ きよら 帯川 きよら</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>2015 ユニバーシアード競技大会バレーボール競技(女子)第3位(銅メダル)</p>
15	<p>体育専門学群 (2年次)</p> <p>いのうえ ありさ 井上 愛里沙</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>2015 ユニバーシアード競技大会バレーボール競技(女子)第3位(銅メダル)</p> <p>U23 世界女子バレーボール選手権大会第4位・大会ベスト6選出</p>
16	<p>体育専門学群 (4年次)</p> <p>よこやま あい 横山 亜依</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>2015 ユニバーシアード競技大会サッカー競技(女子)第3位(銅メダル)</p>

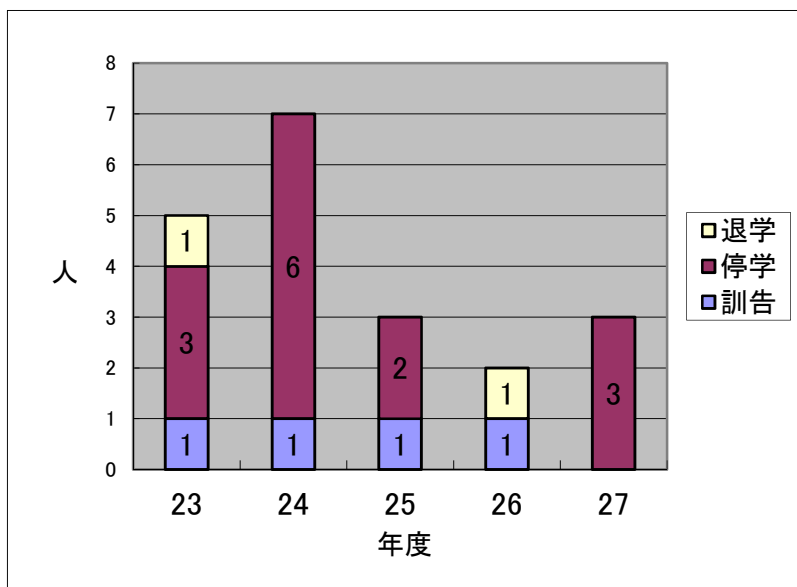
17	体育専門学群 (3年次) やまもり あんな 山守 杏奈	第4条 第1項 第2号	2015 ユニバーシアード競技大会サッカー競技(女子)第3位(銅メダル)
18	体育専門学群 (2年次) つがね めぐみ 津金 恵	第4条 第1項 第2号	2015 ユニバーシアード競技大会柔道競技 63kg 級優勝
19	体育専門学群 (2年次) うちお まこ 内尾 真子	第4条 第1項 第2号	2015 ユニバーシアード競技大会柔道競技 52kg 級優勝

(団体)

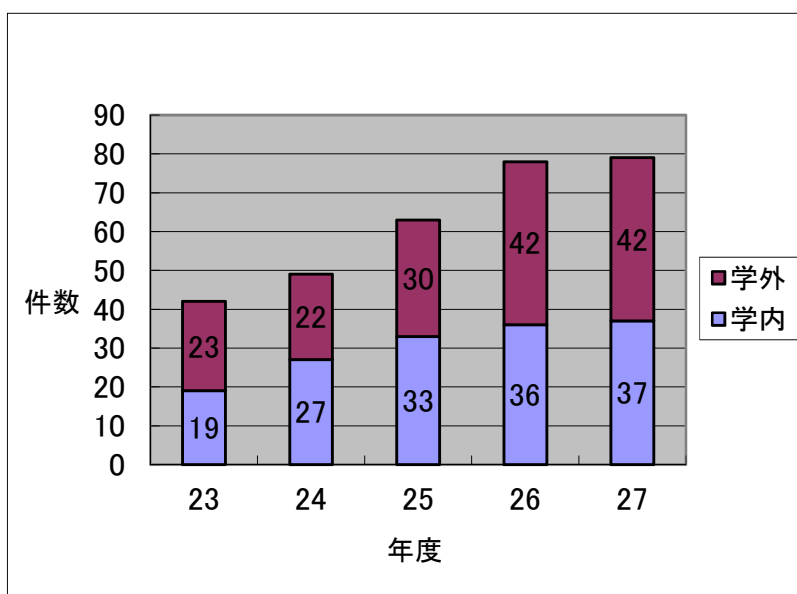
No.	団体名称	適用 条項	表彰に価する行為
1	男子バスケットボール部 代表 体育専門学群(4年次) こまつ まさき 小松 雅輝	第4条 第1項 第2号	第67回全日本大学バスケットボール選手権大会優勝 (2年連続3回目)
2	女子バスケットボール部 代表 体育専門学群(4年次) ふじおか まなみ 藤岡 麻菜美	第4条 第1項 第2号	第67回全日本大学バスケットボール選手権大会優勝 (6年ぶり10回目)
3	バドミントン部 代表 体育専門学群(4年次) わたや しおり 綿矢 汐里	第4条 第1項 第2号	第66回全日本学生バドミントン選手権大会 女子団体優勝(2連覇)
4	柔道部 代表 体育専門学群(4年次) ながせ たかのり 永瀬 貴規	第4条 第1項 第2号	平成27年度全日本学生柔道大会優勝
5	剣道部 代表 体育専門学群(4年次) たけのうち ゆうや 竹ノ内 佑也	第4条 第1項 第2号	第63回全日本学生剣道大会優勝

6	<p>ダンス部 代表 体育専門学群(4年次)</p> <p>えがみ まあや 江上 万絢</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>第28回全日本高校・大学ダンスフェスティバル文部科学大臣賞</p>
7	<p>水泳部飛込部門 代表 体育専門学群(4年次)</p> <p>やました らんな 山下 藍奈</p>	<p>第4条 第1項 第2号</p>	<p>第91回日本学生選手権水泳競技大会飛込競技 女子団体優勝</p>

(2) 学生の懲戒



(3) 学生の交通事故



(4) 福利厚生施設

場 所	業 種	席数
第一エリア	食堂	232
	喫茶	82
	書籍・文具	
	パン販売	
	自動販売機	
第二エリア	食堂	336
	小食堂	64
	喫茶	72
	書籍・文具	
	パン販売	
	自動販売機	
第三エリア	食堂	138
	フードコート	285
	そば・うどん	
	カレー	
	中華	
	和食	
	喫茶	
	書籍・文具	
	食品・日用雑貨	
	パン販売	
	自動販売機	
銀行キャッシュコーナー		
(総合研究棟B)	パン販売	
医学エリア	食堂	200
	特別食堂	40
	喫茶	36
	書籍・文具	
	食品・日用雑貨	
	パン販売	
	自動販売機	
(4B棟)	パン販売	
	自動販売機	
体育・芸術エリア	食堂(1階)	144
	食堂(2階)	105
	画材・文具	
	喫茶	40
	写真・スポーツ用品	
	パン販売	
	自動販売機	
(総合研究棟D)	パン販売	

場 所	業 種	席数
春日エリア	食堂	188
	書籍・文具	
	自動販売機	
大学会館(本館)	レストラン	150
	大学オリジナルグッズ	
	自動販売機	
大学会館(別館)	郵便局	
	郵便局キャッシュコーナー	
	書籍・文具	
	食品・日用雑貨	
	画材等	
	トラベルサービス	
	銀行キャッシュコーナー	
自動販売機		
本部棟	レストラン	52
	パン販売	
	自動販売機	
中央図書館	コーヒーショップ	36
	銀行キャッシュコーナー	
平砂学生宿舎	食堂	180
	電化製品	
	理容	
	浴場	
	自動販売機	
追越学生宿舎	電化製品	
	美容	
	自動販売機	
一の矢学生宿舎	食品・日用品雑貨	
	電化製品	
	理容	
	シャワー室	
	自動販売機	

(5) 奨学生数

ア 日本学生支援機構奨学生

(ア) 学群

(平成28年3月1日現在)

学群 ・ 学類		学生数	第一種	第二種	併用	計	比率 (%)
人文・文化学群	人文学類	528	69	66	19	154	29.2
	比較文化学類	353	57	46	12	115	32.6
	日本語・日本語文化学類	182	27	27	2	56	30.8
	小計	1,063	153	139	33	325	30.6
社会・国際学群	社会学類	377	36	48	10	94	24.9
	国際総合学類	364	49	59	9	117	32.1
	小計	741	85	107	19	211	28.5
人間学群	教育学類	152	21	17	9	47	30.9
	心理学類	209	35	29	5	69	33.0
	障害科学類	150	28	16	5	49	32.7
	小計	511	84	62	19	165	32.3
生命環境学群	生物学類	342	35	43	9	87	25.4
	生物資源学類	531	67	53	7	127	23.9
	地球学類	216	22	33	4	59	27.3
	小計	1,089	124	129	20	273	25.1
理工学群	数学類	170	29	20	7	56	32.9
	物理学類	255	39	27	12	78	30.6
	化学類	212	35	26	3	64	30.2
	応用理工学類	522	78	63	8	149	28.5
	工学システム学類	573	63	62	20	145	25.3
	社会工学類	518	61	82	17	160	30.9
	小計	2,250	305	280	67	652	29.0
情報学群	情報科学類	385	55	36	18	109	28.3
	情報メディア創成学類	250	40	21	6	67	26.8
	知識情報・図書館学類	464	52	51	14	117	25.2
	小計	1,099	147	108	38	293	26.7
医学群	医学類	730	50	75	21	146	20.0
	看護学類	309	46	40	12	98	31.7
	医療科学類	159	20	20	4	44	27.7
	小計	1,198	116	135	37	288	24.0
体育専門学群	1,044	148	208	55	411	39.4	
芸術専門学群	473	74	78	17	169	35.7	
合計	9,468	1,236	1,246	305	2,787	29.4	

(注) 1. 学生数は、外国人留学生を除いた数である。

2. 平成27年度の貸与月額は、次のとおりである。

第一種 (自宅外通学) 51,000円

第一種 (自宅通学) 45,000円

第二種 30,000円, 50,000円, 80,000円, 100,000円, 120,000円からの選択制

(イ) 大学院

(平成28年3月1日現在)

課程・研究科	学生数	奨学生数				比率 (%)	
		第一種	第二種	併用	計		
一貫制 修士課程 (修士相当) ・ 博士前期	教育研究科	195	59	5	1	65	33.3
	人文社会科学研究科	127	41	7	0	48	37.8
	ビジネス科学研究科	368	3	11	4	18	4.9
	数理物質科学研究科	529	220	23	11	254	48.0
	システム情報工学研究科	772	316	19	29	364	47.2
	生命環境科学研究科	461	190	8	8	206	44.7
	人間総合科学研究科	881	252	19	29	300	34.1
	図書館情報メディア研究科	86	26	2	4	32	37.2
	グローバル教育院	17	1	0	0	1	5.9
	小計	3,436	1,108	94	86	1,288	37.5
博士 後期 課程 ・ (医学) 一貫制 博士相当	人文社会科学研究科	205	36	6	3	45	22.0
	ビジネス科学研究科	134	0	0	0	0	0.0
	数理物質科学研究科	169	53	0	1	54	32.0
	システム情報工学研究科	156	30	1	3	34	21.8
	生命環境科学研究科	235	49	1	4	54	23.0
	人間総合科学研究科	846	129	3	7	139	16.4
	図書館情報メディア研究科	73	5	0	2	7	9.6
	グローバル教育院	19	0	0	0	0	0.0
	小計	1,837	302	11	20	333	18.1
合計	5,273	1,410	105	106	1,621	30.7	

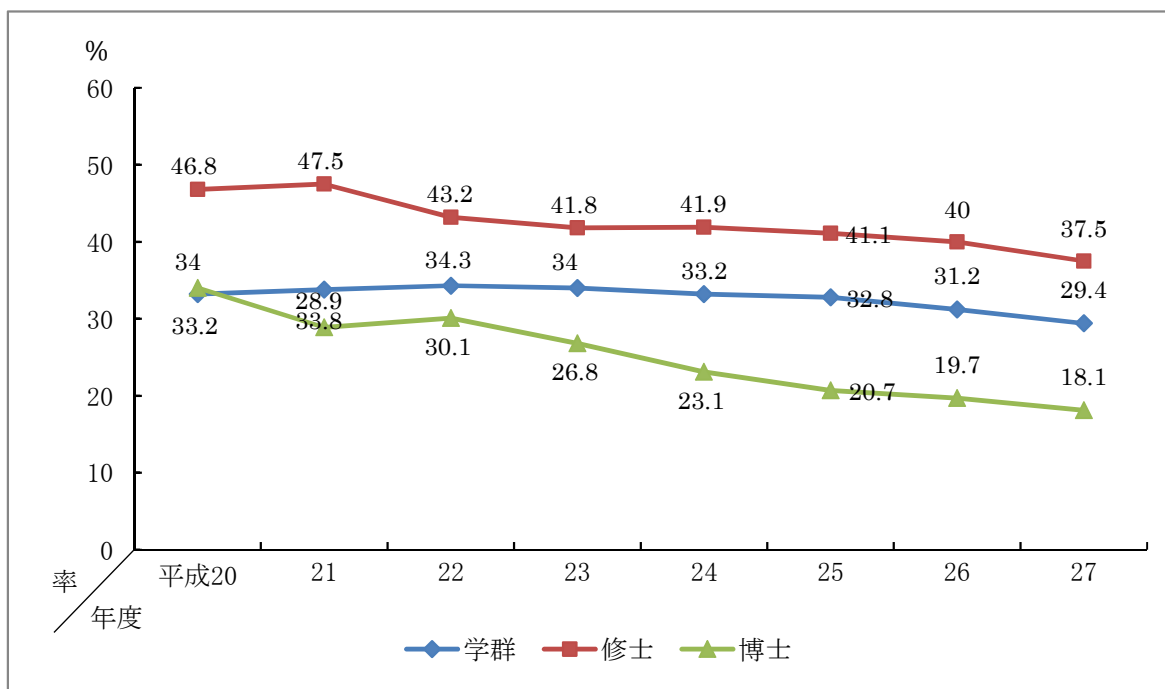
(注) 1. 学生数は、外国人留学生を除いた数である。

2. 専門職学位課程は、修士課程に含む。

3. 平成27年度の貸与月額は、次のとおりである。

第一種 (修士課程・博士前期課程)	1・2年	50,000円・88,000円からの選択制
第一種 (一貫制博士課程)	1・2年	50,000円・88,000円からの選択制
第一種 (一貫制博士課程)	3～5年	80,000円・122,000円からの選択制
第一種 (博士後期課程・博士医学課程)	1～4年	80,000円・122,000円からの選択制
第二種		50,000円, 80,000円, 100,000円, 130,000円, 150,000円からの選択制

(ウ) 奨学生比率の推移



イ 地方公共団体・民間育英団体奨学生

(平成28年3月1日現在)

奨学団体	学 群						大 学 院						合 計	
	給 与		貸 与		小 計		給 与		貸 与		小 計		団体数	奨学生数
	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数	団体数	奨学生数		
地方公共団体	0	0	14	24	14	24	0	0	0	0	0	0	14	24
民間育英団体	30	69	8	11	38	80	26	55	5	7	31	62	69	142
合 計	30	69	22	35	52	104	26	55	5	7	31	62	83	166

(6) アルバイト

職 種	求人件数
家庭教師	66
塾講師	105
語学教師	6
一 般	953
合 計	1,130

(7) 学生団体数及び加入者数

平成27年6月1日現在
* ()内は前年同月の数

系別	課外活動団体		一般学生団体		計	
	団体数	加入者数	団体数	加入者数	団体数	加入者数
文化系	41 (43)	1,497 (1,540)	50 (54)	1,215 (1,353)	91 (97)	2,712 (2,893)
体育系	77 (76)	3,221 (3,163)	33 (36)	1,882 (1,742)	110 (112)	5,103 (4,905)
芸術系	33 (34)	1,704 (1,703)	9 (6)	208 (137)	42 (40)	1,912 (1,840)
合 計	151 (153)	6,422 (6,406)	92 (96)	3,305 (3,232)	243 (249)	9,727 (9,638)

- (注) 1. 課外活動団体：学長が認定した学生団体のうち、援助・育成に値するもの
2. 一般学生団体：学長が認定した学生団体のうち、課外活動団体以外のもの

(8) 課外活動団体の主な成績

【文化系】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
アマチュア無線クラブ	第57回ALLJAコンテスト	JRIZTT	8位	電信電話部門
E.S.S.	大木杯争奪全日本大学生 英語弁論大会	久保貴嗣	2位	
池坊華道部	第17回学校華道 インターネット花展	藤井友夏里	読売新聞社賞	
囲碁部	関東学生囲碁連盟 団体対抗戦	団体	3部3位	
歌留多部	全国職域学生かるた大会	団体	5位	
斬桐舞	YOSAKOIソーラン祭り U-40大会	団体	10位入賞	
将棋部	関東大学将棋連盟 春季団体戦	団体	4位	B1級
つくば鳥人間の会	第38回鳥人間コンテスト	団体	準優勝	タイムトライアル部門

【芸術系】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
吹奏楽団	第55回茨城県吹奏楽コンクール	団体	金賞	
	第21回東関東吹奏楽コンクール	団体	銅賞	
	第50回茨城県アンサンブルコンテスト	バリチューバ 四重奏	銅賞	
津軽三味線倶楽部 無絃塾	民謡民舞全国大会	団体	出場	
THK 筑波放送協会	第32回NHK全国大学放送コンテスト	団体	2位	ラジオドラマ部門
舞踏研究会	第60回全日本学生競技ダンス選手権大会	萩生田・村田	W7位	
		中野・三上	Q2位	
	第60回東部日本学生競技ダンス選手権大会 II部戦	萩生田・村田	W3位 F6位	
		森・竹内	Q13位	
		鈴木・苗	R11位 P8位	

【体育系・部会】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
アーチェリー部	関東学生アーチェリーリーグ戦	男子	1部昇格	
合気道部	第53回全日本合気道演武大会	団体	参加	※順位は出ない
男子アイスホッケー部	関東国公立アイスホッケーリーグ戦	団体	優勝	
	平成27年度関東大学アイスホッケーリーグ戦 テレビジョンII	団体	準優勝	
女子アイスホッケー部	茨城県民総合体育大会	団体	Cグループ 1位	
	茨城新聞社杯	団体	Cグループ 1位	
アメリカンフットボール部	関東学生アメリカンフットボール秋季リーグ戦	団体	2部7位	

オリエンテーリング部	第41回全日本オリエンテーリング大会	田中基成	5位	M20E
		鈴木直美	6位	W20E
	第8回全日本スプリントオリエンテーリング大会	宮田優花	2位	WEB
		直井萌香	4位	WEB
空手道部	第58回関東大学空手道選手権大会 団体組手	男子	2部3位	
剣道部	第63回全日本学生剣道優勝大会	団体	優勝	2年ぶり12回目
	第63回全日本学生剣道選手権大会	林田匡平	優勝	
	第16回世界剣道選手権大会	団体	優勝	
	第16回世界剣道選手権大会	男子団体	優勝	
		竹ノ内佑也	2位	
硬式庭球部	関東大学テニスリーグ	男子	2部3位	
		女子	1部4位	
	東京有明国際女子オープン2015	牛島里咲	優勝	
硬式野球部	首都大学野球連盟秋季リーグ戦	団体	3位	
	関東甲信越大学体育大会	団体	優勝	
サイクリング部	全日本学生RCS第15戦	大平哲也	C3A3位	
	全日本学生RCS第5戦	當銘幸貴	女子3位	
蹴球部	関東甲信越大学体育大会	団体	優勝	
	関東大学サッカートーナメント大会兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント	団体	準優勝	
女子サッカー部	第23回全国大学女子サッカー つくばフェスティバル	団体	優勝	
	関東Liga Student 2015	団体	優勝	
柔道部	全日本学生柔道優勝大会	男子	優勝	国立大学初
		女子	3位	
	全国国立大学柔道優勝大会	団体	優勝	
	2015夏期ユニバーシアード競技大会	女子団体	優勝	
		津金恵	優勝	63kg級
	2015アスタナ世界柔道選手権大会	内尾真子	優勝	52kg級
		男子団体	優勝	
	2015アスタナ世界柔道選手権大会	永瀬貴規	優勝	81kg級
		全日本学生柔道体重別選手権大会	内尾真子	優勝
全日本選抜柔道体重別選手権大会	永瀬貴規	優勝	81kg級	
講道館杯全日本柔道体重別選手権大会	能智亜衣美	優勝	63kg級	
準硬式野球部	東都大学秋季リーグ	団体	2部4位	
少林寺拳法部	全日本学生大会	団体	参加	

水泳部	第91回日本学生選手権水泳競技大会(水球)	男子	3位	
	第91回日本学生選手権水泳競技大会(飛込)	女子	優勝	
	第61回全国国公立大学選手権水泳競技大会	男子	優勝	
		女子	優勝	
	第88回関東学生選手権水泳競技大会	女子	2位	
		男子	3部優勝	2部昇格
	第91回日本選手権水泳競技大会	金子雅紀	2位	100m、200m 背泳
	東京都新春水泳競技会	金子雅紀	短水路 日本新記録	男子200m背泳
2016 Perth Aquatic Super Series 3カ国対抗戦	金子雅紀	優勝	男子200m外レーリレー(1泳)	
スキー部	第36回全日本スキー選手権大会	尾登可南太	3位	フリースタイル競技 デュアルモーグル種目
	十大戦スキー大会 大回転	伊藤あずさ	優勝	
漕艇部	第37回全日本軽量級選手権大会	女子ダブルスカル	優勝	木村、小原
	第65回東日本選手権競漕大会	男子シングルスカル	優勝	越智
	第93回全日本選手権大会	男子シングルスカル	2位	越智
	第56回全日本新人選手権大会	女子ダブルスカル	優勝	小原、棚橋
男子ソフトボール部	第10回関東学生男子ソフトボール春季リーグ戦	団体	3部優勝	
女子ソフトボール部	第10回関東学生ソフトボール春季リーグ戦	団体	3部2位	
	第15回関東学生ソフトボール秋季リーグ戦	団体	3部2位	
体操部	第11回全日本学生ラート競技選手権大会	団体	2位 3位	Aチーム Bチーム
		佐々木大地	1位	男子個人総合
		北島瑛二	1位	男子直転
		杉浦舞	2位	女子個人総合
	1位		女子直転、女子斜転	
	第21回全日本ラート競技選手権大会	松浦佑希	1位	女子個人総合、女子跳躍
			2位	女子直転、女子斜転
		堀口文	2位	女子個人総合、女子跳躍
1位			女子直転	
体操競技部	2015クロアチア国際	宮地秀享	3位	種目別 平行棒
	第22回体操国際トーナメント「ミハイル・ボロニンカップ」	井上和佳奈	3位	シニア 個人総合
	第64回関東甲信越大学体育大会	男子	1位	団体総合
		女子	1位	団体総合
		樋口和真	1位	
		大久保結唯	2位	

卓球部	第85回全日本大学総合卓球選手権大会	男子 女子	ベスト16 ベスト16	団体の部
	春季関東学生卓球リーグ戦	男子 女子	2部1位 2部3位	
ダンス部	第28回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)	団体	文部科学大臣賞	2年ぶり11回目
トライアスロン部	第29回潮来トライアスロン全国大会	藤田すみれ	優勝	
軟式庭球部	関東学生ソフトテニス春季リーグ	男子	4部2位	
		女子	3部3位	
馬術部	関東学生馬術争覇戦	団体	優勝	III部リーグ 個人MVP米津壮二
男子バスケットボール部	第67回全日本大学バスケットボール選手権大会	団体 馬場雄大 生原秀将 杉浦佑成	優勝 最優秀選手賞 優秀選手賞 優秀選手賞	2年連続3回目 アシスト王
	第91回関東大学バスケットボールリーグ戦	団体	3位	
女子バスケットボール部	第67回全日本大学バスケットボール選手権大会	団体 藤岡麻菜美 谷村里佳 松本愛美	優勝 最優秀選手賞 優秀選手賞 優秀選手賞	6年ぶり10回目 アシスト王 リバウンド王
	第49回関東大学女子バスケットボール選手権大会	団体	2位	
バドミントン部	第66回全日本学生バドミントン選手権大会	女子団体	優勝	2連覇
		加藤・柏原	優勝	女子ダブルス
		大久保敦美	3位	女子シングルス
	ユニバーシアード競技大会	加藤・柏原	3位	個人戦女子ダブルス
	第58回東日本学生バドミントン選手権大会	女子団体	優勝	
		加藤・柏原	優勝	女子ダブルス
	2015年度関東大学バドミントン 春季リーグ戦	女子団体	1部1位	
		男子団体	2部3位	
2015年度関東大学バドミントン 秋季リーグ戦	女子団体	1部1位		
	男子団体	2部1位		
男子バレーボール部	ミキブルーンスーパーカレッジバレー2015全日本大学バレーボール選手権大会	団体	準優勝	
	平成27年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦	団体	1部5位	
女子バレーボール部	関東大学バレーボール春季リーグ戦	団体	優勝	
	関東大学バレーボール秋季リーグ戦	団体	優勝	
	第34回東日本大学バレーボール選手権大会	団体	3位	

男子ハンドボール部	全日本学生ハンドボール選手権大会	団体	3位	
	関東学生ハンドボール秋季リーグ戦	団体	優勝	
女子ハンドボール部	全日本学生ハンドボール選手権大会	団体	3位	
	関東学生ハンドボール春季リーグ戦	団体	優勝	
フイールドホッケー部	関東学生ホッケー春季リーグ	団体	オープン参加	
ヨット部	平成27年秋季関東学生ヨット選手権大会	団体	13位	470級予選
ライフセービング部	全日本ライフセービングプール競技選手権	笹森・浅岡 有賀	6位	SERC
		有水理菜	3位	女子ラインスロー
ライフル射撃部	第46回国公立大学ライフル射撃大会	谷本千周	5位	10mピストルライフル立射 40発
ラグビー部	第51回全国大学ラグビーフットボール選手権大会	団体	準優勝	
	関東大学春季大会	団体	2位	
男子ラクロス部	第28回関東学生ラクロスリーグ戦	団体	3部1位	
女子ラクロス部	第28回関東学生ラクロスリーグ戦	団体	3部3位	
陸上競技部	第99回日本陸上競技選手権大会兼第15回世界陸上競技選手権大会代表選手選考競技会	平松祐司	3位	男子走高跳
		平野綾子	3位	女子800m
	天皇賜盃第84回日本学生陸上競技対校選手権大会	女子総合	2位	
		保坂雄志郎	1位	男子ハンマー投
		榎本優子	1位	女子棒高跳

【体育系・同好会】

団体名	競技会等名称・種目	団体・個人名等	成績	備考
アメリカンフットボール同好会	関東学生フットボールクラブ連盟バイオニアリーグ リバティDiv. 1部	団体	6位	
剣道同好会	第64回関東甲信越大学体育大会	青木友哉 大瀧雅士 浅野和花奈	男子個人3位 男子個人ベスト8 女子個人ベスト16	
サッカー同好会	スポーツマネジメント 夏の陣in草津	Aチーム Bチーム	優勝 4位	
バスケットボール同好会	茨城県社会人大会	団体	4部5位	男子
バドミントン同好会	第1回UBFオープン戦	越智・皆川	優勝	1部、男子
		谷口・小関	準優勝	1部、女子
バレーボール同好会	秋季理工系リーグ	団体	2部昇格	
ハンドボール同好会	関東ハンドボール同好会秋季リーグ	団体	4位	
フェアリースキークラブ	ハンターズカップ2015 スキーテクニカル選手権	石井太知	2位	一般男子A
トランポリン同好会	第50回全日本学生トランポリン競技選手権大会	水谷一波	決勝9位	Cクラス男子

医学アイスホッケー部	関東医科歯科リーグ有山杯	団体	優勝	
	第58回東日本医科学生総合体育大会	団体	準優勝	
医学空手道部	平成27年度茨城県民総合体育大会	古城知祥 山田修三 横山広真	準優勝 3位 優勝	男子有段B形 男子有段B形,組手 男子有級B形
医学弓道部	第108回関東医科学生弓道大会	団体	準優勝	
		大久保耀生	優勝	
	第11回花弓会	団体	準優勝	
		千葉大幹	優勝	
医学剣道部	関東医療系大学剣道大会	男子団体	3位	
	第58回東日本医科学生総合体育大会	団体	ベスト8	
医学硬式庭球部	関東看護学生硬式庭球大会	男子 女子	準優勝 3位	
	関東医科歯科リーグ(1部)	男子 女子	優勝 4位	
医学ゴルフ部	全日本医科大学ゴルフ連盟 秋季連盟戦	男子 女子団体 熊田純子	5位 4位 6位	
医学サッカー部	関東医歯薬獣大学サッカー	団体	優勝	春季リーグ
	東日本国公立医科学生サッカー大会	団体	優勝	
医学準硬式野球部	関東医科リーグ 春期大会	団体	準優勝	1部リーグ
	第58回東日本医科学生総合体育大会	団体	ベスト8	
医学水泳部	第58回東日本医科学生総合体育大会	安心院千裕	1位	女子50m平泳ぎ
	第64回関東甲信越大学体育大会	山下雄大	1位	男子100m平泳ぎ 男子50m平泳ぎ
医学スキー部	第58回東日本医科学生総合体育大会	寺門咲歩	2位	女子SL
医学ソフトテニス部	秋季看学戦	廣木・大内	ベスト8	女子ダブルス
医学卓球部	春季関東医科学生卓球大会	男子団体	2位	
医学バドミントン部	関東医科リーグ	男子団体	3位	
医学バレーボール部	秋季関東看護リーグ	団体	準優勝	
	関東医歯薬女子バレーボール大会	団体	3位	
医学ハンドボール部	関東医師薬獣系大学秋季大会	男子	5位	
	関東医師薬獣系大学春季大会	女子	6位	
医学ヨット部	関東医科歯科学生ヨットレース	団体	1位	
	関東医科歯科学生ヨットレース	樋口・小林	2位	
医学ラグビー部	第63回関東医歯薬大学ラグビーリーグ	団体	優勝	1部リーグ
	第64回関東甲信越大学体育大会	団体	準優勝	Bブロック
医学陸上競技部	第58回東日本医科学生総合体育大会	男子団体	総合優勝	
		女子団体	フィールド優勝	

(9) 就職等

ア 国家試験等

(ア) 医師国家試験

第110回医師国家試験

試験日	平成28年2月6日(土)～8日(月)
受験者数	118名
合格者数	111名
合格率(%)	94.1%

[過去5年の合格率の推移]

第106回	第107回	第108回	第109回	第110回
98.0%	96.3%	99.0%	96.2%	94.1%

(イ) 司法試験

年度	受験者	短答式筆記試験合格者	最終合格者	合格率(%)
27	72	44	9	12.5%

(ウ) 国家公務員採用総合職試験

平成27年度試験結果				
試験区分		志願者数	一次合格者数	最終合格者数
行政	院卒	12 (5)	1 (0)	0 (0)
政治・国際	大卒	15 (8)	4 (0)	0 (0)
法律	大卒	43 (17)	3 (1)	0 (0)
経済	大卒	13 (1)	6 (1)	3 (1)
人間科学	院卒	9 (5)	5 (4)	5 (4)
	大卒	12 (8)	1 (0)	1 (0)
工学	院卒	21 (0)	10 (0)	6 (0)
	大卒	17 (1)	3 (0)	2 (0)
数理学・物理・地球科学	院卒	9 (2)	2 (0)	0 (0)
	大卒	4 (1)	2 (1)	2 (1)
化学・生物・薬学	院卒	14 (10)	0 (0)	0 (0)
	大卒	7 (5)	1 (1)	0 (0)
農業科学・水産	院卒	5 (1)	2 (0)	0 (0)
	大卒	5 (4)	2 (1)	0 (0)
農業農村工学	院卒	1 (0)	1 (0)	0 (0)
	大卒	1 (1)	0 (0)	0 (0)
森林・自然環境	院卒	5 (2)	2 (1)	2 (1)
	大卒	7 (6)	1 (0)	1 (0)
合計		200 (77)	46 (10)	22 (7)
合格率			23.00%	11.00%

前年度試験結果				
試験区分		志願者数	一次合格者数	最終合格者数
行政	院卒	10 (3)	2 (0)	0 (0)
政治・国際	大卒	23 (12)	1 (0)	1 (0)
法律	大卒	45 (19)	5 (1)	2 (1)
経済	大卒	15 (3)	5 (0)	0 (0)
人間科学	院卒	8 (5)	2 (2)	2 (2)
	大卒	11 (5)	2 (1)	1 (0)
工学	院卒	15 (2)	3 (0)	0 (0)
	大卒	11 (3)	4 (0)	1 (0)
数理学・物理・地球科学	院卒	8 (1)	2 (0)	1 (0)
	大卒	8 (2)	3 (1)	1 (1)
化学・生物・薬学	院卒	12 (6)	2 (0)	2 (0)
	大卒	3 (1)	0 (0)	0 (0)
農業科学・水産	院卒	3 (2)	1 (0)	1 (0)
	大卒	9 (5)	4 (2)	3 (1)
農業農村工学	院卒	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	大卒	3 (1)	0 (0)	0 (0)
森林・自然環境	院卒	7 (2)	5 (2)	2 (0)
	大卒	5 (4)	2 (2)	1 (1)
合計		196 (76)	43 (11)	18 (6)
合格率			21.94%	9.18%

注) 人事院からの資料に基づき集計したもので、既卒者を含み、()内は女子を内数で示す。

[過去5年の合格状況の推移]

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
志願者数	282	245	193	196	200
合格者数	21	7	17	18	22

(エ) 地方公務員上級採用試験

都道府県	受験者	合格者	都道府県	受験者	合格者
北海道	不開示	0	山口県	5	3
青森県	3	3	徳島県	不開示	不開示
岩手県	1	1	香川県	不開示	不開示
宮城県	5	0	愛媛県	不開示	不開示
秋田県	4	2	高知県	0	0
山形県	1	0	福岡県	4	4
福島県	8	5	佐賀県	1	0
茨城県	77	14	長崎県	0	0
栃木県	16	3	熊本県	3	0
群馬県	12	2	大分県	3	1
埼玉県	不開示	4	宮崎県	4	1
千葉県	不開示	4	鹿児島県	2	1
東京都	不開示	15	沖縄県	不開示	不開示
神奈川県	16	5	札幌市	不明	不明
新潟県	不開示	2	仙台市	1	0
富山県	6	0	さいたま市	不開示	5
石川県	0	0	千葉市	4	2
福井県	1	0	特別区	不開示	不開示
山梨県	不開示	1	横浜市	30	15
長野県	不開示	2	川崎市	6	2
静岡県	14	5	相模原市	4	1
愛知県	9	5	新潟市	不開示	不開示
岐阜県	1	1	静岡市	4	2
三重県	3	1	浜松市	不明	不明
滋賀県	1	0	名古屋市	不明	不開示
京都府	1	1	京都市	0	0
大阪府	1	1	大阪市	不開示	不開示
兵庫県	1	0	堺市	不開示	不開示
奈良県	0	0	神戸市	1	0
和歌山県	1	1	岡山市	2	0
鳥取県	2	0	広島市	不明	不明
島根県	不開示	0	北九州市	1	1
岡山県	不開示	0	福岡市	不明	不明
広島県	不開示	0			
			合計	259	116
			昨年度	326	120

注) 1 重複受験者及び重複合格者を含む。

注) 2 各都道府県市人事委員会への照会を集計したものである。

注) 3 既卒者を含む。

[過去5年の合格者数の推移]

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
122	189	107	120	116

(オ)公立学校教員採用試験

都道府県名	受験者	合格者	都道府県名	受験者	合格者
北海道	9	4	広島県	14	6
青森県	7	0	山口県	3	0
岩手県	11	1	徳島県	3	0
宮城県	15	4	香川県	12	0
秋田県	16	4	愛媛県	6	5
山形県	不開示	1	高知県	1	0
福島県	不開示	0	福岡県		1
茨城県	135	51	佐賀県	4	2
栃木県	26	3	長崎県	13	3
群馬県	24	5	熊本県	13	3
埼玉県	43	11	大分県		0
千葉県	69	17	宮崎県	10	2
東京都	123	24	鹿児島県	14	3
神奈川県	39	6	沖縄県	14	1
新潟県	不開示	0	札幌市	1	0
富山県	5	1	仙台市	宮城県と共同実施	0
石川県	不開示	0	さいたま市	1	0
福井県	10	4	千葉市	千葉県と共同実施	0
山梨県	8	2	横浜市	14	5
長野県	22	12	川崎市	3	1
静岡県	22	8	相模原市	3	0
愛知県	不開示	5	新潟市	0	0
岐阜県	14	5	静岡市	1	0
三重県	6	1	浜松市	0	0
滋賀県	5	1	名古屋市	6	2
京都府	10	2	京都市	1	0
大阪府	不明	0	大阪市	4	0
兵庫県	11	1	堺市	2	0
奈良県	13	1	神戸市	6	1
和歌山県	10	3	岡山市	岡山県と共同実施	0
鳥取県	4	0	広島市	広島県と共同実施	0
島根県	不開示	0	北九州市	1	0
岡山県	17	3	福岡市	不開示	0
			大阪府豊能地区	0	0
			合計	824	215
			昨年度	842	227

注)1 重複受験者及び重複合格者を含む。

注)2 各都道府県市教育委員会へ照会した結果を集計したものである。

注)3 既卒者を含む。

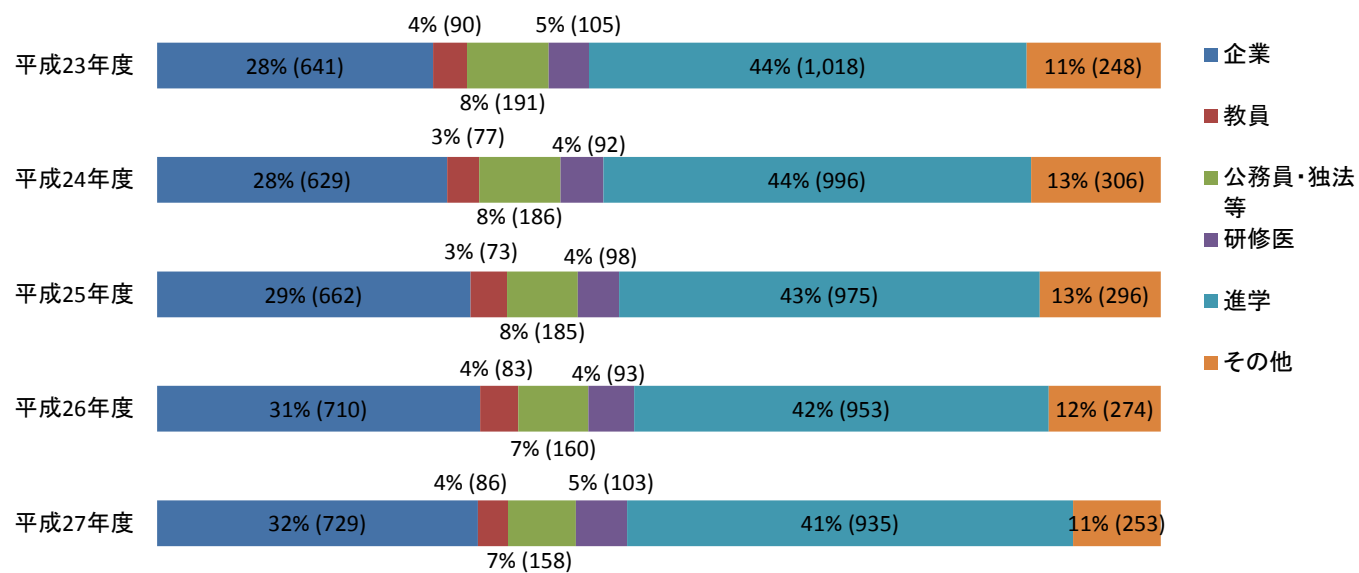
〔過去5年の合格者数の推移〕

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
262	261	273	227	215

イ 就職

(ア)学 群

① 進路(就職)の推移



② 平成27年度学群・学類卒業生進路状況

(平成28年5月1日現在)

学群・学類	卒業生	進学者	就職者	就職者の内訳					その他	
				企業	教員	公務員	独法等	研修医	研究生等・留学	資格・試験等準備 他
人文・文化学群	人文学類	118 (52)	21 (8)	81 (39)	51 (24)	8 (4)	22 (11)			16 (5)
	比較文化学類	78 (54)	17 (12)	51 (38)	38 (28)	1	11 (9)	1 (1)		10 (4)
	日本語・日本文化学類	43 (34)	3 (1)	28 (24)	22 (18)	3 (3)	2 (2)	1 (1)		12 (9)
社会学群・国際	社会学類	87 (27) [4] <3>	7 (4)	63 (17) [1]	44 (11) [1]		18 (5)	1 (1)		17 (6) [3] <3>
	国際総合学類	76 (43) [7] <2>	14 (6) [4] <1>	48 (27) [1]	43 (24) [1]	1 (1)	3 (2)	1		14 (10) [2] <1>
人間学群	教育学類	33 (14)	12 (6)	13 (4)	5 (1)	4 (1)	4 (2)			8 (4)
	心理学類	44 (28) [1]	11 (6) [1]	23 (16)	19 (13)		4 (3)			10 (6)
	障害科学類	41 (29)	11 (8)	25 (17)	13 (9)	4 (4)	8 (4)		1	4 (4)
生命環境学群	生物学類	82 (39) [5] <3>	65 (26) [3] <2>	13 (10) [1] <1>	13 (10) [1] <1>					4 (3) [1]
	生物資源学類	139 (76) [12] <6>	106 (56) [11] <6>	23 (14)	18 (10)		5 (4)			10 (6) [1]
	地球学類	46 (13) [1]	31 (9) [1]	15 (4)	11 (2)		4 (2)			
理工学群	数学類	36 (2) [1]	21 (1)	13 (1)	9	3 (1)		1		2 [1]
	物理学類	56 (3) [1]	46 (2) [1]	8 (1)	5 (1)	1	2			2
	化学類	55 (14)	47 (11)	7 (2)	5	1 (1)	1 (1)			1 (1)
	応用理工学類	130 (14) [12] <4>	111 (10) [9] <3>	13 (3)	9 (3)	1	3			6 (1) [3] <1>
	工学システム学類	138 (13) [5]	125 (12) [3]	10 (1)	7 (1)		3			3 [2]
	社会工学類	116 (26) [4] <3>	57 (13) [1] <1>	53 (12) [2] <1>	47 (10) [2] <1>		5 (1)	1 (1)		6 (1) [1] <1>
情報学群	情報科学類	89 (5) [1]	58 (3) [1]	30 (2)	28 (2)		2			1
	情報メディア創成学類	61 (13)	40 (6)	16 (6)	16 (6)				1	4 (1)
	知識情報・図書館学類	112 (58)	28 (10)	75 (45)	54 (28)		16 (13)	5 (4)		9 (3)
医学群	医学類	113 (35)		112 (35)	1 (1)				111 (34)	1
	看護学類	77 (72)	13 (11)	60 (57)	48 (45)	2 (2)	10 (10)		1 (1)	3 (3)
	医療科学類	39 (26) [1] <1>	25 (16) [1] <1>	13 (10)	13 (10)					1
体育専門学群	255 (75)	68 (24)	172 (48)	133 (31)	28 (14)	11 (3)			5 (1)	10 (2)
芸術専門学群	119 (103) [1]	33 (28)	57 (53)	46 (43)	9 (8)	2 (2)			3 (3)	26 (19) [1]
新組織 小計	2,183 (868) [56] <22>	970 (289) [36] <14>	1,022 (486) [5] <2>	698 (331) [5] <2>	66 (39)	136 (74)	11 (8)	111 (34)	11 (5)	180 (88) [15] <6>

学群・学類	卒業者	進学者	就職者	就職者の内訳					その他		
				企業	教員	公務員	独法等	研修医	研究生等・留学	資格・試験等準備 他	
第一学群	人文学類										
	社会学類										
	自然科学類										
第二学群	比較文化学類										
	日本語・日本文化学類										
	人間学類										
	生物学類										
	生物資源学類										
第三学群	社会工学類										
	国際総合学類										
	情報学類										
	工学システム学類										
	工学基礎学類										
医学専門学群	医学専門										
	医学類	1 (1)		1 (1)					1 (1)		
	看護・医療科学類										
体育専門学群											
芸術専門学群											
図書館情報専門学群											
旧組織 小計	1 (1)		1 (1)						1 (1)		
学群合計	2,184 (869) [56] (22)	970 (289) [36] (14)	1,023 (487) [5] (2)	698 (331) [5] (2)	66 (39)	136 (74)	11 (8)	112 (35)	11 (5)	180 (88) [15] (6)	

(注) ()内は、女子を内数で示す
[]は、留学生を内数で示す
〈 〉は留学生のうち女子を内数で示す

平成26年度卒業生

学群合計	2,264 (917) [53] (20)	935 (243) [22] (10)	1,076 (542) [8] (2)	729 (377) [8] (2)	86 (43)	128 (67)	30 (18)	103 (37)	12 (5)	241 (121) [14] (6)
------	--------------------------	------------------------	------------------------	----------------------	---------	----------	---------	----------	--------	-----------------------

③ 産業分類別進路状況 (学群)

(平成28年5月1日現在)

学群・学類	企業(自営業を含む)													公務員					合計	平成26年度最終 (同期)
	農業	林業	漁業	鉱業、採石業、 砂利採取業	建設業	製造業	熱供給・水道業	電気・ガス・ 熱供給	運輸・通信業	卸売・小売業・ 飲食店	金融・保険業	不動産業・ 物品賃貸業	サービス業	小計	教員	国家公務員	地方公務員	独立行政法人等		
人文・文化学群	人文学類					9 (4)	1 (1)	4	5 (3)	7 (3)	3 (3)	22 (10)	51 (24)	8 (4)	2 (1)		20 (10)	22 (11)	81 (39)	92 (52)
	比較文化学類					12 (9)		4	4 (2)	7 (6)	3 (3)	8 (5)	38 (28)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	10 (8)	12 (10)	51 (38)	47 (37)
	日本語・日本文化学類					2 (2)		1 (1)	2 (2)	4 (3)	2 (1)	11 (9)	22 (18)	3 (3)		1 (1)	2 (2)	3 (3)	28 (24)	29 (19)
社会・国際学群	社会学類	1			1 (1)	10 (1)		1	4 (1)	11 (3)	3 (1)	13 (5)	44 (11)		7 (4)	1 (1)	11 (1)	19 (6)	63 (17)	73 (30)
	国際総合学類				3 (1)	9 (7)		4 (3)	4	10 (5)	1 (1)	12 (7)	43 (24)	1 (1)	1 (1)	1	2 (1)	4 (2)	48 (27)	78 (47)
人間学群	教育学類					2 (1)						3 (1)	5 (1)	4 (1)			4 (2)	4 (2)	13 (4)	20 (8)
	心理学類					1 (1)	2 (2)		1 (1)	2 (3)		10 (5)	19 (13)		1		3 (3)	2 (3)	23 (16)	28 (18)
	障害科学類					1 (1)		2 (2)		3 (3)	1 (1)	6 (2)	13 (9)	4 (4)	4 (2)		4 (2)	8 (4)	25 (17)	20 (16)
生命環境学群	生物学類				1 (1)	3 (1)	1 (1)		3 (3)	1 (1)		4 (4)	13 (10)						13 (10)	19 (14)
	生物資源学類	1				5 (3)		1 (1)	1 (2)	3 (2)	2 (1)	5 (3)	18 (10)				5 (4)	5 (4)	23 (14)	17 (13)
	地球学類							3 (1)	1	1		6 (1)	11 (2)		1 (1)		3 (1)	4 (2)	15 (4)	14 (8)
理工学群	数学類					1		1		2		5	9	3 (1)		1		1	13 (1)	16 (2)
	物理学類					2 (1)					1	2	5 (1)	1			2	2	8 (1)	9 (2)
	化学類					1			1			3	5	1 (1)			1 (1)	1 (1)	7 (2)	10 (4)
	応用理工学類		1			2 (1)		1		1 (1)		4 (1)	9 (3)	1	2		1	3	13 (3)	16 (4)
	工学システム学類					2 (1)	3		1			1	7 (1)				3	3	10 (1)	11 (1)
情報学群	社会工学類					2 (1)	6	1	1	3 (1)	12 (3)	21 (4)	47 (10)			1 (1)	5 (1)	6 (2)	53 (12)	71 (11)
	情報科学類					5 (1)			1 (1)			22	28 (2)		1		1	2	30 (2)	24 (4)
	情報メディア創成学類					2 (1)		1		1 (1)		12 (4)	16 (6)						16 (6)	28 (12)
医学群	知識情報・図書館学類					7 (3)		4 (1)	4 (1)	2 (2)		37 (21)	54 (28)			5 (4)	16 (13)	21 (17)	75 (45)	70 (47)
	医学類											1 (1)	1 (1)						1 (1)	
	看護学類					1 (1)						47 (44)	48 (45)	2 (2)			10 (10)	10 (10)	60 (57)	68 (67)
体育専門学群	医療科学類					2 (1)						11 (9)	13 (10)						13 (10)	18 (14)
	体育専門学群					3 (10)	38 (15)	2	7 (1)	11 (5)	22 (2)	4 (13)	46 (31)	133 (43)	28 (8)	2	9 (3)	11 (3)	172 (48)	153 (40)
芸術専門学群						15 (15)		3 (3)	4 (4)	2 (2)		22 (19)	46 (43)	9		2 (2)	2 (2)	57 (53)	42 (35)	

学群・学類	企業(自営業を含む)												教員	公務員				合計	
	農業	林業	漁業	鉱業、採石業、 砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・ 飲食店	金融・保険業	不動産業・ 物品賃貸業	サービス業		小計	国家公務員	地方公務員	独立行政法人等		小計
第一学群	人文学類																		
	社会学類																		
	自然科学類																		
第二学群	比較文化学類																		
	日本語・日本文化学類																		
	人間学類																		
	生物学類																		
第三学群	生物資源学類																		
	社会工学類																		
	情報学類																		
	工学システム学類																		
	国際総合学類																		
医学専門学群	工学基礎学類																		
	医学専門																		
	医学類																		
医学専門学群	看護・医療科学類																		
	体育専門学群																		
	芸術専門学群																		
図書館情報専門学群																			
学群合計	2	1			13 (3)	140 (66)	5 (2)	39 (17)	51 (24)	92 (40)	21 (12)	334 (167)	698 (331)	66 (39)	22 (10)	11 (8)	114 (64)	147 (82)	911 (452)

平成26年度最終
(同期)

平成26年度最終 (同期)	2 (2)	1	3 (2)	24 (11)	138 (60)	6 (23)	51 (33)	67 (41)	99 (10)	21 (195)	317 (377)	729 (43)	86 (7)	12 (18)	30 (60)	116 (85)	158 (505)	973 (505)
------------------	----------	---	----------	------------	-------------	-----------	------------	------------	------------	-------------	--------------	-------------	-----------	------------	------------	-------------	--------------	--------------

(注) () 内は女子を内数で示す

(イ) 大学院

① 平成27年度修了者の進路状況

(平成28年5月1日現在)

研究科	修了者	進学者	就職者	就職者の内訳				研究員	その他				
				企業	教員	公務員	独法等		職務復帰	帰国	研究生等・留学	資格・試験等準備等	
修士課程	教 育	90 (29) [1] <1>	5 (1)	51 (16)	8 (2)	40 (13)	3 (1)			12 (6)	1 (1) [1] <1>	1	20 (5)
	人文社会科学 (博士前期課程)	95 (57) [69] <46>	19 (9) [14] <7>	24 (15) [10] <9>	19 (13) [10] <9>	1	3 (1)	1 (1)		6 (2) [5] <2>	35 (25) [35] <25>	1	10 (6) [5] <3>
	ビジネス科学 (博士前期課程)	58 (10)								56 (10)			2
	ビジネス科学 (専門職学位課程)	30 (14)								28 (13)			2 (1)
	数 理 物 質 科 学 (博士前期課程)	268 (35) [18] <6>	39 (3) [7] <2>	206 (26) [5] <1>	196 (25) [5] <1>	8 (1)	2				4 (1) [4] <1>	1	18 (5) [2] <2>
	システム情報工学 (博士前期課程)	457 (60) [92] <34>	17 (5) [7] <5>	407 (44) [62] <19>	395 (41) [62] <19>	1 (1)	7 (1)	4 (1)	1	2 (1)	23 (10) [23] <10>		7
	生命環境科学 (博士前期課程)	252 (105) [58] <29>	31 (10) [15] <6>	164 (68) [8] <6>	139 (58) [7] <6>	2 (2)	20 (8)	3 [1]	2 (1) [2] <1>	7 (4) [4] <2>	27 (12) [27] <12>		21 (10) [2] <2>
	人間総合科学 (修士課程)	93 (46) [19] <14>	19 (11) [11] <8>	35 (15)	35 (15)				1 (1)	28 (11)	7 (6) [7] <6>	1	2 (2) [1]
	人間総合科学 (博士前期課程)	346 (185) [37] <27>	59 (27) [10] <9>	168 (87) [9] <5>	102 (53) [9] <5>	44 (19)	22 (15)		1	57 (36)	18 (13) [18] <13>	3 (2)	40 (20)
	図書館情報メディア (博士前期課程)	46 (21) [8] <5>	10 (3) [3] <1>	33 (16) [4] <3>	25 (13) [4] <3>	3 (1)	5 (2)			1 (1)	1 (1) [1] <1>		1
修士合計	1,735 (562) [302] <162>	199 (69) [67] <38>	1,088 (287) [98] <43>	919 (220) [97] <43>	99 (37)	62 (28)	8 (2) [1]	5 (2) [2] <1>	197 (84) [9] <4>	116 (69) [116] <69>	7 (2)	123 (49) [10] <7>	

(注)1 ()内は女子を内数で示す

2 []は、留学生を内数で示す < >は留学生のうち女子を内数で示す

平成26年度修了者

修士合計	1,716 (554) [311] <157>	246 (70) [62] <32>	1,025 (279) [107] <42>	828 (198) [104] <40>	122 (46)	63 (26) [1] <1>	12 (9) [2] <1>	6 (3)	210 (83) [12] <5>	126 (77) [125] <76>	5 (2)	98 (40) [5] <2>
------	----------------------------	-----------------------	---------------------------	-------------------------	----------	--------------------	-------------------	-------	----------------------	------------------------	-------	--------------------

研究科	修了者	進学者	就職者	就職者の内訳				研究員	博士特別研究員	その他				
				企業	教員	公務員	独法等			職務復帰	帰国	研究生等留学	資格・試験等準備等	
博士課程	人文社会科学 (一貫制博士課程)	22 (14) [4] (2)		4 (4)		2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (2) [1] (1)		2 (1) [2] (1)		12 (6) [1]
	人文社会科学 (博士後期課程)	16 (12) [7] (4)		5 (4) [1] (1)		4 (3)	1 (1) [1] (1)		2 (2) [1] (1)	3 (2) [1]		4 (2) [4] (2)		2 (2)
	ビジネス科学 (博士後期課程)	13 (2)										13 (2)		
	ビジネス科学 (専門職学位課程)	27 (7)										26 (7)		1
	数理工学 (博士後期課程)	55 (6) [14] (6)		22 [2]	18 [2]			4	11 (2) [3] (2)	7 (2) [4] (2)	8 [1]	3 (1) [3] (1)		4 (1) [1] (1)
	数理工学 (3年制博士課程)	11 (1) [10] (1)		5 [4]	3 [2]		1 [1]	1 [1]	3 [3]			3 (1) [3] (1)		
	システム情報工学 (博士後期課程)	54 (6) [13] (4)		18 (3) [4] (1)	14 (3) [3] (1)	1		3 [1]	3 [1]	2 (1) [1] (1)	21	7 (2) [7] (2)		3
	生命環境科学 (一貫制博士課程)	3 [1]								1		1 [1]		1
	生命環境科学 (博士後期課程)	90 (30) [32] (13)		29 (9) [5] (1)	10 (3) [2]	5 (1) [1]	3 (1)	11 (4) [2] (1)	9 (5) [4] (3)	7 (4) [2] (2)	22 (5) [2] (1)	19 (6) [19] (6)		4 (1)
	生命環境科学 (3年制博士課程)	5 (3) [3] (2)									2 (1)	3 (2) [3] (2)		
	人間総合科学 (一貫制博士課程)	53 (20) [3] (2)		32 (14)	22 (8)	6 (3)		4 (3)	4 (1) [2] (1)	1	14 (4) [1] (1)			2 (1)
	人間総合科学 (博士後期課程)	51 (21) [6] (3)		18 (7)	3 (2)	14 (4)		1 (1)	7 (3) [3] (2)	8 (4) [1] (1)	14 (5) [1] (1)	1 [1]		3 (2)
	人間総合科学 (3年制博士課程)	20 (4) [2]		14 (2) [2]	2 [1]	9 (1) [1]		3 (1)	2		2 (1)			2 (1)
	図書館情報メディア (博士後期課程)	5 (2)		1 (1)		1 (1)			1	2 (1)	1			
博士合計	425 (128) [95] (37)		148 (44) [18] (3)	72 (16) [10] (1)	42 (15) [2]	6 (3) [2] (1)	28 (10) [4] (1)	43 (14) [17] (9)	34 (16) [10] (7)	123 (25) [5] (2)	43 (15) [43] (15)		34 (14) [2] (1)	

(注)1 ()内は女子を内数で示す

2 []は、留学生を内数で示す ()は留学生のうち女子を内数で示す

平成26年度修了者

博士合計	431 (136) [104] (43)	1	161 (53) [19] (5)	82 (31) [4] (1)	49 (14) [6] (2)	3 (2)	27 (6) [9] (2)	54 (16) [12] (6)	28 (8) [11] (5)	108 (24) [3]	57 (26) [56] (25)		22 (9) [3] (2)
------	-------------------------	---	----------------------	--------------------	--------------------	-------	-------------------	---------------------	--------------------	-----------------	----------------------	--	-------------------

② 産業分類別進路状況（大学院）

（平成28年5月1日現在）

研究科	企業（自営業を含む）													教員	公務員				合計	平成26年度最終 （同期）
	農業	林業	漁業	鉱業、採石業、 利採取業、砂	建設業	製造業	電気・ガス・熱 供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・飲 食店	金融・保険業	不動産業・物品 賃貸業	サービス業	小計		国家公務員	地方公務員	独立行政法人等	小計		
修士課程								2	1	1		4	8	40	1		2	3	51	62
教育研究科										(1)		(1)	(2)	(13)			(1)	(1)	(16)	(25)
人文社会科学研究科 （博士前期課程）						3		4	2	2		8	19	1		1	3	4	24	26
ビジネス科学研究科 （博士前期課程）						(1)		(3)	(2)			(7)	(13)			(1)	(1)	(2)	(15)	(12)
ビジネス科学研究科 （専門職学位課程）																				
数理物質科学研究科 （博士前期課程）				1	4	132	4	3	4	5		43	196	8	1		1	2	206	196
システム情報工学研究科 （博士前期課程）					(1)	(15)	(1)					(8)	(25)	(1)				(26)	(18)	
システム情報工学研究科 （博士前期課程）					9	185	12	29	6	5	3	146	395	1	3	4	4	11	407	373
生命環境科学研究科 （博士前期課程）	1		1	1		(10)		(3)	(3)	(2)		(23)	(41)	(1)	(1)	(1)	(2)	(44)	(50)	
生命環境科学研究科 （博士前期課程）						65	3	5	6	5	2	50	139	2	7	3	13	23	164	159
人間総合科学研究科 （修士課程）				1		(28)		(4)	(3)	(1)	(1)	(21)	(58)	(2)	(3)		(5)	(8)	(68)	(70)
人間総合科学研究科 （修士課程）						19			2	1		12	35						35	28
人間総合科学研究科 （修士課程）					(6)	(6)			(1)	(1)		(7)	(15)					(15)	(13)	
人間総合科学研究科 （博士前期課程）					2	18		3	12	3	3	61	102	44	5	17	22	168	156	
人間総合科学研究科 （博士前期課程）					(1)	(7)		(1)	(9)	(1)	(2)	(32)	(53)	(19)	(3)	(12)	(15)	(87)	(81)	
図書館情報メディア研究科 （博士前期課程）						9						16	25	3		5	5	33	25	
図書館情報メディア研究科 （博士前期課程）						(6)						(7)	(13)	(1)		(2)	(2)	(16)	(10)	
修士合計	1		2	2	15	431	19	46	33	22	8	340	919	99	17	8	45	70	1088	1025
					(2)	(73)	(1)	(11)	(18)	(6)	(3)	(106)	(220)	(37)	(6)	(2)	(22)	(30)	(287)	(279)
平成26年度最終 （同期）	3	2	2	3	14	378	14	33	37	25	8	309	828	122	14	12	49	75	1025	
	(1)	(1)	(1)		(2)	(71)		(2)	(16)	(7)	(4)	(93)	(198)	(46)	(6)	(9)	(20)	(35)	(279)	

研究科	企業（自営業を含む）													教員	公務員				合計	平成26年度最終 （同期）
	農業	林業	漁業	鉱業、採石業、 利採取業、砂	建設業	製造業	電気・ガス・熱 供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業・飲 食店	金融・保険業	不動産業・物品 賃貸業	サービス業	小計		国家公務員	地方公務員	独立行政法人等	小計		
博士課程														2		1	1	2	4	8
人文社会科学研究科 （一貫制博士課程）														(2)		(1)	(1)	(2)	(4)	(3)
人文社会科学研究科 （博士後期課程）														4	1		1	5	4	
ビジネス科学研究科 （博士後期課程）														(3)	(1)		(1)	(4)		
ビジネス科学研究科 （専門職学位課程）																				
数理物質科学研究科 （博士後期課程）						12			1	1		4	18			4		22	11	
数理物質科学研究科 （3年制博士課程）																			(2)	
数理物質科学研究科 （3年制博士課程）						3							3	1	1		2	5	9	
システム情報工学研究科 （博士後期課程）						(2)			(1)			8	14	1		3	3	18	23	
システム情報工学研究科 （博士後期課程）													(3)				(3)	(2)	(2)	
生命環境科学研究科 （一貫制博士課程）																				2
生命環境科学研究科 （博士後期課程）						5														
生命環境科学研究科 （博士後期課程）						(1)						5	10	5	1	11	2	14	29	24
生命環境科学研究科 （3年制博士課程）												(2)	(3)	(1)	(1)	(4)		(5)	(9)	(11)
人間総合科学研究科 （一貫制博士課程）						2						20	22	6	4		4	32	40	
人間総合科学研究科 （一貫制博士課程）						(1)						(7)	(8)	(3)	(3)		(3)	(14)	(14)	
人間総合科学研究科 （博士後期課程）												3	3	14	1	1	1	18	19	
人間総合科学研究科 （博士後期課程）												(2)	(2)	(4)	(1)	(1)	(1)	(7)	(8)	
人間総合科学研究科 （3年制博士課程）												2	2	9	3	3	3	14	19	
人間総合科学研究科 （3年制博士課程）													(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(10)	(10)	
図書館情報メディア研究科 （博士後期課程）														1				1	2	
図書館情報メディア研究科 （博士後期課程）														(1)				(1)	(1)	
博士合計						27		1	1	1		42	72	42	3	25	6	34	148	161
						(4)		(1)				(11)	(16)	(15)	(2)	(10)	(1)	(13)	(44)	(53)
平成26年度最終 （同期）					1	24		6		1		50	82	49		27	3	30	161	
						(8)		(1)		(1)		(21)	(31)	(14)		(6)	(2)	(8)	(53)	

（注）（ ）内は女子を内数で示す

6 国際交流関係

(1) 教職員等の交流

(平成27年度)

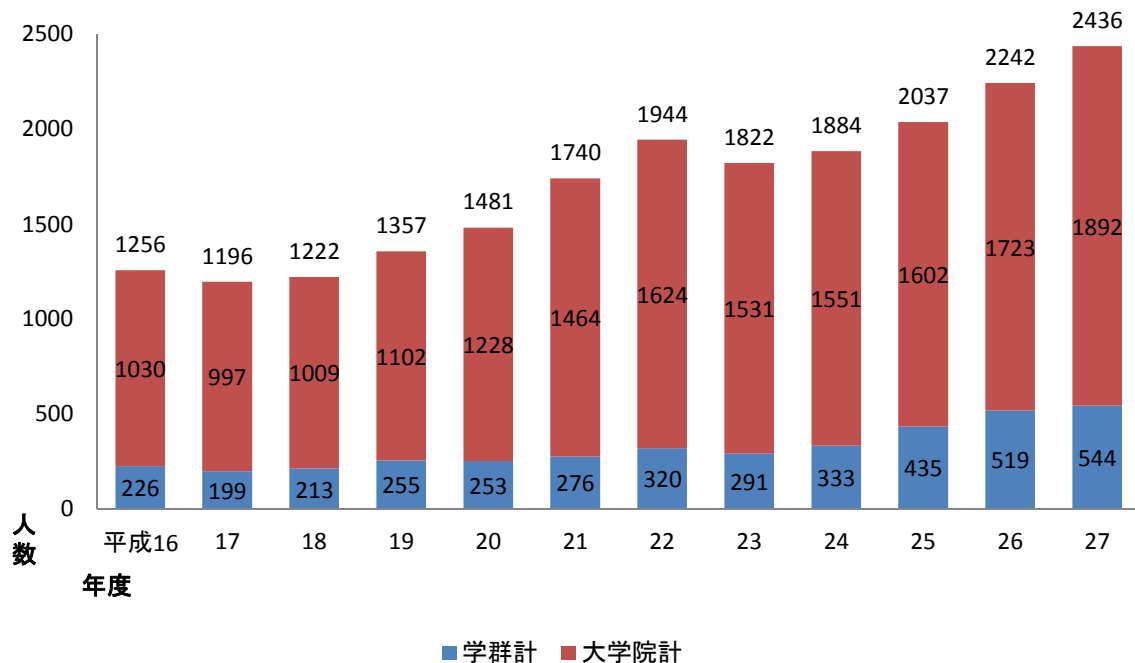
交流組織	外国人研究者の受入数								教職員等の海外派遣数								合計	
	外国人 研究員	外国人の 非常勤講師	外国人 教員	本学の 資金	科学研究費 補助金	日本学術振 興会	国際協 力機構	その他	小計	科学研究費 補助金	教育研究 経費	日本学術 振興会	国際協 力機構	科学技術 振興機構	その他	小計		
人文・文化学群	人文学類		3						3							0	3	
	比較文化学類		2						2							0	2	
	日本語・日本文化学類		2						2							0	2	
社会・国際学群	社会学類		6						6							0	6	
	国際総合学類		1						1							0	1	
人間学群	教育学類		1						1							0	1	
	心理学類								0							0	0	
	障害科学類								0							0	0	
生命環境学群	生物学類		1						1							0	1	
	生物資源学類		2						2							0	2	
	地球学類		3						3							0	3	
理工学群	数学類								0							0	0	
	物理学類		1						1							0	1	
	化学類								0							0	0	
	応用理工学類		2						2							0	2	
	工学システム学類		1						1							0	1	
	社会工学類		1						1							0	1	
情報学群	情報科学類		3						3							0	3	
	情報メディア創成学類								0							0	0	
	知識情報・図書館学類								0							0	0	
医学群	医学類								0							0	0	
	看護学類								0							0	0	
	医療科学類								0							0	0	
体育専門学群				5				7	12							0	12	
芸術専門学群			1	1					2							0	2	
修士専門課程	教育研究科		1	3					4							0	4	
博士課程	人文社会科学研究科		9		3			55	67	3	22				1	26	93	
	ビジネス科学研究科		7						7							0	7	
	数理物質科学研究科		4	2	1	17		18	42							0	42	
	システム情報工学研究科		4						4		1					1	5	
	生命環境科学研究科		4				6	34	44		13					13	57	
	人間総合科学研究科		3		2			48	53		19				14	33	86	
	図書館情報メディア研究科								0		8					8	8	
グローバル教育院		1	32	32	15			13	93							0	93	
系	人文社会系	21	1	30	10	22	1	19	104	204	99	8		106	417	521		
	ビジネスサイエンス系	9	1	4	7			1	22	47	62		2	23	134	156		
	数理物質系	15	3	24	2			113	157	173	75	21		8	73	350	507	
	システム情報系	7	1	14	4		10	31	67	171	125	8		40	117	461	528	
	生命環境系	34	9	9	12	5	20	132	221	152	200	10	11	13	232	618	839	
	人間系	9		10	2	8		41	70	80	105				44	229	299	
	体育系	10		11	27	2	1	61	112	59	94	11			198	362	474	
	芸術系	4		4		5		7	20	71	59				35	165	185	
	医学医療系	4	6	14	2			22	48	103	78	5			196	382	430	
	図書館情報メディア系	6		6				26	38	38	57	2		1	21	119	157	
センター等	計算科学研究センター	1		4				4	9	1	8			2	1	12	21	
	下田臨海実験センター							6	6	9	2					11	17	
	遺伝子実験センター								0	10		11	5	1	27	27		
	プラズマ研究センター		1						1		2				2	4	5	
	生命領域学際研究センター		1	1	1			4	7							0	7	
	グローバルコミュニケーション教育センター		15		1				16		1				5	6	22	
	体育センター		1						1							0	1	
	アドミッションセンター								0							0	0	
	北アフリカ研究センター	2			8	4	11	31	56	1	2		9	4	4	20	76	
	学術情報メディアセンター								0		5					5	5	
	研究基盤総合センター								0							0	0	
	サイバニクス研究センター	2	1						3		1				1	2	5	
	アイントープ環境動態研究センター	3	1					31	35							0	35	
	保健管理センター								0							0	0	
	大学研究センター								0							0	0	
	学際物質科学研究センター				4				4							0	4	
	農林技術センター				8				8							0	8	
	菅平高原実験センター								0							0	0	
	教育開発国際協力研究センター	9			8	11		76	104							0	104	
	生命科学動物資源センター								0							0	0	
	次世代医療研究開発・教育統合センター								0							0	0	
	知的コミュニティ基盤研究センター	1			2				1	4						0	4	
	陽子線医学利用研究センター								0							0	0	
	特別支援教育研究センター								0							0	0	
	医療科教員養成施設		1						1							0	1	
	薬類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター								0						6	6	6	
	国際統合睡眠医科学研究機構	14	5		2			26	47	2	1			1	17	21	68	
	附属図書館				3				3								3	
	附属病院				6				24	30					9	9	39	
	附属学校教育局								0							0	0	
	附属学校		13	2				4	199	218		41		16	103	160	378	
	役員	学長							0		4					1	5	5
		副学長他			1					1		11			1	2	14	15
本部・事務・技術職他		12		29			1	367	409	5	181		5	5	174	370	779	
合計		152	166	146	175	64	68	11	1,397	2,179	1,119	1,286	65	52	82	1,386	3,990	6,169

(2) 学生の交流

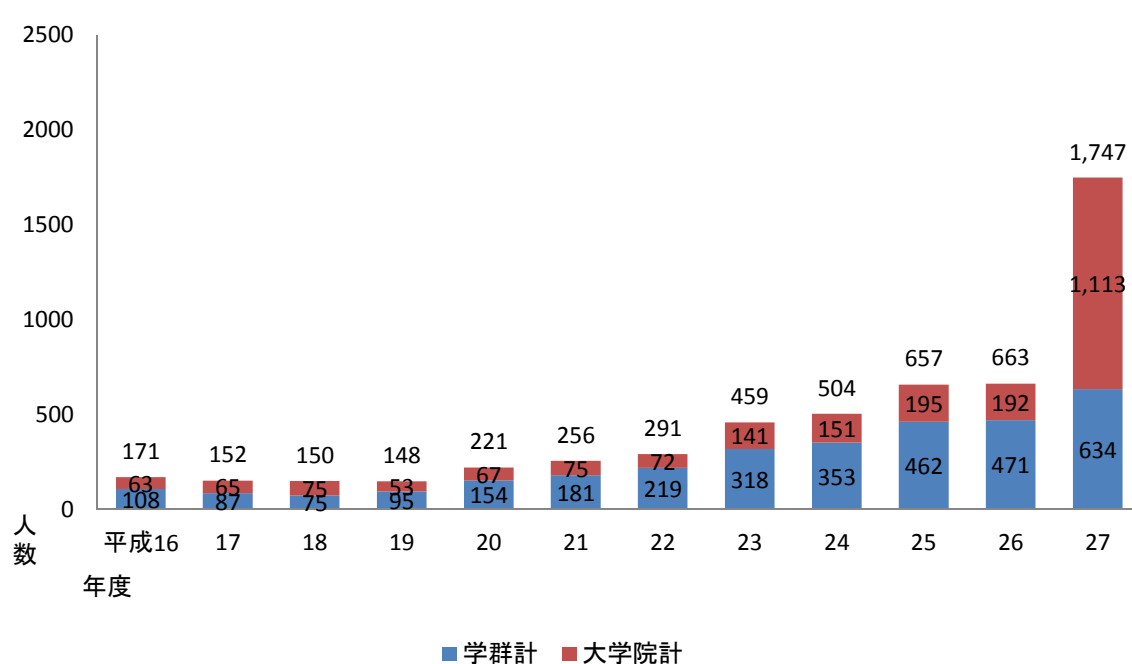
区 分		外国人留学生の受入れ数			学生の海外派遣数			合 計
		学生院生	研究生等	小 計	国 費	私 費 そ の 他	小 計	
第一学群	人文学類	0	0	0		0	0	0
	社会学類	0	0	0		0	0	0
	自然科学類	0	0	0		0	0	0
第二学群	比較文化学類	0	0	0		0	0	0
	日本語・日本文化学類	0	0	0		0	0	0
	人間学類	0	0	0		0	0	0
	生物学類	0	0	0		0	0	0
	生物資源学類	0	0	0		0	0	0
第三学群	社会工学類	0	0	0		0	0	0
	国際総合学類	0	0	0		0	0	0
	情報学類	0	0	0		0	0	0
	工学システム学類	0	0	0		0	0	0
	工学基礎学類	0	0	0		0	0	0
医学専門学群		0	0	0		0	0	0
図書館情報専門学群		0	0	0		0	0	0
人文・文化学群	人文学類	1	29	30		37	37	67
	比較文化学類	5	33	38		69	69	107
社会・国際学群	日本語・日本文化学類	4	52	56		49	49	105
	社会学類	39	1	40		21	21	61
社会・国際学群	国際総合学類	41	25	66		119	119	185
	教育学類	1	2	3		11	11	14
人間学群	心理学類	6	0	6		9	9	15
	障害科学類	2	2	4		7	7	11
	生物学類	44	6	50		19	19	69
生命環境学群	生物資源学類	63	44	107		76	76	183
	地球学類	14	2	16		14	14	30
	数学類	4	1	5		1	0	5
理工学群	物理学類	4	0	4		5	5	9
	化学類	3	1	4		1	1	5
	応用理工学類	31	1	32		6	6	38
	工学システム学類	12	6	18		22	22	40
	社会工学類	15	4	19		9	9	28
情報学群	情報科学類	9	18	27		8	8	35
	情報メディア創成学類	3	1	4		6	6	10
	知識情報・図書館学類	1	0	1		21	21	22
医学群	医学類	0	0	0		19	19	19
	看護学類	1	0	1		14	14	15
	医療科学類	4	0	4		16	0	4
体育専門学群		1	1	2		50	50	52
芸術専門学群		2	5	7		25	25	32
学 群 計		310	234	544	0	634	634	1,178
修士課程	地域研究科			0		0	0	0
	教育研究科	2	19	21		7	7	28
	環境科学研究科			0		0	0	0
	体育研究科			0		0	0	0
	芸術研究科			0		0	0	0
修士課程小計		2	19	21	0	7	7	28
博士課程	人文社会科学研究科	240	211	451		113	113	564
	ビジネス科学研究科	0	0	0		10	10	10
	数理工学科学研究科	103	23	126		137	137	263
	システム情報工学研究科	283	118	401		175	175	576
	生命環境科学研究科	335	88	423		231	231	654
	人間総合科学研究科	258	107	365		309	309	674
	図書館情報メディア研究科	31	25	56		30	30	86
	グローバル教育院	46	0	46		72	72	118
博士課程小計		1,296	572	1,868	0	1,077	1,077	2,945
専門職学位課程	ビジネス科学研究科	3	0	3		29	29	32
	専門職学位課程小計	3	0	3	0	29	29	32
大学院計		1,301	591	1,892	0	1,113	1,113	3,005
合 計		1,611	825	2,436	0	1,747	1,747	4,183

(注)外国人留学生については、平成28年3月1日現在の現員を示す。

【留学生受入数の推移】(各年度3月1日現在)



【留学生派遣数の推移】(各年度3月1日現在)



注:平成27年度については、新たな学内支援事業等による短期海外出張も含めた。

(3) 国際交流協定

ア 協定締結期間、交流分野等

(平成27年度)

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
中国	中国科学院大学	全学	2010/07/07 ~ 2015/07/06	研究生	両大学に共通する全ての領域
	浙江大学	全学	2012/11/09 ~ 2017/11/08	研究生	両大学に共通する全ての領域
	西安交通大学	全学	2013/02/21 ~ 2018/02/20	研究生	両大学に共通する全ての領域
	北京航空航天大学	全学	2013/02/25 ~ 2018/02/24	研究生	両大学に共通する全ての領域
	北京師範大学	全学	2011/04/28 ~ 2016/04/27	研究生	両大学に共通する全ての領域
	北京大学	全学	2011/10/12 ~ 2016/10/11	研究生	両大学に共通する全ての領域
	華東師範大学	全学	2012/07/25 ~ 2017/07/24	研究生	両大学に共通する全ての領域
	湖南大学	部局間	2011/08/22 ~ 2016/08/21	研究生	人文科学及び社会科学分野、中国語研修
	上海交通大学	部局間	2012/02/18 ~ 2017/02/17	研究生	低温工学、エネルギー工学、熱流体力学及び関連分野
	清華大学	部局間	2012/02/27 ~ 2017/02/26	研究生	都市計画、建築計画及び関連分野
	清華大学	部局間	2010/05/18 ~ 2015/05/17	研究生	新エネルギー及び関連分野
	中国原子能科学研究院	部局間	2012/08/01 ~ 2017/07/31	研究生	加速器科学及び関連分野
	中国地質大学	部局間	2010/11/23 ~ 2015/11/22	研究生	環境科学、環境工学、生命環境科学、エネルギー資源及び関連分野
	鄭州大学	部局間	2010/11/28 ~ 2015/11/27	研究生	環境科学、環境工学、衛生環境医学、生命環境科学及び関連分野
	大連大学	部局間	2012/02/18 ~ 2017/02/17	研究生	日本語・日本文化を中心とした人文科学、社会科学及び関連分野
	南京大学	部局間	2013/04/07 ~ 2018/04/06	研究生	生命科学、環境科学、環境工学、生物資源、エネルギー資源及び関連分野
	江南大学	部局間	2010/09/28 ~ 2015/09/27	研究生	生命科学、環境科学、環境工学、生物資源、エネルギー資源及び関連分野
	中国科学院 山地災害および環境研究所	部局間	2010/12/14 ~ 2015/12/13	研究生	地理学、自然災害科学、林学及び関連分野
	中国科学院 地理科学・資源研究所	部局間	2012/04/01 ~ 2017/03/31	研究生	生命環境科学及び関連分野
	大連民族学院	全学	2013/03/01 ~ 2018/02/28	研究生	両大学に共通する全ての領域
	南開大学	全学	2012/12/26 ~ 2017/12/25	研究生	両大学に共通する全ての領域
	中国人民大学	部局間	2013/06/01 ~ 2018/05/31	研究生	日本語・日本文化を中心とする人文社会系分野
	浙江科技学院	部局間	2013/07/01 ~ 2018/06/30	研究生	生命環境科学分野
	中国美术学院	部局間	2013/05/19 ~ 2018/05/18	研究生	芸術諸分野
	廈門大学	全学	2013/05/21 ~ 2018/05/20	研究生	両大学に共通する全ての領域
	吉林大学	全学	2013/02/07 ~ 2018/02/06	研究生	両大学に共通する全ての領域
	中国科学技術大学	全学	2014/04/06 ~ 2019/04/05	研究生	両大学に共通する全ての領域
	南京農業大学	部局間	2014/02/01 ~ 2019/03/31	研究生	農業、生命環境科学及びその関連分野
	復旦大学	部局間	2014/03/23 ~ 2019/03/22	研究生	環境科学・環境工学及び関連分野
	吉林農業大学	部局間	2014/02/25 ~ 2019/02/24	研究生	農業生物科学、農業経済社会学、応用生化学、生物資源環境工学、その他関連分野
	雲南大学	部局間	2013/03/08 ~ 2018/03/07	研究生	環境科学、環境工学、生命科学、エネルギー資源及び関連分野
	清華大学	部局間	2013/05/10 ~ 2018/05/09	研究生	生命環境科学及び関連分野
香港理工大学	部局間	2014/11/11 ~ 2019/11/10	学生	社会学全領域	
香港中文大学	全学	2015/02/17 ~ 2020/02/16	研究生	協議により決定	
上海図書館	部局間	2015/01/05 ~ 2020/01/04	研究生	図書館情報学及び関連分野	
東北師範大学	全学	2014/04/10 ~ 2019/04/09	研究生	両大学に共通する全ての領域	
同济大学	部局間	2015/08/01 ~ 2020/07/31	研究生	環境科学、環境工学、水環境及び関連分野	
台湾	国立清華大学	全学	2012/11/29 ~ 2017/11/28	研究生	全領域
	国立政治大学	部局間	2011/07/01 ~ 2016/06/30	研究生	人文科学及び社会科学
	国立交通大学	部局間	2010/08/25 ~ 2015/08/24	研究生	数理工学科学分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
台湾	国立台湾師範大学	全学	2012/12/18 ~ 2017/12/17	研究生	全領域
	国立屏東科技大学	部局間	2011/11/01 ~ 2016/10/31	研究生	食物、エネルギー、天然資源及び関連分野
	輔仁大学	全学	2014/04/16 ~ 2019/04/15	研究生	全分野
	国立台湾大学	全学	2012/11/16 ~ 2017/11/15	研究生	全領域
	国立彰化師範大学	部局間	2013/03/07 ~ 2018/03/07	研究生	障害科学、教育学、心理学
	国立台湾科技大学	部局間	2013/09/30 ~ 2018/09/29	研究生	芸術、デザイン及び感性科学分野
	国立成功大学	全学	2014/03/21 ~ 2019/03/20	研究生	全領域
	国立防災科学技術センター	部局間	2013/10/01 ~ 2018/09/30	研究者	気候変動予測および防災に関する影響評価
	高雄医学大学	部局間	2014/09/22 ~ 2019/09/21	研究生	医学及び関連分野
	国立台湾大学	部局間	2015/04/20 ~ 2020/04/19	学生	学生交流
	国立台湾芸術大学	部局間	2015/10/29 ~ 2020/10/28	研究生	芸術学、美術、デザイン
韓国	高麗大学校	全学	2013/02/01 ~ 2018/01/31	研究生	協議により決定(両大学に共通するすべての領域)
	忠南大学校	部局間	2012/03/21 ~ 2017/03/20	研究生	農学、生物学、地球環境科学及び関連分野
	忠南大学校	部局間	2011/12/06 ~ 2016/12/05	研究生	医学教育、医学研究、医学分野における産学連携方法
	仁済大学	部局間	2012/03/20 ~ 2017/03/29	研究生	生命科学、環境科学及び関連分野
	仁荷大学校	部局間	2012/05/20 ~ 2017/05/19	研究生	日本語学、日本文学、韓国語学、韓国文学、応用言語学、比較文学、文化交流論及び関連分野
	仁川大学	部局間	2012/11/28 ~ 2017/11/27	研究生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	ソウル市立大学校	部局間	2013/02/15 ~ 2018/02/14	研究生	都市計画、空間情報科学、建築・環境デザイン、生命環境科学及び関連分野
	梨花女子大学校	全学	2013/05/31 ~ 2018/05/30	研究生	全領域(両大学に共通する全ての分野)
	釜山大学校	部局間	2013/09/01 ~ 2018/08/31	研究生	障害科学、教育学、心理学及びその他の関連分野
	西江大学校	部局間	2013/02/27 ~ 2018/02/26	研究生	国際学およびその他の関連分野
	大邱大学校	部局間	2013/08/24 ~ 2018/08/23	研究生	心身障害学、リハビリテーション科学及び関連分野
	韓国外国語大学校	部局間	2012/10/22 ~ 2017/10/21	研究生	人文科学、社会科学、地域研究、日本語・日本文化及び関連分野
	啓明大学校	部局間	2012/11/01 ~ 2017/10/31	研究生	人文科学及び社会科学
	漢陽大学校	全学	2014/01/26 ~ 2019/01/25	研究生	両機関に共通する全ての領域
	弘益大学校	全学	2014/04/13 ~ 2019/04/12	研究生	全領域(両大学に共通する全ての分野)
	慶熙大学校	部局間	2014/06/17 ~ 2019/06/16	研究生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	釜山大学校	部局間	2014/04/01 ~ 2019/03/31	研究生	図書館情報学及び関連分野
	延世大学校	全学	2014/10/01 ~ 2019/09/30	研究生	両大学に共通するすべての領域
	ソウル大学校	部局間	2015/06/18 ~ 2020/06/17	研究生	体育・健康・スポーツ科学及び関連分野
	国家核融合研究所	部局間	2015/08/01 ~ 2020/07/31	研究者	プラズマ核融合科学
	韓国科学技術院	全学	2015/06/01 ~ 2020/05/31	研究生	両機関に共通するすべての領域(主に工業デザイン、感性インターフェース、感性インタラクション、ロボット工学、情報工学、音楽情報処理)
インド	マナブラチャナ国際大学	部局間	2012/11/01 ~ 2017/10/31	研究生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
	マドラス大学	部局間	2016/02/04 ~ 2019/02/03	研究生	陽電子消滅を用いた物性研究
インドネシア	バンドン工科大学	部局間	2013/01/27 ~ 2018/01/26	研究生	生命環境科学
	ウダヤナ大学	部局間	2013/06/01 ~ 2018/05/31	研究生	医学分野
	バジャジャラン大学	全学	2013/08/01 ~ 2018/07/31	研究生	協議により決定
	ガジャマダ大学	全学	2013/09/01 ~ 2018/08/31	研究生	両機関が興味関心を共有するすべての領域
	インドネシア大学	全学	2014/05/22 ~ 2019/05/21	研究生	協議により決定
	ボゴール農科大学	部局間	2013/10/01 ~ 2016/08/05	研究生	農学、生物工学、環境科学及び関連分野
	インドネシア教育大学	部局間	2014/04/01 ~ 2019/03/31	研究生	心身障害学、教育学、心理学及び関連分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
カンボジア	カンボジア王立農業大学	部局間	2010/07/21 ~ 2015/07/20	研究者 学生	食物、エネルギー、天然資源及び関連分野
	王立プノンペン大学	部局間	2015/06/22 ~ 2020/06/21	研究者 学生	生物学及び環境科学
タイ	キング・モンクット工科大学トンブリ校	部局間	2011/08/01 ~ 2016/07/31	研究者 学生	生物資源科学及び関連分野
	タマサート大学	部局間	2011/09/01 ~ 2016/08/31	研究者 学生	社会科学、人文科学、比較文化、農学、生命産業科学及び関連分野
	チュラロンコン大学	部局間	2012/04/02 ~ 2017/04/01	研究者 学生	健康・スポーツ科学
	チュラロンコン大学	部局間	2011/08/09 ~ 2016/08/08	研究者 学生	地球進化科学及び関連分野
	スラナリー工科大学	部局間	2011/04/01 ~ 2016/03/31	研究者 学生	食料、エネルギー、天然資源及び関連分野
	メジョ大学	部局間	2011/07/08 ~ 2016/07/07	研究者 学生	生命環境科学
	アジア工科大学院	全学	2013/09/01 ~ 2018/08/31	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域
	シーナカリンウィロート大学	部局間	2014/11/09 ~ 2019/11/08	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
パキスタン	ペルシャワール農業大学	全学	2010/11/29 ~ 2015/11/28	研究者 学生	全領域(特に、農学や生物学関連領域を中心とした生命環境科学分野、地域研究や公共政策等の社会科学分野、システム情報工学分野)
	コーハット科学技術大学	部局間	2011/07/01 ~ 2016/06/30	研究者 学生	生命環境科学及び関連分野
バングラデシュ	国際下痢症研究センター	部局間	2012/06/08 ~ 2017/06/07	研究者 学生	医学(社会医学、臨床医学、基礎医学)及び関連分野
	バングラデシュ農業大学	部局間	2012/10/01 ~ 2017/09/30	研究者 学生	農学、環境科学及び関連分野
	バングラデシュ工科大学	部局間	2013/10/01 ~ 2018/09/30	研究者 学生	土木工学、機械工学及び関連分野
ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン校	全学	2010/09/17 ~ 2015/09/16	研究者 学生	全領域
	ホーチミン市科学技術局	部局間	2011/09/22 ~ 2016/09/21	研究者 学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	熱帯生物学研究所	部局間	2011/09/22 ~ 2016/09/21	学 生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	部局間	2011/09/22 ~ 2016/09/21	学 生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	ホーチミン市医科薬科大学	部局間	2011/09/22 ~ 2016/09/21	学 生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	フエ医科薬科大学	部局間	2011/04/28 ~ 2016/04/27	研究者 学生	両大学・研究に共通する全ての領域
	サイゴンハイテクパーク	部局間	2012/01/05 ~ 2017/01/04	研究者 学生	医学、生命科学、バイオテクノロジー
	ハノイ科学大学	部局間	2012/07/13 ~ 2017/07/12	研究者 学生	生命環境系、生命環境科学研究科、医学医療系、人間総合科学研究科に共通するすべての分野
	ハノイ医科大学	部局間	2012/10/01 ~ 2017/09/30	研究者 学生	両大学に共通するすべての分野
	ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学	部局間	2013/06/03 ~ 2018/06/02	研究者 学生	環境科学分野とその他の関連分野
	チョライ病院	部局間	2013/07/18 ~ 2018/07/17	研究者	医学及び関連分野
	ホーチミン市美術大学	部局間	2014/01/21 ~ 2019/02/20	研究者 学生	芸術、デザインの諸分野
	ハノイ農業大学	部局間	2013/12/16 ~ 2018/12/15	研究者 学生	生命環境及び関連分野
	ホーチミン市師範大学	全学	2014/08/12 ~ 2019/08/11	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	ベトナム教育訓練省国際教育開発局	部局間	2014/04/21 ~ 2019/04/20	研究者 学生	生命環境科学及び関連する分野全般
	ベトナム国立図書館	部局間	2014/02/02 ~ 2019/02/01	研究者 学生	図書館システム、図書館経営、図書館員養成等、図書館関連分野
	ベトナム国家大学ハノイ校	全学	2015/12/12 ~ 2020/12/11	研究者 学生	全領域
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	全学	2016/01/09 ~ 2021/01/08	学 生	医学、生命科学、バイオテクノロジー及び関連分野
	ヴィン大学	部局間	2015/05/25 ~ 2020/05/24	研究者 学生	藻類バイオマスおよび藻類バイオマスに関連する基礎から応用までの分野
	マレーシア	ケバサンサアン・マレーシア大学	全学	2011/01/21 ~ 2016/01/20	研究者 学生
マラヤ大学		全学	2014/05/15 ~ 2019/05/14	研究者 学生	協議により決定
マレーシア工科大学		部局間	2012/11/26 ~ 2017/11/25	研究者 学生	協議により決定
ブトラマレーシア大学		部局間	2012/10/24 ~ 2017/10/23	研究者 学生	生命環境科学分野
ミャンマー	パテイン大学	部局間	2014/12/01 ~ 2019/11/30	研究者 学生	協議により決定
モンゴル	モンゴル生命科学大学	部局間	2014/07/01 ~ 2019/06/30	研究者 学生	農業及び関連分野

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
モンゴル	フスタイ国立公園研究センター	部局間	2015/05/07 ~ 2020/05/06	研究者	環境科学及び関連分野
ラオス	ラオス国立大学	部局間	2010/07/27 ~ 2015/07/26	研究者 学生	食物、エネルギー、天然資源及び関連分野
オーストラリア	オーストラリア国立大学	全学	2012/07/24 ~ 2017/07/23	研究者 学生	人文科学、社会科学、自然科学分野(学生交流に関しては医学分野を除く。)及び関連分野
	シドニー大学	部局間	2011/11/01 ~ 2016/10/31	研究者 学生	芸術学(美術史・美術理論)
	マードック大学	全学	2013/05/30 ~ 2016/05/29	研究者 学生	全領域(主に生命環境系、数理物質系、システム情報系の各分野)
	アデレード大学	全学	2013/11/25 ~ 2018/11/24	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域(ただし、一部交流できない分野もある)
	クイーンズランド大学	全学	2014/08/20 ~ 2019/08/19	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	タスマニア大学	全学	2015/01/01 ~ 2017/12/31	研究者 学生	
	ジェームズクック大学	部局間	2015/05/20 ~ 2020/05/19	研究者 学生	全領域(ただし、大学、キャンパスあるいは学部との都合により、交流できない分野もある。)
	モナシュ大学	全学	2015/09/01 ~ 2020/08/31	研究者 学生	協議により決定
	ウーロンゴン大学	部局間	2015/11/18 ~ 2020/11/17	研究者	医学物理学
	西オーストラリア大学	全学	2016/02/10 ~ 2021/02/09	研究者 学生	全領域
ディーキン大学	全学	2015/09/24 ~ 2020/09/24	研究者 学生	両機関に共通するすべての領域(とくに海洋学、生物学、自然保護寄付講座、世界遺産学に関わる領域)	
ニュージーランド	オタゴ大学	部局間	2013/06/30 ~ 2018/06/29	研究者 学生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学分野及び関連分野
	オークランド大学	部局間	2015/05/01 ~ 2020/04/30	研究者 学生	健康、スポーツ科学及びその他関連分野
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	全学	2012/08/22 ~ 2017/08/21	学生	協議により決定
	プリンス・エドワード島大学	部局間	2013/03/28 ~ 2018/03/27	研究者 学生	日本研究、カナダ研究を中心とした人文科学、社会科学及び関連分野
	モントリオール大学	全学	2014/09/03 ~ 2019/09/02	研究者 学生	協議により決定
	ブロック大学	部局間	2014/10/30 ~ 2019/10/29	研究者 学生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学、スポーツ国際開発学
米国	カリフォルニア大学	全学	2011/04/01 ~ 2016/03/31	学生	協議により決定
	パデュー大学	全学	2011/04/26 ~ 2016/04/25	研究者 学生	協議により決定
	マサチューセッツ大学アマースト校	部局間	2011/08/30 ~ 2016/08/29	学生	人文科学・社会科学(教育学、心理学、特殊教育、国際関係学及び関連領域を含む。)
	オハイオ州立大学	部局間	2011/08/30 ~ 2016/08/29	研究者 学生	社会科学、人文科学及び関連分野
	コーネル大学	部局間	2010/09/08 ~ 2015/09/07	研究者 学生	農学全般、生物科学、生命科学、環境科学
	プリンストン大学	部局間	2013/02/14 ~ 2018/02/13	研究者 学生	核融合分野
	ケント州立大学	部局間	2013/02/25 ~ 2018/02/24	研究者 学生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
	カリフォルニア大学アーバイン校	部局間	2013/05/02 ~ 2016/05/01	研究者 学生	医学分野
	イリノイ大学・シカゴ校	部局間	2013/05/31 ~ 2018/05/30	研究者 学生	看護学の研究と教育に共通する全ての領域
	ワシントン大学・セントルイス	部局間	2013/09/01 ~ 2018/08/31	研究者 学生	人文・社会科学及び関連分野
	ユタ大学	全学	2014/02/07 ~ 2017/02/06	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
	ピッツバーグ大学	部局間	2014/03/16 ~ 2019/03/15	研究者 学生	図書館情報学、情報学
	カリフォルニア大学アーバイン校	部局間	2014/10/01 ~ 2019/09/30	研究者 学生	協議により決定
	ハワイ大学マノア校	全学	2014/10/09 ~ 2019/10/08	研究者 学生	協議により決定
	ミシガン大学	部局間	2014/12/01 ~ 2019/11/30	研究者 学生	図書館情報学及び関連分野
	聖アンソニー看護大学	部局間	2014/07/01 ~ 2019/06/30	研究者 学生	看護学の研究と教育に共通する全ての領域
	アリゾナ州立大学	部局間	2015/03/03 ~ 2020/03/02	研究者 学生	藻類バイオマスおよび菌類バイオマスに関連する基礎から応用までの分野
	南インディアナ大学	部局間	2014/09/14 ~ 2019/09/13	研究者 学生	人間学、看護学、リハビリテーション科学、ソーシャル・ワーク、医科学及び関連分野
	カリフォルニア州立大学	全学	2014/08/01 ~ 2019/07/31	研究者 学生	協議により決定
	カリフォルニア大学アーバイン校	部局間	2015/06/30 ~ 2018/05/31	研究者 学生	医学、生命科学、およびその関連分野
ニューメキシコ大学	部局間	2015/07/13 ~ 2020/07/12	研究者	体育・スポーツ科学	

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
米国	ユタ州立大学	部局間	2015/04/01 ~ 2020/03/31	研究生	生命科学・農学及び関連分野
	ユタ州立大学	全学	2016/02/17 ~ 2021/02/16	研究生	両大学に共通するすべての領域(特に農学、芸術学、デザイン学、物理学、宇宙開発分野)
	アラスカ大学フェアバンクス校	部局間	2015/01/11 ~ 2020/01/10	研究生	地球環境科学
コロンビア	ロスアンデス大学	全学	2015/08/19 ~ 2020/08/18	研究生	協議により決定
チリ	チリ大学	全学	2014/08/05 ~ 2019/08/04	研究生	協議により決定
ブラジル	パラ連邦大学	全学	2012/08/20 ~ 2017/08/19	研究生	全領域(特に、基礎及び応用自然科学、人文科学、社会科学)
	サンパウロ大学	部局間	2012/01/02 ~ 2017/01/01	研究生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
	サンパウロ大学	部局間	2012/03/28 ~ 2017/03/28	研究生	地球科学、環境科学、水資源
	ブラジリア大学	全学	2013/03/15 ~ 2016/03/14	研究生	両大学に共通する全ての領域
	サンパウロ大学	部局間	2013/09/27 ~ 2018/09/26	研究生	両大学における医学の領域
	サンパウロ大学	全学	2014/01/16 ~ 2019/01/15	研究生	両機関に共通する全ての領域(ただし、具体的な交流の実施については、個別の協定書により規定することとする(第2条参照))
	サンパウロ大学	部局間	2014/06/18 ~ 2019/06/17	研究生	両大学における医学の領域
	サンパウロ大学	部局間	2015/04/16 ~ 2020/04/15	研究生	健康・スポーツ科学及び関連分野
ペルー	カトリカ大学	全学	2013/03/01 ~ 2018/02/28	研究生	全領域(特に、人文社会科学(地域研究、日本研究等)、自然科学)
メキシコ	メキシコ大学院大学	部局間	2007/10/04 ~ 2017/10/03	研究生	人文科学、社会科学及び関連分野
サウジアラビア	キング・アブドゥールアジーズ大学	全学	2010/07/08 ~ 2015/07/07	研究生	両大学に共通する全ての領域
	エフアト大学	全学	2011/10/06 ~ 2016/10/05	研究生	両大学に共通する全ての領域
トルコ	ボアジチ大学	部局間	2013/03/05 ~ 2018/03/04	研究生	日本語・日本文化、日本語教育、トルコ語・トルコ文化
	パムッカレ大学	全学	2014/04/10 ~ 2019/04/09	研究生	協議により決定
ヨルダン	ヨルダン科学技術大学	全学	2012/02/28 ~ 2017/02/27	研究生	両大学に共通する全ての領域
イタリア	カ・フォスカリ大学	部局間	2011/09/08 ~ 2016/09/07	研究生	日本語・日本文化研究、イタリア語・イタリア文化を中心とした人文科学、社会科学及び関連分野
	マルシェ科学技術大学	部局間	2012/04/24 ~ 2017/04/23	研究生	生命科学、環境科学、海洋生物学、海洋生態学、環境科学、バイオリソース学
	ミラノ工科大学	全学	2013/09/13 ~ 2018/09/12	研究生	デザイン領域(建築デザイン、環境デザイン、情報デザイン、プロダクトデザイン)、感性認知脳科学、建築工学、他
	ボローニャ大学	部局間	2015/07/16 ~ 2020/07/15	研究生	医学に関する領域
エストニア	タリン大学	全学	2016/01/21 ~ 2021/01/20	研究生	人文社会科学(地域研究・歴史研究・国際関係学など)、人間総合科学を中心とした学問分野
オーストリア	ウィーン経済・経営大学	部局間	2012/04/29 ~ 2017/04/28	研究生	経営・社会経済システム・科学・工学及び関連分野
オランダ	コトレヒト大学	部局間	2011/09/01 ~ 2016/08/31	研究生	法学
	デルフト工科大学	部局間	2012/04/01 ~ 2017/03/31	研究生	感性認知脳科学、芸術学、デザイン学及び関連分野
	アイントホーフェン工科大学	部局間	2013/06/12 ~ 2018/06/11	研究生	感性情報メディア、感性インタラクション、情報デザイン、プロダクトデザイン、建築デザイン及び関連分野
	トウェンテ大学	全学	2013/11/24 ~ 2018/11/23	研究生	サイバニクス分野(工学、医学、人文科学、ビジネス科学)及び関連分野
	デルフト工科大学	部局間	2014/03/20 ~ 2019/03/19	研究生	工学及び関連分野
	デルフト工科大学	部局間	2015/04/01 ~ 2021/03/31	研究生	土木工学、環境工学、水管理、環境史、地球科学
英国	シェフィールド大学	全学	2012/09/01 ~ 2017/08/31	研究生	両大学に共通する全領域
	ブリマス大学	部局間	2012/07/24 ~ 2017/07/23	研究生	放射性同位体トレーサー、放射能による土壌汚染・水域汚染、土壌侵食
	ベッドフォードシャー大学	部局間	2012/11/26 ~ 2017/11/25	研究生	体育科学、健康科学、スポーツ科学、スポーツ医学
	イースト・アングリア大学	全学	2014/03/10 ~ 2024/03/09	研究生	両機関に共通する全ての領域(特に環境学、生命科学、農学、芸術学)
	ラフバラ大学	部局間	2014/06/11 ~ 2019/06/10	研究生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	マンチェスター大学	部局間	2014/08/24 ~ 2019/08/23	研究生	生物学及び関連分野
	オックスフォード・ブルックス大学	全学	2015/02/18 ~ 2020/02/17	学生	協議により決定

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
英国	リバプール大学	部局間	2014/08/06 ~ 2019/08/05	研究者 学生	河川流域内の土砂生産及び土砂移動プロセス、放射性同位体トレーサー、放射能による土壌汚染・水域汚染、土壌侵食
	エディンバラ大学	全学	2015/05/11 ~ 2020/05/10	研究者 学生	計算科学、ロボット、地球科学、医学分野
スウェーデン	スウェーデン王立美術大学	部局間	2012/04/01 ~ 2017/03/31	研究者 学生	芸術及び関連分野
	ヨンショピング大学	部局間	2012/03/15 ~ 2017/03/14	研究者 学生	人間科学分野、看護医療科学分野及び関連分野
	ルンド大学	部局間	2016/01/08 ~ 2021/01/07	研究者 学生	健康科学に関する全ての領域
スペイン	バルセロナ大学	部局間	2011/02/01 ~ 2016/01/31	研究者 学生	芸術及び関連分野
	サラマンカ大学	全学	2013/02/05 ~ 2018/02/04	研究者 学生	全領域
	マドリッド・コンプルテンセ大学	全学	2014/01/01 ~ 2018/12/31	研究者 学生	両大学に共通するすべての分野
スロベニア	リュブリャナ大学	全学	2012/11/04 ~ 2017/11/03	研究者 学生	全領域
チェコ	カレル大学	全学	2012/09/09 ~ 2017/09/08	研究者 学生	協議により決定
デンマーク	コペンハーゲン大学	部局間	2014/10/15 ~ 2019/10/14	研究者 学生	図書館情報学
ドイツ	シュツットガルト大学	全学	2010/10/08 ~ 2015/10/07	研究者 学生	全領域
	ボーフム大学	部局間	2012/03/25 ~ 2017/03/24	研究者 学生	都市計画、地域計画及び関連分野
	マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学	全学	2012/03/14 ~ 2017/03/13	研究者 学生	人文社会科学と数理物質科学をはじめとする学内で交流可能な分野
	ブランデンブルク工科大学コトブス・ゼンフテンベルク校	部局間	2012/06/26 ~ 2017/06/25	研究者 学生	世界遺産学、世界文化遺産学、建築保存と建築歴史及び関連分野
	ベルリン自由大学	全学	2013/03/06 ~ 2018/03/05	研究者 学生	全領域
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン	部局間	2013/04/01 ~ 2018/03/31	研究者 学生	障害科学、教育学、心理学、その他の関連分野
	ミュンヘン工科大学	部局間	2013/01/01 ~ 2017/12/31	研究者 学生	量子ビーム(陽電子消滅・中性子ビーム)を用いた物性および太陽電池材料の研究
	ケルン大学	全学	2013/10/01 ~ 2018/09/30	研究者 学生	両大学に共通する全ての分野
	デュースブルグエッセン大学	部局間	2014/09/11 ~ 2019/09/10	研究者 学生	先端のがん放射線治療(BNCTならびに陽子線治療)の共同研究
	パイロイト大学	全学	2014/08/05 ~ 2019/08/04	研究者 学生	両機関に共通する全ての領域
	ミュンスター大学	部局間	2015/04/01 ~ 2020/03/31	研究者 学生	健康、スポーツ科学
	ライプニッツ大学ハノーファー	部局間	2014/10/01 ~ 2019/09/30	研究者 学生	化学および関連分野
	フライブルク大学	部局間	2015/07/07 ~ 2020/07/06	研究者 学生	健康、スポーツ科学及びその他関連分野
	ライプツヒ大学	部局間	2015/06/08 ~ 2020/06/07	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	ユーリッヒ総合研究機構(エネルギー・気候研究所)	部局間	2015/11/01 ~ 2020/10/31	研究者 学生	核融合研究
	ボン大学	全学	2016/02/14 ~ 2021/02/13	研究者 学生	全領域
アウクスブルク応用科学大学	部局間	2016/02/14 ~ 2021/02/13	研究者 学生	機械工学及びその周辺分野	
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラード大学	部局間	2013/10/01 ~ 2018/09/30	研究者 学生	健康、スポーツ科学及び関連分野
	タンカバヤム教単科大学	部局間	2013/10/01 ~ 2018/09/30	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	センメルヴェイス大学	部局間	2013/10/01 ~ 2018/09/30	研究者 学生	健康・スポーツ科学及び関連分野
	ハンガリー体育大学	部局間	2015/06/17 ~ 2020/06/16	研究者 学生	体育科学、健康科学とその他関連分野
	セグド大学	全学	2015/08/25 ~ 2020/08/24	研究者 学生	医学、ビジネス科学、化学、生物学
フィンランド	ヘルシンキ大学	部局間	2011/11/28 ~ 2016/11/27	研究者 学生	生命科学、環境科学及び関連分野
フランス	フランス放射線防護原子力安全研究所	全学	2012/07/11 ~ 2017/07/10	研究者 学生	放射線生態学、環境保全
	ヴァレンシエヌヌ大学	部局間	2011/02/10 ~ 2016/02/09	研究者 学生	ヒューマンマシンシステム及び関連分野
	パリ第13大学	部局間	2011/10/04 ~ 2016/10/03	研究者 学生	言語研究及び関連分野
	モンペリエ第一大学	全学	2013/02/28 ~ 2018/02/27	研究者 学生	全領域(特に生命環境科学、人文社会科学及び医学)
	パリ第13大学	部局間	2013/02/26 ~ 2016/02/25	研究者 学生	生物学及び医学関連分野
	グルノーブル大学	全学	2013/11/12 ~ 2018/11/11	研究者 学生	両大学に共通する全ての領域
	ナント大学	部局間	2014/04/17 ~ 2019/04/16	研究者 学生	主に藻類バイオマスに関する分野
	ボルドー大学	全学	2013/10/07 ~ 2016/10/06	研究者 学生	協議により決定

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
フランス	ベルフォール・モンペリヤール工科大学	部局間	2014/09/06 ~ 2019/09/05	研究生	電子・情報工学及び関連分野
	国立工業芸科大学(パリ工科大学)	部局間	2014/12/16 ~ 2019/12/15	研究生	感性情報学, 感性デザイン学, プロダクトデザイン, 情報デザイン, 環境デザイン, 建築デザインを中心とした全ての教育プログラム
	フランシュ=コンテ大学	全学	2015/11/01 ~ 2020/10/31	研究生	両機関に共通するすべての領域(主に人文、社会科学、体育科学、体育教育)
ベルギー	ルーバン・カトリック大学, インターユニバーシティマイクロエレクトロニクスセンター	部局間	2011/05/12 ~ 2016/05/11	研究生	Siナノエレクトロニクス, 光エレクトロニクス, スピントロニクス, カーボンナノエレクトロニクス, バイオ/有機ナノエレクトロニクス
ポーランド	ワルシャワ大学	全学	2013/01/10 ~ 2018/01/09	研究生	全分野(特に人文社会科学及び数理物質科学を中心とした幅広い分野)
	ヤギェウォ大学	全学	2012/09/02 ~ 2017/09/01	研究生	人文社会科学分野、数理物質科学分野及びその他
	ピアウィストク大学	部局間	2016/02/16 ~ 2021/02/15	研究生	社会科学及び関連分野
ラトビア	ラトビア大学	全学	2016/01/24 ~ 2021/01/23	研究生	全学(人文社会科学(地域研究・歴史研究など)、人間総合科学など)
リトアニア	ヴィリニウス大学	部局間	2011/12/19 ~ 2016/12/18	研究生	人文社会科学, 情報関連分野
ルーマニア	ティミショアラ西大学	部局間	2015/09/23 ~ 2020/09/22	研究生	コンピュータサイエンス, 情報通信技術(ICT)およびその関連分野
	ブカレスト大学	部局間	2015/10/01 ~ 2020/09/30	研究生	
ロシア	サンクト・ペテルブルグ大学	全学	2012/02/01 ~ 2017/01/31	研究生	全領域
	ブドカー原子物理学研究所	部局間	2013/02/16 ~ 2018/02/15	研究生	核融合研究
	モスクワ市立教育大学	全学	2014/05/22 ~ 2019/05/21	研究生	全領域
	カザン連邦大学	全学	2015/02/16 ~ 2020/02/15	研究生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野。交換学生としての本学学生の語学留学(ロシア語、英語)の推進。
	ピロゴフ記念ロシア国立研究医科大学	全学	2015/02/16 ~ 2020/02/15	研究生	H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(全学群対象、責任対応組織:人文社会系)」(大学の世界展開力強化事業)における医療実務研修および関連の学生交流活動。医学医療系を中心とした学問分野。
	ノヴォシビルスク国立医科大学	全学	2015/02/16 ~ 2020/02/15	研究生	H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(全学群対象、責任対応組織:人文社会系)」(大学の世界展開力強化事業)における医療実務研修および関連の学生交流活動。医学医療系を中心とした学問分野。
	太平洋国立医科大学	全学	2015/02/16 ~ 2020/02/15	研究生	H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(全学群対象、責任対応組織:人文社会系)」(大学の世界展開力強化事業)における医療実務研修および関連の学生交流活動。医学医療系を中心とした学問分野。
	モスクワ国立大学	部局間	2014/10/07 ~ 2019/10/06	研究生	高分子化学、コロイド科学、生物資源、土壌環境及び関連分野
	モスクワ国立大学	全学	2015/04/01 ~ 2020/03/31	研究生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野。交換学生としての本学学生の語学留学(ロシア語、英語)の推進
	極東連邦大学	全学	2015/06/17 ~ 2020/06/16	研究生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした関連分野
	ノヴォシビルスク国立大学	全学	2015/07/18 ~ 2020/07/17	研究生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野
	ロシア国立体育・スポーツ・青年・観光大学	部局間	2015/12/01 ~ 2020/11/30	研究生	体育・スポーツ科学及び関連分野
ウクライナ	キエフ国立大学	部局間	2011/09/11 ~ 2016/08/31	研究生	人文科学及び社会科学
ウズベキスタン	世界経済外交大学	部局間	2011/10/29 ~ 2016/10/28	研究生	人文社会科学
	サマルカンド国立外国語大学	部局間	2011/09/30 ~ 2016/09/29	研究生	人文社会科学及び人間総合科学
	ウズベキスタン国立世界言語大学	部局間	2015/10/25 ~ 2020/10/24	研究生	日本語教育、日本語学、教育学を中心とした学問分野
	タシケント国立東洋学大学	全学	2015/05/27 ~ 2020/05/26	研究生	人文科学及び関連分野
カザフスタン	カザフ国立大学	全学	2012/01/23 ~ 2017/01/22	研究生	全領域
	ユーラシア国立大学	全学	2013/06/03 ~ 2018/06/02	研究生	主に人文科学、社会科学、生命環境科学などの分野
	カザフ経済大学	部局間	2012/08/31 ~ 2017/08/30	研究生	人文社会科学

国名・地域名	協定締結先機関名	全学協定 部局間協定	協定期間	交流対象	交流分野
カザフスタン	カザフ国際関係外国語大学	全学	2013/08/25 ~ 2018/08/24	研究生	人文社会科学、人間総合科学を中心とした幅広い学問分野
	国立腫瘍移植科学センター	部局間	2015/02/01 ~ 2020/01/31	研究者	両機関に関する医学領域
	カザフ国立教育大学	全学	2015/08/28 ~ 2020/08/27	研究生	人間総合科学、人文社会科学を中心とした幅広い学問分野
キルギス	キルギス民族大学	全学	2013/10/09 ~ 2018/10/08	研究生	人文社会科学、人間総合科学とその他の関連分野
	ビシュケク人文大学	全学	2013/08/26 ~ 2018/08/25	研究生	人文社会科学、人間総合科学分野
	キルギス国立大学	部局間	2015/05/27 ~ 2020/05/26	研究生	人文科学及び社会科学
タジキスタン	ロシア・タジク・スラヴ大学	全学	2014/09/01 ~ 2019/08/31	研究生	両大学に共通するすべての領域(主として、人文社会科学、人間総合科学等の分野)
	タジク国立言語大学	部局間	2015/10/24 ~ 2020/10/23	研究生	人文社会科学及び関連分野
トルクメニスタン	トルクメニスタン国立アザディ世界言語大学	全学	2013/09/12 ~ 2018/09/11	研究生	人文科学及び社会科学及びその他の関連分野
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学	全学	2012/02/21 ~ 2017/02/20	研究生	両大学に共通する全ての領域(特に、人文社会科学、生命環境科学)
	ベラルーシ国立医科大学	全学	2015/02/16 ~ 2020/02/15	研究生	H26年度に採択された「ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(全学群対象、責任対応組織:人文社会系)」(大学の世界展開力強化事業)における医療実務研修および関連の学生交流活動。医学医療系を中心とした学問分野。
アルジェリア	アルジェリア民主人民共和国高等教育・科学技術研究省	全学	2011/04/07 ~ 2016/04/06	研究生	両機関が興味関心を共有するすべての領域(包括協定)
	オラン科学技術大学モハメド・ブーディアフ	全学	2012/11/05 ~ 2017/11/04	研究生	両大学に共通する全ての領域(主に生命環境科学、物質工学、土木工学)
	ホウアリ・ブーメディエン科学技術大学	全学	2015/03/02 ~ 2020/03/01	研究生	両機関に共通する全ての領域(主に生命環境科学、都市工学、情報工学)
エジプト	エジプト日本科学技術大学(E-JUST)	全学	2013/01/22 ~ 2018/01/21	研究生	全領域
	カイロ大学	全学	2013/06/26 ~ 2018/06/25	研究生	生命環境科学、人文科学、ビジネス科学、情報通信科学、等
	アインシャムス大学	部局間	2013/02/09 ~ 2018/02/08	研究生	日本語・日本文化研究、アラビア語・アラビア文化研究、中近東地域研究、国際関係論等
チュニジア	カルタゴ大学	全学	2011/04/30 ~ 2016/04/29	研究生	バイオテクノロジー、環境科学、情報通信工学、人文社会科学
	スース大学	全学	2011/05/17 ~ 2016/05/16	研究生	人文科学、社会科学、生命環境科学、医学、情報工学を含む、北アフリカ関連の諸問題に関わる全学的な学術領域
	スファックス大学	全学	2011/10/26 ~ 2016/10/25	研究生	バイオテクノロジー、環境科学、医学及び関連分野
	スファックス・バイオテクノロジー・センター	部局間	2011/10/30 ~ 2016/10/29	研究者	バイオテクノロジー、環境科学及び関連分野
	チュニス・エル=マナール大学	全学	2013/07/02 ~ 2018/07/01	研究生	両機関に共通する全ての領域(主に、語学を含む人文社会科学、医療科学)
ナイジェリア	ナイジェリア大学	部局間	2012/10/17 ~ 2017/10/16	研究生	微生物科学、生化学、植物科学、動物科学、農学、環境科学及び関連分野
モリタニア	高等技術学院	部局間	2012/10/15 ~ 2017/10/14	研究生	生命環境科学
モロッコ	シディー・モハメド・ベン・アブダラー大学	全学	2011/03/17 ~ 2016/03/16	研究生	両大学共通する全ての領域(主に生命環境科学、人文社会科学、情報工学)
	モロッコ王国高等教育・科学研究・幹部養成省	全学	2012/09/10 ~ 2017/09/09	研究生	両機関が興味関心を共有するすべての領域
	ハッサンII世農獣医大学	部局間	2011/05/09 ~ 2016/05/08	研究生	生物資源科学、農業土木工学及び関連分野
	モハメッド5世大学-アグダル	全学	2012/02/16 ~ 2017/02/15	研究生	バイオテクノロジー、環境科学とその他の関連分野
	アル・アハワイン大学	全学	2014/08/01 ~ 2019/07/31	研究生	両大学共通する全ての領域
	カディ・アヤド大学	全学	2015/03/02 ~ 2020/03/01	研究生	両機関に共通する全ての領域(主に生命環境科学、人文社会科学、情報工学)
リビア	セブハ大学	全学	2010/05/14 ~ 2015/05/13	研究生	両機関に共通する全ての領域
国際連合	国際連合大学	全学	2012/10/13 ~ 2017/10/12	研究生	両大学に共通する全ての領域

61カ国・地域、合計305協定(大学間交流124協定、部局間交流181協定)

イ 協定締結機関先交流者数

(平成27年度)

国名・地域名	協定締結先機関名	受入数		派遣数		
		教職員	学生	教職員	学生	
中国	中国科学院大学	11	1	5	0	
	浙江大学	0	0	6	0	
	西安交通大学	0	0	4	0	
	北京航空航天大学	0	0	0	0	
	北京師範大学	0	1	14	0	
	北京大学	8	11	3	0	
	華東師範大学	16	6	31	7	
	湖南大学	2	0	0	0	
	上海交通大学	5	0	2	1	
	清華大学	8	10	0	0	
	中国原子能科学研究所	0	0	0	0	
	中国地質大学	14	21	3	7	
	鄭州大学	0	0	2	0	
	大連大学	0	0	0	0	
	南京大学	9	8	0	0	
	江南大学	2	0	1	0	
	中国科学院 山地災害および環境研究所	9	0	0	0	
	中国科学院 地理科学・資源研究所	1	5	1	0	
	大連民族学院	4	0	2	3	
	南開大学	0	1	0	0	
	中国人民大学	1	1	0	0	
	浙江科技学院	0	0	1	0	
	中国美术学院	0	2	0	0	
	厦門大学	0	2	3	1	
	吉林大学	0	2	0	0	
	中国科学技術大学	4	1	1	0	
	南京農業大学	5	1	1	0	
	復旦大学	3	0	12	1	
	吉林農業大学	0	1	2	0	
	雲南大学	0	0	0	0	
	香港理工大学	10	8	3	2	
	香港中文大学	0	0	19	4	
	上海図書館	0	0	0	0	
	東北師範大学	10	2	4	0	
	同済大学	0	1	5	8	
	台湾	国立清華大学	2	5	1	0
		国立政治大学	5	1	4	7

国名・地域名	協定締結先機関名	受入数		派遣数		
		教職員	学生	教職員	学生	
台湾	国立交通大学	0	0	2	0	
	国立台湾師範大学	8	15	15	11	
	国立屏東科技大学	2	0	2	0	
	輔仁大学	0	0	2	0	
	国立台湾大学	50	20	68	28	
	国立彰化師範大学	0	0	0	0	
	国立台湾科技大学	3	2	4	1	
	国立成功大学	10	4	9	0	
	国立防災科学技術センター	3	0	0	0	
	高雄医学大学	2	2	4	0	
	国立台湾芸術大学	1	6	0	0	
	韓国	高麗大学校	2	4	18	3
		忠南大学校	6	11	0	0
仁濟大学		0	0	1	0	
仁荷大学校		1	0	0	0	
仁川大学		0	0	0	0	
ソウル市立大学校		3	0	0	0	
梨花女子大学校		0	0	3	2	
釜山大学校		2	3	3	2	
西江大学校		0	0	0	0	
大邱大学校		0	0	2	0	
韓国外国語大学校		1	2	1	1	
啓明大学校		1	0	2	1	
漢陽大学校		5	0	5	3	
弘益大学校		0	0	0	0	
慶熙大学校		2	0	1	0	
延世大学校		2	2	6	3	
ソウル大学校		6	4	7	1	
国家核融合研究所	0	0	1	0		
韓国科学技術院	1	0	3	3		
インド	マナブラチャナ国際大学	1	5	1	0	
	マドラス大学	0	0	1	0	
インドネシア	バンドン工科大学	0	1	0	0	
	ウダヤナ大学	1	2	0	0	
	バジャジャラン大学	1	0	0	0	
	ガジャマダ大学	0	1	14	5	
	インドネシア大学	2	8	7	2	

国名・地域名	協定締結先機関名	受入数		派遣数	
		教職員	学生	教職員	学生
インドネシア	ボゴール農科大学	18	1	7	0
	インドネシア教育大学	0	1	0	0
カンボジア	カンボジア王立農業大学	0	0	0	0
	王立プノンペン大学	1	2	0	0
タイ	キング・モンクット工科大学トンプリ校	8	3	12	1
	タマサート大学	1	0	0	0
	チュラロンコン大学	2	6	10	0
	スラナリー工科大学	0	0	0	0
	メジョ大学	0	1	1	0
	アジア工科大学院	0	2	0	0
	シーナカリンウィロート大学	1	4	3	1
パキスタン	ベルシャワール農業大学	0	1	0	0
	コーハット科学技術大学	0	0	0	0
バングラデシュ	国際下痢症研究センター	0	0	5	2
	バングラデシュ農業大学	1	0	0	0
	バングラデシュ工科大学	1	0	1	0
ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン校	0	0	1	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校自然科学大学	1	3	1	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校人文社会科学大学	0	0	1	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校国際大学	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校情報工科大学	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン校ホーチミン市経済法科大学	0	0	0	0
	ホーチミン市科学技術局	0	0	0	0
	熱帯生物学研究所	0	0	16	1
	ホーチミン市バイオテクノロジーセンター	0	0	24	1
	ホーチミン市医科薬科大学	2	3	9	0
	フエ医科薬科大学	0	0	0	0
	サイゴンハイテクパーク	0	0	3	0
	ハノイ科学大学	0	0	0	0
	ハノイ医科大学	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学	0	0	0	0
	チョライ病院	19	0	0	0
	ホーチミン市美術大学	0	0	0	0
	ハノイ農業大学	0	0	5	2
	ホーチミン市師範大学	3	1	9	8
	ベトナム教育訓練省国際教育開発局	0	0	0	0
	ベトナム国立図書館	0	0	0	0
ベトナム国家大学ハノイ校	0	2	15	10	

国名・地域名	協定締結先機関名	受入数		派遣数	
		教職員	学生	教職員	学生
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学	0	2	3	0
	ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校工業技術大学	0	0	1	0
	ベトナム国家大学ハノイ校経済大学	0	0	0	0
	ベトナム国家大学ハノイ校教育大学	0	0	0	0
	日越大学	1	0	1	0
マレーシア	ケバサンサアン・マレーシア大学	2	0	0	0
	マラヤ大学	1	0	2	2
	マレーシア工科大学	4	7	9	11
	ブトラマレーシア大学	2	3	0	2
ミャンマー	バテイン大学	0	4	8	1
モンゴル	モンゴル生命科学大学	0	0	3	2
	フスタイ国立公園研究センター	0	0	0	0
ラオス	ラオス国立大学	0	0	2	0
オーストラリア	オーストラリア国立大学	3	0	3	8
	シドニー大学	2	1	13	0
	マードック大学	0	0	0	0
	アデレード大学	0	0	0	0
	クイーンズランド大学	3	3	4	0
	タスマニア大学	3	0	8	4
	ジェームズクック大学	0	0	0	0
	モナシュ大学	0	0	5	7
	ウーロンゴン大学	0	0	0	0
	西オーストラリア大学	1	0	2	0
ニュージーランド	オタゴ大学	0	0	2	0
	オークランド大学	0	1	3	0
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	5	0	14	0
	プリンス・エドワード島大学	0	0	6	0
	モントリオール大学	0	1	4	1
	ブロック大学	2	3	1	3
米国	カリフォルニア大学	3	0	0	0
	バデュー大学	0	0	1	0
	マサチューセッツ大学アマースト校	0	0	3	0
	オハイオ州立大学	2	0	3	0
	コーネル大学	0	2	6	0

国名・地域名	協定締結先機関名	受入数		派遣数	
		教職員	学生	教職員	学生
米国	プリンストン大学	1	0	9	0
	ケント州立大学	0	0	0	0
	カリフォルニア大学アーバイン校	22	14	36	16
	イリノイ大学・シカゴ校	1	0	0	1
	ワシントン大学・セントルイス	0	1	3	0
	ユタ大学	0	1	0	0
	ピッツバーグ大学	0	0	4	1
	ハワイ大学マノア校	0	0	21	4
	ミシガン大学	1	0	3	0
	聖アンソニー看護大学	1	0	0	0
	アリゾナ州立大学	0	0	3	2
	南インディアナ大学	0	1	0	0
	カリフォルニア州立大学	2	7	10	0
	ニューメキシコ大学	0	0	2	9
	ユタ州立大学	4	1	3	0
	アラスカ大学フェアバンクス校	0	0	0	0
コロンビア	ロスアンデス大学	1	0	1	0
チリ	チリ大学	4	2	4	0
ブラジル	パラナ連邦大学	0	0	0	0
	サンパウロ大学	3	8	25	4
	ブラジリア大学	0	0	10	0
ペルー	カトリカ大学	1	0	2	2
メキシコ	メキシコ大学院大学	0	5	0	0
サウジアラビア	キング・アブドゥールアジーズ大 学	0	0	0	0
	エフファト大学	0	0	0	0
トルコ	ボアジチ大学	0	0	1	1
	バムツカレ大学	0	0	0	0
ヨルダン	ヨルダン科学技術大学	0	0	0	0
イタリア	カ・フォスカリ大学	0	5	0	0
	マルシェ科学技術大学	0	0	0	0
	ミラノ工科大学	0	1	1	0
	ボローニャ大学	1	0	0	0
エストニア	タリン大学	0	1	0	0
オーストリア	ウィーン経済・経営大学	1	1	0	0
オランダ	ユトレヒト大学	3	0	1	0
	デルフト工科大学	5	3	2	1
	アイントホーフェン工科大学	5	1	2	0
	トウェンテ大学	0	0	0	0

国名・地域名	協定締結先機関名	受入数		派遣数		
		教職員	学生	教職員	学生	
英国	シェフィールド大学	0	1	1	0	
	プリマス大学	1	0	2	0	
	ベドフォードシャー大学	0	0	0	0	
	イースト・アングリア大学	5	0	0	0	
	ラフバラ大学	4	0	6	0	
	マンチェスター大学	2	0	7	0	
	オックスフォード・ブルックス大学	0	0	0	0	
	リバプール大学	0	0	2	0	
	エディンバラ大学	1	0	8	12	
	スウェーデン	スウェーデン王立美術大学	1	1	0	0
		ヨンショピング大学	0	0	0	0
ルンド大学		0	0	0	0	
スペイン	バルセロナ大学	1	3	3	1	
	サラマンカ大学	0	0	1	0	
	マドリッド・コンプルテンセ大学	0	1	1	0	
スロベニア	リュブリャナ大学	11	5	18	8	
チェコ	カレル大学	0	1	1	0	
デンマーク	コペンハーゲン大学	0	0	1	3	
ドイツ	シュツットガルト大学	0	0	2	0	
	ボーフム大学	0	0	3	0	
	マルティン・ルター・ハレ・ヴィッ テンベルク大学	0	3	1	1	
	ブランデンブルク工科大学コッ プス・ゼンフテンベルク校	0	0	0	0	
	ベルリン自由大学	5	1	9	1	
	ルートヴィヒ・マクシミリアン大学 ミュンヘン	2	1	5	4	
	ミュンヘン工科大学	0	0	0	0	
	ケルン大学	1	1	0	0	
	デュースブルグエッセン大学	0	1	1	3	
	バイロイト大学	0	2	0	0	
	ミュンスター大学	0	1	2	0	
	ライプニッツ大学ハノーファー	0	0	0	0	
	フライブルク大学	0	0	0	0	
	ライプツィヒ大学	1	0	2	0	
	ユーリッヒ総合研究機構（エネ ルギー・気候研究所）	0	0	0	0	
ボン大学	1	6	5	1		
アウクスブルク応用科学大学	0	0	0	0		
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学	0	0	3	2	
	タンカブヤム教単科大学	0	0	0	0	
	センメルヴァイス大学	0	0	0	0	

国名・地域名	協定締結先機関名	受入数		派遣数	
		教職員	学生	教職員	学生
ハンガリー	ハンガリー体育大学	1	1	2	2
	セグド大学	0	1	1	1
フィンランド	ヘルシンキ大学	3	1	1	0
フランス	フランス放射線防護原子力安全研究所	3	0	4	0
	ヴァレンシエンス大学	1	0	1	0
	パリ第13大学	0	0	1	0
	モンペリエ第一大学	5	5	1	0
	グルノーブル大学	1	2	0	2
	ナント大学	0	0	0	0
	ボルドー大学	12	10	30	0
	ベルフオール・モンペリヤール工科大学	1	2	0	0
	国立工業工芸大学(パリ工科大学)	0	0	0	0
フランシュ=コンテ大学	0	5	3	4	
ベルギー	ルーバン・カトリック大学, インターユニバーシティマイクロエレクトロニクスセンター	0	0	1	0
ポーランド	ワルシャワ大学	3	1	2	1
	ヤギェウォ大学	0	1	2	1
ポーランド	ピアウイストック大学	0	0	0	0
ラトビア	ラトビア大学	0	1	0	0
リトアニア	ヴィリニュス大学	0	1	0	0
ルーマニア	ティミショアラ西大学	0	0	0	0
	ブカレスト大学	0	0	0	0
ロシア	サンクト・ペテルブルグ大学	0	4	8	0
	ブドカー原子物理学研究所	0	0	4	0
	モスクワ市立教育大学	0	3	7	2
	カザン連邦大学	1	4	1	0
	ピロゴフ記念ロシア国立研究医科大学	0	5	5	0
	ノヴォシビルスク国立医科大学	0	5	0	0
	太平洋国立医科大学	0	1	0	0
	モスクワ国立大学	0	3	10	0
	極東連邦大学	0	3	4	1
	ノヴォシビルスク国立大学	0	2	0	0
ロシア国立体育・スポーツ・青年・観光大学	0	0	5	0	
ウクライナ	キエフ国立大学	0	1	1	0
ウズベキスタン	世界経済外交大学	0	2	3	0
	サマルカンド国立外国語大学	0	1	1	0
	ウズベキスタン国立世界言語大学	0	1	3	0
	タシケント国立東洋学大学	0	3	9	3
カザフスタン	カザフ国立大学	0	4	3	0

国名・地域名	協定締結先機関名	受入数		派遣数	
		教職員	学生	教職員	学生
カザフスタン	ユーラシア国立大学	0	1	0	0
	カザフ経済大学	0	2	1	0
	カザフ国際関係外国語大学	0	1	0	0
	国立腫瘍移植科学センター	0	0	0	0
	カザフ国立教育大学	0	1	6	2
キルギス	キルギス民族大学	0	1	0	0
	ビシュケク人文大学	0	5	2	0
	キルギス国立大学	0	5	1	0
タジキスタン	ロシア・タジク・スラヴ大学	0	2	0	0
	タジク国立言語大学	0	0	0	0
トルクメニスタン	トルクメニスタン国立アザディ世界言語大学	0	1	0	0
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学	0	0	0	1
	ベラルーシ国立医科大学	0	1	4	0
アルジェリア	アルジェリア民主人民共和国高等教育・科学技術研究省	0	0	0	0
	オラン科学技術大学モハメド・ブーディアフ	3	1	0	0
	ホウアリ・ブーメディエン科学技術大学	0	0	0	1
エジプト	エジプト日本科学技術大学(E-JUST)	0	0	0	0
	カイロ大学	0	2	0	0
	アインシャムス大学	0	0	0	0
チュニジア	カルタゴ大学	4	4	0	0
	スース大学	0	0	2	0
	スファックス大学	7	3	0	0
	スファックス・バイオテクノロジー・センター	1	0	0	0
	チュニス・エル=マナール大学	0	0	0	0
ナイジェリア	ナイジェリア大学	3	3	0	0
モーリタニア	高等技術学院	0	0	1	1
モロッコ	シディー・モハメド・ベン・アブダラー大学	0	0	0	0
	モロッコ王国高等教育・科学研究・幹部養成省	0	0	0	0
	ハッサンII世農獣医大学	0	0	6	0
	モハメド5世大学-アグダル	0	0	0	0
	アル・アハワイン大学	0	0	4	0
	カディ・アヤド大学	0	0	1	0
リビア	セブハ大学	0	0	0	0
国際連合	国際連合大学	0	0	0	0
小計		481	426	910	273
合計		907		1,183	

(4) 国際会議等の開催

(平成27年度)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者数 (外国人参加者数)
タイランド司法裁判所国際会議	6月21日～7月4日	筑波大学東京 キャンパス134教室	筑波大学大学院人文社会科学研究科	タイランド司法裁判所国際会議	2カ国 14名 (44名)
第6回国際土石流災害防止会議	6月22日～6月27日	つくば国際会議場 (エボカルつくば)	第6回国際土石流災害防止会議実行委員会、 国際土石流災害防止会議委員会	土石流災害の発生メカニズムと可能な対策	17カ国 100名 (65名)
第123回知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会	6月22日～6月22日	情報メディアユニオン3階 共同研究会議室1	知的コミュニティ基盤研究センター	Rhythms and the brain: Studies of neural dynamics of beat perception	2カ国 29名 (1名)
ソーシャルメディアと市民参加に関する東京シンポジウム	6月28日～6月29日	筑波大学 文京校舎119号室	筑波大学人文社会国際比較研究機構	アジアの市民の政治的社会的SNS活用と参加	11カ国 20名 (20名)
講演「発達性ディスレクシアのある小中学生、高校生、大学生への支援－英国Brunel大学－」	7月17日～7月17日	筑波大学人間系学系棟A101	筑波大学人間系・宇野研究室	発達性ディスレクシアのある小中学生、高校生、大学生への支援－英国Brunel大学－	2カ国 29名 (1名)
第6回亜細亜東北運動学学術大会	7月18日～7月19日	流通経済大学 新松戸キャンパス	6th NACK 2015実行委員会(会長:宮川俊平、筑波大学体育系外科系スポーツ医学領域)	Wisdom of Asia to the world	4カ国 37名 (54名)
講演「現職教員や教員を目指す学生の発達性ディスレクシアに関する教育－英国Reading大学－」	7月24日～7月24日	筑波大学人間系学系棟A101	筑波大学人間系・宇野研究室	現職教員や教員を目指す学生の発達性ディスレクシアに関する教育－英国Reading大学－	3カ国 28名 (2名)
感性認知脳科学専攻セミナー	7月30日～7月30日	筑波大学 総合研究棟D422	筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻(世話人:宇野彰)	What Rodent Research Can Tell Us About Developmental Dyslexia	2カ国 29名 (1名)
第125回知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会	8月3日～8月3日	春日エリア 3F 大会議室(7B310)	知的コミュニティ基盤研究センター	Development of Copyright in China and Its Impact on the Library	2カ国 8名 (1名)
科学と特許の学際ワークショップ	9月4日～9月4日	筑波大学大学会館ホール	筑波大学人文社会系 筑波大学物質工学域後藤研究室	科学一般の研究発表と特許	4カ国 87名 (1名)
第13回重イオン加速器技術に関する国際会議	9月7日～9月11日	ワークピア横浜	理化学研究所 筑波大学 数理物質系/応用加速器部門 大阪大学核物理研究センター 放射線医学総合研究所 日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所	重イオン加速器の最新の研究開発成果の現状を議論する。	14カ国 64名 (56名)
国際シンポジウム 書の資料学—故宮からの問い—	9月12日～9月12日	筑波大学東京 キャンパス文京校舎	「書の資料学」実行委員会(代表者:菅野智明)	日中比較による書学資料の文献学的研究(科研費研究課題)	3カ国 64名 (2名)
ICOFOM国際シンポジウム	9月13日～9月18日	春日エリア講堂、 メディアユニオンホール他	知的コミュニティ基盤研究センター(共催)	博物館・図書館・アーカイブズの世界から切り拓く博物館学の世界	10カ国 40名 (22名)
日中韓大学院生フォーラム2015	9月16日～9月19日	筑波大学2B棟、 2C棟、2D棟	筑波大学生命環境系	農業, 環境, 生命科学を専攻とする日中韓大学院生のためのフォーラム	5カ国 42名 (84名)
アジアスポーツ法学会国際学術研究大会2015	9月18日～9月19日	筑波大学 東京 キャンパス文京校舎	日本スポーツ法学会 アジアスポーツ法学会	アジアにおけるオリンピック・パラリンピック開催をめぐる法的諸問題	4カ国 105名 (35名)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者数 (外国人参加者数)
バルク・エッジ対応とその普遍性:固体物理から冷却原子まで 2015	9月27日 ~ 9月29日	筑波大学文京校舎	筑波大学数理物質科学研究科物理学専攻 初貝安弘世話人代表	バルク・エッジ対応の原理の物理学的な普遍性を広く実験的研究で探ると共にその理論を確立する	5カ国 54名 (6名)
Tsukuba Global Science Week 2015	9月28日 ~ 9月30日	つくば国際会議場	筑波大学	あらゆる学術分野の最新の研究成果の共有	25カ国 1000名 (200名)
ヒューマンバイオロジーシンポジウム2015	9月28日 ~ 9月30日	つくば国際会議場	筑波大学 教育推進部 教育機構支援課 グローバル教育院	New Realm of Human Biology System Biology Café Imaging Science Café:for Biology and Medicine	4カ国 0名 (9名)
原子力関連事故の食糧と農業の緊急時対応についての第2回国際研究協力会議	9月28日 ~ 10月2日	福島県自治会館	筑波大学アイソトープ環境動態研究センター	原子力関連事故の食糧と農業の緊急時対応について	10カ国 5名 (13名)
革新的構造材料のための先端計測拠点国際会議 (SIP-IMASM2015)	9月29日 ~ 10月1日	産業技術総合研究所 つくば中央第一共用講堂	産業技術総合研究所 物質・材料研究機構 筑波大学 高エネルギー加速器研究機構	内閣府SIP「革新的構造材料」における先端計測拠点の形成	4カ国 53名 (4名)
第3回グローバルイノベーション学位プログラムジョイントミーティング	9月30日 ~ 9月30日	つくば国際会議場402室	筑波大学	GIP-TRIAD概要紹介	4カ国 18名 (16名)
第3回グローバルエイジング国際会議	9月30日 ~ 9月30日	つくば国際会議場 会議室406/303	筑波大学 グローバルエイジングセンター準備室	医療・介護、文化、家族のあり方、宗教、多様な社会の視点からの研究成果やアイデアを共有し、政策の方向性を考察する	6カ国 50名 (0名)
障害科学域・障害科学専攻FD研修会「応用行動分析学セミナー」	10月1日 ~ 10月1日	筑波大学筑波キャンパス人間系学系A101	筑波大学障害科学域・障害科学専攻	米国における自閉症教育40年の研究実績を持つ応用行動分析セミナー	2カ国 70名 (10名)
地域規模の気候変動予測	10月5日 ~ 10月7日	つくば国際会議場 中会議室406	気候変動リスク情報創生プログラムテーマC	地域規模の気候変動予測	8カ国 56名 (16名)
図書館情報メディア研究科特別講演会	10月26日 ~ 10月26日	情報メディアユニオン3階 共同研究会議室1	図書館情報メディア研究科	Creating, Collaborating, and Celebrating the Diversity of Research Data	2カ国 30名 (1名)
免疫制御に関する国際シンポジウム	10月29日 ~ 10月30日	大洗パークホテル	筑波大学医学医療系免疫学研究室	再生、感染、癌、アレルギー等の多様な生命現象に関し、免疫学的視点から議論する	3カ国 53名 (2名)
科研費成果公開シンポジウム 欧米におけるESDと地理教育	11月1日 ~ 11月1日	筑波大学東京キャンパス文京校舎120講義室	筑波大学人間系・井田仁康(研究代表者)	欧米におけるESDと地理教育	6カ国 35名 (6名)
Ag-ESDシンポジウム 2015	11月16日 ~ 11月20日	筑波大学 大学会館特別会議室	筑波大学農林技術センター	食料資源の有効活用と環境保全	8カ国 6名 (12名)
第4回高校生国際ESDシンポジウム東京2015	11月18日 ~ 11月18日	筑波大学東京キャンパス	筑波大学附属坂戸高等学校	フードロスとフードウェイスト	4カ国 162名 (21名)
日露学生フォーラム	12月1日 ~ 12月8日	大学会館ホールほか	日露青年交流センター 筑波大学・大学の世界 展開力強化事業(ロシア)	これからの日本とロシアへ過去を踏まえ、現在(いま)を生き、未来へとつなぐ	2カ国 50名 (40名)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者数 (外国人参加者数)
新進芸術家育成交流作品展FINE ART/UNIVERSITY SELECTION (シンポジウムおよびアーティストトーク)	12月8日 ~ 12月13日	シンポジウム:筑波大学学生会館ホール アーティストトーク:茨城県つくば美術館	文化庁 筑波大学芸術系	海外の作家・作品との交流を通じて、わが国の若手芸術家を育成することを目的とした文化庁委託事業(展覧会、シンポジウム、アーティストトークで構成)。シンポジウムのテーマは「芸術と社会」。	9カ国 90名 (19名)
Workshop on systems management and control	12月11日 ~ 12月12日	筑波大学文京校舎120講義室	筑波大学ビジネスサイエンス系	Systems management and control	2カ国 25名 (3名)
第3回「スポーツ国際開発」国際シンポジウム	12月12日 ~ 12月12日	フクラシア東京ステーション5階会議室H	筑波大学、 鹿屋体育大学、 日本スポーツ振興センター	スポーツ国際開発	9カ国 111名 (7名)
緑のチチャダスへのロードマップ	12月19日 ~ 12月19日	西ジャワ州、チチャダス町	筑波大学人文社会系・木村武史	サステイナブルなチチャダス町のための会合	2カ国 31名 (30名)
第4回グローバルイノベーション学位プログラムジョイントミーティング	1月18日 ~ 1月19日	ボルドー大学	筑波大学	GIP-TRIADの開設準備に関する協議	3カ国 10名 (15名)
国際ワークショップ:Rule of Law and Interpretation(法の支配と法解釈)	1月21日 ~ 1月21日	筑波大学東京キャンパス119教室	筑波大学大学院人文社会科学研究所・明治学院大学法学部	法の支配と法の解釈の課題	3カ国 20名 (4名)
筑波大学生命環境系ボルドー大学共同ミニシンポジウム	1月22日 ~ 1月22日	筑波大学総合研究A棟	筑波大学生命環境系	Synthetic Biology(合成生物学)に関するミニシンポジウム	2カ国 6名 (2名)
学生企画による大学教育の質的保障:7カ国の比較の観点から	1月23日 ~ 1月23日	筑波大学文京校舎120講義室	筑波大学大学研究センター	学生企画による大学教育の質的保障	7カ国 41名 (8名)
第129回知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会	1月26日 ~ 1月26日	情報メディアユニオン3階 共同研究会議室1	知的コミュニティ基盤研究センター	The Challenges of MIREX: Maximizing evaluation access within the bounds of copyright restrictions	2カ国 13名 (1名)
第10回筑波大学・アジア太平洋経済協力国際会議	2月12日 ~ 2月20日	筑波大学東京キャンパス/筑波大学附属小学校/お茶の水女子大学	筑波大学	授業研究による算数・数学教育の革新—STEM、クロスボーダー、省エネルギー—	19カ国 20名 (145名)
転写代謝システム 国際シンポジウム	2月17日 ~ 2月17日	東京大学薬学部講堂 総合研究棟2階	新学術領域研究「転写代謝システム」	転写代謝システムについての成果発表と情報交換	2カ国 60名 (1名)
チュニジア—日本 文化・科学・技術学術会議(TJASSST 2015)	2月23日 ~ 2月24日	筑波大学 学生会館国際会議室	Center of Biotechnology of Borj Cedria (CBBC)	基礎研究データや事例研究、社会実装などの口頭発表およびポスター発表	7カ国 67名 (50名)
第13回国際教育協力日本フォーラム	2月24日 ~ 2月24日	学術総合センター 中会議場	文部科学省、外務省、 広島大学、筑波大学	自立的教育開発に向けた国際協力	1カ国 126名 (0名)
第4回IIISシンポジウム	2月26日 ~ 2月26日	筑波大学睡眠医科学研究棟1階講義室	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構	睡眠の謎に挑む	18カ国 126名 (56名)
ベルリン・フンボルト大学リワーク研究所 国際ワークショップ	3月3日 ~ 3月4日	ベルリン・フンボルト大学リワーク研究所	ベルリン・フンボルト大学リワーク研究所 筑波大学人文社会系	女性不安定雇用の国際比較	5カ国 8名 (15名)

会議名	開催期間	会場	主催等	テーマ	参加者数 (外国人参加者数)
HHP国際フォーラム	3月3日 ～ 3月3日	筑波大学	筑波大学体育系	Sport Science for Olympic and Paralympic Games	6カ国 80名 (18名)
原子力災害による環境・生態系影響リスクマネジメントプログラム キックオフシンポジウム	3月12日 ～ 3月12日	筑波大学第一エリア1D204教室 総合研究棟A110	筑波大学大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻・持続環境学専攻	過去の原子力災害とその環境影響	1カ国 70名 (12名)
University of Oxford and University of Tuskuba Joint Symposium	3月14日 ～ 3月15日	①Memorial Room Queens College ②Ludwig Seminar Room, Old Road Campus Research Building	ライフイノベーション学位プログラム	①Neuroscience, Regenerative Medicine and Chemistry ②Cancer	2カ国 10名 (14名)
生命環境系FDトレーニング	3月15日 ～ 3月17日	筑波大学総合研究A棟	筑波大学生命環境系	Faculty Developmentトレーニング 「Improving and Invigorating Your Teaching: Flipped Learning」	2カ国 6名 (4名)
筑波大学体育系ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター (ARIHHP) 設置記念フォーラム	3月17日 ～ 3月17日	筑波大学体芸棟 (5C216)	筑波大学体育系	産学官連携を通じた体育・健康スポーツ科学の現代的ミッションを考える	4カ国 120名 (8名)
国際会議「紀元前2千年紀のユーフラテス川中流域ならびにハブル川下流域の諸都市における暦と祭礼に関する国際会議」	3月23日 ～ 3月24日	筑波大学総合研究棟B108	西アジア文明研究センター	メソポタミアとその周辺の書記文化	5カ国 25名 (9名)
国際会議 International Symposium on Symbolic Computation in Software Science	3月28日 ～ 3月31日	お茶の水女子大学	お茶の水女子大学理学部情報科学科	数式処理の理論と応用	6カ国 25名 (13名)

(注) 本学又は本学教員が主催ないし共催した国際会議の一覧を掲載。

(5) 国別交流者数

(平成27年度)

国・地域名	研究者等の受入	教職員の派遣	外国人留学生	学生の派遣	計
インド	19	52	28	8	107
インドネシア	59	102 (1)	121	28	310
カンボジア	3	24	11	10	48
シンガポール	9	58	1	16	84
スリランカ	5	12	14	6	37
タイ	159	101 (18)	40	67	367
ネパール	1	5	8	1	15
バキスタン	2		8		10
バングラデシュ	5	14	46	5	70
フィリピン	24	51 (1)	26	44	145
ブータン		4		1	5
ブルネイ					0
ベトナム	55	111 (6)	70	49	285
マレーシア	40	86 (2)	39	53	218
ミャンマー	2	27	13	17	59
モルディブ					0
モンゴル	13	16	15	7	51
ラオス	1	9 (3)	10	1	21
韓国	152	245 (6)	170	93	660
台湾	137	262 (5)	76	112	587
中国	252	359 (4)	1,221	123	1,955
東ティモール		4		3	7
北朝鮮					0
アフガニスタン			12		12
アラブ首長国連邦	4	4			8
イエメン			1		1
イスラエル	1	4		1	6
イラク	5	4 (1)	1		10
イラン	2	7	9	3	21
オマーン		1			1
カタール		3			3
クウェート					0
サウジアラビア		5	1	1	7
シリア	1		6		7
トルコ	3	26 (3)	4	7	40
バーレーン		1	1		2
パレスチナ					0
ヨルダン		3	2		5
レバノン		3 (1)	1		4
アゼルバイジャン		7 (1)		2	9
アルメニア		3 (2)		1	4
ウクライナ	1	1	11		13
ウズベキスタン	10	21 (4)	24	9	64
カザフスタン	3	16 (1)	19	8	46
キルギス		2 (2)	15	10	27
ジョージア	1	(1)			1
タジキスタン	2	5 (2)	6	2	15
トルクメニスタン	12	3	3	1	19
ベラルーシ	7	7	2	8	24
モルドバ					0
ロシア	17	74 (8)	30	52	173
アイスランド	1	(1)	1		2
アイルランド	1	10		2	13
アルバニア					0
アンドラ					0
イタリア	13	66 (5)	6	23	108
エストニア			5	2	7
オーストリア	17	47 (1)	2	19	85
オランダ	61	47 (4)	4	14	126
キプロス		2			2
ギリシャ	2	15	5	4	26
クロアチア	3	7 (1)	4	2	16
コソボ					0
サンマリノ					0
スイス	14	56 (10)	1	26	97
スウェーデン	9	46		19	74
スペイン	7	52	3	18	80
スロバキア		1	1		2
スロベニア	14	29	8	15	66
セルビア			2	1	3
チェコ	1	26 (1)	3	12	42
デンマーク	3	19 (1)		8	30
ドイツ	51	142 (27)	31	72	296
ノルウェー	2	4	2		8
ハンガリー	5	14 (1)	5	6	30
フィンランド	5	25	2	9	41
フランス	77	141 (13)	16	68	302
ブルガリア	1	1	4		6
ベルギー	3	21 (4)	1	4	29
ポーランド	3	15 (2)	4	5	27
ボスニア・ヘルツェゴビナ			1		1
ポルトガル		14	2	3	19
マケドニア	1				1
マルタ		1		1	2
モナコ		4			4
モンテネグロ					0
ラトビア			2		2
リトアニア			6	2	8
リヒテンシュタイン					0
ルーマニア	2	1	5		8
ルクセンブルク	1	1			2
英国	58	188 (14)	10	85	341
カナダ	26	96 (7)	2	57	181
米国	182	823 (11)	44	385	1,434

国・地域名	研究者等の受入	教職員の派遣	外国人留学生	学生の派遣	計
オーストリア	24	113 (4)	10	48	195
キリバス					0
クック諸島					0
サモア					0
ソロモン諸島		1		1	2
ツバル					0
トンガ					0
ナウル					0
ニウエ					0
ニュージーランド	3	17		3	23
バヌアツ					0
バブアニューギニア	2				2
バラオ		6		3	9
フィジー		1	3	2	6
マーシャル					0
ミクロネシア		1		1	2
アルゼンチン	1		4		5
アンティグア・バーブーダ			1		1
ウルグアイ				1	1
エクアドル					0
エルサルバドル		2		1	3
キューバ			1		1
グアテマラ					0
コスタリカ		1	2		3
コロンビア	10	1	2		13
ジャマイカ			2		2
チリ	10	4 (1)	2	8	24
ドミニカ共和国					0
ニカラグア			1		1
ハイチ			2		2
パナマ					0
バハマ					0
パラグアイ					0
バルバドス					0
ブラジル	19	51 (1)	43	16	129
ベネズエラ			2		2
ペルー					0
ペルー	4	6 (4)	7	9	26
ボリビア		(1)	1		1
ホンジュラス			1		1
メキシコ	8	21	11	4	44
アルジェリア	3	2	2	1	8
アンゴラ			1		1
ウガンダ		5	1		6
エジプト	3	11 (1)	11	2	27
エチオピア		6	4	1	11
エリトリア			1		1
ガーナ	1	2	7		10
ガボン			1		1
カメルーン	1		1		2
ガンビア					0
ギニア			1		1
ギニアビサウ					0
ケニア		13	7	5	25
コートジボワール	1		1		2
コンゴ共和国					0
コンゴ民主共和国	1				1
ザンビア			2		2
ジンバブエ			4		4
スーダン	1	1	1		3
スワジランド					0
セネガル			1		1
タンザニア		3	2		5
チュニジア	53	23	14	2	92
ナイジェリア	4		17		21
ナミビア				1	1
ニジェール					0
ブルキナファソ					0
ベナン			1		1
ボツワナ	1				1
マラウイ			4	1	5
マリ		1			1
モーリシャス		1		2	3
モーリタニア	2	2		1	5
モザンビーク			2		2
モロッコ	1	7 (2)	5	13	26
リビア					0
リベリア					0
ルワンダ			1		1
レソト		(2)			0
南アフリカ	3	8 (2)	1	1	13
南スーダン			1		1
その他	3	24		9	36
その他 国・地域不明	450				450
合計	2,179	3,990 (193)	2,436	1,747	10,352

(注) 1.()内の派遣者数は、2か国以上に渡った者を重複して掲載したものである。
2.外国人留学生については、平成28年3月1日現在の現員を示す。

7 社会連携・大学公開関係

(1) 社会貢献プロジェクト

所属/氏名欄の網掛けは、学生の取り組み

分野	所属/氏名	課題名
科学振興・教育	システム情報系 /亀田敏弘	超小型人工衛星を用いた体験実習型科学教育による地域・社会貢献プロジェクト
	生命環境系 /Matthew C. Wood	学生によるサイエンスコミュニケーションの実践 ～筑波大学サイエンスコミュニケーショングループSCOUT～
	システム情報系 /吉瀬章子	茨城県南北を結ぶ高校交流による数理モデルを用いた地域課題解決提案
	数理解物質系 /後藤博正	小中高校生への理科教育啓蒙活動
国際	人文社会系 /明石純一	国際都市つくばの新しい国際化施策—定住外国籍児童に対する「職育」プログラム
環境	生命環境学群生物学類 /井戸川直人	身近な自然がぼくらの先生！ つくバグ2015 学生による自然体験教室とサイエンスカフェ
	生命環境系 /丸尾文昭	「いもりの里」をモデル拠点とした谷津田・里山の復元・維持管理ネットワークの継続的発展2015
文化・地域活性化	芸術系 /太田 圭	「夏休みアート・デイキャンプ&アートたんけん隊2015—めざせ！つくばのレオナルド・ダ・ヴィンチ」の実施
	人間系 /原田悦子	高齢者コミュニティで作る産学・社会連携プロジェクト広報誌を介した地域づくり
	附属坂戸高等学校 /石井克佳	つくさか地域食育支援プロジェクト
健康・医療・福祉	医学群医学類 /藤井聡子	ゆめ花火
	理療科教員養成施設 /宮本俊和	視覚障害パラリンピアンへの競技力向上とキャリア支援に向けた鍼灸マッサージによる支援
	医学群看護学類 /高村有加	「宇宙」を用いて地域の人々に笑顔を～つくば市の病院、学校を中心に～
	附属視覚特別支援学校 /工藤康弘	地域高齢者を対象とした健康教室の開催
	体育系 /大藏倫博	高齢者運動支援リーダーによる健康づくりネットワークの醸成と普及体制の構築～特に男性高齢者の健康づくり推進および異世代間交流強化の観点から～
	医学医療系 /安部加奈子	科学的根拠に基づく母乳育児支援専門職の養成
	体育系 /田中喜代次	地元在住の運動指導ボランティアの自立を支援する社会貢献プロジェクト
	医学医療系 /鎌田浩史	成長発育期（小・中学生）に発生する運動器障害に対する「健康手帳」を用いた運動器検診とトレーナーによる障害予防活動

所属/氏名欄の網掛けは、学生の取り組み

分野	所属/氏名	課題名
	医学医療系 /宮園弥生	茨城県内の救急隊員に対する小児・周産期医療教育
	医学医療系 /高橋伸二	医療職および一般市民に対する新国際標準救急蘇生（ガイドライン2010）教育体制強化の支援
復興・再生支援	体育系 /征矢英昭	筑波大学発SPARTSプログラムで東北被災地の子どもたちを元気にする
	体育系 /長谷川聖修	つくば市と北茨城市における健康づくり運動による交流活動の支援
	体育系 /増地克之	震災支援プロジェクト「東北3県柔道指導キャラバン」
	附属聴覚特別支援学校 /橋本時浩	私たちの故郷を描こうー貼り絵で表現する故郷の文化と誇りー （東日本大震災で被災した地域の子供たちの心のケアと郷土愛や誇りを取り戻すための支援）
	体育系 /奈良隆章	スポーツ振興を通じた被災地での支援活動

(2) 地方自治体との連携協定

自治体名	連携事項	締結日	備考
つくば市	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と市の情報、資源及び研究成果等の交流並びにその活用 ・大学と市が共同して行う事業の企画及び実施 	H15.10.1	包括
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と県の相互の情報、技術等知的資源の活用 ・地域の活力を育む人材の育成 ・大学と県が共同して実施する事業の企画、調整及び推進 	H17.2.7	包括
大子町	<ul style="list-style-type: none"> ・教育等の人材育成のための特色ある取り組みに関すること ・地域の健康増進 ・地域の自然、文化を活かしたまちづくり ・農産物等の地域資源の振興 	H20.8.7	包括
文京区	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 ・文化、スポーツ、芸術の発展及び産業の振興 ・地域コミュニティの発展 	H22.2.9	包括
牛久市	<ul style="list-style-type: none"> ・教育、文化、スポーツの振興 ・健康及び福祉の増進 ・地域資源の活用及び振興 ・地域の自然及び環境対策 ・まちづくりの推進 	H22.7.28	包括
土浦市	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの推進 ・地域資源の活用及び振興 ・教育、文化及びスポーツの振興 ・地域施策の助言 	H23.3.1	包括
常総市	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を活かしたまちづくり ・文化・スポーツ・芸術を通じた地域活性化 ・教育支援及び人材育成 ・健康及び福祉の増進 	H24.2.14	包括
行方市	<ul style="list-style-type: none"> ・農業・食、運動、休息による地域活性化 ・まちづくり推進及び健康サービスモデル開発事業 	H24.10.3	共同研究
福島県いわき市	<ul style="list-style-type: none"> ・津波等により甚大な被害を受けた沿岸地域等の復興 ・地域力の再生及び強化 ・地域産業の再生及び復興 ・都市魅力の再生及び復興 	H23.8.10	震災復興
宮城県仙台市及び 国立大学法人東北 大学	<ul style="list-style-type: none"> ・藻類バイオマス技術による東北の復興に向けて、 ・三者の相互の情報、技術的知的資源の活用 ・三者が共同して実施する事業の企画、調整及び推進 	H23.11.10	震災復興
潮来市	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり ・産業の振興による復興支援 ・震災復興に係る施策への助言 	H23.11.21	震災復興
福島県伊達市	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的根拠に基づく先進的な健康づくり ・放射性核種による汚染の実態と対策及び健康管理 	H23.11.28	震災復興
神栖市	<ul style="list-style-type: none"> ・液状化被害、ライフライン被害等の調査検討 ・地域防災計画の見直し ・復興に向けたまちづくりの推進 	H23.11.29	震災復興
北茨城市	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活基盤の復旧及び地域コミュニティの再生 ・地域産業及び経済の再建 ・防災基盤の整備及び防災体制の強化 ・地域の現状や特性に応じたまちづくり 	H23.12.2	震災復興
高萩市	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり ・生涯を通じた心身の健康づくり 	H23.12.6	震災復興
鹿嶋市	<ul style="list-style-type: none"> ・震災からの復興に向けたまちづくりの推進 ・津波及び液状化対策 ・地域防災計画の改定 	H24.2.27	震災復興

(3) 高大連携事業一覧

	事業名	講座・研究室等	参加人数
茨城県教育委員会	高校生公開授業	12科目提供	0名
	高校生公開講座	4講座	65名
	未来の科学者育成プロジェクト	10講座	36名
	学習支援員派遣事業	派遣学生 8名	県立高校 6校
	茨城県高校生科学研究発表会	審査員 51名	400名
近隣高校との連携事業	竹園高校筑波大学図書館研修	附属図書館(中央図書館)	82名
	竹園高校「探Q」学生派遣事業	派遣大学院生 7名	82名
	竹園高校研究室体験研修(文系)	派遣教員 5名	42名
	竹園高校研究室体験研修(理系)	派遣教員 1名	14名
	竹園高校先端科学講座	派遣教員 4名	237名
	竹園高校大学紹介授業	派遣教員14名	延439名
	茗溪学園高校科学研究アドバイザー	派遣大学院生 1名	270名
	茗溪学園高校大学訪問	2専門学群18学類	64名
	茗溪学園高校SSH講演会	派遣教員 13名 派遣学生 10名	260名
	茗溪学園高校SS研究・個人課題研究発表会	派遣教員 7名	発表者 28名 参加者 500名
	龍ヶ崎一高大学研究会	派遣教員 2名	70名
	龍ヶ崎一高筑波大学模擬授業	派遣教員 9名	280名
	龍ヶ崎一高筑波大学キャンパス見学	2分野	80名
附属連携学校との	附属駒場高校生研究室体験研修	21研究室	163名
	附属駒場中学生研究室体験研修	(前半)16研究室 (後半)17研究室	122名
	附属高校研究室体験	(前半)20研究室 (後半)26研究室	254名
その他	米軍子弟教育高大連携プロジェクト	20研究室	100名
	理工系一日体験教室	数学・物理・化学・応用理工	254名
	筑波大学と地元高校との高大連携シンポジウム2015	5校	発表 16班 参加者 約180名
	若い世代のための被災地出前講義プロジェクト	8校	派遣教員30名
	出前講義、模擬授業、研究室体験等	481件	県・近隣高等の連携事業を含む

(4) 公開講座実施状況

ア 一般公開講座

公開講座名	講座数	対象者	募集人数	応募者数	受講者数	修了者数
剣道(春季)	1	小学校3年生以上の者	50	30	30	28
剣道(秋季)	1	小学校3年生以上の者	50	49	49	43
弓道(春季)	1	中学生以上の弓道初心者	30	54	39	36
弓道(秋季)	1	中学生以上の弓道初心者	30	45	38	31
ゴルフ(初級)	1	一般市民(初心者)	24	31	24	24
ゴルフ(中級Ⅰ)	1	一般市民(「初級講座」修了者)	24	33	24	24
ゴルフ(中級Ⅱ)	1	一般市民(「初級講座」修了者)	24	23	22	21
ゴルフ(上級)	1	一般市民(「中級講座」を修了し、ベストスコアが100以下の方)	24	35	29	28
アンチエイジングスキー	1	一般市民(60歳以上70歳以下の初級者以上)				
スポーツ教室 9 講座			256	300	255	235
油絵(初級・中級)	1	初級:16歳以上、中級:18歳以上	30	44	39	34
日本画	1	16歳以上	20	32	25	22
ガラス講座 キルンワークコース	1	初心者及び経験者	25	32	29	26
芸術教室 3 講座			75	108	93	82
憲法で学ぶ社会－若手憲法学者の最前線－	1	中学生、高校生、一般市民	12	6	6	6
比較憲法	1	大学生(法学系大学院へ進学希望の者)	5	3	3	3
個人情報保護やビックデータと法学	1	中学生～大学生(法学部への進学希望の者)	5	2	2	2
ナチュラリスト養成講座	1	一般市民(高校生以上)	20	26	26	17
哲学カフェ	1	一般市民	20	33	25	25
筑波山地域ジオパーク構想の魅力	1	一般市民	25	29	26	26
健康増進を目指した生活習慣	1	一般市民	30	39	35	33
日本における法と社会	1	大学生、大学院生				
古文書の読み方・守り方 ～筑波山麓の古文書を中心に～	1	一般市民(初心者)	25	51	28	25
水が足りない:北アフリカから未来の日本へのメッセージ	1	一般市民	30	30	26	20
多様化する世界遺産 ～その学際的アプローチ～ 1	1	一般市民	30	22	13	13
多様化する世界遺産 ～その学際的アプローチ～ 2	1	一般市民	30	33	21	21
生物機能の科学と応用	1	一般市民	30	51	44	44
産業組織の中で生きるカウンセリング	1	一般市民	30	36	28	27
海洋生物学入門	1	高校生	25	45	28	28
生命の発生から老化まで －動物の機能を形成・維持するしくみ－	1	一般市民	25	36	35	32
学校トラブルへの法的対処①	1	一般市民	30	11	10	9
学校トラブルへの法的対処②	1	一般市民	30	9	9	9
個人情報保護の諸問題①	1	一般市民	30	12	12	11
個人情報保護の諸問題②	1	一般市民	30	6	6	6
さまざまな動物の生存戦略	1	一般市民	30	46	40	38

公開講座名	講座数	対象者	募集 人数	応募 者数	受講 者数	修了 者数
じんるいがくカフェ～文化人類学からのグローバル化する世界を捉える～	1	一般市民	20	7	6	2
自家製チーズ作りを楽しむ	1	一般市民	16	31	16	16
終活への備え	1	一般市民	30	31	30	22
東洋医学でリフレッシュ！	1	一般市民	40	31	30	29
教養講座 25 講座			598	626	505	464
計 37 講座			929	1,034	853	781

イ 現職教育講座

公開講座名	講座数	対象者	募集 人数	応募 者数	受講 者数	修了 者数
メディア・情報技術を活用した外国語の実践的指導法	1	中・高・高専の教員および興味のある一般市民	/	/	/	/
視覚に障害のある重複障害児の指導と教材・教具	1	特別支援学校・学級の教員等	30	42	42	42
弱視教育研修講座	1	弱視教育担当教員等	35	36	34	30
さまざまな障害の子どもたちの体育指導	1	中学校・高等学校の保健体育教員、特別支援学校・学級の教員	30	21	19	18
教員のための遺伝子組換え実験教育研修会	1	中学・高等学校の教員及び博物館等の教育施設の関連事業の担当者等の総括責任者が必要と認めた者	20	14	13	13
教員のための遺伝子組換え実験教育研修会 アドバンス・コース	1		20	13	11	11
視覚障害教育における自立活動の理論と実際	1	教育委員会特別支援教育担当者、特別支援諸学校教職員、児童福祉施設等職員	30	23	23	22
特別支援教育における社会性を育むための授業づくり～体育的な活動を通して～	1	幼稚園・小学校及び特別支援教育教員等	25	31	25	22
静的弛緩誘導法による障害の重い子の成長・発達の援助	1	特別支援学校教員、医療・療育施設職員等	25	25	23	21
特別支援教育における教材・教具の活用と製作	1	特別支援教育及び関連する指導者等	20	46	25	22
自閉症児における社会性支援プログラムの実際	1	幼稚園及び特別支援教育教員等	30	34	32	32
肢体不自由教育基礎講座	1	特別支援教育及び関連する指導者等	25	36	34	33
肢体不自由児の学校教育におけるICT活用	1	小・中・高等学校及び特別支援学校教員	20	15	14	14
知的障害を伴う自閉症児の幼児期の指導～実践から考える幼児期からの生活づくり～	1	教員・保育士・施設職員等	30	24	22	20
障害の重いこどもの知覚－運動学習	1	保育園、幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校の教員	30	27	26	26
自閉症のある子どものアセスメント	1	特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室・通常学級教員、教育委員会等の関係者、教職を目指す学生	30	29	27	27
障害児に対する動作法実習	1	特別支援学校教員等	30	25	18	18
特別な教育的ニーズのある子どもの学習支援	1	小・中・高等学校および特別支援学校の教員、教育委員会等の教育関係者	30	33	28	25
盲・弱視児童生徒徒理科実験指導研修講座	1	特別支援学校(視覚)・特別支援学級(弱視学級)教員等	15	15	15	15
免許法認定公開講座「特別支援教育の基礎理論」	1	次の3つの要件を全て満たす者 ①小、中、高又は幼稚園教諭の普通免許状等を有する者 ②国公立学校に勤務する教員(非常勤講師等を含む)、及び国公立学校に勤務した経験を有する者 ③特別支援学校教諭免許状を取得しようとする者	70	110	100	98
免許法認定公開講座「障害児の心理・生理・病理・教育課程・指導法論」	1		100	110	102	101
免許法認定公開講座「視覚障害の理解」	1		40	49	45	43
免許法認定公開講座「聴覚障害の理解」	1		40	50	44	43
免許法認定公開講座「知的障害の理解」	1		70	84	78	76
免許法認定公開講座「肢体不自由の理解」	1		30	43	40	40
免許法認定公開講座「視覚障害の指導法」	1		40	37	34	33
免許法認定公開講座「聴覚障害の指導法」	1		40	38	36	35

公開講座名	講座数	対象者	募集 人数	応募 者数	受講 者数	修了 者数
免許法認定公開講座「知的障害の指導法」	1		70	63	54	53
免許法認定公開講座「肢体不自由の指導法」	1		30	22	20	18
免許法認定講習「特別支援学校(視覚) 理療科教員免許法認定講習」	1	視覚特別支援学校に勤務している教員で理療に係る特別支援学校自立教科教諭の臨時免許状または二種免許状を有する者	40	27	27	27
計 30 講座			1,045	1,122	1,011	978

ウ 重点公開講座

公開講座名	講座数	対象者	募集 人数	応募 者数	受講 者数	修了 者数
電子ライフへの未来プロジェクト	1	高校生	12	5	3	2
ライフスタイルの改善から目指す介護予防	1	一般市民	200	50	48	37
ストレスを乗り越えて超高齢社会を生きる	1	一般市民	40	事前 申込無	24	24
森林の多様性とその恵み	1	一般市民	120	44	37	37
発達障害を生き抜くためのライフスキル講座	1	発達障害を持つ子どもの保護者・教員・その他の支援者、当事者並びに一般市民	30	41	35	35
計 5 講座			402	—	147	135

(5) 教員免許状更新講習

区分	講習名	受講者数
必修領域	必修A 教育の最新事情(開設5講習)	1,118人
	必修B	
選択領域	教育課程における言語活動の重視と読解力の育成(2講習)	85人
	国際理解の観点から見た社会科(歴史)教育	39人
	理科好きな子どもを育てる授業(2講習)	76人
	変容する子どもと保健体育の授業	38人
	幼稚園や小中学校等に在籍する気になる子への支援～発達障害に焦点を当てて～(2講習)	147人
	図画工作・美術教育を複眼的に考える	25人
	英語教材の中の英文法・英文学とマルチメディア(映像)教材の製作実習(2講習)	42人
	世界の授業、日本の授業－算数・数学授業の国際比較	43人
	法教育の理論と実践(2講習)	22人
	ICTと視覚メディアの教育利用(2講習)	72人
	特別なニーズのある子どもの理解と支援(3講習)	137人
	就学前の子どもたちと家族への支援(2講習)	56人
	フィールドワークを取り入れた社会科(地理歴史科)の授業の構成	40人
	おや? なるほど! による算数・数学科の問題解決指導	92人
	性や薬物乱用等の現代的課題に対応した保健教育の考え方と進め方	40人
	書写書道教育の今日的課題	40人
	心の教育からの脱却と道徳教育	43人
	学校で苦戦する子どもへの援助 ～チーム援助に焦点をあてて～	65人
	人と人がつながる試み ～子どもの可能性を開く「総合表現活動」指導法～	30人
	新聞活用(NIE、新聞づくり)で育む言語力(2講習)	78人
	気体の製法と性質に関する実験とその指導法	9人
	見えにくさ・読みにくさへの配慮って何だろう? ～拡大教科書やデジタイズ図書、電子書籍など学習・読書環境から考える～	25人
	視覚に障害のある方のサポートについて考えよう	10人
	触って考える数学	17人
	言語活動(英語)の充実と主体的な学習習慣の育成	28人
	キャリア教育(2講習)	89人
	学校生活で苦戦する子どもへの支援－発達障害を中心に－	52人
	演劇の専門家とつくる教室	20人
	法教育入門～契約から裁判員制度まで～	15人
	考える算数・体験的算数	89人
	フリーソフトを用いた楽しい統計	30人
	ゲノム情報を活用する遺伝子実験の紹介	14人
	光で探る化学－光や色にかかわる化学実験の紹介－	7人
	歌唱及び合唱指導法 ～美しい歌声を導くための実践実習～	24人
	書写指導 ～児童・生徒の文字への関心を高めるために～	20人
	漢文訓読 ～高等学校国語での漢文教材の工夫と有効活用～	10人
	少し物知りになれる数学の話	25人
	臨床医が語る心と身体の健康～予防からケアまで	39人
	大規模情報処理への挑戦	9人
	健康リスクへの対処を考える－社会(マクロ)と個人(ミクロ)	24人
	農業機械とエンジンのしくみ	7人
	変動する大地	39人
	ストレスマネジメントスキル	40人
	組織マネジメントと人材育成(3講習)	67人
	歴史・教育・文化	17人
	環境問題から考える現代化学	16人
	イタズラ実験オモシロ工作	50人
身近な物質の不思議さ・面白さ(2講習)	44人	
現代美術の発想や思考の理解と応用－現代美術家としての実践から	28人	
丈夫でおいしい野菜の品種をめざして～園芸植物育種研究所での体験型学習～(2講習)	39人	
学校トラブルへの法的対処(幼稚園・小学校編)(3講習)	91人	
学校トラブルへの法的対処(中学校・高等学校編)(3講習)	99人	

区分	講習名	受講者数
選択領域	アジア・太平洋戦争を問い直す(2講習)	79人
	日本の経済・金融事情	10人
	果樹栽培の魅力と身近な果物のはなし	14人
	簡単にワイズなプログラミング～楽しみながら魅力的な教材をつくろう～	15人
	稲と米のはなし	16人
	スポーツ政策の動向からみる学校体育と地域スポーツとの連携・協働	14人
	筑波山は噴火したか?	36人
	里山探検隊	46人
	雑穀を用いた総合学習の展開～基礎知識から応用技術まで～	20人
	筑波実験植物園で学ぶ、ふだん聞けない植物の話	44人
	食べ物を作る動物たち	20人
	ミュージアムパークで開く野外観察へのどびら～身近な草木やコケの名前を調べよう～	30人
	茨城県の動物ガイドーミジノの観察からクマの話までー	32人
	パラリンピックスポーツを体験しよう	17人
	建築デザインの実践	10人
	物理学の最先端 素粒子とプラズマ・核融合の世界	10人
	学校における個人情報保護(3講習)	48人
	野外教育(自然体験学習)の意義と現状について	19人
	途上国支援と国際協力ー私たちが考えるべきことー	42人
	気になる放射線を理解するー放射線の基礎と測定ー	22人
	スポーツ運動の分析方法に関する基礎理論と実習	22人
	食べることを科学する	40人
	小動物ヤマネと森のかかわり	13人
	東洋医学的アプローチによる生徒の健康管理	21人
	リハビリテーションの理論と実際	19人
	心から心に響くうた	19人
	食べる大切さ 食を見つめ直そう～障がいのある子どもたちの食育から学ぶ～	30人
	指先で知る日常生活のユニバーサルデザインー五感を磨く体験ー	16人
	愛着から発達を考える	34人
	教員のためのパソコン再入門(初心者編)～表計算ソフト・インターネットを活用し、子どもへの指導をバージョンアップ～(2講習)	60人
	学校の大規模災害対処と法的責任	35人
	私たちのからだを地球を支える身近なマイクロワールド～食育、環境教育に役立つ微生物・バイオのはなし～	26人
	現代の地域変容と野外教育	18人
	交通と環境を考えるモビリティ・マネジメント教育の理論と実践	不開講
	冷戦大学からグローバル・キャンパスへー アメリカ文化史としての教育改革	10人
	はじめての経済学	26人
	楽しく学べるやさしい天気予報活用術	36人
	ひとにも教えたくなる宇宙の話	67人
	電子図書館の現状	21人
	発達期のこころと行動～小児科・精神科の視点から～	69人
	附属小学校実践演習(3講習)	123人
	附属視覚特別支援学校実践演習	18人
	附属大塚特別支援学校実践演習(2講習)	64人
	附属桐が丘特別支援学校実践演習(3講習)	41人
	附属久里浜特別支援学校実践演習(2講習)	31人
	附属中学校実践演習(2講習)	53人
	附属高等学校実践演習(2講習)	46人
附属鷹巣特別支援学校実践演習(2講習)	41人	
附属坂戸高等学校実践演習(2講習)	14人	
附属駒場中・高等学校実践演習	39人	
他の講座等を活用した講習	視覚特別支援学校理療科教育に取り入れたい新しい情報	42人
合計	141講習	5,059人

(6) 大学会館施設利用状況

H27. 04. 01～H28. 03. 31

施設名	回数	利用者数				主な利用内容
		学生	教職員	学外者	計	
ホール	143	17,079	1,411	7,317	25,807	式典等(11回), 音楽会等(18回) 古典芸能(4回), シンポジウム等(21回) 公開講演会(1回), 授業等(24回) その他(64回)
講堂	110	34,577	1,799	9,528	45,904	式典等(6回), 音楽会等(7回) 映画会(1回), シンポジウム等(2回) 公開講演会(1回), 授業等(35回) その他(58回)
国際会議室	124	2,590	2,296	4,648	9,534	国際会議等
特別会議室	180	10,510	1,913	4,697	17,120	学会等諸会議
第1～6会議室	764	15,752	5,914	5,786	27,452	学会等諸会議, 学生健康診断
レクリエーション室	145	990	120	219	1,329	職員の華道, 茶道の講習会等
別館ホール	20	389	24	417	830	学生, 教職員の作品展示会等
小計	1,486	81,887	13,477	32,612	127,976	
多目的ホール	153	3,524	491	1,319	5,334	学生, 教職員の作品展示会等
ラウンジ	92	3,141	271	1,037	4,449	学生, 教職員の作品展示会等
ギャラリー	85	1,678	210	510	2,398	学生, 教職員の作品展示会等
マルチメディアルーム	121	2,189	961	827	3,977	見学者対応等
同窓交流室	54	47	138	147	332	元教職員等の交流
小計	505	10,579	2,071	3,840	16,490	
筑波大学ギャラリー	306	1,388	455	13,304	15,147	見学等
大学会館宿泊施設(32室, 46名)	291	492	1,448	3,503	5,443	講師等の宿泊 ※10月1日から20室22名
天久保宿泊施設(16室, 16名)	355	275	539	1,994	2,808	〃
春日宿泊施設(6室, 6名)	241	137	268	376	781	〃
小計	887	904	2,255	5,873	9,032	
合計	3,184	94,758	18,258	55,629	168,645	

(7) 視察・来訪者
ア キャンパスツアー－見学受入数

見学者別受入数

団体の種類	件数	人数
高等学校(中等教育学校4年以上含む)	72	3,771
中学校	6	644
P T A	9	605
その他	1	9
合計	88	5,029

<年度推移>

平成15年度	44件	2,220人
平成16年度	61件	3,752人
平成17年度	67件	3,782人
平成18年度	99件	5,865人
平成19年度	97件	6,717人
平成20年度	129件	8,154人
平成21年度	122件	7,443人
平成22年度	114件	5,852人
平成23年度	62件	3,469人
平成24年度	70件	4,702人
平成25年度	73件	4,785人
平成26年度	77件	4,190人
平成27年度	88件	5,029人

目的別受入数

目的の種類	件数	人数
進路指導	77	4,393
研修・研究会	10	627
施設見学	1	9
修学旅行	0	0
合計	88	5,029

No.	見学日	曜	学校等名	人数	見学時間	見学目的	見学施設等
1	5月11日	月	東京教育大学農学部卒業生(41年度卒)	9	1:40	施設見学	松本生命環境系長と懇談、農林技術
2	5月18日	月	茨城県立水戸第三高校 普2年	42	2:20	進路指導	紹介DVD、グローバルC教育、図書館
3	5月22日	金	栃木県立茂木高校 総合2年	18	3:15	進路指導	紹介DVD、ギャラリー、図書館
4	5月25日	月	東京都岩倉高校 普2年	51	2:15	進路指導	概要説明(AC=大谷教授)、計算科学
5	5月27日	水	栃木県立真岡北陵高校 農業3年	40	2:30	進路指導	紹介DVD、生命環境系野口准教授:生物資源学類等の説明、ギャラリー
6	6月2日	火	栃木県矢板中央高校 普1・2・3年	41	3:30	進路指導	紹介DVD、プラズマ、図書館
7	6月4日	木	千葉県市原中央高校 普(特進)1年	45	2:00	進路指導	ギャラリー
8	6月5日	金	茨城県立古河中等教育学校中学3年	125	5:40	進路指導	紹介DVD、大嶋名誉教授のミニ講義、図書館(午前・午後)
9	6月8日	月	茨城県立鉾田第二高校 総合1・2年	80	2:10	進路指導	紹介DVD、図書館、セグウェイ、計算科学
10	6月9日	火	埼玉県立春日部高校 理系2・3年	80	3:30	進路指導	概要説明(白川名誉教授)、模擬授業(白川名誉教授)、図書館、セグウェイ
11	6月9日	火	埼玉県昌平高校 普2年	24	1:30	進路指導	計算科学、図書館
12	6月11日	木	山形県立長井高校 普2年	80	3:50	進路指導	模擬授業(湯沢名誉教授)、紹介DVD、図書館
13	6月17日	水	茨城県立大子清流高校 総合2年	36	3:40	進路指導	紹介DVD、ギャラリー、計算科学、図書館
14	6月18日	木	茨城キリスト教学園高校PTA	80	2:30	PTA研修	紹介DVD、ギャラリー
15	6月19日	金	静岡県桐陽高校 英数(進学)3年	31	3:30	進路指導	ギャラリー、計算科学、セグウェイ
16	6月23日	火	栃木県立黒磯高校PTA	45	1:50	PTA研修	紹介DVD、ギャラリー、図書館
17	7月6日	月	茨城県立水戸桜ノ牧高校 理系2年	84	3:45	進路指導	紹介DVD、図書館、模擬授業(中村名誉教授、大嶋名誉教授)
18	7月7日	火	千葉県立匝瑛高校 理数2年	43	3:10	進路指導	概要説明(AC=島田教授)、計算科学
19	7月8日	水	東京都立戸山高校 普2年	30	4:10	進路指導	概要説明(AC=島田教授)、計算科学、プラズマ
20	7月9日	木	千葉県西武台千葉中学校3年	60	2:30	進路指導	紹介DVD、大嶋名誉教授のミニ講義、図書館
21	7月10日	金	東京都立小山台高校 普2年	40	3:40	進路指導	紹介DVD、図書館、計算科学
22	7月10日	金	埼玉県西武学園文理高校 理数1年	43	3:00	進路指導	紹介DVD、計算科学
23	7月15日	水	埼玉県立春日部高校PTA	80	4:10	PTA研修	概要説明(AC=島田教授)、図書館、卒業生との懇談
24	7月17日	金	茨城県水城高校 普2年	107	3:00	進路指導	模擬授業(橋本名誉教授、松田名誉教授)、プラズマ、計算科学、グローバルC教育、図書館
25	7月21日	火	埼玉県立本庄東高校附属中学校3年	110	2:40	進路指導	紹介DVD、大嶋名誉教授のミニ講義、図書館
26	7月22日	水	埼玉県立浦和第一女子高校PTA	111	2:00	PTA研修	概要説明(AC=本多教授)、ギャラリー
27	7月23日	木	神奈川県立柏陽高校 普1年	39	5:40	進路指導	紹介DVD、ギャラリー、図書館、計算科学、システム情報系:山際准教授の講義
28	7月24日	金	茨城県立水戸桜ノ牧高校 普1年	48	4:30	進路指導	紹介DVD、大嶋名誉教授のミニ講義、計算科学、図書館、セグウェイ
29	7月27日	月	群馬県樹徳高校 普1・2年	86	4:10	進路指導	模擬授業(湯沢名誉教授、大嶋名誉教授)、図書館、グローバルC教育、計算科学
30	7月28日	火	栃木県立烏山高校 普2年	42	4:50	進路指導	概要説明(AC=大谷教授)、模擬授業(草薙名誉教授)、図書館、計算科学
31	7月29日	水	群馬県立高崎女子高校 普1・2年	92	5:00	進路指導	概要説明(AC=島田教授)、模擬授業(大嶋名誉教授、湯沢名誉教授)、図書館、計算科学、グローバルC教育
32	7月30日	木	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校 普5年	70	4:40	進路指導	概要説明(白川名誉教授)、模擬授業(白川名誉教授、島岡名誉教授)、図書館
33	8月17日	月	茨城県東海村立東海南中学・東海中学校2・3年	34	3:00	進路指導	紹介DVD、大嶋名誉教授のミニ講義、図書館
34	8月19日	水	宮城県立宮城第一高校 理数・普1年	22	3:10	研究会	紹介DVD、プラズマ、図書館
35	8月20日	木	岐阜県立岐阜農林高校 生工2・3年	22	4:20	進路指導	紹介DVD、ギャラリー、図書館、生命領域学際
36	8月21日	金	群馬県明照学園樹徳高校 普2年	45	3:30	進路指導	紹介DVD、プラズマ、図書館
37	8月24日	月	千葉県銚子市立銚子高校 理数・普2年	26	4:00	進路指導	紹介DVD、大嶋名誉教授のミニ講義、図書館、計算科学
38	8月25日	火	高崎商科大学附属高校 普2年	17	3:50	進路指導	紹介DVD、大嶋名誉教授のミニ講義、計算科学、セグウェイ

39	8月26日	水	富山県立水橋高校 体育2年	42	3:20	進路指導	模擬授業(体育系:嵯峨准教授)、中央体育館
40	8月27日	木	茨城県常磐大学高校 普2年	83	2:00	進路指導	紹介DVD、模擬授業(西村名誉教授、宇都宮シニアプロフェッサー)
41	8月28日	金	茨城県土浦日大高校 普2年	80	5:45	進路指導	概要説明(AC=本多教授)、ギャラリー、プラズマ、グローバルC教育、模擬授業(白川名誉教授、湯沢名誉教授)
42	9月8日	火	群馬県立高崎高校 理系2年	49	3:30	進路指導	概要説明(白川名誉教授)、模擬授業(大嶋名誉教授)
43	9月11日	金	宮城県角田市立角田中学校3年	146	3:15	進路指導	大嶋名誉教授のミニ講義、ギャラリー、図書館(午前・午後)
44	9月14日	月	埼玉県立越谷北高校 理系1~3年	47	3:30	進路指導	紹介DVD、プラズマ、生命領域学際、図書館
45	9月16日	水	茨城工業高等専門学校 3年	21	2:10	進路指導	紹介DVD、ギャラリー、体育総合実験棟
46	9月17日	木	群馬工業高等専門学校 全学科1年	45	3:00	進路指導	紹介DVD、卒業生との懇談、計算科学
47	9月28日	月	茨城県立並木中等教育学校中学3年	169	6:00	進路指導	紹介DVD、大嶋名誉教授のミニ講演、(計算科学、アイン、加速器)、数理解物質研究科教員の講義
48	9月29日	火	栃木県立石橋高校PTA	88	1:40	PTA研修	概要説明(AC=島田教授)、図書館
49	9月30日	水	群馬県新島学園高校 普2年	30	3:55	進路指導	紹介DVD、卒業生との懇談、プラズマ
50	10月1日	木	神奈川県横浜翠陵高校 理系1・2年	15	2:00	進路指導	紹介DVD、大嶋名誉教授のミニ講義
51	10月2日	金	茨城県立牛久栄進高校 普1年	84	2:50	進路指導	紹介DVD、大嶋名誉教授のミニ講義、図書館
52	10月5日	月	岡山県立玉野光南高校 体育2年	12	1:50	進路指導	紹介DVD、中央体育館、体育総合実験棟
53	10月6日	火	岩手県盛岡中央高校 特進1年	32	2:30	進路指導	模擬授業(松田名誉教授)、図書館
54	10月6日	火	茨城県立鹿島高校 普1年	40	2:45	進路指導	紹介DVD、計算科学
55	10月7日	水	群馬県立西邑楽高校 普1年	36	3:30	進路指導	紹介DVD、計算科学、セグウェイ
56	10月8日	木	茨城県立日立第一高校 普・サイエンス科1年	80	4:15	進路指導	紹介DVD、卒業生との懇談、グローバルC教育、計算科学
57	10月9日	金	埼玉県立所沢西高校 普1年	35	3:10	進路指導	紹介DVD、ギャラリー、図書館
58	10月13日	火	愛媛県新田高校 普(特進)2年	97	1:30	進路指導	紹介DVD
59	10月14日	水	茨城県鹿島学園高校 普1年	37	2:30	進路指導	紹介DVD、図書館
60	10月15日	木	群馬県前橋育英高校 普(特進)1年	83	4:15	進路指導	紹介DVD、ギャラリー、図書館、グローバルC教育、計算科学
61	10月16日	金	栃木県立栃木女子高校 普1年	88	4:00	進路指導	紹介DVD、模擬授業(腰塚名誉教授、西村名誉教授)、計算科学、グローバルC教育
62	10月19日	月	千葉県立鎌ヶ谷高校PTA	45	3:15	PTA研修	紹介DVD、図書館、セグウェイ
63	10月20日	火	栃木県立石橋高校 普1年	62	2:45	進路指導	紹介DVD、プラズマ、グローバルC教育
64	10月20日	火	茨城県立水戸第二高校 普1年	43	2:30	進路指導	概要説明(白川名誉教授)、ギャラリー
65	10月21日	水	栃木県作新学院高校 普1年	80	5:30	進路指導	(午前)計算科学、図書館 (午後)概要説明(白川名誉教授)、プラズマ、図書館
66	10月23日	金	茨城県立伊奈高校 普1年	80	1:55	進路指導	紹介DVD、ギャラリー、図書館
67	10月27日	火	栃木県立宇都宮工業高校 1年	120	5:30	進路指導	(午前)紹介DVD、計算科学 (午後)紹介DVD、プラズマ、計算科学
68	10月28日	水	群馬県立太田高校 普1・2年	32	3:30	進路指導	模擬授業(村上名誉教授)、プラズマ
69	10月29日	木	茨城県立日立北高校 普1年	80	3:10	進路指導	プラズマ、計算科学、セグウェイ、図書館
70	10月30日	金	栃木県立矢板高校PTA	60	1:40	PTA研修	紹介DVD、ギャラリー
71	11月5日	木	千葉県芝浦工業大学柏高校PTA	9	3:40	PTA研修	紹介DVD、図書館、ギャラリー、セグウェイ
72	11月10日	火	群馬県立中央中等教育学校PTA	87	3:20	PTA研修	概要説明(AC=島田教授)、ギャラリー、図書館
73	11月11日	水	沖縄県立球陽高校 理数2年	168	6:00	進路指導	(午前)紹介DVD、プラズマ、生命領域学際、研究基盤(低温) (午後)紹介DVD、プラズマ、計算科学
74	11月12日	木	群馬県立前橋女子高校 普2年	42	3:30	進路指導	紹介DVD、計算科学、図書館
75	11月12日	木	群馬県立桐生高校 理数1年	84	3:10	進路指導	概要説明(AC=本多教授)、計算科学、プラズマ
76	11月13日	金	埼玉県立松山高校 理数2年	45	4:40	進路指導	概要説明(AC=松井准教授)、模擬授業(数理解物質系:山本准教授)、セグウェイ
77	11月18日	水	福島県尚志高校 普(特進)2年	68	4:40	進路指導	グローバルC教育、プラズマ、概要説明(AC=島田教授)、セグウェイ(図書館)
78	11月19日	木	山形県立山形南高校 理数1年	42	3:30	進路指導	プラズマ、セグウェイ、図書館
79	12月2日	水	宮城県立泉高校 普2年	42	3:00	進路指導	紹介DVD、図書館、グローバルC教育、生命領域学際
80	12月9日	水	長崎県立諫早高校 理系1年	43	1:30	進路指導	ギャラリー、生命領域学際
81	12月10日	木	富山県富山第一高校 進学2年	49	3:00	進路指導	紹介DVD、大嶋名誉教授のミニ講義、計算科学
82	12月10日	木	茨城県立多賀高校 普1年	34	1:00	進路指導	紹介DVD、計算
83	12月11日	金	熊本県立宇土高校 普1年	45	2:40	進路指導	紹介DVD、計算、プラズマ、セグウェイ、図書館
84	12月15日	火	千葉県二松学舎大学附属柏高校 普1年	18	5:10	進路指導	卒業生との懇談、概要説明(AC=松井准教授)、ギャラリー、セグウェイ、図書館
85	1月12日	火	北海道立札幌東高校 普1・2年	12	4:40	進路指導	概要説明(AC=大谷教授)、計算科学、卒業生との懇談
86	2月8日	月	大阪市立淀商業高校福祉ボランティア科3年	36	2:40	進路指導	福祉関係説明(森地助教)、計算科学、図書館
87	2月19日	金	茨城県立水戸農業高校1・2年	42	4:30	進路指導	概要説明(白川名誉教授、AC=松井助教)、農林技術、模擬授業(中村名誉教授)
88	3月18日	金	山形県立鶴岡南高校理数科2年	44	6:25	進路指導	概要説明(AC=松井助教)、プラズマ、図書館、計算科学、陽子線、セグウェイ
累計			88 件	5,029			

●附属学校受入数

No.	見学日	曜	学校等名	人数	見学時間	見学目的	見学施設等
1	4月13日	月	附属坂戸高等学校	158	6:00	授業見学	中央図書館等
2	4月22日	水	附属視覚特別支援学校	2	5:30	解剖実習	医学専門学群解剖学教室
3	4月23日	木	附属視覚特別支援学校	12	5:30	解剖実習	医学専門学群解剖学教室
4	4月24日	金	附属視覚特別支援学校	14	5:30	解剖実習	医学専門学群解剖学教室
5	4月24日	金	附属小学校	155	2:00	春の遠足	大学会館、体育芸術専門学群、陸上競技場等
6	5月12日	火	附属視覚特別支援学校	4	4:30	特別講義	附属病院リハビリテーション部
7	5月13日	水	附属高等学校	254	7:00	授業体験	大学会館、研究室訪問
8	6月2日	火	附属聴覚特別支援学校	30	3:00	情報支援の実態を学習	大学会館、障害学生支援室、授業の見学
9	6月26日	金	附属大塚特別支援学校	35	3:00	校外学習	陸上競技場、クラブハウス等
10	7月9日	木	附属駒場中・高等学校	105	5:00	研究室訪問	各研究室
11	7月10日	金	附属視覚特別支援学校	15	5:00	講義体験	障害支援室、中央図書館等
12	7月22日	水	附属坂戸高等学校	20	6:00	心理学入門	文京校舎講義室
13	7月23日	木	附属坂戸高等学校	47	6:00	心理学入門、農場実習	文京校舎講義室、農林技術センター
14	7月24日	金	附属坂戸高等学校	47	6:00	心理学入門、農場実習	文京校舎講義室、農林技術センター
15	8月2日	日	附属桐が丘特別支援学校	2	3:00	説明会	障害学生支援室
16	8月7日	金	附属桐が丘特別支援学校	2	3:00	研究室訪問	障害科学類の研究室、食堂、卒業生との懇談
17	9月30日	水	附属桐が丘特別支援学校	2	3:00	受験前相談	障害学生支援室
18	11月13日	金	附属大塚特別支援学校	35	3:00	交流学习	第1体育館、クラブハウス等
19	12月4日	金	附属大塚特別支援学校	35	3:00	校外学習	陸上競技場、クラブハウス等
20	2月9日	火	附属駒場中・高等学校	90	4:40	研究室訪問	各研究室
21	3月28日	月	附属桐が丘特別支援学校	14	2:30	学長室訪問	本部棟、食堂
合 計				1,078			

イ 外国人来訪者

●キャンパスツアー

年・月	キャンパスツアー	件数	人数
平成27.6	シンガポール高校生一行 中国大学生一行	2	58
平成27.7	中国高校生・大学生一行	1	17
平成27.9	中国大学生一行	1	7
平成28.1	韓国高校生一行	1	36
平成28.3	シンガポール・フィリピン・台湾一行 アメリカ高校生一行	2	29
合 計		7	147

●視察等

年・月	主な視察・来訪者	件数	人数
平成27.5	台北駐日経済文化代表処一行 スリランカ経済団一行 シンシナティ大学一行	8	30
平成27.6	コロンビア共和国バンクーバー総領事一行 亜東関係協会、台北大学、台北駐日経済文化代表処 マレーシア教育省	5	23
平成27.7	高雄医学大学副学長 タイ王国Office of the Higher Education Commission (OHEC) 元アフリカ開発銀行(AfDB)筆頭総裁室局長	4	26
平成27.8	台湾国立成功大学 上海交通大学 駐日ウズベキスタン大使	3	11
平成27.9	タシケント工科大学学長一行 中国地質大学副学長一行 台湾国立成功大学学長一行	6	23
平成27.10	世界銀行担当者一行 チュニジア共和国・高等教育科学研究省大臣一行 オランダ北ブラバント州知事	10	23
平成27.11	ブラジル日本文化福祉協会 駐日トルクメニスタン大使 イーストアングリア大学一行	8	23
平成27.12	中日青少年科学技術交流プログラム大学教員訪日団一行 マレーシア教育省大臣一行 ボラシャック財団一行	4	27
平成28.1	サンタクルス病院 国立台湾大学	2	2
平成28.2	リュブリャーナ大学 西オーストラリア大学 駐日ベラルーシ共和国大使館	6	21
平成28.3	駐日タジキスタン共和特命全権大使 UCL (University College London) メキシコ農牧省メキシコ国立農牧林研究所(INIFAP)	8	35
合 計		64	244

(8) 広報刊行物等

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
筑波大学概要 筑波大学概要英語版	大学全般の概要をまとめたもの	国立大学法人、文部科学省、教育関係機関、来訪者等、一般企業	広報室
リーフレット リーフレット英語版	大学の地図及び学群学類・研究科の定員数を記載したもの	来訪者等	
TSUKU COMM(TSUKUBA COMMUNICATIONS)(季刊)	本学の運営方針、主要施策・制度の考え方及び現状を教職員に正しく伝えるとともに、学内組織や教職員の活動状況及び大学を取り巻く状況等広く紹介することによって、情報・認識の共有化と本学のアイデンティティの確立に寄与するもの	教職員等	
筑波大学新聞(年7回)	大学内の意見、情報の交流・伝達を主たる任務とし、併せて大学文化の向上を図り、文化活動を行うもの	教職員、学生、文部科学省、教育関係機関、保護者等	編集:筑波大学新聞編集部 発行:広報室
TSUKUBA FUTURE	本学の若手研究者を中心に、研究内容や人物像を紹介し、人材や研究分野の多様さから、進路としての本学の認知度向上に資するもの	中高生、保護者等	広報室
ハラスメントのない快適なキャンパスを	ハラスメントの防止を目的としたリーフレット	教職員、学生	ハラスメント防止対策委員会
筑波大学公開講座案内2015	公開講座の開設案内	市役所、公民館、図書館、希望者等	社会連携課
筑波大学入学案内2016	大学概要説明	受験生、高等学校等	アドミッションセンター
AC入試・特別入試GUIDE BOOK 2017リーフレット	アドミッションセンター入試、国際科学オリンピック特別入試及び国際バカロレア特別入試の説明	受験生、高等学校等	
つくばスチューデントズ (通常号年3回 特集号年2回)	学生の様々な活動を紹介するとともに、教員・卒業生からの学生に対するメッセージや大学に関する種々の情報を掲載したもの	教員、学生	編集:学生生活支援室 発行:学生部学生生活課
T-ACTのススメ	T-ACT経験者の生の声で、T-ACTを勧めることを目的としたもの	教職員、学生、教育関係機関	学生部学生生活課
外国人留学生のための筑波大学入学案内 Enrollment Guidebook for International Students University of Tsukuba 2016-2017	本学に入学を希望する外国の学生を対象に、入学方法、教育組織、教員の研究分野についてまとめたもの	本学に入学を希望する外国の学生、在外公館、外国の主要大学など	学生部学生交流課
Junior Year at Tsukuba Program 2016-2017	筑波大学短期留学国際プログラム(JTP)の内容を簡潔にまとめたもの	本学に入学を希望する外国の大学生、本学の協定校	
誰もが輝くキャンパスを(パンフレット)	本学の障害学生支援の概要をまとめたもの	教職員、学生、来訪者等	障害学生支援室
誰もが輝くキャンパスを(パンフレット英語版)	本学の障害学生支援の概要をまとめたもの(英語版)		
平成26(2014)年度活動実績報告書	障害学生支援室の活動実績		

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
「Go Abroad!」筑波大生のための海外留学ガイドブック2016	学内各教育組織で行っている海外派遣プログラム及び協定校一覧等、海外留学に関する情報をまとめたもの	学生	グローバル・コモンズ機構
筑波大学附属図書館概要2016	図書館の概要、現況をまとめたもの	来訪者等	附属図書館
筑波大学附属図書館利用案内2016	図書館サービスの概要、利用方法の周知を目的とするもの	教職員、学生、来訪者等	
筑波大学附属図書館年報2014年度	図書館の1年の事業内容や活動状況を広報する目的でまとめたもの	教職員、大学図書館関係者、来訪者等	
進化する図書館ボランティア ～筑波大学附属図書館ボランティアの20年～	活動開始から20年を迎える附属図書館ボランティアの活動をまとめたもの	教職員、図書館関係者、記念式典出席者等	
平成27年度筑波大学附属図書館特別展 数学の叡智 ―その探求と発展―	平成27年9月28日～11月8日に開催した図書館特別展の図録	来訪者等	
Prism	利用者へのお知らせや利用促進を目的として作成したもの	教職員、学生、来訪者等	
筑波大学附属病院概要	附属病院の理念、目標、特徴、諸統計とその他関係事項を記載し、病院の紹介、案内を目的とするもの	国立大学附属病院、見学者等	病院総務部総務課
病院ニュース(月刊、Web版)	病院業務に必要な情報及び院内外の行事等の情報を病院職員へ提供・周知することを目的とするもの	教職員	
附属病院ニュースレター「リアンつくば」	附属病院看護部の紹介をはじめ、病院内の情報や特徴を近隣医療機関や地域住民向けに提供するもの	近隣医療機関等、来院者、職員	附属病院看護部、病院総務部総務課
外来診療案内	当院の案内やお願い、交通案内を目的とするもの	近隣医療機関等	病院総務部患者サービス課
筑波大学附属病院診療案内	本院の各診療グループの特徴並びに専門性を紹介し、医療機関からの紹介患者さんの診療予約を円滑に行うことを目的とするもの	県外(紹介元実績医療機関)及び近隣医療機関等	
つくば臨床医学研究開発機構パンフレット	機構の紹介	研究者、企業、一般	つくば臨床医学研究開発機構
未来医工融合研究センターパンフレット	未来医工融合研究センターの紹介		
看護職員募集要項	看護職員の仕事内容や処遇などの紹介	看護職員採用希望者	附属病院看護部
筑波大学「次世代の地域医療を担うリーダーの養成」事業のご案内	文科省未来医療研究人材養成拠点形成事業「リサーチマインドを持った総合診療医の養成」広報のための概要説明	未来医療GP合同公開フォーラム参加者、レジナビフェア参加者	附属病院総合臨床教育センター 総合診療医養成事業推進支援室

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
利益相反・輸出管理マネジメント室 年報	平成26年度の利益相反・輸出管理マ ネジメント室の活動をまとめたもの	学内関係部局、関係教職 員、国立大学法人産学連 携担当部署等	利益相反・輸出管理マネジ メント室
筑波大学における利益相反マネ ジメントリーフレット	利益相反に関する規則等の改正に伴 い、利益相反マネジメントを周知するも の	教職員等	
筑波大学における利益相反事例 の取扱い第四版	利益相反に関する規則等の改正に伴 い、利益相反事例の取扱いを周知するも の		
eラーニングコンテンツ (利益相反コンテンツ、輸出管理コ ンテンツ)	利益相反コンテンツ:筑波大学におけ る利益相反マネジメント 輸出管理コンテンツ:筑波大学におけ る輸出管理のしくみ		
附属学校教育局概要	附属学校教育局及び附属学校全般の 概要をとりまとめたもの	学内関係部局、文部科学 省、来訪者等	附属学校教育局
附属学校教育局広報誌ポローニ ア	附属学校の情報を広く理解させるこ とを内容とした広報誌		
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年 間行事の概要をまとめたもの	関係教職員等	附属小学校
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年 間行事の概要をまとめたもの	学校参観者等	附属中学校
所報	各教科・部局の研究報告	学内関係部局	
指導計画	各教科・各学年間等の年間指導計画	教育実習生、学校参観者 等	
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年 間行事の概要をまとめたもの	来校者、研究協議会参加 者、実習生、免許更新講 習者	附属高等学校
学校案内	学校の教育方針、年間行事、生徒活 動状況等		
国際交流	学校の国際教育の取り組み	在籍生徒の保護者、関係 教職員等	
附属だより	学校的内容及び生徒活動の報告・紹 介等	在籍生徒の保護者、関係 教職員等	
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年 間行事の概要をまとめたもの	学内関係部局、関係教職 員、来訪者等	附属駒場中・高等学校
学校案内	学校の教育方針、年間行事、生徒活 動状況等		
学校要覧	沿革概要、教育目標、教育課程、研究 活動、年間行事計画等の学校概要を まとめたもの	学内外関係部局、関係教 職員、来訪者等	附属坂戸高等学校
学校案内	教育課程、学校の特色、学校生活、入 試情報などを写真を交えてまとめたも の		

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
育児学級パンフレット	乳幼児教育相談で行われている育児学級の紹介	視覚障害乳幼児の保護者、幼稚園、保育園、家庭支援センター、各関係機関	附属視覚特別支援学校
サポーターブック	通常の学級に在籍している視覚に障害のあるこどものサポート	通常学校、教育委員会、通常学校に在籍する視覚障害児の保護者等	
学校要覧	学校の沿革、教育課程等をまとめたもの	各種関係機関、来訪者等	附属聴覚特別支援学校
学校案内	学校の教育方針、年間行事、生徒活動状況等	来校者、聾教育実践研修会参加者等	
乳幼児教育相談パンフレット	幼稚園が行う聴覚障害乳幼児に対する教育相談の案内	近隣医療機関等	
専攻科3科パンフレット	専攻科造形芸術科・ビジネス情報科・歯科技工科の教育内容の案内	各種関係機関、来訪者等	
専攻科歯科技工科パンフレット	専攻科歯科技工科の教育内容の案内	各種関係機関、来訪者等	附属大塚特別支援学校
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	学内関係部局、関係教職員、来訪者等	
学校案内	学校の教育方針、年間行事、生徒活動状況等	来校者、研修会参加者等	附属桐が丘特別支援学校
学校要覧	学校の沿革、教育方針・内容、研究活動、その他各種資料	学内関係者、関係教職員、教育委員会、特別支援学校	
学校案内	学校の内容(年間行事、教育課程)の紹介	学校参観者	附属久里浜特別支援学校
学校要覧	学校の沿革、教育目標、教育環境、年間行事の概要をまとめたもの	学内関係部局、関係教職員、来訪者等	
学校案内	学校の沿革、教育課程等学校の概要をまとめたもの	学内関係部局、関係教職員、保護者	附属久里浜特別支援学校
校報「きらきら」	(1)学校における当該年度等の教育活動・運営の基本方針、施策等 (2)教育内容の紹介、教育研究活動行事・セミナー等の報告 (3)障害児の療育・教育に関わる者の提言・情報提供	学内関係部局、関係教職員、保護者	
地域広報誌「のびのび」	本校に在籍する子どもたち(幼児・児童)に対する理解促進を旨とし、子どもたちの活動状況、学内学主行事・イベント情報等の報告、開催案内等	近隣の町内会(地域住民)、保護者、教育関係機関、学内関係部局、関係教職員	理療科教員養成施設
理療科教員養成施設概要	施設の沿革、教育課程等の概要をまとめ、理療臨床部の治療を紹介したもの	学内関係部局、文部科学省、来訪者等科学省、都道府県庁、全国盲学校等視覚障害関係機関、全国鍼灸関係専門学校、来訪者等	
特別支援教育研究センターパンフレット	特別支援教育研究センターの事業等の報告・開催案内	学内関係部局、教職員、セミナー参加者等	特別支援教育研究センター
ニューズレター「sserc通信」(年4回)	特別支援教育研究センターの設置目的・組織・事業等の概要をまとめたもの	学内関係部局、教職員、全国の教育委員会・教育研究センター等関係機関	

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
人文学類案内2017	人文学類についての概要等	全国高等学校 大学説明会の参加者 学内外からの送付希望者	人文学類
人文学類案内2017別冊	人文学類生による学類紹介	全国高等学校 大学説明会の参加者 学内外からの送付希望者	
大学説明会パンフレット (人文学類生作成)	入試準備情報、入試別合格体験記、 学生生活情報、AC合格者座談会	大学説明会の参加者 高等学校	
社会学類案内誌 「社会学類への招待」	カリキュラム、主専攻説明、教員紹介、 学生生活、卒業後の進路、入試情報 等	高等学校、大学説明会参 加者、学内外からの送付 希望者等	社会学類
大学説明会パンフレット (社会学類生作成)	教員インタビュー、入試別合格体験 記、受験生活Q&A、入試準備情報等	高等学校、大学説明会参 加者等	
筑波大学大学院 人文社会科学 研究科2016-17	研究科・各専攻の紹介	入学希望者等	筑波大学大学院人文社会 科学研究科
現代語・現代文化専攻 専攻案内パンフレット	専攻・所属教員の紹介 学生の博士論文題目、在学生の研究 テーマなど	入学希望者	現代語・現代文化専攻広報 委員会・現代語・現代文化 専攻
人文社会科学研究科国際地域研 究専攻院生募集ポスター	一般入試案内(出願期間・入試日程・ 募集人員・問合せ先の情報、コースの紹 介)	学内(学群・学類・関係部 局等)、学外(全国主要国 公私立大学等)	国際地域研究専攻
経済・公共政策プログラム院生募 集ポスター・リーフレット	一般入試案内(出願期間・入試日程・ 募集人員・問合せ先の情報、コースの紹 介)	学外(対象国の在外大使 館、省庁、中央銀行、 JICA事務所等)	経済・公共政策プログラム
経済・公共政策プログラム経済学 コース院生募集ポスター	一般入試案内(出願期間・入試日程・ 募集人員・問合せ先の情報、コースの紹 介)	学内(学群・学類・関係部 局等)、学外(全国主要国 公私立大学、在外公館、 等)	経済・公共政策プログラム 経済学コース
「国際日本研究」第8号	人文・社会の主要分野における研究成 果の公表(査読付き)	国内外の関係大学、関連 研究機関等	国際日本研究専攻
筑波大学東京キャンパス 社会人のための夜間大学院	専攻の概要と施設の紹介	受験希望者等	社会人大学院等支援室
大学院案内リーフレット ビジネス科学研究科 人間総合科学研究科(東京地区)			
経営システム科学専攻パンフレット	経営システム科学専攻の概要等	受験希望者、来訪者等	経営システム科学専攻
企業法学専攻パンフレット	企業法学専攻の概要等	受験希望者、来訪者等	企業法学専攻
法科大学院パンフレット	法曹専攻(法科大学院)の概要等	受験希望者、来訪者等	法曹専攻
国際経営プロフェッショナル専攻 パンフレット	国際経営プロフェッショナル専攻の概 要等	受験希望者、来訪者等	国際経営プロフェッショナル 専攻
大学研究センターパンフレット	大学研究センターの概要等	来訪者等	大学研究センター

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
数理物質科学研究科パンフレット	数理物質科学研究科の概要、研究分野、専攻、教員の紹介		
数理物質科学研究科オープンキャンパスポスター	数理物質科学研究科学生募集説明会の案内	学内関係部局、国公立大学・高専等関係機関、来訪者等	数理物質科学研究科
数理物質科学研究科学生募集ポスター	入試の案内(専攻・入試日程・出願期間等)		
物理学域だより2015(第7号)	物理学域の現在をまとめたもの	関係教職員、学生及び卒業生等	数理物質系物理学域
地球学類パンフレット	地球学類の概要等	高等学校、大学説明会等参加者、見学者等	地球学類
地球学類大学説明会パンフレット	在学生による学類の紹介等	大学説明会参加者等	
数学類パンフレット	数学類の概要等	高等学校、大学説明会等参加者、見学者等	数学類
物理学類パンフレット	物理学類の概要等	高等学校、大学説明会等参加者、見学者等	物理学類
化学類パンフレット	化学類の概要等	高等学校、大学説明会等参加者、見学者等	化学類
数学類・物理学類・化学類合同大学説明会パンフレット	在学生による各学類の紹介等	大学説明会参加者等	数学類・物理学類・化学類
システム情報工学研究科パンフレット	システム情報工学研究科の概要	学内関係部局、研究科公開・専攻説明会、学外(他大学・企業・高専・予備校等)	システム情報工学研究科 広報委員会
システム情報工学研究科公開用ポスター	システム情報工学研究科公開の案内		
社会工学専攻公開用ポスター	専攻公開に関する告知	学内外関係部局	社会工学専攻広報委員会
社会工学専攻リーフレット	専攻の案内等	他大学及び学内関係部局、受験希望者等	
リスク工学専攻パンフレット	専攻概要、研究活動情報等	大学、高専、企業等	リスク工学専攻
リスク工学専攻公開ポスター	専攻公開に関するお知らせ		
コンピュータサイエンス専攻パンフレット(和文、英文)	専攻の教育、教員、研究室(和文は研究紹介を含む)、入試、進路等に関する概要の紹介	各国立私立大学及び工業高等専門学校等関係機関、関連企業等、受験希望者、留学生等	コンピュータサイエンス専攻
コンピュータサイエンス専攻公開ポスター	専攻公開に関するお知らせ		

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
enPiTビジネスアプリ分野リーフレット	enPiTビジネスアプリ分野の特徴、教育内容等		
enPiT全体シンポジウムチラシ	シンポジウムに関するお知らせ	大学、企業	コンピュータサイエンス専攻 (筑波大学enPiT事務局)
enPiT全体シンポジウムポスター	シンポジウムに関するお知らせ		
enPiT筑波大ワークショップ2015ポスター	ワークショップに関するお知らせ	学内掲示	コンピュータサイエンス専攻 (筑波大学enPiT事務局)
enPiT筑波大ワークショップ2015リーフレット	ワークショップに関するお知らせ	大学、企業等	
知能機能システム専攻パンフレット	専攻の教育、研究、教員、入試等に関する概要の紹介	各国公私立大学及び工業高等専門学校等関係機関、専攻受験希望者	知能機能システム専攻
知能機能システム専攻公開用ポスター	専攻公開に関する告知	各国公私立大学及び工業高等専門学校等関係機関	知能機能システム専攻公開 2015事務局
知能機能システム専攻公開用リーフレット(全2回、各回用)	専攻公開用デモ展示・ポスター展示及び公開研究室等マップ一覧	専攻公開来場者	
構造エネルギー工学専攻パンフレット(和文・英文)	構造エネルギー工学専攻の案内と研究紹介	学内外関係部局、受験予定者、来訪者等	構造エネルギー工学専攻
構造エネルギー工学専攻公開用ポスター	専攻公開に関する告知	各国公立私立大学及び工業高等専門学校	
国際総合学類案内誌(明日のEXECUTIVE)	学類の紹介、カリキュラム、就職先等	高等学校、大学説明会参加者等	国際総合学類、国際総合学類長
理工学群パンフレット	理工学群の構成、6学類の特徴と紹介、卒業生の進路等	高等学校及び大学説明会での配布等	理工学群長
応用理工学類パンフレット	応用理工学類の特徴、組織とカリキュラム、主専攻・研究室紹介、学生生活について等	高等学校及び大学説明会での配布等	応用理工学類、応用理工学類長
工学システム学類パンフレット	学類の教育目標、主専攻分野案内、担当教員紹介、学習・教育到達目標等	高等学校及び大学説明会での配布等	工学システム学類、工学システム学類長
社会工学類パンフレット	社会工学類の教育目的、3つの主専攻紹介、メッセージ、学生生活、就職先等	高等学校及び大学説明会での配布等	社会工学類、社会工学類長
情報科学類パンフレット	情報科学類の全般について説明	高等学校・高等専門学校及び大学説明会での配布等	情報科学類広報企画委員会
比較文化学類への招待(学類パンフレット)	学類の概要、コース紹介、カリキュラム、教員紹介、卒業論文、留学、就職と進路 他	入学希望者、大学説明会参加者、模擬授業参加者他	比較文化学類

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
日本語・日本文化学類案内	学類の概要、教員・学類生からのメッセージ、カリキュラム紹介、国内・海外実習、卒業後の進路等	入学希望者、大学説明会参加者、模擬授業参加者等	日本語・日本文化学類
日本語・日本文化修了証プログラムリーフレット	日本語・日本文化修了証プログラムの紹介	入学希望者、学生、関係教職員等	
筑波大学日本語日本文化短期留学プログラム 海外協定校の連絡調整責任者及び短期留学希望者向け説明書	日本語日本文化短期留学プログラム(略称:日プログラム)の紹介(カリキュラム・参加学生に対する支援等)	入学希望者、学生、関係教職員等	
「TA活用プログラム等構築事業」報告書	「TA・TFを活用した主体的学修を促す教育推進事業」の実施状況と成果の報告	関係教職員、学生等	
筑波大学生命環境学群パンフレット	生命環境学群案内	受験希望高校生等	生命環境学群広報委員会
生物資源学類案内パンフレット	学類の概要、カリキュラム、コース紹介、入試情報、卒業後の進路等	入学希望者、大学説明会参加者、出前講義や模擬授業参加者等	生物資源学類
生物学類案内	学類の概要、カリキュラム、コース紹介、教員紹介、入試情報、卒業後の進路等	大学説明会参加者、入学希望者等	生物学類
つくば生物ジャーナル	学類の教員や学生・卒業生からのメッセージ、学類の様々な活動、卒業研究などを掲載するオンライン誌	WEB公開	
Earth Evolution Sciences, University of Tsukuba Vol.10	地球進化科学分野の論文と2014年の活動状況等	国内外の大学や研究機関	生命環境系 地球進化科学専攻
国際地縁技術開発科学専攻 英文パンフレット	専攻紹介、教員一覧	他大学等	生命環境系 国際地縁技術開発科学専攻
環境科学専攻・持続環境学専攻 パンフレット	専攻紹介、カリキュラム概要、入試案内他	入学希望者他	環境系専攻 広報・IT委員会
環境科学専攻・持続環境学専攻 ポスター	専攻説明会、入試案内他	全国国公立大学、WEB公開	
University of Tsukuba 2016 JDS Special Program	環境科学専攻及び人財育成支援無償事業(JDS)プログラムの概要を紹介したパンフレット	平成28年度入学希望者等	JDS office
持続環境学専攻・環境科学専攻 英語版パンフレット	持続環境学専攻・環境科学専攻及び英語教育プログラムの概要を紹介したパンフレット	入学希望者、海外連携機関、他大学、受講希望者等	環境系専攻 SUSTEP office
「国際農学ESDシンポジウム2015」 ポスター	「国際農学ESDシンポジウム2015」案内	全国国公立大学、研究機関、学内関係部局等	農林技術センター
「国際農学ESDシンポジウム2015」 チラシ	「国際農学ESDシンポジウム2015」ポスター参加者募集	学内関係部局等	
菅平生き物通信	生物や自然に関する専門的な知識をわかり易く解説。(年8回発行)	上田地域36,000世帯及び公共施設、小中学校他見学者、来訪者等	菅平高原実験センター
菅平高原実験センター年次報告書	年度活動報告	WEB公開	

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
教育学専攻院生募集ポスター	入試に向けた大学院説明会開催について	学内(学群・学類)	教育学専攻
教育学専攻院生募集リーフレット日本語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
教育学専攻院生募集リーフレット英語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
教育学専攻院生募集リーフレット中国語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
学校教育学専攻院生募集ポスター	入試に向けた大学院説明会開催について	学内(学群・学類)	学校教育学専攻
学校教育学専攻院生募集リーフレット日本語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
学校教育学専攻院生募集リーフレット英語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
学校教育学専攻院生募集リーフレット中国語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
教育基礎学専攻院生募集ポスター	入試に向けた大学院説明会開催について	学内(学群・学類)	教育基礎学専攻
教育基礎学専攻院生募集リーフレット日本語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
教育基礎学専攻院生募集リーフレット英語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
教育基礎学専攻院生募集リーフレット中国語版(紫色)	専攻の紹介、入試情報等		
人間総合科学研究科生涯発達専攻リハビリテーションコースパンフレット	生涯発達専攻リハビリテーションコースの概要等	受験希望者、来訪者等	生涯発達専攻リハビリテーションコース
教育研究科案内	教育研究科紹介、各専攻・コースの紹介、研究分野・授業担当教員、修了後進路の情報等	学内外関係部局、研究科受験予定者等	教育研究科
教育研究科学生募集ポスター	一般入試・社会人特別プログラム、現職教員1年生プログラム募集数及びスケジュール等	学内(学群・学類)、学外(他大学、附属学校、教育委員会、教育長等)	
教育研究科抄録集	教育研究科修士論文概要	学内外関係部局、研究科修了生	
教育学類2016	教育学類のカリキュラム、2つのコースと4つの系列、教育学類構成員の研究テーマ、卒業生の進路、入試等について紹介したパンフレット	高等学校・高校生・教育学類生・大学説明会参加者(高校生・保護者)	教育学類

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
つくばの心理学2017	心理学類構成員の研究内容や大学生・高校生・一般社会人に薦める書籍を紹介	高等学校・高校生・心理学類生・大学説明会参加者(高校生・保護者)	心理学類
心理学類2017ー心と行動の統合的理解をめざしてー	心理学類構成員、心理学類のカリキュラムとそのコンセプト、取得できる資格・免許、卒業生の進路(就職、進学)等を簡潔に紹介したパンフレット	高等学校・高校生・障害科学類生・大学説明会参加者(高校生・保護者)	障害科学類
障害科学類パンフレット	障害科学類構成員、障害科学類のカリキュラムの紹介、取得できる資格・免許、在校生の声、卒業生の進路、関連組織等を簡潔に紹介したパンフレット	全国盲学校・視覚障害スポーツ競技団体、JPC、日本点字図書館	筑波大学 ブラインドパラスポーツMTG
視覚障がい者のパラリンピックススポーツ	視覚障害者のパラリンピックススポーツの現状、クラス分け、パラリンピック・ブラインド競技を紹介した冊子	全国の盲学校・視覚障害スポーツ競技団体、日本点字図書館	筑波大学理療科教員養成施設
パラリンピック・オリンピックアスリートに向けた鍼灸マッサージによる競技支援	スポーツ選手の腰痛・肩関節痛・膝痛・肉離れなどの外傷・障害に対する鍼灸マッサージ法を紹介した冊子	受験生、来訪者など	筑波大学体育専門学群
筑波大学体育専門学群パンフレット2016	体育専門学群の紹介	来校者	筑波大学体育系
2016年筑波大学体育系英文パンフレット	筑波大学体育系の紹介	全国高等学校、来訪者等	筑波大学芸術専門学群
筑波大学芸術専門学群2016	芸術専門学群の紹介	卒業生、在学生、大学説明会(学外・学内)、教職員	筑波大学芸術専門学群
平成27年度 筑波大学芸術専門学群 卒業研究・作品集	芸術専門学群の卒業研究・作品集	全国大学ほか	編集:筑波大学芸術・広報情報委員会 発行:筑波大学
筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻 博士後期課程芸術専攻 2016-17	大学院芸術専攻の紹介冊子	国公立大学大学院、関連研究機関、学内関係部局等	人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻
博士前期課程芸術専攻修士論文梗概集2015	博士前期課程芸術専攻の修士論文梗概集	出品者、参加大学、国内の大学・図書館、芸術系教員、筑波大学役員	ファインアート展実行委員会(芸術系美術専攻)
展覧会カタログ: 新進芸術家育成交流作品展「FINE ART / UNIVERSITY SELECTION 2015-2016」	新進芸術家育成交流作品展「FINE ART / UNIVERSITY SELECTION 2015-2016」に出品された作品の図版、ならびに出品者のプロフィールを所収。	芸術系教員、筑波大学役員	ファインアート展実行委員会(芸術系美術専攻)
事業報告書: 新進芸術家育成交流作品展「FINE ART / UNIVERSITY SELECTION 2015-2016」	平成26年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業「若手ファインアーティストの活躍の場の創生」の活動報告書	来場者の内の希望者・国内の美術科のある高等学校・芸術系大学	筑波大学彫塑研究室
筑波大学芸術専門学群・博士課程芸術専攻 第17回 彫塑展 図録	学群彫塑コース3・4年生と大学院生、研究生の作品展示図録	美術史芸術学の教育研究組織のある大学および美術館	編集:五十殿利治、寺門臨太郎、田中佐代子、村上史明
ユニヴァーシティー・アート・リソース研究 I	科学研究費基盤研究(A)による研究成果の年度報告書	美術史芸術学の教育研究組織のある大学および美術館	筑波大学人間総合科学研究科博士前期課程・後期課程芸術専攻
Japan-Taiwan Art History Students' Symposium 2011-2015 Selected Papers	2011年以来、毎年開催した研究会発表論文から精選された論文集	学生、一般及び受験希望者	ヒューマン・ケア科学専攻
ヒューマン・ケア科学専攻(3年制博士課程)パンフレット	平成29年度より開始する博士(公衆衛生学)プログラムの概要説明パンフレット		

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
感性認知脳科学専攻パンフレット	博士前期課程・博士後期課程の概要説明パンフレット(22ページ)	進学希望者、来訪者、企業等のインターンシップや共同研究提供先	感性認知脳科学専攻・広報委員会
平成27年度筑波大学大学院体育系修士研究論文集 第38巻	平成27年度体育系修士学生の研究論文集	学生・教職員	人間総合科学研究科 体育学専攻 スポーツ健康システム・マネジメント専攻 教育研究科 教科教育専攻保健体育教育コース
つくば国際スポーツアカデミー (TIAS)パンフレット (英語版)	アカデミーの紹介	教職員、学生、海外及び国内関係機関等	つくば国際スポーツアカデミー
つくば国際スポーツアカデミー (TIAS)スポーツ・オリンピック学学位プログラム募集要項 (英語版)	プログラム簡易版募集要項	教職員、学生、海外及び国内関係機関等	
スポーツ・オリンピック学学位プログラム学生詳細	学生詳細冊子	教職員、海外及び国内関係機関等	
平成27年度版 世界遺産専攻・世界文化遺産学専攻パンフレット (和文・英語版)	研究内容・授業科目・担当教員など	一般および受験希望者	世界文化遺産学専攻 世界遺産専攻
2014学位論文梗概集	2014年度世界遺産専攻・世界遺産文化学専攻の修士論文、博士論文の梗概	学生、受験希望者	
平成27年度版 自然保護寄附講座パンフレット	プログラム内容・カリキュラム・公開シンポジウム・担当教員など	一般および学生	自然保護寄附講座事務局
平成28年度開設予定スポーツ国際開発学共同専攻 (修士課程)リーフレット	入学を検討する方への専攻概要説明パンフレット	国公立大学、私立大学、公益財団法人、その他	スポーツ国際開発学共同専攻設置準備委員会 筑波大学・鹿屋体育大学・日本スポーツ振興センター
平成28年度開設予定大学体育スポーツ高度化共同専攻 (3年制博士課程)リーフレット	入学を検討する方への専攻概要説明パンフレット	国公立大学、私立大学、公益財団法人、その他	大学体育スポーツ高度化共同専攻設置準備委員会 筑波大学・鹿屋体育大学
The 3rd International Symposium on "International Development and Peace through Sport"	平成27年12月実施の国際シンポジウムにかかる報告書	国公立大学、私立大学、公益財団法人、その他	スポーツ国際開発学共同専攻設置準備委員会 筑波大学・鹿屋体育大学・日本スポーツ振興センター
The Science of Empowerment Standing by the Brilliance of Life New ways to live together where everyone is a hero	エンパワメント科学の理論と実践	エンパワメント科学を学びたい海外の学生、研究者、実践家	エンパワメント科学研究室
筑波 脳神経外科 年報 第3号 Tsukuba Neurosurgery Annual Report 2015	業績、活動報告	NPO会員、大学脳神経外科教室	NPO法人筑波脳神経外科研究会
医学群ガイドブック	医学群の紹介、カリキュラム、卒業後の進路等	受験希望者等	医学群
筑波大学 図書館情報メディア系 2014年 活動報告	図書館情報メディア系の管理運営、研究活動等をまとめたもの	教職員、学内関係組織	図書館情報メディア系 図書館情報エリア支援室
情報メディア創成学類 パンフレット	情報メディア創成学類の紹介・説明	大学説明会参加者等	情報メディア創成学類 (広報委員会)

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
情報学群 知識情報・図書館学類 パンフレット	知識情報・図書館学類の紹介等	高等学校、編入学説明会 参加者、大学説明会参加 者等	知識情報・図書館学類
KLIS TODAY	学類広報誌	新入生、高校生	
図書館情報学英語プログラムリー フレット	図書館情報学英語プログラムの紹介	入学希望者(主として留 学生)	図書館情報メディア研究科
英語プログラムリーフレット	英語プログラムの紹介	入学希望者(主として留 学生)	
図書館情報メディア研究科パンフ レット(電子版)	図書館情報メディア研究科の紹介	入学希望者・大学院説明 会参加者・各大学・各図 書館	
図書館情報メディア研究科パンフ レット 英語版(電子版)	図書館情報メディア研究科の紹介	入学希望者(主として留 学生)	
図書館情報メディア研究科大学院 説明会ポスター	図書館情報メディア研究科大学院説 明会の開催について	各大学・各図書館	
図書館経営管理コースリーフレット	図書館経営管理コースの紹介	各大学・各図書館	
知的コミュニティ基盤研究 センター年報 平成26年度	知的コミュニティ基盤研究センターの 管理運営、研究活動等をまとめたもの	教職員、関係機関等	
計算科学研究センター パンフレット(日本語版)	センター活動概要説明	来訪者等	計算科学研究センター
計算科学研究センター パンフレット(英語版)	センター活動概要説明	来訪者等 SC15配布	
計算科学とスーパーコンピュータ	センター活動概要説明 (中・高校生向け)	中・高校生見学者	
下田臨海実験センター パンフレット	センター研究活動概要説明	来訪者等	下田臨海実験センター
JAMBIOニュースレター(年2回)	研究共同推進拠点の研究活動等の紹 介	関係機関、来訪者等	
プラズマ研究センターパンフレット	センターの概要及び活動等を紹介	来訪者等	プラズマ研究センター
筑波大学北アフリカ研究センター (和文・英文パンフレット)	センター設立の趣旨及び研究内容の 概要	関係機関、来訪者等	北アフリカ研究センター
学術情報メディアセンター案内	センター概要説明	来訪者等	学術情報メディアセンター
学術情報メディアセンター案内 リーフレット			
学術情報メディアセンター案内 リーフレット(英語版)			

刊行物名	内容	配布対象	編集・発行
工作ニュースNO.8	利用者による研究報告 製作品公開 利用の手引き 運営報告 等	学外関係施設 学内関係組織	研究基盤総合センター 工作部門
アイソトープ環境動態研究センターパンフレット	放射線安全管理部／研究部・アイソトープ基盤研究部門	学外・学内及びセンター見学者	放射線安全管理部／研究部・アイソトープ基盤研究部門

8 医療・保健関係

(1) 附属病院

ア 診療科・診療グループ構成

(平成28年3月1日現在)

診療科	診療グループ	延従事者
内科	循環器内科	25
	消化器内科	19
	呼吸器内科	17
	腎泌尿器内科	11
	内分泌代謝糖尿病内科	11
	膠原病リウマチアレルギー内科	12
	血液内科	11
	保健衛生外来	7
	細菌学的診断(感染症)	4
	総合	17
	病理診断	11
	遺伝	5
	睡眠呼吸障害	3
	腫瘍内科	3
神経内科	脳神経内科	10
精神科神経科	精神神経科	11
小児科	小児内科	24
外科	循環器外科	9
	消化器外科	15
	呼吸器外科	8
	乳腺・甲状腺・内分泌外科	6
	小児外科	9
	形成外科	5
	救急・集中治療	24

診療科	診療グループ	延従事者
脳神経外科	脳神経外科	19
整形外科	整形外科	22
皮膚科	皮膚科	8
泌尿器科	腎泌尿器外科	12
眼科	眼科	10
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	9
産科婦人科	婦人・周産期	17
放射線科	放射線腫瘍科	12
	放射線診断・IVR	10
麻酔科	麻酔科	18
歯科口腔外科	歯科・口腔外科	6
(診療科共通)	臨床病理	6
合 計		426

イ 業務従事者数(実数)

(平成28年3月1日現在)

職 種		人 数
教 員	医学医療系	251
	人間系	2
	体育系	2
	生命環境系	0
	小 計	255
病 院 講 師	医師	64
	薬剤師	2
	事務系	3
医員・医員(研修医)		290
看護師		728
助産師		48
薬剤師		51
診療放射線技師		46
臨床検査技師		54
臨床工学技士		24
理学療法士		27
作業療法士		12
言語聴覚士		7
歯科技工士		2
歯科衛生士		2
視能訓練士		3
栄養士		8
調理師		9
臨床心理士		7
社会福祉士		8
診療情報管理士		7
医療技術職員		17
事務職員		107
合計		1,526

ウ 診療実績

区分	件数	備考
患者数	外来	1日平均 1,703名
		新 来 22,881名
患者数	入院	1日平均 710名(病床800床)
		稼働率 88.7%
		新入院 17,838名
		退 院 17,836名
	計	673,482
臨床検査		3,013,962
X線		136,313
リハビリテーション		127,928
調剤処方		661,882
手術		19,320
麻酔		15,774
分娩		1,099 (死産を除く。)
病理解剖		58
処方延患者		309869名

エ 受託実習生等受入数

区分	受託実習生	病院研修生
臨床検査関係	42	8
放射線関係	66	0
薬剤関係	35	3
看護関係	1146	10
理学療法関係	17	1
栄養士関係	20	1
合計	1326	23

オ ボランティア受入状況

活動内容	人数
総合案内	22
成人病棟	7
小児病棟 (読み聞かせ8名を含む)	18
合計	47

(2) 保健管理センター

ア 保健管理センター勤務職員数

職 種		人数
教 員	内 科	3
	整 形 外 科	1
	眼 科	0
	精 神 科	3
	婦 人 科	0
	歯 科	0
	学 生 相 談	4
	小 計	11
薬 剤 師	1	
看 護 職 員	4	
診 療 放 射 線 技 師	1	
臨 床 検 査 技 師	0	
歯 科 衛 生 士	1	
栄 養 士	0	
事 務 職 員	2	
合 計		21

イ 利用者数

事項 利用者	一般定期 健康診断	その他の 健康診断	診療及び 健康相談	栄養相談	予防接種	学生相談	精神衛生 相 談	救護等 その他	計
学 群 学 生	8,556	199	3,420	21	1,072	2,441	2,935	6,550	25,194
大 学 院 生	4,187	631	1,632	18		1,335	2,028	7,133	16,964
研 究 生	751		418			32	48	96	1,345
職 員	5,959	4,615	207		26	42	17	128	10,994
そ の 他	50		14					83	147
合 計	19,503	5,445	5,691	39	1,098	3,850	5,028	13,990	54,644

(注1) 一般定期健康診断、学生相談、精神衛生相談における利用者区分の詳細については、後掲の項目参照。

(注2) 救護等その他の内容は、入試・各種大学行事等における救護、入学志願者等の健康診断書の書類審査、健康診断書の発行件数等について計上。

(注3) 利用者のその他は、理療科教員養成施設の学生、研究員、外部者等。

ウ 一般定期健康診断受診内訳

区 分		在籍者数	受診者数	未受診数	受診率(%)
人文・文 化学群	人 文 学 類	534	447	87	83.7
	比 較 文 化 学 類	363	323	40	89.0
	日 本 語 ・ 日 本 文 化 学 類	187	170	17	90.9
社会・国 際学群	社 会 学 類	418	335	83	80.1
	国 際 総 合 学 類	414	330	84	79.7
人間学群	教 育 学 類	153	141	12	92.2
	心 理 学 類	216	194	22	89.8
	障 害 科 学 類	153	138	15	90.2
生命環境 学群	生 物 学 類	396	344	52	86.9
	生 物 資 源 学 類	609	519	90	85.2
	地 球 学 類	233	205	28	88.0
理工学群	数 学 類	180	148	32	82.2
	物 理 学 類	262	214	48	81.7
	化 学 類	215	188	27	87.4
	応 用 理 工 学 類	556	440	116	79.1
	工 学 シ ス テ ム 学 類	588	511	77	86.9
	社 会 工 学 類	537	444	93	82.7
情報学群	情 報 科 学 類	397	291	106	73.3
	情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類	253	229	24	90.5
	知 識 情 報 ・ 図 書 館 学 類	470	413	57	87.9
医学群	医 学 類	732	682	50	93.2
	看 護 学 類	310	306	4	98.7
	医 療 科 学 類	167	150	17	89.8
体 育 専 門 学 群		1,047	980	67	93.6
芸 術 専 門 学 群		475	414	61	87.2
学群生合計		9,865	8,556	1,309	86.7
大 学 院 生	修 士 課 程	201	175	26	87.1
	博 士 課 程	6,667	4,012	2,655	60.2
	小 計	6,868	4,187	2,681	61.0
職 員	常 勤 職 員	5,085	4,778	307	94.0
	非 常 勤 職 員	1,260	1,181	79	93.7
	小 計	6,345	5,959	386	93.9
合 計		23,078	18,702	4,376	81.0

(注) 在籍者数は、健康診断実施時の数である。

(イ) 総合相談窓口の利用状況

	学生本人	教職員	保護者・家族	外部者	その他	計
相談	286	39	27	0	0	352
問い合わせ	167	25	30	20	12	254
苦情要望	5	1	3	0	0	9
その他	9	9	0	0	0	18
計	467	74	60	20	12	633

各相談窓口内訳

・ スチューデントプラザ

	学生本人	教職員	保護者・家族	外部者	その他	計
相談	240	21	21	0	0	282
問い合わせ	147	17	26	18	10	218
苦情要望	5	0	2	0	0	7
その他	5	3	0	0	0	8
計	397	41	49	18	10	515

・ 春日

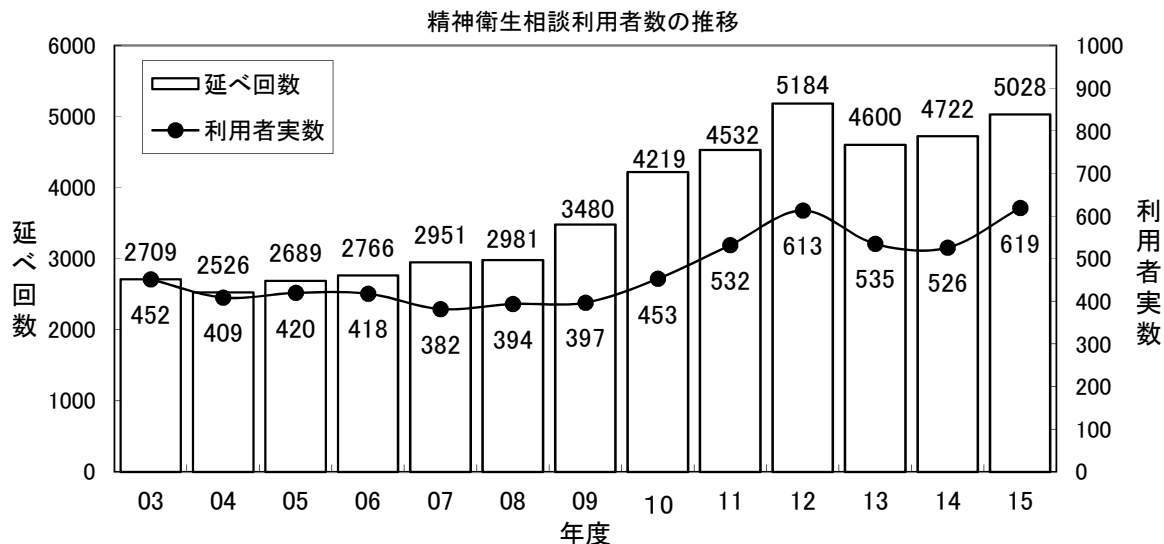
	学生本人	教職員	保護者・家族	外部者	その他	計
相談	46	18	6	0	0	70
問い合わせ	20	8	4	2	2	36
苦情要望	0	1	1	0	0	2
その他	4	6	0	0	0	10
計	70	33	11	2	2	118

オ 精神衛生相談利用状況

(ア) 精神衛生相談内訳

区分		延数	実数	
学群学生	人文文化学群	人文学類	220	27
		比較文化学類	113	18
		日本語・日本文化学類	159	22
	学国・社会群際	社会学類	82	16
		国際総合学類	58	7
	人間学群	教育学類	11	4
		心理学類	81	13
		障害科学学類	115	12
	生命学群環境	生物学類	214	19
		生物資源学類	70	12
		地球学類	77	9
	理工学群	数学類	41	3
		物理学類	50	8
		化学類	55	8
		応用理工学類	63	15
		工学システム学類	204	21
		社会工学類	83	15
	情報学群	情報科学類	184	18
		情報メディア創成学類	166	14
		知識情報・図書館学類	115	20
	医学群	医学類(旧医専含む)	223	21
		看護学類	107	14
		医療科学類	16	4
	体育専門学群		115	11
	芸術専門学群		313	33
	小計		2935	364
	大学院生	修士(前期)課程	1281	80
博士(後期)課程		747	155	
小計		2028	235	
研究生		48	7	
その他		17	13	
合計		5028	619	

(注)その他は教職員、家族等である。



(イ) ICD-10分類による学生の診断別件数（実数）

器質性精神障害

F04	1
F09	1
計	2

精神作用物質による精神および行動の障害

F10	1	アルコール
-----	---	-------

統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害

F20	30	統合失調症
F21	19	
F25	1	
F28	1	
計	51	

気分障害

F30	2	
F31	17	躁うつ病
F32	97	うつ病
F33	15	反復性うつ病
F34	29	持続性気分障害
F38	10	
F39	1	
計	171	

神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害

F40	20	社会不安障害など
F41	18	パニック障害など
F42	11	
F43	179	適応障害
F44	7	
F45	15	
F48	6	
計	256	

生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群

F50	15	摂食障害
F51	29	非器質性睡眠障害
F52	1	
計	45	

成人の人格および行動の障害

F60	15
F64	1
F65	1
計	17

心理的発達の障害

F81	1	
F84	41	広汎性発達障害
F87	1	
計	43	

小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害

F90	14
F94	1
F98	5
計	20

その他

てんかん	1
問題なし	11
不明	1
計	13

合計	619
----	-----

(注) 学生の診断別件数はその他（教職員、家族など）を除いた診断別内訳実数である。

ICD-10分類：ICD-10精神および行動の障害（医学書院）

9 附属図書館関係

(1) 利用統計

ア 利用者数等

		中央	体芸	医学	図情	大塚	合計
年間開館日数	平日	238	238	238	243	242	-
	(日) 土・日・祝日	115	82	115	122	122	-
	合計	353	320	353	365	364	-
入館者数	平日	498,709	95,568	128,709	57,013	50,942	830,941
	(人) (学外者 内数)	28,757	1,865	4,044	3,462	22,250	60,378
	土・日・祝日	100,424	12,430	29,703	9,055	38,061	189,673
	(学外者 内数)	11,341	538	2,921	1,788	14,110	30,698
	合計	599,133	107,998	158,412	66,068	89,003	1,020,614
平均入館者数	平日	2,095	402	541	235	211	-
	(人) (学外者 内数)	121	8	17	14	92	-
	土・日・祝日	873	152	258	74	312	-
	(学外者 内数)	99	7	25	15	116	-
	合計	1,697	337	449	181	245	-
貸出冊数	学群生	95,876	15,895	14,559	10,586	424	137,340
	(冊) 院生	91,157	14,211	5,482	7,692	8,520	127,062
	教員	26,088	3,515	3,503	2,374	2,594	38,074
	学外者	4,968	564	497	810	2,048	8,887
	その他	171	69	1	0	113	354
合計	218,260	34,254	24,042	21,462	13,699	311,717	
貸出利用者数	学群生	43,044	6,683	7,343	5,136	245	62,451
	(人) 院生	31,511	5,067	2,168	2,991	3,941	45,678
	教員	6,373	677	1,011	741	569	9,371
	学外者	2,298	254	249	402	967	4,170
	その他	36	2	1	0	3	42
	合計	83,262	12,683	10,772	9,270	5,725	121,712
文献複写(コピー)	学外依頼	3,861	922	2,537	246	1,898	9,464
	(件) 学外提供	1,638	172	467	57	130	2,464
	合計	5,499	1,094	3,004	303	2,028	11,928
相互貸借(図書)	学外借受	1,337	84	34	79	181	1,715
	(件) 学外貸出	2,290	264	68	122	88	2,832
	合計	3,627	348	102	201	269	4,547
レファレンス件数	学生	11,524	2,198	1,794	805	4,470	20,791
	(件) 教員	2,925	293	2,713	230	525	6,686
	その他	1,680	91	204	131	271	2,377
	合計	16,129	2,582	4,711	1,166	5,266	29,854
	資料に関するもの	9,597	1,640	3,918	517	4,336	20,008
	利用案内・指導	6,428	937	793	646	930	9,734
	事実に関するもの	104	5	0	3	0	112
	合計	16,129	2,582	4,711	1,166	5,266	29,854

イ Webコンテンツアクセス数

Webサイトアクセス件数

	(件)
学内	463,034
学外	806,595
合計	1,269,629

つくばリポジトリアクセス件数

	(件)
メタデータアクセス数	1,427,149
本文ダウンロード数	1,907,381

主要な文献情報データベースアクセス件数(サーチ数)

	(件)
Business Source Complete	8,217
CiNii	536,120
Journal Citation Reports	13,482
Lexis.com	2,499
ProQuest Central	17,174
SciFinder	25,344
Web of Science	141,882
医中誌Web	85,907

主要な電子ジャーナルフルテキストアクセス件数

	(件)
Cambridge Journals Online	4,726
JSTOR	38,765
Nature	162,689
Oxford Journals	45,146
ProQuest Central	54,406
Science	26,479
ScienceDirect	623,311
SpringerLINK	108,844
Wiley Online Library	158,948

主要な電子ブックアクセス件数

	(件)
Cambridge University Press	816
ebrary	4,788
Maruzen eBook Library*	695
NetLibrary*	1,010
Springer	152,336
Wiley-Blackwell	1,281

*タイトルアクセス数(その他はセクションアクセス数)

(2) 基盤統計

ア 施設環境

	中央図書館	体育・芸術図書館	医学図書館	図書館情報学図書館	大塚図書館	合計
建物面積 (㎡)	19,330	3,518	2,793	2,848	1,552	30,041
座席数 (席)	1,115	356	338	252	131	2,192
利用者用PC台数 (台)	163	70	75	38	25	371

*2015年度末現在

イ 図書

(冊)

年度受入数		中央図書館	体育・芸術図書館	医学図書館	図書館情報学図書館	大塚図書館	合計
(和洋区分)	和書	11,045	2,295	1,216	2,201	2,909	19,666
	洋書	3,666	578	171	354	4,119	8,888
	合計	14,711	2,873	1,387	2,555	7,028	28,554
(受入区分)	購入	6,752	1,740	1,162	872	600	11,126
	寄贈	6,480	840	115	1,413	6,250	15,098
	製本	1,437	289	109	250	174	2,259
	その他	42	4	1	20	4	71
	合計	14,711	2,873	1,387	2,555	7,028	28,554
蔵書数 (和洋区分)	和書	1,094,610	191,744	89,745	178,467	50,775	1,605,341
	洋書	791,099	66,730	80,353	73,512	26,311	1,038,005
	合計	1,885,709	258,474	170,098	251,979	77,086	2,643,346

ウ 雑誌 (冊子)

	継続受入タイトル数			所蔵 タイトル数
	購入	寄贈	計	
和雑誌	954	6,638	7,592	17,322
洋雑誌	849	1,046	1,895	12,846
合計	1,803	7,684	9,487	30,168

エ Webコンテンツ

つくばリポジトリ 累積登録件数 (*2015年度末現在)

内訳	件数
学術雑誌掲載論文	6,931
学位論文全文	2,916
学位論文内容・審査の要旨	8,278
修士論文	85
紀要論文	15,801
研究報告書	2,616
会議発表資料	218
講義資料	52
研究業績目録	23
つくば3Eフォーラム	95
A-LIEP	63
その他(図書)	174
合計	37,252

電子ジャーナル契約タイトル数 (*有料契約誌のみ)

内訳	タイトル数
Cambridge Journals Online	339
JSTOR	978
Nature	34
Oxford Journals	261
ProQuest Central	16,000
Science	1
ScienceDirect	2,278
SpringerLINK	1,607
Wiley Online Library	1,442
その他	6,030
合計	28,970

提供データベース・検索ツール
(主要契約データベース)

データベース名
Business Source Complete
CINAHL
CiNii
Conference Proceedings Citation Index
D1-Law.com
Journal Citation Reports
Lexis.com
ProQuest Central
ProQuest Dissertations & Theses Global
PsycINFO
SciFinder(Academic)
Web of Science
Westlaw Japan
医中誌Web

(学外への公開・発信)

公開・提供内容
SCPJ(学協会著作権ポリシーDB)
茨城県遺跡資料リポジトリ
沖縄歴史文献データベース
つくばサイエンスアクティビティ
つくばリポジトリ
展覧会ホスターデータベース
日本美術シソーラスデータベース(試験運用版)

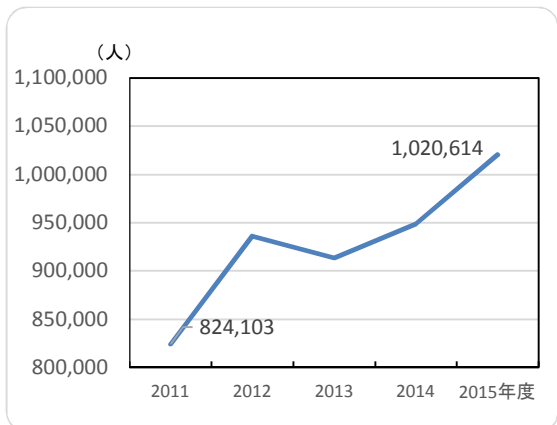
電子ブック契約タイトル 累積数 (*2015年度末現在)

内訳	タイトル数	
	和	洋
Cambridge University Press	-	1,666
ebrary	-	459
Maruzen eBook Library	641	122
NetLibrary	329	1,016
Springer	-	22,548
Wiley-Blackwell	-	1,116
その他	6	3,027
合計	976	29,954

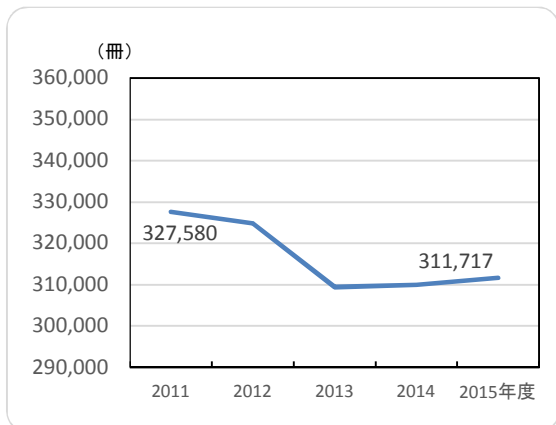
(3) 推移

ア 利用サービス

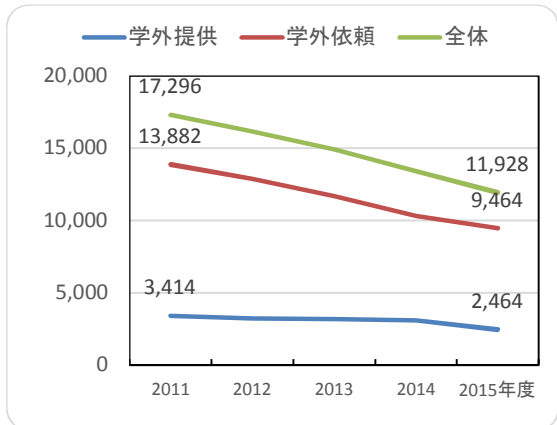
● 入館者数



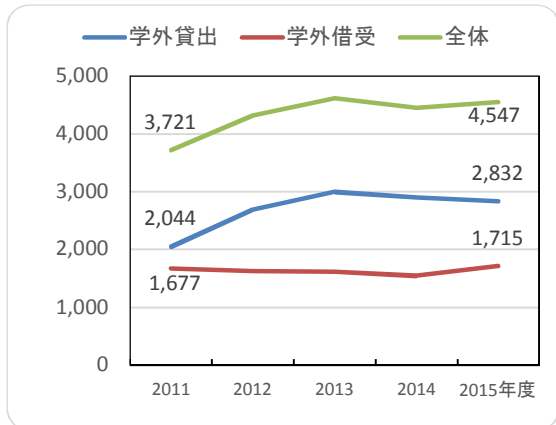
● 貸出冊数



● 文献複写(コピー)件数

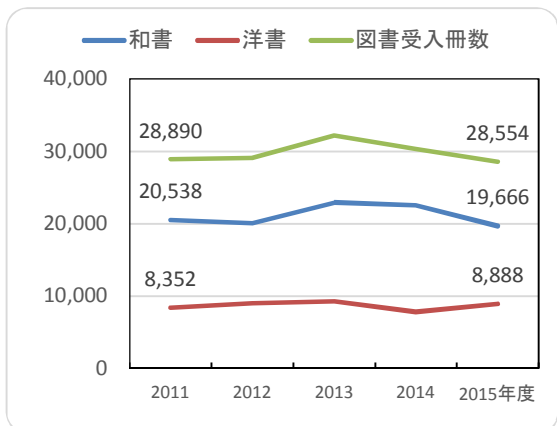


● 相互貸借(図書)件数

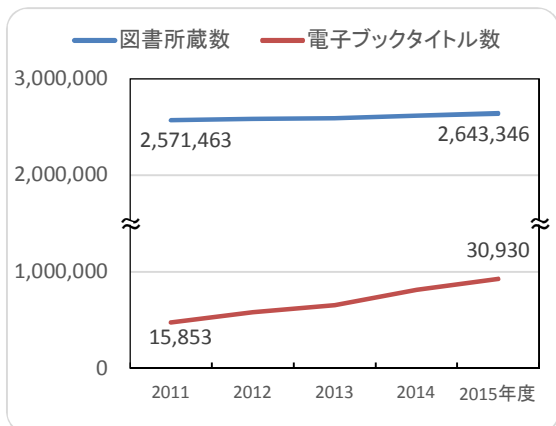


イ 図書

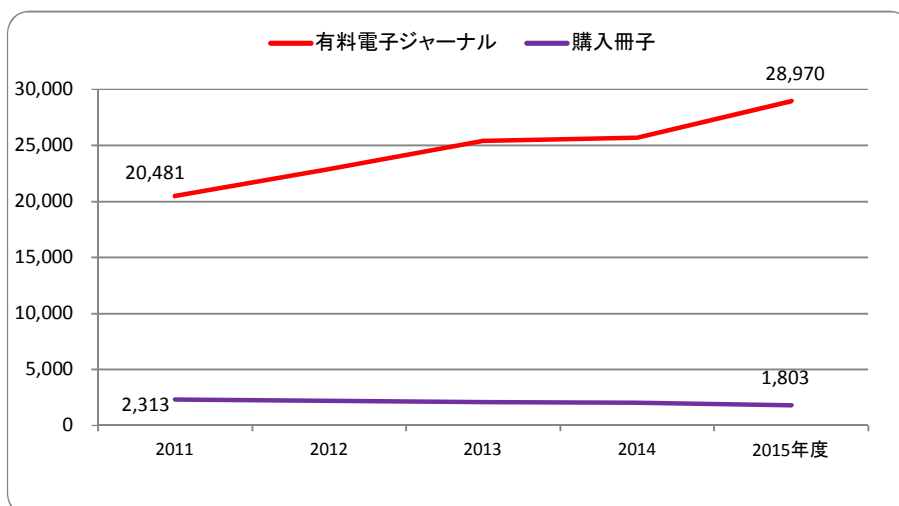
● 図書受入冊数 -和洋区分-



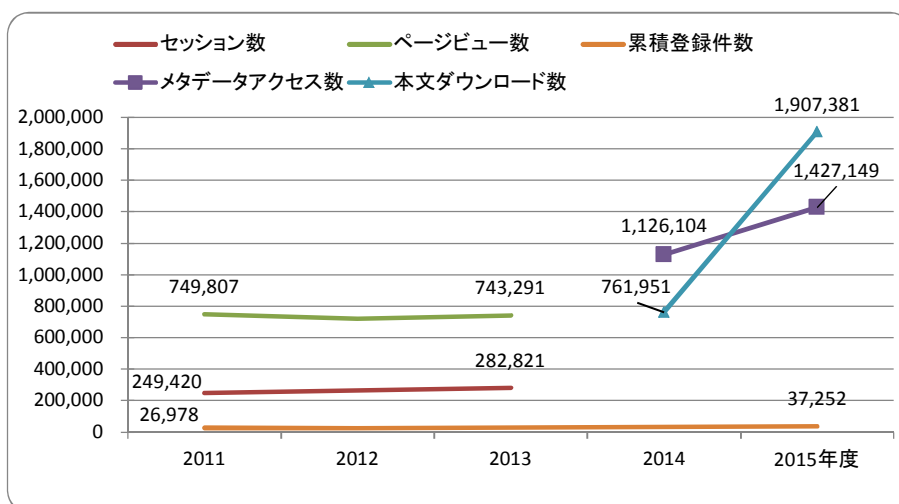
● 図書所蔵数・電子ブックタイトル数



ウ 雑誌タイトル数



エ つくばリポジトリ 登録件数と利用数



(4) オリエンテーション・講習会

内容	実施回数	参加者数
新入生オリエンテーション（学群生）	4回	2400名
新入大学院生オリエンテーション（院生）	11回	237名
留学生オリエンテーション	9回	236名
新任教員オリエンテーション	2回	25名
職員オリエンテーション	1回	263名
図書館の本や雑誌の探し方講習会	9回	31名
論文の探し方講習会	40回	312名
自由テーマオリエンテーション	18回	101名
科目関連指導	58回	2657名
（内訳）フレッシュマンセミナー（各学類等）	47回	2178名
授業「総合日本語7演習」春学期の1コマ分を担当	1回	9名
授業「基礎化学実験」春学期の2コマ分を担当	2回	114名
授業「国語Ⅲ」春学期の2コマ分を担当	2回	151名
授業「知の探検法」秋学期の6コマ分を担当	6回	205名
その他	5回	120名

開催日	内容	講師	参加者数
ライティングセミナー			
2015. 5. 28	大学生入門 文書リテラシー 1 : 小論文とレポートの違いは分りますか?	三波千穂美 (図書館情報メディア系)	10名
2015. 6. 4	大学生入門 文書リテラシー 2 : 情報を構造化する		12名
2015. 7. 3	大学院生入門 自分を守る情報リテラシー	逸村裕 (図書館情報メディア系)	2名
2015. 11. 12	大学生入門 大学で身につけたい言葉の力 1 : 疑うことからはじめよう - 批判的に読む -	島田康行 (アドミッションセンター)	6名
2015. 11. 26	大学生入門 大学で身につけたい言葉の力 2 : 考えの述べ方 - 主張のく構造 -		7名
2015. 11. 28	大学院生入門 自分を守る情報リテラシー (東京キャンパス文教校舎2階 講義室6)	逸村裕 (図書館情報メディア系)	6名
2015. 12. 3	大学生基礎 事実?意見? (1) : 図表を文章で表現する	野村港二 (教育イニシアチブ機構)	4名
2015. 12. 10	大学生基礎 事実?意見? (2) : 「事実」と「意見」を区別する		4名
LAセミナー			
2015. 12. 1	伝わる! 研究のアウトプット術	大山貴稔、栗原拓也、長尾尚 (附属図書館ラーニング・アドバイザー)	26名
2015. 12. 3	申請書で伝える! あなたの研究セミナー (前編)	二歩裕 (URA研究支援室)	30名
2015. 12. 17	申請書で伝える! あなたの研究セミナー (後編)		21名
多読入門セミナー			
2015. 12. 18	英語多読の科学 - ラクラク学習法のスプーマー	森好紳 (人文社会科学研究科)	44名
2016. 1. 22	TOEICスコアを上げるための多読	細田雅也 (人文社会科学研究科)	60名
2016. 2. 1	多読 はじめの一步 - 高校の現場から -	前田昌寛 (教育研究科)	38名
その他の学習支援企画			
2015. 12. 9	「英語論文の書き方」と「EndNoteの使い方」セミナー (医学地区臨床講義室C)	西村マリ (カクタス・コミュニケーションズ株式会社/ユサコ株式会社)	63名
2015. 12. 11	「英語論文の書き方」と「EndNoteの使い方」セミナー		22名
2015. 12. 12	「英語論文の書き方」と「EndNoteの使い方」セミナー (東京キャンパス文教校舎2階 講義室6)		15名
2016. 2. 5	魅せる! プレゼン: あなたは伝える工夫をしていますか? (医学地区臨床講義室C)	田中佐代子 (芸術系)、三輪佳宏 (医学医療系)、小林麻己人 (医学医療系)	32名

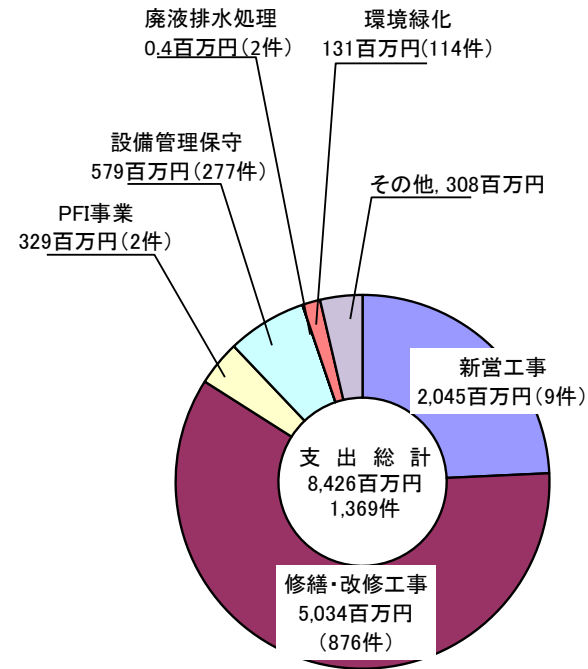
10 施設・環境関係

(1) 平成27年度施設整備状況（竣工ベース）

名 称	財 源	予算年度	構造階数	建築面積	延面積	完成日
非構造部材の耐震対策先導的開発検討業務	委託費(文部科学省)	27年度	-	-	-	平成28年3月4日
構内仮設電源取設業務	運営費交付金	27年度	-	-	-	平成27年11月13日
キャンパス情報ネットワーク追加配線工事(平成27年度)	運営費交付金	27年度	-	-	-	平成27年9月18日
構内高圧変電設備改修工事(平成27年度)	運営費交付金	27年度	-	-	-	平成28年1月15日
一の矢学生宿舍33・34・35号改修工事	PFI事業	27年度	R8 R4 R4	346 519 519	2,527 1,786 1,786	平成28年3月11日
一の矢学生宿舍36・37号自動火災報知設備新設工事	運営費交付金	27年度	R4 R4	389 390	1,330 1,331	平成28年3月28日
3C・D棟南側トイレ改修工事	運営費交付金	27年度	R4	2,064	6,094	平成27年11月27日
人文社会学系棟(Ⅲ期)改修工事	施設整備費	26年度	SR8	3,220	14,416	平成28年2月26日
本部棟受変電設備改修工事	施設費交付金	27年度	S1	1,095	1,087	平成27年11月20日
中央図書館太陽光発電設備工事	運営費交付金	27年度	R5	4,942	19,092	平成28年2月5日
中央図書館照明設備改修工事	運営費交付金	27年度	R5	4,942	19,092	平成28年3月31日
中央機械室等常用・非常用自家発電設備点検整備	運営費交付金	27年度	R2	3,152	5,474	平成27年12月18日
中央機械室等構内高圧変電設備点検業務	運営費交付金	27年度	R2	3,152	5,474	平成28年1月22日
エンパワースタジオ外構工事	運営費交付金	27年度	-	-	-	平成27年4月30日
本部アネックス棟(仮称)外構工事	運営費交付金	27年度	-	-	-	平成27年12月22日
本部アネックス棟電力配線等引込工事	運営費交付金	27年度	-	-	-	平成27年11月30日
中地区特別高圧受変電設備点検整備	運営費交付金	27年度	-	-	-	平成27年12月18日
BiViつくば2090区画B・C1工事	運営費交付金	27年度	-	-	-	平成27年8月10日
大学会館A棟会議室他空調設備改修工事	運営費交付金	27年度	RS4	2,389	5,632	平成28年3月15日
南地区野球場1塁側外野防球ネット設置工事	運営費交付金	27年度	-	-	-	平成28年3月15日
4A棟等改修工事 (4A棟、病棟E)	補助金(茨城県)	27年度	R4 SR6	3228 968	9,604 5,661	平成28年2月29日
医学系学系棟(Ⅲ期)アスベスト対策工事	施設整備費	27年度	SR9-1	2,886	24,340	平成28年2月29日
医学系RI研究棟エレベーター設備改修工事	施設費交付金	27年度	R4	338	1,220	平成28年3月10日
医学中央機械室地下オイルタンクライニング工事	運営費交付金	27年度	R2	2,753	2,972	平成27年12月18日
健康医科学イノベーション棟503室改修機械設備工事	寄付金	27年度	SR8	1,101	7,501	平成27年9月25日
環境整備(国際統合睡眠医科学研究棟)工事	運営費交付金	27年度	-	-	-	平成28年3月31日
西地区特別高圧受変電設備点検整備	運営費交付金	27年度	-	-	-	平成28年1月15日
附属小学校体育館照明設備改修工事	施設費交付金	27年度	S1	420	420	平成28年1月14日
附属中・高等学校体育館アリーナ等照明設備改修工事	施設費交付金	27年度	R1-1	2,278	2,795	平成28年1月6日
附属駒場中・高等学校体育館等照明設備改修工事	施設費交付金	27年度	S1	1,352	1,352	平成27年8月28日
附属駒場中・高等学校体育館バスケットゴール耐震改修その他工事	施設費交付金	27年度	S1	1,352	1,352	平成28年3月29日
附属坂戸高等学校体育館照明設備改修工事	施設費交付金	27年度	S1	1,000	1,000	平成28年2月22日
附属坂戸高等学校校舎C館耐震改修その他工事 (機械工場、校舎C館、総合実習棟)	施設費交付金	27年度	S1 R3 R3	528 502 1,786	528 1,526 4,938	平成28年3月29日
附属視覚特別支援学校体育館照明設備改修工事	施設費交付金	27年度	S1	681	681	平成28年1月18日
附属視覚特別支援学校等体育館バスケットゴール耐震改修工事	施設費交付金	27年度	S1	681	681	平成28年3月29日
附属聴覚特別支援学校体育館等照明設備改修工事	施設費交付金	27年度	S1	888	888	平成27年9月30日
附属大塚特別支援学校校舎・体育館耐震改修工事	施設整備費	27年度	R2+S1	429	1,287	平成27年12月18日
附属大塚特別支援学校校舎・体育館耐震改修電気設備工事	施設整備費	27年度	R2+S1	429	1,287	平成27年12月18日
附属桐が丘特別支援学校体育館照明設備改修工事	施設費交付金	27年度	R1	853	853	平成28年1月14日
図書館研究管理棟電話交換機取設等工事	運営費交付金	27年度	-	-	-	平成27年7月22日
環境整備事業:①支障樹木伐採処理、②樹木強剪定、③枯損木処理、道路路面清掃、④舗装タイル補修、⑤点字ブロック補修、⑥マンホール補修						

(注)上表は、文教施設整備事業及び主な営繕工事を示す。ただし、設備保守管理、廃液廃水処理、緑化保全を含まない。

平成27年度 施設関係事業構成



- 新営
- 修繕・改修
- PFI
- 設備管理保守
- 廃液廃水処理
- 環境緑化
- その他

【北地区】

一の矢学生宿舎33・34・35号改修工事



【西地区】

環境整備(国際統合睡眠医科学研究棟)



【中地区】

自然系学系棟(Ⅱ期)改修工事



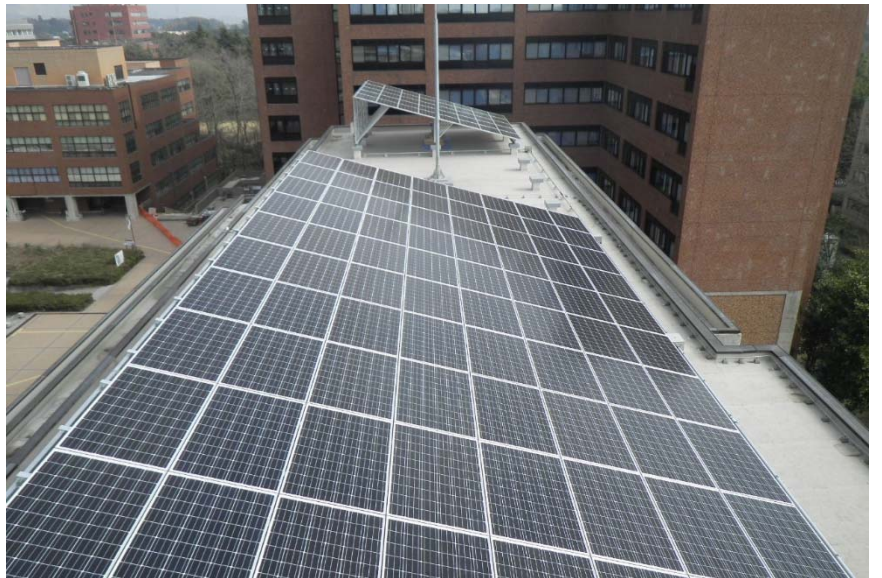
【中地区】

人文社会学系棟(Ⅲ期)改修



【中地区】

中央図書館太陽光発電設備

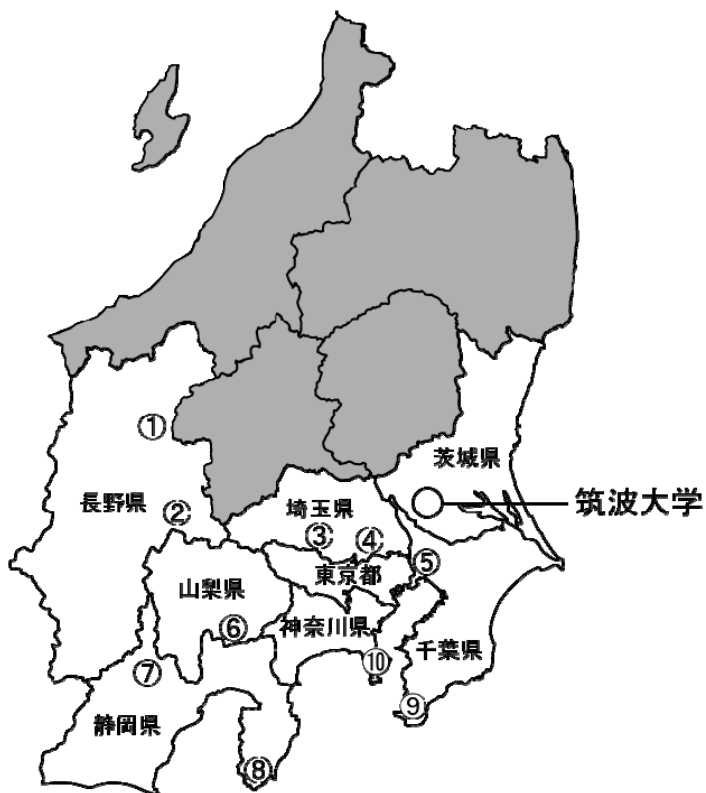


【附属大塚特別支援学校】

校舎・体育館耐震改修



(2) 施設所在地



遠隔地

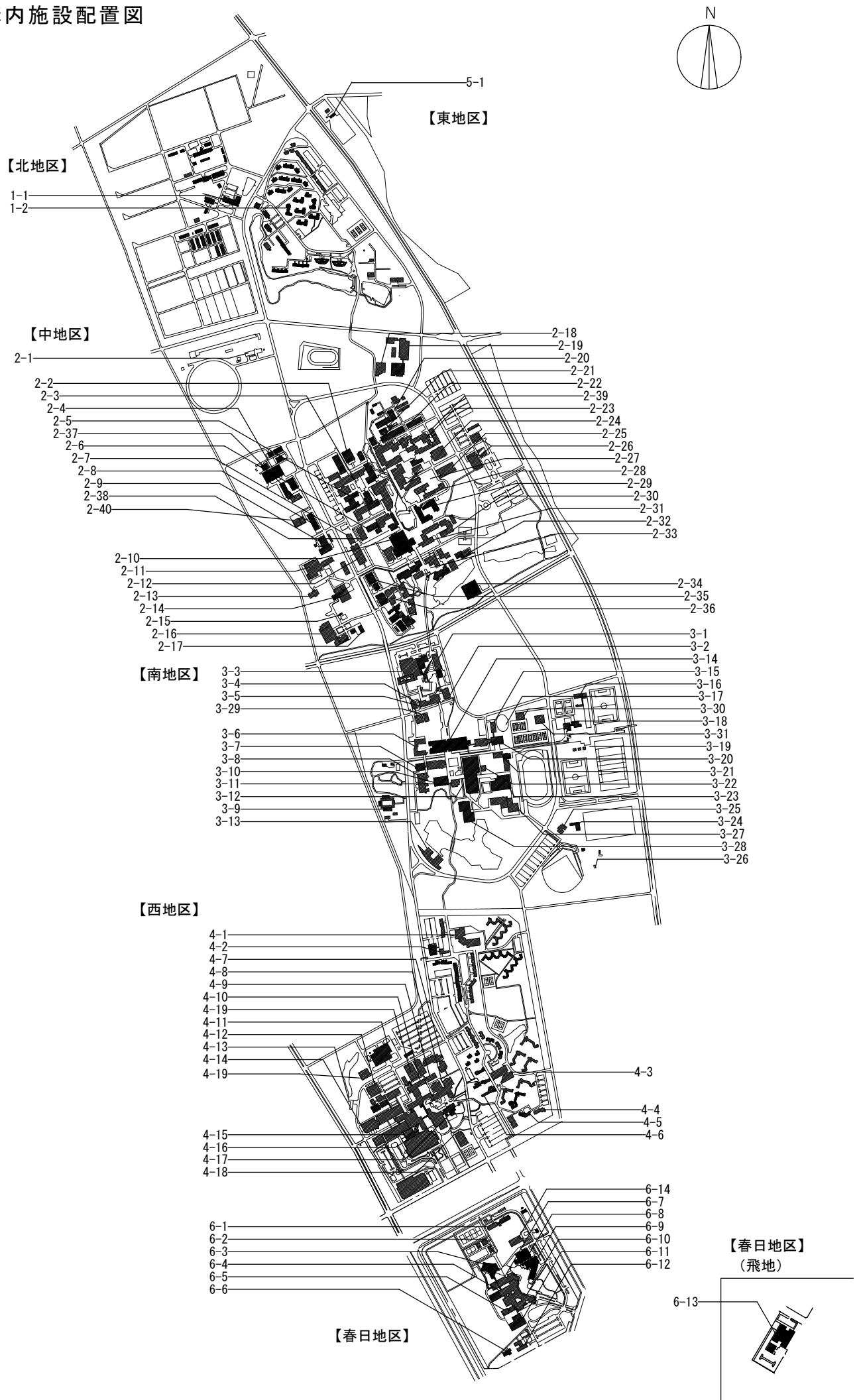
- ① 菅平高原実験センター
- ② 八ヶ岳演習林
- ③ 附属坂戸高等学校
- ④ 戸田艇庫・合宿所
- ⑤ 附属聴覚特別支援学校
- ⑥ 山中共同研修所
- ⑦ 井川演習林
- ⑧ 下田臨海実験センター
- ⑨ 館山研修所
- ⑩ 附属久里浜特別支援学校



東京都内

- ① 附属桐が丘特別支援学校
- ② 附属視覚特別支援学校
- ③ 東京キャンパス文京校舎
- ④ 附属中学校
附属高等学校
- ⑤ 附属大塚特別支援学校
- ⑥ 附属駒場中学校
附属駒場高等学校

(3) 大学構内施設配置図



(4) 施設整備状況

地図 番号	建 物 等	構 造 階 数	建築面積	延面積	整備年度	備 考
			㎡	㎡		
【北地区】						
1-1	農林技術センター・農場施設	鉄筋2階, 他	8,805	9,202	昭48,49,51,52,56,67,平	車庫含
1-2	一の矢学生宿舎, 同共用棟	鉄筋4・5・8階, 他	11,517	40,467	昭51,51,52,61,62,平 2,5,8,9,21,24,25,26,27	1,466戸
【中地区】						(定員1795)
2-1	アイントープ環境動態研究センター	鉄筋2階, 鉄骨2階, 鉄骨1階	2,617	2,807	昭51,平18	
2-2	第3体育館	鉄骨1階	1,224	1,219	昭54	
2-3	第3エリア	鉄筋3・4・5階	10,677	38,987	昭51,52,52,53,58,平 5,6,7,8,19,20,27	
2-4	プラズマ研究センター	鉄骨鉄筋3階・地下1階, 他	3,150	6,432	昭55,56,62,平8	
2-5	工学系学系棟	鉄骨鉄筋12階・地下1階, 他	6,245	32,186	昭52,53,53,53,54,平	
2-6	理科系棟	鉄筋5階	2,545	8,473	昭51,53,57,平25,26	
2-7	ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	鉄筋4階	527	2,017	平7,8	
2-8	研究基盤総合センター(工作部門)	鉄筋1階, 鉄骨1階	898	889	昭52,58	
2-9	研究基盤総合センター(低温部門)	鉄筋1階	1,532	1,460	昭51	
2-10	中央図書館	鉄筋5・6階	4,942	19,092	昭52,53,平3,5,6,20,21,22,27	
2-11	研究基盤総合センター(応用加速器部門) ・共同研究棟C・プロジェクト研究棟	鉄筋9・3階, 鉄骨4階	3,174	7,697	昭48,49,52,平21	
2-12	総合研究棟B	鉄骨鉄筋12階・地下1階	1,816	17,641	平15	
2-13	研究基盤総合センター(分析部門)	鉄筋2階	495	819	昭52	
2-14	研究基盤総合センター	鉄筋2階	1,859	2,588	昭52,56,平25	
2-15	水銀廃棄物保管庫	鉄骨1階	121	119	昭60	
2-16	中央機械室(中)	鉄筋2・3階	3,152	5,474	昭48,49,50,平3,25,27	
2-17	無機系廃液処理施設	鉄筋2階, 鉄骨1・2階, 他	458	648	昭50,55,57	
2-18	産学リエゾン共同研究センター	鉄筋3階	1,002	3,056	平15	
2-19	生命領域学際研究センター	鉄筋2・3階	4,336	6,957	平7,8,8,9,24,25	
2-20	遺伝子実験センター・温室	鉄筋2・4階、鉄骨1階	3,038	5,643	昭58,60,平13,15,17,18,19,20 ,21,23,24,25	
2-21	生物・農林RI研究棟	鉄筋2階	352	580	昭58	
2-22	バイオシステム研究科棟	鉄筋5階	827	4,108	平7,8	
2-23	生物・農林学系棟	鉄骨鉄筋8階, 他	4,659	23,381	昭50,51,52,52,53,平8,9,25	
2-24	第1体育館	鉄骨1階	1,552	1,541	昭51	
2-25	総合研究棟A	鉄骨鉄筋7階	1,662	9,286	平14	
2-26	本部棟	鉄骨鉄筋8階, 他	3,340	9,877	昭50,51,57,平25,26,27	車庫等含
2-27	第2エリア	鉄骨鉄筋2・3・5階, 他	10,082	29,259	昭49,50,50,51,60,62,平25,26	
2-28	文科系修士棟	鉄筋4階	1,738	6,235	昭50,53	
2-29	人間系学系棟	鉄筋5階	3,514	12,026	昭51,52,53,54	
2-30	共同研究棟A・共同利用棟A・D	鉄筋3・6階, 鉄骨2階	1,876	6,785	昭54,平18,25,26	
2-31	人文社会学系棟	鉄骨鉄筋8階	2,814	14,416	昭50,51,平3,25,26,27	
2-32	文科系サークル館	鉄筋3階	805	2,061	昭50,53	
2-33	第1エリア	鉄筋3・4・5階, 他	9,148	24,711	昭48,49,49,50,61,平22,25,26	
2-34	実験廃水処理施設(中)	鉄筋1階, 他	2,061	2,061	昭50	
2-35	計算科学研究センター	鉄筋1・3階	1,535	3,075	平4,5,6,18,26	
2-36	自然系学系棟	鉄骨鉄筋8階, 他	5,098	21,055	昭49,49,50,51,52,平25,26,27	
2-37	グリーンエネルギー実験・実証温室・カーボン ニュートラル実験実証設備建家・用途分析・ ビジネス解析室	鉄骨1階	676	676	平22,平24	
2-38	サイバニクス研究棟	鉄筋4階	892	3,210	平22	
2-39	環境防災研究棟	鉄筋3階	407	1,198	平22	
2-40	エンパワーメントスタジオ大空間棟・実				平26,27	

地図 番号	建 物 等	構 造 階 数	建築面積	延面積	整備年度	備 考
			㎡	㎡		
【南地区】						
3-1	大学会館	鉄筋4階	5,315	11,890	昭49,50,57,58,59,平27	
3-2	保健管理センター	鉄筋2階	667	1,186	昭48,49,平26	
3-3	講堂・留学生センター・総合交流会館	鉄骨鉄筋4階、鉄骨2階	4,360	5,908	昭53,54,平18,25	
3-4	学術情報メディアセンター	鉄筋2・3・4階・地下1階、他	1,761	5,202	昭49,50,54,平5,5,6	
3-5	外国語・学術情報メディアセンター	鉄筋5階	1,589	5,253	昭50	
3-6	芸術学系棟・建築デザイン実習棟	鉄筋6階、木造1階	1,335	5,513	昭51,52,平17,21,22,26	
3-7	6A棟・6B棟	鉄筋4階	2,237	7,433	昭50,57,平26	
3-8	芸術学系棟(工房)	鉄筋2階	1,638	2,055	昭51,52	
3-9	開学記念館	木造1階	991	928	昭50	
3-10	体芸図書館	鉄骨4階、他	1,059	3,516	昭47,48,平7,8	
3-11	体芸食堂	鉄筋3階	677	1,214	昭48	
3-12	中央体育館	鉄骨鉄筋4階	3,192	6,280	平25	
3-13	総合研究棟D	鉄骨鉄筋7階	2,470	15,108	平15	
3-14	5C棟・建築デザイン実習棟	鉄骨鉄筋6階・地下1階、鉄骨1階	4,279	18,090	昭47,48,平4,5,5,6,平	
3-15	共同研究棟B	鉄筋2階	515	1,000	昭52	
3-16	弓道場	鉄骨1階	591	577	昭49,55～57	
3-17	体育総合実験棟	鉄筋3階	1,679	3,508	平15	
3-18	合宿所	鉄骨鉄筋2階	791	1,497	昭47	
3-19	体育グラウンド施設				昭46,47,48,57	
3-20	体育科学系棟	鉄筋6階	2,050	10,695	昭49,52,53,平20,21	
3-21	体育センター・体育系サークル館	鉄筋2階	1,936	3,111	昭48,49,51,平2	
3-22	サイクリング実習棟	鉄骨1階	267	249	昭62	
3-23	屋内プール	鉄筋2階	2,497	2,778	昭53	
3-24	課外活動練習施設	鉄骨1階	527	414	昭61	
3-25	クラブハウス	鉄筋2階	381	500	昭55	
3-26	野外活動実習管理棟	木造2階	48	69	平15	
3-27	武道館	鉄筋2階	2,376	4,611	昭52,平25	
3-28	球技体育館	鉄骨1階	2,021	2,011	昭53,平26	
3-29	国際講義棟	鉄筋2階	278	500	平23	
3-30	T-Dome	鉄骨1階	495	495	平23	
3-31	スポーツ流体工学実験棟	鉄骨1階	810	899	平23	
【西地区】						
4-1	平砂学生宿舎, 同共用棟	鉄筋2・3・4階	8,948	26,802	昭48,49,平21,22,23,24,25,26	1,324戸
4-2	レジデント宿泊施設	鉄筋6階	1,188	4,611	昭54,平20	110戸
4-3	追越学生宿舎, 同共用棟	鉄筋2・4・5階	7,357	24,062	昭49,50,平3,11,21,26	1,025戸
4-4	外国人教師等宿泊施設	鉄筋3階	310	900	昭53	12戸
4-5	客員研究員等宿泊施設	鉄筋3階	346	892	昭52,平7	20戸
4-6	看護師宿舎	鉄骨鉄筋8階、他	2,577	12,207	昭50,51,52,55,平5,6,7,8,20	313戸
4-7	4B棟・共同利用棟B	鉄筋2・5階、鉄骨2階、他	3,484	7,858	昭53,平24,55,平15,16,18	
4-8	4A棟	鉄筋4階	3,228	9,594	昭48,49,平3,20,21,25,27	
4-9	医科学棟	鉄骨鉄筋3階	427	1,234	昭54,平25	
4-10	医学系学系棟	鉄骨鉄筋9階・地下1階、他	3,271	25,627	昭50,51,51,52,平25,26,27	
4-11	中央機械室(西)	鉄筋2階	2,931	3,196	昭48,49,49,平24,25,27	
4-12	生命科学動物資源センター	鉄筋5階	2,449	9,159	昭52,53,平17,25	
4-13	実験廃水処理施設(西)	鉄筋1階・地下1階	185	1,220	昭50	
4-14	陽子線医学利用研究センター	鉄筋2階、地下1階	2,142	5,138	平11,13	
4-15	附属病院	鉄骨鉄筋6・12階・地下1階、他	24,073	121,255	昭48,49,49,50,51,54,55,61,62 平3,4,5,11,12,13,14,21,24,26	800床
4-16	医学図書館・臨床講義室	鉄筋3階	2,157	4,499	昭51,52,平26	
4-17	医学食堂	鉄筋2階	959	1,270	昭50	
4-18	第2体育館	鉄骨1階	1,221	1,218	昭53	
4-19	健康医科学イノベーション棟	鉄骨鉄筋8階	1,101	7,501	平22	
4-20	睡眠医科学研究棟				平26,27	

地図 番号	建 物 等	構 造 階 数	建築面積	延面積	整備年度	備 考
			m ²	m ²		
【東地区】						
5-1	厩舎・堆肥舎	鉄骨1階	297	263	昭59,平17,19	
【春日地区】						
6-1	春日1・2号棟	鉄筋5階	596	2,906	昭55,平6,23,56,平6,24,平11	160戸
6-2	トレーニング室	鉄骨1階	100	100	平6	
6-3	春日講堂	鉄筋2階	1,188	1,046	昭60	
6-4	7C棟	鉄筋2階	440	878	平8	
6-5	7D棟	鉄筋5階	229	1,118	平8	
6-6	春日宿泊施設	鉄筋2階	233	423	昭58	8戸
6-7	7A棟	鉄筋2階	1,304	2,592	昭54	
6-8	第4体育館	鉄筋1階	1,056	1,050	昭55,平26	
6-9	春日福利厚生棟	鉄筋2階	1,238	1,829	昭55	
6-10	図書館研究管理棟	鉄筋5階	3,615	8,744	昭56,平13,27	
6-11	情報メディアユニオン	鉄筋4階	1,128	3,372	平13	
6-12	春日3号棟(留学生)	鉄筋4階	382	762	昭63	20戸
6-13	春日プラザ・車庫	鉄筋4階・鉄骨1階	1,332	4,252	平22	
6-14	高細精医療イノベーション棟				平26	
手代木	外国人教師等宿泊施設 客員研究員宿泊施設	鉄筋2階	1,870	2,547	昭57(所管替)	22戸
東京	東京キャンパス文教校舎	鉄筋6階,地下1階,他	3,875	16,049	平23	
【附属学校】						
大塚3丁目	附属小学校	鉄筋1～3階,鉄骨1階,木造1階	4,313	9,680	昭52(所属替),56,57,62, 平6,10,25,26,27	
大塚1丁目	附属中学校、附属高等学校	鉄筋1～3階,鉄骨1階,他	8,408	16,483	昭52(所属替),55,60, 平5,8,21,26,27	
池尻	附属駒場中学校、附属駒場高等学校	鉄筋1～3階,鉄骨1階,他	6,361	11,040	昭52(所属替),53,55,63 平2,3,11,21,26,27	
坂戸	附属坂戸高等学校	鉄筋1・3階,鉄骨1階,他	10,974	17,625	昭52(所属替),53,55,56,58,61 平6,8,10,26,27	
目白台	附属視覚特別支援学校	鉄筋2・4・5階,鉄骨1階,他	4,222	12,325	昭52(所属替),平6,7,8,25,27	
国府台	附属聴覚特別支援学校	鉄筋1～4階,鉄骨1階,他	6,937	14,510	昭52(所属替),53,55 平3,5,12,15,26,27	
春日	附属大塚特別支援学校	鉄筋1～3階,鉄骨1・3階,他	1,715	3,858	昭52(所属替),59,平10,15,27	
小茂根2丁目	附属桐が丘特別支援学校(本校)	鉄筋1～3階,鉄骨1階	4,493	6,339	昭52(所属替),58,63,平 元,26,27	
小茂根1丁目	附属桐が丘特別支援学校(併設学級)	鉄筋2階	1,493	3,444	昭52(所属替),平26	
野比	附属久里浜特別支援学校	鉄筋1～3階	4,708	5,132	平16(所属替)	
埼玉	戸田艇庫・合宿所・土方リニオンホール	鉄筋2階,他	398	676	昭52(所属替),平23	
千葉	館山研修所	鉄筋2階,他	583	949	昭50("),57,22	定員53
山梨	山中共同研修所	鉄筋2階,他	705	1,177	昭52("),平3,8,22	定員76
長野	八ヶ岳演習林	鉄筋1階,他	1,164	1,151	昭50("),63,平6,21,27	
〃	菅平高原実験センター	鉄筋2階,他	1,063	2,459	昭53("),53,56,59,平 11,25	
静岡	下田臨海実験センター	鉄筋2階,他	2,129	3,931	昭51("),53,平11,21,26	
〃	井川演習林	鉄骨1階,他	589	586	昭50("),平3	